

科目名	松本大学と地域（観光）		学年学期	1年前期	単位数	2	ナパリング	UL11101	研究室	学生セカ
担当者	住吉 廣行・白戸 洋		必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）				
			A	B	C	～2018年度 2020年度～				
授業概要										
これからの松本大学での学びの基礎となる松本大学の理念や地域の基本的な概念・地域づくりの具体的な実践事例を学び、「地域とは何か」という理解を深めていくこととします。特に、本講義は地域について学ぶ入門的な講義であることを踏まえて、自分自身の経験や関心とのかかわりの中で地域のことを深く考えていくことが出来るようになることを目指します。またこれから地域と関わっていく上で重要となってくる視点についても学んでいきます。										
学修到達目標										
1.松本大学の教育に対する考え方、学修支援システムの種類や場所、その機能等について理解することができる。 2.地域の多様な実践について理解を深め、それらについて自分の考えをもつことが出来る。 3.講義全体を通して自分自身の今後の大学での学びと地域とのかかわりのあり方について考えようとする事が出来る。										
授業の進め方										
各教員からの講義内容や提示する関連資料を基にして、地域に関する理解を深めていきます。必要に応じてグループでディスカッションをし、その成果をフィードバックします。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	長野県、松本市等の特徴 大学設立の経緯と残留率 学校法人・大学の組織	本学が立地する松本市がどのような特色を持った地域であるか、地勢、文化、歴史の視点から概観する。県・松本市・学校法人松商学園が資金を出し合って本学が設立された経緯を述べる。				長野県や松本市の自然・文化を探索する。(2時間)				
2	松本大学の教育手法いくつかの具体例。理論化された帰納的教育手法の説明	本学における地域連携を取り入れた学習方法を具体例に基づいて紹介する。本学の各学科の特徴を活かした、アクティブ・ラーニングを取り入れた、PBL型・課題解決型教育のイメージを把握する。				本学のパンフレットを見る。学び終えた時点で、自分なら何が出来るか考える。(2時間)				
3	松本大学の学生支援システムのあり方の背景にある哲学を考える	学生生活、就職活動、クラブ活動など、松本大学の学生支援活動を概観する。入学前から卒業後までを時系列で追いかけると共に、どのような考え方でこの活動が実施されているかを紹介する。				事後学習：学友会室やキャリアセンターを訪問し、質問する。(2時間)				
4	松本大学と地域活性化 各種GP、COC、研究プラン ディング事業の採択の紹介	「人や経済の地域内循環」の実現に対し、大学が持っている人的資源、ハード的資源を活かして、外部団体や人材と協働することで活力ある地域社会の実現に貢献していることを理解する。基礎教育1回目。				本学の競争的資金獲得状況を調べる。事後に他大学も調べて見る。(2時間)				
5	各種センターの紹介 国際交流センター 健康安全センター	グローバル化対応を担う国際交流センター、English Cafe等について説明する。心と体の健康に対応する健康安全センターの現状と喫煙防止などを解説する。教職センターを紹介する。基礎教育センター2回目。				基礎教育センターを訪問する。事後に健康安全、教職センターを訪問する。(2時間)				
6	各種センターの紹介 地域づくり考房『ゆめ』 公務員講座委員会など	学生の地域活動の窓口である地域づくり考房『ゆめ』の活動を説明する。公務員試験対策の現状について報告すると共に、図書館の利用案内も実施する。基礎教育センター3回目。				考房『ゆめ』を訪問しておく。事後に興味ある部署を訪問・見学する。(2時間)				
7	ゲストによる特別講義	総合経営、人間健康それぞれの学部ゲストを招いて、これからの大学生活において前向きに取り組んでいけるようなテーマで講演していただく。				事前にゲストについて調べる。事後にゲストに質問する。(2時間)				
8	地域とどう向き合うか	本講義を履修する上で、一人ひとりが自分の問題として地域を考えるきっかけとして、担当教員の地域とのかかわりについて紹介します。あわせて、前半部分に関わる中間テストを行います。				自分自身の地域との向き合い方について考えをまとめる。(2時間)				
9	地域とはなにか～地域の概念と定義	地域の基本的な概念について学びます。				地域の基本的概念に関する関連資料や文献について読む。(2時間)				
10	地域の現状と課題～事例研究	地域の現状やその課題について、これまでの地域づくりの取り組みなどを事例として考えます。				地域の現状と課題に関する関連資料や文献について読む。(2時間)				
11	松本大学と地域～大学での学びにおける地域の意義	松本大学と地域とのつながりや大学における地域と連携する意義について、特に地元の新村地区とのこれまでの関係を中心に学びます。				松本大学の地域連携に関する関連資料や文献について読む。(2時間)				
12	学校教育と地域～地域で育つ子ども・若者	子どもや若者を育てるために地域が果たすべき役割や学校教育が地域で求められる役割について学びます。				学校教育と地域に関する関連資料や文献について読む。(2時間)				
13	地域づくりとはなにか～小さな経済の創出の取り組み	信州のむらづくりの事例を基に地域の風土を活かした小さな経済を創出するアプローチを学びます。				信州のむらづくりに関する関連資料や文献について読む。(2時間)				
14	まちづくりについて考える～都市計画の観点から	県内外の事例をもとにまちづくりの目的や意義、問題や今後の課題について学ぶ。特に、都市計画のアプローチや長野県小布施町の取り組みなどを紹介します。				都市計画の内容に関する関連資料や文献について読む。(2時間)				
15	まとめ～大学の学びを通じて地域とどう関わるか	各学科の専門性を踏まえて、今後の大学での学びの中で、地域とどう関わっていくのかについて具体的な地域の事例を踏まえて考えます。				大学の学びを通して地域とどう関わるかを考える(2時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
講義用プリントが配布されます。		出席レポート：40% 定期試験：60% 講義回ごとに感想・質問などを記入して提出する出席レポートと、定期試験を総合して評価を行います。 <評価基準> S:授業内容を正しく理解し、自分の考えを論理的に説明でき、自分自身の学びに生かせる。A:授業内容を正しく理解し、自分の考えを論理的に説明できる。B:授業内容を理解し、説明できる。C:授業内容を理解している。								
参考書		履修上の注意（学生へのメッセージ）								
「まちが変わる 若者が育ち、人が元気になる 松本大学生がかかわった」白戸洋著（松本大学出版会） ISBN：4902915138 「小布施 まちづくりの奇跡」川向正人著（新潮社） ISBN：4106103540		これから松本大学での学びを深めていくうえで重要となる地域についての入門的な内容を扱う講義となります。本講義の内容と、自己の経験やこれから学びたいことを関連付けて下さい。皆さんの積極的な参加を求めます。								

科目名	地域史（地誌）		学年学期	1年後期	単位数	2	ナパ'リング	UL11102	研究室	W-22
担当者	木村 晴壽		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	月曜日1限、火曜日1限		
関連資格	中一（社会）				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）					
		A	B	C						
授業概要										
<p>地域の歴史を正しく理解することは、地域の観光や福祉を考える場合にも有効だろうし、地域商工業の発展をはかるうえでも不可欠といえます。しかし地域史を学ぶ本当の意味は、歴史を見る際の勘所をおさえることにあります。松本地方の地域史は松本だけのことで他の地域とは全く関係がないのではありません。皆さんが、他の地域の歴史を知ろうとすると、どこか目をつけてその地域の歴史をたどったらよいか、そのポイントを把握することになるのです。毎回、前回の内容をフィードバックします。</p>										
学修到達目標										
日本全体の歴史の中で、信州や松本地方の歴史はどこに特徴があるのかを理解することが目標です。										
授業の進め方										
基本的には教員からの説明を主体とした講義形式で進めます。アウトキャンパス等は計画していません。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	ガイダンスと講義全体についての基礎知識を説明				事前、テキスト1～3頁を熟読(2時間)。事後、授業での指摘事項を調べる(2時間)。				
2	中世の信州	戦国時代の信州と松本について概略的に解説する				事前、テキスト4～8頁を熟読(2時間)。事後、授業での指摘事項を調べる(2時間)。				
3	近世の地域（全国的傾向）	太閤検地を起点として日本近世の仕組みを概説する				事前、テキスト10～13頁を熟読(2時間)。事後、授業での指摘事項を調べる(2時間)。				
4	信州の年貢	近世において領主と農民の関係の基軸である年貢収受関係に関し、特に信州の各藩を取り上げ、年貢の実態を解説する				事前、テキスト14～18頁を熟読(2時間)。事後、授業での指摘事項を調べる(2時間)。				
5	江戸時代の松本	信州の中でも特に松本平に関し、その特徴を解説する				事前、テキスト18～20頁を熟読(2時間)。事後、授業での指摘事項を調べる(2時間)。				
6	“県”の成り立ち	明治期になって繰り返される県の合併について、詳述する				事前、テキスト22～29頁を熟読(2時間)。事後、授業での指摘事項を調べる(2時間)。				
7	「長野県」の誕生	初期の「長野県」および第二次「長野県」、そして現代の長野県が誕生するまでの複雑な経緯を詳述する				事前、テキスト30～33頁を熟読(2時間)。事後、授業での指摘事項を調べる(2時間)。				
8	市町村の整備	府県レベルの整備に続き、市町村の整備が展開する過程を詳述する。併せて町村合併が強行された事情にも触れる				事前、テキスト34～36頁を熟読(2時間)。事後、授業での指摘事項を調べる(2時間)。				
9	“市”の誕生	町村レベルの整備と併行して、わが国で初めて「市」が設定された経緯と、その実態について詳述する				事前、テキスト36～41頁を熟読(2時間)。事後、授業での指摘事項を調べる(2時間)。				
10	地域の商工業	地域に展開する商工業に関し、商工会議所を取り上げて解説する。特に松本商工会議所には特徴的な歴史があり、その点についても詳述する				事前、テキスト42～48頁を熟読(2時間)。事後、授業での指摘事項を調べる(2時間)。				
11	松本の製糸業と商工業	信州全土で盛んとなった製糸業について概説し、松本での製糸業の展開を、商工業全体の発展と関連づけて説明する				事前、テキスト42～48頁を熟読(2時間)。事後、授業での指摘事項を調べる(2時間)。				
12	信州の産業組合	信州で著しく発展した戦前の産業組合について、実態に即した説明をする				事前、テキスト50～58頁を熟読(2時間)。事後、授業での指摘事項を調べる(2時間)。				
13	地域の実業教育	松本市の誕生とともに始まる松本成成商業学校問題について、市議会資料にもとづいて解説する				事前、テキスト60～69頁を熟読(2時間)。事後、授業での指摘事項を調べる(2時間)。				
14	戦後の地域	戦前の歴史の上に、戦時中の特殊事情が加わり、どのように戦後の地域経済が形成されるのかを、概略的に説明する				事前、テキスト71～80頁を熟読(2時間)。事後、授業での指摘事項を調べる(2時間)。				
15	総括	地域の歴史を、政治・経済・社会という側面ごとに振り返り、総括する				事前、テキスト全体を通読(4時間)。事後、授業での指摘事項を調べる(2時間)。				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「地域史（地誌）」木村晴壽著松本大学総合経営学部編(生協で購入してください。)				レポート：50% 定期試験：50% 基本的には期末試験の結果を重視します。授業に出席するのが基本なので欠欠に関してはあまり重視しません。S:授業内容を十分に理解し、日本の経済発展について解説できる。A:授業内容を理解している。B:授業内容をおおよそ理解している。C:授業内容を6割程度理解している。						
参考書				履修上の注意（学生へのメッセージ）						
「長野県史」長野県編 「松本市史」				本講義では「遅刻」という範疇はありません。時間通りに着席することが基本です。						

科目名	知の技法	学年学期	1年後期	単位数	2	ナパリング	UL11103	研究室	A-16
担当者	守 一雄	必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日5限、木曜日5限		
関連資格				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
		A	B	C					
授業概要									
教養ある大人となるための「知の技法」を実習します。「知の技法」は広範囲に及びますが、この授業では言語の活用技術に絞って「読み・書き・聞き・話す」という4つの技能について実習を通して学びます。具体的には、3冊の課題図書を読み、レポートを6回書き、本の内容について6回ディベート(聞き、話す)をします。なお、最終試験の受験資格が与えられるのは「ディベートに5回以上出席し、すべての読後レポートを提出」した者としてします。									
学修到達目標									
1) 本を決められた期間内に読めるようになる。2) パラグラフ・ライティングで文章が書けるようになる。3) ディベートで相手の主張を正しく聞き取ることができるようになる。4) ディベートで自分の意見を決められた時間内に話すことができるようになる。									
授業の進め方									
15回の授業のうち、6回を講義と実習、6回を小グループによるディベートにあてます。講義を聞くだけでなく、課題図書を読み、読後レポートを書き、ディベートで聞き、話すことで、言語の4つの機能をフル活用する授業となるようにします。									
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容				事前事後学修			
1	オリエンテーション	この授業の進め方/ディベートのやり方と利点について説明し、学びます。				課題図書(1)を読む。(4時間)			
2	パラグラフライティング	レポートの書き方実習(三論点意見文章法)/パラグラフライティングについて説明し、学びます。				課題図書(1)の読書(4時間)			
3	ディベート	ディベート導入の是非についてディベートします。				読後レポート(1)の作成、提出(4時間)			
4	相互添削実習	レポート(1)の返却と相互添削実習 文章推敲の意義と方法について学びます。				レポート(1)の書き直し(4時間)			
5	ディベート	ディベート導入の是非について再度ディベートします。				レポート(1)の完成版提出(4時間)			
6	意見と感想	レポート(1)完成版返却とコメント 絶対評価と相対評価について学びます。				課題図書(2)の読書(4時間)			
7	ディベート	課題図書(2)に関するテーマについてディベートします。				課題図書(2)のレポート(3)提出(4時間)			
8	レポート(3)の相互添削実習	レポート(3)の相互添削実習/三論点文章法の応用について説明し、学びます。				読後レポート(3)の推敲、完成版作成(4時間)			
9	ディベート	課題図書(2)に関するテーマについてディベートします。				レポート(3)の書き直しと完成版(4)の提出(4時間)			
10	英語を学ぶことの意義	レポート(4)返却とコメント/科学的思考方法について説明し、学びます。				課題図書(3)の読書(4時間)			
11	ディベート	課題図書(3)に関するテーマについてディベートします。				課題図書(3)のレポート(5)提出(4時間)			
12	英語学習の実際	レポート(5)の相互添削実習/三論点文章法の応用について説明し、学びます。				読後レポート(5)の推敲、完成版(6)作成(4時間)			
13	ディベート	課題図書(3)に関するテーマについてディベートします。				読後レポート(6)の作成、提出(4時間)			
14	知の技法まとめ	レポート(6)を返却しコメントについて説明します。				総合的復習(4時間)			
15	最終試験・授業アンケート	最終試験(=定期試験)・解答について解説をします。				総合的復習(4時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準							
「ザ・ディベート」茂木秀昭著(ちくま新書) ISBN:978-4480058928(生協で購入してください。) 課題図書 「残念ながら、その文章では伝わりません」山口拓朗著(たいわ文庫) ISBN:978-4479306597(生協で購入してください。) 課題図書 「英語を制するライティング」キム ジョンキユ著(講談社現代新書)(別途、指示します。) 課題図書		定期試験:100% S:課題を基準レベルで達成し、授業内容の理解、授業内活動、課題図書、自主的学習の3つ以上において優れた成果を示した。A:課題を基準レベルで達成し、授業内容の理解、授業内活動、課題図書、自主的学習の2つ以上において優れた成果を示した。B:課題を基準レベルで達成し、授業内容の理解、授業内活動、課題図書、自主的学習において優れた成果を示した。C:課題すべてを基準レベルで達成した。なお、定期試験として行う最終試験では、知識を問うような試験はしません。							
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)							
特になし。		楽な授業ではありませんが、本を読む習慣が付き、文章を書く力がつくはずですが、また、ディベートを通して、自分の主張をわかりやすく話し、相手の主張をしっかりと聞き取れるようになると思います。							

科目名	総合英語 (INT) Aクラス	学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	UL12101	研究室	非常勤	
担当者	イサー フィリップ	必修選択	必修	科目種別	講義	オイスアワ				
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(公民)			履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)							
		A	B	C						
授業概要										
本授業では、実際に使える英語の習得を目指しコミュニケーションを重視しながら4技能をバランスよく身につけます。TED talksのプレゼンテーションを通じて単語学習、リスニング問題、ディスカッション、ライティング課題に取り組むことで、英語でのプレゼンテーション能力も養います。プレイメントテスト成績に基づく選抜クラス(原則20名以下)です。学部横断のクラスになります。										
学修到達目標										
オールイングリッシュの授業が理解できる。日常的なトピックにおいて自分の考えを表現したり、相手に質問をしたりして会話のやりとりができる。プレゼンテーションの際には自信をもって淀みなく英語を発話することができる。4技能5領域においてCEFR A2レベル同等の知識とスキルを習得している。										
授業の進め方										
外国人講師による英語での授業です。ICT教材を活用しながら、ペアでのQ&A、グループでのディスカッション等、学生が主体的に取り組む時間を多く設けます。中間、期末テストでは一人ひとりにプレゼンテーション発表の機会を設けます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	授業ガイダンス	授業の概要と目標、授業の進め方などについて説明。英語に対する苦手意識や心のバリアを取り払い、授業に積極的に取り組む準備をします。					自分に合った学習計画を立てロードマップに記入(1時間)			
2	Spending Habits	導入 単語・文法 Infographic and SPEAKING(dialogue) Critical Thinking					単語 Dialogue 音読トレーニング PRE-READING サイトラ・音読 (1時間)			
3	Spending Habits	テキストリーディング Qs for deeper understanding Words & Phrases Critical Thinking TED Talks 視聴					単語 TED talks視聴 メッセージ訳・PREVIEWING (1時間)			
4	Spending Habits	TED talks視聴 Comprehension Questions Critical Thinking Words & Phrases Presentation Skills					単語 TED talksスクリプト音読 Writing (1時間)			
5	Career Paths	Writing 課題 フィードバック 単語・文法 Infographic and SPEAKING(dialogue) Critical Thinking Presentation prep					単語 Dialogue 音読トレーニング PRE-READING サイトラ・音読 Writing(Re-write) (1時間)			
6	Career Paths	テキストリーディング Qs for deeper understanding Critical Thinking TED Talks視聴 Presentation prep					単語 TED talks視聴 メッセージ訳・PREVIEWING Presentation prep (1時間)			
7	Career Paths	TED talks視聴 Comprehension Questions Critical Thinking Presentation Skills Presentation prep					単語 TED talksスクリプト音読 Presentation practice Writing (1時間)			
8	中間テスト Presentation	Presentation "Introducing someone you know"					Unit6 Challenges PRE- READING, UNDERSTANDING, VOVABULARY (1時間)			
9	Talents	単語・文法 Infographic and SPEAKING(dialogue) Critical Thinking					単語 Dialogue 音読トレーニング PRE-READING サイトラ・音読 (1時間)			
10	Talents	テキストリーディング Qs for deeper understanding Words & Phrases Critical Thinking TED Talks視聴					単語 TED talks視聴 メッセージ訳・PREVIEWING (1時間)			
11	Talents	TED talks視聴 Comprehension Questions Critical Thinking Words & Phrases Presentation Skills					単語 TED talksスクリプト音読 Writing (1時間)			
12	Techonology	Writing 課題 フィードバック 単語・文法 Infographic and SPEAKING(dialogue) Critical Thinking Presentation prep					単語 Dialogue 音読トレーニング PRE-READING サイトラ・音読 Writing(Re-write) (1時間)			
13	Techonology	テキストリーディング Questions for deeper understanding Critical Thinking TED Talks視聴 Presentation prep					単語 TED talks視聴 メッセージ訳・PREVIEWING Presentation prep (1時間)			
14	Techonology	TED talks視聴 Comprehension Questions Critical Thinking Presentation Skills Presentation prep					単語 TED talksスクリプト音読 Presentation practice Writing (1時間)			
15	Presentation	Presentation "Introducing a new piece of technology"					期末試験範囲の学習(4時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準								
「Keynote 1 Student Book with My Keynote Online」David Bohke著(センゲ・ジラーニング) ISBN:9781337104104 (生協で購入してください。)		受講態度:10% 定期試験:30% 課題:30% 小テスト:30% S:授業内容を高度に理解するとともに、例題からは難しい応用問題が解ける。 A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。受講態度は授業中の発言回数、意欲等が評価されます。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
授業内で紹介します。		インターネット上の音声や映像を使った課題が出ます。PC、スマートフォンのいずれかが必要です。英語上達は積極的な参加姿勢と地道な努力が不可欠です。授業環境に應ずる積極的に取り組んで下さい。								

科目名	総合英語 (INT) Bクラス	学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	UL12101	研究室	非常勤
担当者	タチ イミ-	必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(公民)	履修条件							
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C					
授業概要									
本授業では、実際に使える英語の習得を目指しコミュニケーションを重視しながら4技能をバランスよく身につけます。TED talksのプレゼンテーションを通じて単語学習、リスニング問題、ディスカッション、ライティング課題に取り組むことで、英語でのプレゼンテーション能力も養います。プレイメントテスト成績に基づく選抜クラス(原則20名以下)です。学部横断のクラスになります。									
学修到達目標									
オールイングリッシュの授業が理解できる。日常的なトピックにおいて自分の考えを表現したり、相手に質問をしたりして会話のやりとりができる。プレゼンテーションの際には自信をもって淀みなく英語を発話することができる。4技能5領域においてCEFR A2レベル同等の知識とスキルを習得している。									
授業の進め方									
外国人講師による英語での授業です。ICT教材を活用しながら、ペアでのQ&A、グループでのディスカッション等、学生が主体的に取り組む時間を多く設けます。中間、期末テストでは一人ひとりにプレゼンテーション発表の機会を設けます。									
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容					事前事後学修		
1	授業ガイダンス	授業の概要と目標、授業の進め方などについて説明。英語に対する苦手意識や心のバリアを取り払い、授業に積極的に取り組む準備をします。					自分に合った学習計画を立てロードマップに記入(1時間)		
2	Spending Habits	導入 単語・文法 Infographic and SPEAKING(dialogue) Critical Thinking					単語 Dialogue 音読トレーニング PRE-READING サイトラ・音読 (1時間)		
3	Spending Habits	テキストリーディング Qs for deeper understanding Words & Phrases Critical Thinking TED Talks 視聴					単語 TED talks視聴 メッセージ訳・PREVIEWING (1時間)		
4	Spending Habits	TED talks視聴 Comprehension Questions Critical Thinking Words & Phrases Presentation Skills					単語 TED talksスクリプト音読 Writing (1時間)		
5	Career Paths	Writing 課題 フィードバック 単語・文法 Infographic and SPEAKING(dialogue) Critical Thinking Presentation prep					単語 Dialogue 音読トレーニング PRE-READING サイトラ・音読 Writing(Re-write) (1時間)		
6	Career Paths	テキストリーディング Qs for deeper understanding Critical Thinking TED Talks視聴 Presentation prep					単語 TED talks視聴 メッセージ訳・PREVIEWING Presentation prep (1時間)		
7	Career Paths	TED talks視聴 Comprehension Questions Critical Thinking Presentation Skills Presentation prep					単語 TED talksスクリプト音読 Presentation practice Writing (1時間)		
8	中間テスト Presentation	Presentation "Introducing someone you know"					Unit6 Challenges PRE- READING, UNDERSTANDING, VOVABULARY (1時間)		
9	Talents	単語・文法 Infographic and SPEAKING(dialogue) Critical Thinking					単語 Dialogue 音読トレーニング PRE-READING サイトラ・音読 (1時間)		
10	Talents	テキストリーディング Qs for deeper understanding Words & Phrases Critical Thinking TED Talks視聴					単語 TED talks視聴 メッセージ訳・PREVIEWING (1時間)		
11	Talents	TED talks視聴 Comprehension Questions Critical Thinking Words & Phrases Presentation Skills					単語 TED talksスクリプト音読 Writing (1時間)		
12	Techonology	Writing 課題 フィードバック 単語・文法 Infographic and SPEAKING(dialogue) Critical Thinking Presentation prep					単語 Dialogue 音読トレーニング PRE-READING サイトラ・音読 Writing(Re-write) (1時間)		
13	Techonology	テキストリーディング Questions for deeper understanding Critical Thinking TED Talks視聴 Presentation prep					単語 TED talks視聴 メッセージ訳・PREVIEWING Presentation prep (1時間)		
14	Techonology	TED talks視聴 Comprehension Questions Critical Thinking Presentation Skills Presentation prep					単語 TED talksスクリプト音読 Presentation practice Writing (1時間)		
15	Presentation	Presentation "Introducing a new piece of technology"					期末試験範囲の学習(4時間)		
テキスト		成績評価の方法・基準							
「Keynote 1 Student Book with My Keynote Online」David Bohke著(センゲ・ジラーニング) ISBN:9781337104104 (生協で購入してください。)		受講態度:10% 定期試験:30% 課題:30% 小テスト:30% S:授業内容を高度に理解するとともに、例題からは難しい応用問題が解ける。 A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。受講態度は授業中の発言回数、意欲等が評価されます。							
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)							
授業内で紹介します。		インターネット上の音声や映像を使った課題が出ます。PC、スマートフォンのいずれかが必要です。英語上達は積極的な参加姿勢と地道な努力が不可欠です。授業環境に應ずる積極的に取り組んで下さい。							

科目名	総合英語 (観光) Aクラス	学年学期	1年前期	単位数	1	ナバ'リング	UL12101	研究室	非常勤
担当者	吉田 美咲	必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(公民)	履修条件							
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)						
	A	B	C						
授業概要									
この授業では、基礎文法を復習しながら実際のコミュニケーションに使える英語を修得します。海外の日常生活をドラマ仕立てにした動画を用いて、理解と活用練習を行います。ネイティブが話す英語の音の変化を学び、聞き取れるよう取り組みます。また、同じような場面設定で実際に会話ができるよう、様々なフレーズを学習します。異文化を題材にした100語程度の題材を使用し、リーディングの基礎力も養います。									
学修到達目標									
ネイティブスピーカーが話す自然なスピードの英語を聞きとることができる。 基礎文法の知識を身に付けて海外で日常生活ができる程度の表現と理解ができる。 短い文章を読み、推測しながらおおまかな概要を把握できる。									
授業の進め方									
ICT教材を使用し、アウトプット中心の体験型学習を通し会話を修得します。ペア・グループでのやりとりを毎回行います。100語程度の短い文章のリーディングも取り入れます。ブレイスメントテスト成績に基づく小人数クラス(原則20名以下)で行います。									
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容				事前事後学修			
1	授業ガイダンス 英語学習のための意識改革と学習方法	授業の概要と目標、授業の進め方などについて説明。英語に対する苦手意識や心のバリアを取り払い、授業に積極的に取り組む準備をします。				自分に合った学習計画を立てロードマップ記入、音声ダウンロード(1時間)			
2	Scene1: It's so nice to meet you! be動詞と一般動詞、挨拶をする	授業の概要と目標、授業の進め方を説明 be動詞と一般動詞の性質や使い方の確認 「握手」についての長文				Scene1単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
3	Scene2: Is he a popular professor?疑問文と否定文、自己紹介をする	疑問文と否定文の特徴 自己紹介する際の口語表現 「クラブ活動」についての長文				Scene2単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
4	Scene3: He showed me "a" way 現在形と過去形、感想を言う	現在形と過去形の使い方 自分の感想や感情を表す口語表現 「ホームステイ」についての長文				Scene3単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
5	Scene4: For here or to go?可算名詞と不可算名詞、注文をする	可算名詞と不可算名詞の違いと使い方 注文をする時の口語表現 「Freshman 15」についての長文				Scene4単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
6	Scene5: She is so beautiful 代名詞、お願いをする	代名詞の確認 お願いをする時の口語表現 「キャンパスライフ」についての長文				Scene5単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
7	Scene6: Catching a cab 前置詞、場所を説明する	前置詞の性質と使い方 場所を説明する時の口語表現 「チップ」についての長文				Scene6単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Reading中間テスト準備(1時間)			
8	中間テスト(口述) Scene7: How Romantic!	中間テスト:ロールプレイ発表 残り時間:形容詞と副詞の違いと使い方 人を描写する際の口語表現				Scene7単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Reading中間テスト準備(1時間)			
9	中間テスト(筆記) Scene8: I'm not feeling well 助動詞、体調を述べ	口述テストのフィードバック 中間テスト:筆記 助動詞の種類と使い方 体調を表現するときの口語表現				Scene8単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
10	Scene9: Tickets for a Yankees Game 進行形、誘う	進行形の使い方 行動を誘う時の口語表現 「大学スポーツ」についての長文				Scene9単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
11	Scene10: What's on the shopping list?接続詞、誘いを断る	進行形の使い方 行動を誘う時の口語表現 「健康的な食」についての長文				Scene10単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
12	Scene11: MoMA is fun! 現在完了形、聞き直す	現在完了の使い方 聞き直すときの口語表現 「ブロードウェイ」についての長文				Scene11単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
13	Scene12: The "Fourth of July" is coming up 未来形、予定を尋ねる	未来形の種類と使い方 予定を尋ねる時の口語表現 「独立記念日」についての長文				Scene12単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
14	Scene13: Who is that guy?!不定詞と動名詞、提案する	不定詞と動名詞の性質と使い方 提案する時の口語表現 「カレッジタウン」についての長文				Scene13単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
15	まとめ	口述テスト 残りのユニットを確認				期末試験に向けての準備(4時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準							
「映像で学ぶ はじめてのNYホームステイ - Hello New York! -」土屋武久、本多吉彦 Braven Smillie 著(金星堂) ISBN:9784764740112(生協で購入してください。)		受講態度:10% 定期試験:30% 課題:30% 小テスト:30% S:授業内容を高度に理解するとともに、例題からは難しい応用問題が解ける。 A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。受講態度は授業中の発言回数、意欲等が評価されます。							
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)							
授業内で紹介します。		インターネットでダウンロードした音声や映像を使った課題が出ます。PC、スマホのいずれかが必要です。英語上達は積極的な参加姿勢と地道な努力が不可欠です。楽しみながら受講して下さい。							

科目名	総合英語 (観光) Bクラス		学年学期	1年前期	単位数	1	ナバ'リング	UL12101	研究室	
担当者	三浦 藍子		必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(公民)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
この授業では、基礎文法を復習しながら実際のコミュニケーションに使える英語を修得します。海外の日常生活をドラマ仕立てにした動画を用いて、理解と活用練習を行います。ネイティブが話す英語の音の変化を学び、聞き取れるよう取り組みます。また、同じような場面設定で実際に会話ができるよう、様々なフレーズを学習します。異文化を題材にした100語程度の題材を使用し、リーディングの基礎力も養います。										
学修到達目標										
ネイティブスピーカーが話す自然なスピードの英語を聞きとることができる。 基礎文法の知識を身に着け海外で日常生活ができる程度の表現と理解ができる。 短い文章を読み、推測しながらおおまかな概要を把握できる。										
授業の進め方										
ICT教材を使用し、アウトプット中心の体験型学習を通し会話を修得します。ペア・グループでのやりとりを毎回行います。100語程度の短い文章のリーディングも取り入れます。ブレイスメントテスト成績に基づく小人数クラス(原則20名以下)で行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス 英語学習のための意識改革と学習方法	授業の概要と目標、授業の進め方などについて説明。英語に対する苦手意識や心のバリアを取り払い、授業に積極的に取り組む準備をします。				自分に合った学習計画を立てロードマップ記入、音声ダウンロード(1時間)				
2	Scene1: It's so nice to meet you! be動詞と一般動詞、挨拶をする	授業の概要と目標、授業の進め方を説明 be動詞と一般動詞の性質や使い方の確認 「握手」についての長文				Scene1単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)				
3	Scene2: Is he a popular professor?疑問文と否定文、自己紹介をする	疑問文と否定文の特徴 自己紹介する際の口語表現 「クラブ活動」についての長文				Scene2単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)				
4	Scene3: He showed me "a" way 現在形と過去形、感想を言う	現在形と過去形の使い方 自分の感想や感情を表す口語表現 「ホームステイ」についての長文				Scene3単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)				
5	Scene4: For here or to go?可算名詞と不可算名詞、注文をする	可算名詞と不可算名詞の違いと使い方 注文をする時の口語表現 「Freshman 15」についての長文				Scene4単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)				
6	Scene5: She is so beautiful 代名詞、お願いをする	代名詞の確認 お願いをする時の口語表現 「キャンパスライフ」についての長文				Scene5単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)				
7	Scene6: Catching a cab 前置詞、場所を説明する	前置詞の性質と使い方 場所を説明する時の口語表現 「チップ」についての長文				Scene6単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Reading中間テスト準備(1時間)				
8	中間テスト(口述) Scene7: How Romantic!	中間テスト:ロールプレイ発表 残り時間:形容詞と副詞の違いと使い方 人を描写する際の口語表現				Scene7単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Reading中間テスト準備(1時間)				
9	中間テスト(筆記) Scene8: I'm not feeling well 助動詞、体調を述べ	口述テストのフィードバック 中間テスト:筆記 助動詞の種類と使い方 体調を表現するときの口語表現				Scene8単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)				
10	Scene9: Tickets for a Yankees Game 進行形、誘う	進行形の使い方 行動を誘う時の口語表現 「大学スポーツ」についての長文				Scene9単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)				
11	Scene10: What's on the shopping list?接続詞、誘いを断る	進行形の使い方 行動を誘う時の口語表現 「健康的な食」についての長文				Scene10単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)				
12	Scene11: MoMA is fun! 現在完了形、聞き直す	現在完了の使い方 聞き直すときの口語表現 「ブロードウェイ」についての長文				Scene11単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)				
13	Scene12: The "Fourth of July" is coming up 未来形、予定を尋ねる	未来形の種類と使い方 予定を尋ねる時の口語表現 「独立記念日」についての長文				Scene12単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)				
14	Scene13: Who is that guy?!不定詞と動名詞、提案する	不定詞と動名詞の性質と使い方 提案する時の口語表現 「カレッジタウン」についての長文				Scene13単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)				
15	まとめ	口述テスト 残りのユニットを確認				期末試験に向けての準備(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「映像で学ぶ はじめてのNYホームステイ - Hello New York! -」土屋武久、本多吉彦 Braven Smillie 著(金星堂) ISBN:9784764740112(生協で購入してください。)				受講態度:10% 定期試験:30% 課題:30% 小テスト:30% S:授業内容を高度に理解するとともに、例題からは難しい応用問題が解ける。 A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。受講態度は授業中の発言回数、意欲等が評価されます。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。				インターネットでダウンロードした音声や映像を使った課題が出ます。PC、スマホのいずれかが必要です。英語上達は積極的な参加姿勢と地道な努力が不可欠です。楽しみながら受講して下さい。						

科目名	総合英語（観光）Cクラス		学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	UL12101	研究室	
担当者	中田 順		必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(公民)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
この授業では、基礎文法を復習しながら実際のコミュニケーションに使える英語を修得します。海外の日常生活をドラマ仕立てにした動画を用いて、理解と活用練習を行います。ネイティブが話す英語の音の変化を学び、聞き取れるよう取り組みます。また、同じような場面設定で実際に会話ができるよう、様々なフレーズを学習します。異文化を題材にした100語程度の題材を使用し、リーディングの基礎力も養います。										
学修到達目標										
ネイティブスピーカーが話す自然なスピードの英語を聞きとることができる。 基礎文法の知識を身に付けて海外で日常生活ができる程度の表現と理解ができる。 短い文章を読み、推測しながらおおまかな概要を把握できる。										
授業の進め方										
ICT教材を使用し、アウトプット中心の体験型学習を通し会話を修得します。ペア・グループでのやりとりを毎回行います。100語程度の短い文章のリーディングも取り入れます。ブレイスメントテスト成績に基づく小人数クラス(原則20名以下)で行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス 英語学習のための意識改革と学習方法	授業の概要と目標、授業の進め方などについて説明。英語に対する苦手意識や心のバリアを取り払い、授業に積極的に取り組む準備をします。				自分に合った学習計画を立てロードマップ記入、音声ダウンロード(1時間)				
2	Scene1: It's so nice to meet you! be動詞と一般動詞、挨拶をする	授業の概要と目標、授業の進め方を説明 be動詞と一般動詞の性質や使い方の確認 「握手」についての長文				Scene1単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)				
3	Scene2: Is he a popular professor?疑問文と否定文、自己紹介をする	疑問文と否定文の特徴 自己紹介する際の口語表現 「クラブ活動」についての長文				Scene2単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)				
4	Scene3: He showed me "a" way 現在形と過去形、感想を言う	現在形と過去形の使い方 自分の感想や感情を表す口語表現 「ホームステイ」についての長文				Scene3単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)				
5	Scene4: For here or to go?可算名詞と不可算名詞、注文をする	可算名詞と不可算名詞の違いと使い方 注文をする時の口語表現 「Freshman 15」についての長文				Scene4単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)				
6	Scene5: She is so beautiful 代名詞、お願いをする	代名詞の確認 お願いをする時の口語表現 「キャンパスライフ」についての長文				Scene5単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)				
7	Scene6: Catching a cab 前置詞、場所を説明する	前置詞の性質と使い方 場所を説明する時の口語表現 「チップ」についての長文				Scene6単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Reading中間テスト準備(1時間)				
8	中間テスト(口述) Scene7: How Romantic!	中間テスト:ロールプレイ発表 残り時間:形容詞と副詞の違いと使い方 人を描写する際の口語表現				Scene7単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Reading中間テスト準備(1時間)				
9	中間テスト(筆記) Scene8: I'm not feeling well 助動詞、体調を述べ	口述テストのフィードバック 中間テスト:筆記 助動詞の種類と使い方 体調を表現するときの口語表現				Scene8単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)				
10	Scene9: Tickets for a Yankees Game 進行形、誘う	進行形の使い方 行動を誘う時の口語表現 「大学スポーツ」についての長文				Scene9単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)				
11	Scene10: What's on the shopping list?接続詞、誘いを断る	進行形の使い方 行動を誘う時の口語表現 「健康的な食」についての長文				Scene10単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)				
12	Scene11: MoMA is fun! 現在完了形、聞き直す	現在完了の使い方 聞き直すときの口語表現 「ブロードウェイ」についての長文				Scene11単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)				
13	Scene12: The "Fourth of July" is coming up 未来形、予定を尋ねる	未来形の種類と使い方 予定を尋ねる時の口語表現 「独立記念日」についての長文				Scene12単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)				
14	Scene13: Who is that guy?!不定詞と動名詞、提案する	不定詞と動名詞の性質と使い方 提案する時の口語表現 「カレッジタウン」についての長文				Scene13単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)				
15	まとめ	口述テスト 残りのユニットを確認				期末試験に向けての準備(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「映像で学ぶ はじめてのNYホームステイ - Hello New York! -」土屋武久、本多吉彦 Braven Smillie 著(金星堂) ISBN:9784764740112(生協で購入してください。)				受講態度:10% 定期試験:30% 課題:30% 小テスト:30% S:授業内容を高度に理解するとともに、例題からは難しい応用問題が解ける。 A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。受講態度は授業中の発言回数、意欲等が評価されます。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。				インターネットでダウンロードした音声や映像を使った課題が出ます。PC、スマホのいずれかが必要です。英語上達は積極的な参加姿勢と地道な努力が不可欠です。楽しみながら受講して下さい。						

科目名	総合英語 (観光) Dクラス	学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	UL12101	研究室	非常勤	
担当者	山内 志野	必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー				
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(公民)	履修条件								
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)							
		A	B	C						
授業概要										
この授業では、基礎文法を復習しながら実際のコミュニケーションに使える英語を修得します。海外の日常生活をドラマ仕立てにした動画を用いて、理解と活用練習を行います。ネイティブが話す英語の音の変化を学び、聞き取れるよう取り組みます。また、同じような場面設定で実際に会話ができるよう、様々なフレーズを学習します。異文化を題材にした100語程度の題材を使用し、リーディングの基礎力も養います。										
学修到達目標										
ネイティブスピーカーが話す自然なスピードの英語を聞きとることができる。 基礎文法の知識を身に付けて海外で日常生活ができる程度の表現と理解ができる。 短い文章を読み、推測しながらおおまかな概要を把握できる。										
授業の進め方										
ICT教材を使用し、アウトプット中心の体験型学習を通し会話を修得します。ペア・グループでのやりとりを毎回行います。100語程度の短い文章のリーディングも取り入れます。ブレイスメントテスト成績に基づく小人数クラス(原則20名以下)で行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	授業ガイダンス 英語学習のための意識改革と学習方法	授業の概要と目標、授業の進め方などについて説明。英語に対する苦手意識や心のバリアを取り払い、授業に積極的に取り組む準備をします。					自分に合った学習計画を立てロードマップ記入、音声ダウンロード(1時間)			
2	Scene1: It's so nice to meet you! be動詞と一般動詞、挨拶をする	授業の概要と目標、授業の進め方を説明 be動詞と一般動詞の性質や使い方の確認 「握手」についての長文					Scene1単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
3	Scene2: Is he a popular professor?疑問文と否定文、自己紹介をする	疑問文と否定文の特徴 自己紹介する際の口語表現 「クラブ活動」についての長文					Scene2単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
4	Scene3: He showed me "a" way 現在形と過去形、感想を言う	現在形と過去形の使い方 自分の感想や感情を表す口語表現 「ホームステイ」についての長文					Scene3単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
5	Scene4: For here or to go?可算名詞と不可算名詞、注文をする	可算名詞と不可算名詞の違いと使い方 注文をする時の口語表現 「Freshman 15」についての長文					Scene4単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
6	Scene5: She is so beautiful 代名詞、お願いをする	代名詞の確認 お願いをする時の口語表現 「キャンパスライフ」についての長文					Scene5単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
7	Scene6: Catching a cab 前置詞、場所を説明する	前置詞の性質と使い方 場所を説明する時の口語表現 「チップ」についての長文					Scene6単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Reading中間テスト準備(1時間)			
8	中間テスト(口述) Scene7: How Romantic!	中間テスト:ロールプレイ発表 残り時間:形容詞と副詞の違いと使い方 人を描写する際の口語表現					Scene7単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Reading中間テスト準備(1時間)			
9	中間テスト(筆記) Scene8: I'm not feeling well 助動詞、体調を述べ	口述テストのフィードバック 中間テスト:筆記 助動詞の種類と使い方 体調を表現するときの口語表現					Scene8単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
10	Scene9: Tickets for a Yankees Game 進行形、誘う	進行形の使い方 行動を誘う時の口語表現 「大学スポーツ」についての長文					Scene9単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
11	Scene10: What's on the shopping list?接続詞、誘いを断る	進行形の使い方 行動を誘う時の口語表現 「健康的な食」についての長文					Scene10単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
12	Scene11: MoMA is fun! 現在完了形、聞き直す	現在完了形の使い方 聞き直すときの口語表現 「ブロードウェイ」についての長文					Scene11単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
13	Scene12: The "Fourth of July" is coming up 未来形、予定を尋ねる	未来形の種類と使い方 予定を尋ねる時の口語表現 「独立記念日」についての長文					Scene12単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
14	Scene13: Who is that guy?!不定詞と動名詞、提案する	不定詞と動名詞の性質と使い方 提案する時の口語表現 「カレッジタウン」についての長文					Scene13単語学習 Let's Watchパート音読練習 文法演習 Readingパートサイトラ(1時間)			
15	まとめ	口述テスト 残りのユニットを確認					期末試験に向けての準備(4時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準								
「映像で学ぶ はじめてのNYホームステイ - Hello New York! -」土屋武久、本多吉彦 Braven Smillie 著(金星堂) ISBN:9784764740112(生協で購入してください。)		受講態度:10% 定期試験:30% 課題:30% S:授業内容を高度に理解するとともに、例題からは難しい応用問題が解ける。 A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。受講態度は授業中の発言回数、意欲等が評価されます。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
授業内で紹介します。		インターネットでダウンロードした音声や映像を使った課題が出ます。PC、スマホのいずれかが必要です。英語上達は積極的な参加姿勢と地道な努力が不可欠です。楽しみながら受講して下さい。								

科目名	総合英語 (INT) Aクラス		学年学期	1年後期	単位数	1	ナバリング	UL12102	研究室	非常勤
担当者	イサー フィリップ		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスアワ			
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(公民)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
総合英語 で身につけた4技能を発展させ、自分の考えをさらに自由に表現できるようになることを目指します。前期に引き続きTed talksのプレゼンテーションを視聴しながらより掘り下げた内容でペアやグループでの意見交換を行います。また、より洗練された英語でのプレゼンテーションができるよう力をつけていきます。プレイメントテスト成績に基づく選抜クラス(原則20名以下)です。学部横断のクラスになります。										
学修到達目標										
オールイングリッシュの授業が理解できる。日常的なトピックにおいて自分の考えを表現したり、相手に質問をしたりしてスムーズに会話のやりとりができる。プレゼンテーションの際には自信をもって英語を話すことができる。4技能5領域においてCEFR A2以上の知識とスキルを習得している。										
授業の進め方										
外国人講師による英語での授業です。ICT教材を活用しながら、ペアでのQ&A、グループディスカッション、意見を書き表す等の活動を通じて学生が主体的に取り組む時間を多く設けます。授業内で一人ひとりにプレゼンテーション発表の機会を設けます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	Confidence	導入 単語・文法 Infographic and SPEAKING(dialogue) Critical Thinking				単語 Dialogue 音読トレーニング Pre-reading サイトラ・音読 (1時間)				
2	Confidence	テクスツリーディング Qns for deeper understanding Words & Phrases Critical Thinking TED Talks視聴				単語, Writing Task メッセージ訳・PREVIEWING (1時間)				
3	Confidence	TED talks視聴 Comprehension Questions Critical Thinking Words & Phrases Presentation Skills Small Quiz#1				単語 TED talksスクリプト音読 Writing (1時間)				
4	Achievements	Writing 課題 フィードバック 単語・文法 Infographic and SPEAKING(dialogue) Critical Thinking. Presentation #1 Part 1				単語, Writing Task, PRE-READING サイトラ・音読 (1時間)				
5	Achievements	テクスツリーディング Qs for deeper understanding Critical Thinking. Presentation #1 Part 2				単語, TED talks視聴 Writing Tasks (1時間)				
6	Achievements	TED talks視聴 Comprehension Questions Critical Thinking Presentation #1 Part 3				単語 TED talksスクリプト音読 Writing Task (1時間)				
7	Creative Cities	単語・文法 Infographic and SPEAKING(dialogue) Critical Thinking. Presentation #1 Part 4				単語 re-reading スラッシュリーディング Writing Task・音読 (1時間)				
8	Creative Cities	テクスツリーディング Questions for deeper understanding. Small Quiz #2 Words & Phrases Critical Thinking				単語 TED talks視聴 メッセージ訳・PREVIEWING (1時間)				
9	Creative Cities	TED talks視聴 Comprehension Questions Critical Thinking Words & Phrases				単語, TED talks視聴 Writing Task (1時間)				
10	Healthy Habits	Writing 課題 フィードバック 単語・文法 Infographic and SPEAKING(dialogue) Critical Thinking TED Talks視聴				単語, Pre-reading, Writing Task (1時間)				
11	Healthy Habits	テクスツリーディング Qs for deeper understanding Critical Thinking TED Talks視聴 Presentation #2 part 1				単語, TED talks視聴 メッセージ訳・PREVIEWING Writing Task (1時間)				
12	Healthy Habits	TED talks視聴 Comprehension Questions Critical Thinking Presentation Skills Presentation #2 part 2				単語, TED talksスクリプト音読 Writing Task (1時間)				
13	Picture Perfect	Guess chapter, Critical Thinking activity, Listening				単語, TED talksスクリプト音読 Writing Task (1時間)				
14	Picture Perfect	テクスツリーディング Questions for deeper understanding, Critical Thinking				単語, Reading, Writing Task (1時間)				
15	Picture Perfect	TED talks視聴 Comprehension Questions, Small Quiz #3, Semester Review Activity				単語 TED talksスクリプト音読 Exam Study(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「Student Book with My Keynote Online」David Bohlke著(センゲ-ジラニング) ISBN:9781337104104 前期のテキストを引き続き使用します。				受講態度:10% 定期試験:30% 課題:30% 小テスト:30% S:授業内容を高度に理解するとともに、例題からは難しい応用問題が解ける。 A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。受講態度は授業中の発言回数、意欲等が評価されます。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。				インターネット上の音声や映像を使った課題が出ます。PC、スマートフォンのいずれかが必要です。英語上達は積極的な参加姿勢と地道な努力が不可欠です。授業環境に應ずる積極的に取り組んで下さい。						

科目名	総合英語 (INT) Bクラス		学年学期	1年後期	単位数	1	ナバリング	UL12102	研究室	非常勤
担当者	タチ イミ-		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(公民)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
総合英語 で身につけた4技能を発展させ、自分の考えをさらに自由に表現できるようになることを目指します。前期に引き続きTed talksのプレゼンテーションを視聴しながらより掘り下げた内容でペアやグループでの意見交換を行います。また、より洗練された英語でのプレゼンテーションができるよう力をつけていきます。プレイメントテスト成績に基づく選抜クラス(原則20名以下)です。学部横断のクラスになります。										
学修到達目標										
オールイングリッシュの授業が理解できる。日常的なトピックにおいて自分の考えを表現したり、相手に質問をしたりしてスムーズに会話のやりとりができる。プレゼンテーションの際には自信をもって英語を話すことができる。4技能5領域においてCEFR A2以上の知識とスキルを習得している。										
授業の進め方										
外国人講師による英語での授業です。ICT教材を活用しながら、ペアでのQ&A、グループディスカッション、意見を書き表す等の活動を通じて学生が主体的に取り組む時間を多く設けます。授業内で一人ひとりにプレゼンテーション発表の機会を設けます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	Confidence	導入 単語・文法 Infographic and SPEAKING(dialogue) Critical Thinking				単語 Dialogue 音読トレーニング Pre-reading サイトラ・音読 (1時間)				
2	Confidence	テクスツリーディング Qns for deeper understanding Words & Phrases Critical Thinking TED Talks視聴				単語, Writing Task メッセージ訳・PREVIEWING (1時間)				
3	Confidence	TED talks視聴 Comprehension Questions Critical Thinking Words & Phrases Presentation Skills Small Quiz#1				単語 TED talksスクリプト音読 Writing (1時間)				
4	Achievements	Writing 課題 フィードバック 単語・文法 Infographic and SPEAKING(dialogue) Critical Thinking. Presentation #1 Part 1				単語, Writing Task, PRE-READING サイトラ・音読 (1時間)				
5	Achievements	テクスツリーディング Qs for deeper understanding Critical Thinking. Presentation #1 Part 2				単語, TED talks視聴 Writing Tasks (1時間)				
6	Achievements	TED talks視聴 Comprehension Questions Critical Thinking Presentation #1 Part 3				単語 TED talksスクリプト音読 Writing Task (1時間)				
7	Creative Cities	単語・文法 Infographic and SPEAKING(dialogue) Critical Thinking. Presentation #1 Part 4				単語 re-reading スラッシュリーディング Writing Task・音読 (1時間)				
8	Creative Cities	テクスツリーディング Questions for deeper understanding. Small Quiz #2 Words & Phrases Critical Thinking				単語 TED talks視聴 メッセージ訳・PREVIEWING (1時間)				
9	Creative Cities	TED talks視聴 Comprehension Questions Critical Thinking Words & Phrases				単語, TED talks視聴 Writing Task (1時間)				
10	Healthy Habits	Writing 課題 フィードバック 単語・文法 Infographic and SPEAKING(dialogue) Critical Thinking TED Talks視聴				単語, Pre-reading, Writing Task (1時間)				
11	Healthy Habits	テクスツリーディング Qs for deeper understanding Critical Thinking TED Talks視聴 Presentation #2 part 1				単語, TED talks視聴 メッセージ訳・PREVIEWING Writing Task (1時間)				
12	Healthy Habits	TED talks視聴 Comprehension Questions Critical Thinking Presentation Skills Presentation #2 part 2				単語, TED talksスクリプト音読 Writing Task (1時間)				
13	Picture Perfect	Guess chapter, Critical Thinking activity, Listening				単語, TED talksスクリプト音読 Writing Task (1時間)				
14	Picture Perfect	テクスツリーディング Questions for deeper understanding, Critical Thinking				単語, Reading, Writing Task (1時間)				
15	Picture Perfect	TED talks視聴 Comprehension Questions, Small Quiz #3, Semester Review Activity				単語 TED talksスクリプト音読 Exam Study(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「Student Book with My Keynote Online」David Bohlke著(センゲ-ジラニング) ISBN:9781337104104 前期のテキストを引き続き使用します。				受講態度:10% 定期試験:30% 課題:30% 小テスト:30% S:授業内容を高度に理解するとともに、例題からは難しい応用問題が解ける。 A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。受講態度は授業中の発言回数、意欲等が評価されます。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。				インターネット上の音声や映像を使った課題が出ます。PC、スマートフォンのいずれかが必要です。英語上達は積極的な参加姿勢と地道な努力が不可欠です。授業環境に應ずる積極的に取り組んで下さい。						

科目名	総合英語（総経）Aクラス		学年学期	1年後期	単位数	1	ナバリング	UL12102	研究室	N-01
担当者	大石 文朗		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日3限、金曜日3限		
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(公民)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
カナダへの旅行を想定した内容のテキストを使用し、旅に必要な英語を旅行の順番通りに学ぶことができます。また、旅行英語だけではなく、旅行中に人と出会う際、自分のことについてどういう風に話せばよいのかも網羅しており、海外で役に立つ実践的な英会話表現を習得します。さらに、毎回、実用英語技能検定の過去問に基づいた小テストを実施して、英語力の自己診断を行います。										
学修到達目標										
海外旅行で使用するための重要な英語表現を使いこなすことができる。										
授業の進め方										
1.実用英語技能検定に関する小テストを行います。2.前回授業の簡単な復習を行います。3.新出単語を音読し、意味、発音などの学習を行います。4.テーマごとの英文問題を解きながら、内容を把握して学生同士のペアワークによる会話の練習を行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス 現状の英語能力の確認	授業の進め方、英語能力の確認テスト				テキストP8～15を事前に読む。授業内容や英会話表現などについて復習する。(1時間)				
2	旅行目的地を尋ねる時の英語表現	Where are you heading?に関する英語表現について、学生同士のペアワーク				テキストP16～23を事前に読む。授業内容や英会話表現などについて復習する。(1時間)				
3	入国時の英語表現	May I see your passport?に関する英語表現について、学生同士のペアワーク				テキストP24～31を事前に読む。授業内容や英会話表現などについて復習する。(1時間)				
4	行き先を答える時の英語表現	Where to? に関する英語表現について、学生同士のペアワーク				テキストP32～39を事前に読む。授業内容や英会話表現などについて復習する。(1時間)				
5	宿泊先での英語表現	I asked for a double?に関する英語表現について、学生同士のペアワーク				テキストP40～47を事前に読む。授業内容や英会話表現などについて復習する。(1時間)				
6	観光のおすすめ先を尋ねる時の英語表現	What would you suggest?に関する英語表現について、学生同士のペアワーク				テキストP48～49を事前に読む。授業内容や英会話表現などについて復習する。(1時間)				
7	Unit 5までの復習	Review を行う				テキストP8～49の授業内容や英会話表現などについて復習する。(1時間)				
8	英語力の確認	中間のまとめと試験				テキストP50～57を事前に読む。授業内容や英会話表現などについて復習する。(1時間)				
9	レンタカーを借りる時の英語表現	Here are your keys.に関する英語表現について、学生同士のペアワーク				テキストP58～65を事前に読む。授業内容や英会話表現などについて復習する。(1時間)				
10	道を探る時の英語表現	Turn left at the light.に関する英語表現について、学生同士のペアワーク				テキストP66～73を事前に読む。授業内容や英会話表現などについて復習する。(1時間)				
11	買い物の時の英語表現	How much is this?に関する英語表現について、学生同士のペアワーク				テキストP74～81を事前に読む。授業内容や英会話表現などについて復習する。(1時間)				
12	予定を探る時の英語表現	Are you free tomorrow?に関する英語表現について、学生同士のペアワーク				テキストP82～89を事前に読む。授業内容や英会話表現などについて復習する。(1時間)				
13	レストランでの英語表現	I'll have the steak.に関する英語表現について、学生同士のペアワーク				テキストP90～91を事前に読む。授業内容や英会話表現などについて復習する。(1時間)				
14	Unit 6～Unit 10までの復習	Review を行う				テキストP50～91の授業内容や英会話表現などについて復習する。(1時間)				
15	まとめ	今までの授業の総まとめ				今まで行ったテキストの内容を再度確認する。(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「Encounters Abroad with CD」Michael P. Critchley著(南雲堂) ISBN:978-4-523-17539-1(生協で購入してください。)				小テスト:25% 課題:25% 定期試験:50% S:学修到達目標を十分に達成しており、期待以上に卓越している。A:学修到達目標を十分に達成しており、期待通りである。B:学修到達目標を十分に達成している。C:学修到達目標を達成している。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。				予習・復習は必ずしておいてください。						

科目名	総合英語（総経）Bクラス		学年学期	1年後期	単位数	1	ナパリング	UL12102	研究室	非常勤
担当者	久田 康子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(公民)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)							
		A	B	C						
授業概要										
外国人観光客を街角などで「おもてなし」するための会話力とコミュニケーションスキルを向上させるとともに、フィールドワークでの体験をベースに、短いスキットをグループで製作して発表します。また、国内と海外の観光地事情を、主体的なアクティブラーニングを通じて学びながら、英語の4技能(聞く・話す・読む・書く)を高めていきます。										
学修到達目標										
1.出席レポートを自宅で作成させて、動画や記事の英語情報の要点を把握し、グループ内で情報のシェアができる。 2.フィールドワークで、外国人観光客と英語でコミュニケーションをして交流しその内容をわかりやすく伝えることができる。 3.グループで『おもてなし英語』をテーマにしたスキットを制作して発表する。										
授業の進め方										
主にアクティブラーニングを中心とした演習形式の授業です。具体的には、各自のレポートのグループ発表、街頭インタビュー、クラスでのアイデアの共有とプレゼンテーション、ビデオ視聴、会話と音読のトレーニング等をしていきます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	授業ガイダンス	授業の概要を体験します。(どこでも使える基本フレーズ他)					シラバスを読んで質問を用意し概要を把握しておきましょう。(30分)			
2	インタビューの準備	出席レポートの作成方法を確認します。また、プレゼン[1]の完成に向けて、動画視聴とペアやグループでの学び合いをします。音読練習とペアワークで初対面での会話表現を習得します。					次回のグループシェアに向けて自分の担当部分についての出席レポート[1]の完成(1時間)			
3	インタビューの準備	各自の出席レポート[1]をグループでシェアします。プレゼン[1]の完成に向けて、動画視聴とペアやグループでの学び合いをします。音読練習とペアワークで初対面での会話表現を習得します。					次回のグループシェアに向けて、自分の担当部分についての出席レポート[2]の完成(1時間)			
4	インタビューの準備	各自の出席レポート[2]をグループでシェアします。プレゼン[1]の完成に向けて、動画視聴とペアやグループでの学び合いをします。音読練習とペアワークで初対面での会話表現を習得します。					次回のグループシェアに向けて、自分の担当部分についての出席レポート[3]の完成(1時間)			
5	インタビューの準備	各自の出席レポート[3]をグループでシェアします。プレゼン[1]の完成に向けて、動画視聴とペアやグループでの学び合いをします。音読練習とペアワークで初対面での会話表現を習得します。					次回のグループシェアに向けて、自分の担当部分についての出席レポート[4]の完成(1時間)			
6	プレゼンテーション[1](課題)の原稿作成	各自の出席レポート[4]をグループでシェアします。プレゼン[1]の完成に向けて、動画視聴とペアやグループでの学び合いをします。音読練習とペアワークで初対面での会話表現を習得します。					次回のグループシェアに向けて、自分の担当部分についての出席レポート[5]の完成(1時間)			
7	プレゼンテーション[1](課題)の原稿作成	各自の出席レポート[5]をグループでシェアします。プレゼン[1]の完成に向けて、動画視聴とペアやグループでの学び合いをします。音読練習とペアワークで初対面での会話表現を習得します。					プレゼンテーション[1]の完成と発表練習。(1時間)			
8	プレゼンテーション[1](課題)の発表	プレゼンテーション課題[1]の発表をします。自己と相互でのフィードバックをしてプレゼンテーション課題[2]に役立てます。					次回のグループシェアに向けて、自分の担当部分についての出席レポート[6]の完成(1時間)			
9	プレゼンテーション[2](課題)の準備『タイトル決定』	各自の出席レポート[6]をグループでシェアします。プレゼンテーション[2]のタイトルを決めます。音読練習とペアワークで会話表現を習得します。					次回のグループシェアに向けて、自分の担当部分についての出席レポート[7]の完成(1時間)			
10	プレゼンテーション[2](課題)の準備『シナリオ(5W1H)』	各自の出席レポート[7]をグループでシェアします。プレゼンテーションの完成に向けてストーリーの展開(5W1Hと起承転結)を決めていきます。音読練習とペアワークで会話表現を習得します。					次回のグループシェアに向けて、自分の担当部分についての出席レポート[8]の完成(1時間)			
11	プレゼンテーション[2](課題)の準備『シナリオ(起承転結)』	各自の出席レポート[8]をグループでシェアします。プレゼンテーションの完成に向けて、シナリオの前半部分を完成させていきます。音読練習とペアワークで会話表現を習得します。					次回のグループシェアに向けて、自分の担当部分についての出席レポート[9]の完成(1時間)			
12	プレゼンテーション[2](課題)の準備『シナリオ(完成)』	各自の出席レポート[9]をグループでシェアします。プレゼンテーションの完成に向けて、シナリオの後半部分を完成させていきます。音読練習とペアワークで会話表現を習得します。					次回のグループシェアに向けて、自分の担当部分についての出席レポート[10]の完成(1時間)			
13	プレゼンテーション[2](課題)の最終準備	各自の出席レポート[10]をグループでシェアし、プレゼンテーションの発表に向けて、詳細を決定した後に練習します。					プレゼンテーション[2](課題)の発表の準備。(1時間)			
14	プレゼンテーション[2](課題)の最終準備『リハーサル』	リハーサル					プレゼンテーション[2]の完成と発表練習。(1時間)			
15	プレゼンテーション[2](課題)の発表 定期試験の準備	プレゼンテーション課題[2]の発表とフィードバックをします。					英会話の試験準備。(1時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準								
(講義にて配布します。) ニュースのテーマが変更される場合があります。		出席レポート:40% 課題:40% 定期試験:20% S:授業内容を高度に理解し実践力を身に付け批判的思考力に基づく探究姿勢をもって課題に取り組み応用問題が解ける。A:授業内容を理解し実践力を身に付け積極的な探究姿勢をもって課題に取り組みみや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し実践することができ与えられた課題に誠実に取り組み応用問題が解ける。C:授業内容の60%程度を理解実践することができ与えられた課題に誠実に取り組み授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「辞典(例:ジーニアス英和・和英辞典) 電子辞書を推奨します。」 英和・和英辞書を持参してください。		授業時間外に、フィールドワークがあります。実務経験のある教員が担当:国際線の客室乗務員として乗客サービス等に携わりました。								

科目名	総合英語（総経）Cクラス		学年学期	1年後期	単位数	1	ナバリング	UL12102	研究室	非常勤
担当者	林 英美		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスアワ			
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(公民)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
この講義の目的は、大学で学ぶ皆さんが、コミュニケーションの手段としての英語を楽しく学び、世界に自分の気持ちを発信できる英語を身につけることです。英語に興味はあるけれど、あまり得意ではない学生でも履修できるように、学び直しができる内容となっています。映像を用いた授業では4技能をバランスよく使いながら、英語だけでなく異文化についても学びます。										
学修到達目標										
コミュニケーションの手段としての英語を楽しく学び、世界に自分の気持ちを発信できる英語を身につけることを目的とします。										
授業の進め方										
海外旅行や生活で使える英語表現を学び、会話練習をします。Listening練習で自然な速度の英語に慣れるように練習します。また英語表現を通じて異文化理解を深めます。単語クイズ、会話テスト、定期試験を通じて包括的に評価します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	授業概要、学習目標、授業の進め方、評価の仕方についての説明をします。教科書の構成について説明をし、予習や復習の進め方を説明します。				Unit 1の予習をする。(1時間)				
2	Unit 1	be動詞について学習します。				Unit 1の復習とUnit 2の予習をする。(1時間)				
3	Unit 2	可算名詞、不可算名詞について学習します。				Unit 2の復習とUnit 3の予習をする。(1時間)				
4	Unit 3	一般動詞の現在時制について学習します。				Unit 3の復習とUnit 4の予習をする。(1時間)				
5	Unit 4	代名詞について学びます。				Unit 4の復習とUnit 5の予習をする。(1時間)				
6	Unit 5	一般動詞の過去時制について学びます。				Unit 5の復習とUnit 6の予習をする。(1時間)				
7	Unit 6	進行について学びます。				Unit6の復習をする。(1時間)				
8	Unit 1からUnit 6のまとめ	Unit 1からUnit 6までの復習をします。				Unit6までの復習、Unit 7の予習をする。(1時間)				
9	Unit 7	will/be going to~について学びます。				Unit7の復習とUnit 8の予習をする。(1時間)				
10	Unit 8	助動詞について学びます。				Unit8の復習とUnit 9の予習をする。(1時間)				
11	Unit 9	前置詞について学びます。				Unit9の復習とUnit 10の予習をする。(1時間)				
12	Unit 10	現在完了について学びます。				Unit 10の復習をする。(1時間)				
13	校外学習準備	アウトキャンパススタディで行う英語インタビューの準備をする。				英語インタビューの準備を完成する。(1時間)				
14	アウトキャンパススタディ	外国人が多く訪れる観光地に出かけ、これまでに学習してきた事項を活用した街頭インタビューを実施し、日本への海外旅行者の動向について英語で調査する(松本城近辺予定)。				アウトキャンパススタディの事後レポートを作成する。(1時間)				
15	これまでの学習まとめ	Unit 6からUnit 10までのまとめ学習をします。				Unit 1~Unit 10までの総復習(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「We Love L.A.！」Robert Hickling, Misato Usukura著(金星堂) ISBN:978-4-7647-4049-5(生協で購入してください。)				定期試験:40%、小テスト:20%、レポート:10%、出席レポート:30% 定期試験には、リスニング試験、筆記試験、会話試験が含まれます。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
英和辞典、和英辞典				会話の練習をたくさんして、使える英語の習得を目指します。これから英語圏へ出かけてみたい方、英語を仕事で使いたい方、英語を学び直したい方、ともに役立つ英語表現を実践的に学びましょう。						

科目名	総合英語 (総合経営学部)		学年学期	2年前期	単位数	1	ナパリング	UL22103	研究室	非常勤
担当者	久田 康子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
記事、映像、音声から生きた時事英語のインプットとアウトプットをすることで、英語の4技能(読む、書く、聞く、話す)を高めると共に、批判的思考によってメディアからの情報を見きわめる試みを行います。										
学修到達目標										
1.時事英語に関する10の出席レポートを完成させて、時事英語の要点を的確に把握できる。 2.ニュースに出てくる基本的な語いやフレーズを新たに習得するとともにメディアの情報を取捨選択する能力を高める。 3.二つのスピーチ(『メディアリテラシーについて』と『My News』)を作成して、聞き手に伝わるプレゼンテーションをすることができる。										
授業の進め方										
自主的に取り組むアクティブラーニングの形式で、自宅学習のグループ内発表、各自のプレゼンテーションと相互のフィードバック、ペアとグループでのディスカッションや音読トレーニングを行っていきます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	イントロダクション	授業ガイダンスの説明を受けた後に、授業の概要を体験します。					シラバスをよく読んで質問を用意しておいてください。(30分)			
2	職業に関するニュース	出席レポートの内容確認。CNN等のニュースについてのペアでの内容理解・音読トレーニング・意見の形成とGRシェア。5W1Hを含むストーリー作り。					自分で選んだニュースの5W1Hについての出席レポート[1]の完成(1時間)			
3	教育に関するニュース	出席レポートのグループ内のロールプレイによるシェア、CNN等のニュースについてのペアでの内容理解・音読トレーニング・意見の形成とGRシェア。プレゼンテーション[1]の準備(構成・プレゼン方法)。					自分で選んだニュースの5W1Hについての出席レポート[2]の完成(1時間)			
4	宇宙科学に関するニュース	出席レポートのグループ内のロールプレイによるシェア、CNN等のニュースについてのペアでの内容理解・音読トレーニング・意見の形成とGRシェア。プレゼンテーション[1]の準備(構成・プレゼン方法)。					自分で選んだニュースの5W1Hについての出席レポート[3]の完成(1時間)			
5	環境問題に関するニュース	出席レポートのグループ内のロールプレイによるシェア、CNN等のニュースについてのペアでの内容理解・音読トレーニング・意見の形成とGRシェア。プレゼンテーション[1]の準備(構成・プレゼン方法)。					自分で選んだニュースの5W1Hについての出席レポート[4]の完成(1時間)			
6	シニア世代に関するニュース	出席レポートのグループ内のロールプレイによるシェア、CNN等のニュースについてのペアでの内容理解・音読トレーニング・意見の形成とGRシェア。プレゼンテーション[1]の準備(構成・プレゼン方法)。					自分で選んだニュースの5W1Hについての出席レポート[5]の完成(1時間)			
7	プレゼンテーション[1](課題)発表のための準備	出席レポートのグループ内のロールプレイによるシェア。プレゼンテーション[1]の準備(構成・プレゼン方法)。					プレゼンテーション[1](課題)発表のリハーサル			
8	プレゼンテーション[1](課題)の発表	プレゼンテーション[1](課題)の発表。自己と相互でのフィードバック。					自分で選んだニュースの5W1Hについての出席レポート[6]の完成(1時間)			
9	科学技術に関するニュース	出席レポートのグループ内のロールプレイによるシェア、CNN等のニュースについてのペアでの内容理解・音読トレーニング・意見の形成とGRシェア。プレゼンテーション[2]の準備(構成・プレゼン方法)。					自分で選んだニュースの5W1Hについての出席レポート[7]の完成(1時間)			
10	伝統に関するニュース	出席レポートのグループ内のロールプレイによるシェア、CNN等のニュースについてのペアでの内容理解・音読トレーニング・意見の形成とGRシェア。プレゼンテーション[2]の準備(構成・プレゼン方法)。					自分で選んだニュースの5W1Hについての出席レポート[8]の完成(1時間)			
11	食に関するニュース	出席レポートのグループ内のロールプレイによるシェア、CNN等のニュースについてのペアでの内容理解・音読トレーニング・意見の形成とGRシェア。プレゼンテーション[2]の準備(構成・プレゼン方法)。					自分で選んだニュースの5W1Hについての出席レポート[9]の完成(1時間)			
12	接客サービスに関するニュース	出席レポートのグループ内のロールプレイによるシェア、CNN等のニュースについてのペアでの内容理解・音読トレーニング・意見の形成とGRシェア。プレゼンテーション[2]の準備(構成・プレゼン方法)。					自分で選んだニュースの5W1Hについての出席レポート[10]の完成(1時間)			
13	プレゼンテーション[2](課題)の発表のための準備	出席レポートのグループ内のロールプレイによるシェア。プレゼンテーション[2](課題)の最終準備(構成・プレゼン方法)。					プレゼンテーション[2]のまとめ(1時間)			
14	プレゼンテーション[2](課題)の発表	プレゼンテーション[2]の発表・自己と相互でのフィードバック。					プレゼンテーション[2]の発表に向けたリハーサル(1時間)			
15	定期試験の準備	定期試験に向けて、授業で扱われたCNNニュース他の復習をします。ペアで音読練習をし、疑問点について学び合います。					定期試験に向けて、授業で扱われたCNN等のニュースの復習。(1時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準								
(講義にて配布します。) 各回のテーマにあるニュースの内容は変更する場合があります。		出席レポート：40% 課題：40% 定期試験：20% S：授業内容を高度に理解し実践力を身に付け批判的思考力に基づく探究姿勢で課題に取り組み難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し実践力を身に付け積極的な探究姿勢で課題に取り組みやや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおよそを理解し実践することができ与えられた課題に誠実に取り組み応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し実践することができ、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「辞典(例：ジーニアス英和・和英辞典)」 英和辞典を毎回持参してください。 電子辞書が便利です。		実務経験を持つ教員が担当：米国の中小企業に勤務中、顧客向けのプレゼンテーションを行ないました。								

科目名	総合英語 (総合経営学部)		学年学期	2年後期	単位数	1	ナパリング	UL22104	研究室	非常勤	
担当者	久田 康子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー				
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
			A	B	C						
授業概要											
<p>ビジネスの場で使える実践的な英語にアプローチするために、次の3つの演習に取り組みます。(1)最新のビジネスニュースについての映像を視聴して完成させる出席レポートをグループ内でシェアします。(2)ビジネスプレゼンテーションを完成させ発表します。(3)ビジネスの現場で役に立つ実用的な表現の演習をします。</p>											
学修到達目標											
<p>1. シンプルな英語を使って2つのプレゼンテーション(課題)を完成させて自分のアイデアを聞き手に効果的に伝えることができる。 2. 出席レポートと会話練習他の演習により、読む・書く・聞く・話すの4技能と英語学習への興味を現状レベルより高める。 3. 協働的に課題に取り組むことで、コミュニケーション能力と主体的に課題を解決する能力等を向上させる。</p>											
授業の進め方											
<p>自主的に取り組むアクティブラーニングの形式で、自宅学習後のグループ内発表、プレゼンテーションと相互でのフィードバック、ペアとグループでのディスカッションや教え合い、音読練習を行っていきます。</p>											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	イントロダクション	例題に取り組みながら具体的な授業の流れを把握します。					シラバスをよく読んで内容に関する質問を用意する。(30分)				
2	Presentation[1]課題: 商品・サービスの紹介	出席レポートの作成方法を確認します。Presentation[1]で何を紹介したいか決めていきます。動画による音読練習とペアで会話表現を習得します。					出席レポート[1]の完成。(1時間)				
3	Presentation[1]課題: 商品・サービスの紹介 『特徴』	各自の出席レポート[1]をグループでシェアします。プレゼンテーションで何を紹介したいか決めていきます。動画による音読練習とペアで会話表現を習得します。					出席レポート[2]の完成。(1時間)				
4	Presentation[1]課題: 商品・サービスの紹介 『メリットとデメリット』	各自の出席レポート[2]をグループでシェアします。プレゼンテーションの完成に向けてワークをします。動画による音読練習とペアで会話表現を習得します。					出席レポート[3]の完成。(1時間)				
5	Presentation[1]課題: 商品・サービスの紹介 『商品・サービスの詳細』	各自の出席レポート[3]をグループでシェアします。プレゼンテーションの完成に向けてワークをします。また、動画による音読練習とペアで会話表現を習得します。					出席レポート[4]の完成。(1時間)				
6	Presentation[1]課題: 商品・サービスの紹介 『プレゼンテーションの完成』	各自の出席レポート[4]をグループでシェアします。プレゼンテーションの完成に向けてワークをします。動画による音読練習とペアで会話表現を習得します。					出席レポート[5]の完成。(1時間)				
7	Presentation[1]課題: 商品・サービスの紹介 『リハーサル』	各自の出席レポート[5]をグループでシェアします。プレゼンテーションのリハーサルをします。動画による音読練習とペアで会話表現を習得します。					Presentation[1]の完成と発表練習。(1時間)				
8	Presentation[1]課題: 商品・サービスの紹介 『発表』	Presentation[1](課題)の発表して、自己と相互によるフィードバックをします。					出席レポート[6]の完成。(1時間)				
9	Presentation[2]課題: ビジネス・プロポーザル 『テーマの決定』	各自の出席レポート[6]をグループでシェアします。プレゼンテーションの完成に向けてグループワークをします。動画による音読練習とペアで会話表現を習得します。					出席レポート[7]の完成。(1時間)				
10	Presentation[2]課題: ビジネス・プロポーザル 『問題の明確化』	各自の出席レポート[7]をグループでシェアします。プレゼンテーションの完成に向けてグループワークをします。動画による音読練習とペアで会話表現を習得します。					出席レポート[8]の完成。(1時間)				
11	Presentation[2]課題: ビジネス・プロポーザル 『課題の解決方法』	各自の出席レポート[8]をグループでシェアしプレゼンテーションの完成に向けてグループワークをします。動画による音読練習とペアで会話表現を習得します。					出席レポート[9]の完成。(1時間)				
12	Presentation[2]課題: ビジネス・プロポーザル 『プレゼンテーションの型』	各自の出席レポート[9]をグループでシェアします。プレゼンテーションの完成に向けてグループワークをします。動画による音読練習とペアで会話表現を習得します。					出席レポート[10]の完成。(1時間)				
13	Presentation[2]課題: ビジネス・プロポーザル 『面談と練習』	各自の出席レポート[10]をグループでシェアします。また、プレゼンテーションの完成に向けて、教師と面談をします。					Presentation[2]の発表に向けての原稿の完成。(1時間)				
14	Presentation[2]課題: ビジネス・プロポーザル 『発表のリハーサル』	Presentation[2](課題)の発表のリハーサルをして相互にフィードバックをします。					Presentation[2]の完成と発表練習。(1時間)				
15	Presentation[2]課題: ビジネス・プロポーザル 『発表』	Presentation[2](課題)の発表と、自己と相互によるフィードバックをします。定期試験に向けて、授業で扱われたビジネス英語の復習のための音読練習や疑問点の確認をペアやグループでします。					定期試験に向けての、授業で扱われたビジネス英語の復習。(1時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準									
(講義にて配布します。)		<p>出席レポート: 40% 課題: 40% 定期試験: 20%</p> <p>S: 授業内容を高度に理解し実践力を身に付けて批判的思考力に基づく探究姿勢で課題に取り組み難しい応用問題が解ける。A: 授業内容を理解し実践力を身に付けて積極的な探究姿勢で課題に取り組みやや難しい応用問題が解ける。B: 授業内容のおおよそを理解し実践することができ与えられた課題に誠実に取り組み応用問題が解ける。C: 授業の内容の60%程度を理解し実践することができ、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。</p>									
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)									
「電子辞典(例: ジーニアス英和・和英辞典)」		実務経験を持つ教員が担当。米国の中小企業に勤務中、顧客や業者との対応交渉やサービスの改善に携わり、現在は企業研修の実施や社会人対象のビジネス英語の講師を務めています。									

科目名	英会話 Aクラス (総経・人間)	学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	UL12105	研究室	非常勤
担当者	フレデリック 加ース	必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度 (読替科目)				
		A	B	C					
授業概要									
<p>さまざまな日常的话题について、英語を聞き、話すことを練習します。 We will practice listening and speaking English about a wide variety of everyday topics.</p>									
学修到達目標									
<p>日常的な英会話を修得し、自信を持ってコミュニケーションをとることができる。 Upon finishing this class, students will be able to communicate more confidently in English.</p>									
授業の進め方									
毎週の授業はまずテキストを聞くことから始め、つぎに質問の発音を練習します。その後学生はペアになって話し、学習した質問をしたりそれに答えたりします。									
授業計画 (各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容					事前事後学修		
1	ガイダンスGuidance	授業への導入 Introduction to the class					Preparation for a test.(1h)		
2	Getting to know each other(1)	Get to know each other game					Write a self-introduction.(1h)		
3	Getting to know each other(2)	Teacher interview					Report on an English reading book.(1h)		
4	Dates and Ordinal Numbers(1)	Japanese holidays and events; Birthdays					Write Japanese holidays.(1h)		
5	Dates and Ordinal Numbers(2)	Describing weather around the world					Write about the weather in your hometown.(1h)		
6	Personal Information(1)	Ask and answer questions about yourself					Write about yourself.(1h)		
7	Personal Information(2)	Japanese celebrities					Write about a Japanese celebrity.(1h)		
8	Likes and Dislikes(1)	Ask about likes and dislikes					Write about something you like.(1h)		
9	Likes and Dislikes(2)	Interviews about likes and dislikes; favorites					Write about your favorite.(1h)		
10	Counters and Singular/Plural(1)	Ogui contest; Review singular/plural					Report on an English reading book.(1h)		
11	Counters and Singular/Plural(2)	Card activity to practice singular/plural					Write about "What 's in my refrigerator." (1h)		
12	Wh- Questions(1)	Question formation; Adverbs of frequency					Write about something you like.(1h)		
13	Wh- Questions(2)	Discussion about interests					Write about a T.V. show or movie you like.(1h)		
14	Can and Can ' t	Talk about abilities					Write about some of the things you can do.(1h)		
15	まとめ Review	Review course, prepare for final examination					Prepare for final examination.(1h)		
テキスト		成績評価の方法・基準							
「Talk a Lot, Starter Book, Second edition」David Martin著 (EFL Press) ISBN:4580244425068 (生協で購入してください。)		<p>課題 : 25% 定期試験 : 25% 授業への参加度 : 25% 努力点 : 25% Reports: 25%, Final examination: 25%, Class Attitude:25%, Assignments: 25%. S:主体的かつ意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容すべてを理解している。A:主体的かつ意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容の8割以上を理解している。B:意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容の7割以上を理解している。C:意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容の6割以上を理解している。</p>							
参考書		履修上の注意 (学生へのメッセージ)							
辞書 Any dictionary		いつでもメールで私に連絡してください。 Please contact me by email at fredcarruth@hotmail.com anytime.							

科目名	英会話 Bクラス (総経・人間)	学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	UL12105	研究室	N-02
担当者	マレット ショーン	必修選択	選択	科目種別	講義	オイスアワ			
関連資格				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性	履修対象入学年度 (読替科目)							
	A B C								
授業概要									
<p>どんな状況でも自信を持って英語を使えるようにすることがこのコースの目的です。特に、物事を表現したり、意見を述べたり、説明やプレゼンの仕方を学びます。異文化コミュニケーション、クリティカルシンキング、ポキャブラリーの増強、正確な文法、流暢な会話を目指してください。</p>									
学修到達目標									
<p>本コースではスピーキング力を伸ばすために、個人的かつ学術的に興味深いトピックについてディスカッションを行います。「TED Talks」からスピーチを学び、実際に自分のTED Talksを作り上げましょう。様々なトピックについて自然で文法的に正しい会話ができるような教材を準備しますので、教員の指示に従い、グループディスカッションやプレゼンで使用するツール持参してください。</p>									
授業の進め方									
<p>積極的に授業に参加すること。教員およびクラスメートの話を注意して聞くこと。全ての授業に出席すること。クラスを休むと宿題が出ます。宿題の内容について教員または級友に連絡すること。予習をして遅刻をせずに授業に来ること。</p>									
授業計画 (各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容				事前事後学修			
1	オリエンテーション。	Orientation to this "English Speaking" class. Introduction to the evaluation of this class, as well as to the textbook.				Purchase the textbook, and then become familiar with its format. Study ユニット 1.			
2	ユニット 1- Friends and Family (Lesson 1)	ユニット 1- Friends and Family (Lesson 1)				Study ユニット 1. それらは、クラスで公表します。			
3	ユニット 1- Friends and Family (Lesson2)	ユニット 1- Friends and Family (Lesson2)				Study ユニット 1. それらは、クラスで公表します。			
4	ユニット 1- Friends and Family (Lesson3)	ユニット 1- Friends and Family (Lesson3)				Study ユニット 1. それらは、クラスで公表します。			
5	ユニット 1- Friends & Family (Lesson 4)- Test.	ユニット 1- Friends & Family (Lesson 4)- Chapter Test.				Study ユニット 1. それらは、クラスで公表します。			
6	ユニット 2- Jobs Around the World (Lesson 1)	ユニット 2- Jobs Around the World (Lesson 1)				Study ユニット 2. それらは、クラスで公表します。			
7	ユニット 2- Jobs Around the World (Lesson 2)	ユニット 2- Jobs Around the World (Lesson 2)				Study ユニット 2. それらは、クラスで公表します。			
8	ユニット 2- Jobs Around the World (Lesson 3)	ユニット 2- Jobs Around the World (Lesson 3)				Study ユニット 2. それらは、クラスで公表します。			
9	ユニット 2- Jobs Around the World (Lesson 4)- Test.	ユニット 2- Jobs Around the World (Lesson 4)- Chapter Test.				Study ユニット 2. それらは、クラスで公表します。			
10	ユニット3: Houses and Apartments (Lesson 1)	ユニット3: Houses and Apartments (Lesson 1)				Study ユニット 3. それらは、クラスで公表します。			
11	ユニット3: Houses and Apartments (Lesson 2)	ユニット3: Houses and Apartments (Lesson 2)				Study ユニット 3. それらは、クラスで公表します。			
12	ユニット3: Houses and Apartments (Lesson 3)	ユニット3: Houses and Apartments (Lesson 3)				Study ユニット 3. それらは、クラスで公表します。			
13	ユニット3: Houses and Apartments (Lesson 4)- Test.	ユニット3: Houses and Apartments (Lesson 4)- Chapter Test.				Study ユニット 3. それらは、クラスで公表します。			
14	ユニット4: Possessions (Lesson 1)	ユニット4: Possessions (Lesson 1)				Study ユニット 4. それらは、クラスで公表します。			
15	ユニット4: Possessions (Lesson 2)	ユニット4: Possessions (Lesson 2) ~The final class of this semester .				Study ユニット 4. それらは、クラスで公表します。			
テキスト		成績評価の方法・基準							
<p>「World English Intro: Combo Split A + My World English Online」 (Third Edition) John Hughes 著 http://cengagejapan.com/elt/CoreProgram/page/?no=15705065476uyku編 (National Geographic Learning - Cengage) ISBN:978-0-35-713027-8 (生協で購入してください。)</p>		<p>定期試験 : 30% 各回のプレゼンテーションに対する評価 70%</p>							
参考書		履修上の注意 (学生へのメッセージ)							
<p>「Any English language dictionary.」</p>		<p>Students are expected to prepare their homework, or to engage in other forms of self-study, before each weekly class. Students are also expected to review & consolidate the material covered in class.</p>							

科目名	英会話 Aクラス (総経・人間)		学年学期	1年後期	単位数	1	ナバリング	UL12106	研究室	非常勤
担当者	フレデリック ガース		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度 (読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
<p>さまざまな日常的话题について、英語を聞き、話すことを練習します。 We will practice listening and speaking English about a wide variety of everyday topics.</p>										
学修到達目標										
<p>英会話 で修得した英語能力をさらに向上させ、さまざまな日常的话题について自信をもってコミュニケーションをとることができる。 Upon finishing this class, students will be able to communicate more confidently in English.</p>										
授業の進め方										
毎週の授業はまずテキストを聞くことから始め、つぎに質問の発音を練習します。その後学生はペアになって話し、学習した質問をしたりそれに答えたりします。										
授業計画 (各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	ガイダンスGuidance	授業への導入 Introduction to the class					Preparation for a test.(1h)			
2	Simple Present and Describing Things(1)	Listen and guess the creature; Simple present					Report on an English reading book.(1h)			
3	Simple Present and Describing Things(2)	Describing food; Food crossword					Write a description of an animal or insect.(1h)			
4	Family(1)	Talk about relatives					Bring family pictures.(1h)			
5	Family(2)	Ask and answer questions about family and pets					Report on an English reading book.(1h)			
6	Simple Past: Questions and Stories(1)	Ask and answer questions about what you did yesterday, last weekend					Write about what you did last weekend.(1h)			
7	Simple Past: Questions and Stories(2)	Telling a story					Finish the story on page 33.(1h)			
8	Jobs(1)	Talk about jobs and what they are like					Report on an English reading book.(1h)			
9	Jobs(2)	Talk about jobs					Describe a job.(1h)			
10	Making Comparisons(1)	Study comparison forms, then play the Comparison Game					Write a comparison of two things.(1h)			
11	Making Comparisons(2)	Ask and answer comparison and superlative questions					Write about the most ____ in your life.(1h)			
12	Numbers(1)	Numbers: pronunciation, bingo, math game, tell time					Write about your daily schedule.(1h)			
13	Numbers(2)	Ask and answer questions about your daily schedule					Write about what you did today.(1h)			
14	Present and Past Progressive	Ask and answer questions about actions					Be ready to play the Action Game.(1h)			
15	まとめ Review	Review course, prepare for final examination					Prepare for final examination.(1h)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
「Talk a Lot, Starter Book, Second edition」David Martin著 (EFL Press) ISBN:4580244425068 (生協で購入してください。)					<p>課題: 25% 定期試験: 25% 授業への参加度: 25% 努力点: 25% Reports: 25%, Final examination: 25%, Class Attitude: 25%, Assignments: 25%。 S: 主体的かつ意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容すべてを理解している。A: 主体的かつ意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容の8割以上を理解している。B: 意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容の7割以上を理解している。C: 意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容の6割以上を理解している。</p>					
参考書					履修上の注意 (学生へのメッセージ)					
辞書 Any dictionary					いつでもメールで私に連絡してください。 Please contact me by email at fredcarruth@hotmail.com anytime.					

科目名	英会話 Bクラス (総経・人間)	学年学期	1年後期	単位数	1	ナパリング	UL12106	研究室	N-02
担当者	マレット ショーン	必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性	履修対象入学年度 (読替科目)							
	A B C								
授業概要									
<p>どんな状況でも自信を持って英語を使えるようにすることがこのコースの目的です。特に、物事を表現したり、意見を述べたり、説明やプレゼンの仕方を学びます。異文化コミュニケーション、クリティカルシンキング、ポキャブラリーの増強、正確な文法、流暢な会話を目指してください。</p>									
学修到達目標									
<p>本コースではスピーキング力を伸ばすために、個人的かつ学術的に興味深いトピックについてディスカッションを行います。「TED Talks」からスピーチを学び、実際に自分のTED Talksを作り上げましょう。様々なトピックについて自然で文法的に正しい会話ができるような教材を準備しますので、教員の指示に従い、グループディスカッションやプレゼンで使用するツール持参してください。</p>									
授業の進め方									
<p>積極的に授業に参加すること。教員およびクラスメートの話を注意して聞くこと。全ての授業に出席すること。クラスを休むと宿題が出ます。宿題の内容について教員または級友に連絡すること。予習をして遅刻をせずに授業に来ること。</p>									
授業計画 (各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容				事前事後学修			
1	オリエンテーション。	Orientation to this "English Speaking II" class. Introduction to the evaluation of this second semester class, as well as to the latter half of the textbook.				Refresh yourself with the textbook. Study the latter half of ユニット 4.			
2	ユニット4: Possessions (Lesson 3)	ユニット4: Possessions (Lesson 3)				Study ユニット 4. それらは、クラスで公表します。			
3	ユニット4: Possessions (Lesson 4) ~ Chapter Test.	ユニット4: Possessions (Lesson 4) ~ Chapter Test.				Study ユニット 4. それらは、クラスで公表します。			
4	ユニット 5: Daily Activities (Lesson 1)	ユニット 5: Daily Activities (Lesson 1)				Study ユニット 5. それらは、クラスで公表します。			
5	ユニット 5: Daily Activities (Lesson 2)	ユニット 5: Daily Activities (Lesson 2)				Study ユニット 5. それらは、クラスで公表します。			
6	ユニット 5: Daily Activities (Lesson 3)	ユニット 5: Daily Activities (Lesson 3)				Study ユニット 5. それらは、クラスで公表します。			
7	ユニット 5: Daily Activities (Lesson 4) ~ Chapter Test.	ユニット 5: Daily Activities (Lesson 4) ~ Chapter Test.				Study ユニット 5. それらは、クラスで公表します。			
8	ユニット 6: Getting There (Directions) (Lesson 1)	ユニット 6: Getting There (Directions) (Lesson 1)				Study ユニット 6. それらは、クラスで公表します。			
9	ユニット 6: Getting There (Directions) (Lesson 2)	ユニット 6: Getting There (Directions) (Lesson 2)				Study ユニット 6. それらは、クラスで公表します。			
10	ユニット 6: Getting There (Directions) (Lesson 3)	ユニット 6: Getting There (Directions) (Lesson 3)				Study ユニット 6. それらは、クラスで公表します。			
11	ユニット 6: Getting There (Directions) (Lesson 4) - Chapter Test	ユニット 6: Getting There (Directions) (Lesson 4) - Chapter Test				Study ユニット 6. それらは、クラスで公表します。			
12	ユニット 7: Free Time (Lesson 1)	ユニット 7: Free Time (Lesson 1)				Study ユニット 7. それらは、クラスで公表します。			
13	ユニット 7: Free Time (Lesson 2)	ユニット 7: Free Time (Lesson 2)				Study ユニット 7. それらは、クラスで公表します。			
14	ユニット 7: Free Time (Lesson 3)	ユニット 7: Free Time (Lesson 3)				Study ユニット 7. それらは、クラスで公表します。			
15	ユニット 7: Free Time (Lesson 4) - Chapter Test.	ユニット 7: Free Time (Lesson 4) - Chapter Test.				Study ユニット 7. それらは、クラスで公表します。			
テキスト		成績評価の方法・基準							
<p>「"World English 1: Combo Split A + My World English Online" (Third Edition)」John Hughes著 http://cengagejapan.com/elt/CoreProgram/page/?no=15705065476uyku編 (National Geographic Learning - Cengage) ISBN:978-0-35-713029-2 (生協で購入してください。)</p>		<p>定期試験 : 30% 各回のプレゼンテーションに対する評価 70%</p>							
参考書		履修上の注意 (学生へのメッセージ)							
<p>「Any English language dictionary.」</p>		<p>Students are expected to prepare their homework, or to engage in other forms of self-study, before each weekly class. Students are also expected to review & consolidate the material covered in class.</p>							

科目名	英会話 (総合経営学部)		学年学期	2年前期	単位数	1	ナバ'リング	UL22107	研究室	非常勤
担当者	ルデ'リック ガ-ス		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
ホテルで、あるいはレストランで使われる、基礎的で実践的な英語を学びます。働く時の英語コミュニケーション能力を高めるのがねらいです。 We will study the basic, practical English used in hotels and restaurants. Improve your ability to communicate in English when working.										
学修到達目標										
ホテルやホスピタリティ業界で働くための基礎英語力を身につけている。 After finishing the class, students will feel more confident with the English required to work in the hotel and hospitality industry.										
授業の進め方										
各単元はリスニングから始まり、次に役に立つ語彙や文法の学習へ移ります。練習は、最初は型にはまったものから次第に自由なものになります。また練習は、個人、ペア、小グループで行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	ガイダンスGuidance	授業への導入 Introduction to the class					Prepare to talk about an English reading book.(1h)			
2	Introductions	Names, nationalities and jobs at hotels					Prepare to talk about an English reading book.(1h)			
3	Check-in	Handling reservations					Write Personal Job File, p. 71.(1h)			
4	Hotel bedroom	Describing with "There is/are"					Draw a hotel bedroom and describe it.(1h)			
5	Hotel services	Talking about what the hotel can do for guests					Write Personal Job File, p. 73.(1h)			
6	Hotel facilities	Talking about hotel facilities					Write Personal Job File, p. 74.(1h)			
7	Room services	Responding to requests from guests					Write Personal Job File, p. 75.(1h)			
8	Problems and Solutions	Handling complaints; helping guests					Write Personal Job File, p. 8.(1h)			
9	Taking bar orders	Taking orders in the bar; describing drinks					Write Personal Job File, p. 77.(1h)			
10	In the restaurant (1)	Taking orders in the restaurant					Write Personal Job File, p. 78.(1h)			
11	In the restaurant (2)	Describing food					Write Personal Job File, p. 79.(1h)			
12	Enquiries	Handling questions from guests					Write Personal Job File, p. 80.(1h)			
13	Using the phone	Telephone procedures; being polite to guests					Write a telephone conversation.(1h)			
14	Check-out	Checking guests out; paying bills					Write a check-out conversation.(1h)			
15	まとめ Review	Review course, prepare for final examination					Prepare for final examination.(1h)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
「Be My Guest, English for the Hotel Industry」(Cambridge University Press) ISBN:978-0521776899 (生協で購入してください。)					授業への参加度25%、努力点25%、宿題25%、定期試験25% Assignments: 25%, Effort: 25%, Homework: 25%, Final examination: 25% S:主体的かつ意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容すべてを理解している。A:主体的かつ意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容の8割以上を理解している。B:意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容の7割以上を理解している。C:意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容の6割以上を理解している。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
辞書 Any dictionary					いつでもメールで連絡してください。 Please contact me by email at fredcarruth@hotmail.com anytime.					

科目名	英会話 (総合経営学部)		学年学期	2年後期	単位数	1	ナバ'リング	UL22108	研究室	非常勤
担当者	ルデ'リック ガ-ス		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
<p>移動中、ホテルで、あるいはレストランで使われる、基礎的で実践的な英語を学びます。旅行の時の英語コミュニケーション能力を高めるのがねらいです。 We will study the basic, practical English used in transportation, at hotels, restaurants, etc. Improve your ability to communicate in English when traveling.</p>										
学修到達目標										
<p>旅行するための基礎英語力を身につけている。 When the class is finished, students will feel more confident using English in travel situations.</p>										
授業の進め方										
各単元はリスニングから始まり、次に役に立つ語彙や文法の学習へ移ります。練習は、最初は型にはまったものから次第に自由なものになります。また練習は、個人、ペア、小グループで行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	ガイダンスGuidance	授業への導入 Introduction to the class					Prepare to talk about an English reading book (1h)			
2	Introduction; Where are you from?	Talking about people and travel					Write about some place you'd like to visit (1h)			
3	On the airplane	Asking and answering requests on the airplane and at the airport					Listen to the CD and write the conversation (1h)			
4	Landing in a new country	Asking and answering questions at immigration					Write a conversation for "Activity." (1h)			
5	Talking about your family	Ask and answer questions about your family.					Bring some pictures of your family (1h)			
6	On a homestay	Ask and answer requests at the host's home					Write a conversation between host and guest (1h)			
7	Ordering at a restaurant	Conversations at a restaurant; describing food					Write a conversation for "Activity." (1h)			
8	Destination: the U.K.	Talk about the U.K.; Compare Japan and the U.K.					Write about your trip to the U.K. (1h)			
9	Directions	Asking for and giving directions					Give directions in New York (1h)			
10	Banking	Using ATMs; changing money					Write a conversation at the bank (1h)			
11	Staying at a hotel	Making reservations; checking in; requests at a hotel					Write a phone conversation for "Activity." (1h)			
12	Talking about minor medical problems	Conversations at a pharmacy					Write a conversation at the pharmacy (1h)			
13	Talking about countries	Talk about Japan and other countries					Write about your hometown (1h)			
14	Destination: New Zealand	Talk about New Zealand; Compare Japan and New Zealand					Write about your trip to New Zealand (1h)			
15	まとめ Review	Review course, prepare for final examination					Prepare for final examination (1h)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
「Passport to New Places: English for International Communication」 ISBN:978-0194575126 (生協で購入してください。)					<p>授業への参加度25%、定期試験25%、努力点25%、宿題25% Assignments: 25%, Effort: 25%, Homework: 25%, Final examination: 25% S:主体的かつ意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容すべてを理解している。A:主体的かつ意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容の8割以上を理解している。B:意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容の7割以上を理解している。C:意欲的に授業参加、課題取り組みができ、授業内容の6割以上を理解している。</p>					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
辞書 Any dictionary					いつでもメールで連絡してください。 Please contact me by email at fredcarruth@hotmail.com anytime.					

科目名	TOEIC Aクラス		学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	UL12109	研究室	非常勤
担当者	櫻井 智子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業数は年々増え続けています。本授業では、英語運用力の基礎となるリスニング力、リーディング力、文法力、語彙力を身につけ、TOEIC受験に必要な英語力の基礎を作ります。後期「TOEIC」の履修を通してリスニング能力、文法の知識、語彙力を身につけ、TOEIC L&R で500点以上の取得を目指します。プレイズメントテスト成績に基づく少人数クラス(原則20名以下)で行います。										
学修到達目標										
TOEIC L&R で450点程度取得できる。 さらに、簡単な日常会話ができる程度のコミュニケーション能力を修得している。										
授業の進め方										
文法演習やTOEIC 問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォン等を用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングで弱点克服や学習方法についてフィードバックを行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス TOEICテストとは何か	TOEICの特徴を知り、目標点数を取得するためにはどんなトレーニングが必要かを考えます。				自分に合った学習計画を作成する Eラーニング(EL)英単語(1時間)				
2	リスニング演習 リーディング演習	サンプル問題に挑戦 Lesson1 5W& Howを聴き取る(Part2) 品詞基本ドリル				音読トレーニング EL500点コースU001,U002 (Stage1,2)(1時間)				
3	リスニング演習 リーディング演習	Lesson2 be動詞の直後の動作(Part1) Lesson9 品詞を攻略しよう(Part5) 品詞基本ドリル、復習				音読トレーニング EL U003,U004 単語 文法問題(1時間)				
4	リスニング演習	Lesson3 写真と矛盾した要素を聞き取る(Part1) 品詞基本ドリル				音読トレーニング EL U005,U006 単語 文法問題(1時間)				
5	リスニング演習	Lesson4 許可、依頼、提案(Part2) 品詞基本ドリル				音読トレーニング EL U007,U008 単語 文法問題(1時間)				
6	リスニング演習 小テスト	Lesson11 音のひっかけに注意(Part1,2) 品詞基本ドリル				音読トレーニング EL U009,U010 単語 文法問題(1時間)				
7	リスニング演習	Lesson12 典型的な設問とその流れ(Part3,4) 品詞基本ドリル、復習				音読トレーニング EL U011,U012 単語、文法問題(1時間)				
8	リスニング演習	Lesson13 会話の全体構造を理解する(Part3) 動詞基本ドリル				音読トレーニング EL U013,U014 単語、文法問題(1時間)				
9	リスニング演習	Lesson14 トークの全体構造と頻出トピックを押さえる(Part4) 動詞基本ドリル				音読トレーニング EL U015,U016 単語、文法問題(1時間)				
10	カウンセリング 小テスト	6月20日の模試の結果を元にカウンセリング、個別アドバイス 品詞チャレンジドリル				Lesson14 音読・復習 EL U017,U018 単語、文法問題(1時間)				
11	リーディング演習	Part7の解き方 Lesson15 典型的な問題文と答えのヒント(Part7) 動詞基本ドリル				Lesson15 音読・復習 EL U019,U020 単語、文法問題(1時間)				
12	リーディング演習	Lesson16 Part7の頻出トピック・文書形式(Part7) 動詞基本ドリル				音読トレーニング EL U021,U022 単語、文法問題(1時間)				
13	リスニング演習 リーディング演習	Lesson5 問かけごとの「よくある」「ありえない」応答(Part2) 動詞復習、動詞チャレンジドリル				音読トレーニング EL U023,U024 単語、文法問題(1時間)				
14	リスニング演習 リーディング演習 小テスト	Part3 Part4 テキストミニ模試より Lesson8 キーワードを探して正しい時制を見抜く(Part5,6) 品詞問題の復習				音読トレーニング EL U025,U026 単語、文法問題(1時間)				
15	まとめとリスニングテスト	これまでの復習およびTOEICのリスニング(100問)に取り組みます。				定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「はじめてのTOEIC L&Rテスト きほんのきほん」石井洋佑、Karl Rosvold、Micael McDowell著(スリーエーネットワーク) ISBN:978040883190761-3(生協で購入してください。) 「TOEIC L&Rテスト英文法ゼロからスコアが稼げるドリル」高橋恭子著(アルク) ISBN:978-4-7574-3012-9(生協で購入してください。)				受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 受講態度は授業中の発言回数、意欲等が評価されます。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、応用問題が解ける。TOEICスコアにおいても著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に取り組み、教科書の例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。				スマートフォン、PC、タブレット等のいずれかが必要です。後期「TOEIC」の受講を強く推奨しています。						

科目名	TOEIC Bクラス		学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	UL12109	研究室	
担当者	上條 美香		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業は年々増え続けています。本授業では、英語運用力の基礎となるリスニング力、リーディング力、文法力、語彙力を身につけ、TOEIC受験に必要な英語力の基礎を作ります。後期「TOEIC」の履修を通してリスニング能力、文法の知識、語彙力を身につけ、TOEIC L&R で450点以上の取得を目指します。プレイスメントテスト成績に基づく少人数クラス(原則20名以下)で行います。										
学修到達目標										
TOEIC L&R で400点程度取得できる。 さらに、簡単な日常会話ができる程度のコミュニケーション能力を修得している。										
授業の進め方										
文法演習やTOEIC 問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォン等を用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス TOEICテストとは何か	TOEICの特徴を知り、目標点数を取得するためにはどんなトレーニングが必要かを考えます。				自分に合った学習計画を作成する Eラーニング(EL)英単語(1時間)				
2	リスニング演習 リーディング演習	サンプル問題に挑戦 Lesson1 5W& Howを聴き取る(Part2) 品詞基本ドリル				音読トレーニング EL500点コースU001,U002 (Stage1,2)(1時間)				
3	リスニング演習 リーディング演習	Lesson2 be動詞の直後の動作(Part1) Lesson9 品詞を攻略しよう(Part5) 品詞基本ドリル、復習				音読トレーニング EL U003,U004 単語 文法問題(1時間)				
4	リスニング演習	Lesson3 写真と矛盾した要素を聞き取る(Part1) 品詞基本ドリル				音読トレーニング EL U005,U006 単語 文法問題(1時間)				
5	リスニング演習	Lesson4 許可、依頼、提案(Part2) 品詞基本ドリル				音読トレーニング EL U007,U008 単語 文法問題(1時間)				
6	リスニング演習 小テスト	Lesson11 音のひっかけに注意(Part1,2) 品詞基本ドリル				音読トレーニング EL U009,U010 単語 文法問題(1時間)				
7	リスニング演習	Lesson12 典型的な設問とその流れ(Part3,4) 品詞基本ドリル、復習				音読トレーニング EL U011,U012 単語、文法問題(1時間)				
8	リスニング演習	Lesson13 会話の全体構造を理解する(Part3) 動詞基本ドリル				音読トレーニング EL U013,U014 単語、文法問題(1時間)				
9	リスニング演習	Lesson14 トークの全体構造と頻出トピックを押さえる(Part4) 動詞基本ドリル				音読トレーニング EL U015,U016 単語、文法問題(1時間)				
10	カウンセリング 小テスト	6月20日の模試の結果を元にカウンセリング、個別アドバイス 品詞チャレンジドリル				Lesson14 音読・復習 EL U017,U018 単語、文法問題(1時間)				
11	リーディング演習	Part7の解き方 Lesson15 典型的な問題文と答えのヒント(Part7) 動詞基本ドリル				Lesson15 音読・復習 EL U019,U020 単語、文法問題(1時間)				
12	リーディング演習	Lesson16 Part7の頻出トピック・文書形式(Part7) 動詞基本ドリル				音読トレーニング EL U021,U022 単語、文法問題(1時間)				
13	リスニング演習 リーディング演習	Lesson5 問かけごとの「よくある」「ありえない」応答(Part2) 動詞復習、動詞チャレンジドリル				音読トレーニング EL U023,U024 単語、文法問題(1時間)				
14	リスニング演習 リーディング演習 小テスト	Part3 Part4 テキストミニ模試より Lesson8 キーワードを探して正しい時制を見抜く(Part5,6) 品詞問題の復習				音読トレーニング EL U025,U026 単語、文法問題(1時間)				
15	まとめとリスニングテスト	これまでの復習およびTOEICのリスニング(100問)に取り組みます。				定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「はじめてのTOEIC L&Rテスト きほんのきほん」石井洋佑、Karl Rosvold、Micael McDowell著(スリーエーネットワーク) ISBN:978040883190761-3(生協で購入してください。) 「TOEIC L&Rテスト英文法ゼロからスコアが稼げるドリル」高橋恭子著(アルク) ISBN:978-4-7574-3012-9(生協で購入してください。)				受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 受講態度は授業中の発言回数、意欲等が評価されます。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、応用問題が解ける。TOEICスコアにおいても著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に取り組み、教科書の例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。				スマートフォン、PC、タブレット等のいずれかが必要です。後期「TOEIC」の受講を強く推奨しています。						

科目名	TOEIC Cクラス		学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	UL12109	研究室	非常勤
担当者	山内 志野		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業数は年々増え続けています。本授業では、英語運用力の基礎となるリスニング力、リーディング力、文法力、語彙力を身につけ、TOEIC受験に必要な英語力の基礎を作ります。後期「TOEIC」の履修を通してリスニング能力、文法の知識、語彙力を身につけ、TOEIC L&R で420点以上の取得を目指します。プレイズメントテスト成績に基づく少人数クラス(原則20名以下)で行います。										
学修到達目標										
TOEIC L&R で370点程度取得できる。 さらに、簡単な日常会話ができる程度のコミュニケーション能力を修得している。										
授業の進め方										
文法演習やTOEIC 問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォン等を用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス TOEICテストとは何か	TOEICの特徴を知り、目標点数を取得するためにはどんなトレーニングが必要かを考えます。				自分に合った学習計画を作成する Eラーニング(EL)英単語(1時間)				
2	リスニング演習 リーディング演習	サンプル問題に挑戦 Lesson1 5W& Howを聴き取る(Part2) 品詞基本ドリル				音読トレーニング EL500点コースU001,U002 (Stage1,2)(1時間)				
3	リスニング演習 リーディング演習	Lesson2 be動詞の直後の動作(Part1) Lesson9 品詞を攻略しよう(Part5) 品詞基本ドリル、復習				音読トレーニング EL U003,U004 単語 文法問題(1時間)				
4	リスニング演習	Lesson3 写真と矛盾した要素を聞き取る(Part1) 品詞基本ドリル				音読トレーニング EL U005,U006 単語 文法問題(1時間)				
5	リスニング演習	Lesson4 許可、依頼、提案(Part2) 品詞基本ドリル				音読トレーニング EL U007,U008 単語 文法問題(1時間)				
6	リスニング演習 小テスト	Lesson11 音のひっかけに注意(Part1,2) 品詞基本ドリル				音読トレーニング EL U009,U010 単語 文法問題(1時間)				
7	リスニング演習	Lesson12 典型的な設問とその流れ(Part3,4) 品詞基本ドリル、復習				音読トレーニング EL U011,U012 単語、文法問題(1時間)				
8	リスニング演習	Lesson13 会話の全体構造を理解する(Part3) 動詞基本ドリル				音読トレーニング EL U013,U014 単語、文法問題(1時間)				
9	リスニング演習	Lesson14 トークの全体構造と頻出トピックを押さえる(Part4) 動詞基本ドリル				音読トレーニング EL U015,U016 単語、文法問題(1時間)				
10	カウンセリング 小テスト	6月20日の模試の結果を元にカウンセリング、個別アドバイス 品詞チャレンジドリル				Lesson14 音読・復習 EL U017,U018 単語、文法問題(1時間)				
11	リーディング演習	Part7の解き方 Lesson15 典型的な問題文と答えのヒント(Part7) 動詞基本ドリル				Lesson15 音読・復習 EL U019,U020 単語、文法問題(1時間)				
12	リーディング演習	Lesson16 Part7の頻出トピック・文書形式(Part7) 動詞基本ドリル				音読トレーニング EL U021,U022 単語、文法問題(1時間)				
13	リスニング演習 リーディング演習	Lesson5 問かけごとの「よくある」「ありえない」応答(Part2) 動詞復習、動詞チャレンジドリル				音読トレーニング EL U023,U024 単語、文法問題(1時間)				
14	リスニング演習 リーディング演習 小テスト	Part3 Part4 テキストミニ模試より Lesson8 キーワードを探して正しい時制を見抜く(Part5,6) 品詞問題の復習				音読トレーニング EL U025,U026 単語、文法問題(1時間)				
15	まとめとリスニングテスト	これまでの復習およびTOEICのリスニング(100問)に取り組みます。				定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「はじめてのTOEIC L&Rテスト きほんのきほん」石井洋佑、Karl Rosvold、Micael McDowell著(スリーエーネットワーク) ISBN:978040883190761-3(生協で購入してください。) 「TOEIC L&Rテスト英文法ゼロからスコアが稼げるドリル」高橋恭子著(アルク) ISBN:978-4-7574-3012-9(生協で購入してください。)				受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 受講態度は授業中の発言回数、意欲等が評価されます。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、応用問題が解ける。TOEICスコアにおいても著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に取り組み、教科書の例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。				スマートフォン、PC、タブレット等のいずれかが必要です。後期「TOEIC」の受講を強く推奨しています。						

科目名	TOEIC Dクラス		学年学期	1年前期	単位数	1	ナバ`リング	UL12109	研究室	非常勤
担当者	勝山 庸子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業は年々増え続けています。本授業では、英語運用力の基礎となるリスニング力、リーディング力、文法力、語彙力を身につけ、TOEIC受験に必要な英語力の基礎を作ります。後期「TOEIC」の履修を通してリスニング能力、文法の知識、語彙力を身につけ、TOEIC L&R で400点以上の取得を目指します。プレースメントテスト成績に基づく少人数クラス(原則20名以下)で行います。										
学修到達目標										
TOEIC L&Rで340点程度取得できる。 さらに、簡単な日常会話ができる程度のコミュニケーション能力を修得している。										
授業の進め方										
文法演習やTOEIC 問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォン等を用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	授業ガイダンス TOEICテストとは何か	TOEICの特徴を知り、目標点数を取得するためにはどんなトレーニングが必要かを考えます。					自分に合った学習計画を作成する Eラーニング(EL)英単語(1時間)			
2	リスニング演習 リーディング演習	サンプル問題に挑戦 Lesson1 5W& Howを聴き取る(Part2) 品詞基本ドリル					音読トレーニング EL500点コースU001,U002 (Stage1,2)(1時間)			
3	リスニング演習 リーディング演習	Lesson2 be動詞の直後の動作(Part1) Lesson9 品詞を攻略しよう(Part5) 品詞基本ドリル、復習					音読トレーニング EL U003,U004 単語 文法問題(1時間)			
4	リスニング演習	Lesson3 写真と矛盾した要素を聞き取る(Part1) 品詞基本ドリル					音読トレーニング EL U005,U006 単語 文法問題(1時間)			
5	リスニング演習	Lesson4 許可、依頼、提案(Part2) 品詞基本ドリル					音読トレーニング EL U007,U008 単語 文法問題(1時間)			
6	リスニング演習 小テスト	Lesson11 音のひっかけに注意(Part1,2) 品詞基本ドリル					音読トレーニング EL U009,U010 単語 文法問題(1時間)			
7	リスニング演習	Lesson12 典型的な設問とその流れ(Part3,4) 品詞基本ドリル、復習					音読トレーニング EL U011,U012 単語、文法問題(1時間)			
8	リスニング演習	Lesson13 会話の全体構造を理解する(Part3) 動詞基本ドリル					音読トレーニング EL U013,U014 単語、文法問題(1時間)			
9	リスニング演習	Lesson14 トークの全体構造と頻出トピックを押さえる(Part4) 動詞基本ドリル					音読トレーニング EL U015,U016 単語、文法問題(1時間)			
10	カウンセリング 小テスト	6月20日の模試の結果を元にカウンセリング、個別アドバイス 品詞チャレンジドリル					Lesson14 音読・復習 EL U017,U018 単語、文法問題(1時間)			
11	リーディング演習	Part7の解き方 Lesson15 典型的な問題文と答えのヒント(Part7) 動詞基本ドリル					Lesson15 音読・復習 EL U019,U020 単語、文法問題(1時間)			
12	リーディング演習	Lesson16 Part7の頻出トピック・文書形式(Part7) 動詞基本ドリル					音読トレーニング EL U021,U022 単語、文法問題(1時間)			
13	リスニング演習 リーディング演習	Lesson5 問かけごとの「よくある」「ありえない」応答(Part2) 動詞復習、動詞チャレンジドリル					音読トレーニング EL U023,U024 単語、文法問題(1時間)			
14	リスニング演習 リーディング演習 小テスト	Part3 Part4 テキストミニ模試より Lesson8 キーワードを探して正しい時制を見抜く(Part5,6) 品詞問題の復習					音読トレーニング EL U025,U026 単語、文法問題(1時間)			
15	まとめとリスニングテスト	これまでの復習およびTOEICのリスニング(100問)に取り組みます。					定期試験に向けて自己学習(4時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
「はじめてのTOEIC L&Rテスト きほんのきほん」石井洋佑、Karl Rosvold、Micuael McDowell著(スリーエーネットワーク) ISBN:978040883190761-3(生協で購入してください。) 「TOEIC L&Rテスト英文法ゼロからスコアが稼げるドリル」高橋恭子著(アルク) ISBN:978-4-7574-3012-9(生協で購入してください。)					受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 受講態度は授業中の発言回数、意欲等が評価されます。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、応用問題が解ける。TOEICスコアにおいても著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に取り組み、教科書の例題と同レベルの問題が解ける。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
授業内で紹介します。					スマートフォン、PC、タブレット等のいずれかが必要です。後期「TOEIC」の受講を強く推奨しています。					

科目名	TOEIC Eクラス		学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	UL12109	研究室	非常勤
担当者	小西 さやか		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
<p>本授業ではTOEICテストの入門編であるTOEIC Bridgeの教材を使用し、英語運用力の基礎となるリスニング力、リーディング力、文法力、語彙力を身に付け、TOEIC Bridgeのスコアアップを目指します。また、TOEICは「英語でコミュニケーション」が取れるかどうかを測るテストですのでペアワークやグループワークを通じ英語を話す機会を多く設けます。プレースメントテスト成績に基づく少人数クラス(原則20名以下)で行います。</p>										
学修到達目標										
<p>TOEIC Bridgeで55点程度取得できる。 自然なスピードでの会話を聞き、ある程度概要が把握できる。英語で基本的な応答ができる。基礎的な文法事項を理解している。</p>										
授業の進め方										
<p>講義形式ではなく受講生の参加形式です。スマートフォンを用いた双方向型授業を行い、Eラーニングやペアワークなどで統合的に学びます。文法演習やTOEIC Bridgeの問題にも多く取り組み、英語の基礎力(特に文法力とリスニング力)の向上を目指します。</p>										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	授業概要説明 TOEIC がどのようなテストかを知る				今後の学習計画を立てます 単語リスト1 Eラーニング(EL)単語初級U001~U004 テスト01(1時間)				
2	リスニング Part 1,2 文法演習	Part 1 模擬1,2 Part 2 模擬33,18,20 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト1 EL英単語初級 U005~U008 テスト02(1時間)				
3	リスニング Part 1,2 文法演習	Part 1 模擬4,6,9,12,14 Part 2 模擬24,34 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト2 EL英単語初級U009~U012 テスト03(1時間)				
4	リスニング Part 1,2 文法演習	Part 1 模擬3,10,11,15,8 Part 2 模擬29 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト2 文法問題 EL英単語初級 U013~U016 テスト04(1時間)				
5	リスニング Part 1,2 文法演習 小テスト	Part 1 模擬5,7 Part 2 模擬25 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト3 文法問題 EL英単語初級 U017~U020 テスト05(1時間)				
6	リスニング 1,2 文法演習 長文読解	Part 1 模擬13 Part 2 模擬19 Part 5 請求書・領収書 品詞復習ドリル				音読、音読筆写 単語リスト3 模擬 98,99,100 EL英単語初級 U021~U024 テスト06(1時間)				
7	リスニング Part 2,3 文法演習 長文読解	Part 2 模擬17 Part 3 模擬48,50 Part 5 表 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト4 模擬81,82 EL英単語初級 U025~U028 テスト07(1時間)				
8	リスニング Part 2,3 文法演習 長文読解	Part 2 模擬27 Part 3 模擬36,46 Part 5 料理法 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト4 品詞ドリル EL英単語初級 U029~U032 テスト08(1時間)				
9	リスニング Part 2,3 文法演習 小テスト	Part 2 模擬16,35 Part 3 模擬40,44 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト5 文法問題 EL英単語初級 U033~U036 テスト09(1時間)				
10	リスニング Part 2,3 文法演習 長文読解	Part 2 模擬23,26,30 Part 3 模擬37,42 Part 5 広告・記事 模擬85,86 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 模擬95,96,97 単語リスト5 EL英単語初級 U037~U040 テスト10(1時間)				
11	リスニング Part 2,3 文法演習 長文読解	Part 2 模擬21,28 Part 3 模擬39 Part 5 掲示 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト6 模擬83,84 EL英単語初級 U041~U044 テスト11(1時間)				
12	リスニング Part 2,3 文法演習 長文読解	Part 2 模擬31 Part 3 模擬41 Part 5 手紙文・E-mail 模擬93,94 品詞復習ドリル				音読、音読筆写 単語リスト6 模擬90,91,92 EL英単語初級 U045~U048 テスト12(1時間)				
13	リスニング Part 2,3 文法演習 小テスト	Part 2 模擬32 Part 3 模擬43,45,47 品詞チャレンジドリル				音読、音読筆写 模擬87,88 文法問題 EL英単語初級 U049~U052 テスト13(1時間)				
14	リスニング演習 文法演習	Part 3 模擬 Part 1,2 復習 品詞問題の復習				音読、音読筆写 文法問題 EL英単語初級 U053~U056 テスト14(1時間)				
15	ハーフ模擬テスト	ハーフ模試 解説				定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
<p>「TOEIC Bridge スピードマスター」柴山かつの著(ジェイ・リサーチ出版) ISBN:978-4-901429-57-3 (生協で購入してください。) 「TOEIC L&Rテスト英文法ゼロからスコアが稼げるドリル」高橋恭子著(アルク) ISBN:978-4-7574-3012-9 (生協で購入してください。)</p>				<p>受講態度:10% 小テスト:30% 課題:30% 定期試験:30% 受講態度は授業中の発言回数、意欲等が評価されます。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、応用問題が解ける。TOEICスコアにおいても著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に取り組み、教科書の例題と同レベルの問題が解ける。</p>						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。				スマートフォン、PC、タブレット等のいずれかが必要です。後期「TOEIC」の受講を強く推奨しています。						

科目名	TOEIC Fクラス			学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	UL12109	研究室	
担当者	中田 順			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要 本授業ではTOEICテストの入門編であるTOEIC Bridgeの教材を使用し、英語運用力の基礎となるリスニング力、リーディング力、文法力、語彙力を身に付け、TOEIC Bridgeのスコアアップを目指します。また、TOEICは「英語でコミュニケーション」が取れるかどうかを測るテストですのでペアワークやグループワークを通じ英語を話す機会を多く設けます。プレースメントテスト成績に基づく少人数クラス(原則20名以下)で行います。											
学修到達目標 TOEIC Bridgeで50点程度取得できる。 自然なスピードでの会話を聞き、ある程度概要が把握できる。英語で基本的な応答ができる。基礎的な文法事項を理解している。											
授業の進め方 講義形式ではなく受講生の参加形式です。スマートフォンを用いた双方向型授業を行い、Eラーニングやペアワークなどで統合的に学びます。文法演習やTOEIC Bridgeの問題にも多く取り組み、英語の基礎力(特に文法力とリスニング力)の向上を目指します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	ガイダンス	授業概要説明 TOEIC がどのようなテストかを知る					今後の学習計画を立てます 単語リスト1 Eラーニング(EL)単語初級U001~U004 テスト01(1時間)				
2	リスニング Part 1,2 文法演習	Part 1 模擬1,2 Part 2 模擬33,18,20 品詞基本ドリル					音読、音読筆写 単語リスト1 EL英単語初級 U005~U008 テスト02(1時間)				
3	リスニング Part 1,2 文法演習	Part 1 模擬4,6,9,12,14 Part 2 模擬24,34 品詞基本ドリル					音読、音読筆写 単語リスト2 EL英単語初級U009~U012 テスト03(1時間)				
4	リスニング Part 1,2 文法演習	Part 1 模擬3,10,11,15,8 Part 2 模擬29 品詞基本ドリル					音読、音読筆写 単語リスト2 文法問題 EL英単語初級 U013~U016 テスト04(1時間)				
5	リスニング Part 1,2 文法演習 小テスト	Part 1 模擬5,7 Part 2 模擬25 品詞基本ドリル					音読、音読筆写 単語リスト3 文法問題 EL英単語初級 U017~U020 テスト05(1時間)				
6	リスニング 1,2 文法演習 長文読解	Part 1 模擬13 Part 2 模擬19 Part 5 請求書・領収書 品詞復習ドリル					音読、音読筆写 単語リスト3 模擬98,99,100 EL英単語初級 U021~U024 テスト06(1時間)				
7	リスニング Part 2,3 文法演習 長文読解	Part 2 模擬17 Part 3 模擬48,50 Part 5 表 品詞基本ドリル					音読、音読筆写 単語リスト4 模擬81,82 EL英単語初級 U025~U028 テスト07(1時間)				
8	リスニング Part 2,3 文法演習 長文読解	Part 2 模擬27 Part 3 模擬36,46 Part 5 料理法 品詞基本ドリル					音読、音読筆写 単語リスト4 品詞ドリル EL英単語初級 U029~U032 テスト08(1時間)				
9	リスニング Part 2,3 文法演習 小テスト	Part 2 模擬16,35 Part 3 模擬40,44 品詞基本ドリル					音読、音読筆写 単語リスト5 文法問題 EL英単語初級 U033~U036 テスト09(1時間)				
10	リスニング Part 2,3 文法演習 長文読解	Part 2 模擬23,26,30 Part 3 模擬37,42 Part 5 広告・記事 模擬85,86 品詞基本ドリル					音読、音読筆写 模擬95,96,97 単語リスト5 EL英単語初級 U037~U040 テスト10(1時間)				
11	リスニング Part 2,3 文法演習 長文読解	Part 2 模擬21,28 Part 3 模擬39 Part 5 掲示 品詞基本ドリル					音読、音読筆写 単語リスト6 模擬83,84 EL英単語初級 U041~U044 テスト11(1時間)				
12	リスニング Part 2,3 文法演習 長文読解	Part 2 模擬31 Part 3 模擬41 Part 5 手紙文・E-mail 模擬93,94 品詞復習ドリル					音読、音読筆写 単語リスト6 模擬90,91,92 EL英単語初級 U045~U048 テスト12(1時間)				
13	リスニング Part 2,3 文法演習 小テスト	Part 2 模擬32 Part 3 模擬43,45,47 品詞チャレンジドリル					音読、音読筆写 模擬87,88 文法問題 EL英単語初級 U049~U052 テスト13(1時間)				
14	リスニング演習 文法演習	Part 3 模擬 Part 1,2 復習 品詞問題の復習					音読、音読筆写 文法問題 EL英単語初級 U053~U056 テスト14(1時間)				
15	ハーフ模擬テスト	ハーフ模試 解説					定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「TOEIC Bridge スピードマスター」柴山かつの著(ジェイ・リサーチ出版) ISBN:978-4-901429-57-3(生協で購入してください。) 「TOEIC L&Rテスト英文法ゼロからスコアが稼げるドリル」高橋恭子著(アルク) ISBN:978-4-7574-3012-9(生協で購入してください。)					受講態度:10% 小テスト:30% 課題:30% 定期試験:30% 受講態度は授業中の発言回数、意欲等が評価されます。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、難しい応用問題が解ける。TOEICスコアにおいても著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に取り組み、教科書の例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。					スマートフォン、PC、タブレット等のいずれかが必要です。後期「TOEIC」の受講を強く推奨しています。						

科目名	TOEIC Gクラス			学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	UL12109	研究室	
担当者	小沼 さつき			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要 本授業ではTOEICテストの入門編であるTOEIC Bridgeの教材を使用し、英語運用力の基礎となるリスニング力、リーディング力、文法力、語彙力を身に付け、TOEIC Bridgeのスコアアップを目指します。また、TOEICは「英語でコミュニケーション」が取れるかどうかを測るテストですのでペアワークやグループワークを通じ英語を話す機会を多く設けます。プレイズメントテスト成績に基づく少人数クラス(原則20名以下)で行います。											
学修到達目標 TOEIC Bridgeで45点程度取得できる。 自然なスピードでの会話を聞き、ある程度概要が把握できる。英語で基本的な応答ができる。基礎的な文法事項を理解している。											
授業の進め方 講義形式ではなく受講生の参加形式です。スマートフォンを用いた双方向型授業を行い、Eラーニングやペアワークなどで統合的に学びます。文法演習やTOEIC Bridgeの問題にも多く取り組み、英語の基礎力(特に文法力とリスニング力)の向上を目指します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	ガイダンス	授業概要説明 TOEIC がどのようなテストかを知る					今後の学習計画を立てます 単語リスト1 Eラーニング(EL)単語初級U001~U004 テスト01(1時間)				
2	リスニング Part 1,2 文法演習	Part 1 模擬1,2 Part 2 模擬33,18,20 品詞基本ドリル					音読、音読筆写 単語リスト1 EL英単語初級 U005~U008 テスト02(1時間)				
3	リスニング Part 1,2 文法演習	Part 1 模擬4,6,9,12,14 Part 2 模擬24,34 品詞基本ドリル					音読、音読筆写 単語リスト2 EL英単語初級U009~U012 テスト03(1時間)				
4	リスニング Part 1,2 文法演習	Part 1 模擬3,10,11,15,8 Part 2 模擬29 品詞基本ドリル					音読、音読筆写 単語リスト2 文法問題 EL英単語初級 U013~U016 テスト04(1時間)				
5	リスニング Part 1,2 文法演習 小テスト	Part 1 模擬5,7 Part 2 模擬25 品詞基本ドリル					音読、音読筆写 単語リスト3 文法問題 EL英単語初級 U017~U020 テスト05(1時間)				
6	リスニング 1,2 文法演習 長文読解	Part 1 模擬13 Part 2 模擬19 Part 5 請求書・領収書 品詞復習ドリル					音読、音読筆写 単語リスト3 模擬 98,99,100 EL英単語初級 U021~U024 テスト06(1時間)				
7	リスニング Part 2,3 文法演習 長文読解	Part 2 模擬17 Part 3 模擬48,50 Part 5 表 品詞基本ドリル					音読、音読筆写 単語リスト4 模擬81,82 EL英単語初級 U025~U028 テスト07(1時間)				
8	リスニング Part 2,3 文法演習 長文読解	Part 2 模擬27 Part 3 模擬36,46 Part 5 料理法 品詞基本ドリル					音読、音読筆写 単語リスト4 品詞ドリル EL英単語初級 U029~U032 テスト08(1時間)				
9	リスニング Part 2,3 文法演習 小テスト	Part 2 模擬16,35 Part 3 模擬40,44 品詞基本ドリル					音読、音読筆写 単語リスト5 文法問題 EL英単語初級 U033~U036 テスト09(1時間)				
10	リスニング Part 2,3 文法演習 長文読解	Part 2 模擬23,26,30 Part 3 模擬37,42 Part 5 広告・記事 模擬85,86 品詞基本ドリル					音読、音読筆写 模擬95,96,97 単語リスト5 EL英単語初級 U037~U040 テスト10(1時間)				
11	リスニング Part 2,3 文法演習 長文読解	Part 2 模擬21,28 Part 3 模擬39 Part 5 掲示 品詞基本ドリル					音読、音読筆写 単語リスト6 模擬83,84 EL英単語初級 U041~U044 テスト11(1時間)				
12	リスニング Part 2,3 文法演習 長文読解	Part 2 模擬31 Part 3 模擬41 Part 5 手紙文・E-mail 模擬93,94 品詞復習ドリル					音読、音読筆写 単語リスト6 模擬90,91,92 EL英単語初級 U045~U048 テスト12(1時間)				
13	リスニング Part 2,3 文法演習 小テスト	Part 2 模擬32 Part 3 模擬43,45,47 品詞チャレンジドリル					音読、音読筆写 模擬87,88 文法問題 EL英単語初級 U049~U052 テスト13(1時間)				
14	リスニング演習 文法演習	Part 3 模擬 Part 1,2 復習 品詞問題の復習					音読、音読筆写 文法問題 EL英単語初級 U053~U056 テスト14(1時間)				
15	ハーフ模擬テスト	ハーフ模試 解説					定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「TOEIC Bridge スピードマスター」柴山かつの著(ジェイ・リサーチ出版) ISBN:978-4-901429-57-3(生協で購入してください。) 「TOEIC L&Rテスト英文法ゼロからスコアが稼げるドリル」高橋恭子著(アルク) ISBN:978-4-7574-3012-9(生協で購入してください。)					受講態度:10% 小テスト:30% 課題:30% 定期試験:30% 受講態度は授業中の発言回数、意欲等が評価されます。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、難しい応用問題が解ける。TOEICスコアにおいても著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に取り組み、教科書の例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。					スマートフォン、PC、タブレット等のいずれかが必要です。後期「TOEIC」の受講を強く推奨しています。						

科目名	TOEIC Hクラス		学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	UL12109	研究室	非常勤
担当者	中野 麻里		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
<p>本授業ではTOEICテストの入門編であるTOEIC Bridgeの教材を使用し、英語運用力の基礎となるリスニング力、リーディング力、文法力、語彙力を身に付け、TOEIC Bridgeのスコアアップを目指します。また、TOEICは「英語でコミュニケーション」が取れるかどうかを測るテストですのでペアワークやグループワークを通じ英語を話す機会を多く設けます。プレースメントテスト成績に基づく少人数クラス(原則20名以下)で行います。</p>										
学修到達目標										
<p>TOEIC Bridgeで40点程度取得できる。 自然なスピードでの会話を聞き、ある程度概要が把握できる。英語で基本的な応答ができる。基礎的な文法事項を理解している。</p>										
授業の進め方										
<p>講義形式ではなく受講生の参加形式です。スマートフォンを用いた双方向型授業を行い、Eラーニングやペアワークなどで統合的に学びます。文法演習やTOEIC Bridgeの問題にも多く取り組み、英語の基礎力(特に文法力とリスニング力)の向上を目指します。</p>										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	授業概要説明 TOEIC がどのようなテストかを知る				今後の学習計画を立てます 単語リスト1 Eラーニング(EL)単語初級U001~U004 テスト01(1時間)				
2	リスニング Part 1,2 文法演習	Part 1 模擬1,2 Part 2 模擬33,18,20 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト1 EL英単語初級 U005~U008 テスト02(1時間)				
3	リスニング Part 1,2 文法演習	Part 1 模擬4,6,9,12,14 Part 2 模擬24,34 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト2 EL英単語初級U009~U012 テスト03(1時間)				
4	リスニング Part 1,2 文法演習	Part 1 模擬3,10,11,15,8 Part 2 模擬29 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト2 文法問題 EL英単語初級 U013~U016 テスト04(1時間)				
5	リスニング Part 1,2 文法演習 小テスト	Part 1 模擬5,7 Part 2 模擬25 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト3 文法問題 EL英単語初級 U017~U020 テスト05(1時間)				
6	リスニング 1,2 文法演習 長文読解	Part 1 模擬13 Part 2 模擬19 Part 5 請求書・領収書 品詞復習ドリル				音読、音読筆写 単語リスト3 模擬98,99,100 EL英単語初級 U021~U024 テスト06(1時間)				
7	リスニング Part 2,3 文法演習 長文読解	Part 2 模擬17 Part 3 模擬48,50 Part 5 表 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト4 模擬81,82 EL英単語初級 U025~U028 テスト07(1時間)				
8	リスニング Part 2,3 文法演習 長文読解	Part 2 模擬27 Part 3 模擬36,46 Part 5 料理法 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト4 品詞ドリル EL英単語初級 U029~U032 テスト08(1時間)				
9	リスニング Part 2,3 文法演習 小テスト	Part 2 模擬16,35 Part 3 模擬40,44 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト5 文法問題 EL英単語初級 U033~U036 テスト09(1時間)				
10	リスニング Part 2,3 文法演習 長文読解	Part 2 模擬23,26,30 Part 3 模擬37,42 Part 5 広告・記事 模擬85,86 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 模擬95,96,97 単語リスト5 EL英単語初級 U037~U040 テスト10(1時間)				
11	リスニング Part 2,3 文法演習 長文読解	Part 2 模擬21,28 Part 3 模擬39 Part 5 掲示 品詞基本ドリル				音読、音読筆写 単語リスト6 模擬83,84 EL英単語初級 U041~U044 テスト11(1時間)				
12	リスニング Part 2,3 文法演習 長文読解	Part 2 模擬31 Part 3 模擬41 Part 5 手紙文・E-mail 模擬93,94 品詞復習ドリル				音読、音読筆写 単語リスト6 模擬90,91,92 EL英単語初級 U045~U048 テスト12(1時間)				
13	リスニング Part 2,3 文法演習 小テスト	Part 2 模擬32 Part 3 模擬43,45,47 品詞チャレンジドリル				音読、音読筆写 模擬87,88 文法問題 EL英単語初級 U049~U052 テスト13(1時間)				
14	リスニング演習 文法演習	Part 3 模擬 Part 1,2 復習 品詞問題の復習				音読、音読筆写 文法問題 EL英単語初級 U053~U056 テスト14(1時間)				
15	ハーフ模擬テスト	ハーフ模試 解説				定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
<p>「TOEIC Bridge スピードマスター」柴山かつの著(ジェイ・リサーチ出版) ISBN:978-4-901429-57-3(生協で購入してください。) 「TOEIC L&Rテスト英文法ゼロからスコアが稼げるドリル」高橋恭子著(アルク) ISBN:978-4-7574-3012-9(生協で購入してください。)</p>				<p>受講態度:10% 小テスト:30% 課題:30% 定期試験:30% 受講態度は授業中の発言回数、意欲等が評価されます。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、難しい応用問題が解ける。TOEICスコアにおいても著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に取り組み、教科書の例題と同レベルの問題が解ける。</p>						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。				スマートフォン、PC、タブレット等のいずれかが必要です。後期「TOEIC」の受講を強く推奨しています。						

科目名	TOEIC Aクラス		学年学期	1年後期	単位数	1	ナバリング	UL12110	研究室	非常勤
担当者	宮坂 るみ		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業は年々増え続けています。本授業では、英語運用力の基礎となるリスニング力、リーディング力、文法力、語彙力を身につけ、TOEIC受験に必要な英語力の基礎を作ります。リスニング能力、文法の知識、語彙力を身につけ、TOEIC L&R で500点以上の取得を目指します。プレイメントテスト成績に基づく少人数クラス(原則20名以下)で行います。										
学修到達目標										
TOEIC L&R で480点程度取得できる。 さらに、簡単な日常会話ができる程度のコミュニケーション能力を修得している。										
授業の進め方										
文法演習やTOEIC 問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォン等を用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	カウンセリング	授業概要説明 カウンセリング 目標点数を取得するためにはどんなトレーニングが必要かを考える				学習計画 Eラーニング(EL)500点 コースU001,U002(Stage3)英単語 初級U001~U003(1時間)				
2	リスニング演習 リーディング演習	Lesson7 動作と状態の違いで正解を見抜く(Part1) きほんのきほんLesson8動詞復習				音読トレーニング EL U003,U004 英単語初級 U004~U006 文法問題(1時間)				
3	リスニング演習 リーディング演習	Lesson17 代名詞のチェックポイント(Part5,6) きほんのきほんLesson9品詞復習				音読トレーニング EL U005,U006 英単語初級 U007~U009 文法問題(1時間)				
4	リスニング演習 リーディング演習	Lesson18 形容詞節のチェックポイント(Part5,6) 代名詞基本ドリル				音読トレーニング EL U007,U008 英単語初級 U010~U012 文法問題(1時間)				
5	リスニング演習 小テスト	Lesson22 図表問題の解き方(Part3,4) 代名詞基本ドリル、復習、チャレンジ				音読トレーニング EL U009,U010 英単語初級 U013~U015 文法問題(1時間)				
6	リーディング演習	Lesson19 関係語句(Part5,6) 前置詞基本ドリル				音読トレーニング EL U011,U012 英単語初級 U016~U018 文法問題(1時間)				
7	リスニング演習	Lesson26 文脈を読み取る(Part3,4) 前置詞基本ドリル、復習、チャレンジ				音読トレーニング EL U013,U014 英単語初級 U019~U021 文法問題(1時間)				
8	リーディング演習	Lesson21 Scanningを身に付けよう(Part7) 接続詞基本ドリル				音読トレーニング EL U015,U016 英単語初級 U022~U024 文法問題(1時間)				
9	リーディング演習 小テスト	Lesson20 接続詞系の問題(Part5,6) 接続詞基本ドリル、復習、チャレンジ				音読トレーニング EL U017,U018 英単語初級 U025~U027 文法問題(1時間)				
10	カウンセリング	11月28日の模試の結果を元にカウンセリング、個別アドバイスを受ける ミニ模試				音読トレーニング EL U019,U020 英単語初級 U028~U030 文法問題(1時間)				
11	リーディング演習	Lesson24 文章の展開パターン(Part6) 関係代名詞基本ドリル				音読トレーニング EL U021,U022 英単語初級 U031~U033 文法問題(1時間)				
12	リーディング演習	Lesson23 Multiple Passage(Part7) 関係代名詞復習ドリル、チャレンジ				音読トレーニング EL U023,U024 英単語初級 U034~U036 文法問題(1時間)				
13	リーディング演習 小テスト	Lesson25 代名詞や限定詞が生むつながり 品詞問題復習				音読トレーニング EL U025,U026 英単語初級 U037~U039 文法問題(1時間)				
14	リスニング演習 リーディング演習	Lesson27 口語的なやり取りに慣れよう(Part3,Part7) 動詞問題復習				音読トレーニング EL U027,U028 英単語初級 U040~U042 文法問題(1時間)				
15	ミニ模試	ミニ模試				定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「はじめてのTOEIC L&Rテスト きほんのきほん」石井洋佑、Karl Rosvold、Micael McDowell著(スリーエーネットワーク) ISBN:978040883190761-3(生協で購入してください。) TOEIC より継続使用です。 「TOEIC L&Rテスト英文法ゼロからスコアが稼げるドリル」高橋恭子著(アルク) ISBN:978-4-7574-3012-9(生協で購入してください。) TOEIC より継続使用です。 「TOEIC L&R TEST 標準模試 2」神崎 正哉、Daniel Warriner著(やどかり出版) ISBN:978-4-7946-0466-8(生協で購入してください。)				受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 試験はTOEIC IPテストを用います。受講態度は発言回数、意欲等が評価されます。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、難しい応用問題が解ける。TOEICスコアにおいて著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、課題に取り組み、教科書の例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。				受講にはスマートフォン、PC、タブレットのいずれかが必要です。継続してTOEICを受講することを強く推奨します。						

科目名	TOEIC Bクラス		学年学期	1年後期	単位数	1	ナバリング	UL12110	研究室	
担当者	上條 美香		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業は年々増え続けています。本授業では、英語運用力の基礎となるリスニング力、リーディング力、文法力、語彙力を身につけ、TOEIC受験に必要な英語力の基礎を作ります。リスニング能力、文法の知識、語彙力を身につけ、TOEIC L&R で450点以上の取得を目指します。プレースメントテスト成績に基づく少人数クラス(原則20名以下)で行います。										
学修到達目標										
TOEIC L&R で430点程度取得できる。 さらに、簡単な日常会話ができる程度のコミュニケーション能力を修得している。										
授業の進め方										
文法演習やTOEIC 問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォン等を用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	カウンセリング	授業概要説明 カウンセリング 目標点数を取得するためにはどんなトレーニングが必要かを考える				学習計画 Eラーニング(EL)500点 コースU001,U002(Stage3)英単語 初級U001~U003(1時間)				
2	リスニング演習 リーディング演習	Lesson7 動作と状態の違いで正解を見抜く(Part1) きほんのきほんLesson8動詞復習				音読トレーニング EL U003,U004 英単語初級 U004~U006 文法問題(1時間)				
3	リスニング演習 リーディング演習	Lesson17 代名詞のチェックポイント(Part5,6) きほんのきほんLesson9品詞復習				音読トレーニング EL U005,U006 英単語初級 U007~U009 文法問題(1時間)				
4	リスニング演習 リーディング演習	Lesson18 形容詞節のチェックポイント(Part5,6) 代名詞基本ドリル				音読トレーニング EL U007,U008 英単語初級 U010~U012 文法問題(1時間)				
5	リスニング演習 小テスト	Lesson22 図表問題の解き方(Part3,4) 代名詞基本ドリル、復習、チャレンジ				音読トレーニング EL U009,U010 英単語初級 U013~U015 文法問題(1時間)				
6	リーディング演習	Lesson19 関連語句(Part5,6) 前置詞基本ドリル				音読トレーニング EL U011,U012 英単語初級 U016~U018 文法問題(1時間)				
7	リスニング演習	Lesson26 文脈を読み取る(Part3,4) 前置詞基本ドリル、復習、チャレンジ				音読トレーニング EL U013,U014 英単語初級 U019~U021 文法問題(1時間)				
8	リーディング演習	Lesson21 Scanningを身に付けよう(Part7) 接続詞基本ドリル				音読トレーニング EL U015,U016 英単語初級 U022~U024 文法問題(1時間)				
9	リーディング演習 小テスト	Lesson20 接続詞系の問題(Part5,6) 接続詞基本ドリル、復習、チャレンジ				音読トレーニング EL U017,U018 英単語初級 U025~U027 文法問題(1時間)				
10	カウンセリング	11月28日の模試の結果を元にカウンセリング、個別アドバイスを受ける ミニ模試				音読トレーニング EL U019,U020 英単語初級 U028~U030 文法問題(1時間)				
11	リーディング演習	Lesson24 文章の展開パターン(Part6) 関係代名詞基本ドリル				音読トレーニング EL U021,U022 英単語初級 U031~U033 文法問題(1時間)				
12	リーディング演習	Lesson23 Multiple Passage(Part7) 関係代名詞復習ドリル、チャレンジ				音読トレーニング EL U023,U024 英単語初級 U034~U036 文法問題(1時間)				
13	リーディング演習 小テスト	Lesson25 代名詞や限定詞が生むつながり 品詞問題復習				音読トレーニング EL U025,U026 英単語初級 U037~U039 文法問題(1時間)				
14	リスニング演習 リーディング演習	Lesson27 口語的なやり取りに慣れよう(Part3,Part7) 動詞問題復習				音読トレーニング EL U027,U028 英単語初級 U040~U042 文法問題(1時間)				
15	ミニ模試	ミニ模試				定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「はじめてのTOEIC L&Rテスト きほんのきほん」石井洋佑、Karl Rosvold、Micael McDowell著(スリーエーネットワーク) ISBN:978040883190761-3(生協で購入してください。) TOEIC より継続使用です。 「TOEIC L&Rテスト英文法ゼロからスコアが稼げるドリル」高橋恭子著(アルク) ISBN:978-4-7574-3012-9(生協で購入してください。) TOEIC より継続使用です。 「TOEIC L&R TEST 標準模試 2」神崎 正哉、Daniel Warriner著(やどかり出版) ISBN:978-4-7946-0466-8(生協で購入してください。)				受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 試験はTOEIC IPテストを用います。受講態度は発言回数、意欲等が評価されます。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、難しい応用問題が解ける。TOEICスコアにおいて著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、課題に取り組み、教科書の例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。				受講にはスマートフォン、PC、タブレットのいずれかが必要です。継続してTOEICを受講することを強く推奨します。						

科目名	TOEIC Cクラス		学年学期	1年後期	単位数	1	ナバリング	UL12110	研究室	非常勤	
担当者	山内 志野		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー				
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
			A	B	C						
授業概要											
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業は年々増え続けています。本授業では、英語運用力の基礎となるリスニング力、リーディング力、文法力、語彙力を身につけ、TOEIC受験に必要な英語力の基礎を作ります。リスニング能力、文法の知識、語彙力を身につけ、TOEIC L&R で420点以上の取得を目指します。プレースメントテスト成績に基づく少人数クラス(原則20名以下)で行います。											
学修到達目標											
TOEIC L&R で400点程度取得できる。 さらに、簡単な日常会話ができる程度のコミュニケーション能力を修得している。											
授業の進め方											
文法演習やTOEIC 問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォン等を用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	カウンセリング	授業概要説明 カウンセリング 目標点数を取得するためにはどんなトレーニングが必要かを考える					学習計画 Eラーニング(EL)500点 コースU001,U002(Stage3)英単語 初級U001~U003(1時間)				
2	リスニング演習 リーディング演習	Lesson7 動作と状態の違いで正解を見抜く(Part1) きほんのきほんLesson8動詞復習					音読トレーニング EL U003,U004 英単語初級 U004~U006 文法問題(1時間)				
3	リスニング演習 リーディング演習	Lesson17 代名詞のチェックポイント(Part5,6) きほんのきほんLesson9品詞復習					音読トレーニング EL U005,U006 英単語初級 U007~U009 文法問題(1時間)				
4	リスニング演習 リーディング演習	Lesson18 形容詞節のチェックポイント(Part5,6) 代名詞基本ドリル					音読トレーニング EL U007,U008 英単語初級 U010~U012 文法問題(1時間)				
5	リスニング演習 小テスト	Lesson22 図表問題の解き方(Part3,4) 代名詞基本ドリル、復習、チャレンジ					音読トレーニング EL U009,U010 英単語初級 U013~U015 文法問題(1時間)				
6	リーディング演習	Lesson19 関連語句(Part5,6) 前置詞基本ドリル					音読トレーニング EL U011,U012 英単語初級 U016~U018 文法問題(1時間)				
7	リスニング演習	Lesson26 文脈を読み取る(Part3,4) 前置詞基本ドリル、復習、チャレンジ					音読トレーニング EL U013,U014 英単語初級 U019~U021 文法問題(1時間)				
8	リーディング演習	Lesson21 Scanningを身に付けよう(Part7) 接続詞基本ドリル					音読トレーニング EL U015,U016 英単語初級 U022~U024 文法問題(1時間)				
9	リーディング演習 小テスト	Lesson20 接続詞系の問題(Part5,6) 接続詞基本ドリル、復習、チャレンジ					音読トレーニング EL U017,U018 英単語初級 U025~U027 文法問題(1時間)				
10	カウンセリング	11月28日の模試の結果を元にカウンセリング、個別アドバイスを受ける ミニ模試					音読トレーニング EL U019,U020 英単語初級 U028~U030 文法問題(1時間)				
11	リーディング演習	Lesson24 文章の展開パターン(Part6) 関係代名詞基本ドリル					音読トレーニング EL U021,U022 英単語初級 U031~U033 文法問題(1時間)				
12	リーディング演習	Lesson23 Multiple Passage(Part7) 関係代名詞復習ドリル、チャレンジ					音読トレーニング EL U023,U024 英単語初級 U034~U036 文法問題(1時間)				
13	リーディング演習 小テスト	Lesson25 代名詞や限定詞が生むつながり 品詞問題復習					音読トレーニング EL U025,U026 英単語初級 U037~U039 文法問題(1時間)				
14	リスニング演習 リーディング演習	Lesson27 口語的なやり取りに慣れよう(Part3,Part7) 動詞問題復習					音読トレーニング EL U027,U028 英単語初級 U040~U042 文法問題(1時間)				
15	ミニ模試	ミニ模試					定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト			成績評価の方法・基準								
「はじめてのTOEIC L&Rテスト きほんのきほん」石井洋佑、Karl Rosvold、Micael McDowell著(スリーエーネットワーク) ISBN:978040883190761-3(生協で購入してください。TOEIC より継続使用です。TOEIC L&Rテスト英文法ゼロからスコアが稼げるドリル」高橋恭子著(アルク) ISBN:978-4-7574-3012-9(生協で購入してください。TOEIC より継続使用です。			受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 試験はTOEIC 1Pテストを用います。受講態度は発言回数、意欲等が評価されます。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、難しい応用問題が解ける。TOEICスコアにおいて著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業内容の60%程度を理解し、課題に取り組み、教科書の例題と同レベルの問題が解ける。								
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)								
授業内で紹介します。			受講にはスマートフォン、PC、タブレットのいずれかが必要です。継続してTOEICを受講することを強く推奨します。								

科目名	TOEIC Dクラス		学年学期	1年後期	単位数	1	ナバリング	UL12110	研究室	非常勤
担当者	勝山 庸子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業は年々増え続けています。本授業では、英語運用力の基礎となるリスニング力、リーディング力、文法力、語彙力を身につけ、TOEIC受験に必要な英語力の基礎を作ります。リスニング能力、文法の知識、語彙力を身につけ、TOEIC L&R で400点以上の取得を目指します。プレイメントテスト成績に基づく少人数クラス(原則20名以下)で行います。										
学修到達目標										
TOEIC L&R で370点程度取得できる。 さらに、簡単な日常会話ができる程度のコミュニケーション能力を修得している。										
授業の進め方										
文法演習やTOEIC 問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォン等を用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	カウンセリング	授業概要説明 カウンセリング 目標点数を取得するためにはどんなトレーニングが必要かを考える				学習計画 Eラーニング(EL)500点 コースU001,U002(Stage3)英単語 初級U001~U003(1時間)				
2	リスニング演習 リーディング演習	Lesson7 動作と状態の違いで正解を見抜く(Part1) きほんのきほんLesson8動詞復習				音読トレーニング EL U003,U004 英単語初級 U004~U006 文法問題(1時間)				
3	リスニング演習 リーディング演習	Lesson17 代名詞のチェックポイント(Part5,6) きほんのきほんLesson9品詞復習				音読トレーニング EL U005,U006 英単語初級 U007~U009 文法問題(1時間)				
4	リスニング演習 リーディング演習	Lesson18 形容詞節のチェックポイント(Part5,6) 代名詞基本ドリル				音読トレーニング EL U007,U008 英単語初級 U010~U012 文法問題(1時間)				
5	リスニング演習 小テスト	Lesson22 図表問題の解き方(Part3,4) 代名詞基本ドリル、復習、チャレンジ				音読トレーニング EL U009,U010 英単語初級 U013~U015 文法問題(1時間)				
6	リーディング演習	Lesson19 関連語句(Part5,6) 前置詞基本ドリル				音読トレーニング EL U011,U012 英単語初級 U016~U018 文法問題(1時間)				
7	リスニング演習	Lesson26 文脈を読み取る(Part3,4) 前置詞基本ドリル、復習、チャレンジ				音読トレーニング EL U013,U014 英単語初級 U019~U021 文法問題(1時間)				
8	リーディング演習	Lesson21 Scanningを身に付けよう(Part7) 接続詞基本ドリル				音読トレーニング EL U015,U016 英単語初級 U022~U024 文法問題(1時間)				
9	リーディング演習 小テスト	Lesson20 接続詞系の問題(Part5,6) 接続詞基本ドリル、復習、チャレンジ				音読トレーニング EL U017,U018 英単語初級 U025~U027 文法問題(1時間)				
10	カウンセリング	11月28日の模試の結果を元にカウンセリング、個別アドバイスを受ける 関係代名詞基本ドリル				音読トレーニング EL U019,U020 英単語初級 U028~U030 文法問題(1時間)				
11	リーディング演習	Lesson24 文章の展開パターン(Part6) 関係代名詞基本ドリル				音読トレーニング EL U021,U022 英単語初級 U031~U033 文法問題(1時間)				
12	リーディング演習	Lesson23 Multiple Passage(Part7) 関係代名詞復習ドリル、チャレンジ				音読トレーニング EL U023,U024 英単語初級 U034~U036 文法問題(1時間)				
13	リーディング演習 小テスト	Lesson25 代名詞や限定詞が生むつながり 品詞問題復習				音読トレーニング EL U025,U026 英単語初級 U037~U039 文法問題(1時間)				
14	リスニング演習 リーディング演習	Lesson27 口語的なやり取りに慣れよう(Part3,Part7) 動詞問題復習				音読トレーニング EL U027,U028 英単語初級 U040~U042 文法問題(1時間)				
15	ミニ模試	ミニ模試				定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「はじめてのTOEIC L&Rテスト きほんのきほん」石井洋佑、Karl Rosvold、Micael McDowell著(スリーエーネットワーク) ISBN:978040883190761-3(生協で購入してください。) TOEIC より継続使用です。 「TOEIC L&Rテスト英文法ゼロからスコアが稼げるドリル」高橋恭子著(アルク) ISBN:978-4-7574-3012-9(生協で購入してください。) TOEIC より継続使用です。				受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 試験はTOEIC 1Pテストを用います。受講態度は発言回数、意欲等が評価されます。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、難しい応用問題が解ける。TOEICスコアにおいて著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業内容の60%程度を理解し、課題に取り組み、教科書の例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。				受講にはスマートフォン、PC、タブレットのいずれかが必要です。継続してTOEICを受講することを強く推奨します。						

科目名	TOEIC Eクラス		学年学期	1年後期	単位数	1	ナバリング	UL12110	研究室	非常勤
担当者	小西 さやか		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
前期に引き続きTOEICテストの入門編であるTOEIC Bridgeの教材を使用し、英語運用力の基礎となるリスニング力、リーディング力、文法力、語彙力を身に付け、TOEIC Bridgeの更なるスコアアップを目指します。また、TOEICは「英語でコミュニケーション」が取れるかどうかを測るテストですのでペアワークやグループワークを通じ英語を話す機会を多く設けます。プレイメントテスト成績に基づく少人数クラス(原則20名以下)で行います。										
学修到達目標										
TOEIC Bridgeで60点程度取得できる知識・技能を身につけている。リスニングでは少し長めの会話やアナウンスを聞き概要が把握できる。リーディングでは長文のおおまかな概要をつかむことができ、詳細を問う問題にも対処することができる。基礎文法が理解できている。										
授業の進め方										
文法演習やTOEIC Bridgeの問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォンを用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	カウンセリング	模試の結果に基づきカウンセリングを行う				音読 Eラーニング(EL) 英単語初級U057~U060, テスト15 単語リスト 文法問題(1時間)				
2	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 1 Activities 品詞問題チャレンジドリル				音読 EL 英単語初級U061~U064, テスト16 単語リスト 文法問題(1時間)				
3	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 2 Eating Out 動詞基本ドリル				音読 EL 英単語初級U065~U068, テスト17 単語リスト 文法問題(1時間)				
4	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 3 Entertainment 動詞基本ドリル				音読 EL 英単語初級U069~U072, テスト18 単語リスト 文法問題(1時間)				
5	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 4 Travel 動詞基本ドリル				音読 EL 英単語初級U073~U076, テスト19 単語リスト 文法問題(1時間)				
6	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 5 Housing 動詞基本ドリル 復習ドリル				音読 EL 英単語初級U077~U080, テスト20 単語リスト 文法問題(1時間)				
7	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 6 School 動詞基本ドリル				音読 EL 英単語初級U081~U084, テスト21 単語リスト 文法問題(1時間)				
8	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 7 Health 動詞基本ドリル				音読 EL 英単語初級U085~U088, テスト22 単語リスト 文法問題(1時間)				
9	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 8 Shopping 動詞基本ドリル 復習ドリル				音読 EL 英単語初級U089~U092, テスト23 単語リスト 文法問題(1時間)				
10	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 9 Family 動詞チャレンジドリル				音読 EL 英単語初級U093~U096, テスト24 単語リスト 文法問題(1時間)				
11	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 10 News 代名詞基本ドリル 復習、チャレンジ				音読 EL 英単語初級U097~U100, テスト25 単語リスト 文法問題(1時間)				
12	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 11 Job Hunting 前置詞基本ドリル 復習、チャレンジ				音読 EL 英単語初級U101~U104, テスト26 単語リスト 文法問題(1時間)				
13	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 12 Advertisements 接続詞基本ドリル 復習、チャレンジ				音読 EL 英単語初級U105~U108, テスト27 単語リスト 文法問題(1時間)				
14	リスニング模擬試験 文法演習	リスニング演習 Part1~4 関係代名詞基本ドリル 復習、チャレンジ				音読 EL 英単語初級U109~U112, テスト28 単語リスト 文法問題(1時間)				
15	リーディング模擬試験 まとめ	リーディング演習 Part1~3 解説				定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準					
「Practical TOEIC BRIDGE® L&R Tests」Alison Kitzman / 三原 京 / 田中 善紀 / 木村 博是著(南雲堂) ISBN:978-4-523-17908-5(生協で購入してください。) 「TOEIC L&Rテスト英文法ゼロからスコアが稼げるドリル」高橋恭子著(アルク) ISBN:978-4-7574-3012-9(生協で購入してください。) TOEIC からの継続使用のテキストです。					受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 試験はTOEIC Bridgeを用います。受講態度は発言回数、意欲等が評価されます。 S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、難しい応用問題が解ける。TOEICスコアにおいても著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、課題に取り組み、教科書の例題と同レベルの問題が解ける。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
授業内で紹介します。					受講にはスマートフォン、PC、タブレットのいずれかが必要です。継続してTOEICを受講することを強く推奨します。					

科目名	TOEIC Fクラス		学年学期	1年後期	単位数	1	ナバリング	UL12110	研究室	
担当者	中田 順		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
前期に引き続きTOEICテストの入門編であるTOEIC Bridgeの教材を使用し、英語運用力の基礎となるリスニング力、リーディング力、文法力、語彙力を身に付け、TOEIC Bridgeの更なるスコアアップを目指します。また、TOEICは「英語でコミュニケーション」が取れるかどうかを測るテストですのでペアワークやグループワークを通じ英語を話す機会を多く設けます。プレイメントテスト成績に基づく少人数クラス(原則20名以下)で行います。										
学修到達目標										
TOEIC Bridgeで55点程度取得できる知識・技能を身につけている。リスニングでは少し長めの会話やアナウンスを聞き概要が把握できる。リーディングでは長文のおおまかな概要をつかむことができ、詳細を問う問題にも対処することができる。基礎文法が理解できている。										
授業の進め方										
文法演習やTOEIC Bridgeの問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォンを用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	カウンセリング	模試の結果に基づきカウンセリングを行う				音読 Eラーニング(EL) 英単語初級U057~U060, テスト15 単語リスト 文法問題(1時間)				
2	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 1 Activities 品詞問題チャレンジドリル				音読 EL 英単語初級U061~U064, テスト16 単語リスト 文法問題(1時間)				
3	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 2 Eating Out 動詞基本ドリル				音読 EL 英単語初級U065~U068, テスト17 単語リスト 文法問題(1時間)				
4	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 3 Entertainment 動詞基本ドリル				音読 EL 英単語初級U069~U072, テスト18 単語リスト 文法問題(1時間)				
5	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 4 Travel 動詞基本ドリル				音読 EL 英単語初級U073~U076, テスト19 単語リスト 文法問題(1時間)				
6	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 5 Housing 動詞基本ドリル 復習ドリル				音読 EL 英単語初級U077~U080, テスト20 単語リスト 文法問題(1時間)				
7	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 6 School 動詞基本ドリル				音読 EL 英単語初級U081~U084, テスト21 単語リスト 文法問題(1時間)				
8	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 7 Health 動詞基本ドリル				音読 EL 英単語初級U085~U088, テスト22 単語リスト 文法問題(1時間)				
9	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 8 Shopping 動詞基本ドリル 復習ドリル				音読 EL 英単語初級U089~U092, テスト23 単語リスト 文法問題(1時間)				
10	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 9 Family 動詞チャレンジドリル				音読 EL 英単語初級U093~U096, テスト24 単語リスト 文法問題(1時間)				
11	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 10 News 代名詞基本ドリル 復習、チャレンジ				音読 EL 英単語初級U097~U100, テスト25 単語リスト 文法問題(1時間)				
12	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 11 Job Hunting 前置詞基本ドリル 復習、チャレンジ				音読 EL 英単語初級U101~U104, テスト26 単語リスト 文法問題(1時間)				
13	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 12 Advertisements 接続詞基本ドリル 復習、チャレンジ				音読 EL 英単語初級U105~U108, テスト27 単語リスト 文法問題(1時間)				
14	リスニング模擬試験 文法演習	リスニング演習 Part1~4 関係代名詞基本ドリル 復習、チャレンジ				音読 EL 英単語初級U109~U112, テスト28 単語リスト 文法問題(1時間)				
15	リーディング模擬試験 まとめ	リーディング演習 Part1~3 解説				定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「Practical TOEIC BRIDGE® L&R Tests」Alison Kitzman / 三原 京 / 田中 善紀 / 木村 博是著(南雲堂) ISBN:978-4-523-17908-5(生協で購入してください。) 「TOEIC L&Rテスト英文法ゼロからスコアが稼げるドリル」高橋恭子著(アルク) ISBN:978-4-7574-3012-9(生協で購入してください。) TOEIC からの継続使用のテキストです。				受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 試験はTOEIC Bridgeを用います。受講態度は発言回数、意欲等が評価されます。 S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、難しい応用問題が解ける。TOEICスコアにおいても著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業内容の60%程度を理解し、課題に取り組み、教科書の例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。				受講にはスマートフォン、PC、タブレットのいずれかが必要です。継続してTOEICを受講することを強く推奨します。						

科目名	TOEIC Gクラス		学年学期	1年後期	単位数	1	ナバリング	UL12110	研究室	
担当者	小沼 さつき		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
前期に引き続きTOEICテストの入門編であるTOEIC Bridgeの教材を使用し、英語運用力の基礎となるリスニング力、リーディング力、文法力、語彙力を身に付け、TOEIC Bridgeの更なるスコアアップを目指します。また、TOEICは「英語でコミュニケーション」が取れるかどうかを測るテストですのでペアワークやグループワークを通じ英語を話す機会を多く設けます。プレイメントテスト成績に基づく少人数クラス(原則20名以下)で行います。										
学修到達目標										
TOEIC Bridgeで50点程度取得できる知識・技能を身につけている。リスニングでは少し長めの会話やアナウンスを聞き概要が把握できる。リーディングでは長文のおおまかな概要をつかむことができ、詳細を問う問題にも対処することができる。基礎文法が理解できている。										
授業の進め方										
文法演習やTOEIC Bridgeの問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォンを用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	カウンセリング	模試の結果に基づきカウンセリングを行う				音読 Eラーニング(EL) 英単語初級U057~U060, テスト15 単語リスト 文法問題(1時間)				
2	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 1 Activities 品詞問題チャレンジドリル				音読 EL 英単語初級U061~U064, テスト16 単語リスト 文法問題(1時間)				
3	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 2 Eating Out 動詞基本ドリル				音読 EL 英単語初級U065~U068, テスト17 単語リスト 文法問題(1時間)				
4	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 3 Entertainment 動詞基本ドリル				音読 EL 英単語初級U069~U072, テスト18 単語リスト 文法問題(1時間)				
5	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 4 Travel 動詞基本ドリル				音読 EL 英単語初級U073~U076, テスト19 単語リスト 文法問題(1時間)				
6	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 5 Housing 動詞基本ドリル 復習ドリル				音読 EL 英単語初級U077~U080, テスト20 単語リスト 文法問題(1時間)				
7	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 6 School 動詞基本ドリル				音読 EL 英単語初級U081~U084, テスト21 単語リスト 文法問題(1時間)				
8	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 7 Health 動詞基本ドリル				音読 EL 英単語初級U085~U088, テスト22 単語リスト 文法問題(1時間)				
9	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 8 Shopping 動詞基本ドリル 復習ドリル				音読 EL 英単語初級U089~U092, テスト23 単語リスト 文法問題(1時間)				
10	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 9 Family 動詞チャレンジドリル				音読 EL 英単語初級U093~U096, テスト24 単語リスト 文法問題(1時間)				
11	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 10 News 代名詞基本ドリル 復習、チャレンジ				音読 EL 英単語初級U097~U100, テスト25 単語リスト 文法問題(1時間)				
12	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 11 Job Hunting 前置詞基本ドリル 復習、チャレンジ				音読 EL 英単語初級U101~U104, テスト26 単語リスト 文法問題(1時間)				
13	リスニング演習 リーディング演習 文法演習	Unit 12 Advertisements 接続詞基本ドリル 復習、チャレンジ				音読 EL 英単語初級U105~U108, テスト27 単語リスト 文法問題(1時間)				
14	リスニング模擬試験 文法演習	リスニング演習 Part1~4 関係代名詞基本ドリル 復習、チャレンジ				音読 EL 英単語初級U109~U112, テスト28 単語リスト 文法問題(1時間)				
15	リーディング模擬試験 まとめ	リーディング演習 Part1~3 解説				定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準					
「Practical TOEIC BRIDGE® L&R Tests」Alison Kitzman / 三原 京 / 田中 善紀 / 木村 博是著(南雲堂) ISBN:978-4-523-17908-5(生協で購入してください。) 「TOEIC L&Rテスト英文法ゼロからスコアが稼げるドリル」高橋恭子著(アルク) ISBN:978-4-7574-3012-9(生協で購入してください。) TOEIC からの継続使用のテキストです。					受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 試験はTOEIC Bridgeを用います。受講態度は発言回数、意欲等が評価されます。 S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、難しい応用問題が解ける。TOEICスコアにおいても著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、課題に取り組み、教科書の例題と同レベルの問題が解ける。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
授業内で紹介します。					受講にはスマートフォン、PC、タブレットのいずれかが必要です。継続してTOEICを受講することを強く推奨します。					

科目名	TOEIC Aクラス		学年学期	2年前期	単位数	1	ナバリング	UL22111	研究室	非常勤
担当者	山浦 かおる		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業は年々増え続けています。本授業では、より実践的なTOEIC用の教材を使い、スコアアップを狙います。リスニングを重視しますが、長めの文を読みながら語彙力と文法力に磨きをかけ、総合的な英語力も養います。TOEIC L&Rで600点以上の取得を目指します。これまでのTOEICスコアに基づくクラス分け、少人数クラス(原則20名以下)で行います。										
学修到達目標										
TOEIC L&Rで520点程度修得できる。リスニングでは、自然なスピードでの会話を聞き、概要を把握できる。基礎的な文法問題に確実に対処できる。長めの文章の概要を把握でき、詳細情報を瞬時に読み取ることができる。										
授業の進め方										
文法演習やTOEIC 問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォン等を用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	学習計画の作成とカウンセリング	学習計画の作成とIP結果に基づくカウンセリング				Eラーニング(EL) 英単語中級 U001~U004, テスト01 学習計画を完成させてくる(1時間)				
2	リスニング・リーディング問題演習	Unit 1 Travel 名詞を学ぶ				EL 英単語中級 U005~U008, テスト02 音読 問題演習(1時間)				
3	リスニング・リーディング問題演習	Unit 2 Dining Out 形容詞を学ぶ				EL英単語中級 U009~U012, テスト03 音読 問題演習(1時間)				
4	リスニング・リーディング問題演習	Unit 3 Media 副詞を学ぶ				EL英単語中級 U013~U016, テスト04 音読 問題演習(1時間)				
5	リスニング・リーディング問題演習 小テスト	Unit 4 Entertainment 時制を学ぶ				EL英単語中級 U017~U020, テスト05 音読 問題演習(1時間)				
6	リスニング・リーディング問題演習	Unit 5 Purchasing 主語と動詞の一致を学ぶ				EL英単語中級 U021~U024, テスト06 音読 問題演習(1時間)				
7	リスニング・リーディング問題演習	Unit 6 Clients 能動態・受動態を学ぶ				EL英単語中級 U025~U028, テスト07 音読 問題演習(1時間)				
8	リスニング・リーディング問題演習	Unit 7 Recruiting 動名詞・不定詞を学ぶ				EL英単語中級 U029~U032, テスト08 音読 問題演習(1時間)				
9	リスニング・リーディング問題演習 小テスト	Unit 8 Personnel 代名詞を学ぶ				EL英単語中級 U033~U036, テスト09 音読 問題演習(1時間)				
10	リスニング・リーディング問題演習	Unit 9 Advertising 比較を学ぶ				EL英単語中級 U037~U040, テスト10 音読 問題演習(1時間)				
11	カウンセリング ミニ模擬試験	6月20日の模試の結果を元にカウンセリング、個別アドバイス カウンセリングの間ミニ模擬試験を実施				EL英単語中級 U041~U044, テスト11 音読 問題演習(1時間)				
12	リスニング・リーディング問題演習	Unit 10 Meetings 前置詞を学ぶ				EL英単語中級 U045~U048, テスト12 音読 問題演習(1時間)				
13	リスニング・リーディング問題演習 小テスト	Unit 11 Finance 接続詞を学ぶ				EL英単語中級 U049~U052, テスト13 音読 問題演習(1時間)				
14	リスニング・リーディング問題演習	Unit 12 Offices 前置詞と接続詞の違いを学ぶ				EL英単語中級 U053~U056, テスト14 音読 問題演習(1時間)				
15	ミニ模擬試験	ミニ模擬試験試と解説				定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「SCORE BOOSTER FOR THE TOEIC L&R TEST INTERMEDIATE」 番場 直之、小山 克明著(金星堂) ISBN:978-4-7647-4090-7(生協で購入してください。)				受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 試験はTOEIC IPテストを用います。受講態度は発言回数、意欲等が評価されます。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、難しい応用問題が解ける。TOEICスコアで著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおよそを理解し、与えられた課題に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に取り組み、教科書と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。				今までにTOEIC関連の講義を受講したことがある学生を対象としています。受講経験のない学生は相談して下さい。スマートフォン、PC、タブレットのいずれかが必要です。後期「TOEIC」の受講を強く推奨しています。						

科目名	TOEIC Bクラス		学年学期	2年前期	単位数	1	ナバリング	UL22111	研究室	非常勤
担当者	勝山 庸子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業数は年々増え続けています。本授業では、より実践的なTOEIC用の教材を使い、スコアアップを狙います。リスニングを重視しますが、やや長めの文を読みながら語彙力と文法力に磨きをかけ、総合的な英語力も養います。後期「TOEIC」を通してTOEIC L&Rで550点以上の取得を目指します。これまでのTOEICスコアに基づくクラス分け、少人数クラス(原則20名以下)で行います。										
学修到達目標										
「TOEIC L・R」で学習した内容を復習しながら、TOEIC &Rで420点程度取得できる。リスニングでは、自然なスピードでの会話を聞き、概要を把握できる。基礎文法が理解できる。やや長めの文章の概要が理解できる。										
授業の進め方										
文法演習やTOEIC 問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォン等を用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	授業概要、学習計画の作成 リスニング・リーディング 問題演習	授業概要説明 グループごと学習計画の作成とカウンセリング Unit 1 Travel					Eラーニング(EL) 英単語中級 U001~U004、テスト01 問題演習(1時間)			
2	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 2 Dining Out					EL英単語中級 U005~U008、テスト02 音読 問題演習(1時間)			
3	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 3 Media					EL英単語中級 U009~U012、テスト03 音読 問題演習(1時間)			
4	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 4 Entertainment					EL英単語中級 U013~U016、テスト04 音読 問題演習(1時間)			
5	リスニング・リーディング 問題演習 小テスト	Unit 5 Purchasing					EL英単語中級 U017~U020、テスト05 音読 問題演習(1時間)			
6	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 6 Clients					EL英単語中級 U021~U024、テスト06 音読 問題演習(1時間)			
7	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 7 Recruiting					EL英単語中級 U025~U028、テスト07 音読 問題演習(1時間)			
8	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 8 Personnel					EL英単語中級 U029~U032、テスト08 音読 問題演習(1時間)			
9	リスニング・リーディング 問題演習 小テスト	Unit 9 Advertising					EL英単語中級 U033~U036、テスト09 音読 問題演習(1時間)			
10	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 10 Meetings					EL英単語中級 U037~U040、テスト10 音読 問題演習(1時間)			
11	カウンセリング ミニ模擬試験	6月20日の模試の結果を元にカウンセリング、個別アドバイス カウンセリングの間ミニ模擬試験を実施					EL英単語中級 U041~U044、テスト11 音読 (1時間)			
12	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 11 Finance					EL英単語中級 U045~U048、テスト12 音読 問題演習(1時間)			
13	リスニング・リーディング 問題演習 小テスト	Unit 12 Offices					EL英単語中級 U049~U052、テスト13 音読 問題演習(1時間)			
14	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 13 Daily Life					EL英単語中級 U053~U056、テスト14 音読 問題演習(1時間)			
15	ミニ模擬試験	ミニ模擬試験試と解説					定期試験に向けて自己学習(4時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
「THE HIGH ROAD TO THE TOEIC LISTENING AND READING TEST」早川幸治、番場直之、中村信子、鈴木顕著(金星堂) ISBN:978-4-7647-4045-7(生協で購入してください。)					受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 試験はTOEIC IPテストを用います。受講態度は発言回数、意欲等が評価されます。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、難しい応用問題が解ける。TOEICスコアで著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおよそを理解し、与えられた課題に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に取り組み、教科書と同レベルの問題が解ける。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
授業内で紹介します。					今までにTOEIC関連の講義を受講したことがある学生を対象としています。受講経験のない学生は相談して下さい。スマートフォン、PC、タブレットのいずれかが必要です。後期「TOEIC」の受講を強く推奨しています。					

科目名	TOEIC Cクラス		学年学期	2年前期	単位数	1	ナバリング	UL22111	研究室	
担当者	三浦 藍子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業数は年々増え続けています。本授業では、より実践的なTOEIC用の教材を使い、スコアアップを狙います。リスニングを重視しますが、やや長めの文を読みながら語彙力と文法力に磨きをかけ、総合的な英語力も養います。後期「TOEIC」を通してTOEIC L&Rで450点以上の取得を目指します。これまでのTOEICスコアに基づくクラス分け、少人数クラス(原則20名以下)で行います。										
学修到達目標										
「TOEIC L・R」で学習した内容を復習しながら、TOEIC L&Rで390点程度取得できる。リスニングでは、自然なスピードでの会話を聞き、概要を把握できる。										
授業の進め方										
文法演習やTOEIC 問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォン等を用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業概要、学習計画の作成 リスニング・リーディング 問題演習	授業概要説明 グループごと学習計画の作成とカウンセリング Unit 1 Travel				Eラーニング(EL) 英単語初級 U045～U048、テスト12、音読、問題演習(1時間)				
2	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 2 Dining Out				EL英単語初級U049～U052、テスト 13、音読、問題演習(1時間)				
3	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 3 Media				EL英単語初級U053～U056、テスト 14、音読、問題演習(1時間)				
4	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 4 Entertainment				EL英単語初級U057～U060、テスト 15、音読、問題演習(1時間)				
5	リスニング・リーディング 問題演習 小テスト	Unit 5 Purchasing				EL英単語初級U061～U064、テスト 16、音読、問題演習(1時間)				
6	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 6 Clients				EL英単語初級U065～U068、テスト 17、音読、問題演習(1時間)				
7	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 7 Recruiting				EL英単語初級U069～U072、テスト 18、音読、問題演習(1時間)				
8	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 8 Personnel				EL英単語初級U073～U076、テスト 19、音読、問題演習(1時間)				
9	リスニング・リーディング 問題演習 小テスト	Unit 9 Advertising				EL英単語初級U077～U080、テスト 20、音読、問題演習(1時間)				
10	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 10 Meetings				EL英単語初級U081～U084、テスト 21、音読、問題演習(1時間)				
11	カウンセリング ミニ模擬試験	6月20日の模試の結果を元にカウンセリング、個別アドバイス カウンセリングの間ミニ模擬試験を実施				EL英単語初級U085～U088、テスト 22、音読、問題演習(1時間)				
12	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 11 Finance				EL英単語初級U089～U092、テスト 23、音読、問題演習(1時間)				
13	リスニング・リーディング 問題演習 小テスト	Unit 12 Offices				EL英単語初級U093～U096、テスト 24、音読、問題演習(1時間)				
14	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 13 Daily Life				EL英単語初級U097～U100、テスト 25、音読、問題演習(1時間)				
15	ミニ模擬試験	ミニ模擬試験試と解説				定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
「THE HIGH ROAD TO THE TOEIC LISTENING AND READING TEST」早川幸治、番場直之、中村信子、鈴木顕著(金星堂) ISBN:978-4-7647-4045-7(生協で購入してください。)		受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 試験はTOEIC LPテストを用います。受講態度は発言回数、意欲等が評価されます。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、応用問題が解ける。TOEICスコアで著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に取り組み、教科書と同レベルの問題が解ける。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
授業内で紹介します。		今までにTOEIC関連の講義を受講したことがある学生を対象としています。受講経験のない学生は相談して下さい。スマートフォン、PC、タブレットのいずれかが必要です。後期「TOEIC」の受講を強く推奨しています。								

科目名	TOEIC Dクラス		学年学期	2年前期	単位数	1	ナバリング	UL22111	研究室	非常勤
担当者	山内 志野		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業数は年々増え続けています。本授業では、より実践的なTOEIC用の教材を使い、スコアアップを狙います。リスニングを重視しますが、やや長めの文を読みながら語彙力と文法力に磨きをかけ、総合的な英語力も養います。後期「TOEIC」を通してTOEIC L&Rで420点以上の取得を目指します。これまでのTOEICスコアに基づくクラス分け、少人数クラス(原則20名以下)で行います。										
学習到達目標										
「TOEIC L・R」で学習した内容を復習しながら、TOEIC R&Lで360点程度取得できる。 リスニングでは、自然なスピードでの会話を聞き、概要を把握できる。										
授業の進め方										
文法演習やTOEIC 問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォン等を用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業概要、学習計画の作成 リスニング・リーディング 問題演習	授業概要説明 グループごと学習計画の作成とカウンセリング Unit 1 Travel				Eラーニング(EL) 英単語初級 U045～U048、テスト12、音読、問題演習(1時間)				
2	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 2 Dining Out				EL英単語初級U049～U052、テスト 13、音読、問題演習(1時間)				
3	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 3 Media				EL英単語初級U053～U056、テスト 14、音読、問題演習(1時間)				
4	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 4 Entertainment				EL英単語初級U057～U060、テスト 15、音読、問題演習(1時間)				
5	リスニング・リーディング 問題演習 小テスト	Unit 5 Purchasing				EL英単語初級U061～U064、テスト 16、音読、問題演習(1時間)				
6	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 6 Clients				EL英単語初級U065～U068、テスト 17、音読、問題演習(1時間)				
7	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 7 Recruiting				EL英単語初級U069～U072、テスト 18、音読、問題演習(1時間)				
8	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 8 Personnel				EL英単語初級U073～U076、テスト 19、音読、問題演習(1時間)				
9	リスニング・リーディング 問題演習 小テスト	Unit 9 Advertising				EL英単語初級U077～U080、テスト 20、音読、問題演習(1時間)				
10	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 10 Meetings				EL英単語初級U081～U084、テスト 21、音読、問題演習(1時間)				
11	カウンセリング ミニ模擬試験	6月20日の模試の結果を元にカウンセリング、個別アドバイス カウンセリングの間ミニ模擬試験を実施				EL英単語初級U085～U088、テスト 22、音読、問題演習(1時間)				
12	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 11 Finance				EL英単語初級U089～U092、テスト 23、音読、問題演習(1時間)				
13	リスニング・リーディング 問題演習 小テスト	Unit 12 Offices				EL英単語初級U093～U096、テスト 24、音読、問題演習(1時間)				
14	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 13 Daily Life				EL英単語初級U097～U100、テスト 25、音読、問題演習(1時間)				
15	まとめとリスニング	これまでの復習およびTOEICのリスニング(100問)に取り組む				定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「THE HIGH ROAD TO THE TOEIC LISTENING AND READING TEST」早川幸治、番場直之、中村信子、鈴木顕著(金星堂) ISBN:978-4-7647-4045-7(生協で購入してください。)				受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 受講態度は授業中の発言回数、意欲等が評価されます。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、難しい応用問題が解ける。TOEICスコアで著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、教科書の例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。				今までにTOEIC関連の講義を受講したことがある学生を対象としています。受講経験のない学生は相談して下さい。スマートフォン、PC、タブレットのいずれかが必要です。後期「TOEIC」の受講を強く推奨しています。						

科目名	TOEIC Eクラス		学年学期	2年前期	単位数	1	ナバリング	UL22111	研究室	非常勤
担当者	小西 さやか		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業数は年々増え続けています。本授業では、より実践的なTOEIC用の教材を使い、スコアアップを狙います。リスニングを重視しますが、やや長めの文を読みながら語彙力と文法力に磨きをかけ、総合的な英語力も養います。後期「TOEIC」を通してTOEIC L&Rで380点以上の取得を目指します。これまでのTOEICスコアに基づくクラス分け、少人数クラス(原則20名以下)で行います。										
学修到達目標										
「TOEIC L・」で学習した内容を復習しながら、TOEIC330点程度修得できる。 リスニングでは、自然なスピードの会話を聞き、おおまかな内容が理解できる。文法事項において品詞問題が解ける。										
授業の進め方										
文法演習やTOEIC 問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォン等を用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで総合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業概要、学習計画の作成 リスニング・リーディング 問題演習	授業概要説明 学習計画の作成とカウンセリング Unit 1 Travel 名詞を学ぶ				Eラーニング 500点突破 Stage 1,2 U001, U002 単語初級U001, U002 音読 問題演習(1時間)				
2	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 2 Dining Out 形容詞を学ぶ				EL 500点 Stage 1,2 U003, U004 単語初級U003, U004 テスト1 音読 問題演習(1時間)				
3	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 3 Media 副詞を学ぶ				EL 500点 Stage 1,2 U005, U006 単語初級U005, U006 音読 問題演習(1時間)				
4	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 4 Entertainment 時制を学ぶ				EL 500点 Stage1,2 U007, U008 単語初級U007, U008 テスト2 音読 問題演習(1時間)				
5	リスニング・リーディング 問題演習 小テスト	Unit 5 Purchasing 主語と動詞の一致を学ぶ				EL 500点 Stage1,2 U009, U010 単語初級U009, U010 音読 問題演習(1時間)				
6	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 6 Clients 能動態・受動態を学ぶ				EL 500点 Stage1,2 U011, U012 単語初級U011, U012 テスト3 音読 問題演習(1時間)				
7	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 7 Recruiting 動名詞・不定詞を学ぶ				EL 500点 Stage1,2 U013, U014 単語初級U013, U014 音読 問題演習(1時間)				
8	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 8 Personnel 代名詞を学ぶ				EL 500点 Stage1,2 U015, U016 単語初級U015, U016 テスト4 音読 問題演習(1時間)				
9	リスニング・リーディング 問題演習 小テスト	Unit 9 Advertising 比較を学ぶ				EL 500点 Stage1,2 U017, U018 英単語初級U017, U018 音読 問題演習(1時間)				
10	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 10 Meetings 前置詞を学ぶ				EL 500点 Stage1,2 U019, U020 単語初級U019, U020 テスト5 音読 問題演習(1時間)				
11	カウンセリング ミニ模擬試験	6月20日の模試の結果を元にカウンセリング、個別アドバイス カウンセリングの間ミニ模擬試験を実施				EL 500点 Stage1,2 U021, U022 単語初級U021, U022 音読 問題演習(1時間)				
12	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 11 Finance 接続詞を学ぶ				EL 500点 Stage1,2 U023, U024 単語初級U023, U024 テスト6 音読 問題演習(1時間)				
13	リスニング・リーディング 問題演習 小テスト	Unit 12 Offices 前置詞と接続詞の違いを学ぶ				EL 500点 Stage1,2 U025, U026 単語初級U025, U026 音読 問題演習(1時間)				
14	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 13 Personnel 語彙の結びつき(名詞・形容詞)				EL 500点 Stage1,2 U027, U028 単語初級U027, U028 テスト7 音読 問題演習(1時間)				
15	まとめとリスニング	これまでの復習およびTOEICのリスニング(100問)に取り組む				定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「SCORE BOOSTER FOR THE TOEIC L&R TEST BEGINNER」早川幸治、岸 洋一著 著(金星堂) ISBN:978-4-7647-4088-4(生協で購入してください。)				受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 受講態度は授業中の発言回数や意欲等を評価します。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、難しい応用問題が解ける。TOEICスコアで著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に取り組み、教科書の例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。				今までにTOEIC関連の講義を受講したことがある学生を対象としています。受講経験のない学生は相談して下さい。スマートフォン、PC、タブレットのいずれかが必要です。後期「TOEIC」の受講を強く推奨しています。						

科目名	TOEIC Aクラス		学年学期	2年後期	単位数	1	ナバリング	UL22112	研究室	非常勤	
担当者	山浦 かおる		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスワ-				
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業数は年々増え続けています。本授業では、より実践的なTOEIC用の教材を使い、スコアアップを狙います。リスニングを重視しますが、やや長めの文を読みながら語彙力と文法力に磨きをかけ、総合的な英語力も養います。TOEIC L&Rで600点以上の取得を目指します。これまでのTOEICスコアに基づくクラス分け、少人数クラス(原則20名以下)で行います。											
学修到達目標											
TOEIC L&Rで550点程度修得できる。リスニングでは、自然なスピードでの会話を聞き、概要を把握できる。基礎的な文法問題に確実に対処できる。長めの文章の概要を把握でき、詳細情報を瞬時に読み取ることができる。											
授業の進め方											
文法演習やTOEIC 問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォン等を用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	学習計画の作成とカウンセリング	学習計画の作成とTOEIC IPの結果に基づくカウンセリング					EL 英単語中級U057~U060 テスト15 音読 問題演習(1時間)				
2	リスニング・リーディング問題演習	Unit 1 人物の動作表現 品詞・代名詞					EL 英単語中級U061~U064 テスト16 音読 問題演習(1時間)				
3	リスニング・リーディング問題演習	Unit 2 疑問詞で始まる疑問文 態・分詞					EL 英単語中級U065~U08 テスト17 音読 問題演習(1時間)				
4	リスニング・リーディング問題演習	Unit 3 店・ホテルでの会話 読解の基礎を身に付ける					EL 英単語中級U069~U072 テスト18 音読 問題演習(1時間)				
5	リスニング・リーディング問題演習 小テスト	Unit 4 留守番電話 詳細情報の特定					EL 英単語中級U073~U076 テスト19 音読 問題演習(1時間)				
6	リスニング・リーディング問題演習	Unit 5 物に関する描写 話の展開を読み取る					EL 英単語中級U077~U080 テスト20 音読 問題演習(1時間)				
7	リスニング・リーディング問題演習	Unit 6 Yes/No疑問文・選択疑問文 接続詞・前置詞					EL 英単語中級U081~U084 テスト21 音読 問題演習(1時間)				
8	リスニング・リーディング問題演習	Unit 7 日常生活における会話 内容把握問題に挑戦する					EL 英単語中級U085~U088 テスト22 音読 問題演習(1時間)				
9	リスニング・リーディング問題演習 小テスト	Unit 8 アナウンス・宣伝 語彙問題・その他					EL 英単語中級U089~U092 テスト23 音読 問題演習(1時間)				
10	カウンセリング ミニ模擬試験	11月28日の模試の結果を元にカウンセリング、個別アドバイス カウンセリングの間ミニ模擬試験を実施					EL 英単語中級U093~U096 テスト24 音読 問題演習(1時間)				
11	リスニング・リーディング問題演習	Unit 9 ステートメント・付加疑問文 時制・代名詞・語彙					EL 英単語中級U097~U100 テスト25 音読 問題演習(1時間)				
12	リスニング・リーディング問題演習	Unit 10 オフィスでの会話 マルチプルバッセージ					EL 英単語中級U101~U104 テスト26 音読 問題演習(1時間)				
13	リスニング・リーディング問題演習 小テスト	Unit 11 トーク(会議・イベント) Part 5の復習					EL 英単語中級U105~U108 テスト27 音読 問題演習(1時間)				
14	リスニング・リーディング問題演習	Unit 12 Officeでの会話 つなぎ語・文選択					EL 英単語中級U109~U112 テスト28 音読 問題演習(1時間)				
15	ミニ模擬試験	ミニ模擬試験と解説					定期試験に向けて自己学習(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準							
「Mastery Drills for the TOEIC L&R Test All in one advanced (Target 650)」早川幸治著(桐原書店) ISBN:978-4-342-55022-5(生協で購入してください。)(生協で購入してください。)				受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 試験はTOEIC IPテストを用います。受講態度は発言回数や意欲等を評価します。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、難しい応用問題が解ける。TOEICスコアで著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に取り組み、教科書と同レベルの問題が解ける。							
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)							
授業内で紹介します。				今までにTOEIC関連の講義を受講したことがある学生を対象としています。受講経験のない学生は相談して下さい。スマートフォン、PC、タブレットのいずれかが必要です。							

科目名	TOEIC Bクラス		学年学期	2年後期	単位数	1	ナバリング	UL22112	研究室	非常勤
担当者	勝山 庸子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業数は年々増え続けています。本授業では、より実践的なTOEIC用の教材を使い、スコアアップを狙います。リスニングを重視しますが、やや長めの文を読みながら語彙力と文法力に磨きをかけ、総合的な英語力も養います。TOEIC L&Rで550点以上の取得を目指します。これまでのTOEICスコアに基づくクラス分け、少人数クラス(原則20名以下)で行います。										
学修到達目標										
TOEIC L&Rで460点程度修得できる。リスニングでは、自然なスピードでの会話を聞き、概要を把握できる。基礎的な文法問題に確実に対処できる。やや長めの文章でも大まかな意味を把握できる。										
授業の進め方										
文法演習やTOEIC 問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォン等を用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	学習計画の作成とカウンセリング	学習計画の作成とIPの結果に基づくカウンセリング					EL英単語中級 U057~U060, テスト15 問題演習(1時間)			
2	リスニング・リーディング問題演習	Unit 1 Travel 名詞を学ぶ					EL英単語中級 U061~U064, テスト16 音読 問題演習(1時間)			
3	リスニング・リーディング問題演習	Unit 2 Dining Out 形容詞を学ぶ					EL英単語中級 U065~U068, テスト17 音読 問題演習(1時間)			
4	リスニング・リーディング問題演習	Unit 3 Media 副詞を学ぶ					EL英単語中級 U069~U072, テスト18 音読 問題演習(1時間)			
5	リスニング・リーディング問題演習 小テスト	Unit 4 Entertainment 時制を学ぶ					EL英単語中級 U073~U076, テスト19 音読 問題演習(1時間)			
6	リスニング・リーディング問題演習	Unit 5 Purchasing 主語と動詞の一致を学ぶ					EL英単語中級 U077~U080, テスト20 音読 問題演習(1時間)			
7	リスニング・リーディング問題演習	Unit 6 Clients 能動態・受動態を学ぶ					EL英単語中級 U081~U084, テスト21 音読 問題演習(1時間)			
8	リスニング・リーディング問題演習	Unit 7 Recruiting 動名詞・不定詞を学ぶ					EL英単語中級 U085~U088, テスト22 音読 問題演習(1時間)			
9	リスニング・リーディング問題演習 小テスト	Unit 8 Personnel 代名詞を学ぶ					EL英単語中級 U089~U092, テスト23 音読 問題演習(1時間)			
10	カウンセリング ミニ模擬試験	11月28日の模試の結果を元にカウンセリング、個別アドバイス カウンセリングの間ミニ模擬試験を実施					EL英単語中級 U093~U096, テスト24 音読 問題演習(1時間)			
11	リスニング・リーディング問題演習	Unit 9 Advertising 比較を学ぶ					EL英単語中級 U097~U100, テスト25 音読 問題演習(1時間)			
12	リスニング・リーディング問題演習	Unit 10 Meetings 前置詞を学ぶ					EL英単語中級 U101~U104, テスト26 音読 問題演習(1時間)			
13	リスニング・リーディング問題演習 小テスト	Unit 11 Finance 接続詞を学ぶ					EL英単語中級 U105~U108, テスト27 音読 問題演習(1時間)			
14	リスニング・リーディング問題演習	Unit 12 Offices 前置詞と接続詞の違いを学ぶ					EL英単語中級 U109~U112, テスト28 音読 問題演習(1時間)			
15	ミニ模擬試験	ミニ模擬試験と解説					定期試験に向けて自己学習(4時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
「SCORE BOOSTER FOR THE TOEIC L&R TEST INTERMEDIATE」 番場 直之、小山 克明著(金星堂) ISBN:978-4-7647-4090-7(生協で購入してください。)(生協で購入してください。)					受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 試験はTOEIC IPテストを用います。受講態度は発言回数や意欲等を評価します。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、難しい応用問題が解ける。TOEICスコアで著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に取り組み、教科書と同レベルの問題が解ける。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
授業内で紹介します。					今までにTOEIC関連の講義を受講したことがある学生を対象としています。受講経験のない学生は相談して下さい。スマートフォン、PC、タブレットのいずれかが必要です。					

科目名	TOEIC Cクラス		学年学期	2年後期	単位数	1	ナバリング	UL22112	研究室	
担当者	三浦 藍子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業数は年々増え続けています。本授業では、より実践的なTOEIC用の教材を使い、スコアアップを狙います。リスニングを重視しますが、やや長めの文を読みながら語彙力と文法力に磨きをかけ、総合的な英語力も養います。TOEIC L&Rで450点以上の取得を目指します。これまでのTOEICスコアに基づくクラス分け、少人数クラス(原則20名以下)で行います。										
学修到達目標										
TOEIC L&Rで420点程度修得できる。 リスニングでは、自然なスピードでの会話を聞き、概要を把握できる。基礎的な文法問題に確実に対処できる。やや長めの文章でも大きな意味を把握できる。										
授業の進め方										
文法演習やTOEIC 問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォン等を用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	学習計画の作成とカウンセリング	学習計画の作成とTOEIC IPの結果に基づくカウンセリング				EL 英単語中級U001~U004, テスト1 音読 問題演習(1時間)				
2	リスニング・リーディング問題演習	Unit 1 Travel 名詞を学ぶ				EL 英単語中級U005~U008, テスト2 音読 問題演習(1時間)				
3	リスニング・リーディング問題演習	Unit 2 Dining Out 形容詞を学ぶ				EL 英単語中級U009~U012, テスト3 音読 問題演習(1時間)				
4	リスニング・リーディング問題演習	Unit 3 Media 副詞を学ぶ				EL 英単語中級U013~U016, テスト4 音読 問題演習(1時間)				
5	リスニング・リーディング問題演習 小テスト	Unit 4 Entertainment 時制を学ぶ				EL 英単語中級U017~U020, テスト5 音読 問題演習(1時間)				
6	リスニング・リーディング問題演習	Unit 5 Purchasing 主語と動詞の一致を学ぶ				EL 英単語中級U021~U024, テスト6 音読 問題演習(1時間)				
7	リスニング・リーディング問題演習	Unit 6 Clients 能動態・受動態を学ぶ				EL 英単語中級U025~U028, テスト7 音読 問題演習(1時間)				
8	リスニング・リーディング問題演習	Unit 7 Recruiting 動名詞・不定詞を学ぶ				EL 英単語中級U029~U032, テスト8 音読 問題演習(1時間)				
9	リスニング・リーディング問題演習 小テスト	Unit 8 Personnel 代名詞を学ぶ				EL 英単語中級U033~U036, テスト9 音読 問題演習(1時間)				
10	カウンセリング ミニ模擬試験	11月28日の模試の結果を元にカウンセリング、個別アドバイス カウンセリングの間ミニ模擬試験を実施				EL 英単語中級U037~U040, テスト10 音読 問題演習(1時間)				
11	リスニング・リーディング問題演習	Unit 9 Advertising 比較を学ぶ				EL 英単語中級U041~U044, テスト11 音読 問題演習(1時間)				
12	リスニング・リーディング問題演習	Unit 10 Meetings 前置詞を学ぶ				EL 英単語中級U045~U048, テスト12 音読 問題演習(1時間)				
13	リスニング・リーディング問題演習 小テスト	Unit 11 Finance 接続詞を学ぶ				EL 英単語中級U049~U052, テスト13 音読 問題演習(1時間)				
14	リスニング・リーディング問題演習	Unit 12 Offices 前置詞と接続詞の違いを学ぶ				EL 英単語中級U053~U056, テスト14 音読 問題演習(1時間)				
15	ミニ模擬試験	ミニ模擬試験と解説				定期試験に向けて自己学習(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「SCORE BOOSTER FOR THE TOEIC L&R TEST PRE-INTERMEDIATE」溝口 優美子 柳田 真知子著(金星堂) ISBN:978-4-7647-4089-1(生協で購入してください。)				受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 試験はTOEIC IPテストを用います。受講態度は授業中の発言回数、意欲等が評価されます。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って取り組み、難しい応用問題が解ける。TOEICスコアで着しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に取り組み、応用問題が解ける。C:授業内容の60%程度を理解し、与えられた課題に取り組み、教科書の例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。				今までにTOEIC関連の講義を受講したことがある学生を対象としています。受講経験のない学生は相談して下さい。スマートフォン、PC、タブレットのいずれかが必要です。						

科目名	TOEIC Dクラス		学年学期	2年後期	単位数	1	ナパリング	UL22112	研究室	非常勤
担当者	山内 志野		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業数は年々増え続けています。本授業では、より実践的なTOEIC用の教材を使い、スコアアップを狙います。リスニングを重視しますが、やや長めの文を読みながら語彙力と文法力に磨きをかけ、総合的な英語力も養います。TOEIC L&Rで420点以上の取得を目指します。これまでのTOEICスコアに基づくクラス分け、少人数クラス(原則20名以下)で行います。										
学修到達目標										
TOEIC L&Rで390点程度修得できる。リスニングでは、自然なスピードでの会話を聞き、概要を把握できる。基礎的な文法問題に確実に対処できる。やや長めの文章でも大まかな意味を把握できる。										
授業の進め方										
文法演習やTOEIC 問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォン等を用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	学習計画の作成とカウンセリング	学習計画の作成とTOEIC模試の結果に基づくカウンセリング					EL 英単語中級U001~U004, テスト1 音読 問題演習(1時間)			
2	リスニング・リーディング問題演習	Unit 1 Travel 名詞を学ぶ					EL 英単語中級U005~U008, テスト2 音読 問題演習(1時間)			
3	リスニング・リーディング問題演習	Unit 2 Dining Out 形容詞を学ぶ					EL 英単語中級U009~U012, テスト3 音読 問題演習(1時間)			
4	リスニング・リーディング問題演習	Unit 3 Media 副詞を学ぶ					EL 英単語中級U013~U016, テスト4 音読 問題演習(1時間)			
5	リスニング・リーディング問題演習 小テスト	Unit 4 Entertainment 時制を学ぶ					EL 英単語中級U017~U020, テスト5 音読 問題演習(1時間)			
6	リスニング・リーディング問題演習	Unit 5 Purchasing 主語と動詞の一致を学ぶ					EL 英単語中級U021~U024, テスト6 音読 問題演習(1時間)			
7	リスニング・リーディング問題演習	Unit 6 Clients 能動態・受動態を学ぶ					EL 英単語中級U025~U028, テスト7 音読 問題演習(1時間)			
8	リスニング・リーディング問題演習	Unit 7 Recruiting 動名詞・不定詞を学ぶ					EL 英単語中級U029~U032, テスト8 音読 問題演習(1時間)			
9	リスニング・リーディング問題演習 小テスト	Unit 8 Personnel 代名詞を学ぶ					EL 英単語中級U033~U036, テスト9 音読 問題演習(1時間)			
10	カウンセリング ミニ模擬試験	11月28日の模試の結果を元にカウンセリング、個別アドバイス カウンセリングの間ミニ模擬試験を実施					EL 英単語中級U037~U040, テスト10 音読 問題演習(1時間)			
11	リスニング・リーディング問題演習	Unit 9 Advertising 比較を学ぶ					EL 英単語中級U041~U044, テスト11 音読 問題演習(1時間)			
12	リスニング・リーディング問題演習	Unit 10 Meetings 前置詞を学ぶ					EL 英単語中級U045~U048, テスト12 音読 問題演習(1時間)			
13	リスニング・リーディング問題演習 小テスト	Unit 11 Finance 接続詞を学ぶ					EL 英単語中級U049~U052, テスト13 音読 問題演習(1時間)			
14	リスニング・リーディング問題演習	Unit 12 Offices 前置詞と接続詞の違いを学ぶ					EL 英単語中級U053~U056, テスト14 音読 問題演習(1時間)			
15	ミニ模擬試験	ミニ模擬試験と解説					定期試験に向けて自己学習(4時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
「SCORE BOOSTER FOR THE TOEIC L&R TEST PRE-INTERMEDIATE」溝口 優美子 柳田 真知子著(金星堂) ISBN:978-4-7647-4089-1(生協で購入してください。)					受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 試験はTOEIC IPテストを用います。受講態度は発言回数や意欲等を評価します。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、難しい応用問題が解ける。TOEICスコアで著しい成績を残した。A:授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に取り組み、教科書と同レベルの問題が解ける。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
授業内で紹介します。					今までにTOEIC関連の講義を受講したことがある学生を対象としています。受講経験のない学生は相談して下さい。スマートフォン、PC、タブレットのいずれかが必要です。					

科目名	TOEIC Eクラス		学年学期	2年後期	単位数	1	ナバリング	UL22112	研究室	非常勤
担当者	小西 さやか		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
TOEIC L&R は英語のコミュニケーション能力を評価する試験で、採用する大学や企業は年々増え続けています。本授業では、より実践的なTOEIC用の教材を使い、スコアアップを狙います。リスニングを重視しますが、やや長めの文を読みながら語彙力と文法力に磨きをかけ、総合的な英語力も養います。TOEIC L&Rで400点以上の取得を目指します。これまでのTOEICスコアに基づくクラス分け、少人数クラス(原則20名以下)で行います。										
学修到達目標										
TOEIC L&Rで360点程度修得できる。 リスニングでは、自然なスピードでの会話を聞き、概要をおおまかに把握できる。基礎的な文法問題にある程度対処できる。										
授業の進め方										
文法演習やTOEIC 問題に取り組み、文法力とリスニング力の向上を目指します。スマートフォン等を用いた双方向型授業を行い、Eラーニング、ペアワークなどで統合的に学びます。カウンセリングを行い弱点克服や学習方法について個別に計画します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	学習計画の作成とカウンセリング	学習計画の作成と模試の結果に基づくカウンセリング				Eラーニング(EL) 500点コース U001,U002 Stage3 英単語初級 U029~U030 (1時間)				
2	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 1 オフィスで 自動詞と他動詞				EL U003,U004 Stage3 英単語初級 U031~U032 テスト8 音読 問題 演習(1時間)				
3	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 2 買い物 形容詞・副詞・前置詞				EL U005,U006 Stage3 英単語初級 U033~U034 音読 問題演習 (1時間)				
4	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 3 食事 名詞と冠詞				EL U007,U008 Stage3 英単語初級 U035~U036 テスト9 音読 問題 演習(1時間)				
5	リスニング・リーディング 問題演習 小テスト	Unit 4 観光 進行形				EL U009,U010 Stage3 英単語初級 U037~U038 音読 問題演習(1時 間)				
6	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 5 宣伝・広告 完了形				EL U011,U012 Stage3 英単語初級 U039~U040 テスト10 音読 問 題演習(1時間)				
7	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 6 数字 不定詞				EL U013,U014 Stage3 英単語初級 U041~U042 音読 問題演習 (1時間)				
8	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 7 日常生活 動名詞				EL U015,U016 Stage3 英単語初級 U043~U044 テスト11 音読 問 題演習(1時間)				
9	リスニング・リーディング 問題演習 小テスト	Unit 8 エンターテイメント 関係代名詞と関係副詞				EL U017,U018 Stage3 英単語初級 U045~U046 音読 問題演習(1時 間)				
10	カウンセリング ミニ模擬試験	11月28日の模試の結果を元にカウンセリング、個別アドバイス カウンセリングの間ミニ模擬試験を実施				EL U019,U020 Stage3 英単語初級 U047~U048 テスト12 音読 問 題演習(1時間)				
11	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 9 Advertising 比較を学ぶ				EL U021,U022 Stage3 英単語初 級 U049~U050 音読 問題演習 (1時間)				
12	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 10 Meetings 前置詞を学ぶ				EL U023,U024 Stage3 英単語初級 U051~U052 テスト14 音読 問 題演習(1時間)				
13	リスニング・リーディング 問題演習 小テスト	Unit 11 Finance 接続詞を学ぶ				EL U025,U026 Stage3 英単語初級 U053~U054 音読 問題演習 (1時間)				
14	リスニング・リーディング 問題演習	Unit 12 Offices 前置詞と接続詞の違いを学ぶ				EL U027,U028 Stage3 英単語初級 U055~U056 テスト14 音読 問 題演習(1時間)				
15	ミニ模擬試験	ミニ模擬試験と解説				定期試験に向けて自己学習(4時 間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「THE TOEIC TEST TRAINER TARGET 350」田辺 正美/湯本 久美子 /Geoffrey Tozer/George W. Pifer著(センゲージ・ラーニング) ISBN:978-4-86312-257-4(生協で購入してください。)				受講態度:10% 小テスト:30% 定期試験:30% 課題:30% 試験はTOEIC IPテストを用います。受講態度は授業中の発言回数や意欲等を評 価します。S:授業内容を高度に理解し、自ら学ぶ姿勢を持って取り組み、難し い応用問題が解ける。TOEICスコアで著しい成績を残した。A:授業内容を理解 し、積極的に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそ を理解し、与えられた課題に取り組み、応用問題が解ける。C:授業内容の60%程 度を理解し、与えられた課題に取り組み、教科書の例題と同レベルの問題が解 ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で紹介します。				今までにTOEIC関連の講義を受講したことがある学生を対象としています。受講 経験のない学生は相談して下さい。スマートフォン、PC、タブレットのいずれ かが必要です。						

科目名	中国語（基礎）（総合経営学部）	学年学期	2年前期	単位数	1	ナパリング	UL22113	研究室	非常勤	
担当者	中島 暉	必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー				
関連資格				履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性	履修対象入学年度（読替科目）								
	A B C									
授業概要										
本講義は中国語の発音と簡単な会話を学び、中国語の基礎を身に付けることを目的とします。本講義はテキストを用いて、その内容を「聴く、話す、読む、書く」という練習を繰り返すことによって、標準的な発音および会話能力の定着をはかります。										
学修到達目標										
受信するだけではなく発信にも使えるような基礎的な文法と会話表現を身に付けることを目標とします。										
授業の進め方										
声を出すことを大切に、ロールプレイ形式で練習します。授業に合わせて中国の食文化、習慣などを紹介していきます。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	ガイダンス、中国語とは	授業概要、学習目標、授業の進め方、評価の仕方について説明をします。中国語の特徴を紹介します。					テキストP6とP7を事前に予習する。（1時間）			
2	発音「単母音」、声調	中国語の発音（ピンイン）と声調（四声）について説明をします。発音練習を行います。					前回授業内容について復習をする。（1時間）			
3	発音「子音」、挨拶	発音「子音」と簡単な挨拶について説明をします。発音練習を行います。					テキストP9を事前に読み、授業内容について復習をする。（1時間）			
4	発音「子音」、自己紹介	発音「子音」と名前の言い方について説明をします。発音と会話練習を行います。					テキストP9とP14を事前に読み、授業内容について復習をする。（1時間）			
5	発音「複合母音」、自己紹介	発音「複合母音」と「出身地、職業」の言い方について説明をします。発音と会話練習を行います。					テキストP14とP15を事前に読み、P16の問題練習をする。（1時間）			
6	発音「複合母音」、物事の尋ね方（指示代名詞、疑問詞）	発音「複合母音」と「これは何ですか？」の使い方について説明をします。発音と会話練習を行います。					テキストP19を事前に読み、授業内容について復習をする。（1時間）			
7	発音「鼻母音」	前回学習した内容を使い、会話練習を行います。					テキストP10とP18を事前に読み、P20の問題練習をする。（1時間）			
8	動詞の文	「動詞の文」について説明をします。会話練習を行います。					テキストP22とP23を事前に読み、P24の問題練習をする。（1時間）			
9	量詞、形容詞の文、買い物	「量詞」、「形容詞の文」と「買い物」をする時に使う表現について説明をします。会話練習を行います。					教科書P26とP27を事前に読み、P28の問題練習をする。（1時間）			
10	数字、日付、時刻	「数字」、「日付」と「時刻」の使い方について説明をします。会話練習を行います。					教科書P30とP31を事前に読み、P32の問題練習をする。（1時間）			
11	完了、助動詞、食事	「完了」、「助動詞」と「食事」の時に使う表現について説明をします。小テストを行います。					テキストP33～P35を事前に読み、P36問題練習する。（1時間）			
12	所在	「所在」を表す表現について説明をします。「～は～にある・いる」と「～したい」を使い、会話練習を行います。					テキストP35を事前に読み、授業内容について復習する。（1時間）			
13	介詞、反復疑問文、家族名称	「介詞」、「反復疑問文」と「家族名称」の呼び方について説明をします。					教科書P39を事前に読み、授業内容について復習する。（1時間）			
14	存在、家族構成	「存在」と「家族構成」の言い方について説明をします。会話練習を行います。					教科書P38を事前に読み、P40の問題を練習する。（1時間）			
15	講義全体まとめ	これまで学習した内容をまとめます。					テキストP8～P40の内容について目を通し、全体の復習をする。（1時間）			
テキスト		成績評価の方法・基準								
「中国語はじめの一步」竹島金吾 監修 尹景春・竹島毅著（白水社） ISBN:978-4-560-06925-7（生協で購入してください。） 必要に応じて、プリントを配布します。		小テスト：30% 定期試験：40% 受講態度：30% S:各回の授業内容を十分理解するとともに、自ら意欲的に課題を取り組み、授業で学んだことを95%以上ができる。A:各回の授業内容を理解するとともに、積極的に課題を取り組み、授業で学んだことを80%以上ができる。B:授業内容について概ね理解し、課題を取り組み、授業で学んだことを70%以上ができる。C:授業内容について理解し、授業で学んだことを60%以上ができる。								
参考書		履修上の注意（学生へのメッセージ）								
特にありません		授業中恥ずかしがらずに声を出して、練習をしましょう。予習と復習を行ってください。								

科目名	中国語（展開）（総経・人間）		学年学期	2年後期	単位数	1	ナパリング	UL22114	研究室	非常勤
担当者	中島 暉		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格					履修条件	中国語 を修得していること				
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）				
			A	B	C					
授業概要										
本講義では、学習した中国語 をベースに、さらに具体的、実践的な場面での会話能力を習得します。本講義はテキストを用い、その内容を「聴く、話す、読む、書く」という練習を繰り返すことによって、標準的な発音および会話能力の習得を目指します。										
学修到達目標										
受信するだけではなく発信にも使えるような会話能力を身に付けることを目標とします。										
授業の進め方										
声を出すことを大切に、ロールプレイ形式で練習することを重視します。中国文化についても紹介し、異文化への理解を深めていきます。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス、発音（ピンイン）の確認	授業概要、学習目標、授業の進め方、成績評価の仕方について説明をします。発音（ピンイン）の確認をします。				学習した「中国語」の内容について復習をする。（1時間）				
2	時間量、助動詞、介詞	「時間量」、「助動詞」と「介詞」について説明をします。				テキストP43を事前に読む。授業内容について復習をする。（1時間）				
3	アルバイト	前回学習した内容を使い、「一週間に何回アルバイトがありますか？」などの会話練習を行います。				テキストP41とP42を事前に読む。P44の問題を練習する。（1時間）				
4	過去型、強調	「過去形」と「強調」について説明をします。				テキストP47を事前に読み、授業内容について復習をする。（1時間）				
5	介詞、応用	「介詞」、「～したことがある」と「～が～に」の使い方について説明をします。				テキストP47を事前に読み、P48の問題を練習する。（1時間）				
6	旅行	「あなたは旅行が好きですか?」、「アメリカに行った事がありますか?」などの会話練習を行います。				テキストP46を事前に読み、授業内容について復習をする。（1時間）				
7	動作の様態、助動詞	「動作の様態」と「助動詞」について説明をします。				テキストP51を事前に読み、授業内容について復習をする。（1時間）				
8	動詞の重ね型	「動詞の重ね型」について説明をします。				テキストP51を事前に読み、授業内容について復習をする。（1時間）				
9	できる（能力的・条件的・習得する）	「できる」を使い、会話練習を行います。				テキストP50を事前に読み、P52の問題を練習する。（1時間）				
10	動作の進行、選択疑問	「動作の進行」と「選択疑問」について説明をします。				テキストP55を事前に読み、授業内容について復習をする。（1時間）				
11	趣味	前回学習した内容を使い、会話練習を行います。小テストを行います。				テキストP53～P55を事前に読み、P56の問題を練習する。（1時間）				
12	比較、2つの目的語をもつ文	「比較」と「2つの目的語をもつ文」について説明をします。				テキストP59を事前に読み、授業内容について復習をする。（1時間）				
13	予定	前回学習した内容を使い、会話練習を行います。				テキストP57～P59を事前に読み、P60の問題を練習する。（1時間）				
14	作文（自己紹介）	学生自身が実際に中国語で「自己紹介」の作文を書いてみます。				テキストP61を事前に読んでください。（1時間）				
15	講義全体まとめ	これまで学習した内容をまとめます。				テキストP43～P60の内容について復習をする。（1時間）				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「中国語ははじめの一步」竹島金吾 監修 尹景春・竹島毅著（白水社） ISBN:978-4-560-06925-7（生協で購入してください。） ・必要に応じて、プリントを配布します。				受講態度：30% 小テスト：30% 定期試験：40% S:各回の授業内容を十分理解するとともに、自ら意欲的に課題を取り組み、授業で学んだことを95%以上ができる。A:各回の授業内容を理解するとともに、積極的に課題を取り組み、授業で学んだことを80%以上ができる。B:授業内容について概ね理解し、課題を取り組み、授業で学んだことを70%以上ができる。C:授業内容について理解し、授業で学んだことを60%以上ができる。						
参考書				履修上の注意（学生へのメッセージ）						
特にありません。				授業中恥ずかしがらずに声を出して、練習を行いましょう。予習と復習を行ってください。						

科目名	ハングル（基礎）（総合経営学部）		学年学期	2年前期	単位数	1	ナパリング	UL22115	研究室	非常勤
担当者	林 英美		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）				
			A	B	C					
授業概要										
ハングルとは、元来朝鮮半島で使われている言語（韓国語・朝鮮語）を表記するために用いられている文字のことを示しますが、この授業では科目の名称として使用しています。この科目では韓国語・朝鮮語の文字と発音を習得します。また、韓国語の文章が読めるようになり、簡単な日常会話を身につけることを目的とします。										
学修到達目標										
履修生は、ハングルの文字の発音の基礎について学び、読み書きができるようになることを目的とします。また、韓国語の文章が読めるようになり、簡単な日常会話を話せるようになることを目的とします。										
授業の進め方										
主にテキストの内容に沿って授業を進めます。書き取り・聞き取り・カードゲームなど様々なミニテストを実施し、会話練習にも取り組みます。ハングル歌・映画・ドラマ等を紹介するほか、朝鮮半島の文化風習についても紹介します。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス ハングル・韓国語・朝鮮語について	授業概要、学習目標、授業の進め方、評価の仕方についての説明をします。ハングルで用いられている記号の説明をし、韓国語・朝鮮語がどのような言語であるのかを紹介します。				テキスト第1課1と2を読んで、授業内容の復習をする。(1時間)				
2	単母音、ヤ行	単母音、ヤ行について学びます。				テキストP10～18の復習と予習をする。(1時間)				
3	ワ行	ワ行について学びます。				テキストP14～17の復習と予習をする。(1時間)				
4	平音	平音について学ぶ。				テキストP18～25の復習と予習をする。(1時間)				
5	激音・濃音	激音と濃音について学ぶ。				テキストP18～27の復習をする。(1時間)				
6	有声音化	平音の有声音化について学ぶ。				テキストP26～32の復習をする。(1時間)				
7	これまでのまとめ	テキスト第1課と第2課のまとめをする。				テキストP10～32の復習をし、P33～35までの予習をする。(1時間)				
8	パッチム(1)	鼻音について学ぶ。				テキストP33～39の復習と予習をする。(1時間)				
9	パッチム(2)	流音について学ぶ。				テキストP33～39の復習と予習をする。(1時間)				
10	パッチム(2)	口音について学ぶ。				テキストP36～39の復習と予習をする。(1時間)				
11	日本語のハングル表記	日本語のハングル表記について学ぶ。				テキストP36～39の復習と予習をする。(1時間)				
12	発音規則(1)	連音化について学ぶ。				テキストP40～41の予習と復習をする。(1時間)				
13	鼻音、流音、口音、流音のまとめ	鼻音、流音、口音、流音化を復習する。				テキストP33～41の復習をする。(1時間)				
14	メディア学習	メディア学習を通じて韓国語とそれにまつわる文化的理解を深める。				メディア学習に関するレポートを書く。(1時間)				
15	講義全体まとめ	前期で学んだ事項を復習する。				テキストP10～49の復習をする。(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「おはよう韓国語1」崔柄珠著（朝日出版社） ISBN:978-4-255-55632-1（生協で購入してください。）				小テスト：20% レポート：10% 定期試験：40% 出席レポート：30% S：授業内容を高度に理解しており、成績評価の合計が100%である。 A：授業内容を理解しており、成績評価の合計が80%～99%である。 B：授業内容を概ね理解しており、成績評価の合計が70%～79%である。 C：授業内容の60%程度を理解しており、成績評価の合計が60%～69%である。						
参考書				履修上の注意（学生へのメッセージ）						
「おはよう韓国語1」崔柄珠著（朝日出版社） ISBN：978-4-255-55632-1 適宜お知らせいたします。				常日頃から韓国や朝鮮のドラマ・映画、ニュースに興味を持ち、ハングルに親しみましょう。この科目は受講人数を四十名に制限します。						

科目名	ハングル (展開) (総経・人間)		学年学期	2年後期	単位数	1	ナパリング	UL22116	研究室	非常勤
担当者	林 英美		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格					履修条件	ハングル を修得していること				
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度 (読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
前期に学んだハングルの文字と発音のルールをベースにして、今期では主に簡単な会話表現・文法について学ぶことを目的とします。										
学修到達目標										
ハングルの基本的な読み書きを習得している受講生が、語彙、文法、発音に関する知識を深め、日常会話に役立つ表現を学ぶことを目的とします。ハングル能力検定試験5級及び韓国語能力試験1級受験相応の知識習得を目標とします。										
授業の進め方										
対話練習を重視し、語彙・文法・発音を身につけられるようにします。会話・筆記試験を定期的実施し、習得状況を確認します。映画鑑賞や異文化学習、アウトキャンパススタディによる実践練習を取り入れた楽しい学習方法を伝授します。										
授業計画 (各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス、文字と発音	文字と発音について学びます。				テキストP10-41を復習する。(1時間)				
2	第5課自己紹介(1)	第5課の発音と語彙、文法と表現について学ぶ。				テキストP58~67を復習する。(1時間)				
3	第5課自己紹介(2)	第5課のまとめ学習をする。第4課発音規則「2」を学習する。				テキスト42~43を予習し、P58~67を復習する。(1時間)				
4	第6課~ではありません(1)	第6課の発音と語彙、文法と表現について学ぶ。第4課発音規則「3」を学習する。				テキストP44~45を予習し、P68~77を復習する。(1時間)				
5	第6課~ではありません(2)	第6課のまとめ学習をする。				テキストP68~77を復習する。(1時間)				
6	第5~6課のリスニングと会話	第5~6課のリスニングと会話学習をする。第4課発音規則「4」を学習する。				テキストP46~47を予習し、P58~77を復習する。(1時間)				
7	第7課~が好きです(1)	第7課の発音と語彙、文法について学ぶ。第4課「5」について学ぶ。				テキストP48~49を予習し、P78~91を復習する。(1時間)				
8	第7課~が好きです(2)	第7課の重要表現について学ぶ。第4課「6」について学ぶ。				テキストP50を予習し、P78~91を復習する。(1時間)				
9	第7課~が好きです(2)	第7課のまとめ学習をする。第4課「7」について学ぶ。				テキストP50を予習し、P78~91を復習する。(1時間)				
10	第8課お誕生日(1)	第8課の発音と語彙、文法と表現について学ぶ。第4課「8」について学ぶ。				テキストP52~53を予習し、P92-105を復習する。(1時間)				
11	第8お誕生日(2)	月と曜日、時を表す語を学ぶ。第4課「9」について学ぶ。				テキストP54~56を予習し、P92-105を復習する。(1時間)				
12	第8お誕生日(2)	へヨ体を学び、第8課のまとめ学習をする。				テキストP92-105を復習する。(1時間)				
13	第9課予定と時間	固有数詞と時刻について学ぶ。				テキストP110-114を復習する。(1時間)				
14	アウトキャンパススタディ	学習理解を深めるためのアウトキャンパススタディを松本市近郊で実施する。				アウトキャンパススタディ参加レポートを作成する。(1時間)				
15	全体のまとめ	第5課から第9課を復習する。				テキストP58~114を復習する。(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「おやよう韓国語1」崔柄珠著(朝日出版社) ISBN:978-4-255-55632-1(生協で購入してください。)				小テスト:30% 定期試験:30% レポート:10% 受講態度:30% S:授業内容を高度に理解しており、成績評価の合計が100%である。 A:授業内容を理解しており、成績評価の合計が81%~99%である。 B:授業内容を概ね理解しており、成績評価の合計が71%~80%である。 C:授業内容の60%程度を理解しており、成績評価の合計が61%~70%である。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
適宜お知らせいたします。				ハングルIIを履修する学生は、ハングルIを受講していることが条件です。今期から受講を希望する場合、文字の読み書きができることが必須条件です。						

科目名	情報処理 (WORD) (総合経営学部)	学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	UL12201	研究室	非常勤	
担当者	内川 小百合	必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスワ-				
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(公民)	履修条件								
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)							
		A	B	C						
授業概要										
情報処理を学ぶことは、ひとつはコンピュータ・リテラシーを学ぶこと、つまりコンピュータを使いこなしていくことです。文字を入力することは、その基礎です。さまざまな文書をコンピュータで作成し、編集し、そして保存し、また再利用することは、現代社会の中で、必須の技能といえるでしょう。本講義では、ワープロソフトWordを使った正しく速い入力技術の習得、ビジネス文書・図形・表などを作成していくための機能、クラウド上の文書管理やビジネスメールの送り方を学んでいきます。										
学修到達目標										
正しいキータッチを習得し、ワープロソフトWordを使ってビジネス文書・表作成・図形挿入・クリップアートや写真の挿入と編集ができ、日本情報処理検定協会ワープロ検定3級～2級を取得できる力を身につけます。Office365の機能を習得し、ファイルの送受信などビジネスで使えるスキルを身につけます。										
授業の進め方										
演習形式で進めます。特に正確で素早いキータッチの技術を身につけるために、毎回スピードテストを行います。Wordの機能を知り、その機能を使いこなせるように多くの演習をこなしていきます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	Office365の概要	Office365の機能と操作方法を学びます。Office365でメールを送る手順を学び、テストメールを送受信します。					Office365の操作方法、メール機能について復習する。(1時間)			
2	レポート送信、クラウド機能	レポート送信の手順やマナーについて学び、送信練習をします。クラウド機能について学びます。					レポート送信方法について復習する。(1時間)			
3	キータッチについて	Wordの画面構成について学習します。正しいキータッチについて学び、英語文章の入力を練習します。					テキスト第1講のキータッチ練習、英文入力を練習する。(1時間)			
4	日本語入力基礎	日本語変換モード、IMEパッド、ファンクションキーについて学習します。キータッチ練習・日本語の入力練習を行います。					テキスト第1講のキータッチ練習、日本語入力を練習する。(1時間)			
5	漢字変換について	漢字変換(変換、文節区切り、文字の修正)について学び、短文入力・記号の入力を練習します。					キータッチ練習、テキスト第2講の短文入力を練習する。(1時間)			
6	特殊文字の入力	特殊文字の入力を学びます。アルファベット、カタカナ、特殊文字を含む文章の入力演習を行います。					テキスト第2講の特殊文字入力、第2講、第3講の短文入力を練習する。(1時間)			
7	文書の保存・編集機能	文書の保存、読み込み、再保存について学びます。文字の修正、移動、コピーの方法を学び、日本語および英語文章の入力を練習します。					テキスト第1講～第4講の入力を練習する。(1時間)			
8	文字の書式	文字の書式(フォント・サイズ・ボールド体・イタリック体・下線・囲み・網掛け)について学び、入力練習を行います。					テキスト第5講の練習問題を行う。(1時間)			
9	文字の書式	文字の書式(拡大縮小・下付き文字・上付き文字・取り消し線・影付きなど)について学び、入力練習を行います。					テキスト第5講の練習問題を行う。(1時間)			
10	ページレイアウト	ページ設定と右詰め、中央揃え、インデント、段落番号、箇条書きなどについて学び、ビジネス文書を作成します。					テキスト第6講の文書入力を練習する。(1時間)			
11	表作成	罫線機能、表挿入、線種変更、列幅行高変更、セルの結合と分割、列や行の挿入と削除について学びます。					テキスト第7講の表入力を練習する(1時間)			
12	ビジネス文書	前付けや本文、付記事項のほか時候のあいさつ・敬称のつけ方などを学び、ビジネス文書を作成します。					テキストの検定練習問題を入力し、保存してレポートを提出する。(1時間)			
13	図形描画	図形描画機能および図形の塗りつぶしや線などの編集について学びます。図形機能を使った地図の作成を練習します。					テキスト第9講の練習問題を行う。(1時間)			
14	画像編集	画像の挿入(ワードアート、スマートアート、オンライン画像)について学び、画像の入った文書を作成します。					テキスト第10講の画像を含む文書の入力を練習する。(1時間)			
15	ビジネス文書	会社見学礼状や、内定時の礼状など、学生として出す文書の作成と留意点について学びます。					さまざまな文書を自分の立場で作成してみる。(1時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準								
「Wordの基礎」内川小百合著(丸の内ハイデ出版)(生協で購入してください。) ISBNコードなし 「日本語ワープロ検定問題模擬問題集」(日本情報処理検定協会)(生協で購入してください。)		受講態度:40% 定期試験:60% 受講態度は、授業への参加度(授業への取組、発言等)で評価します。 S:9割以上の理解度+授業への参加度+実技点が100点。 A:8割以上の理解度+授業への参加度+実技点が80点以上。 B:8割程度の理解度+授業への参加度+実技点が70点以上。 C:8割程度の理解度+授業への参加度+実技点が60点以上。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「逆引き Wordパワーテクニック601+66Tips」西上原裕明著(技術評論社) ISBN:4774171158,978-4774171		コンピュータの入力技術は本講義でしっかりと身につけてください。講義以外の時間を利用してできるだけキーボードに慣れ、Wordの機能についてよく復習してください。日本語ワープロ検定をぜひ受験しましょう。								

科目名	情報処理 (EXCEL初級) (総合経営学部)	学年学期	1年後期	単位数	1	ナパリング	UL12202	研究室	W-32
担当者	小林 俊一・駒村 明子・花里 育恵・永田 綾子・松澤 みわ子・河西 文子	必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスア-	火曜日3限		
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(公民)	履修条件							
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
		A	B	C					
総 観									
授業概要									
本講義は、表計算2級の検定合格を目標とします。Excelを用いた数値情報の加工・分析は、大学における研究分野のみならず、ビジネスシーンでも幅広く用いられています。身の回りの数値データを的確に処理し、自分に必要な情報として加工する道具としてExcelを使いこなせるようにしていきます。入力や計算式の作り方の基本から、セル参照の種類やよく使う算術・論理関数、グラフ作成、印刷設定などについて学びます。									
学修到達目標									
日本情報処理技能検定協会が実施している「表計算検定2級」の資格取得、またはそれと同等の実力を養い、Excelを用いて素早く数値データの集計・加工ができるようになることを目標としています。									
授業の進め方									
講義はすべてパソコン教室でコンピュータを用いた実習形式となります。レポートなどは、採点して返却することでフィードバックを行います。									
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容					事前事後学修		
1	授業ガイダンス	授業の進め方、評価方法についてクラス分けのため、Excelの基本操作(表計算検定4級レベル)を行います。					授業で解いた問題を何回も練習して下さい。(4時間)		
2	基本操作と計算式	表計算検定4・3級レベルで必須とされる、文字・数値の入力、列幅変更、計算式、合計、平均関数等について解説します。					基本操作と計算式の内容を予習し、復習する(4時間)		
3	基本書式と印刷処理	表計算検定4・3級レベルで必須とされる、罫線処理、表示形式、文字揃え、印刷について解説します。					基本書式と印刷処理の内容を予習し、復習する(4時間)		
4	判断文と絶対参照・構成比	表計算検定3級レベルで必須とされる、IF関数による条件判断、セルの絶対参照・絶対参照、構成比率の計算について解説します。					判断文と絶対参照・構成比の内容を予習し、復習する(4時間)		
5	端数処理と順位付け	表計算検定3級レベルで必須とされる、数値の端数処理や順位付け、並べ替えについて解説します。					端数処理と順位付けの内容を予習し、復習する(4時間)		
6	多重判断文と表検索	表計算検定2級レベルで必須とされる、IF関数のネストを使った多重判断文とVlookup関数を用いた表検索について解説します。					多重判断文と表検索の内容を予習し、復習する(4時間)		
7	グラフ作成とセル証明	表計算検定2級レベルで必須とされる、グラフ作成とセル証明について解説します。					グラフ作成とセル証明の内容を予習し、復習する(4時間)		
8	論理演算子を使った判定	表計算検定2級レベルで必須とされる、AND関数、OR関数を理解し、IF関数と組み合わせた処理について解説します。					論理演算子を使った判定の内容を予習し、復習する(4時間)		
9	日付や時刻の計算	表計算検定2級レベルで必須とされる、日付や時刻の計算について解説します。					日付や時刻の計算の内容を予習し、復習する(4時間)		
10	検定試験対策	総合演習課題(過去問題のポイント解説を含む)を規定時間内にできるようトレーニングします。					検定試験対策の内容を予習し、復習する(4時間)		
11	検定試験対策	総合演習課題(過去問題のポイント解説を含む)を規定時間内にできるようトレーニングします。					検定試験対策の内容を予習し、復習する(4時間)		
12	検定試験対策	総合演習課題(過去問題のポイント解説を含む)を規定時間内にできるようトレーニングします。					検定試験対策の内容を予習し、復習する(4時間)		
13	検定試験対策	総合演習課題(過去問題のポイント解説を含む)を規定時間内にできるようトレーニングします。					検定試験対策の内容を予習し、復習する(4時間)		
14	検定試験対策	総合演習課題(過去問題のポイント解説を含む)を規定時間内にできるようトレーニングします。					検定試験対策の内容を予習し、復習する(4時間)		
15	検定試験対策	総合演習課題(過去問題のポイント解説を含む)を規定時間内にできるようトレーニングします。					検定試験対策の内容を予習し、復習する(4時間)		
テキスト		成績評価の方法・基準							
「情報処理技能検定模擬問題集・表計算2級」日本情報処理技能検定協会編(生協で購入してください。)		定期試験：60% 課題：40% S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。							
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「Excel 最強の教科書[完全版]」(SBクリエイティブ) ISBN: 978-4797388701		必ず資格取得に挑戦してください。定期試験は検定試験と同等の内容を予定しています。収集した数値データや膨大な情報を、Excelを使って効率よく取り扱えるかで、今後の問題解決のスピードが大きく変わります。							

科目名	情報処理 (EXCEL上級) (総合経営学部)	学年学期	2年前期	単位数	1	ナパリング	UL22203	研究室	非常勤	
担当者	河西 文子・駒村 明子	必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスワ-				
関連資格				履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性	履修対象入学年度 (読替科目)								
		A	B	C						
授業概要										
Microsoft Excelの本格的な使い方を身につけ、研究・調査やビジネスシーンで実際に活用できるようにしましょう。身の回りに溢れたビックデータの集計、解析にExcelは欠かせない道具です。「情報処理」では登場しなかった文字列関数や特殊関数、データベース関数、並べ替え(ソート)や抽出(フィルター)についても学びます。										
学修到達目標										
日本情報処理検定協会が実施している「表計算検定1級」の資格を取得する。または、それと同等の実力を養い、Excelを用いて複雑な条件を指定しながら、数値データの集計・加工ができる。										
授業の進め方										
講義はすべてパソコン教室でコンピュータを用いた実習形式となります。資格取得のためには、作業スピードがかなりのウエイトを占めます。時間外にも繰り返し操作練習が必要です。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	授業ガイダンス 基本操作の復習	授業の進め方、評価方法について説明し、確認します。 Excel操作の確認と表計算3級~2級レベルの復習を行います。					2級レベルに不安がある場合は、同じ問題を何度も繰り返し練習する。(2時間)			
2	多重判断文の復習	2級レベルのIF関数とAND関数を組み合わせた多重判断の復習を行います。また新しくIF関数とVLOOKUP関数のネストについて学びます。					IF関数とVLOOKUP関数のネストについて復習をする(2時間)			
3	データベース関数	表全体から指定した条件に一致するデータだけを計算対象とするデータベース関数について学びます。セルの絶対参照についても復習します。					データベース関数と絶対参照について、類似問題で復習しておく(1時間)			
4	データベース関数	DSUM関数、DAVERAGE関数などの具体的なデータベース関数の活用方法を学びます。					DSUM関数、DAVERAGE関数を、類似問題で復習しておく(1時間)			
5	データベース関数	DMAX関数、DMIN関数、DCOUNT関数などの具体的なデータベース関数の活用方法を学びます。					DMAX関数、DMIN関数、DCOUNT関数を、類似問題で復習しておく(1時間)			
6	データベース関数	様々な場面で利用できるデータベース関数ですが、集計表の形式以外に文章で条件が指定された場合の使い方について学びます。					文章で条件が指示されたデータベース関数を、類似問題で復習しておく(1時間)			
7	VLOOKUP関数の応用	計算式内でVLOOKUP関数を用いたり、列番号の指定に計算式を用いるなど、VLOOKUP関数の応用的な使い方を学びます。					VLOOKUP関数の列番号の指定方法を、類似問題で復習しておく(1時間)			
8	高度な抽出と並べ替え	膨大なデータから必要なものだけを抽出するフィルター機能や、高度な並べ替え処理について学びます。					フィルター機能と高度な並べ替えについて、類似問題で復習しておく(1時間)			
9	文字列関数	セルから特定の文字を取り出すLEFT関数やRIGHT関数について新しく学びます。					文字列関数について、類似問題で復習しておく(1時間)			
10	文字列を連結する演算子	セル同士を連結して1つの情報として扱う"&"演算子について新しく学びます。					連結演算子について、類似問題で復習しておく(1時間)			
11	絶対値を求める関数	セルの値が負であってもそこから絶対値を取り出すABS関数について新しく学びます。					絶対値を取り出すABS関数について、類似問題で復習しておく(1時間)			
12	表計算検定1級対策	過去問題を使って既定時間内に解答できるように練習します。					1級レベルの確認課題を配布するので、次回までに提出できるように準備しておく。(2時間)			
13	表計算検定1級対策	自分の弱点抽出を行い、その部分を解答できるように練習します。					時間を計りながら課題を解き、次回授業で提出する。(1時間)			
14	表計算検定1級対策	自分の弱点抽出を行い、その部分を解答できるように練習します。					時間を計りながら課題を解き、次回授業で提出する。(1時間)			
15	表計算検定1級対策	時間内に解答を行うためのポイントや試験の注意事項を説明します					時間を計りながら課題を解き、次回授業で提出する。(1時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
「情報処理技能検定模擬問題集・表計算1・準1級編」日本情報処理技能検定協会編 ISBN:978-4-900086-26-6 (生協で購入してください。)					定期試験:80% 課題:20% S:課題に誠実に取り組むとともに、検定において上位級を取得した。 A:課題に誠実に取り組むとともに、定期試験または検定において8割程度の技能が認められる。 B:課題に誠実に取り組むとともに、定期試験または検定において7割程度の技能が認められる。 C:課題に誠実に取り組むとともに、定期試験または検定において6割程度の技能が認められる。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「カラー図解Excel「超」効率化マニュアル」立山 秀利著(講談社) ISBN:978-4062579995 なし					定期試験は、表計算検定1級と同等の問題を予定しています。「情報処理」を履修する学生は「情報処理」を履修し、2級を取得していることが望ましい。Excelの幅広い分野への応用力を養いましょう。					

科目名	情報処理（パワーポイント）（総合経営学部）			学年学期	2年後期	単位数	1	ナバリング	UL22204	研究室	非常勤
担当者	駒村 明子・永田 綾子			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスワ-			
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）						
		A	B	C							
授業概要											
プレゼンテーションは、研究発表や教育現場、ビジネスシーンなどで幅広く用いられています。本講義ではプレゼンテーションの特色をよく理解し、企画立案の段階から訴求力の高い視覚資料の作成、内容が伝わる発表技法など、プレゼンテーション全般を扱います。											
学修到達目標											
効果的なプレゼンテーションのために一連の作業（企画立案～視覚資料の作成～発表まで）ができる。また、PowerPointの操作技能としては、デザインに重点を置き、視覚効果を多様した資料作成ができる。日本情報処理検定協会が実施している「プレゼンテーション作成検定2級」に合格する。											
授業の進め方											
講義は主にパソコン教室でコンピュータを用いた実習形式となります。使用ソフトは「Microsoft PowerPoint」です。検定試験の日程によっては、授業計画の順番が前後することがあります。											
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	授業ガイダンス	授業の進め方、評価方法について説明します。PowerPointの基本的な機能を使用して、プレゼンテーション資料の作成方法を確認します（プレゼンテーション作成検定4級レベル）。					シラバスの内容を事前に確認する。事後は類似問題で復習を行うこと（1時間）				
2	プレゼンの企画立案	プレゼンテーションの初期段階で最も重要な企画立案について学習します。					授業で学んだ内容を参考に、自分のプレゼン資料の企画立案を進める（1時間）				
3	わかりやすいストーリー構成	論理的でわかりやすいストーリー構成の組み立て方や情報収集の手法について学習します。					授業で学んだ内容を参考に、自分のプレゼン資料のストーリー構成を考える（1時間）				
4	レイアウト・デザイン	視覚資料のデザイン決定において重要なことや、テーマの活用方法を学習します。					授業で学んだ内容を参考に、自分のプレゼン資料のチャート化を進める（1時間）				
5	視覚に訴えるチャート化	目に見えない概念や考え、手順などを説明する際にチャートを活用する方法について学習します。					授業で学んだ内容を参考に、自分のプレゼン資料のカラー化を進める（1時間）				
6	訴求力を上げるカラー化	カラーの基礎知識や配色の基本テクニック、カラー化によってプレゼン資料の訴求力を上げるためのポイントを学習します。					授業で学んだ内容を参考に、自分のプレゼン資料のカラー化を進める（1時間）				
7	数値のビジュアル化とイメージ伝達	数値を目的に合わせてビジュアル表現するため、表やグラフの活用方法や具体的なイメージを伝える手段について学習します。					授業で学んだ内容を参考に、自分のプレゼン資料のビジュアル化を進める（1時間）				
8	効果的なアニメーション	アニメーション効果、画面切り替えなど特殊効果の活用方法と、事前に行っておくべきさまざまな準備作業について学習します。					授業で学んだ内容を参考に、自分のプレゼン資料の特殊効果設定を進める（1時間）				
9	プレゼン3級対策	プレゼンテーション作成検定3級の模擬問題を解きながら、PowerPointの操作スピードを向上させます。					類似問題を配布するので、次回までに復習しておく（1時間）				
10	プレゼン3級対策	プレゼンテーション作成検定3級の模擬問題を解きながら、PowerPointの操作スピードを向上させます。					3級レベルの確認課題を配布するので、次回までに提出できるように準備しておく（2時間）				
11	プレゼン2級対策	プレゼンテーション作成検定2級の模擬問題を解きながら、デザインに重点を置いた、アニメーションや画面切り替えなどの視覚効果を多用した資料作成の技術を高めます。					類似問題を配布するので、次回までに復習しておく（1時間）				
12	プレゼン2級対策	プレゼンテーション作成検定2級の模擬問題を解きながら、PowerPointの操作スピードの向上と適切なスライド作成技能を磨きます					類似問題を配布するので、次回までに復習しておく（1時間）				
13	プレゼン2級対策	プレゼンテーション作成検定2級の模擬問題を解きながら、PowerPointの操作スピードの向上と適切なスライド作成技能を磨きます					2級レベルの確認課題を配布するので、次回までに提出できるように準備しておく（2時間）				
14	プレゼン準備とリハーサル	実際にプレゼンする場合、その当日までに必要な準備や配布資料、発表者用ノートの印刷方法について学習します。					授業で学んだ内容を参考に、自分のプレゼン資料の配布資料の準備を進める（1時間）				
15	発表スキルと質疑応答	内容を効果的に相手に伝えるための様々なテクニックや質疑応答の進め方について学習します。					授業で学んだ内容を参考に、自分のプレゼン資料課題を完成させ、期限までに提出する（2時間）				
テキスト				成績評価の方法・基準							
「情報利活用 プレゼンテーション PowerPoint 2016対応」山崎 紅著（日経BP社） ISBN:9784822297978（生協で購入してください。） 教科書は全員が購入してください。				課題：40% 定期試験：60% S:課題に誠実に取り組むとともに、検定において上位級の取得を行った A:課題に誠実に取り組むとともに、定期試験または検定において8割程度の技能が認められる B:課題に誠実に取り組むとともに、定期試験または検定において7割程度の技能が認められる C:課題に誠実に取り組むとともに、定期試験または検定において6割程度の技能が認められる							
参考書				履修上の注意（学生へのメッセージ）							
「プレゼンテーション検定模擬問題集1・2級編」（日本情報処理技能検定協会） 検定受験を予定している方は購入をしてください。				プレゼンテーションとPowerPointの精通することで、円滑なコミュニケーション能力の向上も期待できます。他の授業などでも積極的にプレゼン資料の作成や発表の機会を得るように心がけてください。							

科目名	情報処理（ホームページ）（総合経営学部）	学年学期	1年後期	単位数	1	ナパリング	UL12205	研究室	非常勤
担当者	松澤 みわ子・河西 文子・駒村 明子・永田 綾子	必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）				
		A	B	C					
授業概要									
ホームページは情報の取得と発信の強力なツールであり、高度情報社会における重要な情報メディアと言えます。本講義では、ホームページ作成における初中級レベルの知識と技術を習得することを目的とします。ホームページの基礎であるHTML・CSSを学び、さらにホームページ内で用いるWebコンテンツ（画像、ロゴ、アニメーション）の作成についても学びます。									
学修到達目標									
ホームページビルダーを使った一連の作業（サイト作成～Webページやコンテンツ類作成まで）ができる。日本情報処理検定協会が実施している「ホームページ作成検定2級」に合格する。									
授業の進め方									
本講義はコンピュータ教室での実習となります。使用ソフトは「ホームページ・ビルダー」、「Webアートデザイナー」、「Webアニメーター」です。									
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容					事前事後学修		
1	授業ガイダンス	授業の進め方、評価方法について説明します。ホームページビルダーを使って初歩的なホームページの作り方を学びます。まずはホームページ作成検定4級レベルの内容を見ていきます。					4級の類似問題を配布するので、復習しておくこと（1時間）		
2	ホームページビルダー基本操作	ホームページビルダーの基本操作を習得します。この回はホームページ作成検定3級レベルの内容を紹介します。					3級の類似問題を配布するので、復習しておくこと（1時間）		
3	ページの属性	教科書に従い、トップページの作成、およびページ属性について学びます。また、ホームページ作成検定3級の出題範囲について学習します。					ページの属性に関する復習をしておくこと（1時間）		
4	書式の設定	教科書に従い、さまざまな書式設定やWebで扱うカラーや画像の特徴について学びます。また、ホームページ検定3級の出題範囲について学習します。					書式設定や画像の特長について復習しておくこと（1時間）		
5	表の作成	教科書に従い、表挿入や表編集の方法を学びます。この回からホームページ検定2級に挑戦します。					表の作成や編集方法について復習しておくこと（1時間）		
6	リンクの設定	教科書に従い、各ページにリンクを設定する方法を学びます。また、ホームページ検定2級の出題範囲について学習します。					リンク設定の基本について復習しておくこと（1時間）		
7	リンクの応用	教科書に従い、ラベルリンク、ロールオーバー、イメージマップなど、リンクの応用を学びます。また、ホームページ検定2級の出題範囲について学習します。					リンク設定の応用について復習しておくこと（1時間）		
8	HP作成検定2級対策	よく出題されるプロパティを含むHP2級の問題の解き方の手順を学習します。					2級の類似問題を配布するので、復習しておくこと（1時間）		
9	HP作成検定2級対策	ボーダーなどのプロパティを含むHP検定2級の問題の解き方の手順を学習します。					2級の類似問題を配布するので、復習しておくこと（1時間）		
10	HP作成検定2級対策	ラベルリンクなどを用いた難易度の高いHP検定2級の問題の解き方の手順を学習します。					2級の類似問題を配布するので、復習しておくこと（1時間）		
11	HP作成検定2級対策	検定模擬を実施し、弱点の抽出を行います。					時間を計りながら課題を解き、次の授業で提出する（1時間）		
12	HP作成検定2級対策	検定模擬を実施し、弱点の抽出を行います。					時間を計りながら課題を解き、次の授業で提出する（1時間）		
13	Webコンテンツの制作	Webアートデザイナーを利用し、写真の加工や合成の方法、タイトルロゴやボタンなど、個人課題で使用する素材を制作していきます。					課題の中で利用するオリジナル素材をWebアートデザイナーを用いて作成する（2時間）		
14	Webコンテンツの制作	Webアニメーターを利用した文字バナー広告など、個人課題で使用するアニメーション素材を制作します。					課題の中で利用するオリジナル素材をWebアニメーターを用いて作成する（2時間）		
15	Webコンテンツの制作	ホームページ「京都物語」に対して、各自で作成したオリジナルの画像コンテンツを配置し、課題を完成させます。HP作成検定2級に関する復習も行う予定です。					Web用の画像コンテンツ課題を期限までに提出する（2時間）		
テキスト		成績評価の方法・基準							
「よくわかるホームページ・ビルダー19」（FOM出版） ISBN:978-4-86510-207-9（生協で購入してください。）教科書に従って演習を進めていきますので、必ず購入してください。		課題：40% 定期試験：60% S:課題に誠実に取り組むとともに、検定において上位級の取得を行った A:課題に誠実に取り組むとともに、定期試験または検定において8割程度の技能が認められる B:課題に誠実に取り組むとともに、定期試験または検定において7割程度の技能が認められる C:課題に誠実に取り組むとともに、定期試験または検定において6割程度の技能が認められる							
参考書		履修上の注意（学生へのメッセージ）							
「ホームページ作成検定試験模擬問題集2級編」日本情報処理検定協会編 検定試験を受験する方はできる限り購入してください。		パソコン操作に慣れていることが前提ですが、複雑な操作は多くありませんので誰でも受講可能です。今後、「ホームページ実践」の履修、またはHP作成検定1級取得を目指す人はぜひ履修をしてください。							

科目名	日本語入門（異文化理解基礎）		学年学期	1年前期	単位数	1	ナパリング	UL12301	研究室	E-15
担当者	中村 純子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	水曜日1限		
関連資格					履修条件	【外国人留学生限定科目】				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）					
		A	B	C						
授業概要										
<p>大学で学ぶためには、講義を理解し、教科書、参考文献を読み、レポートを作成する能力が必要です。本講義は教科書、参考文献を読むための読解力、レポート作成のための基礎を学びます。まず、論理的な文章に触れ、読解力を養います。それとともにレポートの文体、論理的な文章構成、論理的な表現を学びます。最後に学んだことをもとにテーマを決めて、レポートを作成します。</p>										
学修到達目標										
<p>1、論理的な文章の読解、レポートの作成ができるようになる。2、語彙、表現の幅を広げ、文章の構成、段落の構成に配慮できるようになる。3、学生同士でレポートをチェックすることで、互いの意見を理解し、自分の意見を表明できるようになる。</p>										
授業の進め方										
<p>読解に必要な技能、表現などを演習形式で学んでいきます。さらに、レポートを書くために必要な文体、構成、表現について講義をし、実際に学んだことを基にレポートを作成してもらいます。作成後、学生同士で互いの文を評価し合い、フィードバックを受けます。</p>										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	読解：語のまとめり 作文：表記の仕方 作文「国の有名人」	読解のストラテジーとして、語を意味のまとめりでもとらえる観点を学びます。作文では、縦書き、横書き、文体と書き言葉について学び、実際に「国の有名人」について作文を書いてもらいます。				文体、書き言葉に注意し、作文を書く(1時間)				
2	読解：語のまとめり復習 作文：段落の構成	読解は前回と別の文を使い、語のまとめりでもとらえるエクササイズをします。また、作文では段落の構成について学びます。中心文、支持文について説明します。				「使役」について復習をし、教科書のP8～15までを読んで、予習をする(1時間)				
3	読解：使役 作文：助詞相当語 作文「国の有名人」	読解は使役、使役受身、授受表現に注意し、「する」側、「される」側の関係をつかむストラテジーについて学びます。作文は助詞相当語について学びます。作文の合評会を行い、フィードバックを受けます。				使役、使役受身、授受表現を含んだ他の文の読解をする(1時間)				
4	読解：使役復習 作文：引用表現	「する」側、「される」側の関係をつかむストラテジーを使って、読解練習をします。作文は「引用表現」について学びます。最後に引用表現文型を使って「各国の国民性」についての作文を書きます。				「各国の国民性」についての作文を完成させる。小テストに備え、復習をする(1時間)				
5	読解：文の構造 小テスト	読解では文の修飾関係を正しく理解するストラテジーについて説明します。さらに今までの読解、作文の書き方について小テストを行い、フィードバックをします。				小テストの結果のフィードバックをもとに理解できていない点を復習する(1時間)				
6	読解：文の構造復習 作文：間接疑問 作文「日本人の不思議」	読解は文の構造の復習をします。作文は間接疑問文について作り方を確認したあと、その文を使って、作文「日本人の不思議」について書いてもらいます。「各国の国民性」のフィードバックをします。				作文「各国の国民性」の清書。作文「日本人の不思議」を完成させる(1時間)				
7	読解：前件と後件 作文：接続表現	読解は前件と後件の関係をつかむことを学びます。作文は接続表現について学びます。小テストに備えて、前回までの復習をします。				小テストに備えて該当箇所を復習する(1時間)				
8	読解：前件と後件の復習 作文：「日本人の不思議」合評会、小テスト	読解は前件と後件の復習を行います。作文は「日本人の不思議」の合評会とフィードバックです。また読解と作文の小テストを行います。				小テスト結果フィードバック、理解できていない点を復習する。作文の清書をする(1時間)				
9	読解：指示詞 作文：レポート作成 レポート文を読む	読解は指示詞のさすものを見つけるストラテジーを身につけます。作文は調査をもとにしたレポート作成の準備をします。まず、参考になるレポート文の読解をし、到達目標をつかみます。				インターネット、図書館を利用して、レポートのテーマを考える(1時間)				
10	読解：指示詞復習 作文：資料の引用	読解は指示詞の復習を行います。作文は資料の引用の仕方について、説明します。また、参考文献の書き方についても学んでもらいます。				インターネット、図書館を利用して、レポートのテーマを考える(1時間)				
11	読解：省略 作文：レポートのテーマ 決定・構成	読解は省略されているものはなにかを見つけるストラテジーを学びます。作文はレポートのテーマの決定、構成を練ります。図表の書き方も学びます。				レポートのテーマについて図書館、インターネットを利用し、調査する(1時間)				
12	読解：「省略されているもの」復習 作文：文献調査	読解は省略されているものはなにかを見つけるストラテジーの復習をします。作文は仮アウトラインを作ります。仮説も立てます。				レポートのテーマについて、調査する。レポート下書きをする(1時間)				
13	読解：関連のある言葉 作文：レポート下書チェック	読解は関連のある言葉を見つけるストラテジーを学びます。作文はレポートの下書きをして、チェックを受けます。				レポートを執筆する(1時間)				
14	読解：関連ある言葉復習 作文：レポート校正	読解は関連ある言葉を見つけるストラテジーの復習をします。作文はレポートの校正を行います。				レポートを完成させる(1時間)				
15	レポート合評会	レポートの合評会を行い、学生同士の作文から様々な視点を学びます。フィードバックを受けて、さらに校正を行います。				レポートを清書する(1時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
<p>「留学生の日本語 作文編」アカデミック・ジャパニーズ研究会編著（アルク） ISBN:4-7574-0500-6（別途、指示します。） 「留学生のための読解トレーニング」石黒圭他著（凡人社） ISBN:978-4-89358-780-0（別途、指示します。）</p>		<p>受講態度：15% 小テスト：25% 課題：60% 受講態度(合評会などでの発言回数と内容) S:適切な表現で論理的な文章が書ける。自他の文章に批判的な目を持ち、適切かつ正確に伝えられる。A:書き言葉で論理的な文章が書ける。自他の文章に批判的な目を持ち、適切に伝えられる。B:ほぼ適切な表現である程度論理的な文章が書ける。自他の文章に批判的な目を持ち、ほぼ適切に伝えられる。C:ある程度論理的な文章が書ける。自他の文章に批判的な目を持ち、伝えられる。</p>								
参考書		履修上の注意（学生へのメッセージ）								
<p>「留学生のための論理的文章の書き方」二通信子著（スリーエーネットワーク） ISBN：978-4-88319-257-1</p>		<p>作文は時間外にやらなければならないことが多いです。講義計画に沿って準備してきてください。質問はオフィスアワーに対応します。</p>								

科目名	日本語応用(異文化理解応用)		学年学期	1年後期	単位数	1	ナパリング	UL12302	研究室	E-15
担当者	中村 純子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	水曜日1限		
関連資格					履修条件	【外国人留学生限定科目】				
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
本授業は、大学のテキスト、参考文献を理解するための読解力を養うことと、場面に合わせた文章を作成することを扱います。具体的には、手紙文、スピーチ原稿、自身および母国の状況をテーマにした作文を扱い、最後に社会問題に関するレポートを作成をします。また、必要な語彙、表現、文法なども学んでいきます。										
学修到達目標										
1、場面に合わせた適切な文章を作成することができるようになる。2、文章の目的に合わせて、適する語彙、表現の選択のほか、文体、構成にも配慮できるようになる。3、互いの作文のチェック、ディスカッションを通して、様々な視点を学び、自分の意見を表明できるようになる。										
授業の進め方										
読解と作文を行います。読解は読解のためのストラテジーを学んでいきます。作文は事例に触れながら、様々な文章の特徴を理解してもらい、その特徴を踏まえ、様々な文章を作成してもらいます。作成後、学生同士、フィードバックも行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス 読解:筆者の意見 作文:はがきの書き方	授業の目的、概要、評価の仕方を説明します。読解では文末に注意し、筆者の意見を見抜くストラテジーを学びます。作文では、eメール、はがきの書き方について学び、実際に書く練習をします。				実際にeメールを教員に出す。また、はがきは実際に書き、投函する(1時間)				
2	読解:「筆者の意見」復習 作文:手紙文の書き方	読解は筆者の意見を見抜くストラテジーについて復習をします。作文は手紙文の書き方を学び、実際に書く練習をします				手紙文の下書きをしてくる(1時間)				
3	読解:筆者の立場 作文:スピーチ原稿	読解は筆者の立場を見分けるストラテジーを学びます。作文は過去の留学生の書いたスピーチ原稿を参考にし、ブレインストーミングをします				スピーチのテーマを考え、下書きをする(1時間)				
4	読解:「筆者の立場」復習 作文:スピーチ原稿の発表の仕方	読解は筆者の立場を見分けるストラテジーの復習をします。作文はスピーチ原稿の下書きをチェックし、フィードバックをします。よいスピーチとは何かを考えます。				スピーチ原稿の清書、スピーチの練習をする(1時間)				
5	読解:大切なことのサイン 作文:スピーチ発表会	読解は大切なことのサインをつかむストラテジーを学びます。スピーチの発表をし、他学生、教員からフィードバックを得ます。				小テストに備え、復習をする(1時間)				
6	読解:「大切なことのサイン」復習 作文:アジア賞応募原稿構成	読解は「大切なことのサイン」の復習をします。作文はアジア賞に向けて、テーマを考え、構成を練ります。前回のアジア賞応募原稿を読み、到達目標を把握します。				アジア賞の応募原稿の下書きを書く(1時間)				
7	読解:速読 作文:アジア賞応募原稿作成	読解は速読のストラテジーを学びます。作文は、作文評価の観点の説明を受けたのち、アジア賞応募原稿の下書きを学生同士、チェックします				アジア賞応募原稿の清書をする(1時間)				
8	読解:「速読」復習 作文:アジア賞応募原稿完成、合評会	読解は速読の復習、作文はアジア賞原稿の合評会を行い、学生同士、互いの考え方を理解します。				アジア賞応募原稿校正をする(1時間)				
9	読解:話題を見抜く 作文:調査をしてレポートを書く	読解は文章の話題を見抜くストラテジーを身につけます。作文は社会問題もとにしたレポートの作成をします。テーマ決定のためのブレインストーミングを行います。				インターネット、図書館などを利用して、レポートのテーマを考える(1時間)				
10	読解:「文章の話題を見抜く」復習 作文:仮アウトライン	読解は「文章の話題を見抜く」ストラテジーの復習をします。作文はレポートのテーマ、構成を決め、仮アウトラインを作成します。				小テストのための復習をする。レポートのテーマについて調べる(1時間)				
11	小テスト 読解:ストーリーを読む	小テストをします。読解はストーリーを読むためのストラテジーを学びます。作文は仮アウトラインにのって、下書きをします。				レポートの下書きを完成させる(1時間)				
12	読解:「ストーリーを読む」復習 作文:賀状の書き方	読解は「ストーリーを読む」の復習をします。作文は賀状の書き方について学びます。				レポートの下書きを完成させる(1時間)				
13	読解:読み間違いを見つける 作文:下書きチェック	読解は読み間違いを見つけるストラテジーを学びます。作文はレポートの下書きを学生同士観点に沿って、チェックし、フィードバックを得ます。				フィードバックをもとにレポートの校正、清書をする(1時間)				
14	読解「読み間違いを見つける」復習 作文:レポート合評会	読解は「読み間違いを見つける」ストラテジーの復習をします。作文はレポート合評会を行い、学生同士、互いの考え方を理解し、ディスカッションを行います。				定期試験に備え、復習をする(1時間)				
15	総復習 作文:合評会	定期試験に備え、総復習をします。作文はレポートの合評会の続きを行い、学生同士、考え方を理解しディスカッションを行います。				定期試験に備え、復習をする(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「留学生のための読解トレーニング」石黒圭著(凡人社) ISBN:978-4-89358-780-0(別途、指示します。)日本語入門と同じ教科書です。				受講態度:15% 小テスト:20% 課題:45% 定期試験:20% 受講態度(合評会などでの発言回数と内容)S:場面に合わせた文章を適切、かつ正確に作成できる。自分の意見を適切かつ正確に表明できる。A:場面に合わせた文章を適切に作成できる。自分の意見を適切に表明できる。B:場面に合わせた文章をほぼ適切に作成できる。自分の意見をほぼ適切に表明できる。C:場面に合わせた文章を作成できる。自分の意見を表明できる。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「日本語Eメールの書き方」築晶子他著(ジャパンタイムズ) ISBN:4-7890-1184-4				留学生の物の見方、考え方を表明する場でもありますので、日頃より見聞を広げてほしいと思います。質問はオフィスアワーで対応します。						

科目名	日本事情 (異文化理解基礎)	学年学期	2年前期	単位数	2	ナパ'リング	UL22303	研究室	E-15
担当者	中村 純子	必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	水曜日1限		
関連資格				履修条件	【外国人留学生限定科目】				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
		A	B	C					
授業概要									
この授業は日本人学生と留学生が共に学び合い、異文化コミュニケーションを実践する授業です。地域のグローバル化に伴って、異文化の人との円滑なコミュニケーション力の養成は重要な課題となっています。この授業では、理論として異文化コミュニケーションの特徴、異文化コミュニケーションに対する態度を学び、さらにトレーニング、実際の異文化交流を通して、異文化に対する意識の変革を目指します。									
学修到達目標									
1、異文化コミュニケーションの特徴、異文化コミュニケーションに対する態度を学び、実際に異文化の人との円滑なコミュニケーションをとれるようになる。 2、テーマに沿ってディスカッション、発表をし、留学生と日本人学生が互いの意識改革を行い、多文化共生社会の礎を築く。									
授業の進め方									
講義形式で異文化コミュニケーションに関する理論を説明します。その理論をもとに様々な事例を取り上げ、日本人学生と留学生がディスカッション、発表をし、互いの考え方、価値観、文化が理解できるようにします。また、国際交流活動に参加してもらいます。									
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容				事前事後学修			
1	授業ガイダンス 異文化を理解する	授業の目的、概要、評価の仕方を説明します。異文化コミュニケーションとは何かを考えます。				身近にあった異文化コミュニケーションの経験をレポートにまとめる(2時間)			
2	異文化体験発表 新しい常識の発見	異文化体験を発表し、異文化が身近であることを理解します。異文化の人と常識が違うことを様々な例を用いて説明します。自分の価値観を絶対正しいと思わない態度を身につけます。				自分の体験で、異文化でなくても、常識の通じなかった経験をレポートにまとめる(2時間)			
3	常識が通じなかった体験発表 ステレオタイプ	常識の通じないというのは異文化だけではないことを理解します。ステレオタイプの定義、要因、そして自らのステレオタイプを考えます。さらに自分、自分の国がどう見られているかを考えます。				世界の様々な国のステレオタイプを調べて、レポートにまとめる(2時間)			
4	「ステレオタイプ」発表 文化とコミュニケーション	ステレオタイプについて発表を行い、ステレオタイプの弊害について考えます。文化とコミュニケーションについて考え、誤解を受けるメカニズムを考えます。				誤解を受けた経験を客観的に振り返り、その要因を分析し、レポートにまとめる(2時間)			
5	「誤解」レポート発表 コミュニケーションスタイル - 誘い方と断り方	人間がコミュニケーションをとるとき、異文化ならずとも誤解がおこることをメカニズム的に理解します。さらに、コミュニケーションスタイルの違う文化では誤解が起こりやすいことを学びます。				誘い方と断り方の自分のコミュニケーションスタイルについて、分析的に考え、まとめる(2時間)			
6	「誘い方と断り方」発表 コミュニケーションスタイル - 謝罪と感謝	自分の誘い方と断り方のコミュニケーションスタイルを客観的に知る。謝罪と感謝のコミュニケーションスタイルの文化による相違について考える。				スタイルが異なるとどんな摩擦が起きやすいかをレポートにまとめる(2時間)			
7	松本国際ふるさと祭り 「こいこい松本」への参加準備	「こいこい松本」の目的、概要を説明します。松本の外国籍住民についての理解を深め、自分なりのスタッフ参加の目的を決めます。				スタッフ会議も含め当日スタッフとして参加する。参加後、レポートを書く(16時間)			
8	「こいこい松本」に参加して学んだことを発表	「こいこい松本」に参加しての自分の目的に合わせた成果を発表します。発表の後、ディスカッションをします。				ディスカッションの内容も含め、レポートをまとめ直す(4時間)			
9	非言語コミュニケーション - タッチング・空間距離	非言語コミュニケーションとは何か。非言語の文化的影響を説明します。本授業ではタッチング、空間距離の文化的差異を取り上げます。				他者を観察し、非言語を使ったコミュニケーションの実例をレポートにまとめる(4時間)			
10	非言語コミュニケーション - 表情・アイコンタクト・ジェスチャー	非言語コミュニケーションの表情、アイコンタクト、ジェスチャーを取り上げ、文化的差異について説明します。最後に非言語コミュニケーションが摩擦を生む例について考えていきます。				非言語コミュニケーションを分類し、摩擦の多いタイプは何かをレポートにまとめる(4時間)			
11	多文化共生の意義と課題	多文化共生の意義、課題を考えます。まず、カナダ、日本の実例について紹介します。課題についてディスカッションをします。				多文化共生の意義と課題について調べてレポートにまとめる(4時間)			
12	多文化共生の意義と課題 - 発表	多文化共生の意義、課題について調べてきたことを発表します。お互いの発表を聞いて、ディスカッションをします。				外国人(異文化の出身者)にインタビューする。テーマを考える(4時間)			
13	外国人にインタビュー	学習してきたことをもとに自分でテーマを決めて、外国人にインタビューします。本授業ではテーマについて理解を深め、調査項目を決定します。				仮調査票を完成させる(4時間)			
14	外国人にインタビュー - パイロット調査	調査項目をもとにパイロット調査を行います。学生同士質問をし合い、調査項目を見直します。				調査票を完成させ、調査を行い、PPTでスライドを作る(4時間)			
15	発表原稿チェック 発表シミュレーション	お互いに発表原稿のチェックをします。よい発表の観点を説明し、シミュレーションを行います。				シミュレーションでのフィードバックをもとに発表原稿を完成させ、発表練習をする(4時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準							
「異文化コミュニケーション・ワークブック」矢代京子他著(三修社) ISBN:978-4-384-01851-6(講義にて配布します。)		受講態度:30% レポート:40% 発表30% 受講態度(ディスカッションでの発言回数と内容)S:異文化コミュニケーションの特徴を深く理解し、円滑なコミュニケーションがとれる。A:異文化コミュニケーションの特徴を理解し、円滑なコミュニケーションがとれる。B:異文化コミュニケーションの特徴をほぼ理解し、のコミュニケーションがとれる。C:異文化コミュニケーションの特徴をある程度理解し、コミュニケーションができる。							
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「異文化理解入門」原沢伊都夫著(研究社) ISBN:978-4-327-37734-2		異文化の人と交流をして互いの価値観を知り、理解できるようにしてください。質問はオフィスアワーで対応します。							

科目名	日本事情（異文化理解応用）		学年学期	2年後期	単位数	2	ナパリング	UL22304	研究室	E-15
担当者	中村 純子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	水曜日1限		
関連資格					履修条件	【外国人留学生限定科目】				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）					
		A	B	C						
授業概要										
地域のグローバル化にともない、日本の事情を客観的に知ること、さらにそれを他に伝えることが必要となっています。この授業はまず日本を大きく3つの地域に分け、その文化、歴史、宗教等を学んでいきます。そして、地域ごとに自分が興味を持ったテーマを見つけ、発表します。発表は3回行います。留学生と日本人学生がともに日本事情について学ぶことにより、互いの文化、歴史、宗教等を比較し、日本事情の特徴に対する理解を深めます。										
学修到達目標										
1、日本の事情を知り、さらにそれを他に伝えられるようになる。 2、日本と留学生の母国との比較により、それぞれの文化に対する理解を深める。 3、発表のスキルを学ぶ。										
授業の進め方										
授業の前半は講義形式で、地域ごとの文化、歴史、宗教等を学びます。後半は学生がテーマを選び、発表します。その内容について学生同士質問したり、話し合ったりしてもらいます。最後に発表のコメントを書き、提出します。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス 日本の地理 北部（北海道）について	授業の目的、授業概要、授業評価について説明を受けます。日本の地理の概要をつかんだ後に、北海道について学びます。北海道は主にアイヌの歴史について学びます。				復習及び発表準備（2時間）				
2	北部（岩手県）について	柳田國男の「遠野物語」を中心に学びます。日本の民俗学について理解を深めます。方言についても考えます。				復習及び発表準備（4時間）				
3	北部（仙台、奥の細道）について	東北の3大祭りについて学びます。さらに俳句について学び、「奥の細道」について理解を深めます。また句会の準備をします。				俳句を実際に作る。 復習及び発表準備（4時間）				
4	句会 北部（福島・茨城）について	句会を体験します。さらに東日本大震災について学びます。また、白虎隊、日光東照宮についてそれぞれの歴史についても理解を深めます。				発表準備まとめ。北部小テスト準備（6時間）				
5	中部（東京・富士山）について 学生発表 小テスト（北部）	東京、下町文化、富士山とそこから生まれた芸術について、学びます。東北地方に関する小テストを受け、知識を定着させます。発表を行い、その発表のテーマについてディスカッションをします。				発表準備（2時間）				
6	中部（信州）について 学生の発表	桜と日本人の美意識について学びます。また、江戸時代の人々の暮らしについて絵島事件を通して学びます。発表を行い、その発表のテーマについてディスカッションをします。				日本人の美意識に対する本を読み、レポートを書く（4時間）				
7	中部（奈良、京都） 学生の発表	奈良時代、平安時代を中心に学びます。発表を行い、その発表のテーマについてディスカッションをします。				復習及び発表準備（4時間）				
8	中部（滋賀、大阪） 学生の発表	戦国時代を中心に学びます。また、茶道の概要、精神についても学びます。発表を行い、その発表のテーマについてディスカッションをします。				発表準備 茶道の歴史と茶掛けを調べる。（4時間）				
9	茶道体験	茶道を体験します。その際茶道の精神がどのように実際に活かされているかを探ります。				茶道体験をレポートにまとめる。 発表準備 小テスト準備（6時間）				
10	南部（島根県出雲・松江）について 小テスト（中部）	神話、怪談などを中心に学びます。また、中部地方について知識定着のための小テストを行います。発表を行い、その発表のテーマについてディスカッションをします。				神話、怪談の中から、好きなものを選び、あらすじをまとめる。（4時間）				
11	南部（岡山・広島）について 学生の発表	日本の城、および安芸の宮島を中心に学びます。発表を行い、その発表のテーマについてディスカッションをします。				復習及び発表準備（4時間）				
12	南部（四国）について 学生の発表	坂本竜馬、正岡子規を中心に学びます。発表を行い、その発表のテーマについてディスカッションをします。				復習及び発表準備（4時間）				
13	南部（福岡・長崎・大分）について 学生の発表	原爆、鎖国、温泉を中心に学びます。発表を行い、その発表のテーマについてディスカッションをします。				復習及び発表準備（4時間）				
14	南部（熊本・鹿児島）について 学生の発表	熊本、鹿児島島の自然、歴史を中心に学びます。発表を行い、その発表のテーマについてディスカッションをします。				復習及び発表準備（4時間）				
15	沖縄について 学生の発表	戦争、自然、歴史を中心に学びます。発表を行い、その発表のテーマについてディスカッションをします。				小テスト（南部）準備及び発表準備（4時間）				
テキスト				成績評価の方法・基準						
(講義にて配布します。) パワーポイントによる資料を配布				受講態度：10% レポート：20% 小テスト：20% 発表50% S:授業内容の高度な理解の上に立ち、自らテーマを発見、探求し、他に伝えることに優れている。A:授業内容を理解し、自らテーマを発見、探求し、他に伝えることができる。B:授業内容をほぼ理解し、テーマにそって探求し、他に伝えることができる。C:授業内容の60%程度を理解し、テーマについて他に伝えることができる。						
参考書				履修上の注意（学生へのメッセージ）						
「日本人と日本文化」司馬遼太郎 ドナルド・キーン著（中公新書 285） ISBN：4-12-100285-7				日本人学生、留学生が互いの国の事情を積極的にし合うことが必要です。質問はオフィスアワーで対応します。						

科目名	健康管理論（総経・人間）		学年学期	1年前期	単位数	2	ナパ'リング	UL13101	研究室	S-19
担当者	中島 節子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	火曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）					
		A	B	C						
授業概要										
生活習慣病や高齢化などを背景に、健康志向の考え方が社会に広がっています。このような時代背景にいったいどんな健康を害する要素が潜んでいるのか、健康の現状と関連要因を学びながら「健康ではない状態」を回避するため、または、改善するために何をすべきなのかについて考えていきます。										
学修到達目標										
「健康」の概念を理解し、「健康」を害する要因と「健康」を維持するための方法について学び、説明することができる。										
授業の進め方										
講義形式で、基本的な事項については、配布プリントに沿って説明します。現代社会の健康関連要因などについて、統計を分析した結果や健康施策について個々の考え方をまとめ、お互いにディスカッションし、発表します。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	社会と健康	健康の定義、概念を理解する。生活習慣と健康との関係や環境が健康に及ぼす影響について理解し、公衆衛生とその歴史について学びます。				健康の定義や、健康と生活習慣、環境との関係についてまとめます。（4時間）				
2	疫学	疫学の定義と疫学のさまざまな指標、疫学的研究方法について学びます。				データの見方、統計を分析してまとめます。（4時間）				
3	人口統計	統計の基本事項について学び、人口統計、国勢調査、平均寿命、健康寿命について学びます。				人口統計を読み取り、考察してまとめます。（4時間）				
4	健康づくり	日本の健康づくり施策（第一次健康づくり対策からの歴史的意義、運動指針）、食生活関連施策、運動関連施策について学びます。				健康づくりの施策について調べてまとめます。（4時間）				
5	健康管理	健康管理の原則と考え方、健康教育の定義とその方法、その計画と実施、事例について学びます。				健康管理の方法や生活習慣病の予防についてまとめます。（4時間）				
6	生活習慣と健康	生活習慣病、メタボリックシンドロームについて学び、特定健診、保健指導について学びます。				自己の生活習慣、健康管理について見直します。（4時間）				
7	生活習慣病の疫学、予防、健康管理 1	循環器疾患、糖尿病、脂質異常、がんとその予防について学び、運動による予防効果と運動を始める前のメディカルチェックの重要性と検査項目、基準値について学びます。				運動と健康の関連についてまとめます。（4時間）				
8	生活習慣病の疫学、予防、健康管理 2	骨粗鬆症、慢性閉塞性肺疾患、ロコモティブシンドロームについて学び、運動による予防効果と運動を始める前のメディカルチェックの重要性と検査項目、基準について学びます。				自分の健康管理について確認し、まとめます。（4時間）				
9	地域の保健予防システム	保健所の歴史とその役割、保健師の役割、災害・危機管理対策、感染症法について学びます。				地域の保健予防システムについてまとめます。（4時間）				
10	社会保障制度	社会保障の概念、医療制度、福祉制度について学びます。				現代の社会保障制度の現状を調べます。（4時間）				
11	高齢者の健康管理	高齢者の医療確保に関する法律、健康増進事業、介護保険法と制度、認知症、サルコペニアについて学びます。				高齢者の健康課題をまとめ、考察します。（4時間）				
12	母子の健康管理	母子保健事業、保健指導、児童虐待、子育て支援制度について学びます。				母子保健について健康課題をまとめ、考察します。（4時間）				
13	学校の健康管理	健康診断と保健指導、学校給食、児童生徒の問題行動について学びます。				学校における健康管理についてまとめ、考察します。（4時間）				
14	職場の健康管理	一般健康診断、職業病と特殊健康診断、メンタルヘルスについて学びます。				職場の健康管理の方法についてまとめ、考察します。（4時間）				
15	健康づくり	講義の中での学びから、さまざまな対象、場所における健康づくり対策について考えまとめます。				現代の健康課題について整理し、解決策を考えまとめます。（4時間）				
テキスト				成績評価の方法・基準						
必要に応じて資料を配布します。				定期試験：90% 出席レポート：10% S:授業内容を高度に理解するとともに、探究心をもって積極的に健康課題に取り組み、応用問題が解ける。出席レポートに学びが丁寧に書かれている。A:授業内容を理解し、積極的に課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。出席レポートの内容に学びが書かれている。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、自分の意見を持つことができる。C:授業の内容の60%程度を理解し、身近な健康課題を理解することができる。						
参考書				履修上の注意（学生へのメッセージ）						
「基礎から学ぶ健康管理概論(改訂第4版)」柳川 洋（編集）、尾島 俊之（編集）編（南江堂） ISBN：978-4524254750 「社会・環境と健康 健康管理概論 第3版(栄養科学シリーズNEXT)」東 あか				自己の健康管理を実践しながら、健康についてさまざまな角度から考えられるように情報のアンテナを高めてください。この講義は、実務経験のある保健師が担当します。						

科目名	こころと体の健康			学年学期	1年後期	単位数	2	ナパリング	UL13102	研究室	S-02
担当者	青木 雄次・廣田 直子・中島 節子			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
<p>大学生生活を送る上で、また卒業後の社会生活を送る上で、学生自身が自分の心や体について十分な知識を持ち、健康で安全な日常生活を営むことが必要です。そのため、健康日本21の標語にもなっている「1に運動、2に食事、しっかり禁煙、5にクスリ」のそれぞれに対応して、専門的な視点からその基礎的知識を学び、自らの生活に結びつけて実践し、健康で安全な学生生活が送れることを目的とします。</p>											
学修到達目標											
<ul style="list-style-type: none"> ・健康な生活を送るために必要な運動、栄養、休養の必要性について理解し、実践できる。 ・生活習慣病の発症について理解し、予防策を説明することができる。 ・安全な生活を送るために必要な知識と技術を説明することができる。 											
授業の進め方											
各専門分野の教員がオムニバス形式で進めます。講義、演習・実習を含めて実施します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	オリエンテーション 健康とは	講義の進め方のオリエンテーションを行います。健康の概念、健康日本21の取り組みについて学びます。健康長寿についてDVDを上映します。					健康の概念について予習復習する。(4時間)				
2	飲酒、喫煙について がんの発症と予防	飲酒、喫煙のからだへの影響について学び、がんなどの病気との関連について学びます。					飲酒、喫煙、がんについて予習復習する。(4時間)				
3	生活習慣に関連する病気	生活習慣と関連の深い高血圧、高脂血症について、疾病の症状や要因、予防方法、治療方法について学びます。					生活習慣病について予習復習する。(4時間)				
4	生活習慣病 とまとめ	糖尿病、肥満など異常の早期発見のための健康診断の必要性や項目について学びます。1~4回のまとめのプリントを配布します。					健康診断や検査について予習復習する。(4時間)				
5	メンタルヘルス	代表的な精神疾患の特徴について学び、それらの対応について学びます。					精神疾患について予習復習する。(4時間)				
6	メンタルヘルス	現代社会の精神的な課題やストレスへの対応などを学び、予防と相談方法について学びます。					メンタルヘルスについて予習復習する。(4時間)				
7	栄養・食生活	栄養についての基礎知識を学び、健康的な食生活について考えます。					栄養・食生活について予習復習する。(4時間)				
8	健康と食生活	食生活と疾病との関連を学び、食事についての現代的な課題について解決策を考えます。					食生活と疾病についてレポートを作成する。(4時間)				
9	健康と食生活 休養	健康的な食生活について考えます。健康づくりのための休養指針について学び、健康づくりのための休養について考えます。					休養について予習、復習する。(4時間)				
10	健康づくりと運動	運動と健康の関連について学びます。					運動と健康との関連について予習復習する。(4時間)				
11	健康づくりと運動の実際	運動不足に起因する生活習慣病を予防するために必要な体力要素について学びます。					体力測定項目について予習復習する。(4時間)				
12	健康づくりと運動の実際	効果的な運動についての課題と対応策を考え、健康づくりのための運動を行います。					健康づくりのための運動について予習復習する。(4時間)				
13	安全と救急法について	安全について考え、けがの予防と応急手当について学びます。救命救急法について学び、演習を行います。					けがの予防と応急手当、救急法について予習復習をする。(4時間)				
14	生と性について	生と性について考えます。性の多様性LGBT、妊娠、出産について学びます。					生と性について予習復習する。(4時間)				
15	感染症と予防について	感染症と感染予防について学びます。					感染症について予習復習する。(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
必要な資料をその都度配布します。					<p>定期試験：100%</p> <p>S：授業内容を高度に理解し、自己の健康課題を解決する方法に応用することができる。</p> <p>A：授業内容を理解し、自己の健康課題を明確にし、解決する方法を見出すことができる。</p> <p>B：授業内容のおおよそを理解し、自己の健康課題を明確にすることができる。</p> <p>C：授業内容の60%は理解でき、健康の重要性を説明できる。</p>						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「大学生の健康ナビ キャンパスライフの健康管理 2018」山本真由美著(岐阜新聞社) ISBN: 978-4877972240					大学生生活を健康で安全に送る基礎を学び、実践に結びつけられるように努力してください。この講義は、医師、臨床心理士、管理栄養士、健康運動指導士、保健師等それぞれ実務経験のある教員が担当します。						

科目名	哲学			学年学期	2年前期	単位数	2	ナパリング	UL23103	研究室	非常勤
担当者	護山 真也			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
私たちの常識的な世界の見方に対して、一歩ひいたところから、その価値を疑い、批判的な考察をくわえることで、その真価を見極めていくことが「哲学」の実践です。そのような哲学は、古今東西、さまざまな場所、さまざまな時代で行われてきました。この授業では、西洋哲学のみならず、東洋哲学にも目を配り、それらに共通するテーマを設定し、それに対する異なるアプローチの仕方を学んでいきます。											
学修到達目標											
哲学・倫理学・宗教学で問われる諸問題を理解し、それらに対して批判的に考えることのできる力を身につける。											
授業の進め方											
プリントを用いて講義形式で進めます。映像資料を利用する回もあります。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	哲学への招待	授業全体の見取り図を示し、授業のガイダンスを行います。					授業で配付するプリントを読み直す。(4時間)				
2	プラトンと愛の哲学	プラトンの『饗宴』を素材として、ギリシア哲学の特質について学びます。					授業で配付するプリントを読み直す。(4時間)				
3	キリスト教の愛とフロムの『愛するということ』	キリスト教のアガペーとフロムが説く愛の技法について学びます。					授業で配付するプリントを読み直す。(4時間)				
4	アリストテレスと幸福の哲学	アリストテレスの思想と幸福についての考え方を学びます。					授業で配付するプリントを読み直す。(4時間)				
5	デカルトが見出した自己	デカルトの思想とコギトの哲学について学びます。					授業で配付するプリントを読み直す。(4時間)				
6	観念論の系譜	ロックの観念論とパークリの観念論について学びます。					授業で配付するプリントを読み直す。(4時間)				
7	マトリックスの世界	観念論の世界を描いた映画『マトリックス』を通して観念論の復習をします。					授業で配付するプリントを読み直す。(4時間)				
8	カントとコペルニクスの転回	カントの認識論についてコペルニクスの転回を中心に学びます。					授業で配付するプリントを読み直す。(4時間)				
9	ニーチェのニヒリズムの思想	ニーチェのニヒリズムの思想とデカルト以来の哲学への批判を学びます。					授業で配付するプリントを読み直す。(4時間)				
10	現代哲学の課題 自己	現代の哲学的課題として、人格の同一性(アイデンティティ)の問題を学びます。					授業で配付するプリントを読み直す。(4時間)				
11	現代哲学の課題 自由	現代の哲学的課題として、決定論と自由意志の問題を学びます。					授業で配付するプリントを読み直す。(4時間)				
12	現代哲学の課題 心のありか	現代の哲学的課題として、AIに心は宿るのか、心の謎について学びます。					授業で配付するプリントを読み直す。(4時間)				
13	ブッダの教えたこと	仏教思想の基礎をブッダの言葉から学びます。					授業で配付するプリントを読み直す。(4時間)				
14	『般若心経』と空の思想	大乘仏教の空の思想を『般若心経』から学びます。					授業で配付するプリントを読み直す。(4時間)				
15	日本哲学の可能性	西田幾多郎の思想を中心に日本哲学の可能性を学びます。					授業で配付するプリントを読み直す。(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
授業中にプリントを配布します。					定期試験:90% 受講態度:10% 定期試験で授業の理解度を問います。試験の論述では、(1)与えられた哲学的問題を正しく理解し、(2)自らの考えを、(3)論理的に、(4)独自の考察を加えて、表現することができる。(1)のみはC、(2)まででB、(3)まででA、すべて満たせばS評価とします。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
『愛するということ』エーリッヒ・フロム著(紀伊国屋書店) 『しぶん・この不思議な存在』鷲田清一著(講談社) 『観念論の教室』富田泰彦著(筑摩書房)					今学期の最後の13-15の3回分は補講で開講します。授業計画については初回で説明します。						

科目名	生命倫理			学年学期	2年後期	単位数	2	ナパ'リング	UL23104	研究室	C-7
担当者	福島 智子			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日3限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
生命をめぐる倫理(道徳・規範)的諸問題をさまざまな視点から考察し、医療領域における今日的かつ具体的問題に対処できる思考力を養います。生命倫理学の歴史的背景と今日の課題について理解し、具体的な倫理的問題を包括的な観点から把握することを目標とします。1960年代以降、医療領域において生じた倫理的諸問題を個別に取り上げ考察します。											
学修到達目標											
生命科学、医療領域における具体的な倫理的問題に、一個人として対峙し、個別の倫理的判断を導き出せるようになること。											
授業の進め方											
授業内容に応じてグループ報告、グループ討論を実施します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	生命倫理学の成立背景	生命倫理学の歴史と現状について概説します。					配布プリントの要点をまとめる。(4時間)				
2	健康と病気	健康と病気、正常と異常、それぞれの概念について学びます。					配布プリントの要点をまとめる。(4時間)				
3	治療と人体実験	医療の目的と人体実験の歴史について学びます。					事前配布資料を読んで下調べをする。(4時間)				
4	Quality of LifeとSanctity of Life	Quality of Life(生命の質)とSanctity of Life(生命の神聖性)について学びます。					配布プリントの要点をまとめる。(4時間)				
5	生殖技術	生殖技術の発展とそれに伴う倫理的問題について学びます。					授業中に配布する課題プリントをする。(4時間)				
6	脳死と臓器移植	脳死と臓器移植の関係について、現状と課題について学びます。					授業中に配布する課題プリントをする。(4時間)				
7	安楽死と尊厳死	安楽死・尊厳死と治療停止の現状と課題について学びます。					配布プリントの要点をまとめる。(4時間)				
8	ケアの倫理	医療福祉分野におけるケアの倫理について学びます。					配布プリントの要点をまとめる。(4時間)				
9	医師 患者関係	医師-患者関係の変容と今日的課題について学びます。					授業中に配布する課題プリントをする。(4時間)				
10	インフォームド・コンセントと情報開示	インフォームド・コンセントの歴史と医療領域における情報開示について概説します。					配布プリントの要点をまとめる。(4時間)				
11	医療資源の配分	医療資源の配分における公正さと正義について考えます。					事前配布資料を読み、下調べをする。(4時間)				
12	パーソン論	パーソン(人格)とは何かについて学びます。					配布資料の要点をまとめる。(4時間)				
13	老人介護と世代間倫理	少子高齢化と介護問題について概説します。					授業中に配布する課題プリントをする。(4時間)				
14	生命倫理学の比較考察	諸外国と日本における生命倫理学の比較をします。					配布プリントの要点をまとめる。(4時間)				
15	まとめ	講義全体のまとめ。					総復習。(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
学生が選択するグループディスカッションのテーマによって、使用テキストは異なりますので個別に指定します。					受講態度:20% 出席レポート:20% レポート:30% 受講態度にはグループディスカッションへの参加状況が含まれます。 S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考能力に基づく探究姿勢をもって課題に取り組むことができる。A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組むことができる。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組むことができる。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組むことができる。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「生命倫理とは何か」市野川容孝編(平凡社) 「生命倫理学を学ぶ人のために」加藤尚武・加茂直樹編(世界思想社)					ひとつひとつの事例について、学生自身考えることが要求されます。毎回の講義終了前に、次回講義の概要について説明します。予習の指示がある場合は、必ず予習をしてから講義に臨んでください。						

科目名	生活習慣病と予防			学年学期	2年後期	単位数	2	ナパ'リング	UL23105	研究室	S-02
担当者	青木 雄次			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
食事・運動をはじめとする生活習慣は、さまざまな病気の発症に深くかかわっています。生活習慣を見直すことで、病気の発症を防ぎ健康長寿を達成することも可能となります。本講義では、生活習慣が関係して発症するさまざまな疾患について学び、生活習慣病を防ぐための生活習慣改善の実践や指導法について体験しながら学習します。											
学修到達目標											
自分の生活習慣と健康状態を知り、自らの生活習慣病のリスクを把握することによって、より健康的な学生生活を送ることができ、かつ、生活習慣病とそれを予防するための知識を教えることができるようになることです。											
授業の進め方											
教科書、プリント、スライド、DVDを使いながら授業を進めます。質問票や動画を適宜利用します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	イントロダクション	生活習慣病とは? 成人病から生活習慣病へ 生活習慣病の低年齢化について学びます。					教科書13-36ページを読んで、自分の生活習慣を考えてください。(4時間)				
2	肥満と肥満症	ヒトはなぜそんなに食べるのか? 肥満の定義とBMI の計算方法について学びます。					教科書37-72ページを読んでください。(4時間)				
3	糖尿病(1)	糖尿病の定義、分類(1型、2型)、血糖値とHbA1c測定の意義について学びます。グルコーススパイクとその意義について学びます。					教科書73-87ページを読んでおいてください。(4時間)				
4	糖尿病(2)	糖尿病の合併症、運動療法、食事療法について学びます。					教科書88-102ページを読んでおいてください。(4時間)				
5	脂質異常	脂質異常症の種類と原因、動脈硬化との関係、脂質異常の予防法について学びます。					教科書125-130ページを読んでおいてください(4時間)				
6	メタボリックシンドローム	メタボリックシンドロームの定義とその意義について学びます。国別基準のプリントを配布します。					メタボリックシンドローム国別の基準の違いをみておいてください。(4時間)				
7	高血圧と臓器障害	高血圧、動脈硬化、臓器障害の関係を学びます。					教科書103-124ページを読んでおいてください。(4時間)				
8	虚血性心疾患、まとめ1	虚血性心疾患の分類(狭心症、心筋梗塞)、運動療法について学びます。1~8回のまとめのプリントを配布します。					教科書133-158ページを読んでおいてください。(4時間)				
9	アンチエイジング医学(1)	理想の予防医学としてのアンチエイジング医学について学びます。					アンチエイジング医学について調べておいてください。(4時間)				
10	アンチエイジング医学(2)	アンチエイジングと抗酸化栄養やホルモン補充について学びます。					アンチエイジングについて調べておいてください。(4時間)				
11	呼吸器疾患	慢性閉塞性肺疾患(COPD)と禁煙指導について学びます。					禁煙指導について調べておいてください。(4時間)				
12	がん	がんの成因、がん検診と一次予防について学びます。がんの予防のプリントを配布します。					がん検診について調べておいてください。(4時間)				
13	運動器疾患	変形性関節症、変形性脊椎症、骨粗鬆症についてとその予防と運動について学びます。骨密度の測定方法の種類とその特徴を学ぶ。					教科書233-256ページを読んでおいてください。(4時間)				
14	ロコモティブシンドローム	ロコモティブシンドロームの構成概念、サルコペニアやフレイルの定義、高齢者の運動障害の特徴について学びます。					ロコチェックとロコトレについて調べておいてください。(4時間)				
15	認知症、まとめ2	認知症の病態、認知症症状と症状に対する運動療法(コグニサイズ)について学びます。9~15回のまとめのプリントを配布します。					教科書211-232ページを読んでおいてください。(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「Q & A 生活習慣病の科学 Neo」中尾 一和編(京都大学学術出版会) ISBN:978-4-8140-0050-0(別途、指示します。) 希望者のみ購入(授業で説明します)。					定期試験:100% 評価の基準 S:積極的に課題に取り組み、授業内容をよく理解し定期試験が90点以上。A:積極的に課題に取り組み、授業内容をよく理解し定期試験が80点以上。B:与えられた課題に取り組み、授業内容を理解し定期試験が70点以上。C:与えられた課題に取り組み、授業の内容を理解し定期試験が60点以上。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「健康読本もっと、もっと健康!ず~っと元気!」日本人間ドック検診協会編(日本人間ドック検診協会) ISBN:4-9901978-1-X					毎日の生活習慣が病気の発症に影響し、栄養・運動・睡眠・ストレスの自己管理が大切であることを学びましょう。						

科目名	文学		学年学期	3年前期	単位数	2	ナバリノ	UL33106	研究室	非常勤	
担当者	中西 満義		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスア-				
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
			A	B	C						
授業概要											
旅の文学(俳諧紀行文学)をとおして、古人における旅の意義を考察していきます。古典文学の世界に親しみつつ、その豊饒な表現世界を理解することを目標とします。松尾芭蕉『おくのほそ道』を取り上げ、松尾芭蕉の人と文学についての考察の後、序章・旅立から終着地大垣まで、主要な章段を講読していきます。											
学修到達目標											
古文を読解することができること、古典文学の表現世界を理解することができること。松尾芭蕉の思念、思想を汲み取ることができること。											
授業の進め方											
芭蕉、ならびに俳諧に関する理解を得たところで、『ほそ道』のすぐれた表現を鑑賞していきます。適宜割愛しつつ、主要な章段の解釈と鑑賞を試みます。また、作品中の日光、平泉に関連して世界遺産についての理解も深めます。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	文学の意義	講義ガイダンス(世界遺産の文学)『おくのほそ道』を知る					様々な文学に触れ、文学的関心の発掘をしておく(2時間)。従前の古典学習を振り返る(2時間)。				
2	旅と文学	紀行文学の系譜 旅の文学について理解する					授業での解説を振り返り、古典の旅を理解する(2時間)。「更科紀行」の知識を得る(2時間)。				
3	文学史の中の俳諧	俳諧についてジャンルを理解する					授業での解説を振り返り、日本の詩歌文学の特質を理解する(4時間)。				
4	松尾芭蕉の作品	松尾芭蕉の旅と文学 芭蕉における旅の意義					授業での解説を振り返り、芭蕉の俳諧紀行文の理解をする(4時間)。				
5	『おくのほそ道』講読	序章、旅立ち 構成を理解する					冒頭文の暗誦と鑑賞を試みる(2時間)。日光についての知識を得る(2時間)。				
6	『おくのほそ道』講読	日光 章段の構成を理解					文章構成と世界遺産に対する理解を深める(4時間)。				
7	『おくのほそ道』講読	那須野、黒羽、雲巖寺 下野の伝承を知る					授業での解説を振り返り、地域伝承に対する理解を深める(4時間)。				
8	『おくのほそ道』講読	殺生石、遊行柳、白川の関 陸奥への玄関口					授業での解説を振り返り、文体の理解を深める(2時間)。東北地方について理解する(2時間)。				
9	『おくのほそ道』講読	須賀川～武隈の松 陸奥の歌枕を理解する					講義での解説を振り返り、陸奥の歌枕を調べる(4時間)。				
10	『おくのほそ道』講読	宮城野、壺の碑 芭蕉の行動を考える					講義での解説を振り返り、「風流」を理解する(2時間)。日本三景について知る(2時間)。				
11	『おくのほそ道』講読	末の松山、塩竈、松島 風景描写を学ぶ					講義での解説を振り返り、旅の目的の再確認をする(2時間)。「歌枕」についての復習(2時間)。				
12	『おくのほそ道』講読	瑞巖寺、石の巻 表現の仕方を学ぶ					「松島」から「平泉」への接続を理解する(2時間)。源義経について知る(2時間)。				
13	『おくのほそ道』講読	平泉 高館(義経の最期)・中尊寺					世界遺産について調べ、理解を深める(課題・4時間)。				
14	『おくのほそ道』講読	象潟 風景描写を理解する					「松島」との比較をしておく(2時間)。風景描写を学ぶ(2時間)。				
15	『おくのほそ道』講読	越後、北陸道～大垣(まとめにかえて)					後半、各章段のテーマを理解する(2時間)。全巻通読を試みる(2時間)。				
テキスト			成績評価の方法・基準								
「新版 おくのほそ道」(角川ソフィア文庫) ISBN:4-04-401004-8(生協で購入してください。)			課題:20% 定期試験:60% 受講態度:20% S:授業内容を高度に理解するとともに、対象を追究する研究的姿勢で課題に取り組む。 A:授業内容を理解し、積極的に課題に取り組む。 B:授業内容をおおよそ理解し、課題にも誠実に取り組む。 C:授業内容の過半を理解し、課題にも取り組む。								
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)								
特に指定しませんが、公共図書館や附属図書館を活用して参考文献を参照してください。			世界(文化)遺産登録地が二箇所も登場する注目の作品で、「観光」の在り方を考えるにも有効な学習内容だと思います。ほそ道本文は、各自、事前に読んでおくようにしてください。								

科目名	生涯スポーツ（集团的スポーツ）Aクラス	学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	UL13107	研究室	S-16
担当者	伊藤 真之助	必修選択	選択	科目種別	講義	オイスア-			
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(公民)	履修条件							
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
		A	B	C					
授業概要									
<p>本授業では、バスケットボールを通じてスポーツを楽しむ能力を育むことを目的とします。スポーツは継続することが重要であるといわれていますが、継続するためには「楽しさ」を体験することが重要であると考えられます。本授業では、チーム内でのそれぞれの役割を自覚し、助け合い、声を掛け合うなどのチームワークを育むことを念頭に「スポーツを楽しむ」ことを学んでいきます。</p>									
学修到達目標									
<p>(1)バスケットボールにおける基本的技術を習得し、ゲームにおいて実践できること (2)チーム内でのそれぞれの役割を自覚し、助け合ってゲーム展開ができること (3)参加している全員が楽しめるように工夫できること</p>									
授業の進め方									
前半は、バスケットボールに必要な基礎体力や能力などの基礎的な技術の習得を目指します。後半では、身につけた基礎的な技術を実践(ゲーム)形式にて行う事やゲーム形式の中でのチームワークを高める能力を高める事を行っていきます。									
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容				事前事後学修			
1	オリエンテーション	授業の進め方、内容、評価方法、留意点について解説します				事前にシラバスを読む。事後にはバスケットボールのルールを確認する(1時間)。			
2	基本的技術の習得(1)	チームに分かれて基本的な動きを体験します。				事前にバスケットボールに必要な動きを調べる。事後には必要な動きを復習する(1時間)。			
3	基本的技術の習得(2)	チームごとにパスの技術の習得方法を考え、それを実践します。				事前にパスについてを調べる。事後にはパスについて復習する(1時間)。			
4	基本的技術の習得(3)	チームごとにラン&パスの技術の習得方法を考え、それを実践します。				事前に動きやパスの方法を再確認しておく。事後には復習する(1時間)。			
5	基本的技術の習得(4)	チームごとにゴール下でのシュート技術の習得方法を考え、それを実践します。				事前にシュートについて調べる。事後はシュートについての注意点を復習する(1時間)。			
6	基本的技術の習得(5)	チームごとにレイアップシュートや3ポイントシュートの技術習得方法を考え、それを実践します。				事前にシュートについて調べる。事後はシュートについての注意点を復習する(1時間)。			
7	基本的なルールの理解と審判技術の習得	審判技術の基本を確認し、ミニゲームにて実践します。				事前にルールと審判について調べる。事後は審判をする際の注意点を復習する(1時間)。			
8	リーグ戦	授業前半で習得した基本的技術や審判技術を発揮するために、チーム対抗の試合を実施します。				事前にチームごとに作戦を練る。事後にはチームごとに試合を振り返る(1時間)。			
9	リーグ戦	チーム対抗の試合を実施し、試合後にはチームごとに振り返りを行い、次戦に向けた目標設定をします。				事前にチームごとに作戦を練る。事後にはチームごとに試合を振り返る(1時間)。			
10	リーグ戦	設定した目標を確認し、チーム対抗の試合を実施します。試合後にはチームごとに振り返りを実施します。				事前にチームごとに作戦を練る。事後にはチームごとに試合を振り返る(1時間)。			
11	チーム内でのリーグ戦の振り返り	前半リーグ戦を振り返り、チーム内での各自の役割を再確認し、必要に応じて戦術を整理する。				事前にチーム内での各自の役割を考える。事後には、チーム戦術を再確認する(1時間)。			
12	リーグ戦	これまでの授業で習得した基本的技術及び審判技術と前半リーグ戦から得た経験を発揮する場としてチーム対抗の試合を実施します。				事前にチーム内での自身の役割を確認する。事後にはチームごとにゲーム分析をする(1時間)。			
13	リーグ戦	チーム対抗の試合を実施する中で、チーム内での各々の役割を再確認し、試合プランを再構築します。				事前にチーム内での自身の役割を確認する。事後にはチームごとにゲーム分析をする(1時間)。			
14	リーグ戦	チーム対抗の試合を実施する中で、チーム内での役割はもちろん、審判の役割を把握し、試合を円滑に進行する為のそれぞれの役割を実践し学習します。				事前にチーム内での自身の役割を確認する。事後にはチームごとにゲーム分析をする(1時間)。			
15	体験型チーム編成	これまでのリーグ戦で組んだチームメイト以外とチームを編成し、試合を実施します。				事前にバスケットボールを実施する上でのアピールポイントを考える。事後には、本授業のレポート			
テキスト		成績評価の方法・基準							
必要に応じて資料を配布します。		出席レポート：60% 実技：20% レポート：20% S：現在の改善すべき課題に積極的に取り組み、習得した基本的技術をもってチームメイトと楽しくゲームを実践できる。A：現在の改善すべき課題に比較的積極的に取り組み、習得した基本的技術をもってチームメイトと楽しくゲームを実践できる。B：習得した基本的技術をもってチームメイトと楽しくゲームを実践できる。C：習得した基本的技術を実践できる。							
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)							
特に指定しません。		スポーツウエア(上下)とスポーツシューズを着用して参加してください。							

科目名	生涯スポーツ（集团的スポーツ）Bクラス	学年学期	1年前期	単位数	1	ナパリング	UL13107	研究室	S-18
担当者	新井 喜代加	必修選択	選択	科目種別	講義	オイスアワ	月曜日5限		
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(公民)	履修条件							
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
		A	B	C					
授業概要									
本授業では、バレーボールを通じてスポーツに親しむ資質を身につけることを目的とします。スポーツに親しむには、なによりスポーツの楽しさを体験することが重要であると考えられます。本授業では、チームごとに「楽しい」という気持ち、感覚、雰囲気、表情等について考え、「楽しいバレーボール」を探求します。									
学修到達目標									
(1)バレーボールの基本的技術を習得し、ゲームに活かすことができる (2)チームメイトと協力し、ゲームを展開することができる (3)楽しくゲームを進行するために工夫することができる									
授業の進め方									
基本的に本授業は、チーム単位(グループワーク)で「課題の設定 課題を解決する練習方法の決定と実施 ミニゲームの実施 ミニゲームの振り返り 課題の見直しと再設定」というサイクルで進めていきます。									
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容				事前事後学修			
1	オリエンテーション	授業のねらい、授業内容、評価方法、留意事項等について解説し、チーム分けをします				事前：シラバスを読む/事後：本授業のルールと6人制ルールを確認する(1時間)			
2	攻守の基本的技術の習得1	チームごとにパスの技術の習得方法を考え、それを実践します				事前：パスについて調べる/事後：パスをする際の注意点を復習する(1時間)			
3	攻守の基本的技術の習得2	チームごとにサーブの技術の習得方法を考え、それを実践します				事前：サーブについて調べる/事後：サーブをする際の注意点を復習する(1時間)			
4	攻守の基本的技術の習得3	チームごとにレシーブの技術の習得方法を考え、それを実践します				事前：レシーブについて調べる/事後：サーブをする際の注意点を復習する(1時間)			
5	攻守の基本的技術の習得4	チームごとにスパイクの技術の習得方法を考え、それを実践します				事前：スパイクについて調べる/事後：スパイクをする際の注意点を復習する(1時間)			
6	攻守の基本的技術の習得5	チームごとにブロックの技術の習得方法を考え、それを実践します				事前：ブロックについて調べる/事後：ブロックをする際の注意点を復習する(1時間)			
7	基本的なルールの理解と審判技術の習得	6人制ルールとその審判技術の基本を確認し、それを簡易ゲームで実践します				事前：6人制ルールと審判について調べる/事後：審判をする際の注意点を復習する(1時間)			
8	リーグ戦1-1	これまでの授業で習得した基本的技術及び審判技術を発揮する場としてチーム対抗の試合をします				事前：チームごとにアピールポイントを考える/事後：チームごとにゲーム分析をする(1時間)			
9	リーグ戦1-2	これまでの授業で習得した基本的技術及び審判技術を発揮する場としてチーム対抗の試合を実施します				事前：チームごとにアピールポイントを再考する/事後：チームごとにゲーム分析をする(1時間)			
10	リーグ戦1-3	これまでの授業で習得した基本的技術及び審判技術を発揮する場としてチーム対抗の試合を実施します				事前：チームごとにアピールポイントを再考する/事後：チームごとにゲーム分析をする(1時間)			
11	基本的技術及びチームプレーの確認	チームごとにリーグ戦1を振り返り、基本的技術及びチームプレーをミニゲームを通して確認します				事前：チームごとに課題を整理する/事後：チームプレーを再確認する(1時間)			
12	リーグ戦2-1	これまでの授業で習得した基本的技術及び審判技術とリーグ戦1から得た知見を発揮する場としてチーム対抗の試合を実施します				事前：チームごとにアピールポイントを考える/事後：チームごとにゲーム分析をする(1時間)			
13	リーグ戦2-2	これまでの授業で習得した基本的技術及び審判技術とリーグ戦1から得た知見を発揮する場としてチーム対抗の試合を実施します				事前：チームごとにアピールポイントを考える/事後：チームごとにゲーム分析をする(1時間)			
14	リーグ戦2-3	これまでの授業で習得した基本的技術及び審判技術とリーグ戦1から得た知見を発揮する場としてチーム対抗の試合を実施します				事前：チームごとにアピールポイントを考える/事後：チームごとにリーグを振り返る(1時間)			
15	9人制バレーボールの体験	6人制との違いを体感するために9人制バレーボールの試合を実施します				事前：9人制のルールを確認する/事後：これまでを振り返り6人制と9人制の違いを考える(1時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準							
特に指定せず、必要に応じて資料を配布します。		出席レポート：60% 実技：20% レポート：10% 受講態度：10% S:批判的思考に基づく探求姿勢をもって積極的に課題に取り組み、習得した基本的技術を用いて、チームメイトと楽しくゲームを展開することができる/A:探求姿勢をもって積極的に課題に取り組み、習得した基本的技術を用いて、チームメイトとゲームを展開することができる/B:与えられた課題に誠実に取り組み、習得した基本的技術をゲームに活かすことができる/C:与えられた課題に誠実に取り組み、習得した基本的技術を実践することができる							
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)							
特に指定しません。		履修者数を抽選により調整する場合があります、36名程度の予定です。							

科目名	生涯スポーツ（集团的スポーツ）Cクラス	学年学期	1年前期	単位数	1	ナバリング	UL13107	研究室	S-15
担当者	山本 薫	必修選択	選択	科目種別	講義	オイスアワ	火曜日3限、火曜日4限		
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(公民)	履修条件							
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
		A	B	C					
授業概要									
ソフトボールは「打つ」「捕る」「投げる」「走る」といった運動の基本動作が盛り込まれた競技スポーツであり、その手軽さから老若男女問わず学校や職場、地域で盛んに実施されている生涯スポーツでもあります。本授業ではソフトボールの基本的な技術や戦術を概説し、またゲーム中の個々の役割について練習やゲームを通してそれらを習得します。さらに審判の実施方法なども体験します。その他、生涯スポーツとして実施するための展開方法、安全管理について習得します。									
学修到達目標									
ソフトボールにおける基本的技術や戦術の習得およびそのためのドリルを学習し実践できるようになること。 チームメートとの関わりの中で積極的にプレーしチームプレーを身につけること。 生涯スポーツとして行うにあたり、リスク管理ができるようになること。以上を目標とします。									
授業の進め方									
ほぼ全てをソフトボールの実技を行い、前半は体力づくりと基礎的技術の習得および実践ミニゲーム、後半はゲームを通してチームワークを磨きます。雨天時には室内での学習もしくは別集団スポーツを予定していますので準備してください。									
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容					事前事後学修		
1	オリエンテーション	概要・スケジュール説明。場所、道具準備片付け手順確認、種目紹介、経験の有無確認。					ソフトボールの映像を見てレポートを作成する。		
2	基礎能力技術測定	基礎体力・能力測定(遠投力、送捕球、打力)					ソフトボールの技術についてテキストや参考書等で予習する。		
3	基本練習1	キャッチボール・トスバッティング:送捕球と打撃					送捕球と打撃の基本についてテキストや参考書等で予習する。		
4	基本練習2	キャッチボール・ロングティーバッティング:中距離打撃と送捕球					打撃と送捕球について映像等で予習する。		
5	基本練習3	ロングティーバッティングと守備:打撃と捕球					ソフトボールの打撃と守備についてテキストや参考書等で予習する。		
6	応用練習1、確認ゲーム	シートバッティングとミニゲーム:打撃と守備					ソフトボールの打撃、守備についてテキストや参考書等で予習する。		
7	応用練習2、確認ゲーム	シートバッティングとミニゲーム:打撃と守備					ソフトボールの打撃、守備についてテキストや参考書等で予習する。		
8	応用練習3、確認ゲーム	シートバッティングとミニゲーム:バント、内外野の連携練習					ソフトボールのバント、守備の連携についてテキストや参考書等で予習する。		
9	実践(ゲーム)形式(1)	チーム対抗でのゲームを通して楽しくチームワークを身につける(1)					ソフトボールの試合組み合わせ形式についてテキストや参考書等で予習する。		
10	実践(ゲーム)形式(2)	チーム対抗でのゲームを通して楽しくチームワークを身につける(2)					ソフトボールのリーグ戦形式についてテキストや参考書等で予習する。		
11	実践(ゲーム)形式(3)	チーム対抗でのゲームを通して楽しくチームワークを身につける(3)					ソフトボールのリーグ戦試合組み合わせ形式についてテキストや参考書等で予習する。		
12	実践(ゲーム)形式(4)	チーム対抗でのゲームを通して楽しくチームワークを身につける(4)					ソフトボールのリーグ戦試合組み合わせ形式についてテキストや参考書等で予習する。		
13	実践(ゲーム)形式(5)	チーム対抗でのゲームを通して楽しくチームワークを身につける(5)					ソフトボールのリーグ戦試合組み合わせ形式についてテキストや参考書等で予習する。		
14	実践(ゲーム)形式(6)	チーム対抗でのゲームを通して楽しくチームワークを身につける(6)					ソフトボールのリーグ戦試合組み合わせ形式についてテキストや参考書等で予習する。		
15	プレー評価、まとめ	自己プレー評価、他者プレー評価、まとめ					前回までの自分のプレー、他者のプレーについて振り返る。		
テキスト					成績評価の方法・基準				
「いちばんわかりやすいソフトボール入門:ワイド版」宇津木妙子著(大泉書店)(別途、指示します。)					受講態度:90% レポート:10% 取り組む姿勢、積極性を評価します。				
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)				
「わかりやすいソフトボールのルール」吉村正著(成美堂出版)					安全管理上、体調が急変した場合は教員へ速やかに伝えること。活動し易い服装、帽子やタオル、飲料などを持参すること。遅刻者はウォーミングアップ不十分で怪我防止のため授業参加を認めない場合もある				

科目名	生涯スポーツ（個人的スポーツ）Aクラス	学年学期	1年後期	単位数	1	ナバリング	UL13108	研究室	S-16	
担当者	伊藤 真之助	必修選択	選択	科目種別	講義	オイスア-				
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(公民)			履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
<p>本授業では、テニスとフィットネスを通じてスポーツの持つ魅力を経験しスポーツを楽しむ能力を育むことを目的とします。スポーツは継続することが重要であるといわれていますが、継続するには「楽しさ」を体験することが重要であると考えられます。授業内で、ラケット球技であるテニスを体験し、そこで知り得た自分自身の身体的な特徴を改善・向上するためにフィットネスを実施し、スポーツによる自身の変化を楽しむ事を学んでいきます。</p>										
学修到達目標										
<p>(1)テニスにおける基本的技術を習得し、ゲームにおいて実践できること (2)自身の身体的特徴をゲームの中で探求すること (3)フィットネスにおいて改善・向上を実感できること</p>										
授業の進め方										
前半は、テニスにおける基礎的な技術を習得し、ゲーム形式で実施します。後半はテニスを通じて知り得た身体的な特徴をフィットネスにて改善・向上するための方法を学んでいきます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	オリエンテーション	授業の進め方、内容、評価方法、留意点について解説します。					事前にシラバスを読む。事後には、テニスのルールを確認する(1時間)。			
2	基本的技術の習得(1)	ウォーミングアップのためのテニスコート内での動きをレクリエーションを交えて楽しみます。ラケットにてボールを打ってみます。					授業前後に、ケガの予防の為にストレッチを実施すること(1時間)。			
3	基本的技術の習得(2)	障害予防のためのストレッチを実施後、コート内でラリー、サーブ練習を行います。					授業前後に、ケガの予防の為にストレッチを実施すること(1時間)。			
4	基本的技術の習得(3)	障害予防のためのストレッチを実施後、前回に引き続き、コート内でラリー、サーブ練習を行います(各自の苦手な部分の練習)。					授業前後に、ケガの予防の為にストレッチを実施すること(1時間)。			
5	テニスのゲーム形式	テニスのルールの再確認をし、シングルスゲームを実施します。					授業前後に、ケガの予防の為にストレッチを実施すること(1時間)。			
6	テニスのゲーム形式	テニスにおける審判の役割、ボール運びなどのゲーム遂行に必要な役割の確認をし、シングルスゲームを実施します。					授業前後に、ケガの予防の為にストレッチを実施すること(1時間)。			
7	テニスのゲーム形式	テニスのサーブ、ボレー、スマッシュの練習を実施し、ダブルスゲームを実施することを通じて、ダブルスゲームのルールやシングルスゲームとの違いを学習します。					授業前後に、ケガの予防の為にストレッチを実施すること(1時間)。			
8	テニスのゲーム形式	テニスのサーブ、ボレー、スマッシュの練習を実施し、前回の授業内で実施したダブルスゲームでの反省点を活かし、パートナーとの連携を深め、再度ダブルスゲームを実施します。					これまでの授業内で気づいた自分の身体的特徴について小レポートにまとめる(1時間)。			
9	身体評価(1)	肩甲骨、骨盤、立位姿勢の評価を実施し、テニス実践時に感じた身体的な特徴と比較してみます。					授業前後にケガの予防の為にストレッチを実施すること(1時間)。			
10	身体評価(2)	GJLを用いて、全身の関節弛緩性を評価します。					授業前後にケガの予防の為にストレッチを実施すること(1時間)。			
11	身体評価(3)	動的アライメント(肩関節、胸郭、腰部、骨盤帯)を評価します。					授業前後にケガの予防の為にストレッチを実施すること(1時間)。			
12	身体評価(4)	動的アライメント(股関節、膝関節、足関節)を評価します。					授業前後にケガの予防の為にストレッチを実施すること(1時間)。			
13	エクササイズ(1)	身体評価結果をもとにエクササイズを実施します。					授業前後にケガの予防の為にストレッチを実施すること(1時間)。			
14	エクササイズ(2)	エクササイズの方法を再確認し、テニスの動作と比較します。					授業前後にケガの予防の為にストレッチを実施すること(1時間)。			
15	エクササイズ(3)	テニス継続の為に最適なエクササイズをまとめます。					本授業におけるレポートを作成し提出してもらいます。			
テキスト		成績評価の方法・基準								
必要に応じて資料を配布します。		出席レポート:60% 実技:20% レポート:20% S:現在の改善すべき課題に積極的に取り組み、習得した基本的技術を持って楽しく参加できる。A:現在の改善すべき課題に比較的積極的に取り組み、習得した基本的技術を持って楽しく参加できる。B:習得した基本的技術を持って楽しく参加できる。C:習得した基本的技術を実践できる。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
特に指定しません。		スポーツウェア(上下)とスポーツシューズを着用してください。								

科目名	生涯スポーツ（個人的スポーツ）Bクラス	学年学期	1年後期	単位数	1	ナバリング	UL13108	研究室	S-18
担当者	新井 喜代加	必修選択	選択	科目種別	講義	アイスア-	火曜日5限		
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(公民)	履修条件							
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
		A	B	C					
授業概要									
本授業では、バドミントンを通じてスポーツに親しむ資質を身につけることを目的とします。スポーツに親しむには、なによりスポーツの楽しさを体験することが重要であると考えられます。本授業では、ペア・チームごとに「楽しい」という気持ち、感覚、雰囲気、表情等について考え、「楽しいバドミントン」を探究します									
学修到達目標									
(1)バドミントンの基本的技術を習得し、ゲームに活かすことができる (2)ペア・チームで協力して、ゲームを展開することができる (3)楽しくゲームを進行するために工夫することができる									
授業の進め方									
基本的に本授業は、ペア・チーム単位(グループワーク)で「課題の設定 課題解決のための練習方法の決定と実施 ミニゲームの実施 ミニゲームの振り返り 課題の見直しと再設定」というサイクルで進めていきます。									
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容				事前事後学修			
1	オリエンテーション	授業内容、評価方法、留意事項等について解説し、チーム分けをします				事前：シラバスを読む/事後：バドミントンのルールを確認する(1時間)			
2	攻守の基本的技術の習得1	グループごとにストロークの技術の習得方法を考え、それを実践します				事前：ストロークについて調べる/事後：ストロークをする際の注意点を復習する(1時間)			
3	攻守の基本的技術の習得2	グループごとにサービスの技術の習得方法を考え、それを実践します				事前：サービスについて調べる/事後：サービスをする際の注意点を復習する(1時間)			
4	攻守の基本的技術の習得3	グループごとにショット(スマッシュ)の技術の習得方法を考え、それを実践します				事前：スマッシュについて調べる/事後：スマッシュをする際の注意点を復習する(1時間)			
5	攻守の基本的技術の習得4	グループごとにショット(クリアー)の技術の習得方法を考え、それを実践します				事前：クリアーについて調べる/事後：クリアーをする際の注意点を復習する(1時間)			
6	攻守の基本的技術の習得5	グループごとにショット(ドロップ)の技術の習得方法を考え、それを実践します				ドロップについて調べる/事後：ドロップをする際の注意点を復習する(1時間)			
7	基本てきなルールの理解と審判技術の習得	ルールと審判技術の基本を確認し、簡易ゲームで実践します				事前：ルールと審判について調べる/事後：審判をする際の注意点を復習する(1時間)			
8	リーグ戦1-1	これまでの授業で習得した基本的技術および審判技術を発揮する場としてシングルスやダブルスを組み合わせたチーム対抗の試合を実施します				事前：チームごとにアピールポイントを考える/事後：チームごとにゲーム分析をする(1時間)			
9	リーグ戦1-2	これまでの授業で習得した基本的技術および審判技術を発揮する場としてシングルスやダブルスを組み合わせたチーム対抗の試合を実施します				事前：チームごとにアピールポイントを考える/事後：チームごとにゲーム分析をする(1時間)			
10	リーグ戦1-3	これまでの授業で習得した基本的技術及び審判技術を発揮する場としてシングルスやダブルスを組み合わせたチーム対抗の試合を実施します				事前：チームごとにアピールポイントを考える/事後：チームごとにゲーム分析をする(1時間)			
11	基本的な技術と戦術の確認	チームごとにリーグ戦1を振り返り、基本的な技術と戦術をミニゲームを通して再確認します				事前：チームごとに課題を整理する/事後：チーム戦術を再確認する(1時間)			
12	リーグ戦2-1	これまでの授業で習得した基本的技術及び審判技術とリーグ戦1から得た知見を発揮する場としてシングルスやダブルスを組み合わせたチーム対抗の試合を実施します				事前：チームごとアピールポイントを考える/事後：チームごとにゲーム分析をする			
13	リーグ戦2-2	これまでの授業で習得した基本的技術及び審判技術とリーグ戦1から得た知見を発揮する場としてシングルスやダブルスを組み合わせたチーム対抗の試合を実施します				事前：チームごとアピールポイントを考える/事後：チームごとにゲーム分析をする			
14	リーグ戦2-3	これまでの授業で習得した基本的技術及び審判技術とリーグ戦1から得た知見を発揮する場としてシングルスやダブルスを組み合わせたチーム対抗の試合を実施します				事前：チームごとアピールポイントを考える/事後：チームごとにゲーム分析をする			
15	レクリエーション	討議により設定した特別ルールのもと試合を実施します				事前：楽しくゲームができる特別ルールを考える/事後：本授業のレポートを作成する			
テキスト		成績評価の方法・基準							
特に指定せず、必要に応じて資料を配布します。		出席レポート：60% 実技：20% レポート：10% 受講態度：10% 評価基準は次の通りです。S:批判的思考に基づく探究姿勢をもって積極的に課題に取り組み、習得した基本的技術を用いて、チームメイトと楽しくゲームを展開することができる/A:探究姿勢をもって積極的に課題に取り組み、習得した基本的技術を用いて、チームメイトとゲームを展開することができる/B:与えられた課題に誠実に取り組み、習得した基本的技術をゲームに活かすことができる/C:与えられた課題に誠実に取り組み、習得した基本的技術を実践することができる							
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)							
特に指定しません。		履修者数を抽選により調整する場合があります、36名程度の予定です。							

科目名	生涯スポーツ（個人的スポーツ）Cクラス	学年学期	1年後期	単位数	1	ナバリング	UL13108	研究室	非常勤
担当者	寺平 美樹	必修選択	選択	科目種別	講義	オイスア-			
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(公民)			履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C					
授業概要									
本講義はバドミントンとボクササイズという全く違うスポーツを体験することで、個の運動習慣を生産的に継続できるようにすることを目的とします。									
学修到達目標									
生涯スポーツに結び付けられるよう、仲間と楽しむ。									
授業の進め方									
前半はバドミントン、後半は音楽に合わせてボクササイズを行います。(講義内容は変更する場合があります)									
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容				事前事後学修			
1	オリエンテーション ウォーミングアップの重要性	授業時の注意点、講義への向き合い方、進め方の説明。 正しいストレッチの方法を修得します。レクリエーションも行います。				基礎体力がつく運動にはどのようなものがあるか考えてみる。 (1時間)			
2	体づくりレクリエーション バドミントン基礎	ウォーミングアップを兼ね、レクリエーションを楽しみ体づくり。 バドミントンのラリー、サーブ練習。				授業で整理運動が不足するので、家でケアをすること(1時間)			
3	ストレッチ バドミントン	障害予防とパフォーマンス向上のため、全身のストレッチを行います。 バドミントンのラリー、スマッシュ練習、シングルスゲーム。				授業で整理運動が不足するので、家でケアをすること(1時間)			
4	ストレッチ バドミントン	バドミントンのラリー、スマッシュ、ヘアピン練習、シングルスゲーム。				授業で整理運動が不足するので、家でケアをすること(1時間)			
5	ストレッチ バドミントン	バドミントンのルールを再確認。 シングルスゲーム。				授業で整理運動が不足するので、家でケアをすること(1時間)			
6	ストレッチ バドミントン	バドミントンの審判などゲーム運営の確認。 シングルスゲーム。				授業で整理運動が不足するので、家でケアをすること(1時間)			
7	ストレッチ バドミントン	バドミントンのラリー、スマッシュ、ヘアピンの練習。 ダブルスゲーム。				授業で整理運動が不足するので、家でケアをすること(1時間)			
8	ストレッチ バドミントン	バドミントンのラリー、スマッシュ、ヘアピン練習。 ダブルスゲーム。				授業で整理運動が不足するので、家でケアをすること(1時間)			
9	ストレッチ 格闘技系エクササイズ	障害の予防と、パフォーマンス向上のため全身のストレッチを行います。 ジャブ、ストレート動作を音楽に合わせて動きます。				授業で整理運動が不足するので、家でケアをすること(1時間)			
10	ストレッチ 格闘技系エクササイズ	障害予防とパフォーマンス向上のため、全身のストレッチを行います。 ジャブ、ストレート動作にフックを加えて動いてみます。				授業で整理運動が不足するので、家でケアをすること(1時間)			
11	ストレッチ 格闘技系エクササイズ	障害予防とパフォーマンス向上のため、全身のストレッチを行います。 ジャブ、ストレート、フック動作にアッパーを加えて動きます。				授業で整理運動が不足するので、家でケアをすること(1時間)			
12	ストレッチ 格闘技系エクササイズ	障害予防とパフォーマンス向上のため、全身のストレッチを行います。 上肢の動きに加え、前蹴りの動作を行います。				授業で整理運動が不足するので、家でケアをすること(1時間)			
13	ストレッチ 格闘技系エクササイズ	障害予防とパフォーマンス向上のため、全身のストレッチを行います。 相手を想定した構成で動いてみます。				授業で整理運動が不足するので、家でケアをすること(1時間)			
14	ストレッチ 格闘技系エクササイズ	障害予防とパフォーマンス向上のため、全身のストレッチを行います。 単純な動きから複雑な動きにチャレンジしてみます。				授業で整理運動が不足するので、家でケアをすること(1時間)			
15	ストレッチ 格闘技系エクササイズ	障害予防とパフォーマンス向上のため、全身のストレッチを行います。 複雑な動きをよりバワフルに動いてみます。				授業で整理運動が不足するので、家でケアをすること(1時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準							
「なし」		S:遅刻、早退、欠席がなく、私語を慎み、前向きに授業が受けられる。 A:遅刻、早退がない。欠席は1回程度。前向きに授業が受けられる。 B:遅刻、早退、欠席が2回程度。前向きに授業が受けられる。 C:遅刻、早退、欠席が3回程度。前向きに授業が受けられる。							
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「なし」		スポーツウェア(上・下)、スポーツシューズは必ず着用してください。 大学の備品はていねいに扱うようにしてください。							

科目名	日本国憲法（総合経営学部）		学年学期	1年前期	単位数	2	ナパ'リング	UL13201	研究室	W-04	
担当者	眞次 宏典		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日2限			
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(公民)				履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）						
		A	B	C							
授業概要											
日本国憲法の基本的な枠組、背景、その意義などを理解するために、近代憲法の基本原理（基本的人権の保障と権力分立制）、日本における二つの憲法（明治憲法と日本国憲法）の異同、日本国憲法の基本原理（国民主権、基本的人権の尊重、平和主義）などを明かにした上で、具体的な政府の仕組みと人権保障のあり方についての基本論点を検討しながら理解を深めて行くことにします。											
学修到達目標											
日本国憲法を近代立憲主義の歴史の中に位置づけた上で、日本における憲法学説・判例を手がかりにしながら、日本国憲法の人権および統治機構（政府の仕組み）の基本的なあり方を理解する。											
授業の進め方											
講義は、六法（毎時間必携）で条文（憲法、関連諸法令）を参照しながら進めていきます。なお、ほぼ毎時間、講義テーマまたは人権、憲法に関連した新聞・雑誌などの記事を配布し、解説を加えることにします。											
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	近代憲法の成立と構成	ガイダンス、憲法の諸概念					講義内容の復習（4時間）テキストUnit1を読む				
2	統治総論と国民主権	二つの憲法の比較、日本国憲法制定過程、基本原理					テキストUnit2を読む（4時間）				
3	国民主権と天皇	日本国憲法の成立過程とその評価					テキストUnit3,4を読む（4時間）				
4	選挙制度と選挙権	選挙制度、選挙権、法の下での平等					テキストUnit5を読む（4時間）				
5	国会1	議院と議員					テキストUnit6を読む（4時間）				
6	国会2	活動と地位					テキストUnit7を読む（4時間）				
7	内閣	内閣、首相、国務大臣					テキストUnit8を読む（4時間）				
8	司法権と裁判所	司法権、裁判所の組織					テキストUnit9を読む（4時間）				
9	違憲審査制	違憲審査制と重要判例					テキストUnit10を読む（4時間）				
10	基本的人権1	人権保障のしくみ、幸福追求権					テキストUnit13を読む（4時間）				
11	基本的人権2	法の下での平等					テキストUnit27を読む（4時間）				
12	思想・良心の自由と信教の自由	思想・良心の自由、信教の自由、政教関係					テキストUnit14を読む（4時間）				
13	表現の自由	表現の自由、知る権利					テキストUnit17を読む（4時間）				
14	経済的自由	財産権、職業選択の自由					テキストUnit21,22を読む（4時間）				
15	社会権	生存権、教育を受ける権利					テキストUnit24を読む。半期講義の復習（4時間）				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「一歩先への憲法入門」片桐直人・井上武史・大林啓吾著（有斐閣） ISBN:978-4641131965（生協で購入してください。） 「ポケット六法 令和2年度版」（有斐閣） ISBN:ISBN 978-4-641-00920-2（生協で購入してください。）					定期試験：90% 受講態度：10% S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。 B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書					履修上の注意（学生へのメッセージ）						
なし					講義の中では、授業の受け方、ノートの取り方、六法の使い方など大学で学ぶために必要な技術についても教えます。学生諸君は、講義内容そのものだけでなく、学ぶための技術についても学ぶよう心がけてください。						

科目名	地域課題研究Aクラス		学年学期	1年通年	単位数	2	ナパリング	UL13202	研究室	W-34
担当者	白戸 洋		必修選択	選択	科目種別	演習	オフィスアワー	前期：金曜日3限 後期：金曜日3限		
関連資格					履修条件	(集中講義となります)				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
<p>学生が地域の直面する課題について、その現状を学ぶとともに、実験的なまちづくりの実践活動を通じて具体的に課題解決を図るうえで重要なことを理解し、履修者同士で議論を行い、今後の地域における取り組みのきっかけづくりを目的とします。</p>										
学修到達目標										
<p>地域課題について理解をするとともに、実験的な実践活動の成果を分析・評価し、その成果を踏まえて具体的な解決にむけたアクションを自ら計画し実施する技術及び能力を身に付ける 活動を通じコミュニケーション能力や課題解決能力、社会的課題に対する関心、地域に向き合う意識などを身に付ける グループで議論を行いまちづくりに関すな視点や価値観の中で自らの視野を広げていく</p>										
授業の進め方										
<p>地域についての講義、実態把握のための調査、その解決を図るための実験的な実践活動、成果に関するディスカッションによって構成されます。テーマとなる地域課題については履修学生が決定した後、それぞれの問題意識を踏まえて教員と相談して設定を行います。</p>										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	オリエンテーション	講義の内容及び進め方を説明し履修者シートの作成し、各自の問題意識を共有します。				小レポートを含む事後学習を1時間行う。				
2	地域課題に関する講義	まちづくりをめぐる地域課題について講義します。				小レポートを含む事後学習を1時間行う。				
3	地域課題に関する講義	まちづくりと高齢者の問題(買い物弱者問題など)について講義します。				高齢者の問題について小レポートを含む事後学習を1時間行う。				
4	地域課題に関する講義	まちづくりと子育て・子どもをめぐる問題について講義します。				子育て・子どもをめぐる問題について小レポートを含む事後学習を1時間行う。				
5	地域課題に関する講義	居場所とまちづくりについて講義します。				居場所とまちづくりについて小レポートを含む事後学習を1時間行う。				
6	地域課題に関する講義	その他のまちづくりに関わる地域課題について講義します。				まちづくりに関わる地域課題について小レポートを含む事後学習を1時間行う。				
7	地域課題の把握	地域での実態の把握(現地踏査)を行います。				現地踏査について小レポートを含む事後学習を1時間行う。				
8	地域課題の把握	地域での実態の把握(現地踏査)を行います。				地域での実態の把握について復習				
9	地域課題の把握	地域における課題を整理し、地域課題を把握します。				地域課題に関する小レポートを含む事後学習を1時間行う。				
10	地域課題解決事業の実施準備	地域課題について討論し実験的事業のイメージを考えます。				実験的事業のイメージについて小レポートを含む事後学習を1時間行う。				
11	地域課題解決事業の実施準備	地域において実施する実験的な事業について検討を行います。				実験的な事業について検討し小レポートを含む事後学習を1時間行う。				
12	地域課題解決事業の実施準備	地域において事業を実験的な事業について準備を行い、地域において実験的な事業を実施します。				事業の報告の小レポートを含む事後学習を1時間行う。				
13	地域課題解決事業の実施準備	地域において事業を実験的な事業について準備を行います。				事業の概要について小レポートを含む事後学習を1時間行う。				
14	地域課題解決事業の実施	地域において実験的な事業を実施します。				事業実施の経過 について小レポートを含む事後学習を1時間行う。				
15	地域課題解決事業の実施	地域において実験的な事業を実施します。				事業実施の経過 について小レポートを含む事後学習を1時間行う。				
16	地域課題解決事業の実施	地域において実験的な事業を実施します。				事業実施の経過 について小レポートを含む事後学習を1時間行う。				
17	地域課題解決事業の実施	地域において実験的な事業を実施します。				事業実施の経過 について小レポートを含む事後学習を1時間行う。				
18	地域課題解決事業の実施	地域において実験的な事業を実施します。				小レポートを含む事後学習を1時間行う。				

授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。			
回	テーマ	内容	事前事後学修
19	事業の中間評価	実験的な事業についてその成果等について振り返りを行います。	事業の中間評価 について小レポートを含む事後学習を1時間行う。
20	事業の中間評価	事業について地域住民にインタビューし成果と課題を把握します。	事業の中間評価 について小レポートを含む事後学習を1時間行う。
21	事業の中間評価	実験的な事業についてディスカッションを通じて評価し今後の計画を策定します。	事業の中間評価 について小レポートを含む事後学習を1時間行う。
22	地域課題解決事業の実施	事業の内容を見直し今後の取り組みについて検討を行い計画を策定します。	事業の内容を見直しについて小レポートを含む事後学習を1時間行う。
23	地域課題解決事業の実施	地域において実験的な事業を実施します。	実験的な事業 について小レポートを含む事後学習を1時間行う。
24	地域課題解決事業の実施	地域において実験的な事業を実施します。	実験的な事業 について小レポートを含む事後学習を1時間行う。
25	地域課題解決事業の実施	地域において実験的な事業を実施します。	実験的な事業 について小レポートを含む事後学習を1時間行う。
26	地域課題解決事業の実施	地域において実験的な事業を実施します。	実験的な事業 について小レポートを含む事後学習を1時間行う。
27	事業の成果分析	対象地区等での成果と課題の把握（ヒアリング調査等）を行います。	ヒアリング調査等について小レポートを含む事後学習を1時間行う。
28	事業の成果分析	対象地域における事業の効果の検証を行い今後の取り組みを検討します。	小対象地域における事業の効果の検証を行い今後の取り組みについて事後学習を1時間行う。
29	講義全体の振り返り	ディスカッションを通じて講義での全体の成果と課題を検討します。	全体の成果と課題について小レポートを含む事後学習を1時間行う。
30	まとめ	個人別学修達成目標の評価を行います。	個人別学修達成目標の評価について小レポートを含む事後学習を1時間行う。
テキスト		成績評価の方法・基準	
「買い物難民を救え!移動スーパーとくし丸の挑戦」村上 稔著（緑風出版） ISBN:978-4-8461-1411-4（生協で購入してください。）		レポート：60% 課題：40% S:講義の成果を活かして持続的に課題解決のために具体的な活動を行うことができる A:実践活動を通じて地域課題を把握し有効な解決策を提言し解決を試みた B:実践活動を通じて地域課題を把握し有効な解決策を提言 C:実践活動を通じて地域課題を把握し概ね具体的な解決策を提言	
参考書		履修上の注意（学生へのメッセージ）	
そのつど資料配布します。		PBL（問題解決）型の授業として、みなさんの身近な社会問題に対して実践的にアプローチし、解決方法を学びます。積極的に参加してください。	

科目名	地域課題研究Bクラス			学年学期	1年通年	単位数	2	ナパリング	UL13202	研究室	C-5
担当者	廣田 直子			必修選択	選択	科目種別	演習	オフィスア-	前期：水曜日3限 後期：水曜日3限		
関連資格						履修条件	(集中講義となります)				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
この授業では地域全体を学びの場とし、フィールド活動により地域課題を見出し、その解決に向けて皆でディスカッションし、提案という形にまとめます。Bクラスでは人の一生を「健康」の視点で概観し、まずは、乳幼児期、学童・青年期、壮年期、高齢期といったライフステージごとの特徴をとらえます。その上で、地域活動に参画して生活者である地域の人々が直面する健康課題を発見し、グループ討議を経て解決に向けて考え合い、提案をまとめます。											
学修到達目標											
フィールド活動において学習課題に応じて対象者を観察する力、課題について自らの考えをまとめ、積極的にディスカッションする力の修得をめざします。健康を栄養と運動、社会生活の視点からとらえ、近隣社会の現状を踏まえて地域が抱える健康問題・課題への認識を深めて自分たちの提案をまとめることを具体的到達目標とします。											
授業の進め方											
前半はオムニバス形式で、講義を中心に進めます。後半は、周辺地域で行なわれている「健康」への取り組みを、実習体験を通じて学び、グループで地域課題に向けた解決法を探り、提案をまとめます。(履修者数を制限することがあります。)											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	オリエンテーション	授業の進め方と、後半に行う実習参加について実習先や実習内容の説明をします。決定している範囲で参加実習の情報を提示します。					各自で、予定されている実習に参加するための日程を調整し、参加意欲を高める。(1時間)				
2	社会生活と健康	4~5人のグループをつくり、自己紹介に加え、自身の健康観について自由に語ることで互いの考えを知り、その後「社会生活と健康」を考える次回以降の講義の意味について学びます。					健康観について、自身の健康に対する受け止め方や考え方をまとめて記述する。(1時間)				
3	ライフステージと健康 (1) 乳幼児期	乳幼児期の発育発達の大枠を捉え、生涯にわたって健康な生活を送るための基盤となる育ちの環境について、栄養・運動の両面から学びます。					身近に暮らす乳幼児に関心を寄せ、乳幼児期に重要な育ちの環境についてまとめる。(2時間)				
4	ライフステージと健康 (2) 学童・青年期	長野県内の児童の生活習慣の実態について学びます。生活習慣が子どもの発育発達に及ぼす影響について県内の実態からとらえ、改善に向けた栄養と運動両面からの支援の可能性を探ります。					学童期の生活時間、生活習慣の実態を知り、問題の所在について考えレポートを作成する。(2時間)				
5	ライフステージと健康 (3) 壮年期	体力をはじめ諸機能の衰えを感じ始めるのが壮年期です。健康上の様々な問題を感じるようになるこの年代は、健康への関心が高まる時期でもあります。栄養・運動の両面からの指導や支援の表情を学びます。					身近な大人との会話から、働き盛り世代の健康への意識・関心を聞き取りまとめてみる。(2時間)				
6	ライフステージと健康 (4) 高齢期	元気な高齢者、支援が必要な高齢者など、「高齢期」とひとくくりにしてもその幅は広く、人生における喜・哀のイベントが健康に影響を及ぼす年代でもあります。様々な観点から健康維持について学びます。					高齢期に生じる体の生理的衰えを知り、健康であることの価値について考え、まとめる。(2時間)				
7	地域課題 (健康と栄養)	これまでの学習で得た知識を基に、地域に目を向けます。実際に行われている栄養指導の場面やその内容、また対象に関する地域の実情を知り、アウトキャンパスでの学習目標に向けて考えます。					これまでの学習内容を振り返り、生活実態に合った「食」のあり方を考え、まとめる。(2時間)				
8	地域課題 (健康と運動)	これまでの学習で得た知識を基に、地域に目を向けます。実際に行われている運動指導の場面やその内容、また対象に関する地域の実情を知り、アウトキャンパスでの学習目標に向けて考えます。					これまでの学習内容を振り返り、生活実態に合った「運動」の必要性を考え、まとめる。(2時間)				
9	松本市の健康づくりの取り組み	健康寿命延伸都市松本の制度や健康づくりに関する様々な取り組みについて知り、若者(学生)の視点からの行政への要望・提案についてディスカッションし、その中から自分たちで対応可能な課題を発見します。					市の活動内容をまとめ、行政が取り組みにくい課題に関するレポート執筆の準備をする。(3時間)				
10	市民運動としての健康づくりの取り組み	NPOや地域の自主運営による健康の取り組みについての実態を学びます。実際の事業例を参考に、健康に関する地域課題について考えます。					前回に続き、地域の健康課題を、実際の事例からとらえてレポートを作成させる。(3時間)				
11	情報収集の方法	これまでに学習した健康に関する様々な情報を、さらに幅広く収集するための方法とその活用方法について学びます。その際、今後の活動で必要とされるルール、マナーについても学修します。					以後の報告や発表資料に役立てるための健康情報、地域情報などの情報を収集する。(3時間)				
12	プレゼンテーションの方法	本講義後半では、グループで「地域における健康課題(仮)」を発表するので、収集した資料や実習での体験をまとめる際に必要となるプレゼンテーションの方法として、パワーポイントの作成技法を学びます。					パソコンの操作に慣れ、パワーポイントを活用し、プレゼンファイル作成の練習をする。(3時間)				
13	地域課題を探る	3~4人のグループになり、健康観について話し合いを持ちます。初回講義でそれぞれが感じていた健康観を振り返り、あらためて地域の健康課題について考え、ディスカッションを通してメンバーと共有します。					グループで共有した問題について地方紙などから情報を収集し、次回講義時に持ち寄ります。(2時間)				
14	地域課題を提起1	前回授業に続き、KJ法やブレインストーミングなどで情報を出しあい、グループワークを通してグループの関心事をまとめて発表します。グループで収集した地域課題について問題の所在を探ります。					グループで決めたテーマを咀嚼し、実習の際のモチベーションの向上を図る。(1時間)				
15	地域課題を提起2	グループで決めた地域課題(テーマ)を再確認します。何が問題で、どうしていくことが求められるのか、自分たちにはできることは何かなど具体化させ、グループワークを通してグループの意思決定を図ります。					後期に行う実習を意味あるものにするため、積極的に必要な準備を整える。(3時間)				
16	オリエンテーション(後期)	グループワークにより進めます。前半の学習やグループの課題・目標を再確認します。今後実施する実習参加について説明を受け、実習記録ノートを配布します。					実習記録ノートを確認し、実習参加の準備と心構えを確固としたものにする。(1時間)				
17	実習事前指導	実習の事前指導を受けます。実習に臨む姿勢、記録の取り方、事後報告について理解するとともに、実習先や対象者によって参加時の配慮や参加姿勢が異なることを理解します。					実習先について事前に情報収集し(1時間)、実習ごとの目標を定めて臨みます。(1時間)				
18	実習(栄養指導場面1)	アウトキャンパスでの見学体験や、実際に地域で実施されている活動に参加します。対象者について理解し、事業目的と評価について学んで、グループでの討議やまとめに生かします。					実習記録ノートをまとめる。(3時間)				

授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。			
回	テーマ	内容	事前事後学修
19	実習（栄養指導場面1-2）	アウトキャンパスでの見学体験や、実際に地域で実施されている活動に参加します。対象者について理解し、事業目的と評価について学んで、グループでの討議やまとめに生かします。	実習記録ノートをまとめる。（3時間）
20	実習（栄養指導場面1-3）	アウトキャンパスでの見学体験や、実際に地域で実施されている活動に参加します。対象者について理解し、事業目的と評価について学んで、グループでの討議やまとめに生かします。	実習記録ノートをまとめる。（3時間）
21	実習を振り返る（栄養）	グループ毎、体験から得た学びを共有します。互いの実習記録を振り返り、それぞれの場面での気づきを話題提供し、地域社会に求められている健康づくりの課題を探ります。	実習での振り返りや気づきを次回実習に活かすために、自身の課題目標を明確にする。（1時間）
22	実習（運動指導場面1）	アウトキャンパスでの見学体験や、実際に地域で実施されている活動に参加します。対象者について理解し、事業目的と評価について学んで、グループでの討議やまとめに生かします。	実習記録ノートをまとめる。（3時間）
23	実習（運動指導場面1-2）	アウトキャンパスでの見学体験や、実際に地域で実施されている活動に参加します。対象者について理解し、事業目的と評価について学んで、グループでの討議やまとめに生かします。	実習記録ノートをまとめる。（3時間）
24	実習（運動指導場面1-3）	アウトキャンパスでの見学体験や、実際に地域で実施されている活動に参加します。対象者について理解し、事業目的と評価について学んで、グループでの討議やまとめに生かします。	実習での振り返りや気づきを報告会に活かすため、自分の考えや意見をまとめる。（2時間）
25	実習を振り返る	前期講義で得た学びや地域活動での実習体験をふまえ、グループで話し合い、報告会での発表を前提にした討議をします。地域社会に求められている健康づくりの課題と解決方法を探ります。	自分の考えや意見を、体験と理論の両面から語れるように準備を進める。（2時間）
26	報告会の準備	グループワークにより、お互いの実習記録を振り返り、各場面での気づきとして話題提供し、地域社会に求められる健康づくりの課題とその解決方法に向けた提案をまとめ、報告会での発表資料を作成します。	発表の準備・練習（2時間）、自分の考えや意見を体験と理論の両面から語れるようにする。
27	実習報告会（1）	互いの報告・発表を聞き、自分の実習体験と重ね、他のグループの発表に対して質問や感想を述べるなど、関心を持って聞き、互いに学び合います。	「健康問題」を、個人の問題としてではなく、地域が抱える課題として再考する。（2時間）
28	実習報告会（2）	互いの報告・発表を聞き、自分の実習体験と重ね、他のグループの発表に対して質問や感想を述べるなど、関心を持って聞き、互いに学び合います。	「健康問題」を、個人の問題としてではなく、地域が抱える課題として再考する。（2時間）
29	実習報告会のまとめ	報告会での発表を受けて、地域課題解決に向けた方途についてグループディスカッションをします。	ディスカッションを踏まえて地域課題解決のための方途についてまとめる。（3時間）
30	地域課題 まとめ	一人ひとりが本講義の学びをまとめ、それをお互いに聴取し合い多様な考えがあることを知ります。それを通して個々の学生が大学生活及び将来の健康課題について、地域という視点で考え続ける姿勢を培います。	記録ノートや発表から、地域社会における健康課題解決の方途に関するレポートを作成する。（3時間）
テキスト		成績評価の方法・基準	
(別途、指示します。) 配布資料(プリント)で進めます。		出席レポート：50% 課題：50% S:積極的な地域活動参加を通し、多角的な観察による気づきや提案を的確に文章表現できる。集団討議ではリーダーシップを発揮できる。A:積極的な地域活動での観察から、気づきや提案を文章表現できる。集団討議での確かな意見を述べる事ができる。B:地域活動での観察による気づきを文章表現できる。集団討議で自分の意見を述べる事ができる。C:地域活動に参加して学修した内容を文章表現できる。グループワークで自分の意見を述べる事ができる。	
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)	
配布資料で進めます。		学生だから体験できる地域社会との交流を通じ、誰もが大切にしたい「健康」への認識を深め、自身の健康についても考えください。また、地域に目を向け、学修を通して社会の健康課題と向き合い、その解決方法を考えましょう。	

科目名	地域課題研究Cクラス			学年学期	1年通年	単位数	2	ナパリング	UL13202	研究室	W-19
担当者	矢崎 久			必修選択	選択	科目種別	演習	オフィスアワー	前期：月曜日5限、火曜日3限		
関連資格						履修条件	(集中講義となります)				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
買い物難民、老老介護、孤独死など高齢化社会に共通した課題に加えて、豪雨や地震など近時増加する自然災害への対処など地域が抱える課題は少なくありません。これら諸課題から今年度は「防災」「減災」をテーマとして、地域における防災の現状と課題について学ぶとともに、具体的な活動を通じた課題解決能力の獲得を図ります。											
学修到達目標											
地域における「防災」をテーマに、課題の発見、解決目標の設定、目標達成にむけた実践計画の立案と実行、評価までの流れを学修します。											
授業の進め方											
火災、地震、豪雨などの災害や防災初動組織と地域連携のありかたについての座学、グループワーク、減災や防災と社会資源の活用、災害支援ボランティア体験、さらに自治防災組織に関わることで「防災士」としての実践力を涵養します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	地域課題とはなにか	地域社会とはなにか、地域社会の課題とは何かを学びます。					事前：配布資料(地域社会と課題)を講読する(2時間)事後：研究の概要をまとめる(2時間)				
2	地域と防災	地域社会における防災の意義、その現状と課題を学びます。					事前：配付資料(地域防災)を講読する(2時間)事後：課題を作成する(2時間)				
3	地域と防災	地域社会における防災の実情を知り、その課題を抽出します。					事前：実情を調査する(3時間)事後：課題抽出表を作成する(3時間)				
4	地域課題としての防災	抽出された地域社会における防災の課題と、その解決策を検討します。					事前：解決目標を絞り込む(2時間)事後：解決計画を検討する(2時間)				
5	地域課題としての防災	課題ごとの解決策の決定、解決策を実践するための計画を作成します。					事前：課題の整理と解決策を研究する(4時間)事後：実践計画案を作成する(2時間)				
6	防災と社会資源	地域防災に求められる資源とはなにかを調べます。					事前：求められる資源を調査する(4時間)事後：資源マップを作成する(2時間)				
7	防災と社会資源	地域災害の想定規模を知り、災害発生時に活用可能な資源を調べます。					事前：災害想定を調査する(3時間)事後：社会資源を調査する(3時間)				
8	災害と危機管理	危機管理とはなにか。何を、どのように管理すべきなのか。そのポイントを学びます。					事前：危機管理について調べる(3時間)事後：管理ポイントを整理する(2時間)				
9	災害と危機管理	災害の予防、災害の状況把握、防災と減災の対策検討、対策の実施計画を策定します。また実施計画書の実現可能性を検討します(図上訓練の準備)。					事前：訓練の手順を調査する(4時間)事後：訓練計画書を作成する(4時間)				
10	災害と危機管理	実施計画書に基づいた図上訓練を実施します。					事前：訓練手順を確認する(2時間)事後：訓練報告書を作成する(3時間)				
11	地域住民の防災意識	地域に住む人々の防災意識を知るための調査準備(アンケート作成)について学びます。					事前：アンケートの内容を検討する(4時間)事後：アンケートの作成と調査依頼をする(5時間)				
12	地域住民の防災意識	地域住民の防災意識を知るためのアンケート調査をおこないます。					事前：アンケート手順表を作成する(5時間)事後：結果の分析と集計をおこなう(5時間)				
13	地域住民の防災意識	アンケート調査の結果集計と分析をおこないます。					事前：集計と分析をおこなう(5時間)事後：報告書を作成する(5時間)				
14	地域防災組織との交流	アンケートの集計結果に基づいた地域防災組織の必要性、果たす役割、望まれる体制、防災訓練の実際について学びます(消防団の見学準備・訪問依頼)。					事前：消防団を調べる(4時間)事後：報告書を作成する(3時間)				
15	地域防災組織との交流	消防団を訪問して防災訓練の実際を学びます。					事前：見学依頼書を作成し依頼する(4時間)事後：報告書を作成する(3時間)				
16	地域防災組織との交流	消防団以外の地域防災組織、自治防災組織について学びます。					事前：防災組織を調査し報告書を作成する(4時間)事後：調査結果をまとめる(3時間)				
17	防災訓練	地域防災組織、自治防災組織による防災訓練に企画段階から参画します。					事前：訓練企画に参画する(5時間)事後：訓練計画案を作成する(3時間)				
18	防災訓練	防災訓練との協働と防災訓練に係る部門との調整について学びます。					事前：計画案を修正する(3時間)事後：計画書を作成する(3時間)				

授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。			
回	テーマ	内容	事前事後学修
19	防災訓練	防災訓練計画書に基づいた防災訓練を実施します。	事前：訓練計画を確認する（2時間）事後：報告書を作成する（3時間）
20	災害とボランティア	被災後の地域で何が求められるのかを調べます。	事前：調査をおこなう（5時間）事後：報告書を作成する（3時間）
21	災害支援とボランティア	被災地のニーズに基づいた災害支援ボランティア活動の実際を学びます（東日本大震災派遣松本大学ボランティア活動）。	事前：実践報告書を読む（2時間）事後：ボランティア活動をまとめる（3時間）
22	災害支援とボランティア	日本各地の被災地支援がどのようにおこなわれたのかを調べます。	事前：実践報告書を読む（4時間）事後：報告書を作成する（3時間）
23	災害支援とボランティア	被災地支援ボランティアを体験します（参加可能な場合）。	事前：支援を準備し活動計画書を作成する（5時間）事後：活動報告書を作成する（3時間）
24	災害と自治防災組織	防災士の果たす役割、地域防災組織との連携・協働による地域防災をありかたを調べます。	事前：地域防災組織を調査する（5時間）事後：報告書を作成する（3時間）
25	災害と自治防災組織	地域防災における防災士の果たす役割とそのあり方を研究します。	事前：防災士の役割を検討する（3時間）事後：役割をまとめる（3時間）
26	自治防災組織と防災士	自治防災組織と防災士の連携について研究します。	事前：連携を研究する（3時間）事後：防災組織案を作成する（3時間）
27	災害と地域防災組織1	災害時に機能する地域防災組織のあり方、防災訓練のあり方を研究します。	事前：地域防災組織と活動案を作成する（4時間）事後：防災訓練計画書を作成する（4時間）
28	災害と地域防災組織2	地域防災組織と協働した防災訓練（図上・実践）を実施し、その結果を分析します。	事前：訓練計画書の見直しと確認をおこなう（3時間）事後：実施報告書を作成する（3時間）
29	実践の検証	地域課題の解決にむけた一連の学び・実践を検証します。	事前：報告書を見直す（4時間）事後：研究報告書を作成する（4時間）
30	実践の検証	これまでの地域課題研究の成果をまとめます。	事前：研究報告書を作成する（4時間）事後：まとめ（5時間）
テキスト		成績評価の方法・基準	
適宜配布します。		出席レポート：30% 実技：30% 定期試験：40% 「防災士」資格の理念である自助・共助・協働の姿勢があるか、演習および訓練に求められる知識と技能を發揮しているかを総合的に判定します。 成績評価基準「S」レポート、演習と実技、定期試験のすべてが90%以上 「A」" 80%以上 「B」" 70%以上 「C」" 60%以上	
参考書		履修上の注意（学生へのメッセージ）	
適宜プリントを配布します。		履修は「防災士養成講座」を受講し認証試験に合格している者、あるいは地域防災に関心があり「防災士」の取得を目指している者に限定します。	

科目名	地域課題研究Dクラス		学年学期	1年通年	単位数	2	ナパリング	UL13202	研究室	A-02
担当者	大蔵 真由美		必修選択	選択	科目種別	演習	オフィスアワー	前期：火曜日5限、水曜日3限		
関連資格					履修条件	(集中講義となります)				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
地域社会を支える人材の育成は地域社会の存続や発展にとって大きな課題です。地域の様々なひとづくり(教育)に関わる活動に参加することを通して、地域が抱える教育課題を発見することを目的とします。さらに、現在そして将来にわたり、教育を巡る課題の解決のためにできることは何かを考えることも目的とします。										
学修到達目標										
1.地域のひとづくり(教育)の活動に参加し、コミュニケーション力を高めようとする事ができる。2.地域のひとづくり(教育)の実際を知り、その意義や役割、特徴を理解することができる。3.地域のひとづくり(教育)を巡る課題について考えることができる。4.地域のひとづくり(教育)を巡る課題の解決に向けた取り組みの方法を考え、実行に結びつけていくことができる。										
授業の進め方										
講義とフィールドワークで学んだ内容を基にして課題を発見し、グループワークでは課題解決に向けた取り組み方法について考え、それらを実行に結び付けていきます。またプレゼンテーションや報告書などを通して学んだ内容を発信することも重視していきます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス1	授業内容及び授業の進め方を説明します。				シラバスを読み、授業全体のイメージを持つ(1時間)。				
2	地域とひとづくり(1)	松本市の地域における教育活動の現状について学びます。				松本市のHPを読む(1時間)。				
3	地域とひとづくり(2)	地域教育の意義や役割、特徴について学びます。				前時の復習、関連する資料を読む(1時間)。				
4	地域とひとづくり(3)	地域教育の意義や役割、特徴について体験を通して理解を深めます。				前時の復習、体験のまとめ(1時間)。				
5	地域とひとづくり(4)	地域のひとづくりを巡る課題について考察します。				前時の復習、課題のまとめ(1時間)。				
6	地域とひとづくり(5)	地域のひとづくりに関わる環境と歴史について学びます。				関連する資料を読む、学習内容をまとめる(1時間)。				
7	地域とひとづくり(6)	地域のひとづくりに関わる環境と歴史について学んだことをまとめ、考察を深めます。				前時の復習、関連する資料を読む(1時間)。				
8	地域とひとづくり(7)	地域と学校、家庭の連携の実践例を調べます。				前時の復習、実践例をまとめる(1時間)。				
9	地域とひとづくり(8)	信州型コミュニティ・スクールの実践例を調べます。				前時の復習、実践例をまとめる(1時間)。				
10	地域とひとづくり(9)	これまでに学んだことをもとに地域のひとづくりを巡る課題について考えを深め、今後の学習課題について話し合います。				これまでの学習内容をまとめる。(1時間)。				
11	地域とひとづくり(10)	地域のひとづくりを巡る課題の解決に向けた取り組み方法を考えます。				前時の復習、課題解決の方法をまとめる(1時間)。				
12	活動参加の準備(1)	地域のひとづくりを巡る課題の解決に向けた取り組みの準備をします。				前時の復習、準備が十分にできたかどうかの確認する(1時間)。				
13	活動参加の準備(2)	活動に参加する時に配慮する事項について学びます。				前時の復習、配慮事項についての確認する(1時間)。				
14	地域の自然環境を生かした取り組み(1)	地域の課題解決に向けた取り組みを実行します。				活動の事前設定と片づけを行う(1時間)。				
15	地域の自然環境を生かした取り組み(2)	地域の課題解決に向けた取り組みを実行します。				お礼状の作成と送付、活動メモの作成をする。(1時間)。				
16	地域の文化資源を生かした取り組み(1)	地域の課題解決に向けた取り組みを実行します。				活動の事前設定と片づけ(1時間)。				
17	地域の文化資源を生かした取り組み(2)	地域の課題解決に向けた取り組みを実行します。				お礼状の作成と送付、活動メモの作成(1時間)。				
18	中間報告の準備	これまでの活動内容についてまとめ、プレゼンテーションの準備をします。				前時の復習、プレゼンテーション内容の確認(1時間)。				

授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。			
回	テーマ	内容	事前事後学修
19	中間報告会	これまでの活動内容についてまとめたことを発表します。	プレゼンテーションの役割分担、発表の振り返り(1時間)。
20	地域とひとづくり(11)	地域のひとづくりの巡る課題についての聞き取り調査を行います。	聞き取り調査を行うための注意点の確認、調査メモの整理(1時間)。
21	地域とひとづくり(12)	聞き取り調査の内容についてグループでまとめます。	前時の復習、調査内容のまとめ(1時間)。
22	活動参加の準備(3)	地域のひとづくりを巡る課題の解決に向けた取り組みの準備をします。	体験の振り返り(1時間)。
23	地域の伝承文化を生かした取り組み(1)	地域の課題解決に向けた取り組みを実行します。	活動の事前設定と片づけ(1時間)。
24	地域の伝承文化を生かした取り組み(2)	地域の課題解決に向けた取り組みを実行します。	活動の事前設定と片づけ(1時間)。
25	地域の伝承文化を生かした取り組み(3)	地域の課題解決に向けた取り組みを実行します。	お礼状の作成と送付、活動メモの作成(1時間)。
26	報告書作成に向けた準備	これまでに地域での課題解決に向けた取り組みとして行ったことや地域のひとづくりを巡る課題について考えたことなど、報告書にまとめる内容を考えます。	これまでの活動メモや調査メモの整理、報告書作成の見直しをもつ(1時間)。
27	報告書の作成(1)	地域での課題解決に向けた取り組みとして行ったことや地域のひとづくりを巡る課題について考えたことなどを報告書にまとめます。	報告書作成作業の進捗確認(1時間)。
28	報告書の作成(2)	地域での課題解決に向けた取り組みとして行ったことや地域のひとづくりを巡る課題について考えたことなどを報告書にまとめます。	報告書作成作業の進捗確認(1時間)。
29	報告書の作成(3)	地域での課題解決に向けた取り組みとして行ったことや地域のひとづくりを巡る課題について考えたことなどを報告書にまとめ、完成させます。	報告書作成作業の進捗確認、点検作業(1時間)。
30	まとめ	完成した報告書を読みあい、これまでの授業を総括します。	これまでの授業の復習(1時間)。
テキスト		成績評価の方法・基準	
必要に応じて適宜資料を配布します。		受講態度：50% 課題：50% 受講態度(授業・活動への意欲、理解度)、課題(中間報告、報告書等)を総合して評価します。 <評価基準> S:授業や体験に意欲的に参加し、地域の教育課題とその解決方法について自分なりの考えを論理的に説明できる。A:授業や体験に意欲的に参加し、地域の教育課題を説明できる。B:授業や体験に積極的に参加し、体験で学んだことを整理して説明できる。C:授業や体験に参加し、体験で学んだことを説明できる。	
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)	
「まちが変わる 若者が育ち、人が元気になる 松本大学がかかわった」白戸洋著(松本大学出版会) 「ローカルメディアのつくりかた」影山裕樹著(学芸出版社)		地域の教育に関する課題を解決する方法などについて、体験を通して考える授業ですので、意欲的な授業参加を期待しています。	

科目名	経済入門B（観光）		学年学期	1年後期	単位数	2	ナパリング		研究室	W-21
担当者	古川 智史		必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日4限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）				
			A	B	C					
授業概要										
本講義は、私たちの暮らしの中で経済がどのように関わっているのか、具体的な事例を通じて理解を深めます。具体的な内容は、経済に対する基本的な知識、アプローチ方法を身につける、日本経済のみならず、世界経済の実態について理解を深める、グローバルな視点に立って現代経済の課題について考える、となります。										
学修到達目標										
経済に関する基礎知識やアプローチ方法を身につける。 経済現象やその課題に対し、自ら考え、判断できる力を身につける。										
授業の進め方										
配付したレジュメをもとに講義を進めますが、数回グループワークを実施する予定です。受講者には毎回コメントシートの提出を求め、そのうち主な意見・質問に対して次回の授業の冒頭でフィードバックします。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	イントロダクション	本講義の概要、観光ホスピタリティ学科における学びとの関係について説明します。				今までに学習した「経済」に関する内容を振り返る。配付資料をもとに復習する（4時間）				
2	経済の仕組み（1）	市場における均衡の概念について取り上げます。				需要・供給、均衡などについて整理する（4時間）				
3	経済の仕組み（2）	国内総生産（GDP）、経済成長などを取り上げます。				国内総生産の捉え方、GDPの構成要素、名目GDPと実質GDPについて整理する（4時間）				
4	1970年代以降の日本経済の歩み	各経済指標の動きをみながら、1970年代以降の日本経済の歩みを解説します。				各経済指標の動きを読み取る。日本経済の歩みを整理する（4時間）				
5	地域経済の動向：長野県を事例に	長野県を事例に、経済動向、産業構造の特徴とその変化などを解説します。				長野県経済の動向を調べる。講義を踏まえ、長野県経済の特徴や課題などを整理する（4時間）				
6	財政の仕組みと役割	財政の概要を説明した上で、近年の日本の財政状況について解説します。				日本の財政状況を調べる。財政の仕組みと役割について整理する（4時間）				
7	中間総括	これまでの内容について中間総括をします。その一環として小テストを実施します。				これまでの講義で取り上げた内容、キーワードを中心に復習する（4時間）				
8	金融の仕組みと役割	金融システムとその役割、また金融を巡る近年の変化などを取り上げます。				金融の仕組みと役割について整理する（4時間）				
9	暮らしと経済	所得や消費、貯蓄など、私たちの暮らしと経済の関係について理解を深めます。				暮らしと経済の関係について整理する（4時間）				
10	経済政策の役割	金融政策、財政政策を中心に政策の役割について説明します。				金融政策、財政政策の役割について整理する（4時間）				
11	現代の日本の経済政策	日本における近年の経済政策を概観するとともに、いくつかのトピックを取り上げて理解を深めます。				近年の日本の経済政策と、それに対する見解・評価を調べる（4時間）				
12	国際経済	為替相場と国際収支の仕組み、円高・円安の日本経済への影響などを説明します。				円相場、日本の国際収支を調べる。為替相場と国際収支の仕組みについて整理する（4時間）				
13	世界経済の構造変化	経済のグローバル化の中で世界経済がどのように変化してきたのか説明します。				「グローバル化」について調べる。世界経済の歩みについて整理する（4時間）				
14	世界経済と日本	世界経済と日本について、いくつかのトピックを取り上げて理解を深めます。				日本企業の海外進出について調べる。世界経済の動向と日本について整理する（4時間）				
15	総括	これまでの内容を振り返りながら、講義全体を総括します。				講義全体の内容とキーワードを中心に復習する（4時間）				
テキスト				成績評価の方法・基準						
毎回レジュメを配付します。				受講態度：40％ 定期試験：60％ 「受講態度」では、事前事後学修の課題プリント、コメントシートの提出状況およびその内容、小テストの結果を総合的に評価します。 S：積極的な探求心、批判的な思考力を持って課題に取り組み、授業内容を高度に理解している。A：積極的な探究姿勢を持って課題に取り組み、授業内容を十分に理解している。B：与えられた課題に誠実に取り組み、授業内容のおおよそを理解している。C：与えられた課題に取り組み、授業内容の60％程度を理解している。						
参考書				履修上の注意（学生へのメッセージ）						
講義中に紹介します。				解説等は各自ノートをしっかりとること。日頃から新聞記事を読むなどして、経済に関心を持って講義に臨むようにしてください。						

科目名	地理学			学年学期	1年後期	単位数	2	ナバリング	UL13204	研究室	W-21
担当者	古川 智史			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日4限		
関連資格	中一(社会)					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
<p>本講義では、現代社会の様々な事象、課題を地理学の観点から検討することを通して、地理学の諸概念、アプローチ方法を身につけます。まず、地理学とはどのような学問であるのか、その成り立ちを概説した上で、地理学において重要なツールである地図の利活用について理解を深めます。次に、地理学の諸分野について、具体的な事例を取り上げながら、地理学の基礎的な視点、概念、アプローチ方法について解説します。そして、身近な地域や世界の国・地域を取り上げながら、地誌的なアプローチについて解説します。</p>											
学修到達目標											
<p>地理学の基礎概念を理解し説明できる。 主題図などの資料を的確に読み取ることができる。 現代社会の様々な事象に対して地理学の視点からアプローチできる。</p>											
授業の進め方											
<p>レジュメをもとに講義を進めますが、グループワーク(数回)、エクスカージョン(松本市内)を実施する予定です。受講者には毎回コメントシートの提出を求めます。そのうち主な意見・質問に対して次回の授業の冒頭でフィードバックします。</p>											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	イントロダクション:地理学とはどのような学問か	地理学の概要とともに、本講義の進め方等について説明します。					「地理」をキーワードに調べる。地理学を構成する分野について整理する(4時間)				
2	地理学の系譜	地理学という学問の歩みについて説明します。					地理学という学問の歩みについて整理する(4時間)				
3	地図の活用と地理情報システム	地図の活用やその留意点、地理情報システムの概要について説明します。					普段の生活における地図との接点を考える。地図の利活用について整理する(4時間)				
4	気候の多様性	気候とその規定要因、人々の暮らしとの関係などを取り上げます。					複数の地域の気温・降水量等を調べる。気候因子、気候区分について整理する(4時間)				
5	地形と自然災害	地形の成り立ち、自然災害とその対策などを取り上げます。					身近な地域のハザードマップを調べる。地形の成り立ち、自然災害について整理する(4時間)				
6	環境問題の諸相	環境問題とその対策、アプローチ方法などを取り上げます。					環境問題について調べる。環境問題に対するアプローチ方法を考える(4時間)				
7	農業の空間構造	農業立地の基礎を解説した上で、現代の農業立地について考えます。					複数の農産物の産地について調べる。チューネンの農業立地論について整理する(4時間)				
8	工業の空間構造	工業立地の基礎を解説した上で、現代の工業立地について考えます。					複数の業種を取り上げ、工場立地を調べる。ウェーバーの工業立地論について整理する(4時間)				
9	商業立地と流通システム	商業立地の基礎を解説した上で、現代の商業立地について考えます。					複数の業態を取り上げ店舗の立地を調べる。クリスタラーの中心地理論について整理する(4時間)				
10	都市の地理	都市システム、都市の内部構造を取り上げます。					都市内部の土地利用の違いを調べる。都市システム、都市内部構造について整理する(4時間)				
11	公共サービスと立地	公共サービスの供給に地域差が生じる要因、公共施設の立地などを取り上げます。					公共施設の立地を調べる。公共サービスの供給のあり方について考える(4時間)				
12	身近な地域の地誌	松本を事例に、身近な地域の変化を読み解きます。					自身の身近な地域の変化を調べ、まとめる(4時間)				
13	日本のすがた	具体的な地域を取り上げながら、日本地誌へのアプローチ方法について説明します。					複数の都道府県を取り上げ、何らかの観点から比較し、その結果をまとめる(4時間)				
14	世界の諸地域	具体的な国・地域を取り上げながら、世界地誌へのアプローチ方法について説明します。					世界の任意の国・地域を調べる。地誌的なアプローチについて整理する(4時間)				
15	総括	これまでの内容を振り返りながら、講義全体を総括します。					配付資料および各自のノートをもとに、授業内容全体を復習すること(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
毎回レジュメを配付します。					<p>受講態度:30% 定期試験:70%</p> <p>「受講態度」では、調べ学習などの事前学習、コメントシートの提出状況およびその内容、小テストの結果を総合的に評価します。</p> <p>S:積極的な探求心、批判的な思考力を持って課題に取り組み、授業内容を高度に理解している。A:積極的な探究姿勢を持って課題に取り組み、授業内容を十分に理解している。B:与えられた課題に誠実に取り組み、授業内容のおおよそを理解している。C:与えられた課題に取り組み、授業内容の60%程度を理解している。</p>						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
講義中に適宜紹介します。					高校時に使用した地図帳を持参してください。						

科目名	社会学		学年学期	1年後期	単位数	2	ナパリング	UL13205	研究室	W-30
担当者	今村 篤史		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	木曜日2限		
関連資格	社会福祉士、中一(社会)、高一(公民)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
この講義は社会学の基本的な知識を体系的に学ぶとともに、その知識と理解をもとに現実の社会を捉え、考察する力を養うことを目的とします。										
学修到達目標										
社会学における基本的な諸概念について理解できる。 をもとに社会を社会学的視点から考察することができる。										
授業の進め方										
レジュメを用いて講義形式で授業を進めます。その際、関連する新聞記事やニュースなどを取り入れ、考察していきます。また、出席レポートを通じてフィードバックも行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	イントロダクション	社会学とはどのようなものか				講義の内容をノートにまとめる。(4時間)				
2	社会を見る	社会を観察する方法				事前に前回の内容を復習し、事後に講義の内容をノートにまとめる。(事前2時間事後2時間)				
3	「私」について	相互行為と自我				事前に前回の内容を復習し、事後に講義の内容をノートにまとめる。(事前2時間事後2時間)				
4	家族と性について	家族とその変化、ジェンダーとセクシュアリティ				事前に関連するニュースを調べ、事後に講義の内容をノートにまとめる。(事前2時間事後2時間)				
5	生きること	労働・産業・消費とその変化				事前に関連するニュースを調べ、事後に講義の内容をノートにまとめる。(事前2時間事後2時間)				
6	環境と災害	人間と自然環境、災害				事前に関連するニュースを調べ、事後に講義の内容をノートにまとめる。(事前2時間事後2時間)				
7	医療と福祉	社会学から医療・福祉を見る				事前に関連するニュースを調べ、事後に講義の内容をノートにまとめる。(事前2時間事後2時間)				
8	教育	社会学から教育を見る				事前に関連するニュースを調べ、事後に講義の内容をノートにまとめる。(事前2時間事後2時間)				
9	社会構造と社会問題	逸脱行動、社会病理、社会問題				事前に関連するニュースを調べ、事後に講義の内容をノートにまとめる。(事前2時間事後2時間)				
10	格差	階層、階級、社会的不平等				事前に関連するニュースを調べ、事後に講義の内容をノートにまとめる。(事前2時間事後2時間)				
11	地域社会について	生活の場である地域社会、コミュニティ				事前に関連するニュースを調べ、事後に講義の内容をノートにまとめる。(事前2時間事後2時間)				
12	グローバル社会について	グローバリゼーションとエスニシティ				事前に関連するニュースを調べ、事後に講義の内容をノートにまとめる。(事前2時間事後2時間)				
13	宗教とは	文化、表象、宗教				事前に関連するニュースを調べ、事後に講義の内容をノートにまとめる。(事前2時間事後2時間)				
14	社会の中のメディア	メディア・コミュニケーション・情報				事前に関連するニュースを調べ、事後に講義の内容をノートにまとめる。(事前2時間事後2時間)				
15	国家と社会運動	国家・政治・権力、社会運動・NPO・NGO				事前に関連するニュースを調べ、事後に講義の内容をノートにまとめる。(事前2時間事後2時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
特にありません。レジュメ、プリントを用意します。				定期試験：70% 出席レポート：30% S：定期試験の得点、出席レポートへの取組みと内容の達成度において90%以上 A：定期試験の得点、出席レポートへの取組みと内容の達成度において80%以上 B：定期試験の得点、出席レポートへの取組みと内容の達成度において70%以上 C：定期試験の得点、出席レポートへの取組みと内容の達成度において60%以上						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「社会学入門<多元化する時代>をどう捉えるか」稲葉振一郎著(NHK出版) ISBN：978-4-14-091136-5				社会におけるさまざまな出来事に目を向けてください。【実務経験のある教員が担当】実務経験の内容：社会福祉法人においてソーシャルワーカーとして勤務した。						

科目名	芸術文化		学年学期	1年後期	単位数	2	ナパ・リッジ	UL13206	研究室	W-26
担当者	山根 宏文		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日1限、金曜日1限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
日本と海外の伝統文化を育んだ地域とともに学びます。日本人の美意識、芸術文化を京都から、さらに、ヨーロッパ諸国、アメリカ合衆国の特色ある芸術文化に視点を置いて学びます。日本との文化の違いを学び、異文化に対する広い視野と深い洞察力を養い、国際的な視野も身につけてもらうのが講義の到達目標です。										
学修到達目標										
日本の伝統文化、美意識について学び、暮らしの中にある多くの文化芸術について気づき、理解できるようになること。さらに海外での文化芸術、芸術振興を学び異文化に対する広い視野を身につけることができることが目標です。										
授業の進め方										
市販のテキストは用いず、独自のプリント教材を中心に講義を進めます。必要に応じて、スライド、ビデオなどの視聴覚教材を利用します。教室での講義のみになります。毎回フィードバックを行い理解度を深めます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	授業ガイダンス	授業概要、学習目標、授業の進め方、評価の仕方について説明します。					15回の講義テーマについて関心のあるテーマについて予復習する。(事前事後4時間)			
2	日本人の美意識	日本の芸術文化 日本人の美意識と伝統文化					暮らしに使用されているもので美しいもの、伝統文化を復習する。(事前事後4時間)			
3	日本の食文化	日本の食文化 無形文化遺産 日本食の魅力とは					日本食の魅力、食材について復習する。(事前事後4時間)			
4	地域と芸術振興	地域と芸術文化 フランスの芸術振興策 「パリがなぜ芸術の都と言われるのか」					パリの芸術振興と日本の芸術振興の比較を学修する。(事前事後4時間)			
5	地域と食文化	地域と芸術文化 イタリアの食文化 「イタリアがなぜグルメの国と言われるか」					イタリアの食文化について学修する。(事前事後4時間)			
6	現代アート都市	地域と芸術文化 「アメリカ合衆国と現代アート 現代アート都市 ラスベガス」					現代アートを活かしたラスベガスの都市政策を学修する。(事前事後4時間)			
7	地域と庭園文化	地域と芸術文化 英国の庭園文化と田園 「なぜ英国のカントリーサイドは美しく活気があるのか」					日本の田園風景について学修する。(事前事後4時間)			
8	ハワイ文化とアロハ	地域と芸術文化 ハワイの伝統文化フラ(ダンス)とアロハスピリット つくられたリゾートとハワイアン歴史					ハワイ文化の基本アロハの精神について学修する。(事前事後4時間)			
9	民藝と朝鮮時代の美	地域と芸術 民藝と手仕事・李朝(韓国)の美について					民藝について学修する。(事前事後4時間)			
10	世界のデザイン	地域と芸術 スカンジナビアデザインの特色と世界のデザイン					身の回りにおけるデザインについて学修する。(事前事後4時間)			
11	大衆芸術	大衆芸術 ポップカルチャーとポップカルチャー 「世界一 日本のアニメ」の魅力とは					個々の好きな大衆芸術を選び、その要因を考える。(事前事後4時間)			
12	芸術文化振興(音楽)	「なぜウィーンは音楽の都と言われるのか。」 ウィーンの音楽振興策について					芸術文化の楽しみ方を復習する。(事前事後4時間)			
13	文化情報と発信	文化と観光 文化情報と発信 ディスカバリージャパンから「そうだ京都行こう」まで。心に残る情報発信とは					様々な文化芸術情報について学修する。(事前事後4時間)			
14	芸術文化とまちづくり	芸術文化によるまちづくりについて40の事例とともに成功要因を解説します。					芸術文化による街づくりの事例を復習する。(事前事後4時間)			
15	まとめ	まとめ 14回の講義内容を要点を解説し、芸術文化の魅力についてまとめをします。					15回の講義ノートを再度読み直してください。			
テキスト					成績評価の方法・基準					
講義ごとに概要を説明したレジメを配ります。					出席レポート:30% 定期試験:70% S:授業内容を高度に理解し提案力が特に優れている。 A:授業内容を高度に理解し探究心、提案力が優れている。 B:授業内容をおおよそ理解し探究心、提案力がある。 C:授業内容をおおよそ理解し、探究心、提案力が60%程度である。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
なし					芸術文化は講義だけでなく、日々の暮らしを豊かにするために必要です。暮らしの中にある芸術文化を探してみてください。【実務経験のある教員が担当】 内容:旅行会社に勤務、企画・経営・マーケティング・アテンドに携わった。					

科目名	新聞に見る社会の動き			学年学期	2年前期	単位数	2	ナパリング	UL23207	研究室	非常勤
担当者	江成 康明			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
新聞を使って社会の動きを考えていきます。インターネットの普及により活字離れが目立ち、読書や手書きの習慣が薄れてきました。一番身近なはずの新聞も無読層の増加によって、読まれなくなっています。新聞には政治、経済、外交や社会の動向などが凝縮されており、情報の収集だけでなく、どう読みこなすかが必要になってきます。記事の内容を読み、理解したうえで自分の考えをまとめるという習慣をつけるための授業です。乱れ始めた日本語の良さや文章の作り方も授業の中で実施していきます。											
学修到達目標											
4年間の大学生活中に就職活動という社会人への第一歩が始まります。社会の動きを知っていることは企業側へ有利な評価を与えるとともに、面接でも自信を持って臨むことができます。情報収集、読解力、理解力、筆記力を高め、最終的には学生自らがひとつのテーマを選んで「私の考察」をまとめられることが可能になります。											
授業の進め方											
主に新聞のコピーを資料とします。新聞にはニュースの情報発信のほか解説、コラムなども掲載されており、一つの出来事に対して幅広い知識が得られます。今起きているニュースの問題点や価値判断などの理解度が深まります。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	総論 新聞の価値と役割	新聞には多くの情報が詰まっています。1面から最終面までにどのようなものが載っているかなど新聞の全体像を紹介しながら、トップ記事の意味やベタ記事、焦点、解説、コラム記事とは、などを説明します					この1週間の新聞の中から興味があったニュースを取り上げ、感想を書く。(4時間)				
2	新聞を読む必要性	ネット社会の中で、新聞は不要という若者が多くいます。しかし、ネット情報だけだと偏りがちで、幅広い知識は得られません。社会を知る意味では新聞を読み、「なぜ」「どうして」を考えることが必要です。					疑問の沸いたニュースを選び、疑問を持ちながらまとめてみる。(4時間)				
3	各論 硬派記事についての考察	政治、経済、国際外交などは硬派記事と呼ばれます。授業のころに起きている問題を取り上げ、硬派面を騒がしているニュースを検証します。					この日に取り扱った記事の感想や意見を書く。(4時間)				
4	各論 軟派記事についての考察	社会の動きやスポーツ、暮らしなどを軟派記事と呼びます。社会ではいったい何が起きているのかを新聞をもとに検証します。					この日の話題に対して、どう思ったかをまとめる。(4時間)				
5	グループ討論	ひとつのテーマについての新聞記事を読み、そのあとのグループ討論でその話題について話し合ってみましょう。自分の気付かなかったことを知るはずです。					グループ討論を経験して、という内容でレポートを提出する。(4時間)				
6	グループ討論	5回目と違ったテーマで、同様に進めます。考えながらしっかり読むことは、書くことが上達に必ずつながります。					読んだ記事に対してどう感じたかをレポートに書き、提出する。(4時間)				
7	新聞社見学	地元紙で伝統のある信濃毎日新聞社(予定)を訪ね、編集局などを見学。政治(県政担当)、社会部記者などの話を聞き、新聞作りに携わる人たちの意識などを学びます。					見学の感想や意見を書く。(4時間)				
8	日本語の美しさ	最近は日本語が乱れている、と言われます。若者が普段使っている言葉が正反対の場合もあります。正しい日本語の意味を考えてみましょう。					テキストにある例と普段の自分の言葉が適切かどうか考える。(4時間)				
9	文章の書き方	新聞は中学生にも理解できるような平易な言葉で書いてあります。文章を書くときには難しい言葉はいりません。相手が読みやすいような文章を書くにはどうしたらよいかを学びます。					気に入ったコラムを探してみる。(4時間)				
10	特別講演	2012年、年間ただ一人に送られる「日本記者クラブ大賞」に輝いた毎日新聞・萩尾信也氏を招き、講演していただきます。記者として頂点に立った取材力、執筆力に興味はわくはずです。					事前配布の萩尾氏の記事を読み、質問を考えておく。(4時間)				
11	社会現象の自由研究	過去1年間の政治、経済、国際、社会問題などの動きの中で、自身が最も注目すべき課題をひとつ決めて下さい。どうしてそれを選んだのかをグループ討論で意見発表しましょう。					自分の選んだテーマの記事を集める。(4時間)				
12	社会現象の自由研究	新聞に書いてあることを鵜呑みにするのではなく、疑問や幅広い考え方を持って問題点を探して下さい。いくつもの新聞や新聞コピーを読んでまとめる力をつけましょう。					800字にまとめられるように準備と整理をする。(4時間)				
13	社会現象の自由研究	自分のテーマについて、800字にまとめてみましょう。問題を深く掘り下げて書く習慣を身につけるだけでなく、しっかりとした言葉遣いも重要なポイントです。					自分の書いた文章を思い出し、再考してみる。(4時間)				
14	自由研究の成果と課題	受講生がまとめた内容についての考察をします。同じテーマで臨んだ人々たちによるグループ討論も行い、足りなかった点などさらにテーマを深めることに努めて下さい。					この科目に対する感想を書く。(4時間)				
15	まとめ	新聞の役割や機能と必要性をもう一度再確認します。ネット社会に慣れていても、「新聞を読む習慣」を持ち続けてほしいものです。					15回目のまとめのテキストを熟読する。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準							
毎回、テキストを配布します。				受講態度：20% 定期試験：50% 課題：30% S:授業内容の理解度、考察力、文章の読解力、書き力が秀でている。A:積極的に授業に臨み、課題に対しても自分の意見をしっかりと書ける。B:授業内容のおおよそを理解し、課題に対しても自らの主張ができる。C:授業内容を60%ほど理解でき、与えられた課題にも誠実に取り組んでいる。							
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)							
毎回、テキストを配布します。				毎回の授業で感じるものが必ずあるはずですが、受講票には名前だけでなく、感想や意見を書いて下さい。書き慣れることが頭の整理につながります。図書館などで普段から新聞に接するようにしましょう。							

科目名	地方自治論			学年学期	2年前期	単位数	2	ナバリング	UL23208	研究室	非常勤
担当者	松田 清			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格	中一(社会)、高一(公民)					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
日本の地方自治制度のしくみを理解するために、国の制度、中央地方関係、地方公共団体のしくみなどについて講義します。併せて、テキストを読み込む力、理解したことを文書にする力(理解力、説得力)を高めるために、国語力=論理的思考力を高める訓練も行います。											
学修到達目標											
この講義は、日本の政府システムの中での地方自治、都道府県・市町村の仕組みと活動、国と都道府県・市町村の関係、自治体と住民の関係についての理解を得る。											
授業の進め方											
指定のテキストを使用し、適宜プリント等を配布します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	イントロダクション	ガイダンス 高校政治経済の地方自治の復習					配布プリントを読む(4時間)				
2	地方自治の本旨1	団体自治、住民自治					配布プリントを読む(4時間)				
3	地方自治の本旨2	民主主義、自由主義との関係					配布プリントを読む(4時間)				
4	国のしくみ1	三権分立、立法、行政、司法					配布プリントを読む(4時間)				
5	国のしくみ2	4回のおつぎ					配布プリントを読む(4時間)				
6	中央地方関係と地方自治の本旨	国と地方公共団体の関係まとめ					テキストを読む(4時間)				
7	地方公共団体の制度としくみ	地方公共団体の種類、地方公共団体の機関					テキストを読む(4時間)				
8	地方公共団体と住民	国民権と住民自治					テキストを読む(4時間)				
9	地方公共団体の事務	自治事務と法定受託事務					テキストを読む(4時間)				
10	地方公共団体の長と議会	都道府県・市町村の長と議会					テキストを読む(4時間)				
11	住民参加	住民参加の諸制度					テキストを読む(4時間)				
12	地方公共団体の合併	地方公共団体の数の推移、平成の大合併					テキストを読む(4時間)				
13	地方分権	地方分権の意義と動向					テキストを読む(4時間)				
14	道州制	道州制の意義と動向					テキストを読む(4時間)				
15	まとめ	地方自治の価値を考える					テキストを読む(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「当初は配布プリントを使います。適当な時期にテキストは指定します。」(生協で購入してください。) 説得力と理解力を高めるための国語力=論理的思考力を高める訓練を、授業の中でおこなっていきます。したがって、試験は小論文形式で行います。					定期試験：80% 出席レポート：20% S：授業内容を高度に理解するとともに、論理的思考力に基づく理解、表現ができる。 A：授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
なし					地方自治の基礎知識を学ぶ機会としてこの講義を活用してください。						

科目名	日本文化		学年学期	1年前期	単位数	2	ナパリング	UL13401	研究室	W-26	
担当者	山根 宏文		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	木曜日1限			
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
			A	B	C						
授業概要											
<p>本授業では、日本で培われてきた芸能・文化芸術・自然観・食生活・住生活・建築・武道・宗教などを全般にわたって学び、日本文化の基礎知識を総合的に養います。ジャポニズムからディスカバージャパン、クール・ジャパンなど日本文化ブームになっています。一過性ではなく、総合的に日本文化の豊かさ、真の魅力の理解を深めていきます。</p>											
学修到達目標											
<p>日本の文化、美意識を学び、暮らしの中に息づいている多くの文化に気付き、それを享受でき、説明することができる。さらに、日本人としての誇りを感じ、外国人にも伝えることができる。</p>											
授業の進め方											
<p>授業の最初に前回の講義のフィードバックをし理解を深めます。市販のテキストは用いず、独自のプリント教材を中心に講義を進めます。必要に応じて、スライド、ビデオなどの視聴覚教材を利用します。教室での講義になります。</p>											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	ガイダンス	授業概要、学習目標、授業の進め方、評価について案内します。					日本文化で魅力を感じるものとその要因について考える。(4時間)				
2	日本の美(自然・建築)	後世に残したい日本の美について扱います。(自然・建築・伝統文化・工芸など)					後世に残したい日本の美について考える。(4時間)				
3	日本の美(伝統文化)	後世に残したい日本の美について扱います。(自然・建築・伝統文化・工芸など)					後世に残したい日本の美について考える。(4時間)				
4	日本の伝統文化 華道	いけばなと日本人の自然観について述べます。					日本の伝統芸能についてどのようなものがあるか考える。(4時間)				
5	日本の伝統文化 茶道	「茶の文化 利休の心・42の教え」とホスピタリティについて述べます。					茶道から学ぶおもてなしの心について考える。(4時間)				
6	日本の伝統工芸と民藝	日本の工芸品と柳宗悦によって提唱された民藝運動について述べます。					身の周りにある生活雑器を探し、魅力を考える。(4時間)				
7	和食「和食の魅力とは」	古代から現在までの食文化と食生活を解説します。					食生活についての課題について考える。(4時間)				
8	日本の宗教 仏教と神道	仏教と神道についての考え方や日々の暮らしにある宗教行事について解説します。					各家庭の宗教と教えについて考える。(4時間)				
9	江戸文化と武士道	武士道と城下町・国宝の城について講義します。武士道では、今も息づいている日本人の精神性についてあるいは、ビジネスに活かせる宮本武蔵の思考を説明します。					武士道と言われ思いつくもの考える。(4時間)				
10	浮世絵とジャポニズム	なぜ、西洋画家が浮世絵を愛したのか 日本の美と文化にいて、モネやゴッホやエミール・ガレの作品をみながら解説します。					モネ・ゴッホについて調べる。(4時間)				
11	現代の日本文化 大衆文化	大衆文化として漫画文化について歴史から読み解きます。					漫画の魅力を考える。(4時間)				
12	現代の日本文化 農村文化	現代日本の生活文化 農村文化の魅力 について理解を深めます。					日々の生活文化について考える。農村文化の魅力について考える。(4時間)				
13	現代の日本文化 芸術振興 (文化)	文化の活かし方、楽しみ方について解説し、暮らしの中で文化芸術が活きるための施策について解説します。					自分自身の暮らしの中に活きている文化芸術についてあるもの考える。(4時間)				
14	現代の日本文化 芸術振興 (芸術)	文化の活かし方、楽しみ方について解説をし、暮らしの中で文化芸術が活きるための施策について解説します。					自分自身の暮らしの中に活きている文化芸術についてあるもの考える。(4時間)				
15	まとめ	日本文化の魅力についてのまとめをします。					全講義の復習をする。(4時間)				
テキスト			成績評価の方法・基準								
特になし。			<p>定期試験：70% 課題：30%</p> <p>S：授業内容を高度に理解し、提案力が特に優れている。</p> <p>A：授業内容を高度に理解し、探究心・提案力が優れている。</p> <p>B：授業内容をおおよそ理解し、探究心・提案力がある。</p> <p>C：授業内容をおおよそ理解し、探究心・提案力が60%程度である</p>								
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)								
特になし。			<p>あたりまえのような暮らしの中に、日本人の美意識が宿っています。この講義でそれらの多くからいくつかを選択して日本人としての美しい心と伝統芸能、伝統工芸について講義します。皆さんも日本の魅力を探してください。</p>								

科目名	異文化理解		学年学期	1年前期	単位数	2	ナパ'リング	UL13402	研究室	A-08	
担当者	和田 順一		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	月曜日2限			
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
			A	B	C						
授業概要											
<p>本授業では、自分自身の文化と他者の文化を比べ、それらを意識することによって、どのように文化間において差が見られるか、英文等を通して理解していきます。その際に、それらの異文化間での違いについての事象を分類化して理解したり、その事象を具体化して自分自身のケースと比較することで理解していきます。これらにより、自身の文化をさらに意識していくと共に、他の文化に対し自文化の観点からのみ理解していくことを避ける考え方を身につけます。授業は全て英語で行われます。</p>											
学修到達目標											
異なる文化においてお互いを理解しあうために、英語で様々なことが理解できる。また文化を理解するために、自分自身の文化を考えながら、それとは異なる文化を知り、その価値観等を理解できる。											
授業の進め方											
学習内容に応じ、グループワークや講義形式、英語による発表など様々な形態で行います。また授業は英語で行います。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	ガイダンス・文化とは	授業の進め方、異文化理解の考え方について。					異文化理解の概要について理解する。(4時間)				
2	文化とは 1	英文を読み、文化におけるMaterial CultureとNon-Material Cultureを理解します。					自身の文化におけるのNon-Material cultureについて具体的に理解を深める。(4時間)				
3	文化とは 2	英文を読み、文化におけるMaterial CultureとNon-Material Cultureを理解し、まとめます。					自身の文化におけるのNon-Material cultureについて具体的に理解を深める。(4時間)				
4	文化のルールと許容される行動 1	文化におけるnormsの考え方とその変化について例を取り上げ理解します。					自身の文化のNormsについて振り返り、自文化・多文化での受容について深く理解する。(4時間)				
5	文化のルールと許容される行動 2	文化におけるnormsの考え方とその変化について例を取り上げ理解し、まとめます。また調べたものについて発表します。					自身の文化のNormsについて振り返り、自文化・多文化での受容について深く理解する。(4時間)				
6	ステレオタイプ 1	ステレオタイプとはどのようなものであるかを例等から理解します。					ステレオタイプについて振り返り、自文化・多文化での受容について深く理解する。(4時間)				
7	ステレオタイプ 2	ステレオタイプとはどのようなものであるかを例等から理解し、まとめます。					ステレオタイプについて振り返り、自文化・多文化での受容について深く理解する。(4時間)				
8	メディアと文化 1	メディアによる考え方への影響について理解します。					メディアの自身の考え方、文化への影響を深く理解する。(4時間)				
9	メディアと文化 2	メディアによる考え方への影響について理解し、まとめます。					メディアの自身の考え方、文化への影響を深く理解する。(4時間)				
10	非言語コミュニケーション 1	非言語によるコミュニケーションの例を取り上げ、その影響等について理解をします。					非言語コミュニケーションの自文化と多文化の違いを深く理解する。(4時間)				
11	非言語コミュニケーション 2	非言語によるコミュニケーションの例を取り上げ、その影響等について理解をし、まとめます。					非言語コミュニケーションの自文化と多文化の違いを深く理解する。(4時間)				
12	時間の考え方 1	文化において時間に対する考え方が違うということについて例を取り上げ理解します。					文化間での時間の感覚の違いを深く理解する。(4時間)				
13	時間の考え方 2	文化において時間に対する考え方が違うということについて例を取り上げ理解し、まとめます。					文化間での時間の感覚の違いを深く理解する。(4時間)				
14	接触と空間 1	文化における空間と取り方や身体的接触について例を考え理解します。					身体的接触と空間の使用の仕方の文化差について深く理解する。(4時間)				
15	接触と空間 2	文化における空間と取り方や身体的接触について例を考え理解し、まとめます。					身体的接触と空間の使用の仕方の文化差について深く理解する。(4時間)				
テキスト			成績評価の方法・基準								
「This Is Culture」梶浦麻子・Gregory Goodmacher著TA/YK編(南雲堂) ISBN:978-4-5231-7489-9(生協で購入してください。)			<p>受講態度:10% 課題:20% 小テスト:20% 定期試験:50%</p> <p>S:授業を高度に理解し、テーマに関し探究し課題に取り組み、教科書より難しい英語とテーマが理解できる。A:授業をよく理解し、テーマに関し探究し課題に取り組み、教科書よりやや難しい英語とテーマが理解できる。B:授業を概ね理解し、課題を誠実にやり、教科書レベルの英語やテーマが理解できる。C:授業が理解でき、課題を誠実にやり、教科書の英語とテーマが理解できる。</p>								
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)								
特になし。			<p>授業は全て英語で行われます。復習とまとめ課題をして下さい。異文化の例等に対し偏見を持たないようにして下さい。原則、欠席は2回までです。授業では自分の意見を英語で言うなど積極的に取り組んでください。</p>								

科目名	比較文化		学年学期	1年後期	単位数	2	ナパリング	UL13403	研究室	E-18	
担当者	松原 健二		必修選択	選択	科目種別	講義	ワイズア-				
関連資格					履修条件	履修者が100名を大きく超えた時は抽選となる場合があります					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読書科目)					
			A	B	C						
授業概要											
アメリカ文化を代表とする欧米文化と日本文化を比較することによって、欧米的な考え方や欧米文化への理解を深めると共に、我々が親しんでいる日本文化を客観的に見直していくことをめざします。題材として、贈答・挨拶・食事・住居・買物など、日常生活上の身近なものを取り上げて進めていきます。											
学修到達目標											
自分たちが慣れ親しんでいる日本文化が、唯一絶対のものではないことを理解できる。また、言葉と文化の密接なつながりや、言葉の探求によって人々の生活様式や文化を類推できる。											
授業の進め方											
まず、「日米異文化間適応訓練」のクイズに取り組みます。その後、プリント教材を用いて講義を進めていきます。学習内容の理解を助けるために、スライドやビデオなどの視聴覚教材も利用します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	文化とは/贈答習慣	人々の暮らしの中で、贈答というものが人間関係の潤滑油として機能している実態を学びます。そして日本人に多く見られる旅行土産について、その歴史的な成立過程を踏まえて考えます。					Culture Assimilatorの予習/授業プリントの復習(4時間)				
2	おごりと食事習慣	「おごる」行為の背後にある人間関係について考えます。また日常生活の中で非常にありふれた食事習慣の中に、異文化が潜んでいる事実を検証します。食器とプライバシーについても、考察します。					Culture Assimilatorの予習/授業プリントの復習(4時間)				
3	挨拶	挨拶というものが、文化により、性別により、また時代により違いが認められるものであることを学びます。日本語と英語の挨拶言葉の違いから、その背後にある、社会における人間関係の違いを考えます。					Culture Assimilatorの予習/授業プリントの復習(4時間)				
4	客/人格構造の比較	社会における人間関係や、家族間の人間関係を、「人間関係のベクトル」の観点から考えます。そして三重の同心円のモデルを使って、日本人とアメリカ人の人格構造の違いを比較します。					Culture Assimilatorの予習/授業プリントの復習(4時間)				
5	家と住まいの文化論	アメリカ開拓史についてその概要を学び、17世紀初頭に開拓者たちがどのようにして住宅建築をしたのかを学びます。そして、伝統的な日本の住宅とどのような違いがあるのかを、検証して行きます。					Culture Assimilatorの予習/授業プリントの復習(4時間)				
6	家と住まいの文化論	建築工法や建築材料によって、窓の造形に違いが生まれることを学びます。石造りの建築においてアーチ様式が生まれた理由や、ドームへの発展、気候風土と建築様式の関連性についても考えます。					Culture Assimilatorの予習/授業プリントの復習(4時間)				
7	エチケット/羞恥心	羞恥心の感じ方は、文化の影響を受けていることを学びます。そしてその違いがエチケットという社会規範に影響していることを検証して行きます。中国に生まれた纏足という珍しい文化についても考えます。					Culture Assimilatorの予習/授業プリントの復習(4時間)				
8	事故と謝罪(1)	謝罪言葉と責任の所在という問題について、日米を比較しながら考えます。題材として「えひめ丸事故」を取り上げ、米側からの謝罪がなぜ長い期間行われなかったのかという問題を、文化的視点から考えます。					えひめ丸事故について調べる/授業プリントの復習(4時間)				
9	事故と謝罪(2)	謝罪行動の日米での違いを、「ファイアストンタイヤ破裂事故」を題材にして考えます。フォード社とプリヂストン社の対応の違いは、深い文化的な問題に根ざすものであることを学びます。					「ファイアストンタイヤ破裂事故」について調べる/授業プリントの復習(4時間)				
10	結婚と離婚の国際比較	初婚年齢や婚姻率の国際比較から、結婚というものを取り巻く諸文化を学びます。また日本における結婚は伝統的に「家と家」の結びつきである歴史が長かった実態も検証します。また離婚についても考えます。					Culture Assimilatorの予習/授業プリントの復習(4時間)				
11	おつりの比較文化論	日本では、おつりは引き算で渡されますが、欧米では足し算で渡されていることを学びます。そしてこの社会習慣の違いの背景には、売り手と買い手の間の信用関係が深く関係していることを検証して行きます。					Culture Assimilatorの予習/授業プリントの復習(4時間)				
12	決済方法の比較文化論	決済方法の選択にも、売り手と買い手の間の信用関係が深く関係していることを学びます。そして、この問題が小切手や口座振替の普及率と密接に関連していることを検証して行きます。					Culture Assimilatorの予習/授業プリントの復習(4時間)				
13	広告の比較文化論	同じメーカーの洗顔クリームを題材にして、日米の広告を比較します。広告の仕方やキャッチフレーズの違いの背景には、売り手側の会社と買い手側の消費者との人間関係の捉え方の違いがあることを学びます。					Culture Assimilatorの予習/同一商品の広告を、日米で比較する。(4時間)				
14	個人と集団の関係	童話「アリとキリギリス」を題材に、日本では従来、異文化的改変が施された翻訳が広く読まれていた実態を検証します。そして、社会における個人と集団の関係が、日本と欧米では大きく異なることを学びます。					家にあるインソップ童話を調べる/意図的な改変が施された翻訳事例を調べる。(4時間)				
15	まとめ	今までの14回の講義の中で最も印象に残った講義の一つを取り上げ、「講義前の考え」「講義で学んだこと」「講義の後の考え」という構成でまとめる。					授業で配布されたプリントを見直し、半期で学んだことを整理しておく。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準							
独自のプリント教材を作成し、毎回の授業で配布します。				受講態度:30% レポート:70% S:探求心を持って授業に参加し、各回の講義で学んだことを正しく理解し、課題に対して自分なりの解決方法を見つけ出すことができる。A:探求心を持って授業に参加し、各回の講義で学んだことを正しく理解し、課題に対して解決方法を見つけ出すことができる。B:授業に参加し、各回の講義で学んだことを理解し、課題に対して解決方法を考えることができる。C:授業に参加し、講義で学んだことを理解し、課題に対して解決方法を探ることができる。							
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)							
なし				この講義では、異文化衝突の場面において、どのような問題があり、いかなる解決方法があるかを考えてもらいます。「課題解決能力」							

科目名	文化人類学		学年学期	3年前期	単位数	2	ナバリング	UL33404	研究室	C-7
担当者	福島 智子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	水曜日2限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
異文化を知ることで自らを確認し、その上で両者を相対化しうる感受性を多少でも身につけること。これが本講義のめざすところです。あたりまえの世界を疑い、文化とは何かを考えます。文化人類学は難しい学問ではありません。抽象度の高い理論についても触れますが、基本的には身近にある(「理由はわからないけど、そうなっている」)事例を捉えなおしてみることが重要です。内容については講義計画を参考にしてください。										
学修到達目標										
自身が属する集団(地域社会、日本)の文化を理解し、異文化を学ぶことで自文化を相対化できる。										
授業の進め方										
講義形式で行います。講義で学んだ視点から各自の生活を振り返ってもらうため、講義後に小レポートを課す場合があります。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	文化人類学とは	文化人類学とは何か概説します。					配布プリントの要点をまとめる。(4時間)			
2	文化相対主義と自文化中心主義	文化の捉え方である文化相対主義と自文化中心主義について概説します。					事例研究として各自リサーチする。(4時間)			
3	文化相対主義とFGM	事例研究としてFGM(Female Genital Mutilation)を取り上げます。					ドキュメンタリー映像に対する意見をまとめる。(4時間)			
4	神話(1)	神がこの世を作る話である神話(物語)の構造について学びます。					具体的な神話を取り上げ、調べる。(4時間)			
5	神話(2)	神話の具体的事例を紹介します。					配布プリントの要点をまとめる。(4時間)			
6	信仰と世界観(1)	世界宗教と民族宗教、一神教と多神教など、宗教の分類について学びます。					配布資料を読み、下調べをする。(4時間)			
7	信仰と世界観(2)	呪術とは何か、その定義、分類、目的を学びます。					配布資料を読み、下調べをする。(4時間)			
8	信仰と世界観(3)	妖術とは何か、その定義、分類、目的を学びます。					配布プリントの要点をまとめる(4時間)			
9	信仰と世界観(4)	日本人の宗教観の特徴について概説します。					配布資料の要点をまとめる。(4時間)			
10	通過儀礼	人が一生のうちに経験する通過儀礼とは何かを学びます。					授業中に配布する課題プリントを取り組む。(4時間)			
11	文化と身体(1)	葬送儀礼について学びます。					配布プリントの要点をまとめる。(4時間)			
12	文化と身体(2)	事例研究として特定の地域の葬送儀礼を取り上げます。					配布プリントの要点をまとめる。(4時間)			
13	病気と治療の文化人類学：総論	病気と治療をテーマとした文化人類学について概説します。					授業中に配布する課題プリントを取り組む。(4時間)			
14	病気と治療の文化人類学：各論	特定の地域の治療実践を、文化人類学の観点から紹介します。					授業中に配布する課題プリントをする。(4時間)			
15	まとめ	講義全体のまとめ					総復習(4時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
さまざまな具体的事例を通して考えるという科目の特性からテキストは指定せず、プリントと資料を配布します。					定期試験：60% 課題：40% S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考能力に基づく探究姿勢をもって課題に取り組むことができる。A：授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組むことができる。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組むことができる。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組むことができる。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「文化人類学」波平恵美子編(医学書院)					同一テーマで講義が続いている場合は欠席しないように心がけてください。毎回の講義終了前に、次回講義の概要について説明します。予習の指示がある場合は、必ず予習をしてから講義に臨んでください。					

科目名	音楽の歴史と鑑賞			学年学期	3年前期	単位数	2	ナパ'リング	UL33405	研究室	A-19
担当者	安藤 江里			必修選択	選択	科目種別	講義	オイスア-	火曜日5限、木曜日2限、木曜日5限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A B C									
授業概要											
西洋音楽史を中心にどのように音楽文化が発展してきたのか、また日本の伝統文化や西洋から影響を受けた現代日本の音楽界の現状について各回のテーマを取り上げます。邦楽と洋楽の音律や様式、楽器の違いなど、講義と鑑賞及び実演体験を通して音楽の多様性について理解し感じ取り学んでいく授業です。さらにグループで興味ある作曲家や楽曲を紹介し合い共有します。											
学修到達目標											
各回のテーマに沿ってそれぞれの時代や地域を代表する楽曲を鑑賞したり演習したりしながら、時代の流れと共に音楽がどのように発展し人間の生活と関わっているのかについてまとめレポートすることができることです。また自分の興味のある作曲家や楽曲について紹介することができることです。											
授業の進め方											
毎回テーマに沿ってパワーポイントで時代背景や楽曲様式の特徴、聴く観点等を説明し、課題ワークシートにキーワードを記入しながら鑑賞します。歌ったり楽器に触れたり能動的な活動も取り入れます。作曲家新聞の作成とプレゼンテーションを行います。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	ガイダンス 音楽の始まり	授業の進め方についての説明と自己紹介を含めたアンケートを記入します。音楽の始まりとして古代ギリシャから中世、ルネッサンスの音楽を紹介し、グレゴリア聖歌を歌います。					自分の生活における音楽の意味について考えてくる。(4時間)				
2	バロックの音楽	楽器の発達やバロック期の作曲技法について学び、ビバルディ、バッハ、ヘンデルの楽曲を取り上げ鑑賞します。					バロック音楽を聴き感想をまとめる。(4時間)				
3	ウィーン古典派の音楽	ハイドン、モーツァルトの器楽曲からソナタ形式について学びます。またオペラについても触れます。					ウィーン古典派の音楽を聴き、感想をまとめる。(4時間)				
4	古典派の音楽～交響曲	ベートーベンの交響曲を鑑賞し、第九の合唱部分をドイツ語で歌います。					第九の練習と古典派の音楽を聴き感想をまとめる。(4時間)				
5	ロマン派の音楽～歌曲	ロマン主義について取り上げシューベルト、シューマン等の歌曲を中心に鑑賞します。					ロマン派の歌曲を聴き、感想をまとめる。(4時間)				
6	ロマン派の音楽～器楽曲	標題音楽と交響詩や、サロン文化などに触れ、ブラームス、リスト、ショパン等の器楽曲を中心に鑑賞します。					ロマン派の音楽を聴き、感想をまとめる。(4時間)				
7	オペラ	イタリアオペラからワーグナーの楽劇までを概観します。					作曲家新聞の構想を練り資料を集める。(4時間)				
8	バレエ音楽	チャイコフスキーの3大バレエ曲を中心に鑑賞します。					作曲家新聞を作成する。(4時間)				
9	国民楽派その他	様々な国を代表する国民楽派や民族主義の作曲家と代表曲を紹介します。作曲家新聞をグループで発表します。					国民楽派の音楽を聴き、感想をまとめる。(4時間)				
10	印象派 フランス音楽	ドビュッシーを中心に、フォーレ、ラベルの楽曲を絵画や文学と関連させて鑑賞します。作曲家新聞をグループで発表します。					印象派の音楽を聴き、感想をまとめる。(4時間)				
11	20世紀の音楽 無調音楽	新ウィーン楽派やストラヴィンスキーなどから調性の崩壊と12音技法の音楽を紹介し、					現代音楽を聴き、感想をまとめる。(4時間)				
12	アメリカ音楽	ジャズ、ポップ、ロック、ラテン音楽を鑑賞し体験します。					ジャズやロックを聴き、感想をまとめる。(4時間)				
13	日本の伝統文化について (1)古代から安土桃山	雅楽、能、狂言と宗教や政治との関わりについて概観し鑑賞します。笙、箏などの和楽器体験や謡いにも挑戦します。					最終レポートの準備、資料を集める。(4時間)				
14	日本の伝統文化について (2)江戸時代	琴、尺八、三味線などの和楽器の体験と共に文楽や歌舞伎を鑑賞し簡単な場面の演習を行います。					最終レポートを作成する。(4時間)				
15	現代の日本音楽とまとめ	明治以降の西洋音楽の影響を受けた日本の音楽教育や現代曲を鑑賞し、総括します。					総復習と最終レポートを完成させる。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準							
適宜プリントを配布します。				受講態度：50% レポート：50% S:意欲的に課題に取り組み、学習内容をすべて理解し文章表現できる。A:意欲的に課題に取り組み、学習内容を概ね理解し文章表現できる。B:意欲的に課題に取り組み、学習内容をまとめることができる。C:課題に取り組み学習内容をまとめることができる。							
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「音楽史を学ぶ 古代ギリシャから現代まで」久保田慶一 他著久保田慶一編(教育芸術社) ISBN: 948-4-87788-788-9 「もう一度学びたいクラシック」西村理 監修著(西東社)				CDやDVDを鑑賞しながら、実際歌ったり演奏もします。私語を慎み、意欲的に読んでください。毎回プリントを配布しますので自己管理してください。							

科目名	海外研修	学年学期	1・2・3・4年通年	単位数	2	ナパリング	UL13406	研究室	E-10
担当者	糸井 重夫	必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	前期：火曜日3限 後期：火曜日3限		
関連資格				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度（読替科目）					
		A	B	C					
授業概要									
本授業は、事前学修、現地研修、事後学修から構成されています。事前学修では、「研修目的」、「研修先調査」、「わが町紹介」の3つのテーマでのプレゼンや英語集中学修（Survival English）を行います。なお、プレゼンは日本語と英語で行います。現地研修先は、神奈川県湘北短期大学との共催によるニューカッスル大学（オーストラリア）での語学・文化体験研修です。また、授業外学修では「English Cafe」や「E-Learning」での学修、現地研修終了後の事後学修では報告書とレポートを作成します。									
学修到達目標									
学修到達目標は、異文化について学び、異文化の相手を尊重しつつ自分の考えを明確に相手に伝えることができる。また、プレゼンテーションや英語学修を通して、コミュニケーション能力を育成する、です。									
授業の進め方									
事前学修と事後学修は、座学による授業と双方向型授業を組み合わせで行います。また、授業日時は不規則で、外部講師による土曜・日曜授業もあります。下記の授業計画は参考です。現地研修の内容や費用は開講時に提示しますが、人数制限をする場合があります。									
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容					事前事後学修		
1	授業概要と現地研修先の紹介	本授業の特徴と、現地研修先であるオーストラリアのニューカッスル大学のプログラムに関して説明します。					各自の留学目標や抱負についてまとめ、プレゼンテーションの準備をします。（1時間）		
2	プレゼンテーション（留学の目標）	履修者各自の留学の目標を設定し、整理する。また、各自の留学目標をレポートにまとめるとともに、パワーポイントで報告します。					各自がパワーポイントでの報告の準備をします。（1時間）		
3	プレゼンテーション（留学の抱負と期待）	履修者各自の留学への抱負を整理する。また、各自の留学の抱負と期待をレポートにまとめるとともに、パワーポイントで報告します。					各自がパワーポイントでの報告の準備をします。（1時間）		
4	プレゼンテーション（研修先の政治・経済）	各自で研修先の政治、経済などについて調べ、10分程度の報告に整理してパワーポイントで報告します。					各自がパワーポイントでの報告の準備をします。（1時間）		
5	プレゼンテーション（研修先の社会・文化）	各自で研修先の社会や文化などについて調べ、10分程度の報告に整理してパワーポイントで報告します。					各自がパワーポイントでの報告の準備をします。（1時間）		
6	渡航準備と危機管理	渡航の準備状況を確認し、渡航時と留学先での様々なリスクについて説明します。					外務省のホームページで海外のリスク状況を確認し、「たびレジ」等に登録します。（1時間）		
7	プレゼンテーション（日本社会の紹介）	10分程度で日本社会についてを英語で紹介し、また、相互にプレゼンテーションの評価を行います。					各自がパワーポイントでのプレゼンテーションの準備をします。（1時間）		
8	プレゼンテーション（長野県の紹介）	10分程度で長野県の産業や文化について英語で紹介し、また、相互にプレゼンテーションの評価を行います。					各自がパワーポイントでのプレゼンテーションの準備をします。（1時間）		
9	プレゼンテーション（わが町紹介）	10分程度、自分が住んでいる町を英語で紹介し、また、相互にプレゼンテーションの評価を行います。					各自がパワーポイントでのプレゼンテーションの準備をします。（1時間）		
10	サバイバル・イングリッシュ（挨拶）	挨拶などの会話能力をアクティブラーニングにより育成します。また、英語によるコミュニケーション力の育成を図ります。					授業準備と宿題対応。ICTを活用した課題を行う。（1時間）		
11	サバイバル・イングリッシュ（買い物）	アクティブラーニングを通して、買い物の際に必要な会話を学修します。また、英語によるコミュニケーション力の育成を図ります。					授業準備と宿題対応。ICTを活用した課題を行う。（1時間）		
12	サバイバル・イングリッシュ（交通）	アクティブラーニングを通して、目的地に行くための会話について学修します。また、英語によるコミュニケーション力とプレゼンテーション力の育成を図ります。					授業準備と宿題対応。ICTを活用した課題を行う。（1時間）		
13	サバイバル・イングリッシュ（病気）	アクティブラーニングを通して、病気になった場合の会話について学修します。また、英語によるコミュニケーション力とプレゼンテーション力の育成を図ります。					授業準備と宿題対応。ICTを活用した課題を行う。（1時間）		
14	サバイバル・イングリッシュ（各種テーマ）	アクティブラーニングを通して様々なテーマで会話し、英語によるコミュニケーション力とプレゼンテーション力の育成を図ります。					授業準備と宿題対応。ICTを活用した課題を行う。（1時間）		
15	体験報告	日誌、報告書の提出と、それに基づく各自の課題・研修目的、成果についてのパワーポイントでの発表。相互に評価をおこない、発表力の向上を図ります。					日誌、報告書の提出準備と発表準備。体験報告を英語で準備する。（1時間）		
テキスト		成績評価の方法・基準							
開講時に指示します。また、適宜、プリント等の資料を配布します。		受講態度：50％ レポート：30％ 実技：20％ 「受講態度」にはプレゼンテーション等、「レポート」には課題レポートや報告書、「実技」には現地研修の修了書が含まれます。また、評価「S」は、外国語と日本語で円滑なコミュニケーションや発表ができる。評価「A」は、外国語と日本語で伝えたいことを明確に伝えることができる。評価「B」は、外国語と日本語で伝えたいことを伝えることができる。評価「C」は、外国語と日本語で簡単な内容を伝えることができる。以上が目安です。							
参考書		履修上の注意（学生へのメッセージ）							
現地の教室で配付されるプリント、各種案内パンフレットなどを使用します。		本授業では、海外での研修も行われることから多くのリスク（危険）が想定されます。そこで、現地研修の参加の可否については、受講状況に加えて、必要に応じてゼミ担当教員や語学教員等の意見を参考に決定します。							

科目名	海外研修		学年学期	1・2・3・4年通年	単位数	2	ナパリング	UL13407	研究室	
担当者	各教員		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
<p>本授業は、興味のある学外の留学プログラムなどに参加し、その内容が単位認定として妥当なプログラムの場合に教務委員会において単位認定を行う科目です。したがって、受講者は、事前に参加する留学プログラムを教務委員会に報告し、その留学プログラムに参加後、教務委員会に「成績証明書」や「修了書」等を添えて単位認定の申請をします。教務委員会がプログラムの内容と成果によって審議し、単位認定が可能な場合に単位が認定されますので、単位認定の可否は事後的に判断されます。</p>										
学修到達目標										
<p>異文化について学修し、異文化の相手を尊重しながら自分の考えを明確に伝えることができる。また、外国人との交流を通してプレゼンテーション力やコミュニケーション力の向上も教育目標とし、企業が求めるグローバル・コンピテンスの育成をする。</p>										
授業の進め方										
<p>留学プログラムを主催する業者の事前説明会や事前学習会に参加し、帰国後は「修了書」や「成績証明書」などを提出します。また、留学プログラムの内容は参加するプログラムにより異なります。以下の「授業計画」では一般的な計画を提示します。</p>										
<p>授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。</p>										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	プレースメント・テスト	開講式とクラス分けのプレースメント・テストが実施されます。また、必要に応じて面接試験を行います。その後、各クラスに分かれて、授業内容の説明を行います。				プレースメント・テストの見直しとプログラム参加目的を整理します。(1時間)				
2	語学学習(自己紹介)	テキストに従って学修します。テキストの内容は参加する留学プログラムで異なります。				テキストの予習と復習をします。(1時間)				
3	語学学習(文法)	テキストに従って学修します。テキストの内容は参加する留学プログラムで異なります。				テキストの予習と復習をします。(1時間)				
4	語学学習(文法)	テキストに従って学修します。テキストの内容は参加する留学プログラムで異なります。				テキストの予習と復習をします。(1時間)				
5	語学学習(エピソード)	テキストに従って学修します。テキストの内容は参加する留学プログラムで異なります。				テキストの予習と復習をします。(1時間)				
6	語学学習(エピソード)	テキストに従って学修します。テキストの内容は参加する留学プログラムで異なります。				テキストの予習と復習をします。(1時間)				
7	語学学習(エピソード)	テキストに従って学修します。テキストの内容は参加する留学プログラムで異なります。				テキストの予習と復習をします。(1時間)				
8	社会活動(アウトキャンパス・スタディ)	キャンパスを離れての活動です。地域の博物館や美術館を訪問します。				事前に訪問する博物館や美術館について調べます。(1時間)				
9	語学学習(文法)	テキストに従って学修します。テキストの内容は参加する留学プログラムで異なります。				テキストの予習と復習をします。(1時間)				
10	語学学習(エピソード)	テキストに従って学修します。テキストの内容は参加する留学プログラムで異なります。				テキストの予習と復習をします。(1時間)				
11	語学学習(エピソード)	テキストに従って学修します。テキストの内容は参加する留学プログラムで異なります。				テキストの予習と復習をします。(1時間)				
12	語学学習(文法)	テキストに従って学修します。テキストの内容は参加する留学プログラムで異なります。				テキストの予習と復習をします。(1時間)				
13	社会活動(アウトキャンパス・スタディ)	キャンパスを離れての活動です。留学先で盛んな現地のスポーツを体験します。				事前に留学先で盛んなスポーツについて調べます。(1時間)				
14	現地の学生との交流	留学先の大学生との交流を通して、現地の文化や習慣、伝統などについて学びます。				事前に留学先の歴史などを調べ、現地の文化や習慣について整理します。(1時間)				
15	総復習・修了式	2~5週間の留学の成果について振り返ります。また、クラスメイトとの会話で語学力を高めます。				自分の文化について報告する準備をします。(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
開講時に指示します。また、適宜、プリント等の資料を配布します。				<p>実技：100%</p> <p>「実技」は研修先での評価です。この「海外事情」は研修先で取得した修了証と成績証明書、プログラムの時間数と内容などで成績評価をします。評価「S」は、外国語で円滑なコミュニケーションや発表ができる。評価「A」は、外国語で伝えたいことを明確に伝えることができる。評価「B」は、外国語で伝えたいことを伝えることができる。評価「C」は、外国語で簡単な内容を伝えることができる。以上が目安です。</p>						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
現地の教室で配付されるプリント、各種案内パンフレット				<p>本授業では、海外での研修も行われることから多くのリスク(危険)が想定されます。そこで、現地研修の参加の可否については、受講状況に加えて、必要に応じてゼミ担当教員や語学教員等の意見を参考に決定します。</p>						

科目名	海外事情	学年学期	1・2・3・4年前期	単位数	2	ナバリング	UL13408	研究室	E-10
担当者	糸井 重夫	必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日3限		
関連資格				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
		A	B	C					
授業概要									
<p>本授業は、海外の協定校等の教員が、自国の政治・経済・社会・文化などについて講義する授業です。今年度は、中山大學(中華人民共和国)の先生、義守大学(台湾)の先生が講義する予定です。現代社会は、他国との相互依存関係が政治的にも経済的にも、また文化的にも深化してきていますので、隣国の社会や日本とのかかわりを理解することはとても重要です。開講時期は8月5日(月)~10日(土)を予定しています。また、授業内容の詳細は開講時に提示します。</p>									
学修到達目標									
<p>本授業の到達目標は、「国際社会に目を向け、国際社会の一員としての日本の立場について学ぶとともに、特に中国や韓国などのアジア地域における日本の立場について自分の意見を説明できる」ことです。授業では、毎回簡単なレポートを提出しますので、文章力や表現力、「論理的思考」や「コミュニケーション力」の育成も図ります。</p>									
授業の進め方									
<p>授業は日本語による集中講義形式で行われます。また、時期は夏休みの1週間程度を予定しています。授業は、授業計画に従って進められますが、担当者や内容、順番等については変更になる可能性があります。変更等については随時連絡します。</p>									
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容				事前事後学修			
1	授業の概要	授業の概要説明と講師紹介、並びに協定校の嶺南師範学院と台湾の協定校の義守大学、韓国の東新大学等の紹介を行います。				ICTを活用し、指示されたプリントで講義内容を予習すること。(4時間)			
2	中国社会(歴史)	前半の7回は「中国の事情」を講義します。ここでは、中国社会の現状を歴史的な視点を含めて解説します。				配布プリント等を参考に中国近代史について把握する。(4時間)			
3	中国社会(現状)	ここでは、中国社会の現状を説明します。特に、生活、流行、等、文化的な面を取りあげます。				配布プリントやインターネット等により授業内容の理解を深め、発表の準備する。(4時間)			
4	中国経済(現状)	中国の経済状況について説明します。中国の経済は成長著しい状況にありますが、格差の問題等、様々な経済的な問題を抱えています。これらについて説明します。				配布プリントやインターネット等により授業内容を確認し、日本の状況も整理する。(4時間)			
5	中国経済(将来)	中国の人口は今後減少に転じ、日本以上の少子高齢化社会になることが懸念されています。ここでは、中国経済の将来について考えていきます。				現存する日中間の課題について調べ、レポートとして整理する。(4時間)			
6	中国の教育(制度)	中国の教育制度について解説します。また、中国の高等教育改革の現状について説明します。				わが国の高等教育についてその課題を調べ、レポートとして整理する。(4時間)			
7	日中の教育比較	中国と日本の教育制度や教育内容の比較を通して、高等教育の在り方を考えます。また、受講者にも学生時代に何をしておくべきかを考えてもらいます。				受講者各自が、学生生活に関するレポートを作成する。(4時間)			
8	まとめ	これまでの講義のまとめを行います。また、質疑応答を通して中国の実情の理解を深めます。				中国について理解したこと、考えたことについてレポートにまとめる。(4時間)			
9	台湾の歴史	台湾と日本との関係史について講義します。また、台湾と中国との関係についても言及します。				配布プリント等で授業内容を確認し、理解を深める。(4時間)			
10	日本統治以後の台湾	日清戦争以後の台湾の歴史について概観し、日本との結びつきについて考えます。				台湾社会の歴史について調べ、レポートとして整理する。(4時間)			
11	台湾社会の現状と将来	戦後の対中関係を踏まえた歴史について概観し、今後を展望します。				台湾と中国との関係について調べ、レポートとして整理する。(4時間)			
12	台湾の社会と教育	現代の台湾社会や若者の動向について概観するとともに、台湾の教育について整理する。				台湾は親日派が多い国として有名だが、その理由について考える(4時間)			
13	多様性の台湾	台湾は10を超える部族が共存する社会であるが、このような他部族国家台湾の部族政策等について考える。				台湾部族の独自性の維持、保護・支援政策について調べ、整理する(4時間)			
14	台湾の文化と宗教	台湾は原住民の文化、日本の文化、中国の文化が混在する国であるが、台湾文化の独自性や生活に溶け込んでいる宗教観について調べ、整理する。				日本のアイヌ民族や沖縄の問題について調べ、レポートに整理する。(4時間)			
15	日台中の諸問題	これまでの授業内容を参考にして、中国、台湾、日本の教員と学生諸君がいくつかのテーマを出し合い、議論をします。				議論内容をレポートとして提出する。(4時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準							
プリント等を配布します。		<p>出席レポート：50% レポート：20% 受講態度：30%</p> <p>本授業での受講態度は、留学生等との積極的な意見交換や、自分の意見の発表を含みます。評価の目安は次のようになっています。「S」は、授業内容を理解し、データや資料に基づいて論理的に整理した内容で意見交換ができる。「A」は、授業内容を理解し、データや資料に基づいて意見交換ができる。「B」は、授業内容を理解し、自分の意見を述べるができる。「C」は、授業内容をある程度理解して、自分の意見を述べるができる。</p>							
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)							
プリント等を配布します。		<p>本授業は海外の大学の教員との連携授業です。従って、本務校の事情や本学の学生の事情により、お願する講師の変更や開校日の日程が変更になることもあります。日程変更等は掲示等で随時連絡します。</p>							

科目名	海外事情	学年学期	1・2・3・4年後期	単位数	2	ナパリング	UL13409	研究室	E-10
担当者	糸井 重夫	必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日3限		
関連資格				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性	履修対象入学年度(読替科目)							
	A B C								
授業概要									
本授業は、本学の教員と海外の協定校等の教員が、自国の政治・経済・社会・文化などについて講義する授業です。今年度は、協定校である台湾の義守大学の教員2名が担当する予定です。授業は、1名が観光関連の内容の授業を英語で、1名が台湾の歴史や文化、社会についての授業を日本語で行います。英語での授業は、ゆっくりとした分かりやすい授業で、必要に応じて英語の言い回しや文法等も学修します。									
学修到達目標									
本授業の到達目標は、「国際社会に目を向け、国際社会の一員としての日本の立場について理解することと、日本と国際社会の関係について自分の意見を持ち、これを表現できること」です。また、アジアの諸国の歴史を通して米国や欧州の知識を深め、興味を持つことも目標としています。授業では、毎回簡単なレポートを提出しますので、「論理的思考」の育成も図ります。									
授業の進め方									
授業は集中講義形式で行われます。また、時期は2月上旬の1週間を予定しています。授業は、授業計画に従って進められますが、担当者や内容、順番等については変更になる可能性があります。変更等については随時連絡します。									
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容				事前事後学修			
1	台湾の歴史(概論)	原住民時代、オランダ占領時代、明鄭統治時代、滿清支配時代、日本統治時代、中華民国統治時代、南京国民政府、台湾国民政府、民主化後について説明します。				講師が所属する国や大学、台湾の歴史等について調べ、整理します。(4時間)			
2	日本統治後の台湾	台湾が本格的に開発された日本統治時代以降について説明します。特に、「農業は台湾、工業は日本」と分担することを目的にした台湾農業振興策について説明します。				授業内容を整理し、レポートにまとめるとともに、日本と魚地時代を調べます。(4時間)			
3	台湾社会の現在と将来	台湾は日本以上の少子高齢化が進んでおり、その対策として多くの外国人労働者を受け入れてきた。現在は中国の影響が増してきており、国際的な独立国としての存続が難しくなっている。				台湾社会を調べ、他国との国際関係について整理します。(4時間)			
4	台湾の教育	台湾の教育制度について説明します。台湾では172大学院校が高等教育を提供しており、毎年14万人が1~2月の全国統一試験を経て高等教育を受けます。このような台湾の現状を説明します。				台湾の教育制度と状況を調べ整理します。(4時間)			
5	多様性の台湾	台湾は移民国家です。多くの台湾人は、400~500年もの間助け合い、互いに学びあう精神移民の精神を大切に、原住民と共に「フォルモア(癒しの島)」を築いてきました。これを説明します。				台湾の原住民について調べ、整理します。(4時間)			
6	台湾の文化と宗教	台湾では、様々な民族が共存していることから多くの宗教があり、また多くの文化が根づいています。授業では、台湾の様々な宗教と文化について説明します。				台湾の宗教について調べ、整理します。(4時間)			
7	総まとめ	これまでの授業内容である、台湾の歴史と文化、民族多様性について再整理し、台湾についての印象等、受講者相互で発表し、意見交換します。				これまでの授業を振り返り、自分の意見をまとめます。(4時間)			
8	観光とホスピタリティ	観光とホスピタリティについて概念的な説明をします。				観光業とホスピタリティについて調べ、整理します。(4時間)			
9	台湾の観光地と世界遺産	世界遺産について考えます。問題点、課題について整理するとともに台湾の観光地を紹介します。				世界遺産の制度について調べ、整理します。(4時間)			
10	台湾の観光地の魅力	台湾の観光地の魅力を写真、スライドなどを使用して説明します。				台湾の観光地について調べ、整理します。(4時間)			
11	台湾の原住民と博物館	台湾には10を超える原住民が暮らしています。原住民の文化を知らせる博物館などの施設は台湾の文化を理解するうえで大変重要です。授業では、台湾の博物館や美術館について説明します。				台湾の原住民について調べ、整理します。(4時間)			
12	台湾の博物館と美術館	台湾には中国大陸の文化を継承した文化が台湾の北部を中心に残っています。授業では、台湾における中国大陸の文化を継承している博物館や美術館について説明します。				大陸文化の継承について、台湾北部の博物館や美術館について調べ、整理します。(4時間)			
13	台湾の寺院と宗教	台湾は多宗教社会であり、様々な寺院が混在しています。この寺院も重要な観光資源です。授業では、このような台湾を代表する寺院について説明します。				台湾の宗教と寺院の特徴について調べ、整理します。(4時間)			
14	台湾の映画産業と観光	台湾には映画撮影で使用されたり題材になる場所が数多くあります。授業では、そのような場所と観光について整理します。				どのような映画で台湾が使用されたのかを調べ、整理します。(4時間)			
15	総まとめ	これまでの授業を振り返り、再度ポイントを整理します。				議論内容についてレポートに整理する。(4時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準							
プリント等を配布します。		出席レポート:50% レポート:20% 受講態度:30% 本授業では、提出された出席レポートを中心に総合的に評価します。評価の目安は次のようになっています。「S」は、授業内容を理解し、データや資料に基づいて論理的に整理した内容で意見交換ができる。「A」は、授業内容を理解し、データや資料に基づいて意見交換ができる。「B」は、授業内容を理解し、自分の意見を述べるができる。「C」は、授業内容をある程度理解して、自分の意見を述べるができる。							
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)							
プリント等を配布します。		本授業は、台湾の義守大学の教員2名が担当する授業です。授業は英語と日本語で実施されますので、台湾や海外に興味があり、留学前や留学後で英語のスキルアップを図りたい学生は是非参加してください。							

科目名	自然と産業		学年学期	1年前期	単位数	2	ナパ'リング	UL13501	研究室	W-15
担当者	田開 寛太郎		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	月曜日2限、水曜日2限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
<p>私たちの暮らしは豊かな自然の上に成り立っています。祖先が自然とともにどのように暮らし、そしてどのように自然を開発してきたか。この先に高齢化や人口減少を迎える中、地域の産業発展には自然環境といった地域資源を活かした地域づくり人づくりが求められています。本講義では、自然の各循環と基本的なしくみ、そして産業との関わりを理解し、国内外の事例をみながら自然環境を取り巻く現代的課題について考えます。</p>										
学修到達目標										
<p>「自然と産業」とは何かを理解するとともに、自然資源の循環と廃棄や資源活用のしくみについて考え、それらの意義について論じることが出来るようになることを目指します。</p>										
授業の進め方										
<p>各回の講義は新聞記事などの事例を用い、課題を図式化したり、映像を投影したりして、想像を膨らませながら進めます。各回、課題をワークシートに記入しディスカッションします。ワークシートの内容は授業時にフィードバックを行います。</p>										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	授業概要、学修到達目標、授業の進め方、評価の仕方、履修上の注意などを説明します。				シラバスの理解と授業の内容を振り返り、ノートにまとめる(4時間)				
2	自然のしくみ1 水と大気	水と大気の循環(水資源、浄化作用)と、それに関する身近な地域課題を学びます。				水と大気の循環について事前に調べ、授業の内容を振り返り、ノートにまとめる(4時間)				
3	自然のしくみ2 岩石	岩石の循環と地質(道路、開発)と、それに関する身近な地域課題を学びます。				岩石の循環と地質について事前に調べ、授業の内容を振り返り、ノートにまとめる(4時間)				
4	自然のしくみ3 生態系	生物の循環と生態系(生態系サービス)、それに関する身近な地域課題を学びます。				生物の循環と生態系について事前に調べ、授業の内容を振り返り、ノートにまとめる(4時間)				
5	自然と産業の基礎1 里地里山の定義	里地里山は、農林水産業などの人間の営みにより長い年月にわたって維持されてきた二次的自然地域です。里地里山に関する基礎的なことを学びます。				里地里山の定義について事前に調べ、授業の内容を振り返り、ノートにまとめる(4時間)				
6	自然と産業の基礎2 里地里山と新炭エネルギー	地域の自然資源の利用の歴史の変遷について学びます。				松本の自然エネルギーについて事前に調べ、授業の内容を振り返り、ノートにまとめる(4時間)				
7	自然と産業の基礎3 アウトキャンパス	田植えなどの自然に関する産業を体験し、人間の暮らしのまわりの身近なところにある水辺・湿地環境について学びます。				身近な松本の農業について事前に調べ、授業の内容を振り返り、ノートにまとめる(4時間)				
8	自然と産業の展開1 自然と観光	地域の自然資源を活用した持続可能な観光などの新しい観光のあり方を探ります。				自然資源を活用した観光について事前に調べ、授業の内容を振り返り、ノートにまとめる(4時間)				
9	自然と産業の展開2 人と自然の共生	「共生」の概念についての理解を深めるとともに、自然環境保全の視点から学びます。				松本の身近な野生生物について事前に調べ、授業の内容を振り返り、ノートにまとめる(4時間)				
10	自然と産業の展開3 グローバリゼーション	グローバリゼーションが生む産業が資源や環境、私たちの生活に与える影響について、環境問題の視点から学びます。				グローバリゼーションとは何か事前に調べ、授業の内容を振り返り、ノートにまとめる(4時間)				
11	自然を活用する具体的な提案1 地方創生と持続可能性	地域づくりを進めるための自然資源の活力向上について考えるとともに、現状と課題を見つめます。				地域づくりについて指定する参考書を読んでおき、授業を振り返りノートにまとめる(4時間)				
12	自然を活用する具体的な提案2 生物多様性保全と農業	具体的な事例(野生生物の野生復帰と環境創造型農業等)をもとに、自然環境を考える農業の取組について学ぶとともに、現状と課題を見つめます。				生物多様性について指定する参考書を読んでおき、授業を振り返りノートにまとめる(4時間)				
13	自然を活用する具体的な提案3 野生動物管理と産業	里地里山の衰退と急増する野生動物を踏まえて地域づくりにおける野生動物(管理)を考えるとともに、現状と課題を見つめます。				有害鳥獣駆除について指定する参考書を読んでおき、授業を振り返りノートにまとめる(4時間)				
14	自然を活用する具体的な提案4 自然災害と復興	自然災害からの復興の事例をもとに、自然環境保全と市民参加を通じた地域産業の新たな構築を考えるとともに、現状と課題を見つめます。				自然災害について指定する参考書を読んでおき、授業を振り返りノートにまとめる(4時間)				
15	総括と補論	自然の開発と保護の観点から持続可能な成長を志向した新たな産業のあり方を探ります。				自分の意見を小レポートとしてまとめる(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
教科書は指定しません。				<p>受講態度：40% 定期試験：60%</p> <p>受講態度は、授業中にワークシートを配り提出回数とその内容を評価に加味します。S:授業内容を自主学習から深く探求した上で、実際の社会現象に対して課題と解決の視点を明確かつ現実的に述べることができる。A:授業内容を理解し、社会現象に対する課題抽出および解決の意見を明確に述べることができる。B:授業のおおよそを理解し、その課題と解決策を述べることができる。C:授業内容の6割を理解し、課題が何か述べるができる。</p>						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
必要に応じて本講義中に参考となる学術論文、書籍を紹介します。				1年生の皆さんにとって大学の講義は時間が長いうえ、内容も正解がひとつでなく複雑で深い学びとなります。身近な事例や時事問題を扱いますので、日頃より地理的理解を深め、普段からニュースを見ましょ。						

科目名	環境問題B（観光）			学年学期	1年後期	単位数	2	ナパリング	UL13502	研究室	W-15
担当者	田開 寛太郎			必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日3限、火曜日3限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）						
		A	B	C							
授業概要											
地球環境問題は全ての人々が被害者であり加害者である、とても複雑に絡み合った問題です。特に近年の地球温暖化、人口爆発、生物種の減少は、地球の歴史上類を見ないスピードで進んでおり、環境の急激な変化が人の生活へ与える影響がとても大きいとされます。本講義では、はじめに本来の自然の生態系のしくみを理解し、次にグローバルな視点からデータを基に環境の現状を捉えつつ、最後に組織や個人が何をすべきかという課題を取り上げます。											
学修到達目標											
さまざまな環境問題に対して私たちは今一体何をしたらよいかについて、自身の生活や経験と関連付けながら考えることが出来るようになることを目指します。											
授業の進め方											
テキストを横断的に使用し、補足としてレジュメ程度の配布資料（参考資料）、プレゼンテーションや映像動画などの各種教材を使いながら講義を進めます。試験学習はテキストを利用してください。レポートの内容は授業時にフィードバックを行います。											
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	今なぜ環境の時代か	環境問題が世界的なテーマとして議論され久しいですが、全ての人に関わる問題としてどのような視点から学ぶか説明します。					テキスト第1章を読む。配布資料を復習する（4時間）				
2	データから見る地球環境問題	21世紀になり地球環境問題に関するデータを多くの人が見ることが出来る時代となりました。その傾向と課題について学びます。					テキスト第2・3章の該当部分を読む。配布資料を復習する（4時間）				
3	地球温暖化	急激な気候変動という不安定さをもたらす地球温暖化問題について、原因や対策を考えます。					テキスト第2・3章の該当部分を読む。配布資料を復習する（4時間）				
4	地域環境問題	地域環境問題とは何か、1970年代に日本が公害先進国として名をはせた事例に基づき、地球環境問題との違いと関連性について学びます。					テキスト第2・3章の該当部分を読む。配布資料を復習する（4時間）				
5	森林破壊、水資源や海洋環境	世界規模の森林破壊、水資源や海洋環境に関する問題等を学び、国際社会が協働して解決すべき環境問題について学びます。					テキスト第2・3章の該当部分を読む。配布資料を復習する（4時間）				
6	生物多様性の減少	生物の循環システムを学ぶとともに、著しく生物多様性が減少している現代の問題についてデータをもとに考えます。					テキスト第2・3章の該当部分を読む。配布資料を復習する（4時間）				
7	廃棄物問題	日本の廃棄物処理の現状について、データをもとにその問題と解決方法について学びます。					テキスト第2・3章の該当部分を読む。配布資料を復習する（4時間）				
8	エネルギー問題	日本のエネルギー自給率は世界的にみると低く、エネルギーがもつ性質や問題点、対策について学びます。					テキスト第2・3章の該当部分を読む。配布資料を復習する（4時間）				
9	震災関連・放射性物質	東日本大震災以降、災害廃棄物の処理、原発事故で放出された放射性物質による環境汚染の現状と課題、その対処を学びます。					テキスト第2・3章の該当部分を読む。配布資料を復習する（4時間）				
10	農と食料、地球資源の枯渇	グローバルな時代において、安心安全の食への課題や、魚や植物などの資源の枯渇が課題となっていることを学びます。					テキスト第2・3章の該当部分を読む。配布資料を復習する（4時間）				
11	解決に向けて1 国際的な環境への取組み	1970年以降、世界会議が10年に1度行われるなど、国を超えた環境への取組みがあることを学び、我が国の姿勢を考えます。					第3章の該当部分を読む。配布資料を復習する（4時間）				
12	解決に向けて2 企業・社会の環境への取組み	産官学民が進める環境への対応について例を挙げ、知識を得るとともに、今後の課題について考えます。					第3章の該当部分を読む。配布資料を復習する（4時間）				
13	解決に向けて3 ライフスタイルと環境	個人でできる、家族で取り組む身近な環境対策のあり方について紹介し、取り組み方法を考えます。					第4章の該当部分を読む。配布資料を復習する（4時間）				
14	解決に向けて4 環境教育と持続可能な開発のための教育	環境問題を解決するための方法の一つとして教育がありますが、持続可能な開発のための教育とは何かを、環境教育と合わせて学びます。					第4章の該当部分を読む。配布資料を復習する（4時間）				
15	まとめ	日本および長野県における環境問題を再度整理し、地球環境問題との関連や今後の課題について学びます。					小レポートを作成する（4時間）				
テキスト						成績評価の方法・基準					
「ECO検定公式テキスト改訂新版」東京商工会議所編著（日本能率協会マネジメントセンター）各自で購入してください。テキストを用いて授業を進めますので必ず購入ください。						定期試験：70% レポート：30% S：内容を高度に理解し、実社会での出来事と地球規模の課題を関連付け、批判的な視点を持ちながら、正確に文章で表現することができる。A：探求姿勢を持って課題に取り組み、内容を正確に理解し、各要素を関連付けた視点で、正確に文章で表現することができる。B：内容をおおむね理解し、要素を関連付けた視点で、文章化できる。C：授業の内容を6割以上理解し、自分の意見を文章化できる。					
参考書						履修上の注意（学生へのメッセージ）					
必要に応じて本講義中に参考となる学術論文、書籍を紹介します。						受講する人は普段から新聞を読んだり、ニュースを見たりするよう心がけてください。					

科目名	基礎統計学（総合経営学部）		学年学期	2年後期	単位数	2	ナパリング	UL23503	研究室	W-18	
担当者	林 昌孝		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日2限			
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）						
		A	B	C							
授業概要											
本講義は、データの客観的な分析手法について学ぶことを目的とします。はじめに、量的なデータおよび質的なデータを整理して検討する方法について講義します。次に、データを集約して全体像を把握する方法について学びます。また、集約された数値の見方と意味について考えます。さらに、サンプルデータを調べる事により全体像となる母集団を把握する手法について基本的な考え方と手法を学びます。											
学修到達目標											
対象となるデータの統計的な特性値を算出することができる。また、特性値をもとにデータの母集団の変化を検証する方法を修得する。											
授業の進め方											
データの整理検討をする分野では、データの分析手法の講義と演習を中心とした内容になります。データから全体像を把握する手法については講義を中心に進め、実践的な問題を解きながらフィードバックして理解を深めます。											
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	オリエンテーション	尺度とデータについての基礎知識を説明します。					シラバスとテキストのはじめページを読んでください(4時間)。				
2	量的データの整理	数値で表すことのできるデータの整理と表現方法を学びます。					テキスト（量的データの整理）を読んでください(4時間)。				
3	質的データの整理	数値で示すことのできないデータの整理と表現方法を学びます。					テキスト（質的データの整理）を読んでください。復習問題があります(4時間)。				
4	データを代表する値	データを集約して代表値として表す方法を学びます。					テキスト（統計学のキーワード・分布の特性値）を読んでください(4時間)。				
5	平均と標準偏差	平均と標準偏差の持つ意味と計算方法を学びます。					テキスト（統計量の計算）を読んでください(4時間)。				
6	統計量の計算練習	いろいろな統計量の計算方法の確認と練習をします。					テキスト（分布の特性値と計算練習・問題）を読んでください(4時間)。				
7	正規分布	データの持つ規則性を知ることによりデータの形式が変化することを説明します。					テキスト（確率と確率分布）を読んでください(4時間)。				
8	数値表の使い方	確率分布に従うデータの性質を数値表を用いながら学びます。					テキスト（一様分布と正規分布）を読んでください。復習問題があります(4時間)。				
9	信頼係数と有意水準	統計的有意性について説明して、信頼係数と有意水準の表し方を学びます。					テキスト（信頼係数と有意水準）を読んでください(4時間)。				
10	母集団と標本の定理	母集団と標本間の性質について定理をまじえて説明します。					テキスト（母集団と標本）を読んでください(4時間)。				
11	母平均の推定	標本平均から母平均を知る（推定する）方法について説明します。					テキスト（母平均の推定）を読んでください(4時間)。				
12	t分布を用いた推定	データに制約がある場合の推定方法について説明します。					テキスト（t分布と推定）を読んでください。復習問題があります(4時間)。				
13	仮説検定	統計的な仮説検定の原理と基本手順について説明します。					テキスト（仮説検定）を読んでください(4時間)。				
14	t分布を用いた仮説検定	データに制約がある場合の検定方法について説明します。					テキスト（検定の例題）を読んでください(4時間)。				
15	まとめ	よく使われる統計的仮説検定の方法について説明します。また、今後の発展分野についてまとめます。					テキスト（いろいろな統計的検定）を読んでください。復習問題があります(4時間)。				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「基礎統計学テキスト」林昌孝編著（松本大学）（生協で購入してください。）					定期試験：80% 出席レポート：20% S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書					履修上の注意（学生へのメッセージ）						
「はじめての統計学」鳥居康彦著（日本経済新聞社）ほか適時紹介します。					数学が苦手な人でも統計的な考え方は必要です。コンピュータ室を利用する都合上履修制限する場合があります。企業に所属し経営管理部門での経験を活かしています。						

科目名	ごみ処理と循環型社会		学年学期	3年後期	単位数	2	ナパ'リング	UL23504	研究室	S-24
担当者	丸山 文男・木藤 伸夫		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	火曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
持続可能な社会にするために、地球科学を学び、環境問題を科学的に学びます。さらに、一番身近な環境問題であるごみ問題を考えます。										
学修到達目標										
人間生活と環境の関りを科学的に理解し正しく対処できることを目標とします。										
授業の進め方										
教科書と配布資料を用いて授業を行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	地球環境をどうとらえるか	自然と人間の関係を整理します。				教科書1章の問題を解き復習します。(4時間)				
2	物質の循環と資源	ミクロな世界から宇宙に至る自然の組み立てを理解し、固体地球の姿を学びます。				教科書3章の問題を解き復習します。(4時間)				
3	地球と月について	地球と月のユニークな関係を学びます。				配布資料を復習します。(4時間)				
4	惑星について	太陽系天体が液体を持つ条件を学びます。				配布資料を復習します。(4時間)				
5	松本市のごみ処理施設	松本市の一般廃棄物の中間処理施設(松本クリーンセンター)と最終処分場(エコトピア山田)について学びます。				中間処理施設と最終処分場の設置の目的と現状を整理します。(4時間)				
6	ごみ処理施設整備の課題について	ごみ処理施設整備の問題と課題について学びます。				ごみ処理施設整備に対する問題点を調べます。(4時間)				
7	エネルギーと環境	エネルギーの種類とその役割を学びます。				教科書4章の問題を解き復習します。(4時間)				
8	生命の誕生と環境形成	地球上で生命が誕生し、現在の環境ができるまでを概説します。生物の進化と共に地球環境も変わってきたことを学びます。				教科書第2章を予習するとともに、配布資料を復習する。(4時間)				
9	生態系と物質循環	生態系はどのように構成されているか学び、生態系で行われる物質循環やエネルギー循環について具体的に学修します。				教科書81~84ページを予習し、配布資料を復習する。(4時間)				
10	環境問題と物質循環	これまで問題になった公害や、現在の環境問題を素材とし、物質循環の停滞や障害が、地球に生きる様々な生物の外になることを学修します。				教科書128~136ページを予習し、配布資料を復習する。(4時間)				
11	ごみや産業廃棄物の処理	ごみや産業廃棄物の処理について、物質循環の視点からもう一度見直します。自分たちが今日から取り組める活動について考えてみましょう。				自分が今行っている環境に関わる取り組みを考えてみましょう。(4時間)				
12	水と大気循環	地球規模の大気循環や気候の変化を学びます。				教科書5章の問題を解き復習します。(4時間)				
13	光と環境	太陽光と環境との関りを学びます。				教科書6章の問題を解き復習します。(4時間)				
14	人間活動と環境問題	地球温暖化問題について学びます。				教科書7章の問題を解き復習します。(4時間)				
15	核エネルギー	原子力の問題を学びます。				教科書8章の問題を解き復習します。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「地球と環境の科学」木下紀正 八田明夫著(東京教学社) ISBN:ISBN978-4-8082-5014-0(生協で購入してください。)教科書は必ず購入してください。必要に応じて資料を配布します。				定期試験:80% レポート:20% S評価は、定期試験、レポートが特に優秀な場合です。A評価は、成績評価の合計が80以上の場合で、レポートが良好な場合です。B評価は、成績評価の合計が70以上80未満の場合で、C評価は、成績評価の合計が60以上70未満の場合です。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「絵でわかる地球温暖化」渡部雅浩著(講談社)				循環型社会を構築するために、私たちが何をなすべきがしっかり考えてみましょう。叡智を結集して青く美しい地球とともに生き延びる努力をしなければいけません。						

科目名	地域環境と生態			学年学期	3年前期	単位数	2	ナパリング	UL33505	研究室	S-03
担当者	木藤 伸夫・丸山 文男			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	水曜日3限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
この講義の前半では、地球の環境がどのように形成されたか、現在の地球環境問題はどのような原因で生じているかなどを解説します。さらに、生態系の構成と、生態系がどのように維持されているかを学修し、環境の維持に微生物が果たす役割について考えます。後半では人間活動と環境問題を考えます。人間活動が原因で進む地球温暖化問題をじっくり考えていきます。さらに、異常気象のしくみを理解するために、大気と海洋の相互作用、テレコネクションについても学びます。											
学修到達目標											
前半では、地球における物質循環を理解するとともに、それに関わる微生物が地球環境の維持にいかに関与しているかという点に気がつく。後半では、天気や気候の変化における大気と海洋の役割を理解し、人間の活動と地球環境の変化の関係を理解します。											
授業の進め方											
配布資料に基づいて講義形式で授業を行います。講義内容を理解するには物理学、化学、生物学、地学などの理系基礎科目の知識が必要です。毎回小テストを行い、授業の理解度を確認します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	生物の進化と環境形成	46億年前に誕生した地球の環境がどのように変化して現在の環境になったかを解説します。「地球と生命の共進化」ともよばれる、地球環境の変化と生物進化の密接な関係を理解します。					配布資料を復習する。(4時間)				
2	地球環境の変化	近年問題になっている地球環境の変化、すなわち地球温暖化や、水質、大気、土壌などの環境汚染の原因物質は何か、汚染はどのようにして起こるのかを学びます。					配布資料を復習する。(4時間)				
3	生態系と環境の維持	生態系がどのように構成されているか、生態系による物質循環やエネルギー循環が環境保全にいかに関与するか学びます。					配布資料を復習する。(4時間)				
4	物質循環と微生物	地球レベルでの物質循環を知るために、炭素循環と窒素循環を取り上げて解説します。物質循環には生物が関与しない無機物的な循環と、生物が関与するものがあります。違いを明確に理解します。					配布資料を復習する。(4時間)				
5	極限環境微生物	微生物は地球上の様々な環境に生息していますが、特に変わった環境(高温、強酸・強アルカリなど)で生きている微生物がいること、私達の日常生活でこれらの微生物がどのように利用されているか学びます。					配布資料を復習する。(4時間)				
6	微生物による有害物質除去・分解の原理	微生物を使った環境浄化の方法、特に排水処理法、重金属汚染や有機塩素化合物などの除去、分解法などを理解します。					配布資料を復習する。(4時間)				
7	バイオレメディエーション	微生物による環境浄化(バイオレメディエーション)について学習します。原油や界面活性剤の汚染除去への応用、土壌や地下水の汚染除去が実際どのように行われているか学びます。					配布資料を復習する。(4時間)				
8	確認テスト	第1回~7回までの内容の理解度を筆記試験で確認します。					これまでに配布された資料などに基づき、講義内容を振り返っておく。(6時間)				
9	太陽系の中の地球	地球大気の起源と進化について学びます。					配布資料を復習する。課題を課し提出を求める場合があります。9回~15回まで。(4時間)				
10	大気の鉛直構造	対流圏、成層圏とオゾン層、中間圏、熱圏について学びます。					配布資料を復習する。(4時間)				
11	地球のエネルギー収支	地球のエネルギー収支を理解し温室効果について学びます。					配布資料を復習する。(4時間)				
12	地球をめぐる大気の流れ	風の吹き方を理解し大気の大循環を学びます。					配布資料を復習する。(4時間)				
13	海水の循環	海水の流れを理解し海洋と気候について学びます。					配布資料を復習する。(4時間)				
14	気候変動	エルニーニョ、異常気象について学びます。					配布資料を復習する。(4時間)				
15	地球環境	都市気候、酸性雨、地球温暖化について学びます。					配布資料を復習する。(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「絵でわかる地球温暖化」渡部雅浩著(講談社) ISBN:978-4-06-511946-4(生協で購入してください。)					定期試験:100% 地球環境を決める複数の要因をあげることができればC、それらが地球環境にどのような影響を与えるか説明できればB、地球における物質循環やエネルギー収支について説明できればA、現代起こっている様々な環境問題や環境保全、環境改善などについて、自分の考えを述べることであればS。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「地球環境46億年の大変動史」田近英一著(化学同人) ISBN:978-4-7598-1324-1 他にも講義の内容に合わせて適当な参考図書を紹介いたします。					物理、化学、生物学、地学のどれか1科目でも良いので、高校で学んだ理系科目を復習しておいて下さい。						

科目名	環境社会学		学年学期	3年後期	単位数	2	ナパリング	UL33506	研究室	非常勤
担当者	江成 康明		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
人々が生きて行くうえで欠かせないのは周囲の環境です。一番身近な家族や仲間、そして自治体や日本、世界、宇宙と環境は広がっていきます。それらと関連しながら生活するには、世の中の動向を意識しなければなりません。今の社会に何が起きているのか、どう対応しなければならぬのかを考え、自分を高めていくことが求められています。殺伐とした事件の増加やネット社会にまつわる犯罪などを例に社会学を学び、多層的に研究、発表するのが目的です。										
学修到達目標										
社会を営む時代背景やその国の環境などに自分がどう対応したらいいのかを学び、その中で自らの立ち位置を心がける。みんなが心地よく生活し、生きていくためには一人一人の思いやりや気配りが必要なことを知ることで、社会構成員の一人であることを自覚する。										
授業の進め方										
講義は毎回配布するプリントを基に教室でのディスカッションを中心に進めます。グループ討論やクロスロード(分岐点)のほか、受講生全員で創作する「情報モラ10か条」を完成させます。見分を広めるためのアウトキャンパススタディも実施します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	環境社会学とは何か?	環境といっても、「地域」だけを考えるのではなく、それを支える「人間」や「自然」にまで興味を持って対応する必要があります。授業全体の基本となる環境社会学を幅広い視点で学びます。				思い浮かべる環境社会学のイメージを事前に考えておく。(4時間)				
2	地域環境と民度の関係性	第一回授業で提出したレポートから様々な意見や提案をピックアップし、学生自身が社会の一員として環境社会学をどう捉えているかを探ります。そのうえで、人間としての役割を考えていきます。				新聞のコピーを読んで、事後に感想を書く。(4時間)				
3	ネット社会で変化する社会	日本人は思いやりや気配りのある人種と言われていました。しかし、ネット社会の到来で変化してきました。社会の動きに真剣に向き合わなければなりません。ネットで陥りやすい犯罪や危険性を学びます。				ネット関連の事件事故について、一番気になったものを考える。(4時間)				
4	ネット社会の危険性についての研究	現状では、生活や仕事をするうえでネットは欠かせません。しかし、ネットを使った犯罪が増え、反面、人との直接対話が少なくなっています。過激派組織ISやネット犯罪の愚かさを研究します。				安易にネットを使ってないかを見直す。(4時間)				
5	それぞれ違う民度のあり方	グループに分かれ、クロスロード(分岐点)をそれぞれの班で討論します。それをもとに、全体でディスカッションします。				クロスロードでの自分の意見、考え方と人の意見の相違を改めて振り返る。(4時間)				
6	続クロスロード	社会は人それぞれの民度によって安全、安心な暮らしが保たれています。しかし、クロスロードで体験するように、考え方はまちまちです。幅広い民度の意識を持つために、前回に続き話し合いを継続します。				自分の考え方による民度が正しいのかどうかを推量する。(4時間)				
7	学外専門家の特別講演	簡単で便利なネットには様々な落とし穴があります。著作権について詳しい学外専門家を招き、特別講演及び討論会を実施します。				事後に講演会の感想レポートを提出する。(4時間)				
8	(野外実習)場所は未定	地域全体が民度の高い場所を訪ね、地域環境を守るためにどのような戦略が図られているかを体験します。				事後にレポートを書く。9回目に提出する。(4時間)				
9	地球温暖化に見る人類の危機	近年の地球温暖化は異常な速度で進んでいます。今の学生が世の中の中心となり、子供を育てるころには考えられないほど自然環境が変化すると考えられます。異常気象について熟考することは必要不可欠です。				授業でのコピー以外のテーマに沿って、レポート提出する。(4時間)				
10	ネット社会を生き抜くための10か条づくり	ネットが欠かせない現実の中で、自ら犯罪に巻き込まれたり、他人に迷惑をかけるためにはどうしたらいいのかをグループで話し合い、10か条を作成します。				授業終了と同時に、当日の担当はグループ10か条を書いて提出する。(4時間)				
11	各グループの10か条発表	前回作ったグループ10か条を班の代表が発表。それをもとに、受講生全体の10か条を作り上げますので、各グループによるプレゼンが大事になってきます。				全員で作った10か条を自分なりに実践する意識を高める。(4時間)				
12	10か条の絞り込み	各グループから出てきた10か条は相当数に上ります。その中から、受講生による10か条を選択していきます。創作する難しさや楽しさを実感できるはずで。				10か条は常に心掛けておく必要があります。人にも言えるほど反復して覚える。(4時間)				
13	学外専門家の特別講義	受講生が作ったネット社会と民度10か条について、専門家の意見を聴きます。				感想をレポートにまとめて提出する。(4時間)				
14	政治の変化	国を動かすのは「政治」です。ところが政治家そのものが弱体化し、国会で討論すらしっかりできない状況です。民主主義の意義を考えながら政治の大切さを学びます。				これまでの自分と政治の関わりを考え、政治家に求める自分の意見をまとめる。(4時間)				
15	講義全体のまとめ	講義全体を振り返って総括します。				社会の中で生きていくために必要なテーマを自分なりに見つける。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
毎回プリントまたは資料を配布します。				受講態度：20% 定期試験：50% 課題：30% S:授業内容の理解度、考察力、文章の読解力、書力が秀でている。A:積極的に授業に臨み、課題に対しても自分の意見をしっかりと書ける。B:授業内容のおおよそを理解し、課題に対しても自らの主張ができる。C:授業内容を60%ほど理解でき、与えられた課題にも誠実に取り組んでいる。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
毎回プリントまたは資料を配布する。				講義ではグループ別に分けた学生の皆さんとのディスカッションを中心に進めますので積極的な参加を期待します。受講票には、名前だけでなくその日の感想や意見を必ず書いて下さい。						

科目名	キャリア入門	学年学期	1年前期	単位数	2	ナバリング	UL14101	研究室	S-12	
担当者	上野 隆幸	必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスワ-	木曜日2限			
関連資格				履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)							
	A	B	C							
授業概要										
本授業ではキャリア教育の初歩的段階として、自らのキャリアを考える上で必要となる情報を提供し、併せてこれらの情報を基に「考えてもらう」ことを目的としています。具体的には「自らのキャリアを考える上での情報提供」「実際に自らのキャリアを考える」「就職活動の基礎事項の情報提供」の3点に焦点を絞って展開します。学習到達目標に示す通り、働くことに対する初期ビジョン形成が目的のため、1年次生及び2年次生のための履修とし、教員の許可がない場合の3年次生以降の履修は認めません。										
学習到達目標										
現在の若年者の就職・労働に関する知識を修得し、大学生の就職活動の流れを理解した上で、自らの「働くこと」への初期ビジョンを形成できること。										
授業の進め方										
配布するプリントに沿って、パワーポイントによるスライドにより講義を進めます。毎回の講義においてメソフィアを用いて出席確認と小テストを実施しますのでスマートフォン、タブレット、パソコンのいずれかを持参して下さい。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	導入 - キャリアとは何か、そしてなぜ重要か -	キャリアという言葉の説明を行うとともに、本講義で扱う内容等について説明します。					「キャリア」とは何か調べて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)			
2	企業における人事管理の基盤 - 企業の社員区分制度の概要 -	人事管理の基盤システムの一つである社員区分制度について解説します。					社員区分制度とは何か調べて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)			
3	企業における人事管理の基盤 - 社員区分制度の詳細と学歴との関係 -	社員区分制度が学歴別管理とリンクしている点について説明します。					学歴別の賃金カーブについて調べて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)			
4	フリーターとしての働き方 - フリーターのタイプと所得の問題 -	フリーターの現状やタイプを説明した後、フリーターと正社員の生涯所得について説明します。					フリーターのデメリットについて調べて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)			
5	フリーターとしての働き方 - 雇用・能力開発・年金の問題 -	フリーターと正社員の違いについて、雇用の安定や老後など、所得以外の面から比較し、説明します。					国民年金と厚生年金の違いについて調べて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)			
6	産業研究 - どのような産業・業種があるのか -	社会にはどのような産業(業界)があるのかを紹介します。					自らが興味を抱く産業を理由とともに5つ考えて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)			
7	職種研究 - どのような職種・仕事があるのか -	社会にはどのような職種(仕事)があるのかを紹介します。					自らが興味を抱く職種を理由とともに5つ考えて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)			
8	転職のメリットとデメリット	転職した場合に有利になる点、不利になる点について解説します。					転職した場合に不利になる点について調べて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)			
9	ライフデザイン - 人生設計 -	人生の節目のイベントを経済的側面からみることで、生涯にどれだけのお金が必要かを解説します。					自らのライフデザインについて考えて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)			
10	働く上でのリスク	会社の倒産やリストラ、病気など、働く上でのリスクについて説明します。					企業の人員整理に関する事例を調べて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)			
11	大学生の就職活動 - 大学生の就職活動の流れ -	大学生の就職活動の大きな流れについて説明します。					就職活動に関する新聞記事を探し、読んで下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)			
12	大学生の就職活動 - データでみる大学生の就職活動 -	大学生の就職活動について、就職支援企業の調査結果を基に、その概要を説明します。					企業の採用活動に関する新聞記事を探し、読んで下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)			
13	松本大学生の就職活動	松本大学生の就職活動をデータを用いて説明します。					就職活動の流れを調べて下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)			
14	先輩たちから学ぶ就職活動	就職活動を終えた先輩方の経験談を聞きます。					先輩方に対する質問を考えて下さい。講義後、先輩方の就活成功の秘訣を考えて下さい。(4時間)			
15	講義全体のまとめ	これまでの講義内容を簡単にレビューします。					これまでの講義での不明点を確認して下さい。プリントを復習して下さい。(4時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準								
プリントを配布します。		小テスト: 55% 出席レポート: 45% 小テストと出席レポートの合計点が90点以上の場合にS、80点以上の場合にA、70点以上の場合にB、60点以上の場合にC、59点以下の場合にDとなります。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「キャリアデザイン入門 1 基礎力編」大久保幸夫著(日経文庫)		実務経験を持つ教員が担当。実務経験の内容: 民間企業において、人事担当者として採用をはじめとする人事施策全般に携わった。都道府県職員として自治体の労働政策立案に携わった。								

科目名	キャリアデザイン (総合)			学年学期	2年後期	単位数	1	ナパリング	UL24102	研究室	W-12
担当者	鈴木 智之			必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスアワー	月曜日3限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
<p>大学時代の過ごし方が、社会人としてのキャリアに影響を与えることが、国内外の研究からわかっています。本科目では、それらの理論的背景を前提としながら、自分自身がどのようにキャリアを作っていくか、という実践的な目的に重きを置きます。よって、キャリアに関する理論的理解よりも、自分自身のキャリア形成についての実践的な体感と学びが、本科目の狙いです。理論の講義とワークの実践との往復を通して、自分自身のキャリアを考え、3年次以降の学修の充実につなげます。</p>											
学修到達目標											
<p>(1)キャリアについての基礎知識を習得し、基礎用語を説明できるようになる。 (2)3年次以降、具体的な進路(就職先や進学先など)を考える際に、自分なりの基準を持って判断できるようになる。 (3)自分のキャリアについて、主体的に考えることができるようになる。</p>											
授業の進め方											
<p>講義、個人ワーク、グループワークの討議を組み合わせ進めます。また、単なる実践にならないよう、キャリアに関する理論的解説も毎回行うことで、理解を深めます。レポートは、添削や採点して返却することでフィードバックを行います。</p>											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	ガイダンス	本科目の概要を説明します。また、キャリアの定義や、なぜキャリアを考える必要があるか、について触れます。最後に、簡単な個人ワークを通して、自己分析を進めます。					ワークを完了するようにしてください。(1時間)				
2	自己理解1	自己分析の手法を解説した上で、自己分析の個人ワークに取り組みます。過去の経験を振り返りながら行います。また、自己分析における他者からの視点についても触れます。					ワークを完了するようにしてください。また、個人レポートを作成してください。(1時間)				
3	自己理解2	自己分析を行う上で、価値観について着目して、先行研究の理論的解説を行います。その後、個人ワークによって、自己の価値観について考察します。					ワークを完了するようにしてください。また、個人レポートを作成してください。(1時間)				
4	自己理解3	自己分析を行う上で、職業興味について着目し、先行研究の理論的解説を行います。その後、個人ワークによって、自己の職業興味について考察します。					ワークを完了するようにしてください。また、個人レポートを作成してください。(1時間)				
5	自己理解4	自己分析を行う上で、レジリエンスについて着目し、先行研究の理論的解説を行います。その後、個人ワークによって、自己のレジリエンスについて考察します。					ワークを完了するようにしてください。また、個人レポートを作成してください。(1時間)				
6	キャリア形成事例の発表	キャリア形成に関する個人レポートをもとに、グループでディスカッションを行います。また、発表をしてもらいます。					グループでレポートの振り返りをしてください。(1時間)				
7	自己理解5	自己分析を行う上で、人生の節目について着目し、先行研究の理論的解説を行います。その後、個人ワークによって、自己の人生の節目への考え方を考察します。					ワークを完了するようにしてください。(1時間)				
8	自己と社会との接続1	この後に講義がなされる「仕事理解」の前段として、自己と社会との接続について着目し、先行研究の理論的解説を行います。どのようにすれば、良い偶然がキャリアに訪れるか、個人ワークを通して考察します。					ワークを完了するようにしてください。また、個人レポートを作成してください。(1時間)				
9	自己と社会との接続2	この後に講義がなされる「仕事理解」の前段として、自己と社会との接続について着目し、先行研究の理論的解説を行います。活躍する社会人が、大学生の時に何をしていたか、概観します。					復習をしてください。また、個人レポートを作成してください。(1時間)				
10	仕事理解1	仕事を知る方法について解説を行います。その上で、個人ワークを行い、仕事と自己の特性との接続について考察します。					ワークを完了するようにしてください。また、個人レポートを作成してください。(1時間)				
11	仕事理解2	前回に続き、仕事を知る方法について解説を行います。その上で、個人ワークを行い、仕事と自己の特性との接続について考察します。					ワークを完了するようにしてください。また、個人レポートを作成してください。(1時間)				
12	仕事理解3	実際に、社会に存在する仕事を調べてみることを通して、仕事理解を行います。事例を通して、仕事をより深く理解します。					個人レポートを作成してください。(1時間)				
13	自己と社会との接続に関する事例の発表	自己と社会との接続に関する個人レポートをもとに、グループでディスカッションを行います。また、発表をしてもらいます。					グループでレポートの振り返りをしてください。(1時間)				
14	社会人基礎力	社会で必要とされる力としてまとめられている「社会人基礎力」を取り上げ、解説します。また、採用時に企業が重視するものについて、学術研究と企業事例の両面から解説します。					これまでの復習をしてください。(1時間)				
15	講義全体のまとめ	講義全体を振り返ります。					これまでの復習をしてください。(1時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
講義用資料・プリントを配布します。					<p>レポート：60% 出席レポート：40% S:授業内容を高度に理解して、発展的な課題に対応できる。A:授業内容を理解して、応用的な課題に対応できる。B:授業内容をおおよそ理解して、応用的な課題にほぼ対応できる。C:授業内容の6割程度を理解している。</p>						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
必要に応じて指示します。					勉強するというより、やってみる、ということに重きを置きますので、自分のペースで取り組んでください。【実務経験のある教員が担当】経営コンサルティング会社に勤務し、経営・人事指導に関する業務に従事した。						

科目名	キャリアデザイン (総合)		学年学期	3年前期	単位数	1	ナパリング	UL34103	研究室	非常勤
担当者	濱野 裕貴子		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスワ-			
関連資格						履修条件				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
本講義では、大学卒業後の自分のキャリアを主体的に考え、それを実現していくための手法を応用的に学んでいくことを目的としています。納得のできる進路を選択するには、自己理解を深めること、社会や職業に対する知識と自分なりの考えを持つこと、またそれらをわかりやすく他者に伝えるスキルを身に付けることなどが重要となります。本講義では、これらの知識やスキルを身に付けるために、これまでの大学生活での経験を振り返り、自己のキャリア形成のための具体的計画を行います。										
学修到達目標										
自己の将来のキャリア形成について向き合い、卒業後の進路選択や目標を実現するための計画を立て、実行に移すためのスキルを身に付けることを目標とします。特に、言語による自己表現、進路選択に伴う就職活動のための情報収集の仕方を学び得るものです。										
授業の進め方										
講義形式を主としながらも、「セルフワーク」や「解説」、さらに「社会人による講演」や「ロールプレイ」などを組み合わせながらアクティブに授業を進めます。また、毎回授業の振り返りを行い、次の授業でフィードバックします。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	自律的なキャリア形成に向けて(ガイダンス)	本講義の流れやねらい、自己のキャリア形成への向き合い方について説明します。そのうえで、就職活動準備についても概観します。				キャリアデザイン で学んだことを見直し、卒業後の目標について考えて臨んでください(1時間)				
2	自分について深く知る コンピテンシー分析	適性検査の結果を確認し、自身のコンピテンシーを把握します。キャリア形成に役立つ自己分析法のレクチャーに基づき、実際にワークに取り組みます。				自身のコンピテンシー及びワークについて周囲の社会人1名以上と意見交換してください(1時間)				
3	職業世界を知る (業界)・仕事(職種)の 理解	日本における産業(業界)や仕事(職種)について概観し、それぞれの調査方法を解説します。				授業内で紹介した情報源に実際に当たり、業界・職種についての理解を深めてください(1時間)				
4	職業世界を知る 企業調査方法の理解	企業調査を行うにあたって確認する項目や参照すべき情報源等について、解説します。				<事後課題>自身が興味を持っている企業について、詳しく調査を行ってください(1時間)				
5	日本の社会情勢と雇用・採用慣行	近年の日本の社会情勢および雇用・採用慣行を解説します。そのうえで、Webを活用した情報収集の方法について説明します。				授業後、紹介したWebツールを閲覧してください(1時間)				
6	職業世界を知る 就業体験を通じた仕事への理解	インターンシップについて学び、就業意識を高め、進路選択を明確にします。				インターンシップフェア冊子を読み、5社以上の企業研究を行ってください(1時間)				
7	自分について深く知る 強みの把握とPR	ペアワーク(他者との対話)を通して、自己の強みを客観視します。そのうえで、自身の強みを文章化する際のポイントを学びます。				<事後課題>履歴書フォーマットの自己PR欄を完成させ次週持参してください(1時間)				
8	職業世界を知る 志望意 思の把握とPR	社会で求められる、文書でのコミュニケーションについて、履歴書の作成を通して実践的に学びます。				<事後課題>履歴書フォーマットの志望動機を含めた全ての欄を完成させてください(1時間)				
9	これからの社会における キャリア形成	これからの社会においてキャリア形成をしていくにあたり、重要な考え方や情報について解説します。その上で、職業キャリア形成の第一歩としての就職活動において学生に求められることについて説明します。				受講前に、新聞等で現在の社会情勢について調べてください(2時間以上)				
10	職業世界を知る 求める人材の理解	企業の人事担当者から、社会が求める人材像、および大学時代に身につけておいてほしいことなどについて、お話を伺います。				<事後課題>講演の感想、および自身の成長展望を、400字でまとめてください(1時間)				
11	自分について深く知る 能力	自身の言語面および非言語面に関する「能力」を把握するために、能力適性テスト(SPI)の模擬試験を受験します。				SPIの授業外学修を振り返り、苦手分野の対策を十分に行って臨んでください(1時間以上)				
12	職業世界を知る コミュニケーション	模擬面接を通して、仕事や就活での口頭コミュニケーション(自己プレゼン)について実践的に学びます。				第7回、第8回の授業を振り返り、自己PRと志望動機の準備をしてください(1時間)				
13	職業世界を知る コミュニケーション	模擬GDを通して、仕事や就活での口頭コミュニケーション(合意形成)について実践的に学びます。				第12回で指示する事前課題に取り組んで臨んでください(1時間)				
14	自分について深く知る 力の分析と向上対策	能力適性テスト模擬試験の結果を振り返り、自身の能力の現状を把握します。試験解説に基づき、さらなる能力向上のための演習に取り組みます。				分野別に弱点を分析し、テキストの復習・基礎教育センターの活用を行ってください(2時間以上)				
15	まとめ	講義内容を振り返り、今後キャリア形成に向けてどのような行動を取っていくか考え、ポートフォリオを作成します。				ポートフォリオの指定箇所を完成させてください(1時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
レジュメ・資料を配布します。ポートフォリオファイルに綴って活用してください。なお、SPIの授業外学修用テキストとして、「SPI必出問題完全攻略」を配布します(購入は不要です)。		受講態度:30% 課題:40% 出席レポート:30% 課題点は提出期限を遵守(社会人マナーの実践)し、遅れた場合の評価は内容に問わず加点半分とします。 S:職業観を十分養い、自己分析が明確に伴い、他の学生への手本ともなる社会人マナーが身につけている。 A:職業観を養い、自己分析が明確で社会人マナーを理解している。 B:職業観を理解し、自己分析がある程度進み社会人マナーを理解している。 C:職業観を理解し、社会人マナーを理解している。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「マイナビ2021就職活動がまるごと分かる本」(マイナビ出版) 「キャリア心理学ライフデザイン・ワークブック」(ナカニシヤ出版) 「働き方の哲学」(Discover21) ほか		社会に出るための準備をする授業です。主体的に取り組むことが大切です。授業の一環として夏季就職対策講座への参加が必要となります。また、ポートフォリオファイルを配布します。授業の資料などを綴って保管してください。								

科目名	インターンシップ		学年学期	3年前期	単位数	2	ナバリング	UL34104	研究室	S-12
担当者	上野 隆幸		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	木曜日2限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C	2018年度～				
授業概要										
<p>企業・自治体・団体等が実施する5日間のインターンシップに参加し、実際のビジネスの現場に触れてもらいます。またインターンシップ前に事前研修を行い、企業研究やビジネスマナー等について学習してもらいます。インターンシップ終了後は事後研修として自らの経験を振り返ってもらい、その成果や自らの成長を報告会にて発表してもらいます。これらを通じて社会人基礎力の向上を目指します。</p>										
学修到達目標										
<p>事前研修、インターンシップ実習、事後研修を通じて、自らのキャリアについて深く考えるための情報や知識、また社会人としてのマナーやプレゼンテーション等のビジネススキルを身につけている。</p>										
授業の進め方										
<p>事前研修、インターンシップ実習、事後研修の3つに分けて実施します。本講義は前期開講科目ですが、インターンシップ実習は夏季休業中に、事後研修は後期初めに実施します。インターンシップ実習は5日間となります。</p>										
<p>授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。</p>										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	事前研修	インターンシップ実習先の企業等に提出する自己紹介書の自己PRについて、自己分析を実施した上で、自己PR文の作成方法を学びます。					講義内容に従い、自己PR文を作成してください(7時間)			
2	事前研修	インターンシップ実習先の企業等に提出する志望動機について、企業研究を行うとともに、志望動機文の作成方法を学びます。					講義内容に従い、志望動機文を作成してください(7時間)			
3	事前研修	ビジネスマナー、特に身だしなみ挨拶について学びます。					テキストの指示部分を講義前・講義後に熟読して下さい。(6時間)			
4	事前研修	ビジネスマナー、特にメールや電話での対応も含めたコミュニケーションスキルについて学びます。					テキストの指示部分を講義前・講義後に熟読するとともに、課題を作成して下さい。(6時間)			
5	直前研修	インターンシップ中の課題、インターンシップ後の課題について学びます。併せてインターンシップに参加する上での注意点についても説明します。					テキストの指示部分を講義前・講義後に熟読するとともに、課題を作成して下さい。(6時間)			
6	インターンシップ実習	インターンシップの派遣先企業等において、5日間、実際の業務に従事し、「ビジネス」について学びます。					担当した仕事を振り返り、反省を日報に記入し、企業等へ提出してください(5日×2時間=10時間)			
7	事後研修	インターンシップを振り返り、学び得たことを確認します。また報告会向けのPPT資料の作成方法を学びます。					報告会に向けての資料(PPT)を作成し、大学へ提出してください。(6時間)			
8	事後研修	インターンシップを振り返り、学び得たことを確認します。また大学が発行する報告書向けの資料の作成方法を学びます。					報告書向けの資料(WORD)を作成し、大学へ提出してください。(6時間)			
9	インターンシップ報告会への参加	インターンシップ報告会に出席の上、発表またはポスター展示のいずれかの形でインターンシップの成果を報告します。					報告会に向けての資料準備、報告準備を行って下さい(6時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
講義内で必要に応じてプリント、テキスト等を配布します。					<p>課題：100% P：インターンシップ先での実習、事前研修・直前研修・事後研修への参加、報告会での発表または展示、のすべてがなされ、併せて学修到達目標を達成している。</p>					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
必要に応じてプリント、資料等を配布します。					<p>本授業の性格から、すべての授業に参加することを履修の条件とします。また講義とは別に実施する説明会(4月上旬開催予定)に参加していない場合は履修できません。【主として実践的教育から構成される授業科目】</p>					

科目名	ワークインフォメーション		学年学期	4年後期	単位数	2	ナパリング	UL44105	研究室	W-29
担当者	畑井 治文		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	火曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
本講義では、これから「社会人として、そして労働者として働く」皆さんに対して、働く際に生じる諸問題を克服し、より良い働き方を 実現してもらうための情報を提供していきます。例えば、働くことに関連する法律、仕事と生活のバランスの取り方、社会保険の 仕組み、働くことで生じた諸問題の解決方法、万が一転職や失業した際の手続き、などを扱っていきます。										
学修到達目標										
社会で働く上で、自らを守るために必要な知識を修得することが目標です。その知識を活かしながら、自ら考えて判断し、行動できる力 を身につけることが最終的な目標です。										
授業の進め方										
毎回配布するプリントに沿って講義を進めます。なお、授業内でミニレポートを課すこともあります。授業内で実施した小テストについ ては、添削・返却・解説といった方法でフィードバックをする予定です。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	講義の内容や進め方について説明します。				働く上での不安をあらかじめ考え てきて下さい。プリントを復習し て下さい。(4時間)				
2	日本の労働市場の現状と今 後	日本の労働力人口の推移と今後の労働市場について説明します。				労働力人口減少の問題点について 調べてきて下さい。プリントを復 習して下さい。(4時間)				
3	労働法概論 - 様々な労働 関連法規 -	労働に関わる法律を広く浅く紹介します。				労働に関わる法律について調べ てきて下さい。プリントを復習し て下さい。(4時間)				
4	労働基準法 - 最低賃金 と賃金支払原則 -	労働基準法の「最低賃金」「賃金支払原則」等に関わる扱いについて説 明します。				労働基準法第三章を読んできて下 さい。プリントを復習して下さい 。(4時間)				
5	労働基準法 - 割増賃金 ・平均賃金・賞与 -	労働基準法の残業時の「割増賃金」やその根拠となる「平均賃金」等 について説明します。				労働基準法第三七条・第三八条を 読んできて下さい。プリントを復 習して下さい。(4時間)				
6	労働基準法 - 解雇・労働 時間・休憩時間 -	労働基準法の解雇や労働時間等について説明します。				労働基準法第二章を読んできて下 さい。プリントを復習して下さい 。(4時間)				
7	労働基準法 - 休日休暇 -	労働基準法の休日や休暇について説明します。また、これまでの授業へ の理解を深めるために小テストを実施します。				労働基準法第四章を読んできて下 さい。プリントを復習して下さい 。(4時間)				
8	ワークライフバランスの必 要性	ワークライフバランスの考え方が必要とされる様々な理由について説明 します。				育児休業について調べてきて下 さい。プリントを復習して下さい 。(4時間)				
9	ワークライフバランスの実 際	企業や政府が実施する各種ワークライフバランス施策について解説しま す。				WLB施策について調べた上で整理 をしてきて下さい。プリントを復 習して下さい。(4時間)				
10	労使関係と労働相談	職場でトラブルに遭った際や悩みが大きくなった際の相談窓口等につい て説明します。				ハラスメントに対する公的相談窓 について調べてきて下さい。プリ ントを復習して下さい。(4時間)				
11	社会保険 - 雇用保険・労 災保険 -	法定労働保険である雇用保険と労災保険について説明します。				雇用保険と労災保険について調べ てきて下さい。プリントを復習し て下さい。(4時間)				
12	社会保険 - 厚生年金保険 ・健康保険 -	法定社会保険である厚生年金保険と健康保険について説明します。				厚生年金保険と健康保険について 調べてきて下さい。プリントを復 習して下さい。(4時間)				
13	転職のデメリット - 転職す べきか否か -	終身雇用制度における転職することのデメリットについて説明します。				日本の転職者の現状について調べ てきて下さい。プリントを復習し て下さい。(4時間)				
14	退職・失業の際の手続き -	退職時や再就職時の手続きについて、雇用保険、年金保険、健康保険、 税金を中心に説明します。				退職をする際に必要な諸手続きに ついて調べて下さい。プリントを 復習して下さい。(4時間)				
15	講義のまとめ	講義で扱った事項に関して、再度まとめの説明を行います。また、これ までの授業への理解を深めるために小テストを実施します。				これまでに配布したプリントすべ てを復習して下さい。(4時間)				
テキスト			成績評価の方法・基準							
講義用プリントを配布します。			出席レポート：60% 小テスト：40% S：授業内容を高度に理解して発展問題・課題が解ける。A：授業内容を理解し て応用問題・課題が解ける。B：授業内容をおおよそ理解して応用問題・課題が ほぼ解ける。C：授業内容の6割程度を理解している。							
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「初任者・職場管理者のための労働基準法の本」労務行政研究所編(労務行 政研究所)			【実務経験のある教員が担当】実務経験の内容：自治体のシンクタンクに勤務 し、労働政策の立案に従事。							

科目名	経営学総論 B (観光)		学年学期	1年前期	単位数	2	ナバリング	TL15001	研究室	W-29
担当者	畑井 治文		必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスア-	火曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
本講義では、経営学の基礎について学んでいきます。経営学の主な対象は企業です。企業が公正かつ効果的なマネジメントを行う上で、どのように戦略を立て、組織を作り、人を動かすのかという経営学の基礎的な概念と理論を解説していきます。										
学修到達目標										
経営学が扱う様々な論点を理解し、これから経営学を学んでいく上での関心を広げられるようになること、経営学の基礎的な概念と理論を理解し、それらを用いて具体的な経営現象について議論できるようになること、経営学の各分野について知り、2年次以降に専門科目として学修する内容を自ら選べるようになることが目標です。										
授業の進め方										
講義用プリントを配布して授業を進めます。教室での講義となりますが、可能な限り、インタラクティブな授業を展開するように心がけます。授業内で実施した小テスト・課題などについては、添削・返却・解説といった方法でフィードバックをする予定です。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	授業概要、学修到達目標などについて説明します。また経営とは、経営学とは何かについて解説します。				今回の内容を復習すると同時に、会社の社会的責任について調べてきて下さい。(4時間)				
2	会社の目的と社会的責任とは	会社の目的に関する諸説、会社に求められる社会的責任の考え方について解説します。また会社の社会貢献活動の実例なども紹介します。				今回の内容を復習すると同時に、株式会社の特徴について調べてきて下さい。(4時間)				
3	会社はどのように社会に役立っているのか	資本の証券化、有限責任、会社機関の設立などに表される「株式会社の仕組み」について解説した上で、会社がどのように社会に役立っているのかを示します。				今回の内容を復習すると同時に、競争戦略について調べてきて下さい。(4時間)				
4	会社はどのように方針を立てるのか	戦略を構築するまでのプロセスを整理した上で、競争戦略(他社とどのように戦うべきか)について解説します。				今回の内容を復習すると同時に、PPMについて調べてきて下さい。(4時間)				
5	会社はどのように方針を立てるのか	事業ポートフォリオの考え方を整理した上で、PPMや製品・市場マトリクス(どのような事業を選択するべきか)について解説します。				今回の内容を復習すると同時に、組織を動かすためのポイントを考えてきて下さい。(4時間)				
6	会社はどのような組織で動いているのか	組織に必要な要素、組織構造の規定要因、組織の基本形態について解説します。皆さんの身の回りにある組織と関連づけながら、組織を円滑に動かすためのポイントなども紹介します。				今回の内容を復習すると同時に、社員の意欲を上げるための工夫を考えてきて下さい。(4時間)				
7	会社はどのように社員を働かせるのか	内容理論やプロセス理論などのモチベーション理論について解説します。また社員のモチベーションを上げるために重要な役割を果たす、リーダーシップのあり方なども紹介します。				今回の内容を復習すると同時に、次回実施される小テストに備えて下さい。(4時間)				
8	中間のまとめ	映像資料を用いながら、これまでの内容を振り返ります。また授業への理解を深めるために小テストを実施します。				小テストを復習すると同時に、企業が社員に与える報酬について調べてきて下さい。(4時間)				
9	会社はどのように社員に報いるのか	総額賃金管理、個別賃金管理について解説します。また日本企業の賃金制度の実例や賃金の社会的相場なども紹介します。				今回の内容を復習すると同時に、SCMについて調べてきて下さい。(4時間)				
10	会社はどのようにモノを作るのか	効率的な生産を実現するために、企業が行っている取り組みについて解説します。				今回の内容を復習すると同時に、市場細分化の基準について調べてきて下さい。(4時間)				
11	会社はどのようにモノを売るのか	マーケティングの定義を踏まえながら、市場細分化の基準、標的市場の選定ポイントについて解説します。				今回の内容を復習すると同時に、印象に残るプロモーションを列挙してきて下さい。(4時間)				
12	会社はどのようにモノを売るのか	標的市場に働きかけるための戦略(製品戦略、価格戦略、プロモーション戦略、流通経路・立地戦略)について解説します。				今回の内容を復習すると同時に、財務諸表について調べてきて下さい。(4時間)				
13	会社の経営状況をどのように見るべきか	貸借対照表、損益計算書の読み方について解説します。2つの書類をもとに会社の経営状況を知るためのポイントなどを紹介します。				今回の内容を復習すると同時に、財務分析について調べてきて下さい。(4時間)				
14	会社の力をどのように診断するべきか	収益性分析、効率性分析、安全性分析など、財務分析の各手法について解説します。				今回の内容を復習すると同時に、次回実施される小テストに備えて下さい。(4時間)				
15	講義全体のまとめ	定期試験対策プリントを用いながら、これまでの内容を振り返ります。また授業への理解を深めるために小テストを実施します。				小テストを復習すると同時に、定期試験に備えて下さい。(4時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
講義用プリントを配布します。		出席レポート:20% 小テスト:30% 定期試験:50% S:授業内容を高度に理解して発展問題・課題が解ける。A:授業内容を理解して応用問題・課題が解ける。B:授業内容をおおよそ理解して応用問題・課題がほぼ解ける。C:授業内容の6割程度を理解している。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「やさしい経営学」海野博・所伸之編著(創成社)		自分が働いている場所が「どのような仕組み」で動いているのか、これを知らずして安心して働くことはできませんよね。働く人の立場から「経営学」を見ることが、講義への興味が膨らむと思います。								

科目名	法学B(観光)		学年学期	1年前期	単位数	2	ナバリング	TL15002	研究室	W-33
担当者	増尾 均		必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日4限、木曜日2限		
関連資格	中一(社会)、高一(公民)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
現代社会は多くの法律によって規律されていますが、個々の法領域ではさまざまな問題が生じています。本講義では、特に身近な法律を取り上げ、その法律の果たす役割と機能だけでなく、それぞれの法領域が抱えている諸問題を学んでもらいます。										
学修到達目標										
社会のさまざまな問題の現状と法律を学び、問題を法的に解決できる能力を身につけ社会の発展に寄与できるようになることを目的としています。										
授業の進め方										
本講義は、テキストを中心に講義室で行いますが、必要に応じてプリントを配布したり、その時々で話題となっている事件を講義材料として扱うこともあります。適宜、修得状況を確認する目的で小テストを行い、その結果を学生にフィードバックします。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	授業の進め方、法律を学ぶ意義、各種法律の位置づけ				事前に法律の種類を調べ、事後には位置づけを理解する。(4時間)				
2	法律とは	法律と似ている自然法則・宗教・道徳との違いを学ぶ。				事前にルールとは何かを考えてまとめる。事後学修として、違いを整理して理解する。(4時間)				
3	法源	成文法と不文法の種類と特徴				事前に法源の種類を調べる。事後学修として、それぞれの特徴を体系的に学ぶ。(4時間)				
4	法の適用	法律をどのように適用するか、どのように解釈するか				事前に適用する上での問題点を考えてまとめる。事後学修として、法的対応を理解する。(4時間)				
5	契約の自由	契約自由の原則と契約の種類				事前に契約をリスト化する。事後学修として、各契約の違いを整理する。(4時間)				
6	損害賠償	損害賠償の範囲・手続きなどを具体的に学ぶ				事前にどのような場面で利用できるか考えておく。講義後、法制度を整理してまとめる。(4時間)				
7	カードの仕組み	我が国のカードの種類と仕組み・法律上の問題点				事前学修として、カードの種類を調べる。事後学修として、現行法制度を理解する。(4時間)				
8	復習テスト	7回の授業の習熟度を理解してもらうため30分の小テストを行い、終了後詳細な解説をする。				事前に今までの復習を再度行う。事後学修として、理解が不十分であった所を学ぶ。(4時間)				
9	自己破産制度	自己破産の意義と手続き				事前に人はどうして自己破産するか調べる。事後学修として、制度についてまとめる。(4時間)				
10	夫婦と法	結婚と離婚を中心に夫婦に関する法律を学ぶ				事前に夫婦間で起きるトラブルをまとめておく。講義後、さまざまな法制度を理解する。(4時間)				
11	親子と法	親子に関する法律を学ぶ				事前に親子間で起きるトラブルをまとめておく。事後学修として、法的規制を整理する。(4時間)				
12	交通事故	交通事故における刑事上の責任・民事上の責任・行政上の責任について				事前にどのような責任がかかるか考えておく。事後学修として、責任について整理する。(4時間)				
13	我が国の裁判制度	刑事裁判と民事裁判の特徴と手続き				事前に両者について調べる。事後学修として、特徴や違いなどを整理してまとめる。(4時間)				
14	裁判員制度	国民が参加する裁判員制度の内容と国民の行うこと				事前に裁判員制度を調べる。事後学修として、裁判員の仕事を理解する。(4時間)				
15	国際法の基礎	国際慣習法と条約の役割について実例をもとに学ぶ				事前学修として、国際法とは何かを調べる。事後学修として、具体例を調べて理解する。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「フンステップ法学」目崎哲久ほか著目崎哲久・國友順市編(嵯峨野書院) ISBN:978-4-7823-0551-5(生協で購入してください。) 「ポケット六法」井上正仁・能見善久ほか編(有斐閣) ISBN:9784641009158(生協で購入してください。)				出席レポート:10% 定期試験:90% Sは授業内容を高度に理解して課題や発展の問題が解ける。Aは授業内容を理解して応用問題や課題が解ける。Bは授業内容をおおよそ理解して応用問題や課題がほぼ解ける。Cは授業内容の6割程度を理解している。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「法律学への誘い」伊藤眞著(有斐閣) ISBN:4-641-02784-6				身近で利用頻度の高い法律を学ぶ以上、常に問題意識を持って授業に臨み、今後の大学生活および社会生活に役立ててください。講義計画に該当する内容をテキストから探し、事前に読んでおいてください。						

科目名	地域づくり概論			学年学期	1年後期	単位数	2	ナバリング	KL15003 TL15003	研究室	W-34
担当者	白戸 洋			必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー	金曜日3限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C	~2019年度 地域社会						
授業概要											
この講義は、総合経営学部の必修科目として、今後、経営、観光や福祉・地域などを学んでいくうえで、重要となる「地域」に対する、基本的な考え方や姿勢を育てていくことを目的とします。講義では、毎回レポートを作成し次の講義でその内容についてフィードバックを行う。											
学修到達目標											
地域とは何かという基本的な概念や地域に対する理解を図る 地域と自らの関係について考え地域社会の主体者としての自分を自覚する 現在の地域の現状を理解するとともにそれを取り巻く国内、あるいは国際的な社会経済システムを明らかにする 今後の地域のあり方を考える											
授業の進め方											
地域に関する基礎知識と事例研究などを組み合わせ配布したプリントによって進めます。またフィールドワークとそのまとめのグループワークも行ないます。さらに毎回の出席レポート提出とそれに対するコメントを通じてフィードバックを行います。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	地域とは何か ~ 自分からはじめ「地域」	地域の概念を学ぶ					講義に対する学習目標を検討しレポート作成 2時間				
2	むらづくり、まちづくりの背景と求められること	むらづくり、まちづくりの背景と課題・松本駅アルプス口のまちづくり					関連資料を収集 2時間 地域の概念に関するレポート作成 2時間				
3	地域の直面する課題	地域の抱える現代的課題と解決の方向性					関連資料を収集 2時間 地域の現状に関するレポート作成 2時間				
4	女性とまちづくり	地域づくりにおける女性の役割・入山辺地域のまちづくりの事例研究					関連資料を収集 2時間 地域と女性に関するレポート作成 2時間				
5	事例研究 ~ 新村の地域づくりを考える	農村地域の事例として新村の地域づくりを学ぶ					関連資料を収集 2時間 講義テーマに関するレポート作成 2時間				
6	うるさいおじさん、おばさんはいるか? ~ 子ども・若者と地域	子どもや若者が抱える課題と地域における役割を考える					関連資料を収集 2時間 子ども・若者に関する事例を研究 2時間				
7	フィールドワーク・地域の宝物を探そう	対象地域を選定し地域の資源や課題を掘り起し					対象地域に関して事前に情報を収集・フィールドワークの結果を報告書にまとめる 4時間				
8	「豊かさ」の実態 ~ グルメは世界を食い潰す	食糧問題や食糧自給等の現状から豊かさを見直す					関連資料を収集 2時間 食糧問題に関するレポート作成 2時間				
9	君たちは幸せだろうか ~ 子どもから考える豊かさと貧困の構造	子どもをめぐる世界の問題を通じて豊かさと貧困を考える					関連資料を収集 2時間 豊かさと貧困に関するレポート作成 2時間				
10	ソロモン諸島から学ぶ地域と豊かさ	ソロモン諸島の経済変容を通じて豊かさの意味を考える					関連資料を収集 2時間 豊かさの意味に関するレポート作成 2時間				
11	グループワーク 1 ~ 地域の課題を把握する	フィールドワークの結果を踏まえ地域の資源や課題を整理する					グループワークの結果を検証 4時間 次回に向けての論点整理 2時間				
12	グループワーク 2 ~ 地域づくりを提案する	フィールドワークの結果を踏まえ地域づくりについて提言する					グループワークの結果を検証 2時間 グループワークの振り返り 2時間				
13	地元の地域の課題を調査する	修了レポート作成に向けて地元地域について調査を行う					対象地域に関して事前に情報を収集・調査結果を報告書にまとめる 4時間				
14	新しい経済のあり方を考えよう	地域の新しい経済循環やコミュニティビジネスの可能性					関連資料を収集 2時間 新しい経済に関するレポート作成 2時間				
15	よそ者、ばか者、若者 ~ 地域は若者に期待する!!	若者が地域で果たす役割とは					試験に向けて今後自らが同地域にかかわるか検討 4時間				
テキスト				成績評価の方法・基準							
毎回プリントを配布します				出席レポート: 50% レポート: 30% 定期試験: 20% S: 講義内容を活かして地域社会に対して自らのビジョンにもとづき働きかけができる A: 講義内容を十分に理解し地域社会に対する自分なりのビジョンを持つ B: 講義内容を十分に理解し地域社会に関心を持つ C: 講義内容をおおむね理解する							
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「松本大生がかかわったまちづくり」白戸ゼミナール編(松本大学出版会)				地域社会の住民の一人である自分自身の問題として主体的な意識と姿勢を持って講義に参加してほしい。【実務経験のある教員が担当】開発コンサルタント企業やNPOで国内外の地域づくりの調査・研究・計画づくり・実施を行った。							

科目名	簿記（基礎）Aクラス		学年学期	1年後期	単位数	1	ナパリング	KL15004 TL15004	研究室	W-16	
担当者	田中 浩		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスアワー	月曜日4限、木曜日1限			
関連資格	高一(商業)				履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
簿記論の全体像を把握すると同時に、実際の帳簿記入を通じて、現実の経営活動において求められる簿記処理能力の向上を目指します。											
学修到達目標											
基本用語、基礎概念、財務諸表の作成、仕訳、勘定記入など簿記の基本事項に精通し、基本的な経理能力と高い計算能力を身に着けます。簿記や経営経済系の資格取得に寄与し、さらに実社会でも運用する簿記技法を修得します。											
授業の進め方											
用語や概念、計算方法を解説しつつ、あわせて計算事例を使用しながら進めます。特に学生諸君が自ら計算を行なう機会を設けることで、計算能力の向上につながるように配慮します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	簿記を学ぶにあたって	簿記の意義 種類 役割 会計期間 簡単な計算問題					簿記とは何かを調査しておく 計算練習プリントを解答する。 2時間				
2	貸借対照表と損益計算書	資産 負債 費用 収益 財務諸表の形式 損益計算					B/S、P/Lとは何か調べておく。 練習問題で利益額を計算してみる 2時間				
3	利潤計算の原理	資産 負債 費用 収益 財務諸表の形式 損益計算					期首、期中、期末、フロ、ストック について調べておく。練習 プリントを解答する。2時間				
4	仕訳と転記	仕訳 仕訳帳 総勘定元帳 記入方法					仕訳と勘定の関係を調べておく。 転記問題の練習プリントを解答す る。2時間				
5	試算表と決算	試算表の役割 種類 検証機能と限界 決算の意味 締切方法 精算表					試算表とな何か調べておく。 試算表を作成してみる。2時間				
6	簿記一巡の復習	仕訳・転記から試算表・精算表の作成まで まとめ小テスト					練習課題を解き、計算結が一致す るまで繰り返すこと 2時間				
7	現金	現金 出納帳 現金過不足					簿記上の現金とは何か調べておく。 現金過不足の練習プリントを解 答する。2時間				
8	当座預金	当座預金 出納帳 当座借越					当座預金とは何か調べておく。 当座借越についての練習プリント を解答してみる。2時間				
9	小口現金	出納帳 仕訳					小口現金とは何か調べておく。 出納帳の練習プリントを解答して みる。2時間				
10	商品売買	分記法 三分法					分記法について復習しておく。 三分法の練習プリントを解答して みる。2時間				
11	仕入売上1	仕入帳 売上帳 商品有高帳(先入先出法)					商品売買の基本形を調べておく。 有高帳の練習プリントを解答して おく。2時間				
12	仕入売上2	商品有高帳(平均法)					平均値の計算法を調べておく。 有高帳の練習プリントを解答する 。2時間				
13	仕訳と計算	期中仕訳 間違えやすい勘定科目 計算ミスについて					これまでの仕訳をすべて復習して おく。仕訳プリントを解答する。 2時間				
14	売掛金 買掛金	掛金元帳 買掛金元帳 売掛金明細表 買掛金明細表					掛けとは何か調べておく。明細表 のプリントを解答する。2時間				
15	総まとめ	簿記一巡 各種仕訳 各種帳簿の作成など まとめ小テスト					全勘定科目を整理しておく。仕訳 、帳簿記入の練習プリントを解答 する。2時間				
テキスト				成績評価の方法・基準							
各クラスごとに指示します。				出席レポート：30% 小テスト：70% S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をも って課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。a：授業内容を理解し、積極的 な探求姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。b：授業内容のお およそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。c：授業 の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した 例題と同レベルの問題が解ける。							
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「財務会計」広瀬義州著(中央経済社)				電卓を使用して課題を解き、ディスカッションを行い、その結果をレポートして もらいます。メソフィア・プリントによる小テストをします。スマホ等を持参 してください。レポート、小テストに関して適時フィードバックを行います。							

科目名	簿記（基礎）Bクラス		学年学期	1年後期	単位数	1	ナパリング	KL15004 TL15004	研究室	非常勤
担当者	吉澤 稔		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスワ-			
関連資格	高一(商業)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
簿記論の全体像を把握すると同時に、実際の帳簿記入を通じて、現実の経営活動において求められる簿記経理処理の能力を向上させることを目的とします。入学時に、簿記会計の3級程度の知識があることを前提に、簿記会計の全体像を中級レベルで講義します。										
学修到達目標										
基本用語、基礎概念、財務諸表の作成、仕訳、勘定記入など簿記の基本事項に一層精通します。資格取得に寄与し、さらに実社会でも運用する簿記技法を修得します。										
授業の進め方										
用語や概念、計算方法を解説しつつ、あわせて計算事例を使用しながら進めます。特に学生諸君が自ら計算を行なう機会を設けることで、計算能力の向上につながるよう配慮します。またミニテストを実施し講義内で返却することでフィードバックします。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	簿記一巡の手続きと財務諸表	簿記一巡の手続きと財務諸表のフォーマットの作成				事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。(1時間)				
2	現金預金と売掛金1	当座預金の銀行勘定調整表の作成				事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。(1時間)				
3	現金預金と売掛金2	クレジット売掛金の会計処理				事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。(1時間)				
4	有価証券1	売買目的有価証券と満期保有目的債券の会計処理				事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。(1時間)				
5	有価証券2	子会社株式・関連会社株式とその他有価証券の会計処理				事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。(1時間)				
6	商品売買	3分法と売上原価対立法				事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。(1時間)				
7	有形固定資産	割賦購入・修繕と改良・減価償却など				事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。(1時間)				
8	引当金	貸倒引当金・商品保証引当金・退職給付引当金・売上割戻引当金など				事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。(1時間)				
9	収益と費用	サービス業における役務収益と役務費用				事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。(1時間)				
10	株式会社の純資産1	株式会社の設立と開業				事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。(1時間)				
11	株式会社の純資産2	剰余金の配当および処分・株主資本等変動計算書の作成				事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。(1時間)				
12	税金	法人税における課税所得の計算方法・消費税の会計処理				事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。(1時間)				
13	リース会計	ファイナンスリース取引とオペレーティング取引				事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。(1時間)				
14	外貨建取引	外貨建ての営業取引、決済取引および決算日の会計処理				事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。(1時間)				
15	連結会計	資本連結における支配獲得時と支配獲得後の会計処理				事後学修として宿題プリントを解き、期末審査時に提出する。(2間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
開講時に指示します。				出席レポート：15% 課題：15% 定期試験：70% S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「財務会計」広瀬義州著(中央経済社) ISBN:4-502-25980-2 「検定簿記ワークブック2級」渡部裕旦・片山寛・北村敬子著渡部裕旦・片山寛・北村敬子編(株)中央経済社) ISBN:978-4-502-22491-1				高校在学中に商業簿記3級合格者またはそれと同等の実力者のしか受講できません。電卓を持参してください。各自必ず自宅にて計算練習を行ってください。						

科目名	簿記（基礎）Cクラス		学年学期	1年後期	単位数	1	ナパリング	KL15004 TL15004	研究室	非常勤
担当者	太田 聡		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスワ-			
関連資格	高一(商業)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
簿記論の全体像を把握すると同時に、実際の帳簿記入を通じて、現実の経営活動において求められる簿記経理処理の能力を向上させることをねらう。簿記会計の全体像を入門レベルで講義する。基本用語、基礎概念、財務諸表の作成、仕訳、勘定記入の原理を解説する。毎回ミニテスト及び課題提出を行うことで学生の理解度を確認し、その結果を講義にフィードバックする。さらに日商および全経簿記3級レベルの問題を利用することで、資格取得に寄与し、実社会でも通用する簿記技法が修得できるよう導く。										
学修到達目標										
日商簿記3級取得を目指す。										
授業の進め方										
基礎用語や基礎概念、基本的な計算方法を解説し、あわせて計算事例を使用しながら進める。特に毎回の講義後半では、学生諸君が自ら計算を行なうことで、計算能力の向上につながるように配慮する。また、下記テキスト(代金概算額3,240円)購入する。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	講義計画、簿記学習上の心構え	講義計画や簿記の資格について				簿記概要の復習 課題問題(1時間)				
2	貸借対照表	資産・負債・資本の性質の学習				問題集対応範囲:1-1~4 課題問題(1時間)				
3	損益計算書	費用と収益の性質の学習。貸借対照表と損益計算書の関係の学習				問題集対応範囲:1-5~9 課題問題(1時間)				
4	仕訳	取引の内容と仕訳の学習				問題集対応範囲:2-1~5 課題問題(1時間)				
5	仕訳帳と総勘定元帳への記入	総勘定元帳の記入方法の学習				問題集対応範囲:2-6~9、3-1~2 課題問題(1時間)				
6	決算整理	合計残高試算表の記入方法の学習				問題集対応範囲:4-1~6 課題問題(1時間)				
7	現金	現金・現金過不足の学習				問題集対応範囲:5-1~2 課題問題(1時間)				
8	預金	当座預金・小切手の学習				問題集対応範囲:5-3~4 課題問題(1時間)				
9	小口現金	小口現金出納帳の学習				問題集対応範囲:5-5~7 課題問題(1時間)				
10	分記法と三分法	分記法と三分法の違い、及び三分法による仕訳の切り方を学習				問題集対応範囲:6-1 課題問題(1時間)				
11	仕入帳、売上帳	補助簿である仕入帳・売上帳の学習				問題集対応範囲:8-1~2 課題問題(1時間)				
12	商品有高帳	先入先出法による商品有高帳の学習				問題集対応範囲:6-2~3 課題問題(1時間)				
13	商品有高帳	移動平均法による商品有高帳の学習				問題集対応範囲:6-4~6 課題問題(1時間)				
14	売掛帳・買掛帳	売掛帳・買掛帳の作成方法を学習				問題集対応範囲:7-1~4 課題問題(1時間)				
15	講義全体のまとめ	簿記一連の流れの復習				第1回~15回の内容を総復習 課題問題(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「初回講義時に指示します」				定期試験:70% 小テスト:15% 課題:15% 定期試験(100点満点)を70点換算、毎回の授業で行う小テストの成績を15点換算、毎回の授業の課題提出状況を15点換算し評価する S:100点~90点 A:89点~80点 B:79点~70点 C:69点~60点 D:60点未満						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
参考文献は後日指示する。				毎回、計算事例を使用する。電卓を持参し、必ず自ら計算を行なってみること。計算能力を養うために、講義終了後、課題として配布された問題プリントを各自解いて提出すること。						

科目名	簿記（基礎）Dクラス		学年学期	1年後期	単位数	1	ナパリング	KL15004 TL15004	研究室	W-16	
担当者	田中 浩		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-	月曜日4限、木曜日1限			
関連資格	高一(商業)				履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
簿記論の全体像を把握すると同時に、実際の帳簿記入を通じて、現実の経営活動において求められる簿記処理能力の向上を目指します。											
学修到達目標											
基本用語、基礎概念、財務諸表の作成、仕訳、勘定記入など簿記の基本事項に精通し、基本的な経理能力と高い計算能力を身に着けます。簿記や経営経済系の資格取得に寄与し、さらに実社会でも運用する簿記技法を修得します。											
授業の進め方											
用語や概念、計算方法を解説しつつ、あわせて計算事例を使用しながら進めます。特に学生諸君が自ら計算を行なう機会を設けることで、計算能力の向上につながるように配慮します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	簿記を学ぶにあたって	簿記の意義 種類 役割 会計期間 簡単な計算問題					簿記とは何かを調査しておく 計算練習プリントを解答する。 2時間				
2	貸借対照表と損益計算書	資産 負債 費用 収益 財務諸表の形式 損益計算					B/S、P/Lとは何か調べておく。 練習問題で利益額を計算してみる 2時間				
3	利潤計算の原理	資産 負債 費用 収益 財務諸表の形式 損益計算					期首、期中、期末、フロー、ストックについて調べておく。練習プリントを解答する。2時間				
4	仕訳と転記	仕訳 仕訳帳 総勘定元帳 記入方法					仕訳と勘定の関係を調べておく。 転記問題の練習プリントを解答する。2時間				
5	試算表と決算	試算表の役割 種類 検証機能と限界 決算の意味 締切方法 精算表					試算表とな何か調べておく。 試算表を作成してみる。2時間				
6	簿記一巡の復習	仕訳・転記から試算表・精算表の作成まで まとめ小テスト					練習課題を解き、計算結が一致するまで繰り返すこと 2時間				
7	現金	現金 出納帳 現金過不足					簿記上の現金とは何か調べておく。 現金過不足の練習プリントを解答する。2時間				
8	当座預金	当座預金 出納帳 当座借越					当座預金とは何か調べておく。 当座借越についての練習プリントを解答してみる。2時間				
9	小口現金	出納帳 仕訳					小口現金とは何か調べておく。 出納帳の練習プリントを解答してみる。2時間				
10	商品売買	分記法 三分法					分記法について復習しておく。 三分法の練習プリントを解答してみる。2時間				
11	仕入売上1	仕入帳 売上帳 商品有高帳(先入先出法)					商品売買の基本形を調べておく。 有高帳の練習プリントを解答しておく。2時間				
12	仕入売上2	商品有高帳(平均法)					平均値の計算法を調べておく。 有高帳の練習プリントを解答する。2時間				
13	仕訳と計算	期中仕訳 間違えやすい勘定科目 計算ミスについて					これまでの仕訳をすべて復習しておく。仕訳プリントを解答する。2時間				
14	売掛金 買掛金	掛金元帳 買掛金元帳 売掛金明細表 買掛金明細表					掛けとは何か調べておく。明細表のプリントを解答する。2時間				
15	総まとめ	簿記一巡 各種仕訳 各種帳簿の作成など まとめ小テスト					全勘定科目を整理しておく。仕訳、帳簿記入の練習プリントを解答する。2時間				
テキスト					成績評価の方法・基準						
各クラスごとに指示します。					出席レポート：30% 小テスト：70% S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。a：授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。b：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。c：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「財務会計」広瀬義州著(中央経済社)					電卓を使用して課題を解き、ディスカッションを行い、その結果をレポートしてもらいます。メソフィア・プリントによる小テストをします。スマホ等を持参してください。レポート、小テストに関して適時フィードバックを行います。						

科目名	簿記（基礎）Eクラス		学年学期	1年後期	単位数	1	ナパリング	KL15004 TL15004	研究室	W-16
担当者	田中 浩		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスアワー	月曜日4限、木曜日1限		
関連資格	高一(商業)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
簿記論の全体像を把握すると同時に、実際の帳簿記入を通じて、現実の経営活動において求められる簿記処理能力の向上を目指します。										
学修到達目標										
基本用語、基礎概念、財務諸表の作成、仕訳、勘定記入など簿記の基本事項に精通し、基本的な経理能力と高い計算能力を身に着けます。簿記や経営経済系の資格取得に寄与し、さらに実社会でも運用する簿記技法を修得します。										
授業の進め方										
用語や概念、計算方法を解説しつつ、あわせて計算事例を使用しながら進めます。特に学生諸君が自ら計算を行なう機会を設けることで、計算能力の向上につながるように配慮します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	簿記を学ぶにあたって	簿記の意義 種類 役割 会計期間 簡単な計算問題					簿記とは何かを調査しておく 計算練習プリントを解答する。 2時間			
2	貸借対照表と損益計算書	資産 負債 費用 収益 財務諸表の形式 損益計算					B/S、P/Lとは何か調べておく。 練習問題で利益額を計算してみる 2時間			
3	利潤計算の原理	資産 負債 費用 収益 財務諸表の形式 損益計算					期首、期中、期末、フロ、ストック について調べておく。練習 プリントを解答する。2時間			
4	仕訳と転記	仕訳 仕訳帳 総勘定元帳 記入方法					仕訳と勘定の関係を調べておく。 転記問題の練習プリントを解答す る。2時間			
5	試算表と決算	試算表の役割 種類 検証機能と限界 決算の意味 締切方法 精算表					試算表とな何か調べておく。 試算表を作成してみる。2時間			
6	簿記一巡の復習	仕訳・転記から試算表・精算表の作成まで まとめ小テスト					練習課題を解き、計算結が一致す るまで繰り返すこと 2時間			
7	現金	現金 出納帳 現金過不足					簿記上の現金とは何か調べておく。 現金過不足の練習プリントを解 答する。2時間			
8	当座預金	当座預金 出納帳 当座借越					当座預金とは何か調べておく。 当座借越についての練習プリント を解答してみる。2時間			
9	小口現金	出納帳 仕訳					小口現金とは何か調べておく。 出納帳の練習プリントを解答して みる。2時間			
10	商品売買	分記法 三分法					分記法について復習しておく。 三分法の練習プリントを解答して みる。2時間			
11	仕入売上1	仕入帳 売上帳 商品有高帳(先入先出法)					商品売買の基本形を調べておく。 有高帳の練習プリントを解答して おく。2時間			
12	仕入売上2	商品有高帳(平均法)					平均値の計算法を調べておく。 有高帳の練習プリントを解答する 。2時間			
13	仕訳と計算	期中仕訳 間違えやすい勘定科目 計算ミスについて					これまでの仕訳をすべて復習して おく。仕訳プリントを解答する。 2時間			
14	売掛金 買掛金	掛金元帳 買掛金元帳 売掛金明細表 買掛金明細表					掛けとは何か調べておく。明細表 のプリントを解答する。2時間			
15	総まとめ	簿記一巡 各種仕訳 各種帳簿の作成など まとめ小テスト					全勘定科目を整理しておく。仕訳 、帳簿記入の練習プリントを解答 する。2時間			
テキスト					成績評価の方法・基準					
各クラスごとに指示します。					出席レポート：30% 小テスト：70% S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をも って課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。a：授業内容を理解し、積極的 な探求姿勢をもった取り組み、やや難しい応用問題が解ける。b：授業内容のお およそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。c：授業 の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した 例題と同レベルの問題が解ける。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「財務会計」広瀬義州著(中央経済社)					電卓を使用して課題を解き、ディスカッションを行い、その結果をレポートして もらいます。メソフィア・プリントによる小テストをします。スマホ等を持参 してください。レポート、小テストに関して適時フィードバックを行います。					

科目名	経営管理論		学年学期	1年後期	単位数	2	ナバリング	TL15005	研究室	W-12
担当者	鈴木 智之		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C	~2017年度 2020年度~				
授業概要										
経営管理とは、組織が利用できる経営資源(人・モノ・金・情報など)を有効活用して、経営計画を達成するための管理活動であり、企業の経営目的を実現するためのさまざまな業務プロセスを管理する活動のことです。経営管理とはどのような機能や意味を持っているのかを解説し、経営管理の基礎的知識を習得します。また、経営管理の意義を実感できるのは経営学の全体像がわかった後であることが多いため、初学者対象という本科目の特性を考えて、経営事例を多数紹介し、意義を感じとってもらいます。										
学修到達目標										
(1)経営管理論の変遷と主要な学説を把握し、説明することができるようになる。 (2)授業で学んだことを、現実の経営問題の把握や解決に応用することができるようになる。										
授業の進め方										
経営管理論は、歴史が古く、また学ぶ内容が多岐に渡ります。その体系的理解のために、前半と後半で総括をし、また小テストで理解の促進と知識の定着を図ります。小テストは、添削や採点して返却することでフィードバックを行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	経営管理で学ぶ内容を説明します。				講義の要点を復習してください。(4時間)				
2	アメリカの管理論の変遷	アメリカにおける管理論の変遷を概略的に説明します。				科学的管理法について調べてください。講義の要点を復習してください。(4時間)				
3	古典派管理論	テーラーの科学的管理法やファヨールの管理過程論について紹介します。				管理過程論について調べてください。講義の要点を復習してください。(4時間)				
4	フォーディズムの意義	フォーディズムの仕組みとその意義について紹介します。				フォーディズムについて調べてください。講義の要点を復習してください。(4時間)				
5	人間関係論	経営管理において人間的側面をはじめ扱った人間関係論を紹介し、メイヨーとレスリスパーガーらによるホーンソン実験などを主に解説します。				人間関係論について調べてください。講義の要点を復習してください。(4時間)				
6	行動科学的管理論(1)	人はいかにして動機付けられるか、を対象とする動機付け(モチベーション)理論を紹介し、マズローの欲求階層説、期待理論などを解説します。				モチベーション理論について調べてください。講義の要点を復習してください。(4時間)				
7	行動科学的管理論(2)	リーダーシップ理論について紹介します。資質論・類型論・状況論などを解説します。				リーダーシップについて調べてください。講義の要点を復習してください。(4時間)				
8	中間総括	初回から前回まで行った講義を総括し、体系的理解を図ります。内容確認のための小テストを行います。				講義の要点を復習してください。(4時間)				
9	近代管理論	バーナードによる組織定義・協働システム・組織均衡論、サイモンの意思決定論などについて概説します。				バーナードの理論について調べてください。講義の要点を復習してください。(4時間)				
10	企業の組織形態(1)	経営組織論について概説します。ライン組織、ファンクショナル組織、ライン・アンド・スタッフ組織の特徴について説明します。				基本的な組織形態について調べてください。講義の要点を復習してください。(4時間)				
11	企業の組織形態(2)	現代の企業において採用されている職能部門制組織、事業部制組織などについて紹介します。マトリックス組織やネットワーク組織、分社化などについても解説します。				様々な組織形態について調べてください。講義の要点を復習してください。(4時間)				
12	ダイバーシティ・マネジメント	人々の多様性を大事にすべきという社会的規範の変化によるダイバーシティ・マネジメントの重要性について解説します。				ダイバーシティについて調べてください。講義の要点を復習してください。(4時間)				
13	キャリア・マネジメント	バブル崩壊以後、注目されてきたキャリア・マネジメントについて説明します。				キャリアについて調べてください。講義の要点を復習してください。(4時間)				
14	組織ストレスのマネジメント	昨今、企業において高まっている、社員のメンタルヘルスへの関心を踏まえて、企業におけるストレスの問題とその管理について説明します。				組織ストレスについて調べてください。講義の要点を復習してください。(4時間)				
15	講義全体のまとめ	全ての回の講義を総括して、体系的理解を図ります。内容確認のための小テストを行います。				小テストの準備をしてください。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
講義プリントを配布します。				小テスト:80% 出席レポート:20% S:授業内容を高度に理解して、発展的な課題に対応できる。A:授業内容を理解して、応用的な課題に対応できる。B:授業内容をおおよそ理解して応用的な課題にはほぼ対応できる。C:授業内容の6割程度を理解している。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「企業行動にみる経営学」船越克己ほか著(創成社)				前後の週の講義と関連させながら講義を行うので、継続的に出席してください。【実務経験のある教員が担当】経営コンサルティング会社に勤務し、経営・人事指導に従事した。						

科目名	マーケティング基礎B (観光)		学年学期	2年前期	単位数	2	ナパ'リング	TL25006	研究室	W-17
担当者	益山 代利子		必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスア-	木曜日2限、木曜日5限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度 (読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
マーケティングとは、顧客が真に求める商品やサービスを作り、その情報を届け、顧客がその商品を効果的に得られるようにする活動の全てを表す概念です。一般的な企業活動のうち、商品やサービスの企画・開発やブランディングから、市場調査・分析、価格設定、広告・宣伝・広報、販売促進、流通、営業などを含みます。この講義では、様々な企業の実践例を通し、売れる商品の製作や売り方、そのための調査手法などマーケティングの基礎を学びます。										
学修到達目標										
マーケティングの基礎として学ばべき用語が理解でき、基本的な理論を現実の問題と照らし合わせた説明ができる。										
授業の進め方										
指定テキストに加えて、参考資料の配布、事例紹介を交えながら説明します。講義中に複数回のミニテストを行います。復習テストの結果を基に翌週の講義にてフィードバックを行います。										
授業計画 (各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス、マーケティング的発想の経営	講義概要の説明と注意事項の確認をします。マーケティング発想の経営について概観します。				テキスト第1章を読む(4時間)				
2	マーケティングとは何か	マーケティング業務を俯瞰し、マーケティングの目的、業務の基本的な手順を学びます。				テキスト第2章を読む(4時間)				
3	戦略的マーケティング	経営理念、目標、市場環境分析、基本戦略立案について学びます。				テキスト第2章の復習、振り返りワークシートの作成(4時間)				
4	新商品開発の仕事	製品・サービスの構成要素、商品アイデアの創出から商品設計、市場導入に至る開発プロセスについて学びます。				テキスト第2章の復習、振り返りワークシートの作成(4時間)				
5	新商品開発の仕事	STP戦略について学びます。セグメンテーション、ターゲティング、ポジショニングの概念を説明します。				次週の小テスト(第1回~第5回)に備えて復習をする。(4時間)				
6	新商品開発の仕事	小テスト第1回(出題範囲第1回~第5回)ブランドシンボル開発について学びます。				テキスト第3章ブランドシンボル開発とマーケティングミックスを読む。ワークシート作成(4時間)				
7	マーケティングミックス	マーケティングミックスと4Pとの関係を整理します。				テキスト第3章マーケティング・ミックスを読む。ワークシートの作成(4時間)				
8	プロダクト(製品)	製品スペックと製品ラインナップ、パッケージングについて学びます。				テキスト第3章マーケティングミックスの製品を復習する。ワークシートの作成(4時間)				
9	プライス(価格設定)	需給バランスと価格政策の関係について学びます。				テキスト第3章マーケティングミックスの価格を復習する。ワークシートの作成(4時間)				
10	プレイス(流通チャネル)	流通チャネルの役割について学びます。				小テストに向けて復習します。(第6回~第10回)(4時間)				
11	プロモーション	小テスト第2回(出題範囲第6回~第10回)プロモーションの役割について学びます。				テキスト第3章マーケティングミックスのプロモーションを復習する。(4時間)				
12	プロモーション表現	PRの表現について学びます。プレス・リリース、広告、WEBサイトの表現などについて説明します。				テキスト第3章マーケティングミックスのプロモーション表現を復習する。(4時間)				
13	既存商品の育成と市場調査	既存商品のパフォーマンス・レビューとデータ収集方法について学びます。				テキスト第4章を読む。ワークシートの作成。(4時間)				
14	サービス財マーケティングの特徴	サービス・マーケティングの7Pについて概略を説明します。				テキスト第5章サービス財のマーケティングを読む。ワークシートの作成。(4時間)				
15	まとめ	小テスト第3回(出題範囲第11回~14回)これまでのマーケティング基礎のまとめをします。				小テスト(第11回~第15回)に向けて復習します。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「マーケティングの基本」安原智樹著(日本実業出版社) ISBN:978-4-543-04518-8 (生協で購入してください。)				定期試験:70% 小テスト:30% S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探究姿勢をもって課題に取り組み、例題からは難しい応用問題が解け、他の学生の前で発表できる。A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって内容に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよるを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「コトラーのマーケティング・コンセプト」フィリップ・コトラー著(東洋経済)				身近な話題からマーケティングを考えて行きましょう。講義内容に応じて、資料等を事前に提示しますので、講義前に読んでおいて下さい。【実務経験のある教員が担当】実務経験の内容:海外通信会社でサービスの経営に携わった。						

科目名	簿記（展開）Aクラス		学年学期	2年前期	単位数	1	ナバリウ	KL25007 TL25007	研究室	W-16	
担当者	田中 浩		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア	月曜日4限、木曜日2限			
関連資格	高一(商業)				履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
簿記 に引き続き、簿記論の全体像を把握すると同時に、実際の帳簿記入を通じて、現実の経営活動において求められる簿記経理処理の能力を向上させることを目的とします。											
学修到達目標											
基本用語、基礎概念、財務諸表の作成、仕訳、勘定記入など簿記の基本事項に精通します。資格取得に寄与し、さらに実社会でも運用する簿記技法を修得します。											
授業の進め方											
用語や概念、計算方法を解説しつつ、あわせて計算事例を使用しながら進めます。特に学生諸君が自ら計算を行なう機会を設けることで、計算能力の向上につながるように配慮します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	簿記の基礎 確認	BS PL 仕訳の確認 証憑の読み方					簿記 の内容を復習しておく 証憑関連の問題を解く。2時間				
2	手形	手形の種類 仕訳 記入帳					手形に関する法律を調べておく。 手形記入帳に記入してみる。 2時間				
3	その他の資産	有価証券 固定資産					有価証券、固定資産とは何か調べておく。 売却損と売却益の場合を整理してみる。2時間。				
4	その他の資産と負債1	貸付金 借入金 未収金 未払金					債権・債務とはどのようなものが調べておく。 練習プリントの仕訳問題を解答する。2時間				
5	その他の資産と負債2	立替金 預り金 仮払仮受の処理 商品券					源泉徴収とは何か調べておく。 仕訳プリントを解答する。2時間				
6	その他の取引	資本金 引出金 税金					税金の種類について調べておく。 資本金についての仕訳問題を解答する。2時間				
7	伝票	伝票制度 取引の分解などの方法 推定					伝票とは何か調べておく。3票に記入してみる。2時間				
8	期中取引まとめ	これまでの期中取引のすべてを再確認する まとめ小テスト					これまでの練習プリントを再度解答する。 課題プリントを解く。2時間				
9	決算3	売上原価の計算					3分法の復習をしておく 決算仕訳をやってみる 2時間				
10	決算4	減価償却					固定資産の種類を調べておく。課題プリントを解く。2時間				
11	決算5	見越 繰延					期間対応とは何か調べておく。四つのパターンをすべて仕訳してみる。2時間				
12	決算6	貸倒れ、現金過不足、収入印紙 他					引当金とは何か調べておく。練習課題を解答してみる。2時間				
13	精算表	精算表の作成					精算表とは何か調べておく。 練習伝票とは何か調べておく。 3伝票について記入してみる。2時				
14	決算6	財務諸表の作成					財務諸表の形式について調べておく。 練習プリントで財務諸表を作成してみる。2時間				
15	決算のすべて	期中取引から決算整理までの 全体像の確認 まとめ小テスト					これまでのすべての復習しておく。 練習プリントを解答し、決算の流れを確認する。3時間				
テキスト					成績評価の方法・基準						
簿記論 のものを継続使用します					出席レポート：30% 小テスト：70% S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「財務会計」広瀬義州著(中央経済社)					電卓を使用して課題を解き、ディスカッションを行い、その結果をレポートしてもらいます。メソフィア・プリントによる小テストをします。スマホ等を持参してください。レポート、小テストに関して適時フィードバックを行います。						

科目名	簿記（展開）Bクラス		学年学期	2年前期	単位数	1	ナパリング	KL25007 TL25007	研究室	非常勤
担当者	吉澤 稔		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-			
関連資格	高一(商業)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
簿記論の全体像を把握すると同時に、実際の帳簿記入を通じて、現実の経営活動において求められる簿記経理処理の能力を向上させることを目的とします。入学時に、簿記会計の3級程度の知識があることを前提に、簿記会計の全体像を中級レベルで講義します。										
学修到達目標										
基本用語、基礎概念、財務諸表の作成、仕訳、勘定記入など簿記の基本事項に一層精通します。資格取得に寄与し、さらに実社会でも運用する簿記技法を修得します。										
授業の進め方										
用語や概念、計算方法を解説しつつ、あわせて計算事例を使用しながら進めます。特に学生諸君が自ら計算を行なう機会を設けることで、計算能力の向上につながるよう配慮します。またミニテストを実施し講義内で返却することでフィードバックします。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	簿記一巡の手続きと財務諸表	簿記一巡の手続きと財務諸表のフォーマットの作成				事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。(1時間)				
2	現金預金と売掛金1	当座預金の銀行勘定調整表の作成				事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。(1時間)				
3	現金預金と売掛金2	クレジット売掛金の会計処理				事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。(1時間)				
4	有価証券1	売買目的有価証券と満期保有目的債券の会計処理				事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。(1時間)				
5	有価証券2	子会社株式・関連会社株式とその他有価証券の会計処理				事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。(1時間)				
6	商品売買	3分法と売上原価対立法				事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。(1時間)				
7	有形固定資産	割賦購入・修繕と改良・減価償却など				事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。(1時間)				
8	引当金	貸倒引当金・商品保証引当金・退職給付引当金・売上割戻引当金など				事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。(1時間)				
9	収益と費用	サービス業における役務収益と役務費用				事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。(1時間)				
10	株式会社の純資産1	株式会社の設立と開業				事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。(1時間)				
11	株式会社の純資産2	剰余金の配当および処分・株主資本等変動計算書の作成				事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。(1時間)				
12	税金	法人税における課税所得の計算方法・消費税の会計処理				事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。(1時間)				
13	リース会計	ファイナンスリース取引とオペレーティング取引				事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。(1時間)				
14	外貨建取引	外貨建ての営業取引、決済取引および決算日の会計処理				事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。(1時間)				
15	連結会計	資本連結における支配獲得時と支配獲得後の会計処理				事後学修として宿題プリントを解き、期末審査時に提出する。(2間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
開講時に指示します。				出席レポート：15% 課題：15% 定期試験：70% S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「財務会計」広瀬義州著(中央経済社) ISBN:4-502-25980-2 「検定簿記ワークブック2級」渡部裕旦・片山寛・北村敬子著渡部裕旦・片山寛・北村敬子編(株)中央経済社) ISBN:978-4-502-22491-1				高校在学中に商業簿記3級合格者またはそれと同等の実力者のしか受講できません。電卓を持参してください。各自必ず自宅にて計算練習を行ってください。						

科目名	簿記（展開）Cクラス		学年学期	2年前期	単位数	1	ナパリング	KL25007 TL25007	研究室	非常勤
担当者	太田 聡		必修選択	必修	科目種別	演習	オイスアワ			
関連資格	高一(商業)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
簿記論の全体像の知識を前提に、株式会社における会計処理を理解することをめざす。ある程度の規模をほこる株式会社を前提にし、そこでの会計のあり方、実際の会計処理について、計算プロセスを含めて講義する。毎回ミニテスト及び課題提出を行い学生の理解度を確認し、その結果を講義にフィードバックする。さらに、必要に応じて日商および全経簿記検定の3級レベルの問題演習を行なうことで、資格取得に寄与し、実社会でも通用する簿記技法が修得できるよう導く。										
学修到達目標										
日商簿記3級取得を目指す。										
授業の進め方										
基礎用語や基礎概念、基本的な計算方法を解説しつつ、あわせて計算事例を使用しながら進める。特に、学生諸君が自ら計算を行なうことで、計算能力の向上につながるよう配慮する。また、下記テキスト(代金概算額3,240円)を購入する。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	手形	受取手形・支払手形の取引、手形記入帳の学習				問題集対応範囲：9-1～9 課題問題(1時間)				
2	固定資産	固定資産の内容と処理方法を学習				問題集対応範囲：11-1～3 課題問題(1時間)				
3	有価証券	有価証券の内容と処理方法を学習				問題集対応範囲：10-1～10-3 課題問題(1時間)				
4	その他の貸借取引	貸付・借入などの処理方法を学習				問題集対応範囲：8-1～2 課題問題(1時間)				
5	その他の貸借取引	預かり・立替などの処理方法を学習				問題集対応範囲：8-3～5 課題問題(1時間)				
6	決算	決算整理の流れ				問題集対応範囲：4-1～6 課題問題(1時間)				
7	決算	貸倒れ・消耗品の決算処理を学習				問題集対応範囲：14-5 課題問題(1時間)				
8	決算	減価償却の決算処理を学習				問題集対応範囲：11-4～5 課題問題(1時間)				
9	決算	売上原価の決算処理を学習				問題集対応範囲：4-6 課題問題(1時間)				
10	決算	費用の決算処理を学習				問題集対応範囲：14-1～7(費用部分) 課題問題(1時間)				
11	決算	収益の決算処理を学習				問題集対応範囲：14-1～7(収益部分) 課題問題(1時間)				
12	決算	8桁精算表の計算方法を学習				問題集対応範囲：17-5 課題問題(1時間)				
13	決算	8桁精算表の計算方法を学習				問題集対応範囲：17-5 課題問題(1時間)				
14	仕訳問題	仕訳問題の論点整理				仕訳問題の復習 課題問題(1時間)				
15	講義全体のまとめ	簿記一連の流れの復習				総合問題の復習 課題問題(1時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「簿記」で使用したテキストを継続して使用します」				定期試験：70% 小テスト：15% 課題：15% 定期試験(100点満点)を70点換算、毎回の授業で行う小テストの成績を15点換算、毎回の授業の課題提出状況を15点換算し、評価する。 S:100点～90点 A:89点～80点 B:79点～70点 C:69点～60点 D:60点未満						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
参考文献は後日指示する。				簿記の受講履修が終了した者しか受講できない。計算事例を使用する機会が多い。電卓を持参し、必ず自ら計算を行なってみること。						

科目名	簿記（展開）Dクラス		学年学期	2年前期	単位数	1	ナパリング	KL25007 TL25007	研究室	W-16
担当者	田中 浩		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスアワー	月曜日4限、木曜日2限		
関連資格	高一(商業)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
簿記に引き続き、簿記論の全体像を把握すると同時に、実際の帳簿記入を通じて、現実の経営活動において求められる簿記経理処理の能力を向上させることを目的とします。										
学修到達目標										
基本用語、基礎概念、財務諸表の作成、仕訳、勘定記入など簿記の基本事項に精通します。資格取得に寄与し、さらに実社会でも運用する簿記技法を修得します。										
授業の進め方										
用語や概念、計算方法を解説しつつ、あわせて計算事例を使用しながら進めます。特に学生諸君が自ら計算を行なう機会を設けることで、計算能力の向上につながるように配慮します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	簿記の基礎 確認	BS PL 仕訳の確認 証憑の読み方					簿記の内容を復習しておく 証憑関連の問題を解く。2時間			
2	手形	手形の種類 仕訳 記入帳					手形に関する法律を調べておく。 手形記入帳に記入してみる。 2時間			
3	その他の資産	有価証券 固定資産					有価証券、固定資産とは何か調べておく。 売却損と売却益の場合を整理してみる。2時間			
4	その他の資産と負債1	貸付金 借入金 未収金 未払金					債権・債務とはどのようなものが調べておく。 練習プリントの仕訳問題を解答する。2時間			
5	その他の資産と負債2	立替金 預り金 仮払仮受の処理 商品券					源泉徴収とは何か調べておく。 仕訳プリントを解答する。2時間			
6	その他の取引	資本金 引出金 税金					税金の種類について調べておく。 資本金についての仕訳問題を解答する。2時間			
7	伝票	伝票制度 取引の分解などの方法 推定					伝票とは何か調べておく。3票に記入してみる。2時間			
8	期中取引まとめ	これまでの期中取引のすべてを再確認する まとめ小テスト					これまでの練習プリントを再度解答する。 課題プリントを解く。2時間			
9	決算3	売上原価の計算					3分法の復習をしておく 決算仕訳をやってみる 2時間			
10	決算4	減価償却					固定資産の種類を調べておく。課題プリントを解く。2時間			
11	決算5	見越 繰延					期間対応とは何か調べておく。四つのパターンをすべて仕訳してみる。2時間			
12	決算6	貸倒れ、現金過不足、収入印紙 他					引当金とは何か調べておく。練習課題を解答してみる。2時間			
13	精算表	精算表の作成					精算表とは何か調べておく。 練習伝票とは何か調べておく。 3伝票について記入してみる。2時			
14	決算6	財務諸表の作成					財務諸表の形式について調べておく。 練習プリントで財務諸表を作成してみる。2時間			
15	決算のすべて	期中取引から決算整理までの 全体像の確認 まとめ小テスト					これまでのすべての復習しておく。 練習プリントを解答し、決算の流れを確認する。3時間			
テキスト					成績評価の方法・基準					
簿記論 のものを継続使用します					出席レポート：30% 小テスト：70% S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「財務会計」広瀬義州著(中央経済社)					電卓を使用して課題を解き、ディスカッションを行い、その結果をレポートしてもらいます。メソフィア・プリントによる小テストをします。スマホ等を持参してください。レポート、小テストに関して適時フィードバックを行います。					

科目名	簿記（展開）Eクラス		学年学期	2年前期	単位数	1	ナパリング	KL25007 TL25007	研究室	W-16	
担当者	田中 浩		必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスアワー	月曜日4限、木曜日2限			
関連資格	高一(商業)				履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
簿記に引き続き、簿記論の全体像を把握すると同時に、実際の帳簿記入を通じて、現実の経営活動において求められる簿記経理処理の能力を向上させることを目的とします。											
学修到達目標											
基本用語、基礎概念、財務諸表の作成、仕訳、勘定記入など簿記の基本事項に精通します。資格取得に寄与し、さらに実社会でも運用する簿記技法を修得します。											
授業の進め方											
用語や概念、計算方法を解説しつつ、あわせて計算事例を使用しながら進めます。特に学生諸君が自ら計算を行なう機会を設けることで、計算能力の向上につながるように配慮します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	簿記の基礎 確認	BS PL 仕訳の確認 証憑の読み方					簿記の内容を復習しておく 証憑関連の問題を解く。2時間				
2	手形	手形の種類 仕訳 記入帳					手形に関する法律を調べておく。 手形記入帳に記入してみる。 2時間				
3	その他の資産	有価証券 固定資産					有価証券、固定資産とは何か調べておく。 売却損と売却益の場合を整理してみる。2時間。				
4	その他の資産と負債1	貸付金 借入金 未収金 未払金					債権・債務とはどのようなものが調べておく。 練習プリントの仕訳問題を解答する。2時間				
5	その他の資産と負債2	立替金 預り金 仮払仮受の処理 商品券					源泉徴収とは何か調べておく。 仕訳プリントを解答する。2時間				
6	その他の取引	資本金 引出金 税金					税金の種類について調べておく。 資本金についての仕訳問題を解答する。2時間				
7	伝票	伝票制度 取引の分解などの方法 推定					伝票とは何か調べておく。3票に記入してみる。2時間				
8	期中取引まとめ	これまでの期中取引のすべてを再確認する まとめ小テスト					これまでの練習プリントを再度解答する。 課題プリントを解く。2時間				
9	決算3	売上原価の計算					3分法の復習をしておく 決算仕訳をやってみる 2時間				
10	決算4	減価償却					固定資産の種類を調べておく。課題プリントを解く。2時間				
11	決算5	見越 繰延					期間対応とは何か調べておく。四つのパターンをすべて仕訳してみる。2時間				
12	決算6	貸倒れ、現金過不足、収入印紙 他					引当金とは何か調べておく。練習課題を解答してみる。2時間				
13	精算表	精算表の作成					精算表とは何か調べておく。 練習伝票とは何か調べておく。 3伝票について記入してみる。2時				
14	決算6	財務諸表の作成					財務諸表の形式について調べておく。 練習プリントで財務諸表を作成してみる。2時間				
15	決算のすべて	期中取引から決算整理までの 全体像の確認 まとめ小テスト					これまでのすべての復習しておく。 練習プリントを解答し、決算の流れを確認する。3時間				
テキスト					成績評価の方法・基準						
簿記論 のものを継続使用します					出席レポート：30% 小テスト：70% S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「財務会計」広瀬義州著(中央経済社)					電卓を使用して課題を解き、ディスカッションを行い、その結果をレポートしてもらいます。メソフィア・プリントによる小テストをします。スマホ等を持参してください。レポート、小テストに関して適時フィードバックを行います。						

科目名	情報社会論		学年学期	2年前期	単位数	2	ナバリング	KL25006 TL25008	研究室	W-31	
担当者	室谷 心・古川 智史		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスアワ	水曜日3限			
関連資格	高一(情報)				履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
<p>スマホ、タブレット、インターネット、私たちの周りには便利な情報機器がたくさんあります。検索すれば必要な時に必要な情報が自由に得られる素晴らしい時代のように思えます。しかし、実際には、不確かで不必要な情報も一緒になって、あふれんばかりの大量の情報が私たちに襲いかかってきます。多種多様な情報システムが大量の情報を供給する現代社会を、よりよく生きていくために、“情報のあふれる現代社会”というものをしっかりと認識し、情報との正しい付き合い方を身につけましょう。</p>											
学修到達目標											
現代社会の様々な局面を“情報”をキーワードにcriticalに考え、より深く理解しようとみずから行動できるようになる。											
授業の進め方											
講義形式で進めます。また授業理解度の確認のために、適宜クリッカーを使い小テストを行います。その結果を授業にフィードバックさせながら進めていきます。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	ガイダンス	情報化された現代社会の概説と本授業全体のガイダンス。毎時間のレポート提出方法の説明。					自分を取り巻く情報環境を再確認してみる。(4時間)				
2	ユビキタスネットワーク社会	見守と監視---ユビキタスネットワーク社会。					見守と監視の視点からユビキタス社会の功罪を考える(4時間)				
3	インターネット古代史	インフラストラクチャーの整備---インターネット古代史。					自分の家のネット化の歴史を調べる。(4時間)				
4	暗号	プライバシーか治安維持か---ネットワーク社会における暗号の役割。					公開鍵暗号方式が解決した、暗号の2つの役割を考える(4時間)				
5	認証の技術	ご本人ですか?---なりすましとオレオレ詐欺。					詐欺サイトの例を調べる。(4時間)				
6	メメックス	メメックスは実現したのか---図書館 vs Wikipedia。					バネバー・ブッシュの理想と現在のネット社会を比較する。(4時間)				
7	情報の保管	記録の保管---思い出はいつまでとっておけるか。					自分の家の一番古い記録は何か調べてみる。(4時間)				
8	著作権	著作権と文化---青空文庫とgoogleブック。					TPPと著作権の問題を調べる。(4時間)				
9	情報検索	検索がすべてを決める---ネット検索を信用するか。					自分の情報が、ネット上にどう記載されているか調べる。(4時間)				
10	UD	バリアフリーとユニバーサルデザイン。					万人にやさしいデザインを考える。(4時間)				
11	アクセシビリティ	ユビキタスに格差はないか。					情報の平等化の度合いを考える。(4時間)				
12	ネット動画	Youtube、ニコニコ動画、ポーカロイド					ネット動画とテレビを比較する。(4時間)				
13	クラウド環境	クラウドコンピューティング					気付かずに使っているクラウド環境を明示的に意識し、安全性と危険性をまとめる。(4時間)				
14	BigData	ビッグデータの時代---あなたの好みは読まれています。					行動ターゲティング広告の例を調べる。(4時間)				
15	信じる	この話、あなたは信じますか? 沢山の情報の中で、何を根拠にその話を信じるのだろうか?					死後の世界やオカルトについて、自分自身が信じているかどうか考える。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準							
学内サーバ上に講義資料を置くので予復習の参考にしてください。				出席レポート:20% 定期試験:80% S:情報社会に関する発展的な問題を考察できる。 A:情報社会に関する応用的な問題を考察できる。 B:情報社会に関する標準的な問題を考察できる。 C:情報社会に関する基礎的な問題を考察できる。							
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)							
新聞、雑誌、インターネット等全て				情報は探す時代から選ぶ時代になりました。ネットを使えば大量の情報が簡単に手に入ります。でも、それが役に立つ正しい情報だとは限りません。価値のある情報だけを取り出し利用していくのはユーザーの責任です。							

科目名	経済学(含国際経済学)		学年学期	2年前期	単位数	2	ナバリング	TL25009	研究室	W-14
担当者	佐藤 嘉晃		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日3限		
関連資格	中一(社会)、高一(公民)			履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
経済学の基礎的な知識について説明します。また現実の経済現象についての分析力を養います。家計・企業・政府といった経済主体の意思決定・経済活動とそれらの役割に関する理論や海外部門の役割について講義をしていきます。また、国際経済学の理論についても講義します。										
学修到達目標										
経済学の基礎的な理論や理論と現実の経済との関係を理解することによって現実の地域、国内、世界に関する経済問題を分析・考察する能力を身につける。										
授業の進め方										
教科書に沿って講義します。また各回において学生同士が講義のテーマに関する題材についてディスカッションを行います。学生のフィードバックをもとに講義の内容・進捗を調整します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	オリエンテーション(高度資本主義社会と経済問題)	資本主義経済と民間部門、公共部門、経済主体と経済活動、経済学の方法、資源の希少性などの経済問題などについて講義します。				事前:資本主義経済の特徴について調べる。事後:配布資料を熟知すること。(4時間)				
2	経済学の基本原理	経済主体のトレードオフ、機会費用の概念、限界原理、インセンティブ、取引と市場の役割、政府の機能、生産性、インフレーション、失業などについて講義します。				事前:テキスト1章のキーワードの意味を調べる。事後:1章のテストバンクを解くこと。(4時間)				
3	需要と供給理論():市場の機能	市場と競争、需要の作用(需要表、需要曲線など)、供給の作用(供給曲線、市場の供給など)、市場の均衡などについて講義します。				事前:テキスト4章のキーワードの意味を調べる。事後:4章のテストバンクを解くこと。(4時間)				
4	需要と供給理論():市場と厚生	市場における需要と供給の弾力性(価格弾力性、所得弾力性、交差弾力性)、そして弾力性の応用などについて講義します。				事前:テキスト5章のキーワードの意味を調べる。事後:5章の応用問題を解く。(4時間)				
5	消費の経済理論	消費者余剰、市場の効率性と市場の失敗、そして課税の費用などについて講義します。				事前:テキスト6章のキーワードの意味を調べる。事後:6章テストバンクを解く。(4時間)				
6	生産の経済理論	生産と費用、生産関数、短期と長期の費用などについて講義します。				事前:テキスト6章のキーワードの意味を調べる。事後:6章のテストバンクを解く。(4時間)				
7	税と効率・経済の公平	死荷重、税と効率、税と公平、効率と公平のトレードオフなどについて講義します。				事前:6章付論のキーワードの意味を調べる。事後:6章付論のテストバンクを解く。(4時間)				
8	経済の外部性と厚生経済学	外部性の概念、厚生経済学、外部性と市場の非効率性、外部性に対する公共政策、コースの定理などについて講義します。				事前:テキスト7章のキーワードの意味を調べる。事後:7章のテストバンクを解く。(4時間)				
9	国民所得の測定	経済の所得と支出、国内総生産の測定、GDPの構成要素、名目GDPと実質GDPなどについて講義します。				事前:テキスト8章のキーワードの意味を調べる。事後:8章のテストバンクを解く。(4時間)				
10	生計費の測定	消費者物価指数、インフレーションの影響に対する経済変数の補正などについて講義します。				事前:テキスト9章のキーワードの意味を調べる。事後:9章のテストバンクを解くこと。(4時間)				
11	貯蓄、投資と金融システム	米国と日本経済における金融機関、国民所得勘定における貯蓄と投資、貸付資金市場などについて講義します。				事前:テキスト11章のキーワードの意味を調べる。事後:11章の応用問題を解く。(4時間)				
12	総需要と総供給	短期と長期の経済変動、経済変動に対する新古典派経済学の仮説、総需要と総供給のモデル、経済変動の原因などについて講義します。				事前:テキスト12章のキーワードの意味を調べる。事後:12章の応用問題を解く。(4時間)				
13	生産と成長	主要国の経済成長、生産性の役割と決定要因、生産関数、経済成長と公共政策、長期的成長の重要性などについて講義します。				事前:10章のキーワードの意味を調べる。事後:10章のテストバンクを解くこと。(4時間)				
14	国際貿易論	生産可能性の原理、比較優位と絶対優位の理論、比較優位と取引、比較優位の応用例、国際貿易理論などについて講義します。				事前:テキスト第3章キーワードの意味を調べる。事後:第3章復習問題を解く。(4時間)				
15	総まとめと定期試験対策	経済学の総まとめ、期末試験の対策、経済理論で解決できない経済問題などについて講義します。				事前:各章の要約を読んでくること。事後:総まとめの資料を熟知すること。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「マンキュー入門経済学(第3版)」N・グレゴリー・マンキュー著(東洋経済新報社) ISBN:978-4-492-31521-7(生協で購入してください。)				レポート:50% 定期試験:50% S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、積極的な姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
講義中に紹介します。				特になし。						

科目名	行政学		学年学期	2年前期	単位数	2	ナパリング	TL25010	研究室	
担当者	各教員		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
<p>行政は私たちの生活に密接にかかわってくるものです。行政を知ることでの世の中の仕組みを学んでいきましょう。本講義では、そうした行政の現実や行政学の理論を学んでいくこととします。</p>										
学修到達目標										
<p>1. 行政学の理論や行政の現実について理解をすることができる。 2. 中央政府の行政と自治体行政を関連付け、両者の類似点や相違点について理解することができる。</p>										
授業の進め方										
<p>テキストや配布資料を使って講義をします。必要に応じて、受講生同士のディスカッションをしてもらうことにします。内容の理解度を測るために、途中で中間テストを行い、添削してフィードバックを行います。</p>										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	本講義を通してどのように行政学を学んでいくかということについて解説をします。				【事前学習】テキストの「はじめに」、シラバスを読んでおくこと(4時間)				
2	行政とは何か - 政府の活動としての行政	行政とは何か。そもそも行政が何故存在しているのかということ考察をします。				【事前事後学習】テキスト第1章(2~21頁)を予復習すること(4時間)				
3	大きくなる政府の役割 - 近代官僚制と行政国家	西欧諸国において、国家の性質と政府の役割が変化をしていった過程を明らかにするとともに、政府の組織を特徴付ける官僚制の概念と理論を紹介をします。				【事前事後学習】テキスト第2章(22~42頁)を予復習すること(4時間)				
4	行政学はどのような学問か - 行政学の成立	行政学はどのような学問であり、どのような事情で誕生したのか。17~18世紀にドイツなどの領邦国家で発達した行政学の起源である官房学の発展と衰退についておさえます。				【事前事後学習】テキスト第3章(43~59頁)を予復習すること(4時間)				
5	行政学はどのような学問か - 行政学の展開	行政官僚制や行政国家の発達が遅れたアメリカでは、19世紀に行政学という学問が誕生した。アメリカにおいて行政学という学問が成立した事情と、その後の行政学説の展開について解説をします。				【事前事後学習】テキスト第3章(43~59頁)を予復習すること(4時間)				
6	新しい行政の見方 - NPMとガバナンス	1980年代以降、先進諸国において行政学の前提条件そのものに挑戦をし、新たな視点から行政を捉える見方が広がった。そうした新しい行政の見方である新公共管理論(NPM)やガバナンスの理論を紹介をします。				【事前事後学習】テキスト第4章(60~78頁)を予復習すること(4時間)				
7	国と自治体を動かすしくみ - 執政制度	国と自治体の行政は、どのような主体によって運営されているのだろうか。日本の執政制度の特徴を明らかにするとともに、執政制度のもとで展開される政治家と官僚の関係(政官関係)について学びます。				【事前事後学習】テキスト第5章(80~100頁)を予復習すること(4時間)				
8	政府の姿 - 行政組織制度	行政組織に関する法制度と組織の理論を踏まえて、1)中央府省の行政組織、2)行政組織の周辺に存在し、民間企業に近い運営方式をもつ準政府組織、3)自治体の行政組織について解説をします。				【事前事後学習】テキスト第6章(101~122頁)を予復習すること(4時間)				
9	行政を担う人々 - 公務員制度	公務員を組織し、人事管理や勤務条件を法令や慣行によって定める公務員制度を捉える視点を明らかにし、その現状を説明をした上で、日本の国家公務員制度と地方公務員制度の運用について考えることとします。				【事前事後学習】テキスト第7章(123~145頁)を予復習すること(4時間)				
10	変化する日本の行政 - 国と自治体の制度改革	これまで日本で行われてきた国と自治体の制度改革の中から、行政組織の改革、公務員制度改革、規制改革、地方分権改革と自治体の行政改革を取り上げて解説をします。				【事前事後学習】テキスト第8章(146~166頁)を予復習すること(4時間)				
11	行政活動をデザインする - 政策の調査と立案	行政が政策過程全般にどう関与しているのか、政策への影響は何かを考えます。行政学における公共政策の位置づけについて説明をするとともに、法律や予算を作るという政策のデザインについても学びます。				【事前事後学習】テキスト第9章(168~187頁)を予復習すること(4時間)				
12	法律・条例をつくる - 多面的合意形成の技術	個別行政分野で標準的に行われている法令決定を念頭にしながら、議会で可決されるまでの諸段階において、どのように意思決定が行われているのかを説明していきます。				【事前事後学習】テキスト第10章(188~207頁)を予復習すること(4時間)				
13	予算をつくる - 限られた時間と効率的な決定	行政活動を行う上で求められる予算編成について学んでいく。限られた時間の中で、どのように予算の編成がされているのか。予算編成の過程について学びます。				【事前事後学習】テキスト第11章(208~225頁)を予復習すること(4時間)				
14	行政と社会のインターフェース - 政策の実施と評価	政策は行政と社会との相互作用のなかで具体化されるものであり、行政組織の内外からの検証にさらされることとなります。ここでは政策の実施と評価について学びます。				【事前事後学習】テキスト第12章(226~246頁)を予復習すること(4時間)				
15	講義の振り返りと総括	本講義を通しての学びを振り返り、総括をするとともに、更に学びを深めていくための論点について共有をします。				【事前事後学習】テキスト247~251頁を予復習すること(4時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
「はじめての行政学」伊藤正次・出雲明子・手塚洋輔著(有斐閣ストゥディア) ISBN:978-4-641-15035-5(別途、指示します。)		定期試験:70% 小テスト:30% S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組むことができる。A:授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって課題に取り組むことができる。B:授業のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「行政学」西尾勝著(有斐閣) ISBN:4641049772		積極的な授業参加を求めます。								

科目名	リーダーシップ論		学年学期	2年前期	単位数	2	ナバリング	KA26002 TL25011	研究室	W-29
担当者	畑井 治文		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスア-	火曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
		総 観								
授業概要										
リーダーシップとは、個人が他の人や集団に社会的影響を与えるプロセスのひとつです。本講義では、リーダーシップを行動特性や環境要因をもとにいくつかのタイプに分類し、それぞれのリーダーシップの特徴について解説していきます。またリーダーに従うメンバーの視点、リーダーがメンバーに対して行うコーチングの視点など、日常生活や学生生活においても活用可能な情報を提供していきます。										
学修到達目標										
代表的なリーダーシップ理論を理解するとともに、各種のケースを学ぶことによって、リーダーシップについての知識や関心を広げられるようになるのはもちろん、自分自身が優れたリーダーになる手がかりを得ることが目標です。										
授業の進め方										
講義用プリントを配布して授業を進めます。教室での講義となりますが、可能な限り、インタラクティブな授業を展開するように心がけます。授業内で実施した小テスト・課題などについては、添削・返却・解説といった方法でフィードバックをする予定です。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	授業概要、学修到達目標などについて説明します。またリーダーシップを学ぶ意義、リーダーシップを發揮する要素について解説します。				今回の内容を復習すると同時に、リーダーシップを發揮した経験を整理してきて下さい。(4時間)				
2	リーダーシップ理論の展開	資質アプローチ、行動アプローチという2つの視点から、リーダーシップ研究の流れについて解説します。				今回の内容を復習すると同時に、PM理論について調べてきて下さい。(4時間)				
3	リーダーシップの類型	PM理論などの理論的背景を解説した上で、リーダーシップを行動特性や環境要因をもとにいくつかのタイプに整理します。				今回の内容を復習すると同時に、フィードバックの与え方について考えてきて下さい。(4時間)				
4	日常におけるリーダーシップ	指示を重視するリーダーの行動特性について解説した上で、メンバーに対するフィードバックの与え方、報酬の与え方などの具体的手法を紹介しします。				今回の内容を復習すると同時に、心理的満足度を高めるための手法を考えてきて下さい。(4時間)				
5	日常におけるリーダーシップ	コミュニケーションを重視するリーダーの行動特性について解説した上で、メンバーに対する心理面でのサポート、育成面でのサポートなどの具体的手法を紹介しします。				今回の内容を復習すると同時に、ビジョン型リーダーと思う人物を列挙してきて下さい。(4時間)				
6	変革期におけるリーダーシップ	変革ビジョンを示すリーダーの行動特性について解説した上で、シンボリック行動、変革に伴うメンバーの負担を軽減する方法などの具体的手法を紹介しします。				今回の内容を復習すると同時に、信頼関係を構築するための手法を考えてきて下さい。(4時間)				
7	変革期におけるリーダーシップ	メンバーの自発性を引き出すリーダーの行動特性について解説した上で、メンバーとの信頼関係の構築、組織文化の変革などの具体的手法を紹介しします。				今回の内容を復習すると同時に、自分がどのようなメンバーかを分析してきて下さい。(4時間)				
8	リーダーに従うメンバー(フォロワー)	リーダーとメンバーの関係性を解説した上で、批判的思考、積極的関与という2つの視点をもとに、メンバー(フォロワー)をいくつかのタイプに整理します。				今回の内容を復習すると同時に、次回実施される小テストに備えて下さい。(4時間)				
9	ケーススタディ(リーダーシップの実践)	映像資料を用いながら、これまでの内容を振り返ります。また授業への理解を深めるために小テストを実施します。				小テストを復習すると同時に、相手の話を促す上で必要なポイントを考えてきて下さい。(4時間)				
10	コーチングマネジメント	コーチングのスキルのうち「聞き方の技法」について解説します。メンバーの話をうまく引き出すために、リーダーが取るべき具体的手法を紹介しします。				今回の内容を復習すると同時に、マズローの欲求5段階説について調べてきて下さい。(4時間)				
11	コーチングマネジメント	コーチングのスキルのうち「認め方の技法」について解説します。人々の欲求構造を整理した上で、メンバーの欲求を満たすために、リーダーが取るべき具体的手法を紹介しします。				今回の内容を復習すると同時に、質問と詰問の違いについて考えてきて下さい。(4時間)				
12	コーチングマネジメント	コーチングのスキルのうち「問い方の技法」について解説します。質問のタイプを整理した上で、メンバー自らが答えを見つけられるようになるために、リーダーが取るべき具体的手法を紹介しします。				今回の内容を復習すると同時に、指示・命令と提案の違いについて考えてきて下さい。(4時間)				
13	コーチングマネジメント	コーチングのスキルのうち「提案の技法」について解説します。メンバーが新しい視点を持てるようになるために、リーダーが取るべき具体的手法を紹介しします。				今回の内容を復習すると同時に、コーチングのスキルを実践してみてください。(4時間)				
14	ケーススタディ(コーチングの実践)	映像資料を用いながら、これまでの内容を振り返ります。また数名単位でコーチングのコミュニケーションを体感するためのグループワークを行います。				今回の内容を復習すると同時に、次回実施される小テストに備えて下さい。(4時間)				
15	講義全体のまとめ	定期試験対策プリントを用いながら、これまでの内容を振り返ります。また授業への理解を深めるために小テストを実施します。				小テストを復習すると同時に、定期試験に備えて下さい。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
講義用プリントを配布します。				出席レポート:20% 小テスト:30% 定期試験:50% S:授業内容を高度に理解して発展問題・課題が解ける。A:授業内容を理解して応用問題・課題が解ける。B:授業内容をおおよそ理解して応用問題・課題がほぼ解ける。C:授業内容の6割程度を理解している。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「[新版]グロービスMBAリーダーシップ」グロービス経営大学院編(ダイヤモンド社) 「リーダーシップ」小野善生著(ファーストプレス)				我々の身の回りでもリーダーシップを感じる場面は沢山あるはずですが、本講義で学んだ内容と普段の生活を関連付けるように努めて下さい。そうすることで講義への理解が深まります。						

科目名	中小企業論	学年学期	2年前期	単位数	2	ナパ'リング	KA25008 TL25012	研究室	W-10	
担当者	兼村 智也	必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	火曜日1限			
関連資格				履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性	履修対象入学年度(読替科目)								
		A	B	C						
		総 観								
授業概要										
日本の企業のほとんどを占める中小企業について、その多様性、経済的・社会的役割についてみていくとともに、「小規模」であるであるがゆえに抱える経営上の問題や限界性、また可能性について解説します。										
学修到達目標										
主として大企業との比較から中小企業のもつ特性(強みや弱み)を通じて、卒業後、多くの学生が就職するであろう中小企業についての理解や認識を深める。										
授業の進め方										
配布資料・プリントを参照しながら講義形式で行ないます。5回終了時、10回終了時、15回終了時に小テストを実施することで、それまでの学習のフィードバックを行う。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	中小企業とは何か	期初の1~5回では、中小企業にかかる基礎的学習を行う。1回目では、中小企業の定義、経済全体に占める中小企業の位置づけとそのタイプ、中小企業(経営)にみる特徴などについて学習する。					中小企業の定義や国・地域における位置づけの復習(2時間)			
2	中小企業の役割と存立分野	中小企業が国・地域経済に果たす役割とその存立分野を大企業との比較を交えながら学習する。					中小企業の事業分野とその理由の復習(2時間)			
3	中小企業論にかかる諸学説	これまでの中小企業の評価の変遷を、二重構造論、中堅企業論、ベンチャー企業論、下請構造論などの学説を通じて学習する。					中小企業論の学説の復習(2時間)			
4	中小企業の発展史	戦後の経済発展のなかで中小企業がどのような役割を果たし、自らが成長・発展してきたかについて学習する。					中小企業発展史の復習(2時間)			
5	中小企業政策の変遷	これまでの中小企業政策の変遷をみることを通じて、各時代における中小企業の役割・意義、そして現在の中小企業に求められる方向性について学習する。					中小企業政策の変遷の復習と期初の小テストの学習(4時間)			
6	中小企業と人材	期中の6~10回では中小企業の経営資源についての学習を行う。6回目では人の問題を取り上げ、企業業績との関係、人材確保・育成にかかる課題などについて学習する。期初の小テストも合わせて実施する。					中小企業における人材の役割、その大きさの復習(2時間)			
7	人手不足とダイバーシティ経営	近年直面する人手不足や事業承継などの問題、その対応策として取り組んでいかなければならないダイバーシティ経営について学習する。					近年の人材にかかる諸問題とその要因、対策の復習(2時間)			
8	IT効果と導入の諸問題	ITの導入が生産性向上や販路拡大などにつながる可能性、中小企業の導入実績や阻害要因について学習する。					ITが果たす役割、導入の現状とその要因の復習(2時間)			
9	中小企業の経営と資金調達	中小企業にとって重要な課題である資金調達について、その方法や調達の現状と課題について学習する。					資金調達の種類と中小企業との関係の復習(2時間)			
10	企業間連携とM&A	経営資源が不足する中小企業にとって有効な手立てである企業間連携やM&Aについて、その概要と導入の実態、効果、問題点について学習する。					連携やM&Aの功罪の復習と期中の小テストの学習(4時間)			
11	営業・マーケティング戦略	期末の11~15回では中小企業の成長・競争戦略について学習を行う。11回目では中小企業の営業・マーケティングの必要性やその特質などについて学習する。なお、期中の小テストも合わせて実施する。					営業・マーケティングの重要性と中小企業におけるその特質の復習(2時間)			
12	ブランド戦略	マーケティング上の競争力の源泉の一つとしてブランド戦略があるが、こうした取り組みに成果を収める企業を通じて中小企業のブランド戦略のポイントについて学習する。					ブランド戦略の有効性と限界性の復習(2時間)			
13	新事業開発戦略	販路拡大とともに新事業開発は重要な成長戦略となる。ここでは新事業がどのように生まれ、どのように事業化されるのかについて学習する。					新事業開発の意義と困難さ、その対応の復習(2時間)			
14	多角化戦略	複数の事業を展開し、事業範囲を広げることで成長を図る多角化は特に地方の中小企業においてみられる成長戦略である。その背景と要因について学習する。					多角化の意義と困難さ、その対応の復習と期末の小テストの学習(4時間)			
15	グローバル戦略	中小企業の成長は国内を前提にするのみにとまらず、海外市場を取り込むグローバル戦略がある。この戦略が企業にもたらす意義や利益や課題について学習する。期末の小テストも合わせて実施する。					グローバル化の意義と困難さ、その対応の復習(2時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準								
特にありません。毎回の授業時に資料・プリントを配布します。		小テスト:100% S:100~90点、A:89~80点、B:79~70点、C:69~60点。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「中小企業の経済学」商工組合中央金庫著商工組合中央金庫編(千倉書房) ISBN:9784805110881 「中小企業マーケティングの構図」田中道雄 他著(同文館出版)		期初・期中・期末のそれぞれに小テスト(34%、34%、32%、合計100%)があります。そのために毎回の復習は必ず実施してください。【実務経験のある教員が担当】内容:民間の力で地域の中小企業政策の立案に携わった。								

科目名	財政学		学年学期	2年後期	単位数	2	ナバリング	TL25013	研究室	
担当者	各教員		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
本講義では、財政学の基礎的な内容について学んでいきます。政府の経済活動である「財政」について、その役割、構造、理論、現状と課題などといった側面から網羅的に解説していきます。										
学修到達目標										
財政学の諸理論を理解すること、さらに日々マスコミで取り上げられる財政問題に関心を持ち、納税者として責任のある考え方を育てるようになることが目標です。										
授業の進め方										
講義用プリントを配布して授業を進めます。教室での講義となりますが、授業内容に応じて一部ディスカッションも取り入れていきます。授業内で実施した小テスト・課題などについては、添削・返却・解説といった方法でフィードバックをする予定です。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	授業概要、学修到達目標などについて説明します。また財政の定義・機能などに触れながら、「財政とは何なのか?」というアウトラインを解説します。				今回の内容を復習すると同時に、日本の予算制度について調べてきて下さい。(4時間)				
2	予算の仕組み	予算原則、予算の種類、予算制度(編成、決算)などについて解説します。				今回の内容を復習すると同時に、予算と社会保障構造改革の関わりを調べてきて下さい。(4時間)				
3	日本の財政事情とその変遷	近年の一般会計予算(歳入・歳出)・予算の特色などを説明した上で、これまでの予算の変遷を踏まえながら、社会保障制度との兼ね合いについて解説します。				今回の内容を復習すると同時に、財政投融资計画について調べてきて下さい。(4時間)				
4	財政投融资と財政資金	第二の予算とも言える財政投融资の仕組みについて解説します。				今回の内容を復習すると同時に、国債発行に関わる諸問題について調べてきて下さい。(4時間)				
5	公債・国債の仕組み	公債・国債の概念、種類、発行方式などを説明した上で、深刻な財政状況下にある日本を理解するために、国債発行に歯止めをかける仕組みについて解説します。				今回の内容を復習すると同時に、公債・国債の経済効果について調べてきて下さい。(4時間)				
6	公債・国債と経済効果	公債・国債の経済効果を租税との関係でどのように考えるべきか、いわゆる「公債の負担」の問題について解説します。				今回の内容を復習すると同時に、次回実施される小テストに備えて下さい。(4時間)				
7	中間のまとめ	映像資料を用いながら、これまでの内容を振り返ります。また授業への理解を深めるために小テストを実施します。				小テストを復習すると同時に、直接税と間接税の違いについて調べてきて下さい。(4時間)				
8	租税の分類と特徴	直接税・間接税、所得課税・資産課税・消費課税など、租税の分類について解説します。				今回の内容を復習すると同時に、租税原則について調べてきて下さい。(4時間)				
9	租税原則・租税の転嫁と帰着	アダム・スミス、ワグナー、マズグレイブなどが提唱した租税原則(学説)について解説します。さらに租税の負担に関わる問題についても触れていきます。				今回の内容を復習すると同時に、日本の税制改正の方向性について調べてきて下さい。(4時間)				
10	日本の税制とその変遷	所得税、法人税、消費税など、日本の税制の枠組みを説明した上で、これまでの税制の変遷、近年の税制改正のポイントについて解説します。				今回の内容を復習すると同時に、代表的な財政理論について調べてきて下さい。(4時間)				
11	財政理論	歴史的な潮流を抑えながら、国の財政活動のあり方について展開されている諸々の財政理論(学説)を紹介します。				今回の内容を復習すると同時に、公共財の定義について調べて来て下さい。(4時間)				
12	公共財	公共財の定義を説明した上で、パレート最適、リンダール均衡、政府の失敗などについて解説します。				今回の内容を復習すると同時に、所得再分配が必要な根拠について調べてきて下さい。(4時間)				
13	所得再分配	社会の不平等を緩和させる経済政策のひとつである所得再分配の概念・メカニズムについて解説します。				今回の内容を復習すると同時に、地方財政改革に関する議論について調べてきて下さい。(4時間)				
14	地方財政	地方財政計画(歳入・歳出)を説明した上で、地方財政の財源を検討する上で欠かせない論点「三位一体改革」について解説します。				今回の内容を復習すると同時に、次回実施される小テストに備えて下さい。(4時間)				
15	講義全体のまとめ	定期試験対策プリントを用いながら、これまでの内容を振り返ります。また授業への理解度を高めるために小テストを実施します。				小テストを復習すると同時に、定期試験に備えて下さい。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
講義用プリントを配布します。				出席レポート:20% 小テスト:30% 定期試験:50% S:授業内容を高度に理解して発展問題・課題が解ける。A:授業内容を理解して応用問題・課題が解ける。B:授業内容をおおよそ理解して応用問題・課題がほぼ解ける。C:授業内容の6割程度を理解している。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「入門財政学(第2版)」林宏昭、玉岡雅之、桑原美香著(中央経済社)				行政学、地域の行財政などの関連科目と合わせて履修することを推奨します。						

科目名	人的資源管理		学年学期	2年後期	単位数	2	ナパ`リング	TL25014	研究室	W-29
担当者	畑井 治文		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	火曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
人的資源管理は、企業や組織において「ヒト」をどのように活かしていくべきかについて学ぶ学問です。また、ここで扱われる内容は、皆さん自身にも直結する重要なテーマです。「どのような仕組み」のもとで働き、「どのような報酬」を得るのか、こうした点を知らずに安心して働くことができるでしょうか。本講義では、採用、配置の問題をはじめとして、人事評価、報酬、教育訓練の問題に至るまで、人的資源管理を学ぶ上で必要不可欠な内容を網羅的に扱っていきます。										
学修到達目標										
人的資源管理の仕組みを学ぶことで、「ヒト」の活かし方についての知識や関心を広げるようになるのはもちろん、職業人として損をしない行動ができるようになることが目標です。										
授業の進め方										
講義用プリントを配布して授業を進めます。教室での講義となりますが、授業内容に応じて一部ディスカッションも取り入れていきます。授業内で実施した小テスト・課題などについては、添削・返却・解説といった方法でフィードバックをする予定です。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	ガイダンス	授業概要、学修到達目標などについて説明します。また人的資源管理の目的、人的資源管理の構成について解説します。					今回の内容を復習すると同時に、バイト先の従業員の方々の呼称を調べてきて下さい。(4時間)			
2	社員区分制度と社員格付け制度	効率的な人的資源管理を行うために必要不可欠な「従業員区分」の方法について解説します。また日本企業で広く用いられている社員区分制度と社員格付け制度の実例なども紹介します。					今回の内容を復習すると同時に、労働契約という用語について調べてきて下さい。(4時間)			
3	採用管理	採用管理のステップ、採用管理と労働法制(採用対象者にかかわる法的規制、雇用契約・労働契約にかかわる法的規制など)について解説します。					今回の内容を復習すると同時に、企業が配置転換を行う理由について調べてきて下さい。(4時間)			
4	配置と異動の管理	異動(配置転換)の目的、決定権限、範囲について解説した上で、日本企業の異動政策の功罪を整理します。また近年導入が進んでいる個人ニーズ重視型の異動政策なども紹介します。					今回の内容を復習すると同時に、内部昇進の特徴について調べてきて下さい。(4時間)			
5	人事評価と昇進管理	人事評価の原則、基準、方法について解説します。また人事評価の結果を活用して行われる昇進管理に関して、日本企業に見られる特徴を整理します。					今回の内容を復習すると同時に、企業が支払っている報酬について調べてきて下さい。(4時間)			
6	報酬管理(労働費用管理)	適切な労働費用の決め方、労働費用の構成について解説した上で、年齢別、学歴別、企業規模別などの各視点から、近年の労働費用の動向を整理します。					今回の内容を復習すると同時に、賞与の支給月数について調べてきて下さい。(4時間)			
7	報酬管理(賃金管理)	賃金管理の2つのテーマである総額賃金管理、個別賃金管理について解説します。また日本企業で広く用いられている賃金制度の実例なども紹介します。					今回の内容を復習すると同時に、企業における退職金制度について調べてきて下さい。(4時間)			
8	報酬管理(福利厚生と退職金)	法定福利厚生費、法定外福利厚生費について解説した上で、福利厚生の意義を整理します。また日本企業における退職金制度の仕組み、退職金制度の再編の動きなども紹介します。					今回の内容を復習すると同時に、次回実施される小テストに備えて下さい。(4時間)			
9	中間のまとめ(ケーススタディ)	映像資料を用いながら、これまでの内容を振り返ります。また授業への理解を深めるために小テストを実施します。					小テストを復習すると同時に、バイト先の教育訓練制度について調べてきて下さい。(4時間)			
10	能力開発と教育訓練	教育訓練の体系について解説した上で、具体的な教育訓練方法(OJT、Off-JT、自己啓発など)のメリット、デメリットを整理します。					今回の内容を復習すると同時に、労働時間に関連する法律について調べてきて下さい。(4時間)			
11	労働時間と勤務形態	労働時間管理の日本の特質、労働時間と労働法制(法定労働時間、法定休日、休憩時間、年次有給休暇など)について解説します。また近年進んでいる「労働時間制度の弾力化」なども紹介します。					今回の内容を復習すると同時に、雇用調整という用語について調べてきて下さい。(4時間)			
12	雇用調整と退職・解雇の管理	雇用調整政策のタイプ、雇用調整の実際、解雇にかかわる法的規制について解説します。また定年後の働き方として注目される勤務延長制度や再雇用制度なども紹介します。					今回の内容を復習すると同時に、派遣労働の仕組みについて調べてきて下さい。(4時間)			
13	非正社員と派遣労働者	非正社員の活用が進展する社会的背景、就業調整の問題、正社員と非正社員の均衡処遇の問題について解説します。また非正社員の一形態である派遣労働の仕組み、メリット、デメリットを整理します。					今回の内容を復習すると同時に、労働組合について調べてきて下さい。(4時間)			
14	労働組合と労使関係管理	日本の労働組合の組織、交渉・協議の仕組みと労働争議について解説した上で、労働組合が企業経営に及ぼす影響について整理します。					今回の内容を復習すると同時に、次回実施される小テストに備えて下さい。(4時間)			
15	講義全体のまとめ	定期試験対策プリントを用いながら、これまでの内容を振り返ります。また授業への理解を深めるために小テストを実施します。					小テストを復習すると同時に、定期試験に備えて下さい。(4時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準								
講義用プリントを配布します。		出席レポート:20% 小テスト:30% 定期試験:50% S:授業内容を高度に理解して発展問題・課題が解ける。A:授業内容を理解して応用問題・課題が解ける。B:授業内容をおおよそ理解して応用問題・課題がほぼ解ける。C:授業内容の6割程度を理解している。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「人事管理入門<第2版/>日経文庫」今野浩一郎著(日本経済新聞出版社)		就職活動で最初に会うのは人事部の方、人的資源管理も意外に身近なことと思えてきませんが、【実務経験のある教員が担当】実務経験の内容:自治体のシンクタンクに勤務し、労働政策の立案に従事。								

科目名	経営組織論		学年学期	2年後期	単位数	2	ナパ'リング	TL25015	研究室	非常勤
担当者	葛西 和廣		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスワ-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C	~2018年度				
授業概要										
企業の経営において組織は不可欠です。組織は単なる人々の集まりではなく、目的を達成するために組織化された集団です。本講義では組織の今日的課題である変革を目指すにあたり、組織をどのように考えればよいかに焦点を当て、理論やいくつかの枠組みについて学習します。										
学修到達目標										
経営組織論の概念枠組と用語を用いて、組織における個人と集団の行動や、現代社会における経営組織の活動の背後にある意味を理解し、説明することができる。組織における個人と集団の活動や、現代社会における経営組織の活動を深く理解するための本質的な「問い」を、主体的に見いだすことができる。										
授業の進め方										
各講義に関連した資料を配布して授業を行います。また複数回のレポート提出を実施し、添削して返却することでフィードバックを行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	講義のねらいと進め方についての説明と導入講義。				シラバスを読み、授業内容・到達目標などを確認する。講義後は要点を整理すること(4時間)。				
2	経営組織とは何か	経営組織に関する様々な基礎概念について説明する。				組織の定義について調べてくる。講義後はノートを見直して要点を整理すること(4時間)。				
3	時代の変遷と組織変革	戦後から現在までの日本における経済的変化を4つに区分し、区分別に組織がどのように変化してきたかを学ぶ。				日本の経営について調べてくる。講義後はノートを見直して要点を整理すること(4時間)。				
4	ITの発達と組織制度	ITの発達による組織の変化とその対応策について学ぶ。				ITに歴史的変遷について調べてくる。講義後はノートを見直して要点を整理すること(4時間)。				
5	現代の組織戦略(1):フラット型組織	「組織のフラット化」に関する事例検討を通じた現代的意義と課題の考察を行う。				フラット型組織について調べてくる。講義後はノートを見直して要点を整理すること(4時間)。				
6	現代の組織戦略(2):カンパニー制組織、持株会社	「カンパニー制組織や持ち株会社」に関する事例検討を通じた現代的意義と課題の考察を行う。				持株会社について調べてくる。講義後はノートを見直して要点を整理すること(4時間)。				
7	M&A	「M&A」に関する事例検討を通じた現代的意義と課題の考察を行う				M&Aについて調べてくる。講義後はノートを見直して要点を整理すること(4時間)。				
8	中間総括	初回から前回まで行った講義を総括し、内容確認を行う				授業内容を復習し、まとめておく。講義後はノートを見直して要点を整理すること(4時間)。				
9	アウトソーシング	「アウトソーシング」に関する事例検討を通じた現代的意義と課題の考察を行う。				アウトソーシングについて調べてくる。講義後はノートを見直して要点を整理すること(4時間)。				
10	ERPシステム	「組織におけるERP導入」に関する事例検討を通じた現代的意義と課題の考察を行う。				ERPシステムについて調べてくる。講義後はノートを見直して要点を整理すること(4時間)。				
11	役員制度の改革	「役員制度の変革」に関する事例検討を通じた現代的意義と課題の考察を行う。				従来の役員制度について調べてくる。講義後はノートを見直して要点を整理すること(4時間)。				
12	ネットワーク型ビジネスシステム	「ネットワーク型ビジネスシステム」に関する事例検討を通じた現代的意義と課題の考察を行う。				ネットワーク型ビジネスシステムについて調べる。講義後は要点を整理すること(4時間)。				
13	ネットワーク型組織	「ネットワーク型組織」に関する事例検討を通じた現代的意義と課題の考察を行う。				ネットワーク型組織について調べてくる。講義後は要点を整理すること(4時間)。				
14	人事システムの変革	「組織における人事システムの変革」に関する事例検討を通じた現代的意義と課題の考察を行う。				人事システムの変遷について調べてくる。講義後は要点を整理すること(4時間)。				
15	講義全体のまとめ	講義全体を総括し、内容確認を行う。				これまでの授業の振り返りとまとめを行う。講義後は要点を整理すること(4時間)。				
テキスト				成績評価の方法・基準						
(別途、指示します。)				定期試験:80% レポート:20% S:基本的な目標を十分に達成し、きわめて優秀な成果をおさめている。A:基本的な目標を十分に達成している。B:基本的な目標を達成している。C:基本的な目標を最低限度達成している。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「ネットワーク社会の情報と戦略」金山茂雄ほか著(創成社) ISBN:4794421788				言葉や知識は現実を明確に表現する道具なので、経営組織論を学ぶ場合も、企業経営の現実や事例と結びつけて言葉や知識を身につけることが大事である。						

科目名	ホームページ実践		学年学期	2年後期	単位数	1	ナパリング	TL25016	研究室	W-18
担当者	林 昌孝・松澤 みわ子		必修選択	選択	科目種別	演習	オフィスアワー	月曜日2限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
ホームページは情報の取得と発信の強力なツールであり、高度情報社会における重要な情報メディアといえます。本講義ではホームページ作成における上級レベルの技術を習得することを目的とします。ホームページの基礎知識の確認をおこない、スタイルシート、フォーム、イメージマップ等の活用について習得し、ホームページ作成のスキルアップを目指します。										
学修到達目標										
情報処理検定協会ホームページ作成検定試験(1級)に合格する力をつける。										
授業の進め方										
コンピュータ教室での実習を中心にすすめます。毎回練習問題を解きながらフィードバックを行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	講義概要とクラス分け	講義全体の概要、目標の確認、成績評価の方法、注意事項について説明します。また、クラス分けを行います。				シラバスを読んで質問等をまとめてきてください。資料を配布します(1時間)。				
2	ホームページビルダーの基本操作3級レベル	ホームページビルダーの基本操作のうち3級レベルの確認を行います。				配布資料の初期設定、事前準備を読んできてください(1時間)。				
3	ホームページビルダーの基本操作2級レベル	ホームページビルダーの基本操作2級レベル				配布資料(HTMLの基礎等)を読んできてください(1時間)。				
4	スタイルシート	スタイルシートについて説明してリンク等を確認します。				スタイルシートとリンクについて読んできてください(1時間)。				
5	ID・クラス	ID・クラスの設定について説明します。				ID・クラスの設定について読んできてください(1時間)。				
6	ページタイトル	ページタイトルの設定方法について説明します。				ページタイトルの設定方法について読んできてください。復習問題があります(1時間)。				
7	イメージマップ	イメージマップの設定と編集方法について説明します。				イメージマップの設定方法について読んできてください。復習問題があります(1時間)。				
8	フォーム	フォーム・入力部品の挿入について説明します。				いろいろな入力部品について読んできてください(1時間)。				
9	外部ファイルの挿入	外部ファイルの挿入(Javascriptほか)について説明します。				JavaScriptについて読んできてください。復習問題があります(1時間)。				
10	スタイルシート設定問題	検定試験1級模擬問題からスタイルシートの設定とリンクについて演習します。				検定試験1級模擬問題(スタイルシート)を読んできてください(1時間)。				
11	スタイルシートのプロパティ編集	検定試験1級模擬問題からスタイルシートのプロパティ編集問題の演習を行います。				検定試験1級模擬問題(スタイルシートのプロパティ)を読んできてください(1時間)。				
12	検定試験1級模擬問題演習(イメージマップほか)	検定試験1級模擬問題演習(イメージマップほか)を行います。				指定した検定試験1級模擬問題を読んできてください(1時間)。				
13	検定試験1級模擬問題演習(フォーム・JavaScriptの挿入ほか)	検定試験1級模擬問題演習(フォーム・JavaScriptの挿入ほか)を行います。				指定した検定試験1級模擬問題を読んできてください(1時間)。				
14	検定試験1級過去問題ポイント解説	検定試験1級模擬問題演習(過去問題のポイント解説)				指定した検定試験1級模擬問題を読んできてください(1時間)。				
15	まとめと検定試験1級模擬問題演習	まとめと検定試験1級模擬問題演習を行います。				指定した検定試験1級模擬問題を読んできてください(1時間)。				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「ホームページ作成検定試験模擬問題集1級」(日本情報処理検定協会)(生協で購入してください。) ISBN指定なし 適時、プリント資料を配布します。				定期試験:80% 出席レポート:20% S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、積極的な姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
適時紹介します。				ホームページ作成検定試験合格が目標です。						

科目名	社会活動			学年学期	2年後期	単位数	2	ナパ'リング	KL25011 TL25017	研究室	W-20
担当者	向井 健・丸山 宗志・今村 篤史			必修選択	選択	科目種別	演習	オフィスア-	水曜日4限、木曜日2限		
関連資格	社会福祉士					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
本講義は、地域活動に関わる導入的な講義です。学生の関心に沿ってグループわけをしてすすめていきます。地域社会の中で実践的な活動を行い、地域や社会の在り方について学び考えることを目的とします。											
学修到達目標											
1、地域中の課題に対して、当事者性をもって考え、その課題の解決に向けた実践を組織できるようになる。 2、地域課題の実践的探求を通して、これから求められる地域のありようを見通すことができるようになる。											
授業の進め方											
本講義では地域活動の企画、運営などを行います。「他者と協働しながら取り組んでみること」(実践)と、「集団的に実践を振り返りみること」(省察)を往還しながら進め、最後に成果を発表します。活動実践報告会の感想はフィードバックをします。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	ガイダンス	本講義の進め方について説明をします。また社会活動に取り組んでいく上で求められる事柄について説明をします。					ガイダンス内容について復習しておくこと(4時間)				
2	グループづくり	社会活動に取り組んでいくグループをつくります。この時に互いに打ち解けあうことのできる関係づくりを目指します。					社会活動のグループで意見交換をしておくこと(4時間)				
3	日常生活の中の「違和感」や「困りごと」に耳を傾けあう	「違和感」や「困りごと」は、人びとのニーズに根差した活動を生み出す「源泉」であり、「宝物」です。じっくりと、他者の声に耳を傾けあいます。					日常生活の違和感について意見を出すこと(4時間)				
4	地域の課題発見とその整理	聴き取ったことをもとにしながら、地域の課題を出し合って、それを整理しあいます。					地域の課題を発見し整理しておくこと(4時間)				
5	地域の課題が生じるメカニズムを読み解く	抽出された地域課題が、どのような構造をもって私たちの前に現象をしているのか。課題が生じているメカニズムを読み解きあいます。					課題発生メカニズムについて整理しておくこと(4時間)				
6	地域の課題解決のためのアイデアを出し合う	課題解決のためのアイデアを出し合います。					課題解決のためのアイデアを出し合っておくこと(4時間)				
7	課題解決に向けたプロジェクトのテーマ設定	課題解決のためのプロジェクトのテーマ設定を行います。					プロジェクトのテーマについて設定しておくこと(4時間)				
8	課題解決に向けたプロジェクトの立案	専門家があるべき将来像(ブループリント)を描くような「計画」ではなく、多様なアクターが相互に学びあい課題解決の方向性を創造的に導き出していくプロセス重視の計画は如何にしたら可能かを考えます。					プロジェクトの立案を完了させておくこと(4時間)				
9	実施計画の立案	具体的に取り組んでみる実践の実施計画を立ててみます。					実施計画書の作成を完了させておくこと(4時間)				
10	実践をしてみる	実際に実践をしてみます。実践は講義時間外の週末等に行うこともあります。担当の教員の指示に従ってください。					実践をしてみてどうだったかをまとめておくこと(4時間)				
11	実践に内在する「矛盾」の意識化とその省察	必ずしも取り組んだ実践のすべてがうまくいくとは限りません。壁に突き当たった時、実践に内在する「矛盾」を意識化してみても、自分たちが暗黙化してきた認識枠組みを問い直してみましよう。					実践で生じた「矛盾」について整理しておくこと(4時間)				
12	新たな実践モデルの創造	これまで取り組んできた実践とは異なる質をもった新しい実践モデルが創造を目指します。					新しい実践モデルについて提案すること(4時間)				
13	新たな質の実践の展開	新しく産み落された実践モデルを具現化させ、新たな質をもった実践の展開を試みます。					振り返りを通してわかったことを意識し、再度、実践に取り組む準備をすること(4時間)				
14	自分たちが取り組んできた実践の展開過程を整理する	活動実践報告会に向けて、自分たちの取り組んできた実践がどのように展開してきたのか、その軌跡を活動ポートフォリオとしてまとめます。					取り組んできた実践の展開過程を整理すること(4時間)				
15	活動実践報告会：新しく創出された実践の意味を分かち合う	自分たちの取り組んできた実践をまとめて報告をします。そして実践の意味を色々な人と分かち合います。					活動実践報告会の準備を完了させて発表会に臨むこと(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
プリント・資料の配付をもってテキストに代えます。					レポート：50% 課題：50% S：地域活動の中心者として周囲を組織化し、探求姿勢をもって課題に取り組むことができている。A：地域活動の意義を理解して企画作りに参加しており、積極的な探求姿勢をもって課題に取り組むことができる。B：地域活動に積極的に参加し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。C：地域活動に参加し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
適時、必要な資料を紹介します。					前期中に開催するガイダンスに必ず出席のこと。連絡なき欠席の場合、原則履修を認めない。【実務経験のある教員が担当】実務経験の内容：NPOや社団法人において、地域の支えあい体制づくりや地域活性化等の業務に携わった。						

科目名	倫理学		学年学期	3・4年前期	単位数	2	ナパリング	TL35018	研究室	非常勤
担当者	三谷 尚澄		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格	中一(社会)、高一(公民)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
いまからちょうど30年後、つまり、「2050年の世界」のことを考えてみてください。ひょっとすると、「これから30年」のこの国は、そしてこの星は、困難な《下り坂》の時代を迎えることになるのかもしれませんが。しかし、では、その困難な《下り坂》の時代に対応していくことのできる「知的パワー」を備えた市民として生きるために、私たちはどのような素養を習得しておく必要があるのでしょうか。この授業では、その問題について考えます。										
学修到達目標										
基礎的な倫理学の素養を身につけるとともに、単純な「正解」の期待できない問題について熟慮することを通じて、「自分の言葉で考える」ことができるようになる。また、授業中の討論を通じて、他者に向けて自分自身の意見を発信すると同時に、自分とは異なる他者の見解について冷静に吟味できるようになる。										
授業の進め方										
講義科目ではあるが、授業中の質疑応答を重視し、受講者有志が教室全体に向けて発言する機会を積極的に設ける。そして、このことを通じて、「みずから考える」とはどのようなことであるかを、たんなるお題目ではなく身をもって体験してもらう機会とする。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	イントロダクション	「倫理的に考える」とはどのようなことであるかを理解する。				テキスト(1)の「プロローグ」を読んで予習復習を行う(4時間)				
2	生の苦しみにについて	倫理学の出発点としての、「時代の中にある生の痛み」というテーマについて理解する。				テキスト(1)第1章後半およびテキスト(2)第2章前半を読んで予習復習を行う(4時間)				
3	倫理学を学ぶことの意味について	この時代に、学問として倫理学を学ぶことの意味について考える。				テキスト(2)第1章を読んで予習復習を行う(4時間)				
4	主体的に生きるということ	「倫理的・主体的に生きる」とはどのようなことであるかについて考える。				テキスト(2)第2章を読んで予習復習を行う(4時間)				
5	疑い、悩むということ	「良い子であること」と「倫理的に生きること」の関係について考える。				テキスト(2)第2章後半を読んで予習復習を行う(4時間)				
6	生きることの「意味」について	「生きる意味の喪失」という深刻な問題について考える。				テキスト(1)第2章前半を読んで予習復習を行う(4時間)				
7	近代の倫理	「近代の闇」生の意味にもたらした影響について考える。				テキスト(1)第2章後半を読んで予習復習を行う(4時間)				
8	生きていく理由/死なずにいる理由	「倫理的ニヒリズム」の考え方について検討する。				テキスト(1)第3章前半を読んで予習復習を行う(4時間)				
9	「自発的思考」について	「倫理的に生きる」ことと、「みずから考える」態度の関係について考える。				テキスト(1)第3章後半を読んで予習復習を行う(4時間)				
10	真実を語る	「真理」と「幸福」の関わりについて考える。				テキスト(1)第4章前半を読んで予習復習を行う(4時間)				
11	おしまいの人間たち	「幸福」の倫理的意味について考える。				テキスト(1)第4章後半を読んで予習復習を行う(4時間)				
12	ふたたび「自分で考える」ことについて	「自発的思考」と「社会的生」の関わりについて考える				テキスト(2)第4章前半を読んで予習復習を行う(4時間)				
13	「生き方」について倫理学は何が言えるか?	「倫理的に生きる」ことと、「職業人として生きる」ことの関わりについて考える。				テキスト(2)第4章後半を読んで予習復習を行う(4時間)				
14	ソクラテスについて	「倫理学の始まり」に位置する巨人の生き様と、私たち自身の生の関わりについて考える。				テキスト(2)第5章前半を読んで予習復習を行う(4時間)				
15	授業のまとめ	「市民」として生きる上で、「倫理学」を学ぶことにどのような意味があるのかを考える。				テキスト(2)第5章後半を読んで予習復習を行う(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「若者のための 死の倫理学」三谷尚澄著(ナカニシヤ出版) ISBN:978-4-7795-0691-8(生協で購入してください。) 「哲学してもいいですか?」三谷尚澄著(ナカニシヤ出版) ISBN:978-4-7795-1125-7(生協で購入してください。)				出席レポート:50% レポート:50% S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組んでいる。 A:授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって課題に取り組んでいる。 B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。 C:授業の内容の基本的なところを理解し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業内で、適宜指示します。				さまざまな倫理思想を学んで、倫理的に生きることの大切さを真剣に考えるようにして下さい。						

科目名	観光概論			学年学期	1年前期	単位数	2	ナバ`リング	TL16001	研究室	W-13
担当者	中澤 朋代			必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスア-	火曜日3限、金曜日3限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
観光概論では、観光についての基礎的な知識や考え方について学習します。社会現象としての観光を捉えるために、旅行や観光・余暇の歴史、観光資源、観光地、観光産業について学ぶほか、観光学からそのあり方について深めます。また、地域の観光を考えるために、事例地に赴いて実際の観光地の姿を捉え、理論に基づいて望ましいあり方を考えます。											
学修到達目標											
観光とは何かを理解するために、観光を広い視野で捉え、それぞれの項目について深く考えたり行動することを通して、文章や言葉、態度でその意義を表現できることを学習到達目標とします。											
授業の進め方											
講義は配布資料や映像資料を適宜配布します。講義形式のほか、実習では松本市内に計3回分を使ってフィールドワークを行った後に、グループディスカッションを取り入れフィードバックを行います。詳しくはガイダンスで説明します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	ガイダンス	観光概論の授業の進め方、松本大学で重点的に学ぶ観光の分野、観光とは何か、講義で扱うテーマについて説明します。					観光についてマインドマップを作成し、授業の内容と合わせてノートにまとめる(4時間)				
2	観光概論1 観光の歴史【一部室内実習】	簡単なアイスブレイクにより交流の効果を学習した後に、旅行の発展と観光の歴史について概要を学びます。					授業の内容をノートにまとめる(4時間)				
3	観光概論2 観光資源(Site,Culture,Nature)	観光地(Destination)の地域資源の分類と保全、および活用について学び、魅力あるメニュー化について事例から学びます。					興味ある国内外の観光地を一つ調べ、授業の内容と合わせてノートにまとめる(4時間)				
4	観光概論3 松本の観光資源【アウトキャンパススタディ】	1回分の授業を使い、松本の観光地を実際に訪ね、観光資源について調査します。					興味ある松本の観光サイトを事前に調べておき、実習の様子をデータにまとめる(4時間)				
5	観光概論4 ワークショップ【室内実習】	前回の調査をもとに松本の観光資源の魅力を整理し、さらに魅力を高めるアイデアについてディスカッションします。					ディスカッションの内容をノートに記録し、まとめる(4時間)				
6	観光概論5 行為としての観光の目的と市場、中間のまとめ	余暇、交流など観光の目的と観光市場について考え、観光学の観点から観光の定義について学びます。中間のまとめをします。					余暇について調べ、授業の内容をふまえ、ノートにまとめる(4時間)				
7	観光概論6 観光産業(Industry)1	我が国の旅行業の概要と歴史、長野県の旅行業について学びます。					観光産業について事前に調べ、授業後に内容をふまえ、ノートにまとめる(4時間)				
8	観光概論7 観光産業(Industry)2	宿泊業、運送業など観光を直接担う産業について概要を学びます。					観光産業について事前に調べ、授業後に内容をふまえ、ノートにまとめる(4時間)				
9	観光概論8 観光産業(Industry)3	観光施設、ガイド、観光商品開発など多様な産業について学びます。					観光産業について事前に調べ、授業後に内容をふまえ、ノートにまとめる(4時間)				
10	観光概論9 観光の諸形態	イベント、コンベンション、教育旅行、クルーズなど様々な旅行の形態と取り組みについて学びます。中間のまとめをします。					魅力ある観光地について調べ、授業後に内容をふまえ、ノートにまとめる(4時間)				
11	観光概論10 観光地(Destination)	観光地の評価、管理方法と行政の役割、観光経営組織について学びます。また、国立公園の制度を解説します。					観光イベントについて事前に調べ、授業後に内容をふまえ、ノートにまとめる(4時間)				
12	観光地実習1(上高地)	実際に観光地(目的地)に赴き、観光資源、観光地管理、観光産業、観光形態から、その実態と課題を見つめます。					目的地について事前に調べ、実習後にその内容をふまえ、レポートにまとめる(4時間)				
13	観光地実習2(上高地)	実際に観光地(目的地)に赴き、観光資源、観光地管理、観光産業、観光形態から、その実態と課題を見つめます。					目的地について事前に調べ、実習後にその内容をふまえ、レポートにまとめる(4時間)				
14	観光概論12 ツーリズムと持続可能な観光	ツーリズムと持続可能な観光について解説し、2030年に向けた持続可能な開発目標SDGsとの関連について学びます。					観光公害について調べ、授業後に内容をふまえ、ノートにまとめる(4時間)				
15	まとめ	これまでについて全体をふりかえり、社会が豊かになるために観光がどうあるべきか方策と留意点を考えます。					これまでの内容をノートにまとめ、出題されるレポートを作成する(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準							
(講義にて配布します。)				定期試験:50% 課題:30% 出席レポート:20% S・A 観光を多角的な視野で捉え、それぞれの項目について文章や言葉、態度でその現象と意義を表現できる。B 観光を全体的に捉え、主な項目について文章や言葉でその意義を表現できる。C 観光に関する主な項目について、文章や言葉でその意味を表現できる。							
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)							
とくになし				旅行・観光は楽しいものであり、かつ、多くの学びがあります。学生の皆さんには講義以外にも在学中に積極的に旅に出かけ、経験を踏まえて観光を学んでいただきたく思います。							

科目名	観光政策論			学年学期	2年前期	単位数	2	ナバリング	TA26002	研究室	W-11
担当者	丸山 宗志			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	金曜日2限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
本講義では、観光政策の概要について、国際、国内、(地)域内など、多様なスケールから理解することを目指します。また、観光政策の時系列的な変遷と各時代の特徴について学ぶことで、現在、観光政策の潮流を地域がいかんして受け止めているのかについて理解を深めます。											
学修到達目標											
1. 観光政策の方針や目的について、政策を実施する主体別や対象のスケール別に理解することができる。 2. 観光政策の変遷と観光の地域的展開とを位置づけながら理解し、現代観光の特徴を説明することができる。											
授業の進め方											
配布資料や映像資料を用いて講義進行します。講義中には出席レポートに関わる検討課題を設置、解説することによって講義内容のフィードバックに役立てます。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	ガイダンス	講義の概要や進め方、評価方法について説明します。					講義の概要や今後の学習計画について確認すること(4時間)				
2	観光政策概論(政策目標)	観光政策の潮流をたどりながら、各時代の社会状況に応じた政策目標の変遷について学びます。					講義内容を整理しながら、国内の社会状況の変遷について調べる(4時間)				
3	観光政策概論(政策目標)	観光政策の潮流をたどりながら、各時代の社会状況に応じた政策目標の変遷について学びます。					講義内容を整理しながら、国内の社会状況の変遷について調べる(4時間)				
4	観光政策概論(施策の種類と分類)	国内において実施された観光政策について、その対象範囲や規模、政策主体別に分類・整理しながら学びます。					講義内容を整理しながら、身近な地域で施行されている観光政策について調べる(4時間)				
5	国際観光政策(アウトバウンド)	国内で取り組まれてきたアウトバウンド観光政策の方針や目的、社会的背景について学びます。					講義内容を整理しながら、海外旅行の変遷についてノートにまとめる(4時間)				
6	国際観光政策(インバウンド)	国内で取り組まれてきたインバウンド観光政策の方針や目的、社会的背景について学びます。					講義内容を整理しながら、インバウンド観光による観光対象の変遷について調べる(4時間)				
7	国際観光政策(インバウンド)	国内で取り組まれているインバウンド観光政策の特徴や課題について、具体的な事例をとおして学びます。					講義内容を整理しながら、インバウンド観光の身近な事例について考える(4時間)				
8	前半のまとめ	これまでの講義内容について振り返って要点を整理します。					出題される課題レポートを作成する(4時間)				
9	観光政策と観光開発	国内において政策的に実施された観光開発について、具体的な事例をとおして学びます。					講義内容を整理しながら、観光開発以降の状況について調べる(4時間)				
10	観光政策と観光開発	国内において政策的に実施された観光開発について、具体的な事例をとおして学びます。					講義内容を整理しながら、観光開発以降の状況について調べる(4時間)				
11	観光政策とまちづくり	国内における観光まちづくりの変遷と時代別の特徴について、具体的な事例をとおして学びます。					講義内容を整理して、観光まちづくりの段階的な進展についてノートにまとめる(4時間)				
12	観光政策とまちづくり	国内における観光まちづくりの現代的な特徴や意義、期待される地域的役割について、具体的な事例をとおして学びます。					講義内容を整理しながら、身近な観光まちづくりの実例について調べる(4時間)				
13	観光政策の地域的取り組み	国内において取り組まれている特徴的な観光地域政策について、具体的な事例をとおして学びます。					講義内容を整理しながら、同様の特色をもった他地域の事例について調べる(4時間)				
14	観光政策の地域的取り組み	国内において取り組まれている特徴的な観光地域政策について、具体的な事例をとおして学びます。					講義内容を整理しながら、同様の特色をもった他地域の事例について調べる(4時間)				
15	まとめ	これまでの総括として全体的な講義内容を振り返ります。必要に応じて講義項目の補足説明をします。					講義をとおして分かりにくかった点や再度説明してほしい点を確認すること(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
講義資料を配布します。					定期試験:60% 課題:20% 出席レポート:20% S:学修到達目標をほぼ完全に達成しており、積極的な姿勢と客観的に考察する視点によって課題に取り組むことができている。A:学修到達目標を十分に達成しており、積極的な姿勢で課題に取り組むことができている。B:学修到達目標の基幹部分は達成しており、積極的な姿勢で課題に取り組むことができている。C:学修到達目標の60%程度は達成しており、課題に取り組むことができている。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「観光学全集第9巻 観光政策論」寺前秀一編著(原書房) ISBN:978-4562091379 その他は授業時に紹介します。					観光政策や地域政策の必要性和社会背景を読み取りながら、社会現象としての「観光」に理解を深めていきたいと思います。						

科目名	観光戦略			学年学期	2年後期	単位数	2	ナバリング	TA26003	研究室	W-18
担当者	林 昌孝			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日2限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
		○									
授業概要											
<p>全国で今、観光振興の動きが活性化しています。その戦略が重要であることは、一般企業のみならず観光関連企業においても同様です。本講義では企業戦略についての基礎知識を習得して、長野県の観光戦略について学びます。その応用編としてテーマを設定して、観光戦略を議論・立案・評価しながら実践的に学ぶことを目的とします。</p>											
学修到達目標											
地域観光の課題をテーマとした、観光戦略が立案、評価することができる。											
授業の進め方											
講義とグループワークを中心に進めます。課題を通してフィードバックを行います。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	講義概要と進め方	講義の概要、成績評価の方法、注意事項などの説明をします。					シラバスを読んで質問等をまとめておいてください。資料を配布します(4時間)。				
2	経営戦略の基礎	企業経営における企業戦略の基礎について説明します。					テキスト(経営戦略の基礎)を読んでください(4時間)。				
3	SWOT分析	経営戦略事例とSWOT分析について学びます。					テキスト(企業戦略の手法)を読んでください(4時間)。				
4	経営戦略作成演習	身近な例を用いた経営戦略の作成演習を行います。					テキストの企業戦略事例を読んでください。確認問題があります(4時間)。				
5	長野県の観光産業	長野県の産業構造と観光産業の位置づけについて学びます。					テキスト(長野県の観光産業)を読んでください(4時間)。				
6	観光産業の内部環境	長野県観光産業の特徴・内部環境について説明します。					テキスト(内部環境)を読んでください(4時間)。				
7	観光産業の外部環境	長野県観光産業の外部環境について説明します。					テキスト(外部環境)を読んでください。復習問題があります(4時間)。				
8	長野県の観光振興計画	長野県が行う観光振興計画について説明します。					配布資料(長野県観光振興計画)を読んでください(4時間)。				
9	観光戦略とマーケティング	観光戦略とマーケティング戦略の特徴について説明します。					テキスト(観光戦略とマーケティング)を読んでください(4時間)。				
10	観光の市場分析	観光産業における市場の特徴について説明します。					テキスト(観光産業の市場)を読んでください(4時間)。				
11	サービス企業戦略事例	マーケティング戦略の事例説明をします。					テキスト(サービス産業の企業戦略)を読んでください(4時間)。				
12	観光事業戦略事例	観光事業のマーケティング戦略の事例説明をします。					テキスト(地域観光戦略)を読んでください(4時間)。				
13	長野県の観光戦略事例	長野県の観光戦略の事例説明をします。					テキスト(長野県の観光戦略)を読んでください(4時間)。				
14	観光戦略テーマ設定	各自が注目する観光課題の絞り込みとまとめ方について説明します。					テキスト(観光戦略の策定)を読んでください(4時間)。				
15	まとめ	課題とする観光戦略の整理検討・まとめ					課題の提出があります(4時間)。				
テキスト					成績評価の方法・基準						
テキスト資料・適時プリントを配布します。					レポート:70% 出席レポート:30% S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、積極的な姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
講義内で紹介します。					地域の観光課題を意識して講義に臨んでください。コンピュータ室を利用する場合上履制限する場合があります。						

科目名	旅行業法		学年学期	2年前期	単位数	2	ナバリング	TA26004	研究室	W-13
担当者	中澤 朋代		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日3限、金曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
観光に関する法令において、旅行に関する基本的なことを定めた「旅行業法」を学習します。法文の理解を深めるとともに、旅行業の実際と合わせながら、法文を解釈できることを目指します。旅行業務取扱管理者試験の全試験に必要な科目であるため、さらに問題練習をしながら理解度の充実を図ります。										
学修到達目標										
旅行に関する法文である旅行業法を学習し、旅行に関する様々な法文の理解を深めることを目的とします。										
授業の進め方										
徹底的な法文の理解と問題演習で、中間テストにより学習成果をフィードバックします。旅行業と関連する産業について理解しておくことが大切です。時間外に中間試験を行い、試験対策とします。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	旅行業法の目的と構成	講義の進め方を解説したのち、旅行業法の目的と構成について解説します。					テキストp1-17を予習し、事後に理解度チェックを行う。(4時間)			
2	1章 旅行業の定義	旅行業の定義について、テキストや資料をもとに解説します。					テキストp18-25を予習し、事後に理解度チェックを行う。(4時間)			
3	2章 旅行業の登録(概要)	旅行業の登録(概要)について解説します。					テキストp26-33を予習し、事後に理解度チェックを行う。(4時間)			
4	2章 旅行業の登録(手続き)	旅行業の登録(手続き)について解説します。					テキストp33-40を予習し、事後に理解度チェックを行う。(4時間)			
5	2章 営業保証金制度(1)	営業保証金制度(1)について解説します。					テキストp41-46を予習し、事後に理解度チェックを行う。(4時間)			
6	2章 営業保証金制度(2)	営業保証金制度(2)について解説します。					テキストp46-57を予習し、事後に理解度チェックを行う。(4時間)			
7	2章 旅行業務取扱管理者	旅行業務取扱管理者の制度、外務員について解説します。					テキストp58-65,p80-81を予習し、事後に理解度チェックを行う。(4時間)			
8	2章 旅行業約款	旅行業約款(料金、約款、標識)について解説します。					テキストp66-70,p82-87を予習し、事後に理解度チェックを行う。(4時間)			
9	2章 旅行取引に関する諸規制	旅行取引に関する諸規制について解説します。					テキストp71-79を予習し、事後に理解度チェックを行う。(4時間)			
10	2章 旅程管理業務	旅程管理業務について解説します。					テキストp88-97を予習し、事後に理解度チェックを行う。(4時間)			
11	2章 禁止行為、受託契約、旅行業代理業	禁止行為、受託契約、旅行業代理業、事業の廃止等について解説します。					テキストp98-109を予習し、事後に理解度チェックを行う。(4時間)			
12	2章 旅行サービス手配業	旅行サービス手配業について解説します。					テキストp110-128を予習し、事後に理解度チェックを行う。(4時間)			
13	3章 旅行業協会・弁済業務保障制度	旅行業協会・弁済業務保障制度について解説します。					テキストp129-148を予習し、事後に理解度チェックを行う。(4時間)			
14	4・5章 雑則・罰則	雑則・罰則について解説します。					テキストp149-159を予習し、事後に理解度チェックを行う。(4時間)			
15	問題練習	過去に国家試験に出題された問題練習をしながら理解度を深めます。					過去問題に取り組み、授業の正答で誤った箇所を再学修する。(4時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準								
「2020旅行業法及びこれに基づく命令」(JTB総合研究所)(別途、指示します。) 申込み方法は別途指示します。		定期試験：70% 小テスト：30% S：授業内容を高度に理解し、正しく解釈し、課題を指摘できる。 A：授業内容を高度に理解し、法文について正しい理解ができている。 B：授業内容をおおよそ理解し、法文について正しい理解が80%できている。 C：授業内容をおおよそ理解し、法文について正しい理解が60%程度である。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
なし		本講座は「旅行業約款」「観光地理」「国内旅行実務」と併せて国家試験に対応します。【実務経験のある教員】自然ガイドの法人に勤務、旅行ツアー手配・実務業務に従事。								

科目名	観光約款	学年学期	2年前期	単位数	2	ナパリング	TA26005	研究室	W-15
担当者	田開 寛太郎	必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日2限、水曜日2限		
関連資格				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)						
	A	B	C						
授業概要									
この講義は「国内旅行業務取扱管理者」試験合格を目指すことを目的に開講された講座です。旅行業には旅行の営業、旅行コースの企画、添乗などの仕事がありますがこれらの仕事をスムーズにこなすには、旅行業務に熟知した専門家が必要です。この講義で学ぶのは、「旅行業約款、運送約款及び宿泊約款に関する知識」であり、内容は、国内観光関係約款、運送関係約款、宿泊約款などです。									
学修到達目標									
「旅行業約款、運送約款及び宿泊約款に関する知識」であり、内容は、国内観光関係約款、運送関係約款、宿泊約款などです。受験を念頭において講義をするので重要な項目、試験によく出る所は時間をかけて理解度を深めて合格を目指します。									
授業の進め方									
資格試験の合格を目指すものであるから講義と模擬試験練習で理解度を深めるようにします。教室での講義のみになります。各回、小テストを行い添削の上フィードバックを行います。									
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容				事前事後学修			
1	募集型企画旅行契約の部 総則	ガイダンスおよび募集型企画旅行契約の部 総則について解説します。				募集型企画旅行契約の部 総則について学修する。(事前事後4時間)			
2	契約の締結・変更・解除	募集型企画旅行契約の部	契約の締結・変更・解除について解説します。			募集型企画旅行契約の部契約の締結・変更・解除について学修する。			
3	団体・グループ契約・旅程管理・責任	募集型企画旅行契約の部	団体・グループ契約・旅程管理・責任について解説します。			団体・グループ契約・旅程管理・責任について学修する。(事前事後4時間)			
4	契約の締結・変更・解除	受注型企画旅行契約の部	契約の締結・変更・解除について解説します。			契約の締結・変更・解除について学修する。(事前事後4時間)			
5	団体・グループ契約・旅程管理・責任	受注型企画旅行契約の部	団体・グループ契約・旅程管理・責任について解説します。			団体・グループ契約・旅程管理・責任について学修する。(事前事後4時間)			
6	特別補償規程1	特別補償規程について解説します。				特別補償規程について学修する。(事前事後4時間)			
7	特別補償規程2	特別補償規程について解説します。				特別補償規程について学修する。(事前事後4時間)			
8	手配旅行契約の部	手配旅行契約の部について解説します。				手配旅行契約の部について学修する。(事前事後4時間)			
9	中間まとめ	これまでの振り返りを行います。また、国家試験対策として模擬試験練習をします。				誤ったところを復習する。(事前事後4時間)			
10	国内航空旅客運送約款1	国内航空旅客運送約款について解説します。				国内航空旅客運送約款について学修する。(事前事後4時間)			
11	国内航空旅客運送約款2	国内航空旅客運送約款について解説します。				国内航空旅客運送約款について学修する。(事前事後4時間)			
12	一般貸切旅客自動車運送事業標準運送約款	一般貸切旅客自動車運送事業標準運送約款について解説します。				一般貸切旅客自動車運送事業標準運送約款について学修する。(事前事後4時間)			
13	フェリー標準運送約款	フェリー標準運送約款について解説します。				フェリー標準運送約款について学修する。(事前事後4時間)			
14	モデル宿泊約款	モデル宿泊約款について解説します。				モデル宿泊約款について学修する。(事前事後4時間)			
15	まとめ・試験対策	国家試験対策として模擬試験練習をします。				誤ったところを復習する。(事前事後4時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準							
「旅行業実務シリーズ2 旅行業約款、運送・宿泊約款」(JTB総合研究所)(別途、指示します。)旅行業約款の授業で使用します。申込み方法は別途指示します。		小テスト:30% 定期試験:70% S:授業内容を高度に理解し提案力が特に優れている。 A:授業内容を高度に理解し探究心、提案力が優れている。 B:授業内容をおおよそ理解し探究心、提案力がある。 C:授業内容をおおよそ理解し、探究心、提案力が60%程度である							
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)							
なし		国家試験に合格するために日々の予習・復習に留意してください。							

科目名	契約法		学年学期	2年前期	単位数	2	ナバリング	TA26006	研究室	W-33
担当者	増尾 均		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日4限、木曜日2限		
関連資格	中一(社会)、高一(公民)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
本講義では債権法総論を中心に授業をし、各論の不法行為も合わせて行います。民法は大別すると財産法と家族法に分けることができます。財産法には、民法総則・物権法・債権法総論・債権法各論があります。この中で債権法総論には契約・保証・損害賠償など社会生活の中で多用されている制度があることから、これを重点的に行います。										
学修到達目標										
本講義を受けることにより、トラブルに遭わないための予防策、ならびにトラブルに遭ってしまった場合の速やかな解決方法を学び、地域人として社会の発展に寄与することができるようになることを目的とします。										
授業の進め方										
基本的には教科書と六法を用いて講義室で授業を行います。しかし、教科書と六法のみではなく、必要に応じて判例・新聞記事などのプリントも配布して使用します。適宜、修得状況を確認する目的で小テストを行い、その結果を学生にフィードバックします。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	授業の進め方・契約法を学ぶ意義				事前に民法の中の契約法の位置づけを調べる。事後学修として、体系的にまとめる。(4時間)				
2	特定物債権と不特定物債権	特定物債権と不特定物債権の特徴				事前に両債権の外郭を理解しておくこと。事後学修として、詳細に比較検討すること。(4時間)				
3	危険負担	特定物債権と不特定物債権の危険負担の違い				事前に危険負担の意味を調べて理解すること。事後学修として両者の違いを把握すること(4時間)				
4	金銭債権と利息債権	金銭債権と利息債権の問題点と法的諸規制				事前学修として、変遷を調べておく。事後学修として、法的規制をまとめる。(4時間)				
5	強制履行	直接強制・代替執行・間接強制の要件と効果				事前に履行を強制するかまとめる。事後学修として各強制的利用限界をまとめる。(4時間)				
6	債務不履行の種類	債務不履行の意義と要件				事前に債務不履行が生じる場面を調べる。事後学修として、体系的に整理して理解する。(4時間)				
7	債務不履行の効果	債務不履行の手続きと損害賠償				事前に損害賠償の内容を調べておくこと。事後学修として、整理してまとめること。(4時間)				
8	復習テスト	7回の授業の習熟度を理解してもらうため30分の小テストを行い、終了後詳細な解説をする。				事前に今までの復習を再度行う。事後学修として、理解が不十分であった所を学ぶ。(4時間)				
9	債権者代位権と債権者取消権	責任財産の保全という視点から債権者代位権と債権者取消権を学ぶ				事前に2制度の概要を理解しておくこと。講義後学、制度の要件と効果をまとめる。(4時間)				
10	分割・不可分債権関係・連帯債務	多数当事者の債権関係として、分割・不可分債権関係・連帯債務の制度を学ぶ				事前に各制度の概要を理解する。事後学修として、担保的機能を中心に理解を深める。(4時間)				
11	保証債務・連帯保証	担保的機能の強い保証債務と連帯保証の特徴と留意点				事前に担保的機能を調べる。事後学修として、制度の違いを整理する。(4時間)				
12	弁済・代物弁済・供託	債権の消滅原因としての弁済・代物弁済・供託の機能				事前に各制度の特徴を調べる。事後学修として、各制度の違いを比較しまとめる。(4時間)				
13	相殺・更改・免除・混同	債権の消滅原因としての相殺・更改・免除・混同の機能				事前に各制度の特徴を調べる。事後学修として、各制度の違いを比較しまとめる。(4時間)				
14	一般の不法行為	民法709条の要件と効果				事前に損害賠償について調べる。事後学修として、債務不履行の効果と比較すること。(4時間)				
15	特殊な不法行為	特殊な不法行為として位置づけられている諸制度の要件と効果				事前に条文に従い種類を整理しておくこと。事後学修として、効果をまとめる。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「プリメール民法3債権総論」大島和夫・高橋眞・玉樹智文・山田希著 著(法律文化社) ISBN:978-4-589-03625-4 (生協で購入してください。) 「ポケット六法」井上正仁・能見善久ほか編(有斐閣) ISBN:9784641009158 (生協で購入してください。)				出席レポート:10% 定期試験:90% Sは授業内容を高度に理解して課題や発展的問題が解ける。Aは授業内容を理解して応用問題や課題が解ける。Bは授業内容をおおよそ理解して応用問題や課題がほぼ解ける。Cは授業内容の6割程度を理解している。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「債権総論」水辺芳郎著(法律文化社)				身近で利用頻度の高い法律を学ぶ以上、常に問題意識を持って授業に臨み、今後の大学生活および社会生活に役立ててください。講義計画に該当する内容をテキストから探し、読んでおいてください。						

科目名	観光産業論			学年学期	2年後期	単位数	2	ナバリング	TL26007	研究室	W-15
担当者	田開 寛太郎			必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日3限、火曜日3限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
観光関連企業が経営していく上での現状や課題について観光関連企業や観光地から具体的に把握し、各観光業界と観光地の経営戦略を考えます。前半に観光関連産業の経営について、後半は観光地に焦点を当て地域での観光産業について学びます。様々な観光産業、観光地の経営戦略を理解することが到達目標です。											
学修到達目標											
観光関連産業の特徴や収益構造を理解するとともに、観光地における顧客満足度を高めてリピーターを増やすための取組や経営戦略について考えることが出来るようになることを目指します。											
授業の進め方											
独自のプリント教材を中心に講義を進めます。必要に応じて、スライド、ビデオなどの視聴覚教材を利用します。レポートの内容は授業時にフィードバックを行います。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	授業ガイダンス	授業概要、学修到達目標、授業の進め方、評価の仕方、履修上の注意などを説明します。					自分自身で体験した観光施設について感動した要因を整理する(4時間)				
2	観光行動と顧客満足度	観光地への訪問意欲などの観光行動について統計データから概観し、観光地における顧客満足度について解説します。					自分自身で観光地において満足度が高くなる要因を整理する(4時間)				
3	観光経営の状況と動向	「観光をめぐる経営状況と現在の動向について」および「観光関連産業の経営状況と戦略」について解説します。					観光経営の状況と動向について学修する(4時間)				
4	旅行会社1	旅行会社の商品、収益構造や旅行業者数の推移などの基本的な情報をおさえ、旅行業界の現在(いま)を学びます。					主要旅行業者の取扱額を調べる(4時間)				
5	旅行会社2	競争激化する業界での経営戦略について、人気のある旅行会社の事例を説明し、今後の業界の経営戦略について解説します。					人気のある旅行会社についてその要因を調べる(4時間)				
6	宿泊関連施設1 旅館と民宿	人気のある旅館とは、今後の旅館経営戦略について効果ある施策を解説します。					人気のある旅館についてその要因を調べる(4時間)				
7	宿泊関連施設2 ホテル	ホテル業界の発展史、市場規模や顧客満足度を高めるための施策やサービスマインドを解説します。					人気のあるホテルの要因を調べる(4時間)				
8	空港・航空会社1	航空機の特長や航空事業の特徴について。旅行産業の成熟化や海外個人旅行(FIT)の誕生とその背景について解説します。					航空業と航空運賃の区別について学修する(4時間)				
9	空港・航空会社2	地方空港の経営戦略について。格安航空会社(LCC)の経営戦略について解説します。					地方空港の経営戦略とLCCについて学修する(4時間)				
10	博物館	博物館(科学博物館、歴史博物館、美術館、植物園、動物園・水族館等を含む)が地域を活性化するためのポイントと経営戦略を解説します。					博物館が地域を活性化させるための施策について学修する(4時間)				
11	動物園・水族館	旭山動物園がなぜ上野動物園より人気があるのか。具体例を解説し顧客満足度を高めるための施策を学びます。					旭山動物園の行動展示について復習する(4時間)				
12	テーマパーク	テーマパークの発展史、事業特性や経営戦略について解説します。					テーマパーク訪問時に体験した顧客満足度についてまとめておく(4時間)				
13	温泉観光地	観光地における産業の経営状況と戦略について。温泉地・温泉街の活性化に向けての地域経営戦略について解説します。					温泉観光地における地域観光振興策と経営戦略を学修する(4時間)				
14	教育旅行	遠足や校外学習、新入生を対象にしたオリエンテーション合宿などを含むさまざまな学校の教育旅行の取組みを紹介し、体験を通じた学びと産業の広がりを解説します。					地域の教育旅行誘致による活性化について学修する(4時間)				
15	まとめ	講義全体のまとめと、これからの観光産業のあり方として観光まちづくりについて解説します。					観光産業における顧客満足度を高めるための施策を学修する(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
講義ごとに概要を説明したレジメを配ります。					レポート:30% 定期試験:70% S:授業内容を高度に理解し提案力が特に優れている。 A:授業内容を高度に理解し探究心、提案力が優れている。 B:授業内容をおおよ理解し探究心、提案力がある。 C:授業内容をおおよ理解し、探究心、提案力が60%程度である						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
なし					授業中に発表してもらった場合もあるので常に問題意識を持って授業に出席して欲しい。講義計画に該当する内容を、新聞、ニュース、書物などから探し読んでおいて下さい。						

科目名	国際観光		学年学期	2年後期	単位数	2	ナパ'リング	TA26008	研究室	W-17
担当者	益山 代利子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	木曜日2限、木曜日5限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
観光は「平和のパスポート」と呼ばれています。訪日外国人旅行者が3千万人を超える時代を迎えて、今後益々人的交流の機会が増え、個人的な民間外交の重要性が叫ばれてきました。本講義では、国際観光に関連する統計や事例を基に、国際観光ビジネス、インバウンド政策の諸問題、国際観光と交流文化の視点から、日本と世界の国際観光について考えます。										
学修到達目標										
1. 日本人の海外旅行の推移や訪日外国人旅行者の特徴を理解する。 2. 観光関連産業界の国際問題について把握する。 3. 国際文化交流と観光の役割について説明できる。										
授業の進め方										
統計資料や文献などを利用して説明しながら説明します。複数回のグループワークを通して、最終講義には訪日旅行企画に関するグループプレゼンテーションを行います。グループプレゼンテーションの内容については、グループワーク毎にフィードバックを行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	世界の観光動向	統計数値から読み解く旅行市場の規模、日本人の海外旅行の概況と訪日外国人旅行者の動向、世界の国際観光組織などを紹介します。				観光白書を読む。(4時間)				
2	訪日観光の概要	訪日観光客の市場動向、観光目的による旅行者の類型、観光行動について説明します。				訪日外国人旅行者の市場動向に関するデータを分析する。(4時間)				
3	観光大国への条件と観光資源の発掘	観光資源、旅行環境、観光者のニーズ把握などを学びます。				身近な観光資源を調査する。(4時間)				
4	訪日外国人観光客の消費動向	訪日外国人観光客の消費動向と内容についてデータを読み解き、課題と対策を考えます。				訪日外国人観光客の特徴に関するレポート課題(5時間)				
5	観光行動	旅行者の行動類型、行動志向と目的地との関係について分析します。				旅行者の観光行動に関する資料を読み、整理する。(4時間)				
6	観光動機と観光目的	訪日外国人旅行者の観光動機と目的別分類体系を説明します。				観光動機に関する資料を読み整理する。(4時間)				
7	異文化理解	異文化理解の概念、異文化理解の手段、異文化を知る観光携帯、異文化接触による態度変化などについて学びます。				異文化理解に関する資料を読み、整理する。(4時間)				
8	訪日外国人旅行者の誘致活動	マーケティング戦略から見たわが国の外国人の誘致活動の可能性について説明します。				訪日外国人旅行者の販売促進活動に関する資料を読み、整理する。(4時間)				
9	観光地のプロモーション	訪日外国人客をターゲットとした販売促進活動やコミュニケーション手法について説明します。				観光地のプロモーション活動に関するレポート課題(5時間)				
10	旅行産業とインバウンドビジネス	旅行会社や手配会社(ランドオペレーター)の役割について、インバウンド市場を中心に考えます。				旅行産業に関する資料を読み、整理する。(4時間)				
11	宿泊産業とインバウンドビジネス	外国人宿泊客の現状、事例、課題などを説明します。				宿泊施設のインバウンド対策に関するレポート課題(5時間)				
12	クルーズ産業とインバウンドビジネス	クルーズ市場の概要、大型クルーズの特徴、国内のクルーズビジネスの課題				クルーズ市場の展望に関する資料を読み、整理する。(4時間)				
13	地域の国際振興	外国人旅行者を誘致するための地域の取り組み方について、高山市の事例などを紹介しながら観光振興の特徴や課題を整理します。				観光振興策のグループ・プレゼンテーションの準備(5時間)				
14	グループプレゼンテーション	インバウンド旅行商品に関するグループプレゼンテーションを通して、長野県の課題を考えます。				観光振興のグループプレゼンテーションの復習(4時間)				
15	まとめ	これまでの総括と試験対策の説明をします。				講義全体の復習(4時間)				
テキスト			成績評価の方法・基準							
(別途、指示します。)			課題:30% 定期試験:70% S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探究姿勢をもって課題に取り組み、例題からは難しい応用問題が解け、他の学生の前で発表できる。A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって内容に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおよるを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。							
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)							
			【実務経験のある教員が担当】実務経験の内容:米国のリゾート&テーマパーク運営会社やスウェーデンの通信会社に勤務し、国際的な視野に基づくサービスの経営に携わった。							

科目名	宿泊経営		学年学期	3・4年前期	単位数	2	ナパリング	TA36009	研究室	W-26
担当者	山根 宏文		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	木曜日1限		
関連資格					履修条件	(集中講義となります)				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
宿泊施設の中でも旅館や民宿、ペンションなど日本型の宿泊施設や、西洋型のホテルから多様な宿泊施設形態の経営方法を学び理解することを目指します。この講義では、旅館、ホテルの経営者を招き実践経営を学びます。										
学修到達目標										
観光産業の中で、宿泊産業について旅館やホテルについて理解し、経営・営業・企画に活かせるノウハウを学ぶのが目標です。										
授業の進め方										
独自のプリント教材を中心に講義を進めます。必要に応じて、スライド、ビデオなどの視聴覚教材を利用します。3日間の集中講義になります。2日間は講義, 1日はアウトキャンパスになります。毎回フィードバックを行い理解度を深めます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	長野県の宿泊産業の経営状況	長野県の宿泊産業の経営状況について解説します。				長野県の宿泊産業の経営状況について学修する。(事前事後4時間)				
2	旅館業の動向	旅館業の動向について解説します。				旅館業の動向について学修する(事前事後4時間)				
3	旅館の経営 融資判断の基準	旅館の経営 融資判断の基準について解説します。				旅館の経営 融資判断の基準について学修する。(事前事後4時間)				
4	旅館の経営 決算書・旅館の資金需要	旅館の経営 決算書・旅館の資金需要について解説します。				旅館の経営 決算書・旅館の資金需要について学修する。(事前事後4時間)				
5	旅館の経営 事業計画	旅館の経営 事業計画について解説します。				館の経営 事業計画について学修する。(事前事後4時間)				
6	旅館の現状	旅館の現状について解説します。				旅館の現状について学修する。(事前事後4時間)				
7	旅館の特質	旅館の特質について解説します。				旅館の特質について学修する。(事前事後4時間)				
8	旅館の経営 客室・宴会	旅館の経営 客室・宴会について解説します。				旅館の経営 客室・宴会について学修する。(事前事後4時間)				
9	旅館の経営 食事	旅館の経営 食事について解説します。				旅館の経営 食事について学修する。(事前事後4時間)				
10	旅館の経営 インバウンドについて	旅館の経営 インバウンドについて解説します。				旅館の経営 インバウンドについて学修する。(事前事後4時間)				
11	ホテルの歴史	日本・欧州のホテルの歴史について解説します。				ホテルの歴史について学修する。(事前事後4時間)				
12	ホテルの特性	ホテルの特性について解説します。				ホテルの特性について学修する。(事前事後4時間)				
13	ホテルの経営 宿泊部門・飲料部門	ホテルの経営 宿泊部門・飲料部門について解説します。				ホテルの経営 宿泊部門・飲料について復習する。(事前事後4時間)				
14	ホテルの経営 宴会部門・予約部門・営業推進	ホテルの経営 宴会部門・予約部門・営業推進について解説します。				ホテルの経営 宴会部門・予約部門・営業推進について学修する。(事前事後4時間)				
15	ホテルと地域との連携	ホテルと地域との連携について実例を案内し解説します。				ホテルと地域との連携について学修する。(事前事後4時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
講義ごとに概要を説明したレジメを配ります。		出席レポート:30% レポート:70% S:授業内容を高度に理解し提案力が特に優れている。 A:授業内容を高度に理解し探究心、提案力が優れている。 B:授業内容をおおよそ理解し探究心、提案力がある。 C:授業内容をおおよそ理解し、探究心、提案力が60%程度である								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「ホテル経営教本」(柴田書店)		【実務経験のある教員が担当】実務経験の内容:旅行会社に勤務し、約2500の宿泊施設に宿泊・宿泊選定業務などに携わった。								

科目名	社会調査論		学年学期	3・4年前期	単位数	2	ナバリング	KL36026 TL36010	研究室	W-18	
担当者	林 昌孝		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスアワー	月曜日2限			
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
本講義は、社会現象をデータの収集と分析により明らかにする、社会調査について学びます。調査研究しようとする対象の設定や調査方法、得られたデータの整理と検討についての基礎理論を説明し、分析・検討の方法について学びます。基礎統計学の続編に位置します。											
学修到達目標											
アンケートの調査により得られたデータを適切な方法で表現したり、仮説検定ができる。											
授業の進め方											
講義用テキストを配布して授業を進めます。教室での講義とパソコンでの実習・演習をおこないながらフィードバックを行います。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	ガイダンス	受講条件の確認をおこない、進め方について説明をします。					シラバスを読んで質問等をまとめてきてください。資料を配布します(4時間)。				
2	社会調査の目的と種類	社会調査の目的と種類について説明します。					テキスト(社会調査の目的と種類)を読んできてください(4時間)。				
3	数値データ表現	量的調査とデータ表現について説明します。					テキスト(数値データ表現)を読んできてください(4時間)。				
4	カテゴリデータ表現	質的調査とデータ表現について説明します。					テキスト(カテゴリデータ表現)を読んできてください(4時間)。				
5	社会調査の進め方	社会調査の進め方と整理の方法について説明します。					テキスト(社会調査の進め方と整理)を読んできてください(4時間)。				
6	データ表現演習	いろいろなデータの表現方法について演習形式で学びます。					テキスト(データ表現演習)を読んできてください。確認問題があります(4時間)。				
7	標本調査に関する理論	母集団と標本調査に関する理論について説明します。					テキスト(母集団と標本調査に関する理論)を読んできてください(4時間)。				
8	推定と検定の基礎理論	推定と検定の基礎理論について説明します。					テキスト(推定と検定の基礎理論)を読んできてください。確認問題があります(4時間)。				
9	確率分布と検定理論	いろいろな確率分布と検定の対応について説明します。					テキスト(確率分布と検定理論)を読んできてください(4時間)。				
10	t分布による検定	t分布による検定方法について説明します。					テキスト(t分布による検定)を読んできてください(4時間)。				
11	カイ二乗分布による検定	カイ二乗分布による検定について説明します。					テキスト(カイ二乗分布による検定)を読んできてください(4時間)。				
12	標本数が異なる異なる場合の検定	標本数が異なる異なる場合の検定について説明します。					テキスト(標本数が異なる異なる場合の検定)を読んできてください(4時間)。				
13	分散分析とF分布の理論	分散分析とF分布の理論について説明します。					テキスト(分散分析とF分布の理論)を読んできてください。確認問題があります(4時間)。				
14	発展分野	社会調査の発展分野について説明します。					資料配布しますので読んできてください(4時間)。				
15	課題とまとめ	各自が社会調査を実際に行って結果の検討をおこないます。					課題と確認問題があります(4時間)。				
テキスト		成績評価の方法・基準									
講義用テキスト及びプリントを配布します。		定期試験：70% 出席レポート：30% S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。									
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)									
2年配当科目「基礎統計学テキスト」林昌孝編著(松本大学)適時紹介します。		本科目は「基礎統計学」「情報処理」の知識を基礎にしています。また、パソコン教室を利用するため履修者制限する場合があります。企業での実務経験を活かした内容です。									

科目名	サービスマーケティング		学年学期	3・4年前期	単位数	2	ナパ'リング	KA36023 TA36011	研究室	W-17
担当者	益山 代利子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	木曜日2限、木曜日5限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
		総 観								
授業概要										
世界経済成長の牽引力がサービス部門にシフトし、GNPや労働人口に占めるサービス分野の割合は拡大しているにもかかわらず、日本のサービスビジネスは製造業との比較において生産性の低さやグローバル化の遅れが目立っているとされています。本講義では、サービス企業の成功例を吟味しながら、サービス産業に求められるマーケティング理論を体系的に学び、身近なサービスの現場に照らし合わせて考える能力を養います。										
学修到達目標										
サービスの特徴を理解した上で、サービスの経営を体系立てて考えるための一般的な理論と方法を習得すること。										
授業の進め方										
テキストと参考資料を基にすすめます。講義の形式は主にスライドを使用しますが、内容に応じてビデオも併用します。授業の中でグループ討議やグループワークなども実施します。提出課題については講義の中で振り返りを行い各自へのフィードバックを行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	サービス・マーケティングの概要	サービスの経営や販売に関して、サービス・マーケティングの学問領域ではどのような課題を扱うかを説明します。				テキスト第1章、第2章を読む。(4時間)				
2	サービスとは何か	商品としてのサービス、サービス商品の特徴をモノ製品と比較して考えます。				テキスト第3章、第4章を読む。(4時間)				
3	サービスの分類と構成要素	サービス商品の構成要素と分類の仕方について学びます。				テキスト第5章、第8章を読む。「特徴的なサービス商品」に関するレポート作成(4時間)				
4	サービス・エンカウンター設計	サービス商品の特徴を理解した上で、サービス・エンカウンター(接遇)の設計方法について整理します。				テキスト第6章、第7章を読む。(4時間)				
5	サービスの品質	サービスの品質の重要性、特徴、基準、顧客満足と顧客価値の関係について学びます。				テキスト第9章を読む。(4時間)				
6	サービス・マーケティング・ミックス	サービス・マーケティング・ミックスの特徴、内容、顧客価値の実現とサービス組織についての考え方を整理します。				テキスト第10章、第11章を読む。(4時間)				
7	サービス・マーケティング・ミックス:サービス商品開発	サービス商品開発について学びます。グループワークを用いて、実在企業のサービス商品について考えます。				企業のサービス商品について調査し、レポートを書く。(4時間)				
8	サービス・マーケティング・ミックス:流通	サービス商品の流通、立地条件について学びます。				企業のサービス商品の流通について調査する。(4時間)				
9	サービス・マーケティング・ミックス:販売促進	サービス商品のプロモーション手法について学びます。				企業のサービス商品の販売促進方法について調査する。(4時間)				
10	サービス・マーケティング・ミックス:価格	サービス商品の価格設定の手法について説明します。				企業のサービス商品の価格について調査する。(4時間)				
11	サービス・マーケティング・ミックス:人材	人材育成やモチベーション理論などを踏まえたインターナル・マーケティングについて説明します。				企業の従業員研修や労働意欲維持に関する取組について調査し、レポートを書く。(4時間)				
12	サービス・マーケティング・ミックス:物的環境・サービス・デリバリー・シス	サービスの空間デザインとサービスを提供する過程について説明します。				テキスト第12章を読む。(4時間)				
13	サービス・プロフィット・チェーン	サービスの利益構造、顧客満足度、顧客ロイヤルティの関係について説明します。				テキスト第13章を読む。(4時間)				
14	苦情対応と顧客ロイヤルティ	苦情対策と顧客ロイヤルティ、リレーションシップ・マーケティングについて学びます。				テキスト第14章を読む。(4時間)				
15	サービス・マーケティングと顧客価値創造	まとめ				資料確認、試験対策 (4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「サービスマーケティング第2版」近藤隆雄著(生産性出版) ISBN:978-4-8201-1949-4(生協で購入してください。)				課題:30% 定期試験:70% S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探究姿勢をもって課題に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける、他の学生の前で発表できる。A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって内容に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおよるを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「コトラーのプロフェッショナル・サービス・マーケティング」フィリップ・コトラー他著(ピアソン・エデュケーション)				【実務経験のある教員が担当】実務経験の内容:米国のリゾート&テーマパーク運営会社やスウェーデンの通信会社に勤務し国際的な視野に基づくサービスの経営に携わった。						

科目名	ツアープランニング			学年学期	3・4年後期	単位数	2	ナバリング	TA36012	研究室	W-26
担当者	山根 宏文			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日1限、金曜日1限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
この講義では、感性と創造力を豊かにさせ、観光資源の活かし方と企画力を磨くのが目的です。同じ観光資源でも、活かし方によって優れたものになったり値打ちのないものになったりします。どのように付加価値をつけたら感動してもらえるのか考えていきたいと思います。講義の概要は次の通りです。 旅の歴史について学ぶ 旅行会社と旅行企画について 観光資源・伝統文化・体験の活かし方を学ぶ テーマごとの旅の企画 情報発信について											
学修到達目標											
感動する旅をプロデュースするために必要な創造力や感性を活かし、観光資源を活かし、実際にプロデュースすることができることが到達目標です。											
授業の進め方											
独自のプリント教材を中心に講義を進めます。必要に応じて、スライド、ビデオなどの視聴覚教材を利用します。教室での講義のみになります。毎回フィードバックを行い理解度を深めます。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	授業ガイダンス	旅の楽しみ方と旅を構成するものを解説します。					旅を構成するものについて学修する。(事前事後4時間)				
2	旅の歴史	日本、および欧州の旅の歴史について解説します。					旅の歴史について学修する。(事前事後4時間)				
3	旅行会社の現状と課題	旅行会社の現状と課題について解説します。					旅行会社の現状と課題について学修する。(事前事後4時間)				
4	宿泊施設の活かし方	旅を構成するもの活かし方として宿泊施設(顧客満足度の高い・旅館・ホテル・民宿など)について解説します。					宿泊施設の活かし方を学修する。(事前事後4時間)				
5	観光資源の活かし方	観光資源(伝統文化施設の感動を生む活かし方)の活かし方について事例を説明し、解説します。					観光資源の活かし方を学修する。(事前事後4時間)				
6	食と旅	食(郷土料理・高級料理・B級グルメ)の活かし方、食を活かした旅について解説します。					食の活かし方について学修する。(事前事後4時間)				
7	ガイド・お土産・おもてなし	ガイド(小さな心がけて感動を生む60の手法)・おみやげ(人気のおみやげ10の要因、買いたくなるおみやげとは)・おもてなし(地域での5つのおもてなし)について解説します。					ガイド・お土産・おもてなしについて学修する。(事前事後4時間)				
8	テーマのある旅(カルチャー)	旅の企画としてテーマのある旅の企画を解説します。テーマはカルチャー(美術・音楽・写真)です。					テーマのある旅(カルチャー)について学修する。(事前事後4時間)				
9	テーマのある旅(健康)	旅の企画としてテーマのある旅の企画を解説します。テーマは健康(スポーツ、ウォーキング)です。					テーマのある旅(健康)について学修する。(事前事後4時間)				
10	テーマのある旅(自然)	旅の企画としてテーマのある旅の企画について解説します。テーマは自然(エコツアー)です。					テーマのある旅(自然)について学修する。(事前事後4時間)				
11	テーマのある旅(体験・アグリツーリズム)	旅の企画としてテーマのある旅の企画について解説します。テーマは体験・アグリツーリズムです。					テーマのある旅(体験・アグリツーリズム)について学修する。(事前事後4時間)				
12	テーマのある旅(バリアフリー)	旅の企画としてテーマのある旅の企画について解説します。テーマはバリアフリーです。					テーマのある旅(バリアフリー)について学修する。(事前事後4時間)				
13	イベント・文化交流	旅の企画としてイベント・文化交流について解説します。					イベント・文化交流について学修する。(事前事後4時間)				
14	観光情報発信	ヒットする旅の企画の情報発信について事例にもとづき解説します。					観光情報発信について学修する。(事前事後4時間)				
15	全講義のまとめ	まとめとして感動する旅の創り方について解説します。					講義の全レジメをもとに学修する。(事前事後4時間)				
テキスト						成績評価の方法・基準					
講義ごとに概要を説明したレジメを配ります。						出席レポート:30% 定期試験:70% S:授業内容を高度に理解し提案力が特に優れている。 A:授業内容を高度に理解し探究心、提案力が優れている。 B:授業内容をおおそ理解し探究心、提案力がある。 C:授業内容をおおそ理解し、探究心、提案力が60%程度である。					
参考書						履修上の注意(学生へのメッセージ)					
なし						【実務経験のある教員が担当】実務経験の内容:旅行会社に勤務し、旅行の企画・運営・アテンド業務に携った。					

科目名	観光資源論			学年学期	1年後期	単位数	2	ナバリング	TA16013	研究室	W-11
担当者	丸山 宗志			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	金曜日2限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C	2020年度～						
授業概要											
本講義では、観光資源の分類や定義について学習するとともに、潜在的な観光資源としての地域資源に注目しながら、社会的状況に応じて「発見」されていく観光資源への発展的な理解を目指します。											
学修到達目標											
1. 観光資源の分類や定義について説明することができる。 2. 地域資源と観光資源との関係について、現代観光の展開と地域変化の観点から理解できるようになる。											
授業の進め方											
配布資料や映像資料を用いて講義進行します。講義中には出席レポートに関わる検討課題を設置、解説によって講義内容のフィードバックに役立てます。なお参加希望の有無や講義環境に応じて、一部にアクティブラーニングの導入も検討します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	ガイダンス	講義の概要や進め方、評価方法について説明します。					講義の概要や今後の学習計画について確認すること(4時間)				
2	観光資源の概観	広義での観光資源の種類と分類について学びます。					講義内容をノート等に整理しながら、身近な観光資源の種類と分類について考える(4時間)				
3	自然観光資源	自然観光資源の種類と構成について、具体的な事例をとおして学びます。					講義内容の要点をノート等に整理しながら、自然観光資源に関する事例について調べる(4時間)				
4	人文観光資源	寺社仏閣などに代表される人文観光資源の特色について、具体的な事例をとおして学びます。					講義内容の要点をノート等に整理しながら、人文観光資源に関する事例について調べる(4時間)				
5	人文観光資源	テーマパークや動植物園・博物館など観覧施設に代表される集客目的で作られた人文観光資源の特色について、具体的な事例を学びます。					講義内容の要点をノート等に整理しながら、人文観光資源に関する事例について調べる(4時間)				
6	人文観光資源	祭祀や年中行事、イベントなどに代表される人文(無形)観光資源の特色について、具体的な事例をとおして学びます。					講義内容の要点をノート等に整理しながら、人文観光資源の事例について調べる(4時間)				
7	観光資源と外的評価	文化財や世界遺産などの外的評価と観光資源との関係について、具体的な事例をとおして学びます。					講義内容を整理しながら、観光資源に関する外的評価の経緯についてノートにまとめる(4時間)				
8	前半のまとめ	これまでの講義内容について振り返って要点を整理します。					出題される課題レポートを作成する(4時間)				
9	観光資源の変容(産業観光)	産業遺産や地場産業の観光対象化など産業観光の観光的価値について、具体的な事例をとおして学びます。					講義内容の要点をノート等に整理しながら、産業観光の事例について調べる(4時間)				
10	観光資源の変容(景観)	都市景観や農村景観に代表される複合観光資源としての「景観」について、具体的な事例をとおして学びます。					講義内容の要点をノート等に整理しながら、観光景観の事例について調べる(4時間)				
11	観光資源の変容(食文化)	ご当地グルメや地域の食文化など観光対象としての食文化について、具体的な事例を紹介しながら解説します。					講義内容を整理しながら、観光対象化された食文化の事例について調べる(4時間)				
12	地域資源と観光資源	松本市や長野県をフィールドにしながら、潜在的な観光資源としての地域資源とそれぞれの地域的位置づけや特色について考えます。					講義内容の要点を整理しながら、身近な地域資源の特色について調べる(4時間)				
13	地域資源と観光資源	松本市や長野県をフィールドにしながら、潜在的な観光資源としての地域資源とその観光的価値について考えます。					講義内容の要点を整理しながら、身近な地域資源の特色について調べる(4時間)				
14	地域資源と観光資源	松本市や長野県をフィールドにしながら、潜在的な観光資源としての地域資源と観光資源としての可能性について考えます。					講義内容の要点を整理しながら、身近な地域資源の特色について調べる(4時間)				
15	まとめ	これまでの講義内容について振り返って要点を整理します。					出題される課題レポートを作成する(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
講義資料を配布します。					定期試験: 60% 課題: 20% 出席レポート: 20% S: 学修到達目標をほぼ完全に達成しており、積極的な姿勢と客観的に考察する視点によって課題に取り組むことができている。A: 学修到達目標を十分に達成しており、積極的な姿勢で課題に取り組むことができている。B: 学修到達目標の基幹部分は達成しており、積極的な姿勢で課題に取り組むことができている。C: 学修到達目標の60%程度は達成しており、課題に取り組むことができている。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「観光学全集第1巻 観光学の基礎」溝尾良隆編著(原書房) ISBN: 978-4562091362 その他は授業時に紹介します。					観光資源は観光の「目的」に直接関わるものです。皆さんのこれまでの旅行経験を振り返りながら、自身がどのような観光資源を求めてきた(いる)のか考えてみましょう。						

科目名	景観と観光			学年学期	2年前期	単位数	2	ナパリング	TA26014	研究室	W-17
担当者	益山 代利子			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	木曜日2限、木曜日5限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
景観を観光にいかすにはどのような取り組みが求められるのでしょうか。景観条例をはじめとする各地域の試みを概観しながら、地域住民、行政、観光産業などの役割を学びます。地域の共有財産であり、観光資源としての街づくりを自分の目を通して考える力を養うことをねらいとします。											
学修到達目標											
景観条例の特徴、持続可能な街づくりに求められる景観計画について理解を深め、観光地のみならず一般住宅地を含む都市景観のあり方についての課題を整理した上で、未来の街づくりに対して提案ができる。											
授業の進め方											
主にスライドとプリント教材を用いて進めますが、ビデオなどの視覚教材も併用します。アウトキャンパスやグループワークで伝統的建築物群保存地区の取組を学び最後の授業で発表します。グループワークの課題については、その都度振り返りを行います。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	持続可能な観光まちづくりと景観	日本のまちづくりの現状を景観という視点から把握します。					配布資料を読む。(4時間)				
2	景観まちづくりの歴史	景観が注目されてきた歴史的、社会的背景について説明します。景観の地域性や内の目と外の目の視点について考えます。					地元の景観に関する課題点を探る(4時間)				
3	景観法と景観条例	景観法のコンセプト、景観計画と課題について、松本市の事例を紹介しながら説明します。					松本市の事例について調査し、レポートを書く(5時間)				
4	都市景観1	都市の空間的まとまりと道空間の見かたについて説明します。					都市空間・道空間に関する資料を読み、意見をまとめる。(4時間)				
5	都市景観2	中心市街地の景観について、空地と場所のまとまりの視点から街の在り方を考えます。					空地と場所のまとまりに関する資料を読む。(4時間)				
6	関係性のデザイン	地域構造と景観、スカイライン、セットバック、ファサードライン、ボリュームの役割について、都市デザインの特徴を説明します。					松本市の景観について調査し、レポートを書く(5時間)				
7	変化をつなぐ	変化する都市における景観の持続可能性と、住まいの作法について学びます。					住まいの作法に関する資料を読み、意見をまとめる。(4時間)				
8	自然景観と環境問題	自然景観を維持するための環境政策について説明します。					環境問題に関する資料を読む。(4時間)				
9	農村景観と観光	水資源を含む農村景観と観光振興について、長野県の事例を紹介しながら現状を把握し、課題を整理します。					上高地や安曇野の景観保全について調査しレポートを書く。(5時間)				
10	バリアフリーと景観	景観形成とバリアフリーに配慮した機能性の両立と課題について考えます。					バリアフリーと景観に関する資料を読む。(4時間)				
11	歴史的建造物を活かした景観まちづくり	歴史的建造物を活かした景観まちづくりについて、日本国内の事例を紹介しながら理解を深めます。					次週のアウトキャンパスに備えて、奈良井宿の事前調査を行う。(4時間)				
12	アウトキャンパス	奈良井宿でのフィールド調査をグループで行います。					グループプレゼンテーションの準備(4時間)				
13	フィールド調査の発表	奈良井宿フィールド調査のグループ発表と講評を各チームごとに行います。参加者全員によるプレゼンテーションの評価を行います。					グループプレゼンテーションの準備(4時間)				
14	景観まちづくりと市民参加	景観まちづくりに求められる組織や運営手法について説明します。					景観まちづくりの組織に関する資料を読む。(4時間)				
15	まとめ	これまでの講義の総括と試験対策の説明をします。					講義全体の復習(4時間)				
テキスト						成績評価の方法・基準					
(講義にて配布します。)						課題：30% 定期試験：70% S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探究姿勢をもって課題に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける、他の学生の前で発表できる。A：授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって内容に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおよるを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。					
参考書						履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「松本市景観計画」松本市建設部計画課編						普段見慣れている風景が観光とどのように関わっているかを考えて下さい。					

科目名	エコツーリズム		学年学期	2年後期	単位数	2	ナバリング	TL26015	研究室	W-13	
担当者	中澤 朋代		必修選択	必修	科目種別	講義	オイスカー	火曜日3限			
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
			A	B	C						
授業概要											
地域資源を保全しつつ観光でそれらを活かす「エコツーリズム」は、持続可能な社会づくりへの観光の理念として世界各地で研究され、実践が重ねられています。この授業では知識を得ながらも、実際にエコツアーを体験することを通じて理解を深めます。前半に概論、エコツアーの体験を経て、後半はツーリズムの諸課題をエコツーリズムの切り口から深めます。											
学修到達目標											
「エコツーリズムとは何か」について自分の言葉を使って説明でき、エコツーリズムの考え方に基づいた取り組みを具体的にあげて文章化として表現できる。											
授業の進め方											
資料・映像等各種教材を使いながら講義を進め、グループワークなどの室内実習等でフィードバックを行います。アウトキャンパスでは自然フィールドに出かけます。これらは体育の授業程度の体力を想定していますが、不安のある学生は事前に申し出てください。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	ガイダンス	本講義の進め方を紹介したのち、観光と持続可能な開発目標SDGsを軸に、エコツーリズムの関わる範囲について学びます。					エコツーリズムという概念について講義の内容をノートにまとめる(4時間)				
2	エコツーリズムとは	エコツーリズムについて用語を整理した後に、定義を学び、実際のツアーの事例を紹介します。					エコツアーについて調べ、講義の内容と照らし合わせながらをノートにまとめる(4時間)				
3	エコツーリズムの歴史と展開	エコツーリズムおよびサステナブルツーリズムが生まれた背景や考え方の発展を整理し、持続可能な開発との関係について学びます。					エコツーリズムという用語について調べ、講義後に関連付けてノートにまとめる(4時間)				
4	訪問先の自然	訪問先の概要、環境保全の制度や活用について、地域の取り組みとともに課題を学びます。					国立公園、自然保護について調べておく。講義と関連してノートをまとめる(4時間)				
5	フィールドワーク1【アウトキャンパススタディ】	エコツアーサイトにバスで移動し、グループに分かれて実際にエコツアーを体験します。					授業で紹介された実習準備を行い、感想をレポートとしてまとめる(4時間)				
6	フィールドワーク2【アウトキャンパススタディ】	エコツアーサイトにバスで移動し、グループに分かれて実際にエコツアーを体験します。					授業で紹介された実習準備を行い、感想をレポートとしてまとめる(4時間)				
7	エコツアー-実習のふりかえり	大学にてエコツアー-実習の気づきをシートにまとめ、小グループでのワークショップにてふりかえります。					体験の感想をまとめ、ワークショップのシートを完成させる(4時間)				
8	エコツアーの裏舞台	エコツアーガイドが行っている配慮を事例をもとに整理し、ガイドやエコツアー開発に必要な知識や技術が何であるか学びます。					テキストを予習し、事後は講義の内容をふりかえり、ノートにまとめる(4時間)				
9	エコツーリズムと地域振興	地域におけるエコツーリズムの推進と事業化、観光地域づくり法人(DMO)などの機能について学びます。					身近なエコツアーについて調べ、実習で学んだ内容をまとめる(4時間)				
10	環境問題とエコツーリズム	地球環境問題を解決するための環境教育という視点から、現代におけるエコツーリズムの意義を考えます。					テキストを予習し、事後は講義の内容をふりかえり、ノートにまとめる(4時間)				
11	文化的資源とエコツーリズム	地域固有の文化的資源をどのように保存し、活かすかについて、エコツーリズムの視点から考えます。					地域の歴史文化資源について調べ、講義の内容と絡めてまとめる(4時間)				
12	地域活性化とエコツーリズム	地域の課題に対して、地域づくりの視点から観光のあり方を考えます。滞在型および着地型観光についても詳しく学びます。					テキストを予習し、事後は講義の内容をふりかえり、ノートにまとめる(4時間)				
13	インバウンド観光とサステナブルツーリズム認証	観光産業における持続可能性の問題と、世界で広がるサステナブル・ツーリズムの考え方や認証基準について学びます。					テキストを予習し、事後は講義の内容をふりかえり、ノートにまとめる(4時間)				
14	観光地域づくりとエコツーリズム	観光地域づくり、観光まちづくりという政策とツーリズムの課題と展望について学びます。					テキストを予習し、事後は講義の内容をふりかえり、ノートにまとめる(4時間)				
15	持続可能な地域を目指して	持続可能な社会に向けたエコツーリズムという切り口から、これまでの講義の内容をおさらいし、補足事項を確認します。					これまでのテキストと体験をふりかえり、エコツーリズムについてノートにまとめる(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
随時資料を配布します。					レポート:60% 出席レポート:30% 課題:10% S・A:授業内容を広く深く理解し、実社会に応じて建設的意見を明確に表現できる。B:内容をおおむね理解し、提示された課題に対し意見を文章で明確に表現できる。C:内容を6割程度理解し、提示された課題と意見を文章で表現できる。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「地域からのエコツーリズム」敷田麻美著(学芸出版社) ISBN:978-4-7615-2428-9					実習に際しては時間や場所、持ち物を授業で連絡します。体力に不安な方は相談してください。【実務経験のある教員が担当】自然体験活動の法人に勤務し、エコツアーガイドの実務経験と推進団体を運営する経験がある。						

科目名	ホスピタリティ概論			学年学期	2年後期	単位数	2	ナバリング	TA26016	研究室	W-17
担当者	益山 代利子			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	木曜日2限、木曜日5限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
ホスピタリティの基盤は、人的サービスの提供者がお客様と共に感動を創り上げる、もてなしの倫理や表現行為です。心の豊かさを創り上げるホスピタリティをキーワードとして、行政、医療、福祉、企業経営、地域活性化など、幅広い分野での取り組みが行なわれています。人的サービスを提供する上で欠かせないホスピタリティの概念を様々な分野での事例を通して学習します。											
学修到達目標											
自身の言葉でホスピタリティの概念を説明でき、ホスピタリティを構成する要素を用いて企業や組織のもてなしの特徴や表現方法について分析できる。											
授業の進め方											
パワーポイントと参考資料を基にすすめます。講義の中では、グループでのワークショップを取り入れたり、グループ発表なども実施します。課題はコメントを付けて返却し、講義の中でも紹介します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	ホスピタリティの意義	なぜ今ホスピタリティが注目されているのか、その意義について紹介します。					テキスト第1章ホスピタリティのコンセプトを読む。(4時間)				
2	ホスピタリティの歴史と文化	ホスピタリティの語源、歴史的背景、もてなしやサービスとの言葉の違い、日本の文化的背景について説明します。					テキスト第2章文化の伝播とホスピタリティ精神を読む。(4時間)				
3	ホスピタリティの定義	サービスとホスピタリティを対比させ、ホスピタリティの特性を探ります。					第1章、第2章を再度読み復習する。(4時間)				
4	ホスピタリティの構成要素：物的要素(モノ)	ホスピタリティを表現する物的要素や空間設計について説明します。					おもてなしをモノで表現している事例を調査しレポートを書く。(4時間)				
5	ホスピタリティの構成要素：人的要素1(ヒト)	ホスピタリティを表現する人的要素について説明します。					自己認識力を高めるワークシートの作成。(4時間)				
6	ホスピタリティの構成要素：人的要素2(ヒト)	モチベーション理論、X・Y理論について解説します。					企業の人材開発事例について調査しレポートを書く。(4時間)				
7	ホスピタリティの構成要素：仕組み(コト)	ホスピタリティを表現するための仕組みづくりについて説明します。もてなしの標準化・個別化、サービス提供の流れの設計図を用いて解説します。					企業のおもてなしの標準化について調査する。(4時間)				
8	ホスピタリティの構成要素：創造的な取り組み	企業独自のおもてなしの創出方法を様々な業界の事例を元に解説します。					配布資料を読む。(4時間)				
9	ホスピタリティの三間価値	ホスピタリティを表現するモノ、ヒト、コトの三間価値をホスピタリティ事業での事例と照らし合わせて説明します。					テキスト第3章ホスピタリティ事業とホスピタリティ・コーチングを読む。(4時間)				
10	ホスピタリティの深化	ホスピタリティの品質を高める為の「守・破・離」の輪について説明します。					企業のホスピタリティの深化についてレポートを書く(4時間)				
11	リーダーシップとコーチング	ホスピタリティを実践するための組織づくり、リーダーシップ、成果を伴うコーチングの手法について説明します。					テキスト第3章ホスピタリティ事業とホスピタリティ・コーチングを読む。(4時間)				
12	ホスピタリティ事業：宿泊業	宿泊業の制度的文化とホスピタリティについて、宿泊業の成り立ちや文化背景などを交えて説明します。					テキスト第4章宿泊事業の精度的文化とホスピタリティを読む。(4時間)				
13	ホスピタリティ事業：医療	医療事業とホスピタリティ精神の深化について、三間価値の考え方を基に説明します。					テキスト第5章医療事業とホスピタリティ精神の深化を読む(4時間)				
14	観光事業とホスピタリティ精神の深化	旅行業におけるおもてなしや観光まちづくりに必要なホスピタリティ精神について、三間価値の考え方を基に説明します。					テキスト第7章観光事業とホスピタリティ精神の深化を読む(4時間)				
15	まとめ	ホスピタリティの概念の成り立ち、意義、理論などを復習します。					第1回～第14回までの復習。語彙説明のワークシートの見直し。(4時間)				
テキスト						成績評価の方法・基準					
「ホスピタリティ精神の深化」山上徹著(法律文化社) ISBN:978-4-589-03072-6(生協で購入してください。)						課題：30% 定期試験：70% S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探究姿勢をもって課題に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける、他の学生の前で発表できる。A：授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって内容に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおよるを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。					
参考書						履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「思いやりとホスピタリティの心理学」平井誠也著(北大路書房)						【実務経験のある教員が担当】実務経験の内容：米国のリゾート&テーマパーク運営会社やスウェーデンの通信会社に勤務し、国際的な視野に基づくサービスの経営に携わった。					

科目名	心理学		学年学期	2年後期	単位数	2	ナバリング	TL26017	研究室	
担当者	各教員		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格	高一(公民)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
心理学は科学であることを中心テーマに、心理学の総合的包括的な内容を学ぶとともに、その研究法の基礎について実習を通して学びます。関連する心理学についての課題図書を読み、ディベートをすることで内容の深い理解を目指します。一般に考えられている心理学に対する誤解を解くことが授業の目的です。										
学修到達目標										
心理学が科学的な学問であることを知り、その基本的な研究手法を理解する。決められた期間内に新書レベルの本を3冊読み、その内容の要約と、関連する意見文を書けるようになる。										
授業の進め方										
実習とディベートを中心とする授業とします。知識の習得は、各自が教科書と課題図書を読むことで、行なうこととして、その理解を深めるために授業では実習を行ないます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	オリエンテーション	授業のやり方について説明します。				シラバスをよく読んできてください。(4時間)				
2	心って不思議	客観的に存在を証明できない「人間の心」について、科学的に研究しようとする心理学という学問について学びます。次回提出する「読後レポート」の書き方について実習を通して学びます				教科書の第0章第1章を読んで内容をまとめる。(4時間)				
3	ディベートの実習	批判的思考力を育てるためにディベートについて実習で学びます。				課題図書『ザ・ディベート』を読み、要約と意見文を書いた読後レポートを提出する。(4時間)				
4	実験で試す	実験 目の錯覚について実験を通して学びます。				教科書の第2章を読んで内容をまとめる。(4時間)				
5	課題図書 ディベート	課題図書 からテーマを選びディベートします。				課題図書『ザ・ディベート』読後レポートの最終締め切り。(4時間)				
6	行動を調べる	実験 「こめかみ鏡映書字」について実験を通して学びます。				教科書の第3章を読んで内容をまとめる。(4時間)				
7	課題図書 ディベート	課題図書 からテーマを選びディベートします。				課題図書『チビクロこころ』を読み、要約と意見文を書いた読後レポートを提出する。(4時間)				
8	中間試験	講義前半について理解度を調べ、理解の足りないところを補います。				教科書第3章までと課題図書について復習する。(4時間)				
9	計算して確かめる	実験 統計的検定法を使って超能力があるかどうかを確認します。				教科書第4章を読み、内容をまとめる。(4時間)				
10	課題図書 ディベート	課題図書 からテーマを選びディベートします。				課題図書『チビクロこころ』読後レポートの最終締め切り。(4時間)				
11	対人関係を学ぶ	実験 囚人のジレンマゲームによって対人関係について学びます。				教科書第5章を読み、内容をまとめる。(4時間)				
12	課題図書 ディベート	課題図書 からテーマを選びディベートします。				課題図書『おどろきの心理学』を読み、要約と意見文を書いた読後レポートを提出する。(4時間)				
13	公共心を学ぶ	実験 寄付ゲームによって公共心について学びます。				教科書「付録」を読み、まとめる。(4時間)				
14	課題図書 ディベート	課題図書 からテーマを選びディベートします。				課題図書『おどろきの心理学』読後レポートの最終締め切り。(4時間)				
15	まとめ	実験 潜在意識の測定。まとめと後半の理解度テストを行ない、理解不足について補講します。				教科書後半と課題図書 について復習する。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「チビクロこころ：中学生高校生のための心理学入門」森まりも著(北大路書房) ISBN:978-4762821400(生協で購入してください。)レポート課題対象となる図書は別途指示する。				定期試験：100% レポート：30% S：課題を基準レベルで達成し、授業内容の理解、授業内活動、課題図書、自主的学習の3つ以上において優れた成果を示した。A：課題を基準レベルで達成し、授業内容の理解、授業内活動、課題図書、自主的学習の2つ以上において優れた成果を示した。B：課題を基準レベルで達成し、授業内容の理解、授業内活動、課題図書、自主的学習において優れた成果を示した。C：課題すべてを基準レベルで達成した。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「ザ・ディベート」茂木秀昭著(ちくま新書) ISBN:978-4480058928 読後レポート課題図書とします。必ず購入してください。				本を読んだレポートとディベートがあります。レポート提出者のみディベート参加を認めます。						

科目名	自然体験活動論		学年学期	3・4年前期	単位数	2	ナバ`リング	TA36018	研究室	W-13
担当者	中澤 朋代		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスカー	火曜日3限、金曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
<p>自然体験活動は自然と人、人と人をつなぐ活動であり、指導者の役割が重要です。こうした自然体験活動の指導者(案内人、ガイド)に必要な指導法と知識、技術、考え方を系統立てて学び、資格を習得します。この資格はアウトドアやレジャーとともに、教育や地域の課題に対応しており、ガイドや教師、体験リーダーなど様々な分野でこの指導法が活用されています。講義と実技の織り交ぜられたカリキュラムは指定されたもので、試験を経て「自然体験活動指導者」として認定されます(資格登録可)。</p>										
学修到達目標										
<p>資格にも定義される「自然体験活動指導者(リーダー)」を目指します。このリーダーとは、プログラムのアシスタントとして子どもから大人までの対象者に、自然体験を提供する立場を想定しており、指導者に必要な知識と技術を得ます。指導法のステップアップには演習が必要です。</p>										
授業の進め方										
<p>屋内外での実習を多く含み、相互の学びや意見へのフィードバックを行います。多様な視野と指導者像、地域との連携を向上するため外部講師を招きます。指定されたテーマにつき定められた時間数の履修が必要で、欠席の場合は補講が必要です。</p>										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	自然体験活動指導者の認定制度とは【座学】				配布資料やホームページから制度について調べる(4時間)				
2	自然体験活動の技術1	アイスブレイクの実際と動機づけ【座学と学内実習】				テーマについて調べるとともに、実習の気づきをまとめる(4時間)				
3	自然体験活動の技術2	チームビルディング体験と体験学習法【屋外実習と座学】				テーマについて調べるとともに、実習の気づきをまとめる(4時間)				
4	青少年教育における体験活動	自然体験活動の意義と事例を青少年の育成という視点から考える				青少年における教育の課題を事前に調べ、事後はノートを読み返してまとめる(4時間)				
5	自然環境の特質1	自然の見方・とらえ方【座学と屋外実習】、長野県の自然				長野県の自然の特徴について調べる。(4時間)				
6	自然環境の特質2	フィールドワーク【屋外実習】 2限にわたります				フィールド実習の気づきをまとめ、自ら設定した項目について調べる。(4時間)				
7	自然体験活動のリスクマネジメント1	野外活動における救急法と搬送法を学びます。【座学と室内実習】				配布資料を再度確認し、正しい理解に努める(4時間)				
8	自然体験活動のリスクマネジメント2	野外活動における事故事例から、安全管理方法・安全管理体制について学びます。【座学と室内実習】				配布資料を再度確認し、正しい理解に努める(4時間)				
9	対象者を理解する	参加対象者をどう理解し、どう声掛けするかについて学びます。外部講師を予定。【座学と室内実習】				活動している外部講師の団体を調べておく。授業後ノートをまとめる(4時間)				
10	自然体験活動の指導法	指導者としての基本的な心構え、体験プログラムの目的について学びます。外部講師を予定【座学】				活動している外部講師の団体を調べておく。授業後ノートをまとめる(4時間)				
11	自然体験活動の技術3	下見の仕方、野外での持ち物、用具と管理について学びます。【座学と室内実習】				配布資料を再度確認し、正しい理解に努める(4時間)				
12	自然体験活動のリスクマネジメント3	指導者の責任範囲とは。レスキューシステムと保険についての考え方を系統立てて学びます。【座学】				配布資料を再度確認し、正しい理解に努める(4時間)				
13	自然体験活動の技術4	竹を使ったナイフワークの実際と子どもへの指導法【座学と室内実習】				配布資料を再度確認し、技術や指導法についてノートをまとめる(4時間)				
14	自然体験活動の指導法1	松本市ネイチャリングフェスタ等における指導実習		実習は休日に分散します		活動計画の作成と実習のふりかえりをノートにまとめる(4時間)				
15	自然体験活動の指導法2	松本市ネイチャリングフェスタ等における指導実習		実習は休日に分散します。		活動計画の作成と実習のふりかえりをノートにまとめる(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
(講義にて配布します。)オリジナルテキストを使います。				<p>出席レポート：40% 定期試験：60%</p> <p>S・A：全体を十分理解し、その知識や技術について自ら習得し、気づきによる学びを文章化できる。B：各テーマについて概ね理解し、必要な知識や技術を習得し、文章化ができる。C：知識や技術を体験し、その意義を文章表現できる。</p>						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「インタープリテーション入門」(小学館) 日本環境教育フォーラム監訳				<p>資格認定の関係上、3回以上の欠席ができない講義です。土日の実習日が2回あります。試験に合格するとNEALの資格登録(3000円)が可能です。【実務経験のある教員】自然体験活動の法人に勤務し、資格認定の資格を有する。</p>						

科目名	グリーンツーリズム		学年学期	3・4年前期	単位数	2	ナパリング	TA36019	研究室	W-13
担当者	中澤 朋代		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日3限、金曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
我が国のグリーンツーリズムは「都市と農山漁村の共生・対流」をテーマに、さまざまな社会問題への解決が期待されて始まりました。農山漁村の人口が縮小する一方、ますます都市社会が拡大していく時代に、環境保全、経済格差、社会開発などは地方が直面している課題です。講義では実際に市民農園としての教育農場での日常的な作物生産を体験しながら、「グリーンツーリズム」の基本的な理論や事例を学び、その課題を見つめます。										
学修到達目標										
グリーンツーリズムの概念を整理し、自身の体験と絡めて、地域課題へどのようにアプローチできるか文章にまとめることができる。自身の体験した農作については、植物の生態を観察して取り組み、記録を残す。										
授業の進め方										
グリーンツーリズムについて事例を含めて学びつつ、各個人に区画を割り当て、毎週畑での作業を行い、各自で日誌をつけます。講義は配布資料やパワーポイント等による情報提供のほか、グループワークやディスカッションを入れてフィードバックを行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス「講義計画と栽培計画」	講義の内容、スケジュールに関するガイダンスと、農作の個人計画について				シラバスをよく読み、夏野菜について調べる(4時間)				
2	概論1「グリーンツーリズムとは」	グリーンツーリズムの定義とその発祥について				配布資料をよく読んで復習し、ノートにまとめる(4時間)				
3	概論2「地域を元気にするグリーンツーリズム」	地域の抱える問題に対して行われてきたツーリズムの事例				配布資料を事前に読んで予習し、授業の内容をノートにまとめる(4時間)				
4	概論3「地域を元気にするグリーンツーリズム」	人口減少が進む今後の地域の予測シナリオとグリーンツーリズムの関係性				配布資料を事前に読んで予習し、授業の内容をノートにまとめる(4時間)				
5	教育農場1「市民農園の実際」	農法を学び、栽培計画を立て、個人区画に植える夏野菜を決める				手引きをよく読み、栽培計画、日誌を作成する(4時間)				
6	教育農場2「市民農園の実際」屋外実習	自然の生態系に合わせた農法で、夏野菜の植え付けを行う				圃場管理、日誌作成を行い、農法について調べノートにまとめる(4時間)				
7	教育農場3「安心、安全の農作物を作る工夫」一部屋外実習	定植後の手入れと観察、グリーンツーリズムの推進方策について事例から学ぶ				圃場管理、日誌作成を行い、配布資料とともに授業の内容をノートにまとめる(4時間)				
8	ツーリズムの課題1「グリーンツーリズムの政策と展開」一部屋外実習	課題グリーンツーリズムの特徴と歩み、我が国の課題、農村生活の向上の視点から、栽培実習				圃場管理、日誌作成を行う。我が国の特徴について調べ、授業の内容をノートにまとめる(4時間)				
9	ツーリズムの課題2「グリーンツーリズムの推進方策」一部屋外実習	各地における学校、団体向けの取り組みの経緯、栽培実習				圃場管理、日誌作成を行う。配布資料をもとに授業の内容をノートにまとめる(4時間)				
10	ツーリズムの課題3「背景と推進のキーワード」一部屋外実習	グリーンツーリズムの地域コーディネートについて、栽培実習				圃場管理、日誌作成を行う。配布資料をもとに授業の内容をノートにまとめる(4時間)				
11	ツーリズムの課題4「地域に根差したツーリズム」一部屋外実習	地域に根差した交流産業、旅行業と事業化について				圃場管理、日誌作成を行う。交流産業について調べ、授業の内容をノートにまとめる(4時間)				
12	企画デザイン1「グリーンツーリズムにおける地域プランの企画」一部屋外実	プラン作りのための小講義、企画実習、栽培実習				企画作成のための資料を収集する。圃場管理と日誌を作成する(4時間)				
13	企画デザイン2「企画作成と畑の手入れ」一部屋外実習	企画の基本と企画立案実習、栽培実習				企画の発表資料を作成し、個人では圃場管理と日誌を作成する(4時間)				
14	企画デザイン3「プレゼンテーション」	全チームによる企画プレゼンテーションとその評価				プレゼンテーションを準備し、事後はその内容をふりかえる。圃場管理と日誌を作成する(4時間)				
15	教育農場の収穫祭と半期の評価	グリーンツーリズムの自己評価、教育農場の収穫と活動評価				最終レポートを作成し、圃場管理と日誌作成、活動評価を行う(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「松本大学教育農場の手引き兼実習日誌」中澤朋代著(別途、指示します。) オリジナルテキスト代は苗代とセットで実習費に含めて徴収します 随時参考資料を講義にて配布				出席レポート:40% 課題:30% レポート:30% 講義内容はレポート(A:授業内容を深く理解し、解決のアイデアを複数関連付けて述べる)ができる。B:授業内容を概ね理解し、解決のアイデアを複数述べる)ができる。C:授業内容を6割程度理解し、解決のアイデアを述べる)で行い、教育農場の取り組みについては、別紙ルーブリックによる自身の目標設定に基づき、自己・他者の両評価から総合的に判断します。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「これならできる!自然菜園」竹内孝功著(農文協) ISBN:978-4-540-10197-7 栽培に関する資料として				実習には別途テキスト&実習費を徴収します。【実務経験のある教員が担当】自然体験活動の法人に勤務し、家畜の飼育ほか農業体験受入れ業務に携わった。						

科目名	ユニバーサルデザイン論		学年学期	3・4年前期	単位数	2	ナパリング	TL36020	研究室	非常勤
担当者	鈴木 芳彦		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスワ-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
できるだけ多くの人を使いやすいものを作るという設計手法から生まれたユニバーサルデザイン(UD)は、社会のさまざまな分野に広がっています。製品や設備、建築、環境、情報、サービスなど、支援するという考え方ではなく、当然そうあるべきものが多数考え出されていますが、特に大切なのが人々の心です。このホスピタリティに通じるユニバーサルデザインの考え方をいろいろな事例から学びます。そして、さまざまな仕事に応用できる思考力を養います。										
学修到達目標										
ユニバーサルデザインの基本を学び、説明できるようになること。また、授業を通じてユニバーサルデザインについて見識を深めること。										
授業の進め方										
講義とグループ活動で進めます。講義では、UDの考え方を学び、事例を通して理解を深めます。またグループでキャンパス内及び周辺地域で観察を行い、身近な環境での経験で理解を深めます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	ガイダンス	ガイダンス 概説ユニバーサルデザインってなに?					ユニバーサルデザインを探す(4時間)。			
2	バリアフリーとユニバーサルデザイン	バリアフリーとユニバーサルデザインの違い					ユニバーサルデザインを探す(4時間)。			
3	ユニバーサルデザインの原則	ユニバーサルデザインの7原則について					ユニバーサルデザインを探す(4時間)。			
4	疑似体験	視覚障がい、肢体不自由の疑似体験をします。					体験結果について考察して下さい。(4時間)			
5	疑似体験	視覚障がい、肢体不自由の疑似体験をします。					体験結果について考察して下さい。(4時間)			
6	疑似体験まとめ	疑似体験で感じたことをグループごとにまとめ発表する					体験結果について考察して下さい。(4時間)			
7	人の多様な特性	色々な障がいについて					色々な障がいについて考えてみる。(4時間)			
8	人の多様な特性	色々な障がいについて					色々な障がいについて考えてみる。(4時間)			
9	事例を見る	身近なユニバーサルデザイン					身の回りのユニバーサルデザインを探し考察する。(4時間)			
10	事例を見る	身近なユニバーサルデザイン					身の回りのユニバーサルデザインを探し考察する。(4時間)			
11	フィールドワーク	キャンパス内及び周辺のユニバーサルデザイン調査					調査、記録、考察。(4時間)			
12	フィールドワーク	キャンパス内及び周辺のユニバーサルデザイン調査・検討					調査に対する考察と提案事項を検討する。(4時間)			
13	フィールドワーク	キャンパス内及び周辺のユニバーサルデザイン調査・検討 グループごとに調査結果をまとめます					調査に対する考察と提案事項を検討する。(4時間)			
14	発表	調査結果、提案の発表					調査に対する考察と提案事項を検討する。(4時間)			
15	発表	調査結果、提案の発表、まとめ					調査に対する考察と提案事項を検討する。(4時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
講義で必要に応じプリントを配布します。					レポート:25% 定期試験:50% 受講態度:25% S:授業内容を高度に理解して発展的な課題に対応できる。A:授業内容を理解して応用的な課題に対応できる。B:授業内容をおおよそ理解して応用的な課題にほぼ対応できる。C:授業内容の6割程度を理解している。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「ユニバーサルデザインの教科書」日経デザイン編(日経BP社) ISBN:978-4-8222-3501-7					ユニバーサルデザインの考え方を身につけ、社会のあらゆる物事をその視点で捉えられるようになってほしいです。いくつかのグループに分かれての活動が主体となります。					

科目名	観光地ブランド			学年学期	3・4年後期	単位数	2	ナパリング	TA36021	研究室	非常勤
担当者	勝亦 達夫			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
近年、大学・行政・民間が協働し、日本の各地域で課題解決や地域振興に取り組まれています。日本の観光もインバウンドが加速し地域特有の体験を重視した旅の在り方が求められています。さらに、関係人口や交流人口の視点、海外からの来訪者に対応するグローバルな視点も求められています。グローバルかつローカルな状況に対応するために、地域それぞれの資源(要素)の特徴を見極め、新たな仕組みを構築する力が求められています。本講義では、実践的なケーススタディを通じて提案力・発想力を高めます。											
学修到達目標											
1. 今までなかった視点やニーズを調査・分析し、課題設定・問題提起ができるようになる。 2. 各地域の特性を活かしたまちづくり、地域づくりについて情報を周囲と共有し、新たな地域振興策、観光モデルが提案できるようになる。											
授業の進め方											
本講義では、グループワークやディスカッションを通じて地域課題の解決策を考えながら、提案を伝える力を養います。また、実際の地域の方々との討論やフィールドワークを実施し、成果を発表してもらいます。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	講義ガイダンス	講義の概要、授業の進め方、評価の仕方などについての説明をします。					事前課題：統計事例について調べる。事後課題を実施。				
2	地域振興と観光の事例 ～行政から考える観光施	行政が取り組む広域的な観光施策について事例を交えて説明します。					事前課題：観光まちづくりの事例について調べる。事後課題を実施(授業内で配布)。				
3	地域振興と観光の事例 ～交通から考えるまちづ	車や列車、歩くことなど交通や移動から考えるまちづくりについて説明します。					事前課題：交通を活かしたまちづくりの事例について調べる。事後課題を実施(授業内で配布)。				
4	地域振興と観光の事例 ～若者のまちづくり	若者視点のまちづくりについて事例を紹介します。					事前課題：公民連携のまちづくり事例について調べる。事後課題を実施(授業内で配布)。				
5	地域課題の把握～調査・分析	地域課題の把握のための調査・分析手法について学びます。課題を定量的に探る調査手法と分析、それらを立証する資料の集め方について学びます。					事前課題：実際の地域に出る上での心構えやリサーチ・リテラシーについて学びます。				
6	まちづくりについて考える ～都市計画の観点から	まちづくりにおける都市計画の役割について学びます。					事前課題：都市計画について調べる。事後課題を実施(授業内で配布)。				
7	地域活性手法の応用 : インタビューから強みと課題を探る	インタビューを通して、地域の強みと課題を探る方法を学びます。					事前課題：インタビューの手法について調べる。事後課題：リアクションペーパーを提出する。				
8	地域活性手法の応用 : 課題を定量的に探る～分析とエビデンス	課題を定量的に探る調査手法と分析、それらを立証する資料の集め方について学びます。					事前課題：定量/定性調査について調べる。事後課題を実施(授業内で配布)。				
9	フィールドワーク～現地を知る、実践課題の説明	実際にフィールドにでるために必要な能力やリテラシーを実践します。					事後課題：期日までにリアクションペーパーを提出します。				
10	地域活性手法の応用 : プレゼンテーション	自分の考えや提案を表現する方法(プレゼンテーション)を学び、実践します。					事前課題：プレゼンテーションの手法について調べる。事後課題を実施(授業内で配布)。				
11	地域活性手法の応用 : プレインストーミング 目標の設定	ブレインストーミングによって課題設定やアイデアを引き出す方法を学びます。最終報告に向けた目標設定をします。					事前課題：コンセプトシートの手法について調べる。事後課題を実施(授業内で配布)。				
12	地域振興に向けた提案事業図を学ぶ	提案を具体的かつ端的にまとめる「事業図」について学びます。最終課題の説明をします。課題の説明 グループ分担、報告会に向けグループ作業、発表準備をします。					発表内容を準備し、報告会までに提案シートを作成し提出する。事後課題を実施(授業内で配布)。				
13	地域振興に向けた提案グループ課題の準備	報告会において発表を実施します(前半)。					発表内容を準備し、報告会までに提案シートを作成し提出する。事後課題を実施(授業内で配布)。				
14	地域振興に向けた提案グループ課題の発表・個人課題の発表	報告会において発表を実施します(後半)。					発表内容を準備し、報告会までに提案シートを作成し提出する。事後課題を実施(授業内で配布)。				
15	地域振興に向けた提案 : グループ発表 総括とアンケート	実践課題の報告とふりかえりをします。					期日までにリアクションペーパーを提出する。				
テキスト				成績評価の方法・基準							
毎回、講師からプリントまたは資料を配布します。				出席レポート：60% 課題：40% S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組むことができる。A：授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって課題に取り組むことができる。B：授業のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。							
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「小布施まちづくりの奇跡」川向正人著(新潮社) ISBN: 4106103540				グループワークを中心とした演習形式で実施します。主体的に発言するのが苦手な人ほど積極的に参加してみてください。通常と異なる時間枠(土日等)で地域に入ることを予定しています。予め想定しておいてください。							

科目名	ヘルスツーリズム		学年学期	3・4年後期	単位数	2	ナバリング	TA36022	研究室	W-15
担当者	田開 寛太郎		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスカー	月曜日3限、火曜日3限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
健康を目的とした観光は、地域活性化とともに少子高齢化の解消や社会保障制度の維持など、将来の日本のさまざまな課題に貢献しうる有益な手段として期待が高まっています。本講義では、映像等を使用しながらヘルスツーリズムの概念と基本的な理論を解りやすく習得し、その活用法について考えます。また、自然フィールドに出かけ、健康を切り口としたツーリズムを体験し気づきを待たうえて「健康と観光」の諸課題を深めます。										
学修到達目標										
「健康と観光」の関係を基礎から理解するとともに、その実現方法を過去の事例と課題実習を通して考え具体的な提案を示し、それらの意義について論じることが出来るようになることを目指します。										
授業の進め方										
スライドなどの視聴覚教材を利用しながら講義を進めます。4~5名のグループを編成し、データ等を収集して発表資料を完成させます。最終回でその成果をグループごとに発表し、相互に評価します。アウトキャンパスでは自然フィールドに出かけます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス	授業概要、学修到達目標、授業の進め方、評価の仕方、履修上の注意などを説明します。				シラバスの理解と授業の内容を振り返り、ノートにまとめる(4時間)				
2	健康という考え方が生まれた背景	健康の概念と基本的な理論を学びます。				「健康」からイメージすることを事前に考え、授業の内容を振り返り、ノートにまとめる(4時間)				
3	わが国の健康政策	具体的な事例をもとに健康政策について考えます。				わが国の健康政策について事前に調べ、授業の内容を振り返り、ノートにまとめる(4時間)				
4	「健康と観光」事情	心身ともに癒され、健康を回復・増進・保持するための新しい観光形態について学びます。				健康に関連する観光商品について事前に調べ、授業の内容を振り返り、ノートにまとめる(4時間)				
5	健康づくりのためのツーリズム	国内外における健康に関するツーリズムを例に、その現状と課題を探ります。				ヘルスツーリズムの概念について国内外の研究や実践内容から事前に整理する(4時間)				
6	体験実習1(アウトキャンパススタディ)	清里高原にバスで移動し、グループに分かれて実際に健康に関するヘルスツーリズムを体験します。				事前に実習先について調べるとともに、授業で紹介された準備を行う(4時間)				
7	体験実習2(アウトキャンパススタディ)	清里高原にバスで移動し、グループに分かれて実際に健康に関するヘルスツーリズムを体験します。				顧客満足度を高めてリピーターを増やすための視点から体験の感想をまとめる(4時間)				
8	体験実習3(室内実習)	大学にて体験実習の気づきをシートにまとめ、小グループでワークショップ形式にて振り返ります。ワークシートの内容は授業時にフィードバックを行います。				体験実習の振り返りによる感想をまとめたワークシートを作成する(4時間)				
9	健康と観光の展開1 ウェルネスツーリズム	ウェルネスツーリズムに関する国内外の具体的な事例をもとに現状と課題を見つめます。				ウェルネスツーリズムの概念や実践内容について事前に調べる(4時間)				
10	健康と観光の展開2 地方創生	観光の視点から地方創生に関する国内外の具体的な事例をもとに現状と課題を見つめます。				訪日外国人観光客をターゲットにした健康と観光の展開について考え、ノートにまとめる(4時間)				
11	健康と観光の展開3 ロングトレイルと歩く学びの旅	ロングトレイルに関する国内外の具体的な事例をもとに現状と課題を見つめます。				国内外の興味ある関連する体験ツアーを探し、各種ツアーとの関連性をまとめる(4時間)				
12	ヘルスツーリズムと産業	「旅と健康」の視点から観光商品を客観的に評価する第三者認証サービスについて学びます。				事前に「ヘルスツーリズム認証」を取得したプログラムについて調べる(4時間)				
13	ヘルスツーリズムと産業 ディスカッション&プレゼン準備1	旅をきっかけとした新しいヘルスケアサービスと産業の関わりについて考えます。				産業の経営の視点から該当するテーマの観光商品を考え、ノートにまとめる(4時間)				
14	ヘルスツーリズムと産業 ディスカッション&プレゼン準備2	旅行後も健康的な行動を持続することにより、豊かな日常生活を過ごせるための手立てについて議論します。				地域住民として健康と観光の取組みについて考え、発表に向けて資料収集・分析を行う。(4時間)				
15	持続可能な社会の構築とヘルスツーリズム プレゼン発表と講評	健康の観点から持続可能な成長を志向した新たなツーリズムのあり方について発表し合い相互に評価します。教員、ゲスト講師による評価、講評を受けます。				自分の意見を小レポートとしてまとめる(4時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
随時資料を配布します。		レポート:40% 受講態度:60% 受講態度は、プレゼンテーションを含みます。グループディスカッションの内容や受講票による講義への意見等を評価に加味します。アウトキャンパスは、出席と参加意欲も含めて普段より重視して評価します。A:授業内容を理解し、積極的な姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
必要に応じて本講義中に参考となる学術論文、書籍を紹介します。		授業ガイダンスではアウトキャンパス(日曜日・休日、2限にわたる学外実習を実施、移動を含めて1~4限の時間を想定)の時間や場所、持ち物についての連絡がありますので必ず確認してください。								

科目名	バリアフリー観光		学年学期	3・4年後期	単位数	2	ナバリング	TA36023	研究室	W-26	
担当者	山根 宏文		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日1限、金曜日1限			
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
			A	B	C						
授業概要											
観光はすべての人が享受できる基本的人権の一部です。この視点から、健常者以外の人々にも観光ができる環境づくりや心づくりを理解することがねらいです。そして、人や自然にやさしい街づくりそして観光のあり方を考えることが目的です。特に高齢化の進む世界の中でバリアフリー観光の持つ意義はますます重要になってきました。											
学修到達目標											
わが国における障がい者向け施設改善の現状と政策や海外における現状を理解することを目標にします。すべての人が享受できる観光環境とするためどのように考えるべきかを最終目標とします。											
授業の進め方											
講義の中から、現状や課題を探り、基本的な状況を理解します。その後、現状を見直し、バリアフリー観光がスムーズに実施できる環境づくりに活かせるアイデアを討議します。授業の最初に前回の講義のフィードバックを行い理解を深めます。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	授業ガイダンス	ガイダンス					障がいのある人が旅をする場合の問題について考える。(事前事後4時間)				
2	バリアフリー背景	旅行にともなう不便とは					旅行をする場合にどのような不便さがあるか考える。(事前事後4時間)				
3	バリアフリー政策	バリアフリー新法について					バリアフリーの政策について今後どのようなものが必要か考える。(事前事後4時間)				
4	感動を生み出す旅とは	感動する旅のつくりかた					感動した旅についてその要因を考える。(事前事後4時間)				
5	旅行会社とバリアフリー旅	旅行会社が手がけるバリアフリーの旅 事例検証					バリアのある人が旅をする場合どのようなことに注意が必要か考える。(事前事後4時間)				
6	バリアフリーの旅をつくる	宿泊施設 人に優しい宿とは					人気のある宿泊施設を調べ、人気の要因を考える。(事前事後4時間)				
7	バリアフリーの旅をつくる	交通機関 交通機関を手配するために考えること					障がいのある人が交通機関を利用するための問題を考える。(事前事後4時間)				
8	バリアフリーの旅をつくる	観光施設 観光施設の楽しみ方と課題					人気のある観光地とその魅力を考える。(事前事後4時間)				
9	バリアフリーの旅をつくる	まち歩き 体の不自由な人が歩きたくするまちとは					身体の不自由な人がまちを歩く時の注意事項を考える。(事前事後4時間)				
10	バリアフリーの旅をつくる	食 事 アレルギー、障がいのある人のための食事を考える					食のアレルギーにはどのようなものがあるか考える。(事前事後4時間)				
11	シニアの旅	旅行会社が手がけるシニアの旅の事例検証					シニア向けの旅を企画する場合に注意しなければならないことを考える。(事前事後4時間)				
12	シニアの旅	シニア向けの旅をつくるために大切なこと					シニア向けの旅をつくるために心がけなければならないことを10まとめる。(事前事後4時間)				
13	バリアフリーの旅をつくる	バリアフリー・シニア向けの旅をつくる 実習					バリアフリー向けの旅をつくる(事前事後4時間)				
14	バリアフリーの旅をつくる	バリアフリー・シニア向けの旅をつくる 実習					シニア向けの旅をつくる(事前事後4時間)				
15	発表・まとめ	バリアフリー・シニア向けの旅の発表					発表内容のチェック、事後に全体的な総括を行う。(事前事後4時間)				
テキスト			成績評価の方法・基準								
テキストはプリントを中心に利用します。参考文献については講義の中で紹介していきます。			出席レポート：30% 課題：30% 定期試験：40% S：授業内容を高度に理解し提案力が特に優れている。 A：授業内容を高度に理解し探究心、提案力が優れている。 B：授業内容をおおよそ理解し探究心、提案力がある。 C：授業内容をおおよそ理解し、探究心、提案力が60%程度である。								
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)								
なし			【実務経験のある教員が担当】実務経験の内容：旅行会社に勤務し、バリアフリー観光の企画・アテンド業務に携った。								

科目名	日本史		学年学期	1年前期	単位数	2	ナパリング	TL16024	研究室	非常勤
担当者	福嶋 紀子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格	中一(社会)			履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
「～から見る時代史」：日本史上の時代的特性を学ぶために、そのときの社会・世相を反映する事柄を軸にして、歴史の流れを概観します。日本列島上に展開した「歴史」は、地域特性を有しており、一律で平板な口調で語ることでない極相を持ちます。通史的な叙述ではなく、時代ごとの歴史のクライマックスを意識しながら、一話完結で歴史を検証してゆきます。										
学修到達目標										
縄文時代以降の日本列島の歴史を、時代ごとのトピックスをあげながら辿ります。近代的な国家成立以前の日本列島では、大陸の影響を受けながら独自の文化が展開しました。歴史の流れを私たちの身近な事象の中から探して、理解することを目標とします。教職科目の中学社会、高校地理歴史科目に関する知識の習得を目的とします。										
授業の進め方										
毎回配布する資料をもとに講義します。講義の参考となる文献は、事前に目を通すことが望ましい。なお、「日本史」では前近代を中心に講義しますが、近代以降は日本を取り巻く国際関係を踏まえて、後期に予定している「外国史」の中でも触れます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	自国史を学ぶ	高校で日本史を履修していない学生もいるので、自国史を学ぶことの意義を再検討する。社会人として最低限身につけたい人文学の一般教養としての知識を学修します。				「聖徳太子」が教科書から消える?説明できるように調べておく。(4時間)				
2	考古学から見る縄文時代・弥生時代	歴史学を学ぶ上で重要となる資料と史料。それぞれの分析に必要な最新の科学を資料に応じて解説します。学際的に裏打ちされた、科学としての歴史学が果たすべき役割を考えます。				身近な、または興味がある縄文・弥生の遺跡について調べておく。(4時間)				
3	発掘成果から見る「歴史」時代	近年の考古学の分析対象は、文献の残る中世や近世まで対象となっています。文献史学だけでは検証できない歴史の局面を、考古学がどのように描き出すのか、事例に則して検証します。				世界遺産となる中百舌鳥古墳群について、調べておく。(4時間)				
4	奈良の都から見る国家形成	律令制の展開と表裏の関係にある仏教の広がり、奈良時代の日本列島をどのように塗り替えていったのか。地方支配の展開を身近な史跡から考えます。				各自の地元都道府県の国分寺について、調べておく。(4時間)				
5	平安の都から見る王朝国家	摂関政治と王朝世界。この頃女性が果たした役割と女性の立場について考えます。院政期の社会変動と荘園制の全国展開について、その様相を辿ります。				各自の身近に荘園制の遺制を伝える地名が存在するか、調べておく。(4時間)				
6	鎌倉から見る武士社会	「武士道」とは異なる鎌倉武士。東国に生まれた武家政権の影響と北条氏による執権政治、現時三代の将軍について学修する。武士とは本来どのような存在だったのか。				平氏の盛衰を描いた「平家物語」について、調べておく。(4時間)				
7	京都から見る武士の世界	鎌倉にできた武家政権と京都の王朝権力との相克を、承久の乱と「御成敗式目」から検証する。				「御成敗式目」について調べ、説明できるように準備する。(4時間)				
8	悪党から見る中世の天皇権力	鎌倉時代の末期、世間に充満した「悪党」とは。後醍醐天皇、足利尊氏の動きと倒幕の足取り。南北朝という時代について検証する。				「婆娑羅」とは何か、調べておく。(4時間)				
9	文化から見る室町の財政	現代につながる文化が開花した室町時代で、芸能者として活躍した河原者について学修し、戦国騒乱のもととなった政権の分裂、大名領国の展開について学修する。				北山文化、東山文化の特徴について、調べておく。(4時間)				
10	信濃から見る戦国乱世	戦国乱世の事例として、甲斐・信濃・越後の動向を学修する。信濃守護であった小笠原氏はどのように行動したのか。地元に残る資料を使いながら考える。				各自の好きな戦国大名について、調べておく。(4時間)				
11	徳川から見る統一政権	幕藩体制による全国支配、徳川家康が構築した文治政治、支配の実態を学修する。大名が支えていた江戸幕府の構造について検証する。				身近な地域の歴史を調べるとき、どのような方法と参考資料があるか、調べておく。(4時間)				
12	稲作から見る江戸の生産	年貢の中心となっていた米の生産性を上げるため、様々な取り組みが行われていた。幕府や藩の経済政策と新田開発について学修する。				身近な地域の江戸時代の特産品について、どのような品目があったか、調べておく。(4時間)				
13	庶民から見る江戸の粋	江戸時代の庶民文化について、京都・大阪などの上方文化の事例と、江戸で流行った庶民文化の事例を学修する。江戸の「粋」とは何か、消費人口が集中する都市の特性と関連させて学修する。				江戸時代に起源を持つ身近な伝統工芸について、調べておく。(4時間)				
14	町人から見る江戸の生活	100万都市江戸の庶民生活と参勤交代でやってきた江戸詰の武士による生活が織りなす、江戸社会の様相について学修する。				各自が知っている江戸時代の文学作品や芸能のうち一つについて、調べておく。(4時間)				
15	被災の歴史から見る日本列島	日本列島上で発生した歴史的災害について検証します。古代以降の記録に残る災害は、地震や風水害、火山の噴火など多様です。地域の復興の取り組みについて学修します。				記憶に残る災害について調べておく。(4時間)				
テキスト			成績評価の方法・基準							
「なし」			受講態度：20% 定期試験：50% レポート：30% S：授業内容を高度に理解し、批判的思考力に基づいて課題解決に取り組める。 A：授業内容を理解し、自発的に課題を認識できる。B：授業の概略を理解し、知識の活用を図ることが出来る。C：基礎知識を理解し実践に備えることが出来る。							
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)							
なし 毎回パワーポイントを使い、座学を中心とした授業となります。			事前事後学修であげた課題は、記述分量は問わないので、毎回必ず図書館で関連する書籍を探し、一読して簡単にノートにまとめておく。途中で課す小レポートの参考にできるようにまとめておく。受講票には必ず意見を記入する。							

科目名	観光地理 (日本)			学年学期	2年前期	単位数	2	ナパリング	TA26025	研究室	W-11
担当者	丸山 宗志			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	金曜日2限		
関連資格	中一(社会)				履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
本講義では、全国各地の特色ある観光資源について学びながら、日本国内における観光資源の位置と特色について理解することを目指します。											
学修到達目標											
1. 日本における観光資源の分布について学び、説明できるようになる。 2. 日本の観光資源の特色について説明することができる。											
授業の進め方											
本講義では、国内の観光資源に関する資料を配布しつつ、問題を解いてもらいながら進めていきます。問題解説によって講義内容をフィードバックしますので、毎回の講義では地図帳(中学もしくは高校で使用したもので可)を必ず持参してください。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	ガイダンス	本講義の概要、進め方、評価の仕方などについて説明します。					授業の内容の概略について、プリントを見て復習しておくこと(4時間)				
2	日本の自然景観の特徴	日本列島における自然景観の特徴についてみていきます。					日本の自然景観について復習しておくこと(4時間)				
3	山岳・湖沼・峡谷・滝	山岳・湖沼・峡谷・滝などといった自然景勝地の分布についてみていきます					山岳・湖沼・峡谷・滝について復習しておくこと(4時間)				
4	日本の世界遺産・国立公園	世界遺産や国立公園とは何か。また日本にはどのような世界遺産・国立公園があるのかをみていきます。					日本の世界遺産・国立公園について復習しておくこと(4時間)				
5	日本の温泉地と地域づくり	日本の温泉地とその変化についてみたくうえで、現在、温泉地で取り組まれている地域づくりの取組みについてみていきます。					日本の温泉地に関して復習しておくこと(4時間)				
6	地域の人々の暮らしと祭り・伝統行事	日本各地にあるお祭りや伝統行事が、どのようにその地域の人々の暮らしに結びついているのかについて学びます。					祭り・伝統行事に関して復習しておくこと(4時間)				
7	地域の人々の暮らしと文化(郷土料理・名産品など)	地域の人々の暮らしに根ざした特色ある文化(郷土料理や名産品)についてみていきます。なぜ地域的な特色が生まれたのかについても考えます。					郷土料理・名産品について復習しておくこと(4時間)				
8	中間テスト	これまでの学習内容の定着度をはかる確認のための中間テストを実施します。					これまでに配布したプリントを復習してからテストに望むこと(4時間)				
9	都道府県別に見た観光資源：北海道地方	北海道地方を中心とした観光都市とその観光資源について学びます。					北海道地方の観光資源について復習しておくこと(4時間)				
10	都道府県別に見た観光資源：東北地方	東北地方を中心とした観光都市とその観光資源について学びます。					東北地方の観光資源について復習しておくこと(4時間)				
11	都道府県別に見た観光資源：関東・中部地方	関東・中部地方を中心とした観光都市とその観光資源について学びます。					関東・中部地方の観光資源について復習しておくこと(4時間)				
12	都道府県別に見た観光資源：近畿地方	近畿地方を中心とした観光都市とその観光資源について学びます。					近畿地方の観光資源について復習しておくこと(4時間)				
13	都道府県別に見た観光資源：中国・四国地方	中国・四国地方を中心とした観光都市とその観光資源について学びます。					中国・四国地方の観光資源について復習しておくこと(4時間)				
14	都道府県別に見た観光資源：九州・沖縄地方	九州・沖縄地方を中心とした観光都市とその観光資源について学びます。					九州・沖縄地方の観光資源について復習しておくこと(4時間)				
15	まとめ	この講義を通して学んだことを振り返ったうえで講義を総括します。受講生からわからないところがあれば補足の説明をします。					本講義をとおしてわからないところがないか確認しておくこと(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「旅行実務シリーズ 2020国内観光資源」(JTB総合研究所)(別途、指示します。)テキストの購入方法を別途指示しますので、それに従って購入してください。					小テスト：30% 定期試験：70% S：学修到達目標をほぼ完全に達成しており、積極的な姿勢とともに客観的な視点によって課題に取り組むことができている。A：学修到達目標を十分に達成しており、積極的な姿勢で課題に取り組むことができている。B：学修到達目標の基幹部分は達成しており、積極的な姿勢で課題に取り組むことができている。C：学修到達目標の60%程度は達成しており、課題に取り組むことができている。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「旅行業務取扱管理者試験トレーニング問題集 観光地理」資格の大原旅行業務取扱管理者課編(大原出版) ISBN：978-4864862462 「国内観光地理サブノート」(JTB総合研究所)					国内旅行業務取扱管理者試験に向けて、資格取得を目指す意志のある学生の受講を求めます。						

科目名	外国史		学年学期	2年後期	単位数	2	ナパ'リ'ング	TL26026	研究室	非常勤
担当者	福嶋 紀子		必修選択	選択	科目種別	講義	ホワイト			
関連資格	中一(社会)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)							
		A	B	C						
授業概要										
「～で見る外国史」として、主に近代以降に視点を当て、日本にとって身近な諸外国との関係史を学修します。世界の諸地域が歩んだ歴史の動きを見直し、現代の日本との関係がどのように構築されてきたのかを理解することを目的とします。世界各地の歴史上のエポックとなった事象にスポットを当て、それらの出来事が現代に及ぼした影響について検討します。										
学修到達目標										
現代の日本社会と関わりの深い世界の国々について、日本からの視点を中心に国や地域ごとの歴史、日本列島との交流の歴史を学び、直面する国際関係や、今後の課題に向けた判断力を養成します。現代の国際社会の成り立ちを学び、社会人として必要とされるグローバルな視点を歴史の面から構築します。教職科目の中学社会、高校地理歴史科目に関する知識の習得を目的とします。										
授業の進め方										
講義形式で進め、テキストは用いず、毎回資料を持参します。パワーポイントによる解説を併用しますので、重要なワードは聞き逃さないように。授業の中で興味を引かれた国や地域について、論述形式の試験を課します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	「覇権争いで見る近代ヨーロッパの動き」1	大英帝国ができるまで、ヨーロッパの中のイングランドの成立。イギリス国教会の確立と絶対王政、市民革命前夜のイギリスの様子を、スペインの無敵艦隊を破り海上国家へ発展していく様子とともにたどります。				イギリス王室に関して調べ、重要と思われる言葉の一つあげる。(4時間)				
2	「覇権争いで見る近代ヨーロッパの動き」2	近代イギリスの始まり、宗教改革・名誉革命・産業革命。エリザベス1世の死と市民革命。清教徒革命、クロムウェル政治の限界と王政復古。相次ぐ変革、名誉革命・産業革命。資本主義経済の発展と自由貿易。				この頃イギリスが望んだ『自由貿易』とはどのようなものか。調べておく。(4時間)				
3	「覇権争いで見る近代ヨーロッパの動き」3	フランスの繁栄。イングランドとの対立、フランドル地方の争奪戦から絶対王政の完成。フランス革命とナポレオンの登場、ウィーン体制への不満と選挙権の拡大、第一次世界大戦直前までのフランスの様子。				フランスの繁栄を示す文化遺産について、調べておく。(4時間)				
4	「覇権争いで見る近代ヨーロッパの動き」4	ドイツ共和国。神聖ローマ帝国の分裂からドイツ領邦国家の分立、30年戦争の結末。ドイツ帝国の成立とビスマルクの政治、第一次世界大戦とドイツ。ヴェルサイユ体制が生んだナチス。				ドイツの歴史の中で、興味を引かれる事項について調べておく。(4時間)				
5	「覇権争いで見る近代ヨーロッパの動き」5	近代国家概念と地域経済圏の形成。移民を送り出す大陸から受け入れる側へ。ECの成立とマーストリヒト条約。ヨーロッパ市民という考え方。				ヨーロッパにおいて民族とはどのような意義を持つか、調べておく。(4時間)				
6	「社会主義革命で見るロシア」	ロシアからソ連へ、ソ連からロシアへ。絶対王政期のロシア、南下政策の開始とクリミア半島の獲得。日本とロシア、日露戦争と第一次世界大戦、シベリア出兵。二度の革命とソヴィエト社会主義連邦共和国。				ロシアがクリミア半島を重視する理由について調べておく。(4時間)				
7	「文化で見るアジアの地勢図」1	中国大陸と日本列島。海でつながるアジアと日本列島。海上交通の隆盛とアジアの交流。文化の継受と朝鮮半島。				島国日本列島は、孤立した国家だったのか、調べておく。(4時間)				
8	「文化で見るアジアの地勢図」2	中国大陸の文明と日本列島への影響。王朝の終焉と中華民国・中華人民共和国の建国。近代以前の日本にとって中国大陸とはどのような存在だったのか。律令制の導入、仏教の受容など。				律令制の導入にはどのような意義があったのか、調べておく。(4時間)				
9	「文化で見るアジアの地勢図」3	朝鮮半島と日本列島。日本列島と中国大陸との交流に朝鮮半島はどのようにかわったか。朝鮮王朝から南北朝鮮へ。				朝鮮戦争について調べておく。(4時間)				
10	「植民地政策で見るアメリカ大陸」1	植民地以前のアメリカ大陸、多民族国家の前提。文化遺産と先住民の生活。ネイティブアメリカンと移民の接触。ヨーロッパからもたらされた武器と病原菌、アメリカ大陸からヨーロッパへ伝えられた農産品。				南アメリカ大陸に存在した古代文明について調べておく。(4時間)				
11	「植民地政策で見るアメリカ大陸」2	移民国家アメリカの成立。アメリカは人類の避難所か。ナポレオン戦争による混乱時に旧世界からの移民を歓迎し、帰化を促すことが新世界アメリカの「建国の父祖」にとって当然の施策だった?				「アメリカ人」とは、どのような人たちが、調べておく。(4時間)				
12	「植民地政策で見るアメリカ大陸」3	世界大戦とアメリカ。「二つの祖国」日系移民にとっての世界大戦。世界戦争に向かうアメリカ。戦後処理と東西冷戦、世界の警察を放棄したアメリカの行方。				アメリカに移住した日本人が、太平洋戦争でどのように行動したか、調べておく。(4時間)				
13	「現代の国際関係で見た社会」1	戦後日本にとってのアメリカ。同盟国としての立ち位置。高度経済成長期の日本経済の動向とアメリカとのかわり。経済摩擦はなぜ起こり、パブルはなぜ引き起こされたのか。				戦後の日本経済の動きについて、調べておく。(4時間)				
14	「現代の国際関係で見た社会」2	中国、経済成長のきっかけと経済大国としての展開。中国が目指す世界戦略に日本はどのようにかわっていくのか。				中国が経済大国となったきっかけは何か、調べておく。(4時間)				
15	「現代の国際関係で見た社会」3	日本列島から見た国際社会。アメリカ・中国・ロシア、大国との関係の中で日本が果たすべき役割は? 地球環境問題は改善されるのか?				世界の地域経済圏について、調べておく。(4時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
なし		レポート: 30% 定期試験: 50% 受講態度: 20% S: 授業内容を高度に理解し、批判的思考力に基づいて課題解決に取り組める。 A: 授業内容を理解し、自発的に課題を認識できる。B: 授業の概略を理解し、知識の活用を図ることが出来る。C: 基礎知識を理解し実践に備えることが出来る。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
なし パワーポイントを使った座学が中心です。		事前事後学修であげた課題は、記述分量は問わないので、毎回必ず図書館で関連する書籍を探し、一読して簡単にノートにまとめておくこと。途中でレポートを課すのでそのときに参考にできるようにまとめておいてください。								

科目名	観光社会学	学年学期	2年後期	単位数	2	ナバリング	TA26027	研究室	W-11
担当者	丸山 宗志	必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	金曜日2限		
関連資格				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
		A	B	C					
授業概要									
本講義では、観光現象を社会学の視点から理解することを目指します。観光がもたらす社会・文化的影響や国際観光の動向などをおして観光の社会的意義について理解を深めながら、観光社会学の視点によって観光現象の変遷と具体的な実例を読み解いていきます。									
学修到達目標									
1. 観光社会学の視点や方法を身に付けることによって、観光現象の変遷や展開を説明できる。 2. 現代観光の傾向や特色への理解をおして、身近な観光状況について考察することができる。 3. 現代観光における課題や問題点について、観光社会学の枠組みを用いて検討することができる。									
授業の進め方									
配布資料や映像資料を用いて講義進行します。講義中には出席レポートに関わる検討課題を設置、解説することによって講義内容のフィードバックに役立ちます。									
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。									
回	テーマ	内容				事前事後学修			
1	ガイダンス	講義の概要や進め方、評価方法について説明します。				講義の概要や今後の学習計画について確認すること(4時間)			
2	観光と社会状況	インバウンド観光の進展や観光消費形態の変化など、観光に関連する時事問題について考えます。				ニュースサイトによって観光に関わる時事問題を検索する(4時間)			
3	観光社会学の視点と方法	学問的な課題や対象とする社会問題など、観光社会学の基本的な枠組みについて理解します。				講義内容を整理しながら、観光社会学のノートにまとめる(4時間)			
4	マスツーリズムの誕生と展開	社会現象としてのマスツーリズムの誕生と展開について、観光社会学の枠組みから考えます。				マスツーリズムによってもたらされた観光形態の具体例について考える(4時間)			
5	観光の社会文化的影響	観光現象の波及による社会文化的な影響について、肯定的/否定的の両側面から考えます。				観光による影響について身近な地域社会に照らし合わせて考える(4時間)			
6	国際観光の動向	「観光経験」に関する議論をおして、観光社会学における観光者の捉え方について学びます。				自身の旅行経験をふまえて、観光者としての段階別の特徴を整理する(4時間)			
7	国際観光の動向	日本人による海外旅行の変遷から、観光を取り巻く社会状況の変化について考えます。				講義内容を振り返って、国内/海外旅行先の変遷について整理する(4時間)			
8	前半のまとめ	これまでの講義内容について振り返って要点を整理します。				出題される課題レポートを作成する(4時間)			
9	観光メディア論	観光とメディアとの関係について、「擬似イベント」の概念を用いて理解します。				講義内容を整理しながら、「擬似イベント」によって解釈できる観光状況を考える(4時間)			
10	観光メディア論	観光とメディアとの関係について、「観光のまなざし」の概念を用いて理解します。				講義内容を整理しながら、「観光のまなざし」によって解釈できる観光状況を考える(4時間)			
11	観光の真正性	多様化する現代観光の観光対象について、「オーセンティシティ」の概念をおして理解します。				講義内容を振り返って、「真正性」の概念を具体的な観光状況に当てはめて整理する(4時間)			
12	観光の真正性	現代観光において説明可能な「オーセンティシティ」議論について、具体的な事例をおして学びます。				講義内容を振り返って、「真正性」に関わる議論の変遷について整理する(4時間)			
13	現代社会と観光	現代社会における観光現象の特徴について、「ディズニーランド化」の概念をおして理解します。				講義内容を整理して、「ディズニーランド化」概念の特徴について理解を深める(4時間)			
14	現代社会と観光	現代社会における観光現象の特徴について、「モビリティ」の概念をおして理解します。				講義内容を整理して、「モビリティ」概念の特徴について理解を深める(4時間)			
15	まとめ	これまでの総括として全体的な講義内容を振り返ります。必要に応じて講義項目の補足説明をします。				講義をおして分かりにくかった点や再度説明してほしい点を確認すること(4時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準							
講義資料を配布します。		定期試験：60% 課題：20% 出席レポート：20% S：学修到達目標をほぼ完全に達成しており、積極的な姿勢と客観的に考察する視点によって課題に取り組むことができている。A：学修到達目標を十分に達成しており、積極的な姿勢で課題に取り組むことができている。B：学修到達目標の基幹部分は達成しており、積極的な姿勢で課題に取り組むことができている。C：学修到達目標の60%程度は達成しており、課題に取り組むことができている。							
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「よくわかる観光社会学」安村克己・堀野正人・遠藤英樹・寺岡伸悟編著(ミネルヴァ書房) ISBN: 978-4623060375		現代観光にはどのような特色があるでしょうか。旅行経験を積み重ねるとともに観光情報や観光に関わる時事問題にも関心を持ちながら、観光の現在地について考えてみましょう。							

科目名	観光地理 (世界)		学年学期	3・4年前期	単位数	2	ナバリング	TA36028	研究室	W-11
担当者	丸山 宗志		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	金曜日2限		
関連資格	中一(社会)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
本講義では、国際観光の歴史を学びその課題を考察するとともに、世界各国における観光資源の立地や形成について学んでいきます。										
学修到達目標										
世界各国の観光資源の立地とその形成について説明することができる。 国際観光をめぐる課題について学び、考えることができる。										
授業の進め方										
必ず「地図帳」を持参してください。世界各国の観光資源の特徴を学ぶとともに、観光圏マップを作成するなどして、世界の観光地について調べてもらいます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	ガイダンス	授業概念、学習目標、評価の仕方について説明をします。					講義で配布したプリントを復習をしておいてください(4時間)			
2	国際観光の歴史	国際観光をめぐる歴史を説明します。					国際観光の歴史について復習をしておいてください(4時間)			
3	現在の国際観光の動向	現在の国際観光をめぐる動向について説明します。					現在の国際観光の動向について復習をしておいてください(4時間)			
4	アジア・太平洋地域の観光資源	アジア・太平洋地域の観光資源とその立地形成について説明をします。					アジア・太平洋地域の観光資源について復習をしておいてください(4時間)			
5	北アメリカの観光資源	北アメリカ地域の観光資源とその立地形成について説明をします。					北アメリカ地域の観光資源について復習をしておいてください(4時間)			
6	南アメリカの観光資源	南アメリカ地域の観光資源とその立地形成について説明をします。					南アメリカの観光資源についてプリントを復習をしておいてください(4時間)			
7	ヨーロッパの観光資源	ヨーロッパ地域の観光資源とその立地形成について説明をします。					ヨーロッパの観光資源について復習をしておいてください(4時間)			
8	中東・アフリカの観光資源	中東・アフリカ地域の観光資源とその立地形成について説明をします。					中東・アフリカの観光資源について復習をしておいてください(4時間)			
9	観光圏マップの作成	国際観光の空間パターンを考えるために観光圏マップを作成します。					次回講義までに作業を完了させておいてください(4時間)			
10	観光圏マップから考える	作成した観光圏マップをもとに見えてきたことについて話し合います。					リアクションペーパーを期日までに提出してください(4時間)			
11	国・地域別の観光客の流れ	国・地域別の観光客の流れについて説明をします。					国別の観光客の流れについて復習をしておいてください(4時間)			
12	創出されるイメージと「観光文化」	創出された「観光文化」の受容と相克について説明をします。					「観光文化」についての自分自身の考えをまとめておいてください(4時間)			
13	国際観光の課題	国際観光の課題について討論しあいます。					国際観光の課題について意見をまとめてください(4時間)			
14	観光の20世紀を振り返って	「観光の20世紀」を振り返って、これからの時代において求められる国際観光のあり方とは何かを考えます。					リアクションペーパーを期日までに提出してください(4時間)			
15	まとめ	講義を振り返り、総括します。また講義を通してわからないところがあれば補足説明をします。					講義を振り返ってみてわからないところがあれば質問としてまとめておくこと(4時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
資料はこちらで用意します。					定期試験：50% 小テスト：20% レポート：30% S：学修到達目標をほぼ完全に達成しており、積極的な姿勢とともに客観的な視点によって課題に取り組むことができている。A：学修到達目標を十分に達成しており、積極的な姿勢で課題に取り組むことができている。B：学修到達目標の基幹部分は達成しており、積極的な姿勢で課題に取り組むことができている。C：学修到達目標の60%程度は達成しており、課題に取り組むことができている。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「旅行業務取扱管理者試験トレーニング問題集 観光地理」資格の大原旅行業務取扱管理者課編(大原出版) ISBN: 978-4864862462 「旅行業実務シリーズ8 海外観光資源2019」(JTB総合研究所)					この講義では、総合旅行業務取扱管理者試験で出題される観光資源について学んでいきます。					

科目名	自然地理		学年学期	3・4年前期	単位数	2	ナパリング	KL36072 TL36029	研究室	非常勤
担当者	柳町 晴美		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
自然地理に関する知識を深めることを目的とします。気候に関連した内容を中心に、気候の地域差をもたらす要因、グローバルスケールの気候、日本の気候、長野県の気候、身近な松本平の気候へと気候の特徴を考察します。地域によって気候は多様であるとともに、共通性もあること、気候は人間生活にどのように影響するのか、逆に、人間活動が環境を改変し、ヒートアイランド現象や地球温暖化をもたらしたことが、気候と地形の関係について学びます。										
学修到達目標										
気候の地域差をもたらす要因、地球温暖化などの気候に関連した現在直面する環境問題、気候と地形との関係について説明できるようになること。										
授業の進め方										
自然地理に関する講義を展開します。自然と人間との関わりについてのレポートを作成し発表してもらいます。ほぼ毎回、授業内容に関する小テストを実施します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス、地図に関する基礎知識	自然地理に関する講義概要、学修到達目標、講義の進め方、授業計画、成績評価の方法などについて説明します。地理の学習上の基本ツールである地図について、様々な例を紹介しします。				自然地理とは何か調べ予習して下さい。紹介する資料により地図について復習して下さい。4時間				
2	気象、気候、風土	基本的な用語、気象、気候、風土などについて解説します。				配布教材等で気象、気候等について予習して下さい。小テストの答で復習して下さい。4時間				
3	気候の地域差をもたらす要因	気候の地域差はどのようにして生じるのかを考えます。				配布資料等で気候の地域差について予習して下さい。小テストの答で復習して下さい。4時間				
4	世界の気候1 大気大循環	世界の気候の特徴を大気大循環(風系)から見ていきます。				配布資料等で大気大循環について予習して下さい。小テストの答で復習して下さい。4時間				
5	世界の気候2 気候区分	同じ特徴を持つ地域に世界を区分する世界の気候区分について紹介しします。				配布資料等で世界の気候区分について予習して下さい。小テストの答で復習して下さい。4時間				
6	日本の気候1 日本の気候の特徴	日本の気候はどのような特徴を持っているのか解説します。				配布資料等で日本の気候の特徴を予習して下さい。小テストの答で復習して下さい。4時間				
7	日本の気候2 季節区分	日本の季節毎の特徴的な気圧配置と季節区分について解説します。				配布資料等で日本の季節区分等について予習して下さい。小テストの答で復習して下さい。4時間				
8	日本の気候3 気候区分	同じ特徴を持つ地域に日本を区分する日本の気候区分について紹介しします。				配布資料等で日本の気候区分について予習して下さい。小テストの答で復習して下さい。4時間				
9	長野県の気候	長野県の気候はどのような特徴を持っているのか解説します。				配布資料等で長野県の気候について予習して下さい。小テストの答で復習して下さい。4時間				
10	気候と地形1 古気候と地形	古気候、地形に古気候が反映されているのか解説します。				配布資料等で古気候と地形について予習して下さい。小テストの答で復習して下さい。4時間				
11	気候と地形2 現在の気候と地形	現在の気候が地形に影響するのか解説します。				配布資料等で現在の気候と地形について予習して下さい。小テストの答で復習して下さい。4時間				
12	地球温暖化とは	地球温暖化について気候データを用いて解説します。				配布資料等で地球温暖化の概要について予習して下さい。小テストの答で復習して下さい。4時間				
13	地球温暖化の影響	地球温暖化はどのような影響をもたらすのか解説します。				配布資料等で地球温暖化の影響について予習して下さい。小テストの答で復習して下さい。4時間				
14	ヒートアイランド現象	ヒートアイランド現象とは何かに関して解説します。				配布資料等でヒートアイランドについて予習して下さい。小テストの答で復習して下さい。4時間				
15	レポート発表、補足、まとめ	作成したレポートを発表してもらいます。講義全体を再考します。				レポート発表の準備をして下さい。世界の自然地理について復習して下さい。4時間				
テキスト				成績評価の方法・基準						
プリントを配布します。8回目までの内容は、参考書「やさしい気候学」、10・11回目は、参考書「自然地理学」には含まれています。他の回は、気象庁、環境省、IPCCなどのサイトで公表されている資料を参考にしてください。				レポート:20% 定期試験:40% 小テスト:30% 発表10%。S:授業内容を高度に理解し、探究姿勢を持って課題に取り組み、授業内容について他分野でも十分活用できる。卓越した発表を行い授業に貢献している。A:授業内容を十分理解し、熱心に課題に取り組み、授業内容を援用した思考ができる。発表を行い授業に積極的に参加している。B:授業内容を概ね理解し、課題に誠実に取り組んでいる。発表を行い理解を深める努力をしている。C:授業内容を60%程度理解し、課題に取り組んでいる。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「やさしい気候学 第4版」仁科 淳司著(古今書院) ISBN:978-4-7722-8511-7 「自然地理学(第5版)」松原彰子著(慶應義塾大学出版会) ISBN:978-4-				高校で地理を学ばなかった学生も理解できる内容としますが、高校レベルの地理は社会人として必要な常識的な内容を含んでいます。是非この機会に地理を勉強しましょう。						

科目名	人文地理			学年学期	3・4年後期	単位数	2	ナバリング	TL36030	研究室	W-21
担当者	古川 智史			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日4限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
人文地理学という分野の歩みとその研究手法の基礎を学んだ後、テキストの講読を中心としながら、人文地理学の対象やアプローチ方法などについて理解を深めます。なお、アウトキャンパス・スタディとしてエクスカージョン(巡検)を実施する予定です。											
学修到達目標											
人文地理学の扱うテーマ、概念などについて基礎的な知識を身につける。 人文地理学のアプローチ方法を踏まえながら、現代社会で起きている現象や課題を的確に捉えることができる。											
授業の進め方											
指定したテキストと適宜配付する資料をもとに進めますが、グループワークも取り入れる予定です。受講者には、毎回、授業内容に関するミニレポートの提出を求めます。その内容については次回の授業時に講評し、フィードバックします。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	イントロダクション	人文地理学とはどのような分野か説明するとともに、本講義の概要等を説明します。					配付資料をもとに、人文地理学の位置づけ等について整理する(4時間)				
2	人文地理学のあゆみ	人文地理学という分野の展開について説明します。					配付資料をもとに、人文地理学のあゆみについて整理する(4時間)				
3	人文地理学における研究方法	フィールドワークや主題図の作成など人文地理学における研究方法について理解を深めます。					人文地理学におけるフィールドワーク等の研究方法について整理する(4時間)				
4	都市社会地理学とは	都市社会地理学の内容とその歩み、都市をめぐる近年の変化について説明します。					テキスト第1章および配付資料をもとに予習・復習すること(4時間)				
5	都市の成長と人口移動	戦後日本における人口移動、大都市圏の成長とその変容について説明します。					テキスト第2章および配付資料をもとに予習・復習すること(4時間)				
6	労働の都市空間	日本における雇用の変化と労働市場の空間的特徴について説明します。					テキスト第3章および配付資料をもとに予習・復習すること(4時間)				
7	社会的二極化の社会地図	都市の内部構造、エスニシティ、セグレーションについて説明します。					テキスト第4章および配付資料をもとに予習・復習すること(4時間)				
8	流通の発展と商業空間の変容	日本における流通産業の展開とそれに伴う商業空間の変容について説明します。					テキスト第5章および配付資料をもとに予習・復習すること(4時間)				
9	ジェンダーとセクシュアリティの都市空間	ジェンダー、セクシュアリティの観点から都市空間を読み解きます。					テキスト第6章および配付資料をもとに予習・復習すること(4時間)				
10	高齢化と医療・福祉	医療・福祉の地域差とその在り方等について考えます。					テキスト第7章および配付資料をもとに予習・復習すること(4時間)				
11	安全・安心のまちづくり	都市と犯罪の関係、安心・安全をめぐる空間・地域のあり様について考えます。					テキスト第8章および配付資料をもとに予習・復習すること(4時間)				
12	都市のガバナンス	ローカル・ガバナンスの展開について説明します。					テキスト第9章および配付資料をもとに予習・復習すること(4時間)				
13	都市の文化	文化をめぐる議論を整理した上で、地域おこしやグローバル化などの観点から都市文化について考えます。					テキスト第10章および配付資料をもとに予習・復習すること(4時間)				
14	東アジア型福祉国家	福祉国家論を踏まえながら、現代の都市社会で起きている現象・課題について考えます。					テキスト第11章および配付資料をもとに予習・復習すること(4時間)				
15	総括	これまでの内容を振り返りながら、講義全体を総括します。					テキストの各章および配付資料をもとに予習・復習すること(4時間)				
テキスト						成績評価の方法・基準					
「ベーシック都市社会地理学」神谷浩夫著(ナカニシヤ出版) ISBN:978-4-7795-1243-8(生協で購入してください。)						出席レポート:30% 定期試験:70% S:積極的な探求心、批判的な思考力を持って課題に取り組み、授業内容を高度に理解している。A:積極的な探求心を持って課題に取り組み、授業内容を十分に理解している。B:与えられた課題に誠実に取り組み、授業内容のおおよそを理解している。C:与えられた課題に取り組み、授業の内容の60%程度を理解している。					
参考書						履修上の注意(学生へのメッセージ)					
講義中に適宜紹介します。						質問には、講義終了後やオフィスアワーで対応します。					

科目名	異文化交流演習		学年学期	3・4年前期	単位数	2	ナパリング	TA36031	研究室	W-17
担当者	益山 代利子		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	木曜日2限、木曜日5限		
関連資格	中一(英語)、高一(英語)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
異文化交流の為に、まずは自国の文化や社会事情に精通する必要があります。異文化交流の実践を通して日本文化や社会事情について英語で簡単に説明できるようになることを目指します。										
学修到達目標										
日本文化や日本の現代社会事情について理解を深め、それを簡単な英語を用いて説明できるようになる。										
授業の進め方										
この演習では、日本文化に関する内容を英語で発表します。食、観光地、産業、日本の暮らし等を各自調査し、パワーポイントで発表します。言葉の不安を乗り越え、実践できる英語力を身につけます。発表ではその都度、内容や英語のフィードバックを行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	自己紹介の技法	英語による自己紹介とスピーチ技法。Ice breaking speech				効果的な自己紹介の仕方を考え練習してみる。(4時間)				
2	美味しい日本	日本の食について英語で説明する。				和食についての事前調査、ミニ・レポート作成。(4時間)				
3	不思議な日本	日本の現代文化や伝統などについて英語で説明する。				日本文化や伝統芸能、わび・さびについての事前調査、ミニ・レポート作成。(4時間)				
4	ご当地日本	日本の観光地について英語で説明する。				日本の観光地についての事前調査、ミニ・レポート作成。(4時間)				
5	ものづくり日本	日本の伝統的な産業について学び、英語で表現します。				様々な伝統産業についての調査、ミニ・レポート作成(4時間)				
6	日本の商慣習	日本のビジネスマナーについて英語で説明します。				日本特有のビジネスマナーやグローバルなプロトコールについて事前調査。(4時間)				
7	日本の旅館	外国人から見た日本旅館の特徴や滞在の仕方を紹介します。				特徴的な日本旅館について調べます。(4時間)				
8	プレゼンテーション	Cool Japan Presentation パワーポイントを使って各自発表				個人発表の準備 (4時間)				
9	茶道	茶道の歴史、種類、手法について説明します。				茶道のお点前の流れを予習しておきます。(4時間)				
10	茶道体験	茶室を訪問し茶道体験をします。				茶道のお点前の流れを確認しておきます。(4時間)				
11	英語ガイド研修	英語ガイドの仕事や課題について学びます。外部講師による講義				英語ガイドに関する情報収集。(4時間)				
12	松本城ガイド	松本城について英語で学びます。				松本城の事前調査(4時間)				
13	松本城ガイド研修	松本城のボランティアガイドに英語で案内をしてもらいます。				松本城の英語資料を読む(4時間)				
14	松本城発表	各自松本城についてプレゼンテーションを行います。				松本周辺の観光地情報を事前調査(4時間)				
15	まとめ	これまでの異文化体験を振り返り、よく使われる英語表現を確認します。				英語で説明する日本文化を復習(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
購入するテキストはありませんが、プリントを各種用意して学習します。				レポート：30% 実技：30% 課題：40% S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探究姿勢をもって課題に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける、他の学生の前で発表できる。A：授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって内容に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおよるを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「英語で説明する日本の文化必須表現グループ100」上田一三、上田敏子、山中敏彦著(株式会社語研) ISBN: 978-4-87615-219-3				簡単な英語で外国人との交流ができるようになることを目指します。話すことが目的ですので、楽しく学びましょう。【実務経験のある教員が担当】内容：米国のリゾート運営会社、スウェーデンの通信会社でサービスの経営に従事						

科目名	地域経営論			学年学期	2年前期	単位数	2	ナパリング	TL26032	研究室	W-20
担当者	向井 健			必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスア-	火曜日3限、木曜日3限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
現在の地域社会は、人口減少・少子高齢化・地域間格差など複雑かつ多様な課題を抱えています。本講義では、それらの複雑な地域課題を解決をしていく上で求められる地域経営の在り方とは何かということを考えます。具体的には、地域づくりに関する法制度、行政・企業・NPO・地域組織などの地域で活動する主体の在り様、それらの連携・協働・共創の在り方、地域づくりの担い手の形成などといったテーマを取り上げながら、これから求められる地域経営の在り方について考えていくことにします。											
学修到達目標											
1,地域経営に関する基本的な概念について理解し、持続可能な地域社会をつくる地域経営の在り方について考えることができる。 2,地域住民、事業者、行政などの協働の在り方について考えることができる。 3,地域資源を活用したまちづくりの方法について理解することができる。											
授業の進め方											
毎回の授業ではプリントや資料を配布することとします。授業の前半部分と後半部分にディスカッションを行います。講義の最後には、自分自身の考えを発表する機会を設け、それをもとに討論をし、その結果をフィードバックします。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	ガイダンス	本講義の進め方についてお話をします。また地域に関連する講義科目の全体を俯瞰し、それぞれの学びとの関連についてお話します。					自分の関心のある地域課題について考えてきてください(4時間)				
2	地域社会の現況をみる	現在の地域社会(都市部)においては、どのような課題を抱えているのかということについて説明をします。それらに対して、どのような課題解決がしうるかということグループワークを通して考えます。					自分の定めたテーマについて調べてくるようにしてください(4時間)				
3	地域社会の現況をみる	現在の地域社会(農山漁村)において、どのような課題を抱えているのかということについて説明をします。それらに対して、どのような課題解決がしうるかということグループワークを通して考えます。					自分の定めたテーマについて調べてくるようにしてください(4時間)				
4	地域づくりの歴史と思想(1)	地域社会における諸課題の解決に向けた地域づくりに関する歴史と思想について学びます。あわせて「地域経営」に関する概念も学びます。					講義の内容について復習をするようにしてください(4時間)				
5	地域づくりの歴史と思想(2)	国外の事例にも目を向けながら、地域社会における諸課題の解決に向けた地域づくりに関する歴史と思想について学んでいくことにします。					講義の内容について復習をするようにしてください(4時間)				
6	国と地方自治体の関係	国と地方自治体の関係がどのように変遷してきたのかを学びます。あわせて、これからの地方自治体がどうなっていくのかということも考えることにします。					講義の内容について復習をするようにしてください。(4時間)				
7	地域づくりにおける行政の役割	地域づくりにおける行政の役割とは何かということについて考えます。あわせて、まちづくり三法や全国各地の自治体で定められたまちづくり条例についても調べます。					講義中に出した調べ学習の宿題について忘れずにやってくるようにしてください(4時間)				
8	地域で活動する主体	地域で活動する主体には様々です。住民組織(町内会・自治会)、民間事業者、NPO、行政などといった地域で活動する多様な主体が、それぞれどのような役割を果たしているのかを学びます。					地域で活動する主体にどのようなものがあるのか調べておいてください(4時間)				
9	住民参加のまちづくりと合意形成	地域住民の意思が反映された住民参加のまちづくりと合意形成配下にしたら可能なのでしょうか。住民参加を支える仕組みや地域づくりのあり方について考えます。					授業の内容について復習をするようにしてください。(4時間)				
10	対話と協働の場のデザイン	多様な意見を持った人たちが対話と協働をしあう場をどのようにつくりだすことができるのでしょうか。人と人がつながる場を創り出している各地の事例をもとに考えます。					授業の内容について復習をするようにしてください。(4時間)				
11	地域づくりの担い手は如何に育つか	地域課題を主体的にとらえて行動する地域づくりの担い手を如何にはぐくむことができるのでしょうか。地域住民の学びと育ちを支える「社会教育士」についても理解を深めます。					授業の内容について復習をするようにしてください。(4時間)				
12	地域資源の活用と地域ブランドの形成	地域の中に眠っている地域資源を如何に見つけ出し、それらを磨いていくことができるのでしょうか。地域資源の活かし方について考えることにします。					授業の内容について復習をするようにしてください。(4時間)				
13	地域に根付き、新たな仕事をおこす	人や自然との関係を大事にしなが、地域で働き、人間らしく生きていくことを目指す、地域に根差した仕事おこしの可能性について考えることにします。					授業の内容について復習をするようにしてください。(4時間)				
14	包摂的な地域社会をつくる	地域の多様性が広がる中で、それらを「分断」としてではなく、お互いの差異を受け止めあい、活かしあうことのできる包容力のある地域社会は如何にしたらできるのかを考えます。					授業の内容を踏まえて自分自身の意見をまとめるようにしておいてください。(4時間)				
15	これからの地域社会を展望する	これまでの講義での学びを踏まえて、これから求められる地域社会のあり方について発表をし、ディスカッションをします。					発表のための準備を忘れずにしてきてください。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準							
本講義では、必要な資料などは、講師から配布します。				レポート:70% 課題:30% S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組むことができている。A:授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって課題に取り組むことができる。B:授業のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。							
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)							
参考となる文献については、講義中に適宜紹介をします。				この講義は、地域について学びを深める導入的な講義となります。積極的な態度での受講を求めます。							

科目名	コミュニティビジネス		学年学期	2年前期	単位数	2	ナパ'リング	KC26066 TB26033	研究室	W-34	
担当者	白戸 洋		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	金曜日3限			
関連資格	中一(社会)、高一(公民)				履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)								
		A	B	C							
授業概要											
コミュニティ・ビジネスとは、住民の行なう事業にビジネスの手法を取り入れることで、事業の継続性を図り、地域の課題を解決するものです。講義では、コミュニティ・ビジネスを理解し、実際のコミュニティ・ビジネスの事業について、事例研究を行います。特に近年課題とされている高齢者の買い物支援問題についてとりあげます。講義の後半ではグループ別に実際のコミュニティ・ビジネスの構想を行うために、ディスカッションやフィールドワークなどを行います											
学修到達目標											
コミュニティ・ビジネスの意義や理論的な枠組みなど基本的な概念について理解するとともに、地域の課題を踏まえたコミュニティ・ビジネスの事業の提案を行うことができる											
授業の進め方											
講義はプリントに沿って進め、毎回課題について自分の意見を提起する小レポートを作成してもらい次回の講義でフィードバックを行います。様々なテーマについて課題レポートを作成し、修了レポートとしてコミュニティ・ビジネスを提案してもらいます。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	イントロダクション	講義の概要と進め方・コミュニティ・ビジネスを学ぶとは					講義において何を学びたいかについて検討 2時間				
2	コミュニティ・ビジネスの基礎を学ぶ	コミュニティ・ビジネスの背景					コミュニティ・ビジネスの背景に関してポイントを整理する 4時間				
3	コミュニティ・ビジネスの基礎を学ぶ	コミュニティ・ビジネスの定義					コミュニティ・ビジネスの定義に関してポイントを整理する4時間				
4	コミュニティ・ビジネスの基礎を学ぶ	コミュニティ・ビジネスの意義					コミュニティ・ビジネスの意義に関して内容を復習する 4時間				
5	コミュニティビジネスとは何か	コミュニティビジネスとは何かについてワークショップで考える					ワークショップを踏まえて事例研究を通じて内容を復習する 4時間				
6	コミュニティ・ビジネスの現状	コミュニティ・ビジネスの現状について					コミュニティ・ビジネスの現状に関してポイントを整理する 4時間				
7	コミュニティ・ビジネスの課題	コミュニティビジネスをめぐる課題を学ぶ					課題に関してポイントを整理する2時間 事例研究を通じて内容を復習する 2時間				
8	コミュニティ・ビジネスの種を見つける	コミュニティビジネスのプロセスを学ぶ					プロセスに関してポイントを整理する 2時間 事例研究を通じて内容を復習する 2時間				
9	コミュニティ・ビジネスの事例研究	コミュニティ・ビジネスの具体的な事例の紹介					講義のテーマに沿った事例を探しコミュニティ・ビジネスの意義を整理する 4時間				
10	コミュニティ・ビジネスを構想する コミュニティ・ビジネスのアイデア	コミュニティビジネスのアイデアをグループ・ディスカッションで検討					ディスカッション結果を整理し次回のディスカッションに向けての提案等を検討する 4時間				
11	コミュニティ・ビジネスを構想する フィールドワーク	コミュニティビジネスの構想に向け地域に出て地域課題や資源を調査する					対象となる地域について資料収集を行いフィールドワークの結果を整理する 6時間				
12	コミュニティ・ビジネスを構想する 課題を考える	コミュニティビジネスの構想に向け地域の課題を明らかにする					講義内容を踏まえて提案シートの作成 4時間				
13	コミュニティ・ビジネスを構想する 事業の提案	事業企画書を作成する					講義内容を踏まえて提案シートを見直し修正して作成 4時間				
14	コミュニティ・ビジネスを構想する 事業の提案	事業を提案する					関連する地域社会の課題について調べ結果を整理する 4時間				
15	未来を創造するコミュニティ・ビジネス	今後の地域社会でコミュニティビジネスが果たすべき役割を考える					講義全体を振り返り定期試験や修了レポート作成に向け自分の考え方を整理する 4時間				
テキスト			成績評価の方法・基準								
プリントを配付します。			レポート：40% 出席レポート：50% 定期試験：10% S:講義内容を活かして具体的なコミュニティ・ビジネスを実行できる A:講義内容を十分に理解し実現性のあるコミュニティ・ビジネスを提案できる B:講義内容を十分に理解しコミュニティ・ビジネスを提案できる C:講義内容を概ね理解し要件を満たしたコミュニティ・ビジネスを提案								
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「実践コミュニティ・ビジネス」細野助博編(中央大学出版) 細野助博監修 「松本大生がかかわったまちづくり」白戸ゼミナール編(松本大学出版会)			受け身で講義に参加することは不可能で、自分が考えること、実践につなげることが講義では問われます。【実務経験のある教員が担当】実務の内容:開発コンサル企業やNPOで地域づくりやコミュニティ・ビジネスの調査・企画・実施を担当した。								

科目名	共生社会論			学年学期	2年後期	単位数	2	ナパ'リング	TB26034	研究室	W-20
担当者	向井 健			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	水曜日4限、木曜日2限		
関連資格	社会教育士					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)							
		A	B	C							
授業概要											
多様な文化や価値を相互に認め合い、協働することを通して、社会的諸課題を解決していく筋道を如何に構築していくことができるのでしょうか。本講義では、現代社会における排除性についてまなぶとともに、共生社会の構築にむけたアプローチとは何かということについて多角的に学んでいくこととします。(社会教育主事養成課程における法令上の科目名は「社会教育特講」に相当。)											
学修到達目標											
1 社会的排除の概念を学び、排除と包摂の観点から、現代社会の諸課題について考えることができる。 2 多様な価値観を互いに尊重する共生社会を実現する道筋を描くことができる。											
授業の進め方											
講義プリントを配布し、それを基に講義を進めます。グループでのディスカッションや共生社会の実現に向けて取り組んでいる団体へのアウトキャンパススタディも実施をします。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	何故、共生社会を問うことが求められるのか	本講義の進め方を共有するとともに、現代において、何故、共生社会を問うことが求められるのかということを考えます。					共生社会とは何かを考えて自分の意見をまとめること(4時間)				
2	排除型社会の構造 : 変動と分断する社会において広がる存在論的不安	現代において変動と分断の広がりの中で、他者の本質化と不寛容さが広がり、人々の間に存在論的不安が高まっています。そのような現代社会のメカニズムを解き明かします。					現代社会の特徴を復習しておくこと(4時間)				
3	排除型社会の構造 : 「つながり」「役割」「居場所」の喪失	社会的排除という視点について学びます。社会的排除という概念を「つながり」「役割」「居場所」の喪失の観点からみてみるとともに、その対抗戦略としての社会的包摂の概念を学びます。					社会的排除の概念について復習をしておくこと(4時間)				
4	差別と偏見について考える : 優生思想はどこからくるのか	差別と偏見とは何かということについて考えます。身体的・精神的に劣る者を排除する「優生思想」というイデオロギーはいかなる形で生み出されてきたのかを考えます。					優生思想についての考えをまとめて感想を提出すること(4時間)				
5	差別と偏見について考える : 病気・障がいから能力主義を問う	「優生思想」を乗り越えていく視点について考えます。ここでは病気や障がいのある人たちの立場から能力主義を問うた人々が生み出した思想に学びます。					授業の感想をレポートに書いて提出すること(4時間)				
6	差別と偏見について考える : 竹内章郎「能力の共同性」論	個体能力主義を乗り越えていくためのアプローチとして、竹内章郎による能力の共同性論やアマルティアセンのケーパビリティ論について学びます。確認テストを実施し、添削後、返却します。					能力主義についてまとめ、竹内らの議論についての考えを提出すること(4時間)				
7	現代社会の排除と包摂 : ナショナルリティ	現代社会の排除と包摂の問題について学びます。多文化化する日本社会において、どのように異文化との共生を図っていくことができるのでしょうか。外国人労働者の受け入れや移民問題なども取り上げます。					外国人の労働者の受け入れや移民問題について調べてくること(4時間)				
8	現代社会の排除と包摂 : 貧困	若年層の生活困窮化と社会的排除が大きな問題となっています。労働市場に参入することができない若者が増えている状況がどのようにして起こっているのかを考えます。					若者の貧困の問題について調べてくること(4時間)				
9	現代社会の排除と包摂 : 世代間格差	世代間格差が広がる中で、世代を超えた対話はいかにしたら可能なのかということを考えます。					世代間格差についての自分自身の考えをまとめてくること(4時間)				
10	現代日本の排除と包摂 : セクシュアリティ	多様なセクシュアリティが尊重される社会をどのように構築をしていくことができるのかを考えます。					講義中に取り上げた概念について復習をしておくこと(4時間)				
11	現代日本の排除と包摂 : 障がい	障がいの有無に関わらずとも生きる社会をどのように作っていくことができるのか。事例のフィールドワークを基にしながら考えます。					フィールドワークの感想をまとめて提出すること(4時間)				
12	共生社会の実現に向けて : 人と人とを結び経済の在り方を考える	共生社会の実現に向けたアプローチを学びます。ここでは人と人とを結びなおす経済のあり方について考えます。					授業の感想を提出すること(4時間)				
13	共生社会の実現に向けて : 福祉のあり方を問い直します	共生社会の実現は、福祉に対してどのようなインパクトを与えるのでしょうか。共生社会の実現に向けて求められる福祉のあり方について考えます。					講義中に取り上げた概念について復習をしておくこと(4時間)				
14	共生社会の実現に向けて : アートの持つ創造性を地域づくりに活かす	アートの持つ創造性を包摂的な地域づくりに活かそうとする試みについて学びます。					授業の感想をまとめて提出すること(4時間)				
15	すべての人が包摂される共生社会を展望する	これまでの学びを振り返り、すべての人たちが包摂される共生社会をつくりだしていくために求められることは何かを改めて考えてまとめます。					共生社会の実現に向けて自分自身のできることを考えレポートを提出します。(4時間)				
テキスト						成績評価の方法・基準					
「弱者の居場所がない社会 貧困・格差と社会的包摂」阿部彩著(講談社現代新書) ISBN:4062881357 別途指示します。						レポート:70% 出席レポート:30% S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組むことができる。A:授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって課題に取り組むことができる。B:授業のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。					
参考書						履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「後期近代の眩暈 排除から過剰包摂へ 新装版」ジョック・ヤング(著)木下ちがや(訳)著(青土社) ISBN:4791772091 別途指示します						学生の皆さんの主体的な参加を期待します。【実務経験のある教員が担当】実務経験の内容:NPOや社団法人において、地域の支えあい体制づくりや地域活性化等の業務に携わった。					

科目名	家族法		学年学期	2年後期	単位数	2	ナハ・リソグ	KB26059 TB26035	研究室	W-33
担当者	増尾 均		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスアワ-	月曜日3限、水曜日2限		
関連資格	中一(社会)、高一(公民)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
		総 観								
授業概要										
我が国には非常に多くの法律がありますが、その中でも民法は社会生活をする上で最も身近な暮らしに関することを規律した法律です。本講義では民法の中の家族法を学んでいただきます。具体的には夫婦や親子の関係を規定する親族法と相続や遺言を規定する相続法です。いずれも社会生活のみならず家庭生活の中でも多用されています。										
学修到達目標										
家族法の諸制度を学び、家庭内でのトラブルを回避するための法的予防策ならびにトラブルに遭ってしまった場合の法的早期解決方法を習得し、地域人として家庭の平穏と地域の発展に寄与することを目的とします。										
授業の進め方										
基本的には教科書と六法を用いて授業を進めます。しかし、教科書と六法のみではなく、必要に応じて判例・新聞記事などのプリントも配布して使用します。適宜、修得状況を確認する目的で小テストを行い、その結果を学生にフィードバックします。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	授業の進め方、家族法の意義と民法の中の位置づけ				事前に民法とはどのような法律か調べる。講義後、家族法の位置づけをまとめる。(4時間)				
2	親族法総説	親族法の沿革、親族法の特徴				事前学修として、身分法について調べる。事後学修として、現親族法との比較検討をする。(4時間)				
3	婚姻の成立と効果	婚姻成立のための実質的要件と形式的要件、地位と財産上の効果について				事前学修として、婚姻の条件を調べる。事後学修として、各規定を整理する。(4時間)				
4	離婚の成立	離婚制度の沿革、離婚の種類と要件、有責主義と破綻主義について学ぶ				事前に離婚の条件を調べる。事後学修として、有責主義と破綻主義についてまとめる。(4時間)				
5	離婚の効果	離婚による財産上の効果と子に関する効果				事前に離婚によって夫婦はどうか調べる。講義後、財産と法的効果を整理する。(4時間)				
6	親子	実親子と養親子、それぞれの問題点と法規制				事前に親子間の問題を調べる。事後学修としてそれぞれの問題と規制を整理する。(4時間)				
7	親権	親権および身上監護と財産管理の意義と内容				事前に親権について調べる。事後学修として、親権と監護権との関係についてまとめる。(4時間)				
8	復習テスト	7回の授業の習熟度を理解してもらうため30分の小テストを行い、終了後詳細な解説をする。				事前に今までの復習を再度行う。講義後、理解が不十分であった所を改めて学ぶ。(4時間)				
9	後見制度	未成年後見、成年後見・補佐・補助の意義と制度の概要				事前学修として、後見とは何かを調べる。事後学修として、各制度の違いをまとめる。(4時間)				
10	相続法総説	相続法の沿革旧法との比較				事前に昔の相続はどうであったか調べる。事後学修として、現行法との比較検討をする。(4時間)				
11	相続人	相続人の範囲と順位、相続権の剥奪、代襲相続				事前に誰が相続できるか調べる。事後学修として、各制度を整理してまとめる。(4時間)				
12	相続の効力	相続分と遺産分割				事前に遺産をどう分けるか考える。講義後、相続分について整理する。(4時間)				
13	相続の承認と放棄	単純承認・限定承認・相続の放棄について手続きと規定を学ぶ				事前学修として、相続の種類を調べる。事後学修として、それぞれの特徴をまとめる。(4時間)				
14	遺言	遺言の各種方式と遺贈の意義と要件				事前学修として、遺言の種類を調べる。事後学修として、各制度の特徴を整理する。(4時間)				
15	遺留分	遺留分の概要と算定				事前に遺留分の意義を調べる。事後学修として、計算ができるように練習する。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「プリメール民法5家族法」千藤洋三・床谷文雄・田中通裕・辻朗著(法律文化社) ISBN:978-4-589-03595-0(生協で購入してください。) 「ポケット六法」井上正仁・能見善久ほか編(有斐閣) ISBN:9784641009158(生協で購入してください。)				出席レポート:10% 定期試験:90% Sは授業内容を高度に理解して課題や発展的問題が解ける。Aは授業内容を理解して応用問題や課題が解ける。Bは授業内容をおおよそ理解して応用問題や課題がほぼ解ける。Cは授業内容の6割程度を理解している。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「ハイブリッド民法5 家族法」半田吉信・鹿野菜穂子・佐藤啓子・青竹美佳著(法律文化社) ISBN:9784641009158				身近で利用頻度の高い法律を学ぶ以上、常に問題意識を持って授業に臨み、今後の大学生活および社会生活に役立ててください。講義計画に該当する内容を読んでおいてください。						

科目名	生活環境論			学年学期	2年後期	単位数	2	ナパリング	TB26036	研究室	W-15
担当者	田開 寛太郎			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	月曜日3限、火曜日3限		
関連資格	社会教育士					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
持続可能な社会の実現のためには、私たち一人ひとりが生活と環境との関わりを理解し、環境に配慮したライフスタイルと環境問題を解決するために必要な行動力を身につけることが求められています。本講義では、良好な生活環境を確保するための基本三原則「低炭素社会、循環型社会及び自然共生社会」と各分野の関係性を整理し、持続可能な社会づくりにおいて私たちが果たすべき役割と具体的な取組みを学びます。(社会教育主事養成課程における法令上の科目名は「社会教育特講」に相当。)											
学修到達目標											
良好な生活環境を確保と持続可能な社会を実現するために必要な知識を学び、また、社会を構成するすべてのメンバーの役割は何かを考え、実践する能力を身につける。											
授業の進め方											
スライドなどの視覚教材を利用しながら講義を進めます。授業に関係する施設に出かけ、理解を深めます。4~5名のグループを編成し、データ、資料を収集して発表資料を完成させます。最終回でその成果をグループごとに発表し、相互に評価します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	生活環境論とは	良好な生活環境を維持する為に、低炭素社会、循環型社会及び自然共生社会の中に潜む様々な問題点を説明します。また、授業概要、学修到達目標、授業の進め方、評価の仕方、履修上の注意などを説明します。					シラバスの理解と授業の内容を振り返り、ノートにまとめる。(4時間)				
2	暮らしと環境問題とのつながり	環境問題と市民の関わりについて説明し、環境問題の解決において市民が果たすべき役割について学びます。					身の回りで起きている生活環境の異変について調査する。(4時間)				
3	循環型社会の構築について	循環型社会を構築する為の基礎となる日本の廃棄物処理に関する法制度について説明します。					日本の廃棄物処理に関する法制度について調査し、廃棄物の定義等を理解する。(4時間)				
4	低炭素社会の構築について	日本における、地球温暖化によるとされる異常気象の現状と、それに伴う生活環境への影響について説明します。					日本における異常気象の発生状況について調査する。(4時間)				
5	自然共生社会の構築について	現在の日本雷鳥に代表されるような、様々な野生生物種の減少問題や、現在のニホンジカに代表されるような、様々な野生生物の生息数の増加及び被害状況(鳥獣被害)について説明します。					身近に発生している野生生物(動物・植物・昆虫等)の減少について調査する。(4時間)				
6	里山里海の生態系サービス	自然の恵みとその創出のメカニズムについて説明し、共生・循環型の生活について学びます。					配布資料をもとに身の回りの生態系サービスについて調査する。(4時間)				
7	里山の保全再生と地域循環共生圏	地域循環共生圏が求められる背景と、具体的な事例をもとに持続可能な地域づくりの事例を説明します。確認テストを実施し、添削後、返却します。					事前に「環境基本計画」について調べ、基本とすべき原則についてノートにまとめる。(4時間)				
8	公害問題と教育	高度経済成長期に発生した公害問題を説明し、加害・被害の構造を持つ公害における「補償」と被害の拡大について考えます。					配布資料をもとに日本の公害問題について事前に調べる。(4時間)				
9	日本のエネルギー政策	一人ひとりのライフスタイルや環境・経済などの広い視点から、原子力発電に伴う様々な問題について議論します。					配布資料をもとに日本のエネルギー政策について事前に調べる。(4時間)				
10	福島第一原子力発電所事故とは何か	放射能の影響を受けた地域では、子どもが外で遊ばせることさえ、躊躇されることがあります。福島原発事故後の生活環境の変化について考えます。					東日本大震災や福島第一原子力発電所事故から「何を学ぶのか」について考える。(4時間)				
11	原発事故後の自然体験活動	地域を構成する場所や人の変化に着目し、一人ひとりが安心して安全な社会をつくっていく担い手になるための自然体験学習の可能性について議論します。					配布資料をもとに福島県内の自然体験活動の現状について事前に調べる。(4時間)				
12	消費者としての市民	環境配慮の社会の進展に合わせて、私たち消費者がどのような視点で商品を選び購入するかについて学びます。					地域住民として環境問題への取組みについて考え、発表に向けて資料収集・分析を行う。(4時間)				
13	消費者としての市民 ディスカッション&プレゼン準備1	一人ひとりのライフスタイルや環境・経済などの広い視点から、「地域」単位で私たち一人ひとりができることを考えます。					地域住民として環境問題への取組みについて考え、発表に向けて資料収集・分析を行う。(4時間)				
14	消費者としての市民 ディスカッション&プレゼン準備2	「地域」に住む住民としての環境問題への取組みについて考え、一人ひとりが協力し合う手立てについて議論します。					地域住民として環境問題への取組みについて考え、発表に向けて資料収集・分析を行う。(4時間)				
15	持続可能な社会の構築について プレゼン発表と講評	「地域」の視点から、「持続可能な社会」に向けた仕組みと実践について発表し合い相互に評価します。教員、ゲスト講師による評価、講評を受けます。					地域にとって望ましい環境を持続する為に、今何をすべきか、何が出来るのかを考える。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準							
別途指示します。				受講態度：60% レポート：40% 受講態度は、プレゼンテーション、グループディスカッション、受講票の内容等を評価に加味します。S：内容を高度に理解し、実社会での出来事と地球規模の課題を関連付け、批判的な視点を持ちながら、正確に文章で表現することができる。A：探求姿勢を持って課題に取り組み、内容を正確に理解し、各要素を関連付けた視点で、正確に文章で表現することができる。B：内容をおおむね理解し、要素を関連付けた視点で、文章化できる。C：授業の内容を6割以上理解し、自分の意見を文章化できる。							
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)							
必要に応じて本講義中に参考となる学術論文、書籍を紹介します。				小グループによる活動を中心とした授業形式であるため休みがちまたは予習をさぼりがちな人は班員に多大な迷惑が生じますので、欠席と未予習に対しては厳しい評価をします。							

科目名	非営利組織論			学年学期	3・4年前期	単位数	2	ナバリング	TB36037	研究室	W-34
担当者	白戸 洋			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	金曜日3限		
関連資格	中一(社会)、高一(公民)					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
本講義ではNPOについて、基礎理論、歴史や社会経済的背景、現状と課題を学習し、NPOを通じて社会や地域に対して参画する意義や問題意識を育てることを目的とします。またNPOの経済や雇用への影響、地域通貨、コミュニティの創造、住民参画、行政とのパートナーシップ、マネジメント、国際比較など今日的課題を取り上げる。具体的な事例を取り上げ、理論と実践の両面から学習します。またNPOの設立申請書の一部を作成することによってより理解を深めることをめざします。											
学修到達目標											
基礎理論、歴史や社会経済的な背景、現状と課題を理解する 域や社会に対する関心を育て主体的に関わっていく意識を持つ				NPOを通じて社会や地域に対して参画する意義や問題意識を持つ				地			
授業の進め方											
講義では、毎回小レポートを作成してもらいます。自分でNPOについて資料を収集し調査を行う体験プログラムやNPOの設立申請書の作成シミュレーションを行い、課題レポートして提出してもらいます。講義では学生と教員の相互のフィードバックを図ります。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	オリエンテーション	非営利組織とは、NPOとは何?					講義において自分の学習目標を検討する 2時間 次回の講義に向けて教科書を予習する 2時間				
2	NPOの基礎理論	非営利組織の制度					非営利組織の制度について復習を行う 3時間 次回に向けて教科書を予習する 2時間				
3	NPOの基礎理論	NPOらしさとはなにか					NPOらしさについて復習を行う 3時間 次回の講義に向けて教科書を予習する 2時間				
4	NPOの基礎理論	非営利組織の歴史と現状					非営利組織の歴史と現状について復習を行う 3時間 次回の講義に向けて教科書を予習する 2時間				
5	NPOの基礎理論	NPOの存在価値は					NPOの存在価値について復習を行う 3時間 次回の講義に向けて教科書を予習する 2時間				
6	NPOの現状と課題	世界の非営利セクター					世界の非営利セクターについて復習を行う 3時間 次回の講義に向けて教科書を予習する 2時間				
7	NNPOの現状と課題	NPOと行政のパートナーシップ					NPOと行政のパートナーシップについて復習を行う 3時間 次回に向けて教科書を予習する 2時間				
8	NPOの現状と課題	企業とNPO・コミュニティ・ビジネス					企業とNPOについて復習を行う 3時間 次回の講義に向けて教科書を予習する 2時間				
9	NPOの経営	非営利組織のマネジメント					非営利組織のマネジメントについて復習を行う 3時間 次回に向けて教科書を予習する 2時間				
10	NPOの経営	経営資源の開発					経営資源の開発について復習を行う 3時間 次回の講義に向けて教科書を予習する 2時間				
11	NPOの設立シミュレーション	NPOを設立しよう その1 種を探そう グループづくり					講義で検討した事項に関するレポート作成し次回に向けて検討課題を整理 4時間				
12	NPOの経営	NPOの組織運営・定款					定款の事例研究を行う 4時間				
13	NPOの設立シミュレーション	NPOを設立しよう その2 NPOの組織作り ワークショップ					講義で検討した事項に関するレポート作成し次回に向けて検討課題を整理 4時間				
14	NPOの設立シミュレーション	フィールドワーク(NPO設立のための種探し)					フィールドワークで検討した事項に関するレポート作成 4時間				
15	今後のNPOの課題	NPOの発展戦略 ~ NPO支援・アカウンタビリティと評価・寄付税制					NPOの発展戦略について復習を行う 3時間 次回の講義に向けて教科書を予習する 2時間				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「テキストブック NPO - 非営利組織の制度・活動・マネジメント」雨森孝悦著(東洋経済新報社) ISBN:978-4492100196(生協で購入してください。)					出席レポート:50% レポート:30% 定期試験:20% S:講義内容を踏まえてNPOにかかわる具体的な活動を行う A:講義内容を十分理解し自らの問題意識に基づいたNPOを提言できる B:講義内容を十分理解し要件を満たしたNPOを提言できる C:講義内容を概ね理解できている						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
教科書は必ず購入して下さい。教科書を購入しない場合は履修を認めません。					住民の一人である自分自身の問題として主体的な意識と姿勢を持って講義に参加してほしい。【実務経験のある教員が担当】実務経験の内容:NPOにおいて国内外のNPOの活動に関する調査・計画策定などの業務に従事した。						

科目名	文化産業論（観光）		学年学期	3・4年前期	単位数	2	ナパリング	TB36038	研究室	W-21	
担当者	古川 智史		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日3限			
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）					
			A	B	C	2018年度～					
授業概要											
本講義では、まず、文化産業が注目されるようになった背景を概観した上で、文化産業の経済的な特徴などを整理します。次に、個別の産業を取り上げ、その成り立ちや構造、近年の動向をみていきます。そして、文化やコンテンツを活用した地域活性化の試みを紹介し、その可能性について考えます。											
学修到達目標											
文化産業の経済的な特徴について説明できる。 文化産業に含まれる個別の産業の構造、動向について理解する。											
授業の進め方											
レジュメをもとに講義を進めますが、数回グループワークを実施する予定です。受講者には、毎回コメントシートの提出を求めます。また第6・11回に小テストを実施し、採点・返却してフィードバックします。											
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	イントロダクション	本講義の概要等について説明します。					「文化産業」に含まれる産業を取り上げ、調べる（4時間）				
2	文化産業の特徴（1）	文化産業の概念について整理するとともに、それを巡る議論を概観します。					配付資料、各自のノートをもとに、文化産業の概念について整理する（4時間）				
3	文化産業の特徴（2）	文化産業の経済的な特性について理解を深めます。					配付資料、各自のノートをもとに、文化産業の経済的な特性について整理する（4時間）				
4	文化産業の特徴（3）	文化産業にかかる制度について理解を深めます。					配付資料、各自のノートをもとに、文化産業にかかる制度について整理する（4時間）				
5	アニメーション産業（1）	日本のアニメーション産業の成り立ち、構造について説明します。					配付資料、各自のノートをもとに、アニメーション産業の成り立ち等について整理する（4時間）				
6	アニメーション産業（2）	近年のアニメーション産業の動向について説明します。					配付資料、各自のノートをもとに、アニメーション産業の動向等について整理する（4時間）				
7	映画産業（1）	日本の映画産業の成り立ち、構造について説明します。					配付資料、各自のノートをもとに、映画産業の成り立ち、構造について整理する（4時間）				
8	映画産業（2）	近年の映画産業の動向について説明します。					配付資料、各自のノートをもとに、映画産業の動向等について整理する（4時間）				
9	テレビ放送業（1）	日本のテレビ放送業の成り立ち、構造について説明します。					配付資料、各自のノートをもとに、テレビ放送業の成り立ち、構造について整理する（4時間）				
10	テレビ放送業（2）	近年のテレビ放送業の動向について説明します。					配付資料、各自のノートをもとに、テレビ放送業の動向等について整理する（4時間）				
11	広告産業（1）	日本の広告産業の成り立ち、構造について説明します。					配付資料、各自のノートをもとに、広告産業の成り立ち、構造について整理する（4時間）				
12	広告産業（2）	近年の広告産業の動向について説明します。					配付資料、各自のノートをもとに、広告産業の動向等について整理する（4時間）				
13	文化・コンテンツと地域活性化（1）	「文化」を活用した地域振興の展開について、事例をもとに理解を深めます。					「文化」を活用した地域振興の事例を調べ、自身の考えをまとめる（4時間）				
14	文化・コンテンツと地域活性化（2）	「コンテンツ」を活用した地域活性化の試みを紹介し、その可能性について考えます。					「コンテンツ」を活用した地域活性化の事例を調べ、自身の考えをまとめる（4時間）				
15	総括	これまでの内容を振り返り、講義全体の総括をします。					配付資料および各自のノートをもとに、授業内容を復習すること（4時間）				
テキスト			成績評価の方法・基準								
毎回レジュメを配付します。			受講態度：30% 定期試験：70% 「受講態度」では、調べ学習などの事前学習、コメントシートの提出状況およびその内容、小テストの結果を総合的に評価します。 S：積極的な探求心、批判的な思考力を持って課題に取り組み、授業内容を高度に理解している。A：積極的な探究姿勢を持って課題に取り組み、授業内容を十分に理解している。B：与えられた課題に誠実に取り組み、授業内容のおおよそを理解している。C：与えられた課題に取り組み、授業内容の60%程度を理解している。								
参考書			履修上の注意（学生へのメッセージ）								
講義中に紹介します。			質問には、講義終了後やオフィスアワーで対応します。								

科目名	都市計画論		学年学期	3・4年後期	単位数	2	ナパリング	TB36039	研究室	非常勤
担当者	勝亦 達夫		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスワ-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
都市計画とは、都市の将来あるべき姿を想定し必要な規制、誘導、整備を行い、適正に発展させようとする方法や手段のことである。近年、人間のスケールの生き生きとした、安全で、持続可能で、健康的な街を取り戻す動きは日本、世界各地で行われています。住民参加による公共空間やコミュニケーションデザインの取組みも盛んになってきました。人々が生き生きと暮らせる都市(まち)をつくるために必要な都市計画の基本要素として、制度や法律、観光まちづくり、地域振興(産業)と福祉、防災に関わる事項を学びます。										
学修到達目標										
1. 都市計画の基本的な知識、事例を理解し、広域な地域課題を分析して自分の考えを説明できるようになる。 2. 地域資源を把握・分析し、都市課題に対して新たな視点や解決策を考え提案することができる。										
授業の進め方										
本講義では、地域事例を学びながら、グループワークやディスカッションを通じて自分の言葉で物事を説明する力を養います。その成果を確認する場として、実際の地域の方々との討論やフィールドワークを実施する予定です。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	都市計画とは何か	本講義における概要、学習目標、講義の進め方、評価の仕方についての説明をします。また都市計画の定義についての解説も行います。				講義で配布したプリントを復習し課題を実施すること(4時間)。				
2	都市の歴史、計画都市の歴史	都市の歴史と都市計画の歴史について解説します。				事前課題: 都市の歴史について事例をひとつ調べる。事後課題を実施(授業内で配布 4時間)。				
3	日本の都市計画事例	日本国内の都市計画について事例を交えて説明します。				事前課題: 国内の都市計画事例を調べる。事後課題を実施(授業内で配布 4時間)。				
4	海外の都市計画事例	海外の都市計画について事例を交えて説明します。				事前課題: 海外の都市計画事例を調べる。事後課題を実施(授業内で配布 4時間)。				
5	公園・緑地と都市計画	都市の中で計画される公園・緑地の機能や必要性、計画の考え方、今日の課題を解説します。				事前課題: 都市計画における公園づくりについて調べる。事後課題を実施(授業内で配布 4時間)。				
6	農村地域の都市計画	人口減少・高齢化が進む農村地域における、経過、課題、持続可能な地域づくりの取り組みについて説明します。				事前課題: 都市計画における農村計画について調べる。事後課題を実施(授業内で配布 4時間)。				
7	交通と都市計画	都市に欠かせない「交通システム」について、経過、課題、近年の人のための交通の在り方や具体的施策について解説します。				事前課題: 都市計画における交通施策について調べる。事後課題を実施(授業内で配布 4時間)。				
8	環境と都市計画	健康で環境にやさしく持続可能都市の在り方について学びます。自然環境や都市評価について都市に存在する身近な環境問題に対する都市スケールの取り組みについて解説します。				事前課題: 都市計画における環境施策について調べる。事後課題を実施(授業内で配布 4時間)。				
9	防災と都市計画	都市の災害リスクの把握と対策の視点から都市計画における防災の位置づけと必要性について学びます。				事前課題: 都市計画における防災施策について調べる。事後課題を実施(授業内で配布 4時間)。				
10	福祉と都市計画	高密度で高福祉を実現する都市計画「コンパクトシティ」の事例を学びます。				事前課題: 都市計画における福祉施策について調べる。事後課題を実施(授業内で配布 4時間)。				
11	都市運営の組織とエリアマネジメント	戦略的に都市計画を実現するためには、実施組織の構築は欠かせません。その成立プロセスや類型について学びます。				エリアマネジメントについて調べる。事後課題を実施(授業内で配布 4時間)。				
12	未来の都市	これから計画されている国内外の都市計画の事例を調べ、分析します。				事前課題: 現在計画されている都市計画事例について調べる。事後課題を実施(授業内で配布)。				
13	都市計画の実践	発表に向けてグループで準備作業をします。				授業内で配布する事前課題(授業内で使います)、復習のための事後課題を提出(4時間)。				
14	都市計画の実践	これからの都市づくりに向けた具体的提案について発表します(前半)。				発表用の資料を完成する。期日までに課題レポートを提出(4時間)。				
15	都市計画の実践	これからの都市づくりに向けた具体的提案について発表します(後半)。授業のまとめをします。				発表用の資料を完成する。期日までに課題レポートを提出(4時間)。				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「小布施まちづくりの奇跡」川向正人著(新潮社) ISBN:4106103540(別途、指示します。)				レポート: 40% 受講態度: 30% 課題: 30% S: 授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組むことができる。A: 授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって課題に取り組むことができる。B: 授業のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。C: 授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「人間の街: 公共空間のデザイン」ヤン ゲール(著), Jan Gehl(原著)著北原 理雄(翻訳)編(鹿島出版会) ISBN: 4306046001				授業時間とは別に地域を知るためのフィールドワークや提案を発表する場(住民や企業へのプレゼンなど)を設定する予定です。そのための時間は授業とは別に設定されるので、予め想定しておいてください。						

科目名	地域文化論		学年学期	3・4年後期	単位数	2	ナパリング	TB36040	研究室	非常勤	
担当者	木下 巨一		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー				
関連資格	社会教育士				履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)								
		A	B	C							
授業概要											
長野県内には、祭など、いわゆる無形文化といわれる文化が継承されてる地域がたくさんあります。また、音楽や芸術、演劇などの分野で、新たに地域文化運動を起こしている地域もあります。そしてそういう地域文化が営まれている現場では、取組を通して人が育ち、豊かな地域のつながりがあります。地域文化と人の育ち、地域のつながりについて考えます。(社会教育主事養成課程における法令上の科目名は「社会教育特講」に相当。)											
学修到達目標											
1 県内各地で営まれている地域文化運動について学ぶ。 2 地域文化運動と人の育ちや、地域のつながりについて理解する。											
授業の進め方											
1 実際に営まれている地域文化の取組の実際を座学、ゲストティーチャーによる講義、フィールドワークで学ぶ。 2 上記の学びを振り返り、地域文化が有する価値について、人の育ちや地域のつながりづくりを中心に考察する。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	地域文化入門	県内各地で営まれている無形文化や文化運動についていくつかの事例を紹介しながら、本講座の概要と進め方について講義します。					事前学習：出身地域の文化活動について、調べておく。(4時間)				
2	伝統的な地域文化の取組から学ぶ	大鹿村に伝わる「大鹿歌舞伎」の伝承活動が、人や地域にとってどのような影響を持っているのか、ゲストティーチャーから話を聞く。					事後学習：大鹿歌舞伎について、自分なりに調べてみる。(4時間)				
3	伝統的な地域文化の取組から学ぶ	大鹿歌舞伎の取組について、ゲストティーチャーの話を受けて振り返る。					事後学習：大鹿歌舞伎と人や地域のつながりについて振り返る。(4時間)				
4	伝統的な地域文化の取組から学ぶ	飯田市遠山郷に伝わる「霜月祭り」の伝承活動が、人や地域にとってどのような影響を持っているのか、ゲストティーチャーから話を聞く。					事後学習：霜月祭について、自分なりに調べてみる。(4時間)				
5	伝統的な地域文化の取組から学ぶ	霜月祭の取組について、ゲストティーチャーの話を受けて振り返る。					事後学習：霜月祭と人や地域のつながりについて振り返る。(4時間)				
6	新たな地域文化の取組から学ぶ	いいだ人形劇フェスタの取組が、人や地域にとってどのような影響を持っているのか、講義をします。					事後学習：いいだ人形劇フェスタについて、自分なりに調べてみる。(4時間)				
7	新たな地域文化の取組から学ぶ	いいだ人形劇フェスタの取組について、講義を受けて振り返る。確認テストを実施し、添削後、返却します。					事後学習：いいだ人形劇フェスタと人や地域のつながりについて調べてみる。(4時間)				
8	フィールドワーク	いいだ人形劇フェスタに参加する。					事前学習：いいだ人形劇フェスタのプログラムを調べ、自らスケジュールを組む。(4時間)				
9	フィールドワーク	大鹿歌舞伎を鑑賞する。					事前学習：大鹿歌舞伎で演じられる外題の内容について自分なりに調べておく。(4時間)				
10	フィールドワーク	霜月祭を鑑賞する。					事前学習：霜月祭の日程や内容について調べておく。(4時間)				
11	地域文化と人の育ち	3つの地域文化活動を通して、人の育ちについて考える。					事前学習：実際に学んだ地域文化運動と人の育ちについて自分なりにまとめておく。(4時間)				
12	地域文化と地域コミュニティ	3つの地域文化活動を通して、地域コミュニティについて考える。					事前学習：地域文化運動と地域コミュニティのつながりについてまとめておく。(4時間)				
13	私にとっての地域文化	学生自身が住まう地域で営まれる地域文化活動について報告し、自分事化してみる。					事前学習：自分自身が住まう地域における文化活動について調査し、報告資料を作成する。(4時間)				
14	私にとっての地域文化	学生自身が住まう地域で営まれる地域文化運動について報告し、自分事化してみる。					事前学習：自分自身が住まう地域における文化活動について調査し、報告資料を作成する。(4時間)				
15	まとめ	1年間の講座を振り返り、地域文化と人の育ち、地域コミュニティのつながりについて考える。					事前学習：自分自身が住まう地域における文化活動について調査し、報告資料を作成する。(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「文化協同の時代：文化的享受の復権」佐藤一子著(青木書店) ISBN:4250890325(別途、指示します。)					課題：30% レポート：70% S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢を持って課題に取り組むことができている。A：事業内容を理解し、積極的な探求姿勢を持って課題に取り組むことができている。B：授業のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。C：授業内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「地域文化が若者を育てる：民俗・芸能・食文化のまちづくり」佐藤一子著(農山漁村文化協会) ISBN:4540161148 別途指示します					県内で営まれている豊かな地域文化に触れ、感じた上で、地域文化の果たす役割について感がましよう。						

科目名	地域振興論			学年学期	2年前期	単位数	2	ナパリング	TB26041	研究室	W-34
担当者	白戸 洋			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	金曜日3限		
関連資格	社会教育士					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
<p>本講義では、地域振興全般の課題を検討するとともに、特に都市地域の地域振興の現状及び課題を明らかにして今後の地域振興のあり方について考える。講義ではまず地域振興の理論について整理と地域の人口問題について検討を行なう。その上で都市地域の地域振興の現状と課題について明らかにし、実際の松本市街地の地域振興をフィールドワークを通じて学ぶ。これらを踏まえて今後の地域振興の軸として期待される循環型経済システムについて学ぶ。(社会教育主事養成課程における法令上の科目名は「社会教育特講」に相当)</p>											
学修到達目標											
1)地域振興の理論および人口問題について理解する、2)都市の地域振興について現状と課題について明らかにし、将来のあり方について自分なりのビジョンを持つ、3)循環型経済について理解した上で今後の地域振興について考える											
授業の進め方											
講義では、理論を学習するとともに、具体的な実践などを事例として紹介する。学生が主体者意識を持つように、グループワークを取り入れる。より深く理解するために、地域振興など実際に取り組みに参加する機会をつくる。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	地域振興の理論的系譜	これまでの地域振興に関する主な理論について学ぶ					事後学習：プリントのふりかえり(4時間)				
2	地域振興の理論的系譜	地域振興に関わる今日的課題について学ぶ					事後学習：プリントのふりかえり(4時間)				
3	地域の人口問題	人口のこれまで推移と今後の予測について学ぶ					事後学習：プリントのふりかえり(4時間)				
4	地域の人口問題	地域振興と人口問題～「消滅可能性都市」から考える課題					事後学習：プリントのふりかえり(4時間)				
5	地域の人口問題	地域人口分析による人口将来予測および地域人口ビジョンの取り組みについて学ぶ					事後学習：プリントのふりかえり(4時間)				
6	都市における地域振興	都市における地域振興のこれまでの経緯について学ぶ					事後学習：プリントのふりかえり(4時間)				
7	都市における地域振興	都市における地域振興の現状と課題について学ぶ。確認テストを実施し、添削後、返却します。					事後学習：プリントのふりかえり(4時間)				
8	都市における地域振興	今後の都市における地域振興のあり方について考える					事後学習：プリントのふりかえり(4時間)				
9	フィールドワーク	都市における地域振興をテーマに松本市街地においてフィールドワークを行なうために松本市街地の課題についてグループワークによって整理する					事後学習：グループワークののふりかえりとレポートの作成(4時間)				
10	フィールドワーク	都市における地域振興をテーマに松本市街地においてフィールドワークを行なう					事後学習：フィールドワークの調査レポートの作成(4時間)				
11	フィールドワーク	フィールドワークの結果をグループワークによってまとめる					事後学習：グループワークののふりかえりとレポートの作成(4時間)				
12	循環型経済システムを考える	地域経済循環の理論を学ぶとともにその分析手法について学ぶ					事後学習：プリントのふりかえり(4時間)				
13	循環型経済システムを考える	食、エネルギー、消費などのテーマについて地域循環の観点から課題を明らかにする					事後学習：プリントのふりかえり(4時間)				
14	循環型経済システムを考える	地域経済循環システムについて今後のあり方を考える					事後学習：プリントのふりかえりとレポートの作成(4時間)				
15	まとめ	講義の内容全体に関するまとめとグループディスカッション					事後学習：プリントのふりかえりとレポートの作成(4時間)				
テキスト						成績評価の方法・基準					
「地域人口ビジョンをつくる」藤山浩著藤山浩編(農文協) ISBN:978-4-540-17107-9(別途、指示します。)						レポート:30% 定期試験:30% 課題:40% S:授業内容を高度に理解し、創造力と探求姿勢を持って課題に取り組むことができる。A:授業内容を理解し、積極的な探求姿勢を持って課題に取り組むことができる。B:授業のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。C:授業内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。					
参考書						履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「循環型経済をつくる」藤山浩著藤山浩編(農文協) ISBN:978-4-540-17108-6 別途指示します						地域振興 は地域振興 とあわせて履修する事が望ましい					

科目名	地域資源論		学年学期	2年前期	単位数	2	ナパリング	TB26042	研究室	非常勤
担当者	勝亦 達夫		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
<p>持続可能な地域をつくるには、地域の評価として「住みたい、暮らしたい」というイメージやブランドの構築は欠かせないものとなっています。地域を維持していくためには、自然、歴史、文化、習慣など地域にあるさまざまな「要素(資源)」の把握が重要であると同時に、それを繋げる人々の活動である「仕組み(システム)」の構築や再生が求められています。本講義ではこの2つの視点から地域を読み解き、先進事例などを交えながら、次なる地域資源の価値創造に必要な思想や手法を学びます。</p>										
学修到達目標										
<p>1. 地域活性に必要な情報を適正に収集し、分析して自分の考えを説明できるようになる。 2. 地域の特性を活かしたまちづくりや地域づくりについて情報を周囲と共有し、新たな提案ができるようになる。</p>										
授業の進め方										
<p>本講義では、地域事例を学びながら、グループワークやディスカッションを通じて自分の言葉で物事を説明する力を養います。その成果を確認する場として、実際の地域の方々との討論やフィールドワークを実施する予定です。</p>										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	地域資源とは何か	本講義における概要、学習目標、講義の進め方、評価の仕方についての説明をします。また地域資源となる地域の要素とは何かについての解説も行います。					講義で配布したプリントを復習し課題を実施すること(4時間)			
2	地域課題の把握と町の活性化～統計調査	調査によって課題を把握し地域資源の価値を高める活動について解説します。					事前課題: アンケート統計事例について調べる。事後課題を実施(授業内で配布)。			
3	地域の構成要素と仕組み～町並と建築(景観)	景観形成の活動から町並が整備され、地域のブランド力を高めた事例について学びます。					事前課題: 町並と建築のモデル事例について調べる。事後課題を実施(授業内で配布)。			
4	地域の構成要素と仕組み～食(特産物)	食を活かしたまちづくりによって、地域のブランド力を高めた事例について学びます。					事前課題: 食のブランドについてモデル事例を調べる。事後課題を実施(授業内で配布)。			
5	地域の構成要素と仕組み～暮らし(生活と祭・アート)	暮らしの中で行われる祭や生活の風景によって地域のブランド力を高めた事例について学びます。					事前課題: 生活と祭を活かした事例について調べる。事後課題を実施(授業内で配布)。			
6	地域活性事例の調査～歴史を知る、町を知る(空き家と広場)	自分が住んでいる町も歴史という視点で見ると見え方が変わります。そのための資料収集・分析について学びます。					事前課題: 昔の町の姿について調べる。事後課題を実施(授業内で配布)。			
7	地域活性事例の調査～画像と記憶	地域を把握するために欠かせない人の「記憶」について学びます。画像を使い人の記録に残す方法について説明します。					事前課題: インタビューの手法について調べる。事後課題を実施(授業内で配布)。			
8	地域のブランディング～インタビューから地域の資源を探る	地域での活動には、現地の方々との対話は欠かせません。質問と対応の練習を通して、ヒアリングの方法を学びます。					事前課題: 長野県の市町村について調べる。事後課題を実施(授業内で配布)。			
9	コミュニケーション・スキル～地域をつくる力	地域えをつくっていくために欠かせないコミュニケーションスキルとして「対話」について学びます。					事前課題: ワークショップの手法について調べる。事後課題を実施(授業内で配布)。			
10	グループワーク 地域活性の基礎的手法: 体験ワークショップ	体験ワークショップの方法を学び、グループに分かれ実践します。					事前課題: ブレインストーミングの手法について調べる。事後課題を実施(授業内で配布)。			
11	グループワーク 地域活性の基礎的手法: 課題の設定・アイデアを形にする方法	自分で課題を設定し、アイデアを整理して形にする方法をグループに分かれ実践します。					授業内で配布する事前課題(授業内で使います)、復習のための事後課題を提出。			
12	グループワーク 地域活性の基礎的手法: プレゼンテーション	自分のアイデアを相手に伝えるためのプレゼンテーションの基礎について学びます。					事前課題: プレゼンテーションの手法について調べる。事後課題を実施(授業内で配布)。			
13	地域資源を活かす提案グループ作業、発表準備	発表に向けてグループで準備作業をします。					授業内で配布する事前課題(授業内で使います)、復習のための事後課題を提出。			
14	地域資源を活かす提案発表(前半)	地域資源の構築に向けた具体的提案について発表します(前半)。					発表用の資料を完成する。期日までに課題レポートを提出。			
15	地域資源を活かす提案発表(後半)	地域ブランドの構築に向けた具体的提案について発表します(後半)。授業のまとめをします。					発表用の資料を完成する。期日までに課題レポートを提出。			
テキスト					成績評価の方法・基準					
毎回、講師からプリントまたは資料を配布します。					<p>出席レポート: 60% 課題: 40%</p> <p>S: 授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組むことができる。A: 授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって課題に取り組むことができる。B: 授業のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。C: 授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。</p>					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「小布施まちづくりの奇跡」川向正人著(新潮社) ISBN: 4106103540					<p>授業時間とは別に地域を知るためのフィールドワークや提案を発表する場(住民や企業へのプレゼンなど)を設定する予定です。そのための時間は授業とは別に設定されるので、予め想定しておいてください。</p>					

科目名	地域の行財政			学年学期	2年前期	単位数	2	ナバリング	TB26043	研究室	非常勤
担当者	矢久保 学			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格	社会教育士、中一(社会)、高一(公民)					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
憲法で保障された地方自治の実現に向けた、地方自治体の組織体制、計画立案、税・財政、議会・条例制定、まちづくりや地域福祉の政策推進等の地域行政の基本的な仕組みを理解します。また、日常生活圏における現実的な地域課題や市民ニーズに対する地域行政の責任・役割について学び、住民自治の視点からこれからの住民と行政の協同について考えていきます。(社会教育主事養成課程における法令上の科目名は「社会教育特講」に相当。)											
学修到達目標											
1 地方自治制度や地方自治体の基本的な仕組みについて理解します。 2 地域課題・市民ニーズの把握と地域行政の責任・役割について住民自治の視点から考えていく力を会得します。 3 地方自治体の政策について自分なりの意見を持てる知識と技能を習得します。											
授業の進め方											
各回のテーマごとに総論と具体的な資料を活用して松本市の事例について講義し、地域行政に対する基本的な理解を深めます。授業では常に住民自治と地域課題を意識し、行政と住民の役割・協同のあり方を考えていきます。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	地域課題と市民ニーズ	安全で安心していきいきと地域で暮らしていくために何が必要か考え、住民自治と地方自治体の役割について考えます。					事前学習：地域の日常生活で困ったことや課題は何かについてまとめておく。				
2	地方自治・地方分権	憲法で保障された地方自治を実現する仕組み、地方自治と国の関係、広域行政等について理解し、具体的な松本市の組織体制について学びます。					事後学習：地方自治制度の大枠について調べる。(4時間)				
3	自治体の組織と役割 災・福祉	防	松本市を事例として組織体制や各部局の政策と具体的な取り組みについて学びます。 は、防災・福祉をテーマとします。				事後学習：授業を振り返り、様々な自治体の防災・福祉の具体事例について調べます。(4時間)				
4	自治体の組織と役割 済・産業	経	松本市を事例として組織体制や各部局の政策と具体的な取り組みについて学びます。 は、経済・産業をテーマとします。				事後学習：授業を振り返り、様々な自治体の経済・産業の具体事例について調べる。(4時間)				
5	自治体の組織と役割 設・まちづくり	建	松本市を事例として組織体制や各部局の政策と具体的な取り組みについて学びます。 は、建設・まちづくりをテーマとします。				事後学習：授業を振り返り、様々な自治体の建設・まちづくりの具体事例について調べます。(4時間)				
6	自治体の組織と役割 育・文化	教	松本市を事例として組織体制や各部局の政策と具体的な取り組みについて学びます。 は、教育・文化をテーマとします。				事後学習：授業を振り返り、様々な自治体の教育・文化の具体事例について調べる。(4時間)				
7	自治体の政策体系と計画行政	松本市の基本構想・基本計画をベースに、政策立案のプロセス、計画の立案、計画の進め方について学びます。確認テストを実施し、添削後、返却します。					事後学習：様々な自治体の総合計画について調べる。(4時間)				
8	自治体の政策体系と計画行政	具体的な松本市の重点政策を学び、中核市への移行、電子自治体化、地域づくり等の政策課題について考えます。					事後学習：自治体の新たな政策課題について考える。(4時間)				
9	自治体の財政と予算	税の意義と役割、地方交付税・補助金制度、地方財政の仕組み、予算編成のプロセス等について学び、税の負担と公平について考えます。					事後学習：様々な自治体の予算を見て特色を調べる。(4時間)				
10	自治体の財政と予算	具体的な松本市の予算編成のプロセス、監査、決算カードによる財政状況について学び、合理化や公共施設の配置等について考えます。					事後学習：様々な自治体の決算カードを比較し、財政状況を調べる。(4時間)				
11	地方議会	議会の権限、仕組みと運営、具体的な松本市議会の一般質問と答弁について学び、議会の役割について考えます。					事後学習：議会では具体的にどんな質問がされているのか調べる。(4時間)				
12	行政職員	ますます増大していく地域課題の解決や行政ニーズに対して、行政職員の役割やあり方を考えます。					事後学習：地域課題と行政職員の役割について調べる。(4時間)				
13	住民自治と協同	基礎自治体の広域化に伴い、日常生活圏での自治活動と行政との協同がさらに重要となっていることを学びます。また、住民意見の傾聴、広報について学び、住民意見を反映する方策について考えます。					事後学習：町会等の自治会組織の活動や行政との多様な協同の実践について調べる。(4時間)				
14	まとめ	今後さらに松本市の行政に求められる具体的なこと、解決が求められる具体的な地域課題は何か、そして住民との協同のあり方について、それぞれのレポート発表を基に考え合う。					事前学習：行政に求められること、住民と行政との協同についてまとめ、発表準備を行う。(4時間)				
15	まとめ	住民から頼りにされる自治体職員について、それぞれのレポート発表を基に考え合う。					事前学習：住民から頼りにされる自治体職員とはどんな職員かまとめ、発表準備を行う。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準							
別途指示します。				課題：40% レポート：60% S：授業内容を高度に理解し、創造力と探求姿勢を持って課題に取り組むことができている。A：授業内容を理解し、積極的な探求姿勢を持って課題に取り組むことができている。B：授業のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。C：授業内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。							
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「これからの地方自治の教科書」大森彌 大杉寛著(第一法規株式会社) ISBN: ISBN978-4-474-06950-3 生協で購入してください				サービス提供型の行政は限界を迎え、住民自治の観点から多様な主体と協同していくことがこれから重要となります。現在の地方行政についての基礎を学びつつ、次の時代に求められる行政のあり方について考えていきましょう。							

科目名	行政法		学年学期	2年後期	単位数	2	ナバ`リン`	KL26058 TB26044	研究室	非常勤
担当者	松田 清		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスアワ-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
		総 観								
授業概要										
この講義では行政法の基本的な知識を得るための概説を行います。入門レベルのテキストを理解して、その後により大部な教科書や判例集を読む際に役に立つように講義を位置づけています。併せて説得力、理解力を高めるための国語力=論理的思考力を高める訓練も行います。										
学修到達目標										
行政法の基本的知識を習得し、行政や政策を理解する法的枠組みを通して行政の活動や政策について理解できる。										
授業の進め方										
指定テキストを使用し、適宜プリント等を配布します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	イントロダクション	ガイダンス、行政法とは何か					第1章を読む(4時間)			
2	行政法総論	行政行為					第1章を読む(4時間)			
3	行政法総論	行政機関とは					第1章を読む(4時間)			
4	行政法総論	行政行為					第1章を読む(4時間)			
5	行政事件訴訟法	取消訴訟					第2章を読む(4時間)			
6	行政事件訴訟法	当事者訴訟					第2章を読む(4時間)			
7	国家賠償と補償	正当な補償、国家賠償法					第3章を読む(4時間)			
8	国家賠償と補償	公権力の行使					第3章を読む(4時間)			
9	行政不服審査法	行政上の不服申立て					第4章を読む(4時間)			
10	行政不服審査法	審理の手続き					第4章を読む(4時間)			
11	行政不服審査法	不服申立					第4章を読む(4時間)			
12	行政手続法	処分					第5章を読む(4時間)			
13	行政手続法	行政指導					第5章を読む(4時間)			
14	情報公開法	方法、制度					第6章を読む(4時間)			
15	まとめ	行政法の全体像					講義内容の振り返り(4時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
「なるほど行政法」山本浩司著(中央経済社) ISBN:978-4-502-98700-7 (生協で購入してください。)					定期試験:90% 出席レポート:10% S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって海内に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「なし」					行政法を理解する前提として、法学、日本国憲法、契約法、地域行政、地方自治の講義は履修しておいてください。それらの知識なしにいきなり行政法の講義を理解するのは大変困難です。					

科目名	地域振興論			学年学期	2年後期	単位数	2	ナパリング	TB26045	研究室	W-13
担当者	中澤 朋代			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日3限		
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
地域振興 に続き、農山村を主な対象に具体的な課題と対策に向けて、農山村の歴史と政策、コミュニティと暮らし、産業開発の各視点を学び、地場産業開発や地方行政に何が必要か考えます。											
学修到達目標											
地域振興(農山村)のこれまでの背景と現在の課題について理解し、経済振興に留まらず、地場産業としての農業と食、コミュニティの再構築、新産業の開発について、自らの意見を文章で表現できる。											
授業の進め方											
講義はパワーポイントや映像を使いながら行います。また、知識だけでなく理解を深めるためにアウトキャンパススタディによる実習と双方向の議論を組み合わせ、双方によるフィードバックの機会を設定します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	ガイダンス「授業の目的と目標」	授業の進め方、本授業で取り扱う課題について解説します。					配布資料をもとに、食と農の課題について調べ、ノートにまとめる。(4時間)				
2	農村社会1「農村たたみ論・消滅論」	農村の現状と課題についてデータをもとに考察します。					アウトキャンパススタディでの気づきと感想を小レポートとしてまとめる。(4時間)				
3	農村社会2 農業(稲作の体験・アウトキャンパススタディ)	稲刈り・脱穀作業の体験、および稲作文化について実体験から学びます。					稲作について履を調べ、授業の後に考えをノートにまとめる(4時間)				
4	農村社会3 農村の暮らし	稲作を中心としたむかしの暮らし(DVD)を視聴し、その価値と現代の課題について学びます。					事前に出されるテーマについて調べ、授業の後にそれに絡めてノートにまとめる(4時間)				
5	農村社会4 農業(畜産)	畜産生産の現場と消費者の意識から、畜産について学びます。					資料の復習、身近な生産現場の確認(4時間)				
6	農村社会5 農村の暮らし(訪問・アウトキャンパススタディ)	農家に出向き、生育した野菜と肉の調理の全過程の実習から、命を食べることについて実感します。2限にわたって実施します。					体験を通じての感想をレポートにまとめる(4時間)				
7	農村社会6 農村の暮らし(ふりかえり)	前回の実習でどのようなことに気づいたか、参加者同士のワークショップにより深めます。					ディスカッションとそれによる気づきの内容をノートにまとめる(4時間)				
8	農村社会7 農村政策	農村社会におけるこれまでの政策の歴史を学びます。					授業の内容を自分の考えと照らし合わせてノートにまとめる(4時間)				
9	田園回帰1「移住と定住」	移住の事例と、新たな取り組みやライフスタイルについて学びます。					事前に事例を調べ、授業の内容を自分の考えと照らし合わせてノートにまとめる(4時間)				
10	田園回帰2「新たなライフスタイルと地域人口」	生産を身近に置いた新しいライフスタイルの波及と、地域人口増加に向けた方策について学びます。					新たなライフスタイルを調べ、授業の内容を自分の考えと照らし合わせてノートにまとめる(4時間)				
11	田園回帰3「暮らしと地域経済」	地域の地場産業を身近に感じて暮らす地域産業のあり方と可能性について学びます。					地場産業を調べ、授業の内容を自分の考えと照らし合わせてノートにまとめる(4時間)				
12	農村社会8「地域行事と伝統食」	年末年始を例とした地域に残る伝統的な行事食や文化について学び、その意味、現代における価値について考えます					1年の行事食について調べ、授業後に関連する内容とともにのーとにまとめる(4時間)				
13	田園回帰4「新たな農村社会システム」	ゆるやかな人口保持と経済成長に向けた新たな農村社会システムの在り方について学びます。					授業の内容と自分の考えを、授業後に関連してノートにまとめる(4時間)				
14	田園回帰5「つながりとコミュニティ」	つながりとコミュニティ、農村と都市との共生による地域づくりについて学びます。					終了後の感想をレポートにまとめる(4時間)				
15	まとめ「農村社会の課題と展望」	食材と農業は地場産業として地域と深く関連していること、その課題と展望について学びます。					出題されたテーマで最終レポートをまとめる(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
講義にて各回のテキストを配布します。					受講態度:30% レポート:50% 課題:20% S・A:授業の内容を自己学習を含め深く理解し、課題と複数の対応策をあげ、テーマを関連づけながら明確に述べる事ができる。B:授業の内容を理解し、課題と対応策についていくつかが述べる事ができる。C:授業の7割の内容を理解し、課題と対応策について述べる事ができる。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「田園回帰 田園回帰1%戦略 地元の人と仕事を取り戻す」藤山浩著(農文教) ISBN:978-4-540-14243-7					アウトキャンパススタディの前にはスケジュールと持ち物を確認すること。【実務経験のある教員が担当】自然体験活動の法人に勤務し、農業体験受入れ業務に携わった。						

科目名	地域マーケティング		学年学期	2年後期	単位数	2	ナバリング	TB26046	研究室	非常勤	
担当者	船木 成記		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスアワ				
関連資格					履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
			A	B	C						
授業概要											
マーケティングの諸要素(ブランド及びブランディング、リサーチ、プランニング、コミュニケーション等)の理解を前提とし、ソーシャル・マーケティングの概念を理解すること、地域マーケティングにおいて代表される二つのアプローチ(地域や地域資源をマーケティングの対象とする、マーケティングアプローチを地域に適応する)の違いを理解し、使い分けることができることを目指して学習します。											
学修到達目標											
マーケティングは商品やサービスの提供者にとっての操作型スキルではないという理解獲得と、対象となる地域への、具体的なマーケティング事業計画を立案するために必要な基礎知識を獲得すること、の2つを学修到達目標とします。											
授業の進め方											
講義(ゲスト講師含む)、フィールドワーク、及びグループワークの適宜組み合わせによって授業を進めていきます。学修成果はフィードバックをします。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	オリエンテーション	講座の狙いと目的、及び基本的な言葉の定義について説明をします。					講義の狙いと目的、言葉の定義について確認をすること(4時間)				
2	マーケティング概論1	マーケティングを構成する要素、及び基本概念の理解をはかることとします。					マーケティングの基本要素と概念の復習をすること(4時間)				
3	マーケティング概論2	マーケティングの適応領域の理解をはかることとします。					マーケティングの適応領域について復習をすること(4時間)				
4	マーケティング概論3	マーケティングテクノロジー(リサーチ、ファシリテーション等)の基本的な理解をはかることとします。					マーケティングテクノロジーについて復習をすること(4時間)				
5	ソーシャルマーケティングとは何か	ソーシャルマーケティング概念の理解をはかることとします。					ソーシャルマーケティングの概念について復習をすること(4時間)				
6	地域をマーケティングするとはどういうことか	地域をマーケティングすることの二つの視点の理解をはかることとします。					講義で取り上げる2つの視点について復習をすること(4時間)				
7	地域ブランド論	地域をブランド化するというのと、地域資源をブランド化することの理解をはかることとします。					地域ブランドに関して復習をすること(4時間)				
8	地域課題の捉え方	課題解決アプローチとビジョンアプローチの理解をはかることとします。					地域課題の捉え方について復習をすること(4時間)				
9	事例研究1	地域マーケティングの事例研究を行います。					地域マーケティングの事例研究に取り組んでくること(4時間)				
10	事例研究2	地域マーケティングの事例研究を行います。					地域マーケティングの事例研究に取り組んでくること(5時間)				
11	事例研究3	地域マーケティングの事例研究を行います。					地域マーケティングの事例研究に取り組んでくること(6時間)				
12	フィールドワーク1	松本地域へのフィールドワークの設計を行います。					フィールドワークの設計を終わらせること(4時間)				
13	フィールドワーク2	実際にフィールドへ出ます。					フィールドワークの結果をまとめておくこと(4時間)				
14	グループワーク	フィールドワークのまとめと発表を行います。					フィールドワークの発表ができるようにしてくること(4時間)				
15	総括	全体の振り返りを行います。					講義を振り返り、今後に学びをどう活かすかを考えること(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準							
講義中に指示をします。				レポート:50% 受講態度:50% S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組むことができる。A:授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって課題に取り組むことができる。B:授業のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。							
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)							
講義中に指示をします。				必須の持ち物は、地域への好奇心							

科目名	地域政策論		学年学期	2年後期	単位数	2	ナバ`リソグ	TB26047	研究室	W-25
担当者	尻無浜 博幸		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスア-	水曜日1限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
			A	B	C					
授業概要										
本講義の目的は、地域行財政の実施体制(国と地方公共団体の役割、その関係性、財源、組織)を含む、また計画行政の意義や目的、主体、方法について学びます										
学修到達目標										
一通りの学びが確立した上で地域社会における政策の意味を論じ得ることができるようになることです。その際、政策の分野は限定しません。										
授業の進め方										
地域行財政と地域計画の基礎的な理論や方法を学びます。市町村の実際の政策展開に触れ、調べたものについては添削してその都度フィードバックします。調査の結果、地域福祉計画の作成を試みる場合もあります。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス	地域行財政と行政計画の概要、地域行政と国の役割について詳述します				事前にテキスト第1章熟読、事後にテキスト第1章復習(事前2時間 事後2時間)				
2	地域行政と地方公共団体の役割	それぞれの役割について詳述します				事前にテキスト第2章熟読、事後にテキスト第2章復習(事前2時間 事後2時間)				
3	国と地方公共団体との関係	中央集権と地方分権の変遷と現状について詳述します				事前にテキスト第3章熟読、事後にテキスト第3章復習(事前2時間 事後2時間)				
4	地域の財源	財源の実際と社会保障制度等の財源の実際について詳述します				事前にテキスト第4章熟読、事後にテキスト第4章復習(事前2時間 事後2時間)				
5	地域行政の組織	行政組織の実態について詳述します				事前にテキスト第5章熟読、事後にテキスト第5章復習(事前2時間 事後2時間)				
6	地域行政における専門性	専門職の種類と役割の実際について詳述します				事前にテキスト第5章熟読、事後にテキスト第5章復習(事前2時間 事後2時間)				
7	地域行財政の動向	実際の動向調査				事前にテキスト第6章熟読、事後にテキスト第6章復習(事前2時間 事後2時間)				
8	行政計画の意義と目的	行政計画の変遷について詳述します				事前にテキスト第7-8章熟読、事後にテキスト第7-8章復習(事前2時間 事後2時間)				
9	行財政と計画との関係	財政、行政、計画との関連性について詳述します				事前にテキスト第7-8章熟読、事後にテキスト第7-8章復習(事前2時間 事後2時間)				
10	地域政策の実際(1)	実際の地域政策展開の分析				事前に実際調査、事後に調査内容復習(事前3時間 事後2時間)				
11	地域政策の実際(2)	実際の地域政策展開の発表				事前に実際調査、事後に調査内容復習(事前3時間 事後3時間)				
12	地域政策の実際(3)	実際の地域政策展開の記録				事前に実際調査、事後に発表内容復習(事前2時間 事後3時間)				
13	地域政策の課題	地域政策の課題の整理と海外比較を行います				事前に課題整理、事後に修得内容復習(事前2時間 事後2時間)				
14	地域政策の発展	地域政策の展開の整理を行います				事前に内容整理、事後に修得内容復習(事前2時間 事後2時間)				
15	地域政策のまとめ	政策の意義についての振り返りを行います				事前にまとめ準備、事後に復習(事前2時間 事後2時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「社会福祉士シリーズ(10) 福祉行財政と福祉計画 第4版」(弘文堂) ISBN:978-4-335-61174-2(生協で購入してください。)				定期試験:50% レポート:30% 受講態度:20%						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
必要に応じその都度指示します				授業計画に該当する内容をテキストから予め探し、必ず熟読して充分事前準備をして授業に臨んで下さい						

科目名	日本経済史		学年学期	3・4年前期	単位数	2	ナバ'リング	KA36005 TB36048	研究室	W-22
担当者	木村 晴壽		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	月曜日1限、火曜日1限		
関連資格	中一(社会)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
		総 観								
授業概要										
日本の歴史を振り返ってみて、経済はどのように発展して現在に至っているのか、言葉を換えると、現代の日本経済はどういう積み重ねの結果としてあるのか。この問いに答えようとするのが、日本経済史です。現代の日本は、世界トップレベルの規模を持つ経済大国になっていますが、そこには「日本的」としか表現のしようがない経済構造があります。細かな現象にとらわれず、日本経済の歴史を大きな流れで把握しようとしたときに、理解できるはず。毎回、前回の内容をフィードバックします。										
学修到達目標										
今年度は、戦後日本の経済を中心に話を進めるので、日本が戦後の混乱を経て高度経済成長を経験し、いわゆる経済大国になった過程、およびその後の低成長期からバブル経済・不況期へと転換する流れを大づかみに理解することが目標となります。										
授業の進め方										
基本的には教員からの説明を主体とした講義形式で進めます。アウトキャンパス等は計画していません。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	講義全体の概要説明	ガイダンスと講義に向けての基礎知識の説明				事前にテキスト1頁を熟読すること(2時間)。事後、授業で指摘したキーワードを調べる(2時間)				
2	財閥解体	戦後GHQが主導した経済改革の柱である財閥解体を詳述する				テキスト2~3頁を熟読する(2時間)。事後、授業で指摘したキーワードを調べる(2時間)				
3	集中排除と逆コース	集中排除が、米本国の政策転換で挫折する過程を詳述する				テキスト3~6頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘したキーワードを調べる(2時間)。				
4	未曾有のインフレーション	戦争直後に日本が経験した驚異的なインフレとその原因を詳述する				テキスト6~8頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘したキーワードを調べる(2時間)。				
5	金融資本集団の形成	経済復興が金融機関を核に進み、企業集団が形成される過程を詳述する				テキスト8~11頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘したキーワードを調べる(2時間)。				
6	傾斜生産方式	経済復興の核と位置づけられた傾斜生産方式の内実を詳述する				テキスト11~13頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘したキーワードを調べる(2時間)。				
7	ドッジライン	インフレを沈静化させるための荒療治、ドッジラインを詳述する				テキスト13~14頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘したキーワードを調べる(2時間)。				
8	神武景気と高度経済成長	朝鮮戦争から高度経済成長へ、経済に弾みがつく過程を詳述する				テキスト15~19頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘したキーワードを調べる(2時間)。				
9	好不況の波と岩戸景気	世界的に類例のない高度経済成長の中味を詳述する				テキスト19~22頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘したキーワードを調べる(2時間)。				
10	いざなぎ景気と景気後退	最後の大型景気はいざなぎ景気とその後の経済原則について詳述する				テキスト22~25頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘したキーワードを調べる(2時間)。				
11	ニクソンショックとオイルショック	高度経済成長の終焉を決定づけた二つの経済激変について詳述する				テキスト25~28頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘したキーワードを調べる(2時間)。				
12	金融資本集団の形成	高度経済成長の過程で、どのように企業集団が形成されたかを詳述する				テキスト28~36頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘したキーワードを調べる(2時間)。				
13	バブル経済と金融界	バブル経済の全貌と、金融界の対応について詳述する				テキスト42~50頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘したキーワードを調べる(2時間)。				
14	日米経済摩擦	政治問題化した日米経済摩擦の経緯と大店法問題について詳述する				テキスト50~55頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘したキーワードを調べる(2時間)。				
15	総括	戦後日本の経済動向を総括する				テキスト全体を通読しておくこと(2時間)。事後、授業での総括を復習(2時間)。				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「日本経済史」木村晴壽著松本大学総合経営学部編(生協で購入してください。)				レポート:20% 定期試験:80% S:授業内容を十分に理解し、日本の経済発展について解説できる。A:授業内容を理解している。B:授業内容をおおよそ理解している。C:授業内容を6割程度理解している。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「日本経済史」石井寛治著(東京大学出版会) 「経済史入門」塩澤君夫・近藤哲生著(有斐閣新書)等				期末の試験は、かなり難易度を高く設定しているため、普段の講義で集中して理解しようとする姿勢が必要です。						

科目名	地域戦略論		学年学期	3・4年前期	単位数	2	ナバリング	TB36049	研究室	非常勤
担当者	船木 成記		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスアワ-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
<p>二年次に履修する「地域マーケティング論」の深化、拡張を目指した講座です。そこに暮らす住民と共に「地域」は作るものであるという前提に立ち、その地に暮らす人々の営みを通じ、当該地域のアイデンティティを探り、言語化し、共有することから、地域戦略が生まれるということを講義、及び事例やフィールドワークを通じて学習します。</p>										
学修到達目標										
<p>対象となる地域の未来のあるべき姿を地域住民と共に描き、その戦略の立案と実行するための計画策定に必要な基礎知識、リテラシーを獲得することを学修目標とします。</p>										
授業の進め方										
<p>講義(ゲスト講師含む)、フィールドワーク、及びグループワークの適宜組み合わせによって授業を進めます。学修成果はフィードバックします。</p>										
<p>授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。</p>										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	オリエンテーション	講座の狙いと目的の理解をはかります。					講座の狙いと目的を確認してること(4時間)			
2	地域戦略とは何か	政策目標や行政計画の理解をはかります。					政策目標や行政計画について復習してること(4時間)			
3	地域戦略の担い手は誰か	地域戦略の実現において、地域や住民の役割の理解をはかります。					地域や住民の役割について復習してること(4時間)			
4	地域とは何か	地域社会におけるステークホルダーの理解をはかります。					ステークホルダーについて復習してること(4時間)			
5	個人としての地域との関わり方とは	地域で暮らす個人としての当事者性の獲得の理解をはかります。					当事者性の獲得の意義について復習してること(4時間)			
6	競争戦略としての地域戦略とは	競争戦略的アプローチの理解をはかります。					競争戦略的アプローチについて復習してること(4時間)			
7	内発的アプローチとしての地域戦略とは	インナー・ブランディングアプローチの理解をはかります。					インナーブランディングアプローチについて復習をすること(4時間)			
8	事例1	松本市の戦略の事例分析を行います。					松本市の事例分析について復習をすること(4時間)			
9	事例2	尼崎市の戦略の事例分析を行います。					尼崎市の事例分析について復習をすること(4時間)			
10	事例3	飯田市の戦略の事例分析を行います。					飯田市の事例分析について復習をすること(4時間)			
11	事例4	長野県の戦略の事例分析を行います。					長野県の事例分析について復習をすること(4時間)			
12	演習1	グループワークによる戦略立案1を行います。					グループワークによる戦略立案について進めること(4時間)			
13	演習2	グループワークによる戦略立案2を行います。					グループワークによる戦略立案について進めること(5時間)			
14	演習3	グループワークによる戦略立案3を行います。					グループワークによる戦略立案について進めること(6時間)			
15	総括	まとめと振り返りを行います。					本講義を通して学んだことを振り返ること(4時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
講義中に指示をします。					<p>レポート:50% 受講態度:50%</p> <p>S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組むことができる。A:授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって課題に取り組むことができる。B:授業のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。</p>					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
講義中に指示をします。					持ち物は、自分が生まれ育った地域や暮らしている地域への興味関心。					

科目名	企業取引法		学年学期	3・4年前期	単位数	2	ナバリング	KA36006 TB36050	研究室	W-33
担当者	増尾 均		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日4限、木曜日2限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
		総 観								
授業概要										
<p>仕事に関する法律として商法があり、特にその中でも商法総則と商行為法に重点を置いて学んでもらいます。これらは、広い商法領域の中で商売に関係した規定が多く、最も基本の部分でもあり、特にビジネス・観光・福祉・地域など、あらゆる職種に密接に関わってくるものです。将来社会人になる上で必ず修得して欲しい法律です。</p>										
学修到達目標										
<p>商法総則と商行為法には企業人のみならず福祉や地域・観光にも関わってくる規定がたくさんあります。仕事に関する法律は、社会人として社会活動をする上で必要不可欠なことです。これらの知識を修得することによって、社会に貢献できるようになることを目的としています。</p>										
授業の進め方										
<p>将来必要となる商売に関する法律を学んでもらうことから、必要に応じて新聞記事などを取り、理解してもらいながら進めていきます。適宜、修得状況を確認する目的で小テストを行い、その結果を学生にフィードバックします。</p>										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	授業の進め方、商法の意義と商法総則と商行為法の位置づけを学ぶ				事前に商法の特徴を調べる。事後学修として、商法の領域を体系的にまとめる。(4時間)				
2	商人	商法の適用範囲・商人の概念・商行為概念・商人適格について学ぶ				事前学修として、商人について調べる。事後学修として、その法的規定についてまとめる。(4時間)				
3	営業の意義と態様	企業活動の中核とも言える営業に関する法律の規定				事前に、営利活動について調べる。事後学修として、授業内容を整理してまとめる。(4時間)				
4	商号	商号の意義・選定、商号の登記・譲渡、名板貸				事前学修として、商号の意義を学んでおく。事後学修として、商号の活用をまとめる。(4時間)				
5	商業使用人	商業使用人の種類と代理権との関係				事前に商業使用人について調べる。事後学修として、権限について理解する。(4時間)				
6	商業帳簿	商業帳簿の種類と意義および法的規制について				事前に商業帳簿の種類を調べる。授業後どのように規制されているかまとめる。(4時間)				
7	代理商	代理商の種類と役割				事前学修として、代理商とは何かを調べる。授業後、代理商の活用を理解する。(4時間)				
8	復習テスト	7回の授業の習熟度を理解してもらうため30分の小テストを行い、終了後詳細な解説をする。				事前に今までの復習を行う。事後学修として、理解が不十分であった所を改めて学ぶ。(4時間)				
9	商行為通則	商行為通則の全体像と位置づけ				事前学修として、商行為の内容を調べる。事後学修として、授業内容をまとめる。(4時間)				
10	商人間売買	商法の売買に関する規定の意義と民法の規定との関係				事前に商法の売買規定を調べる。事後学修として、商法と民法を比較してまとめる。(4時間)				
11	消費者保護	消費者保護法を構成する法律、およびクーリング・オフなどの重要規定				事前に消費者問題について調べる。事後学修として、特徴を法律ごとにまとめる。(4時間)				
12	仲立人	他人間の商行為の媒介することの意義と利用形態				事前に仲立人について調べる。事後学修として、利用形態をまとめる。(4時間)				
13	問屋	問屋と準問屋の意義と規定				事前学修として、利用例を調る。事後学修として、問屋の義務と権利を整理する。(4時間)				
14	その他の営業	物品運送契約・旅客運送契約・運送取扱営業・倉庫取引・場屋取引の特徴と意義				事前学修として、特徴を調べておく。事後学修として特徴と規定を関連づける。(4時間)				
15	保険	保険の意義と損害保険・生命保険の仕組み				事前に保険の種類を調べる。事後学修としてさまざまな規制を保険ごとにまとめる。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
<p>「新商法入門」國友順市・西尾幸夫ほか著國友順市・西尾幸夫編編(嵯峨野書院) ISBN:4782304455(生協で購入してください。) 「ポケット六法」井上正仁・能見善久ほか編(有斐閣) ISBN:9784641009158(生協で購入してください。)</p>				<p>定期試験:90% 出席レポート:10% Sは授業内容を高度に理解して課題や発展の問題が解ける。Aは授業内容を理解して応用問題や課題が解ける。Bは授業内容をおおよそ理解して応用問題や課題がほぼ解ける。Cは授業内容の6割程度を理解している。</p>						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
<p>「商法総則・商行為法」田村諱之輔・平出慶道著(青林書院)</p>				<p>社会人として必要となる法律を学ぶ以上、常に問題意識を持って授業に臨み、今後に役立ててください。講義計画に該当する内容をテキストから探し、読んでおいてください。</p>						

科目名	労働と法（総合経営学部）		学年学期	3・4年後期	単位数	2	ナバリング	KA36007 TL36051	研究室	W-33
担当者	増尾 均		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	月曜日3限、水曜日2限		
関連資格	中一(社会)、高一(公民)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）					
		A	B	C						
		総 観								
授業概要										
仕事に関する法律として労働法があり、これらは、将来社会人になる上で必ず修得して欲しい法律です。労働者としてどのような権利や義務があるのか等、実社会で働く際に役立てていただきたいと思ひます。										
学修到達目標										
本講義を受けることにより、労働上のトラブルに遭わないための予防策、および解決策を学び、労働についての正確な知識を学び、社会人として十分活躍できるようになることを目的とします。										
授業の進め方										
将来必要となる労働に関する法律を講義する。必要に応じて新聞記事などを配り、理解してもらいながら進めていきます。適宜、修得状況を確認する目的で小テストを行い、その結果を学生にフィードバックします。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	労働法とは何か	労働法の基本構造などを学んでもらいます。				事前学修として労働法とは何かを調べる。事後学修としてノートを整理してまとめる。（4時間）				
2	労働者と使用者とは誰か	労働者と使用者とは誰なのかを学んでもらいます。				事前に教科書の内容を整理する。授業後は労働者と使用者の特徴をまとめる。（4時間）				
3	労働法とマルチチュード	マルチチュード、ジェンダー、高齢者、障害者と労働法のかかわりについて説明する。				事前に教科書の内容を整理する。授業後はに各々の特徴をまとめる（4時間）				
4	労働契約の成立と労働条件決定のプロセス	労働契約の基本について説明します。				事前学修として契約の基本について調べる。講義後契約の内容をまとめる。（4時間）				
5	労働者と使用者の権利義務	労働者と使用者の権利義務の具体的内容について説明します。				事前学修として権利義務について調べる。事後学修として両者の関係をまとめる。（4時間）				
6	労働契約内容と個別的変更	人事制度と人事異動について説明します。				事前学修として人事について調べる。事後学修として制度をまとめる。（4時間）				
7	労働契約内容の集団的変更	労働協約、就業規則、企業組織再編等について説明する。				事前学修として調べてる。事後学修として各種規定を整理する。（4時間）				
8	労働契約の当事者の変動	企業の組織変動と労働契約について説明します。				事前に企業の組織変動について調べる。授業後には組織変動についてまとめる。（4時間）				
9	労働契約の終了	解雇、定年、自己都合による退職について学んでもらいます。				事前に各制度を調べる。事後学修として整理してまとめる。（4時間）				
10	賃金に関する規制	最低賃金、賞与、退職金について学んでもらいます。				事前学修として賃金とは何かを調べる。事後学修として各賃金の意義についてまとめる。（4時間）				
11	労働時間規制の基礎	労働時間について説明します。				労働時間の概念について事前に調べる。授業後に適正な労働時間についてまとめる。（4時間）				
12	労働時間規制の現在	フレックスタイム制、裁量労働制、休日、有給休暇等について説明する。				事前に各制度について調べる。事後学修として違いについてまとめる。（4時間）				
13	災害補償	労働災害と補償制度について学んでもらいます。				事前に労働災害について調べる。事後学修として補償制度についてまとめる。（4時間）				
14	団結権と不当労働行為救済制度	団結権の保障と不当労働行為救済制度の内容について説明します。				事前に団結権についてまとめる。授業後には救済制度について整理する。（4時間）				
15	団体交渉権・労働協約・争議権	団体交渉権・労働協約・争議権について説明します。				事前に各権利について調べる。授業後は相互のかかわりについてまとめる。（4時間）				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「労働法の基本」本久洋一・小宮文人編（法律文化社） ISBN:978-4-589-04007-7（生協で購入してください。） プリントを配布します。				定期試験：90% 出席レポート：10% 出席レポート：10% 定期試験：90% Sは授業内容を高度に理解して課題や発展的問題が解ける。Aは授業内容を理解して応用問題や課題が解ける。Bは授業内容をおおよそ理解して応用問題や課題がほぼ解ける。Cは授業内容の6割程度を理解している。						
参考書				履修上の注意（学生へのメッセージ）						
「労働法入門」水町勇一郎著（岩波新書） ISBN：9784004313298				将来必要となる法律を学ぶ以上、常に問題意識を持って授業に臨み、今後の大学生生活および社会生活に役立てて下さい。講義計画に該当する内容をテキストから探し、事前に読んでおいてください。						

科目名	地域経済論（観光）		学年学期	3・4年後期	単位数	2	ナパリング	TB36052	研究室	W-21
担当者	古川 智史		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日4限		
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）				
			A	B	C	2018年度～				
授業概要										
グローバル化や人口減少、少子高齢化など、地域経済を取り巻く環境は大きく変化しています。本講義では、まず地域経済を巡る現状を概観した上で、具体的な事例に基づいて地域経済の実態にアプローチします。そして、地域経済を巡る政策の展開を概観します。以上のステップを通じて、地域経済に対する理解を深めます。										
学修到達目標										
地域経済へのアプローチの仕方、そのための基礎的な概念を説明できる。 地域経済で起きている現象、課題を的確に捉えるとともに、より広域的な視点から位置づけることができる。										
授業の進め方										
レジュメをもとに講義を進めますが、グループワーク（数回）、エクスクーション（松本市内）を実施する予定です。受講者には、毎回コメントシートの提出を求めます。また第6・11回に小テストを実施し、採点・返却してフィードバックします。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	イントロダクション	地域経済の捉え方を概説するとともに、本講義の概要について説明します。				「地域」概念について整理する（4時間）				
2	地域経済へのアプローチ	いくつかの事例をもとに地域経済へのアプローチ方法について考えます。				地域経済へのアプローチについて整理する（4時間）				
3	地域経済を巡る現状	マクロ的な視点に立って地域経済の動向を把握します。				統計資料から「東京」のシェアを調べる。近年の地域経済の動向について整理する（4時間）				
4	大都市経済	東京の産業構造の変化、東京一極集中などを取り上げます。				東京の産業構造の変化などについて整理する（4時間）				
5	地方都市のいま	具体的な事例を取り上げながら、地方都市の産業構造の変化などについて理解を深めます。				事例をもとに、地方都市の産業構造の変化などについて整理する（4時間）				
6	モノづくりと地域経済（1）	製造業の立地調整と地域経済の関係などを取り上げます。				工場の新設・移転・閉鎖の事例を調べる。立地調整と地域経済の関係について整理する（4時間）				
7	モノづくりと地域経済（2）	グローバル化の中で産業集積地域がどのように変化してきたのか、具体的な事例をもとに理解を深めます。				「集積」概念を調べる。グローバル化と産業集積地域の変容について整理する（4時間）				
8	モノづくりと地域経済（3）	地場産業地域の実態について、事例を取り上げながら理解を深めます。				「地場産業」の事例を調べる。地場産業地域の変容について整理する（4時間）				
9	商業と地域経済（1）	地域経済における商業の動向、大型小売店舗の店舗展開などを取り上げます。				「大店法」、「大店立地法」を調べる。大型店の出店地域の変化を整理する（4時間）				
10	商業と地域経済（2）	商店街の衰退問題と活性化に向けた取り組みなどについて理解を深めます。				商店街の現状について調べる。商店街の活性化について考える（4時間）				
11	農業と地域経済（1）	農業のグローバル化と農産物産地の変容を取り上げます。				輸入農産物について調べる。国内産地の変容について整理する（4時間）				
12	農業の地域経済（2）	農村地域がどのように変化してきたのか、また近年の新たな動きについて取り上げます。				過疎地域について調べる。農村地域の変容についてまとめる（4時間）				
13	観光と地域経済	観光地域を取り上げ、その形成過程と現状について理解を深めます。				事例をもとに、観光地域の変容について整理する（4時間）				
14	地域経済と政策展開	日本における地域政策の展開などを概観します。				戦後日本の地域経済にかかる政策展開について整理する（4時間）				
15	総括	これまでの内容を振り返りながら、本講義を総括します。				配付資料および各自のノートをもとに復習すること（4時間）				
テキスト				成績評価の方法・基準						
毎回、資料を配付します。				受講態度：30％ 定期試験：70％ 「受講態度」では、調べ学習などの事前学習、コメントシートの提出状況およびその内容、小テストの結果を総合的に評価します。 S：積極的な探求心、批判的な思考力を持って課題に取り組み、授業内容を高度に理解している。A：積極的な探究姿勢を持って課題に取り組み、授業内容を十分に理解している。B：与えられた課題に誠実に取り組み、授業内容のおおよそを理解している。C：与えられた課題に取り組み、授業内容の60％程度を理解している。						
参考書				履修上の注意（学生へのメッセージ）						
講義中に適宜紹介します。				質問には、講義終了後やオフィスアワーで対応します。						

科目名	会社法		学年学期	3・4年後期	単位数	2	ナバリング	KA36009 TB36053	研究室	W-33
担当者	増尾 均		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスアワ	月曜日3限、水曜日2限		
関連資格	高一(商業)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
		総 観								
授業概要										
会社というものは、商売をする上で取引主体となるものです。それ故に法律は様々な条文を用いて厳格に規定しています。本講義では、株式会社を中心に会社法の骨組みを学んでいただきます。最初は会社の種類などの基本的な事を学んでもらい、次いで株式会社の株式や機関について、そして会社が設立されてから解散・清算に至るまでを講義します。										
学修到達目標										
本講義を受けることによって、将来自分が就職したい会社がどのように規定されているのかを理解し、地域社会の貢献および企業への貢献に寄与できるようになることを目的としている。										
授業の進め方										
本講義では教科書と六法を中心に講義室で行いますが、必要に応じて判例・新聞記事などの補助教材を随時使用します。適宜、修得状況を確認する目的で小テストを行い、その結果を学生にフィードバックします。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	授業の進め方、会社法の意義と商法上の位置づけ				事前に会社法とはどのような法律が調べる。講義後、位置づけを体系的にまとめる。(4時間)				
2	会社制度1	会社の法律上の意義として法人性・社団性・営利性				事前学修として、会社の意義について調べる。事後学修として、会社の特徴をまとめる。(4時間)				
3	会社制度2	株式会社・合名会社・合資会社・合同会社の特徴				事前学修として、会社の種類を調べる。事後学修として、違いについて比較検討する。(4時間)				
4	会社法総論	会社法の沿革と会社法総則として商号・商業使用人・営業・登記の規定				事前学修として、会社法の変遷を調べる。事後学修として、総則内の規定をまとめる。(4時間)				
5	株式会社の設立	株式会社の設立の仕方、定款の作成、設立の態様、設立についての責任				事前にどうしたら株式会社が作れるか調べる。講義後、手続きと諸規定をまとめる。(4時間)				
6	株主	株主の地位と権利、株主平等の原則				事前に株主とは何かを調べる。事後学修として、株主の諸権利についてまとめる。(4時間)				
7	株式	株式の意義、株式の種類、株式の消却・併合・分割・無償割当て				事前に株式の意義を調べる。事後学修として、個々の違いについて整理してまとめる。(4時間)				
8	復習テスト	7回の授業の習熟度を理解してもらうため30分の小テストを行い、終了後詳細な解説をする。				事前に今までの復習を再度行う。講義後、理解が不十分であった所を改めて学ぶ。(4時間)				
9	株式会社の機関1	株主総会の意義と役割				事前に株主総会の事例を調べる。講義後、株主総会の権限についてまとめる。(4時間)				
10	株式会社の機関2	取締役会・監査役・会計監査人などの機関の意義				事前に株式会社にある機関を調べる。事後学修としてそれぞれの機関の役割をまとめる。(4時間)				
11	新株の発行	新株の発行のプロセスと目的、そして法的規制				事前に、会社の資金調達方法を調べる。講義後、多様化するプロセスをまとめる。(4時間)				
12	株式会社の計算	株式会社の計算として、計算規定の目的、計算書類の内容と手続きの詳細				事前に計算書類の内容を調べる。事後学修として、プロセスと規定をまとめる。(4時間)				
13	組織の再編・変更1	組織の再編・変更である事業譲渡と合併の意義・種類・制限・手続きの概要				事前学修として、組織の再編・変更の種類を調べる。事後学修として、規定を整理する。(4時間)				
14	組織の再編・変更2	組織の再編・変更である会社分割・株式交換・組織変更の意義・種類・制限・手続きの概要				事前学修として各制度の基礎をまとめる。事後学修として、比較検討してまとめる。(4時間)				
15	解散・清算	倒産後の処理についてどのような種類があるか学ぶ				事前学修として、倒産とは何かを調べる。事後学修として、各種制度の違いをまとめる。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「会社法概論」國友順市ほか著國友順市編編(嵯峨野書院) ISBN:978-4-7823-0566-9(生協で購入してください。) 「ポケット六法」井上正仁・能見善久ほか編(有斐閣) ISBN:9784641009158(生協で購入してください。)				定期試験:90% 出席レポート:10% Sは授業内容を高度に理解して課題や発展の問題が解ける。Aは授業内容を理解して応用問題や課題が解ける。Bは授業内容をおおよそ理解して応用問題や課題がほぼ解ける。Cは授業内容の6割程度を理解している。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
なし				身近で利用頻度の高い法律を学ぶ以上、常に問題意識を持って授業に臨んでください。講義計画に該当する内容をテキストから探し、読んでおいてください。						

科目名	医学概論（医学入門）		学年学期	1年前期	単位数	2	ナバリング	TC16054	研究室	非常勤
担当者	金子 稔		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格	社会福祉士				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）					
		A	B	C						
授業概要										
高齢者や障害者の支援を適切に行うためには、医学に関する基本的な知識を持ち、疾病や障害について正しく理解している必要があります。本講義ではこれらの知識の習得と理解を目指し、健康のとらえ方、人の成長・発達と老化、身体構造と心身の機能、疾病や障害の概要、リハビリテーションと国際生活分類（ICF）の概要について学んでいきます。										
学修到達目標										
身体構造と心身の機能および様々な疾病や障害、リハビリテーションの概要や、ICFの基本的考え方と概要について学び、理解し、説明できるようになることが目標です。										
授業の進め方										
テキストや配付資料を基に座学での講義形式で進めます。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス 健康の概念と日本の現状、 取組み	授業概要、学習到達目標、授業の進め方、成績評価の方法、定期試験の出題形式について説明します。健康の概念と日本の現状、健康増進の取組みについて解説します。				テキスト第7章を事前に読む。健康の概念と取組みについて復習する。4時間				
2	人の成長・発達と老化	心身の成長・発達と老化について解説します。				テキスト第1章を事前に読む。人の成長・発達と老化、専門用語について復習する。4時間				
3	人体部位の名称 循環器系、泌尿器系の機能、 構造	人体部位の名称、循環器系、泌尿器系の機能や構造について解説します。				テキストP26～35を事前に読む。循環器系等各器官の機能、構造について復習する。4時間				
4	呼吸器系、消化器系、神経 系の機能、構造	呼吸器系、消化器系、神経系の機能や構造について解説します。				テキストP36～44を事前に読む。呼吸器系等各器官の機能、構造について復習する。4時間				
5	内分泌系、生殖器系、筋骨 格系、感覚器の機能、構造	内分泌系、生殖器系、筋骨格系、感覚器の機能や構造について解説します。				テキストP44～52を事前に読む。内分泌系等各器官の機能、構造について復習する。4時間				
6	生活習慣病、メタボリック 症候群、悪性新生物	生活習慣病、メタボリック症候群、悪性新生物について解説します。				テキストP54～60を事前に読む。取り扱った疾患、専門用語について復習する。4時間				
7	脳血管疾患、心疾患、高血 圧、糖尿病、内分泌疾患	脳血管疾患、心疾患、高血圧、糖尿病、内分泌疾患について解説します。				テキストP61～75を事前に読む。取り扱った疾患、専門用語について復習する。4時間				
8	呼吸器疾患、消化器疾患、 血液疾患、膠原病、腎泌尿 器疾患	呼吸器疾患、消化器疾患、血液疾患、膠原病、腎臓疾患、泌尿器系疾患について解説します。				テキストP76～94を事前に読む。取り扱った疾患、専門用語について復習する。4時間				
9	骨・関節疾患、目・耳の疾患 、感染症	骨・関節疾患、目・耳の疾患、感染症について解説します。				テキストP95～106を事前に読む。取り扱った疾患、専門用語について復習する。4時間				
10	神経疾患と難病、先天性疾 患	神経疾患と難病、先天性疾患について解説します。				テキストP107～116を事前に読む。取り扱った疾患、専門用語について復習する。4時間				
11	高齢者に多い疾患、終末期 医療と緩和ケア、障害の概 要（1）	高齢者に多い疾患、終末期医療と緩和ケア、視覚障害、聴覚障害について解説します。				テキストP117～136を事前に読む。取り扱った疾患、障害について復習する。4時間				
12	障害の概要（2）	平衡機能障害、肢体不自由、内部障害、知的障害、発達障害、認知症について解説します。				テキストP137～161を事前に読む。取り扱った障害、専門用語について復習する。4時間				
13	障害の概要（3）	高次脳機能障害、精神障害について解説します。				テキストP162～172を事前に読む。取り扱った障害、専門用語について復習する。4時間				
14	リハビリテーション、国際 生活機能分類（ICF）の概 要	リハビリテーションの概要（理念、対象）および国際生活機能分類（ICF）について解説します。				テキスト第5～6章を事前に読む。リハビリテーション、ICF、専門用語について復習する。				
15	医学知識分野における学習 ポイント	講義全体を通してのまとめをします。				14回までの授業で扱った問題を事前に見直す。まとめとして扱った問題を復習する。4時間				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「新・社会福祉士養成講座1 人体の構造と機能及び疾病 第3版」社会福祉士養成講座編集委員会編（中央法規） ISBN:978-4-8058-5100-5（生協で購入してください。）				出席レポート：15% 定期試験：85% 上記割合で点数を合計し、100～90点はS、89～80点はA、79～70点はB、69～60点はCとします。						
参考書				履修上の注意（学生へのメッセージ）						
「新・社会福祉士養成講座21 資料編 第10版」社会福祉士養成講座編集委員会編（中央法規） ISBN：978-4-8058-5811-0				人体の構造や機能、病気や治療について学ぶ機会となります。医学専門用語が頻出するため事前事後学修が必須となります。福祉や医療に興味を持って取り組んで下さい。質問は毎回受講票で受け付けます。						

科目名	医学概論 (公衆衛生学)		学年学期	1年後期	単位数	2	ナパ'リング	TC16055	研究室	非常勤
担当者	金子 稔		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格	社会福祉士			履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
社会福祉士の相談援助活動において、保健医療サービスや医療保険制度に関する知識が必要になります。また、保健医療サービスにおける他の専門職の役割や多職種間の協働についても知っておくことが大切です。本講義ではこれらの知識習得と理解を目指し、医療保険制度・診療報酬制度・医療施設・保健医療対策の概要、医療費に関する政策動向、さまざまな専門職の役割、各専門職や地域の社会資源との連携について学んでいきます。										
学修到達目標										
社会福祉士として活動する上で必要となる医療保険制度や保健医療サービス、保健医療サービスにおける専門職の役割と実際、多職種協働について学び、説明できるようになることが目標です。										
授業の進め方										
テキストや配付資料を基に座学での講義形式で進めます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス 保健医療と法制度の歴史	授業概要、学修到達目標、授業の進め方、成績評価の方法、定期試験の出題形式について説明します。保健医療と法制度の歴史について解説します。				テキスト第1章を事前に読む。授業内容の保健医療・福祉制度の変遷について復習する。4時間				
2	医療保険の法制度と現状・課題	医療保険の意義と機能、種類と制度の概要、医療費に関する政策動向、障害者や高齢者の医療保障の課題について解説します。				テキスト第2章を事前に読む。医療保険制度と医療保障の概要について復習する。4時間				
3	日本の診療報酬制度の概要と課題	日本の診療報酬制度の特徴、診療報酬単価と決定の仕組み、保険診療・保険外併用療養費・高額療養費制度について解説します。				テキスト第3章を事前に読む。診療報酬制度の概要について復習する。4時間				
4	健康政策の動向と現状	保健医療福祉政策の動向と、現在の「健康日本21」について解説します。				テキストP54～61を事前に読む。国民の健康づくり対策の概要について復習する。4時間				
5	高齢者の保健医療対策、生活習慣病予防と介護予防対策、地域ケアシステム	高齢者の保健医療福祉の現状と政策、生活習慣病の予防、介護予防対策、地域ケアシステムの概要について解説します。				テキストP62～78を事前に読む。高齢者の保健医療・介護予防対策の概要について復習する。4時間				
6	保健医療の専門・機能分化と連携	保健医療の専門分化、機能分化、地域における連携について解説します。				テキストP78～86を事前に読む。医療の専門分化、連携の概要について復習する。4時間				
7	保健医療福祉におけるコーディネート機能	保健医療福祉におけるコーディネート機能の意味、必要性、実際、構成要素、展開過程について解説します。				テキスト第5章を事前に読む。コーディネート機能の要素、働きについて復習する。4時間				
8	医師、薬剤師等各専門職の役割と機能分担	医師、薬剤師、看護職、リハビリテーション医療関連職種との役割と業務、養成の過程、現状と課題について解説します。				テキストP104～125を事前に読む。医師、薬剤師等の資格、役割について復習する。4時間				
9	医療ソーシャルワーカー等各専門職の役割と機能分担	心理士、医療ソーシャルワーカー等の専門職の役割と業務、現状と課題について解説します。				テキストP125～140を事前に読む。ソーシャルワーカー等の役割について復習する。4時間				
10	各専門職の機能と連携	チーム医療における各専門職の連携の実際や、地域における保健医療福祉の連携について解説します。				テキスト第7章を事前に読む。チーム医療の連携と地域展開について復習する。4時間				
11	非専門職との連携	インフォームドコンセントの概念、医師 患者関係の変化、患者・家族やボランティア等非専門職との連携について解説します。				テキスト第8章を事前に読む。患者の権利と非専門職の支援について復習する。4時間				
12	がん医療と医療福祉	がん医療・がん対策の動向と相談支援の必要性、緩和ケアについて解説します。				テキスト第9章を事前に読む。がん医療・がん対策について復習する。4時間				
13	慢性疾患・難病への対応と保健医療福祉	慢性疾患・難病の概要、患者と家族の状況、支援方法と保健医療福祉について解説します。				テキスト第10章を事前に読む。慢性疾患・難病への対応について復習する。4時間				
14	高齢者の主な疾患と保健医療福祉	高齢者にみられる疾患、障害と老年症候群の改善・予防、高齢者の状態評価、介護予防の取組みについて解説します。				テキスト第11章を事前に読む。高齢者の疾患、老年症候群の予防について復習する。4時間				
15	保健医療サービス分野における学習ポイント	講義全体を通してのまとめをします。				14回までの授業で扱った問題を事前に見直す。まとめとして扱った問題を復習する。4時間				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「社会福祉士シリーズ17 保健医療サービス 第4版」佐久間淳・幡山久美子編著 福祉臨床シリーズ編集委員会編(弘文堂) ISBN:978-4-335-61198-8 (生協で購入してください。)				出席レポート:15% 定期試験:85% 上記割合で点数を合計し、100～90点はS、89～80点はA、79～70点はB、69～60点はCとします。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「新・社会福祉士養成講座21 資料編 第10版」社会福祉士養成講座編集委員会編(中央法規) ISBN:978-4-8058-5811-0				皆さんが普段利用している医療の仕組みや法制度と、社会福祉士のコーディネーターとしての役割を知る機会となります。医療や福祉の仕事に興味を持って取り組んで下さい。質問は毎回受講票で受け付けます。						

科目名	社会福祉概論		学年学期	1年前期	単位数	2	ナバリング	TL16056	研究室	W-25
担当者	尻無浜 博幸		必修選択	必修	科目種別	講義	オフィスアワー	水曜日1限		
関連資格	社会福祉士				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
社会福祉について基本的な知識を体系的に学習するとともに、社会福祉に対する視点を養うことを目的とします。本講義の到達目標は、現代社会における福祉制度の意義や理念、福祉政策との関係について理解する 福祉の原理をめぐる理論と哲学について理解する 福祉政策におけるニーズと資源について理解する。										
学修到達目標										
1. 現代社会における福祉制度と福祉政策 2. 福祉の原理をめぐる理論と哲学 3. 福祉制度の発達過程 4. 福祉政策におけるニーズと資源 以上の内容を理解することを目指します。										
授業の進め方										
講義では基本的な概念や理論を踏まえることを重点に取り上げるため教科書を用いて授業を進めます。必要に応じて具体的な実践事例を取り上げその意義を考える機会を作ります。課題は添削してフィードバックします。教室での講義を主として実施します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス	ガイダンス 福祉政策の概念				事前にテキスト序章を通読、事後に次回箇所提示します。(事前3時間事後1時間)				
2	福祉理念	福祉政策の理念				事前にテキスト第1章通読、事後に要点整理を求めます。(事前3時間事後1時間)				
3	福祉制度論	福祉制度と福祉政策の関係				事前にテキスト第2章通読、事後に要点整理を求めます。(事前3時間事後1時間)				
4	福祉政策	福祉政策と政治の関係				事前にテキスト第4章5章通読、事後に要点整理を求めます。(事前3時間事後1時間)				
5	福祉主体論	福祉政策の主体				事前にテキスト第8章通読、事後に要点整理を求めます。(事前3時間事後1時間)				
6	福祉対象論	福祉政策の対象				事前にテキスト第7章通読、事後に要点整理を求めます。(事前2時間事後2時間)				
7	福祉理論	福祉の原理をめぐる理論				事前にテキスト第3章通読、事後に要点整理を求めます。(事前2時間事後2時間)				
8	福祉倫理	福祉の原理をめぐる哲学と倫理				事前にテキスト第3章通読、事後に要点整理を求めます。(事前2時間事後2時間)				
9	福祉展開1	福祉制度の発達過程1 前近代社会と福祉				事前にテキスト第4章通読、事後に要点整理を求めます。(事前2時間事後2時間)				
10	福祉展開2	福祉制度の発達過程2 近代社会と福祉				事前にテキスト第5章通読、事後に要点整理を求めます。(事前2時間事後2時間)				
11	福祉展開3	福祉制度の発達過程3 現代社会と福祉				事前にテキスト第6章通読、事後に要点整理を求めます。(事前2時間事後3時間)				
12	事例分析	福祉現場の実践例の紹介				事前にテキスト第12章通読、事後に要点整理を求めます。(事前2時間事後3時間)				
13	福祉ニーズ	需要とニーズの概念				事前にテキスト第11章通読、事後に要点整理を求めます。(事前2時間事後3時間)				
14	福祉資源	資源の概念				事前にテキスト第9章通読、事後に要点整理を求めます。(事前2時間事後3時間)				
15	まとめ	全体まとめ				事前の授業振り返り、事後に全体の要点整理を求めます。第14章活用(事前2時間事後3時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「(第4版)第4巻:現在社会と福祉」社会福祉士養成講座編集委員会編(中央法規出版) ISBN:978-4-8058-3931-7(生協で購入してください。)				出席レポート:30% 定期試験:50% 課題:20% S:出席レポートおよび課題の提出と内容、試験のすべてが95%以上 A:出席レポートおよび課題の提出と内容、試験のすべてが80%以上 B:出席レポートおよび課題の提出と内容、試験のすべてが70%以上 C:出席レポートおよび課題の提出と内容、試験のすべてが60%以上 出席レポートは事前の講義に即した内容をその都度示します。また、課題は毎回小テストを実施します。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「社会福祉六法 平成31年度版」 新日本法規				社会福祉士受験資格を目指す学生は、後期に開講する社会福祉概論 とあわせて履修してください。学ぶ以上は、一コマ一コマの授業を大切にしてください。【実務経験のある教員】内容:財団法人において福祉事業の指導職。						

科目名	社会福祉概論			学年学期	1年後期	単位数	2	ナパリング	TC16057	研究室	W-30
担当者	今村 篤史			必修選択	選択	科目種別	講義	オイスアワー	木曜日2限		
関連資格	社会福祉士					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
社会福祉についての基本的な知識を体系的に学習するとともに、社会福祉に対する考察力を養うことを目的とします。本科目を通して、福祉政策の課題についての理解、福祉政策の構成要素についての理解、社会福祉制度の体系についての理解、福祉政策と関連政策(住宅政策、労働政策など)の関係についての理解、相談援助活動と福祉政策との関係について理解を深めていきます。											
学修到達目標											
福祉政策におけるニーズと資源、福祉政策の構成要素、社会福祉制度の体系、福祉政策と関連政策、相談援助活動と福祉政策の関係についての基礎的な知識を理解し、自分の言葉で適切に説明できるようになる。											
授業の進め方											
社会福祉における基本的な概念や理論を取り上げるため、おもにテキストとレジュメを用いた講義形式で進めます。必要に応じて、具体的な事例を取り上げて、一緒に考える機会を作ります。また、提出された出席レポート、課題をもとにフィードバックを行います。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	講義ガイダンス	ガイダンスと社会福祉概論の振り返り					事前に社会福祉概論で学んだことを復習しておくこと(4時間)				
2	福祉政策論(1)	福祉政策の発展と歴史的背景について					事前にテキスト第5章を通読し、事後に論点をノートにまとめておく。(事前2時間事後2時間)				
3	福祉政策論(2)	現代社会と福祉政策について					事前にテキスト第6章を通読し、事後に論点をノートにまとめておく。(事前2時間事後2時間)				
4	福祉政策における必要と資源	福祉政策におけるニーズと資源について					事前にテキスト第7章を通読し、事後に論点をノートにまとめておく。(事前2時間事後2時間)				
5	福祉政策の理念・主体・手法(1)	福祉政策の思想と理念について					事前にテキスト第8章を通読し、事後に論点をノートにまとめておく。(事前2時間事後2時間)				
6	福祉政策の理念・主体・手法(2)	社会福祉制度の体系と福祉政策の主体について					事前にテキスト第10章を通読し、事後に論点をノートにまとめておく。(事前2時間事後2時間)				
7	福祉政策の理念・主体・手法(3)	福祉政策の手法について					事前にテキスト第11章を通読し、事後に論点をノートにまとめておく。(事前2時間事後2時間)				
8	福祉政策と関連政策(1)	福祉政策と所得保障について					事前にテキスト第9章1-3節を通読し、事後に関連ニュースを調べること。(事前2時間事後2時間)				
9	福祉政策と関連政策(2)	福祉政策と雇用政策について					事前にテキスト第9章4節を通読し、事後に関連するニュースを調べること。(事前2時間事後2時間)				
10	福祉政策と関連政策(3)	福祉政策と住宅政策、教育政策について					事前にテキスト第9章5-6節を通読し、事後に関連ニュースを調べること。(事前2時間事後2時間)				
11	相談援助活動(1)	福祉政策と相談援助活動の関係について					事前にテキスト第12章1節を通読し、事後に論点をノートにまとめておく。(事前2時間事後2時間)				
12	相談援助活動(2)	相談援助活動の展開について					事前にテキスト第12章2節を通読し、事後に論点をノートにまとめておく。(事前2時間事後2時間)				
13	福祉政策の国際比較	欧米と東アジアの福祉政策について					事前にテキスト第13章を通読し、事後に論点をノートにまとめておく。(事前2時間事後2時間)				
14	福祉政策の展望	福祉政策の課題と展望について					事前にテキスト第14章を通読し、事後に論点をノートにまとめておく。(事前2時間事後2時間)				
15	まとめ	全体まとめ					これまでの授業内容を復習しておく。(事前4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「現代社会と福祉(新・社会福祉士養成講座4)第4版」社会福祉士養成講座編集委員会編(中央法規出版) ISBN:978-4-8058-3931-7(生協で購入してください。)					定期試験:50% 出席レポート:30% 課題:20% S:定期試験の得点、出席レポート・課題への取組みと内容の達成度において90%以上 A:定期試験の得点、出席レポート・課題への取組みと内容の達成度において80%以上 B:定期試験の得点、出席レポート・課題への取組みと内容の達成度において70%以上 C:定期試験の得点、出席レポート・課題への取組みと内容の達成度において60%以上						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「社会福祉の動向2020」社会福祉の動向編集委員会編(中央法規出版) ISBN:978-4-8058-5977-3					社会福祉士受験資格を目指す学生は必修科目になります。【実務経験のある教員が担当】実務経験の内容:社会福祉法人において、ソーシャルワーカーとして勤務した。なお、授業内容への質問は、オイスアワー等随時受け付けます。						

科目名	福祉心理支援			学年学期	2年後期	単位数	2	ナバリング	TC26058	研究室	W-19
担当者	矢崎 久			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日5限、火曜日4限		
関連資格	社会福祉士					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
社会福祉士として身につけて欲しい心理学および臨床心理学の知識と支援の実践について体系的に学ぶことを目標とします。											
学修到達目標											
人の心理学的理解、成長と発達、日常生活と心の健康、心理的支援の方法と実際など、厚生労働省が示している社会福祉士としての心理学の基礎知識を有している。											
授業の進め方											
社会福祉士試験に出題される内容にウエイトを置きつつも、メンタルヘルスに直結する臨床心理学領域にも時間を割きます。中間試験の結果や授業評価アンケートの記述内容を履修者にフィードバックしながら進めます。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	障害の理解と心理	ガイダンス、人間の心理学的理解、心理学的研究の概要					事前：第1章講読(2時間) 事後：テキスト再読、ノートまとめ(1時間)				
2	精神医学と臨床心理学	精神障害とは、脳と精神障害、精神障害と臨床心理学					事前：第2章講読(2時間) 事後：テキスト再読、ノートまとめ(1時間)				
3	人格の心理学	人格とは何か、諸理論、形成と変化					事前：第3章講読(2時間) 事後：テキスト再読、ノートまとめ(1時間)				
4	発達心理学	発達とは何か、概要、生涯発達、発達障害					事前：第4章講読(2時間) 事後：テキスト再読、ノートまとめ(1時間)				
5	社会心理学	社会心理学、臨床社会心理学、コミュニティ心理学					事前：第5章講読(2時間) 事後：テキスト再読、ノートまとめ(1時間)				
6	言語と思考の心理学	言語と思考の異常、言語のメカニズム・思考のメカニズム					事前：第6章講読(2時間) 事後：テキスト再読、ノートまとめ(1時間)				
7	認知心理学	知覚と意識、記憶のメカニズム					事前：第7章講読(2時間) 事後：テキスト再読、ノートまとめ(1時間)				
8	学習・行動心理学	古典的条件づけ、オペラント条件づけ、さまざまな学習様式					事前：第8章講読(2時間) 事後：テキスト再読、ノートまとめ(1時間)				
9	情動と動機づけの心理学	情動と動機づけの障害、情動、動機づけ					事前：第9章講読(2時間) 事後：テキスト再読、ノートまとめ(1時間)				
10	知能と心理検査の心理学	知能、心理検査、心理査定					事前：第10章講読(2時間) 事後：テキスト再読、ノートまとめ(1時間)				
11	心理療法と福祉臨床	心理療法、福祉現場で用いられる種々の技法					事前：第11章講読(2時間) 事後：テキスト再読、ノートまとめ(1時間)				
12	健康心理学	健康をおびやかす問題、困難状況への介入					事前：第12章講読(2時間) 事後：テキスト再読、ノートまとめ(1時間)				
13	生活の場と心理援助	ソーシャルワーカーと心理学、専門職の連携、家族支援、福祉臨床					事前：第13章講読(2時間) 事後：テキスト再読、ノートまとめ(1時間)				
14	福祉の心理学 理論と技法	テキスト第1章～7章まとめ					事前：第1章～第7章再読(4時間) 事後：ノートまとめ(4時間)				
15	福祉の心理学 理論と技法	テキスト第8章～13章まとめ					事前：第8章～第13章再読(4時間) 事後：ノートまとめ(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「心理学理論と心理的支援」岡田斉編(弘文堂) ISBN:978-4-335-61072-1 (生協で購入してください。)					小テスト：30% 定期試験：70% 中間試験と期末試験を総合して成績を判定します。 成績評価基準 「S」：中間試験、期末試験のすべてが90%以上 「A」： " 80%以上 「B」： " 70%以上 「C」： " 60%以上						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
なし					積極的な質疑を歓迎します。 【実務経験のある教員が担当】実務経験の内容：病院の精神科及び心療内科で臨床心理士として業務に携わった。						

科目名	児童福祉		学年学期	2年後期	単位数	2	ナバリング	TC26059	研究室	W-30
担当者	今村 篤史		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	木曜日2限		
関連資格	社会福祉士				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)							
		A	B	C						
授業概要										
子ども家庭福祉についての基礎となる知識を体系的に学び、子どもや家庭への支援について理解を深めます。具体的には、子ども家庭福祉における理念や子どもの権利について、子ども家庭福祉の歴史と現状、子ども家庭福祉における法や制度の体系、子ども家庭福祉における具体的な支援、について理解を深めていきます。										
学修到達目標										
子どもや家庭を取り巻く社会・経済的環境とそこから生じる課題について理解できる。 子ども家庭福祉における考え方や視点、支援の意義と目的、法や制度の仕組みについて理解できる。										
授業の進め方										
テキストを中心とした講義形式で進めますが、必要に応じて、具体的な事例を取り上げ、それについて考える機会も作ります。また、提出された課題や出席レポートにもとづいて、適宜フィードバックを行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	子ども家庭福祉の理念	子ども家庭福祉の定義、内容、領域について				事前にテキスト第1章1節を通読し、事後に論点をノートにまとめておく。(事前2時間事後2時間)				
2	子どものための福祉の原理	対象としての子どもとその特性について				事前にテキスト第1章2節を通読し、事後に論点をノートにまとめておく。(事前2時間事後2時間)				
3	子どもの権利	子どもの権利保障の歩みと子どもの権利条約について				事前にテキスト第1章3節を通読し、事後に論点をノートにまとめておく。(事前2時間事後2時間)				
4	子ども家庭福祉の発展	日本と欧米における子ども家庭福祉の歩みについて				事前にテキスト第1章4節を通読し、事後に内容(歴史の変遷)を整理しておく。(事前2時間事後2時間)				
5	現代社会と子ども・家庭	子どもと家庭と子育てをめぐる現状について				事前にテキスト第2章を通読し、事後に論点をノートにまとめておく。(事前2時間事後2時間)				
6	子ども家庭福祉にかかわる法制度(1)	子ども子育て支援新制度について				事前にテキスト第3章1節を通読し、事後に論点をノートにまとめておく。(事前2時間事後2時間)				
7	子ども家庭福祉にかかわる法制度(2)	子ども家庭福祉の法体系について				事前にテキスト第3章2節を通読し、事後に論点をノートにまとめておく。(事前2時間事後2時間)				
8	子ども家庭福祉にかかわる法制度(3)	子ども家庭福祉の実施体制と財政について				事前にテキスト第3章3～4節を通読し、事後に論点と資料を整理しておく。(事前2時間事後2時間)				
9	子ども家庭福祉にかかわる法制度(4)	子ども家庭福祉領域の専門職について				事前にテキスト第3章5節を通読し、事後に論点をノートにまとめておく。(事前2時間事後2時間)				
10	子ども家庭にかかわる福祉・保健(1)	子どもの貧困とその対策について				事前にテキスト第4章1節を通読し、事後に関連するニュースを調べる。(事前2時間事後2時間)				
11	子ども家庭にかかわる福祉・保健(2)	母子保健、障害・難病のある子どもと家庭への支援について				事前にテキスト第4章2～3節を通読し、事後に論点をノートにまとめておく。(事前2時間事後2時間)				
12	子ども家庭にかかわる福祉・保健(3)	保育、児童健全育成、地域子育て支援について				事前にテキスト第4章4～6節を通読し、事後に論点をノートにまとめておく。(事前2時間事後2時間)				
13	子ども家庭にかかわる福祉・保健(4)	ひとり親家庭と女性への支援について				事前にテキスト第4章7、11節を通読し、事後に論点をノートにまとめておく。(事前2時間事後2時間)				
14	子ども家庭にかかわる福祉・保健(5)	子ども虐待と社会的養護について				事前にテキスト第4章8～10節を通読し、事後に論点をノートにまとめておく。(事前2時間事後2時間)				
15	子ども家庭における援助活動	相談援助活動(ソーシャルワーク)の視点と展開				事前にテキスト第5章を通読し、事後に論点をノートにまとめておく。(事前2時間事後2時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
「新・社会福祉士養成講座 児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉 第7版」社会福祉士養成講座編集委員会編(中央法規出版) ISBN:978-4-8058-5809-7(生協で購入してください。)		定期試験:50% 課題:30% 出席レポート:20%				S:定期試験の得点、課題・出席レポートへの取組みと内容の達成度において90%以上 A:定期試験の得点、課題・出席レポートへの取組みと内容の達成度において80%以上 B:定期試験の得点、課題・出席レポートへの取組みと内容の達成度において70%以上 C:定期試験の得点、課題・出席レポートへの取組みと内容の達成度において60%以上				
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
必要に応じて資料等を配布します。		社会福祉士国家試験受験資格を目指す学生は必修科目になります。【実務経験のある教員が担当】実務経験の内容:社会福祉法人において、ソーシャルワーカーとして勤務。なお、授業内容への質問はオフィスアワー等随時受け付けます								

科目名	障がい福祉		学年学期	2年後期	単位数	2	ナバリノ	TC26060	研究室	W-25
担当者	尻無浜 博幸		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	水曜日1限		
関連資格	社会福祉士				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
この科目は、社会福祉士受験資格を目的とする科目の一つです。障がいのある人々の社会的背景、障がい福祉の概念、実態、理念、サービス体系などの現状を踏まえ、この科目では主に地域において展開されている障がい福祉実践をとおして、今日の日本の障がい福祉の認識と課題を学びます。最終的には、世界の動向(特にアジア圏域)を踏まえ、この分野の展望を議論する段階まで進めます。										
学修到達目標										
障がい者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要を鑑みながら、障がい福祉の原点にある思想などの影響も受けながら明確化していきますので、このような基本的な理解を到達点として目指します。										
授業の進め方										
講義では基本的な概念や理論を踏まえた上で、具体的な実践事例を取り上げてその意義を考えていきます。課題は添削してフィードバックします。事例などを取り入れ主体的に考える機会を持ちます。発展的には少数者に分かれての現場の体験を行なう予定です。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス	イントロダクション(分野動向、講義概要と進め方・評価方法等説明)				事前にテキスト全般通読、事後に内容の理解を求めます。(事前3時間事後1時間)				
2	障がいの理解	障がいとは何かとその概念、福祉の理念				事前にテキスト第1章通読し、事後に内容の整理を求めます。(事前3時間事後1時間)				
3	障がいの背景	それぞれの障がいとそれを取り巻く環境				事前にテキスト第2章1から2通読し、事後に内容の整理を求めます。(事前3時間事後1時間)				
4	障がい福祉サービス内容	それぞれの障がいの支援と課題				事前にテキスト第3章通読し、事後に内容の整理を求めます。(事前3時間事後1時間)				
5	障がい福祉の実際	障がい当事者の話(ゲスト)				事前に主旨文配布、事後に話しのまとめを課します。(事前3時間事後2時間)				
6	障がい福祉制度	障がい者の施策(障害者ケアマネジメントの概要)				事前に障害者総合支援法通読し、事後にまとめを行う。(事前2時間事後2時間)				
7	障がい福祉制度	障がい者の施策(相談支援)				事前にテキスト第4章通読し、事後にまとめを行う。(事前2時間事後2時間)				
8	障がい福祉制度	障がい者の施策(生活支援)				事前にテキスト第5章通読し、事後にまとめを行う。(事前2時間事後2時間)				
9	障がいと教育医療	障がい福祉の関連分野(教育・医療)				事前にテキスト第6章通読し、事後にまとめを行う。(事前2時間事後2時間)				
10	障がいと雇用	障がい福祉の関連分野(所得保障・雇用)				事前に雇用促進法通読し、事後にまとめを行う。(事前2時間事後2時間)				
11	グループワーク	グループワーク「就労支援の取り組み」ネットワークの構築				事前に主旨通知、事後に内容を整理する。(事前1時間事後3時間)				
12	事例研究	障がい福祉の相談援助の事例研究				事前に事例提示、事後に分析内容のまとめを行う。(事前1時間事後3時間)				
13	障がい福祉分野の動向	国際動向(アジア太平洋を中心として)				事前に関係資料配付通読し、事後にまとめを行う。(事前1時間事後3時間)				
14	障がい福祉分野の動向	国際動向(関連政策)				事前に関係資料配付通読し、事後にまとめを行う。(事前2時間事後3時間)				
15	まとめ	まとめ(レポート、試験確認等)				事前に聞き取り、事後に最終確認を行う。(事前3時間事後3時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「(第5版)障害者福祉の世界」佐藤久夫・小澤温著(有斐閣アルマ) ISBN:978-4-641-22069-0(生協で購入してください。)				出席レポート:20% 定期試験:50% 課題:30% S:出席レポートおよび課題の提出と内容、試験のすべてが95%以上 A:出席レポートおよび課題の提出と内容、試験のすべてが80%以上 B:出席レポートおよび課題の提出と内容、試験のすべてが70%以上 C:出席レポートおよび課題の提出と内容、試験のすべてが60%以上 課題は毎回小テストを実施します。出席レポートは講義内容に即したものでその都度示します。2回の講義に1回実施します。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
障害者白書 最新版				社会福祉士受験資格を目指す学生は必修科目です。人権モデルとして捉え真剣に学び、ただ知識を得るだけではなく障害者思想や歴史の背景など深く考える機会にしてください。財団法人で福祉事業の指導職経験のある教員が担当。						

科目名	高齢者福祉論			学年学期	2年前期	単位数	2	ナパリング	TC26061	研究室	非常勤
担当者	八田 桂子			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格	社会福祉士					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
<p>本講義は、高齢者福祉に関する基本的な知識と理解を得ることを目的とします。講義の前半では、日本の社会福祉の歴史的背景を理解した上で、高齢社会および高齢者福祉の変遷について学びます。後半は、現在の介護保険制度をはじめとする高齢者福祉施策と他の福祉施策、制度外のサービスなどについても学びます。さらに、高齢者やその家族に対する総合的な福祉サービス提供のあり方などを学ぶとともに、昨今重視されている認知症ケアの基本を学習します。</p>											
学修到達目標											
<p>高齢者福祉制度の歴史的な変遷が理解できる。 介護保険制度の概要と利用方法サービス内容が理解でき、他者に説明できる。 認知症ケアの基本的概念が理解でき、他者に説明できる。</p>											
授業の進め方											
<p>テキストと資料を用いて講義を行います。必要に応じてビデオ教材なども使用します。授業中のディスカッションを通じて内容を深めます。講義期間中には、社会福祉士国家試験過去問を中心とした小テストを行い知識の定着を目指します。</p>											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	高齢者福祉の歴史	明治維新以前の高齢者福祉制度および維新以降の老人福祉成立					テキスト第1章、1,2関連する書籍等を読んでおくこと。4時間				
2	老人福祉法制定から現代	老人福祉法制定の背景、ゴールドプラン以降の在宅福祉・地域福祉への流れを学ぶ。					テキスト第1章、3,4を読んでおくこと。4時間				
3	高齢者の心身の特性と疾病	高齢者の心身の特性					テキスト第2章、1関連する書籍等を読んでおくこと。4時間				
4	高齢者の心身の特性と疾病	特定疾患					テキスト第2章、3特定疾患についてを読んでおくこと。4時間				
5	少子高齢社会の現状と動向・課題	高齢化の要因、現状と今後の見通し					テキスト第3章、1,2を読んでおくこと。4時間				
6	少子高齢社会の現状と動向・課題	家族・世帯の現状と今後の見通し					テキスト第3章、3を読んでおくこと。4時間				
7	高齢者の生活実態と福祉・介護ニーズ	高齢者の生活実態、要介護高齢者の現状と課題					テキスト第4章、1,2を読んでおくこと。4時間				
8	高齢者の生活実態と福祉・介護ニーズ	要介護高齢者の課題、認知症高齢者の実態とニーズ					テキスト第4章、3及び関連法規を読んでおくこと。4時間				
9	介護の概念と介護予防	介護の概念と範囲・対象 介護の理念と倫理					テキスト第5章1,2を読んでおくこと。4時間				
10	介護の概念と介護予防	介護過程の概要、技法					テキスト第5章、3,4を読んでおくこと。4時間				
11	介護の概念と介護予防	介護の技術、介護予防の必要性とリハビリテーション					テキスト第5章、5,6を読んでおくこと。4時間				
12	認知症ケアの概念	認知症とは何か 適切な認知症ケアのための基本的理解と認知症ケアの歴史					テキスト第6章、1,2を読んでおくこと。4時間				
13	認知症ケアの概念	認知症の医学的理解、心理的理解(認知症サポーター養成講) 若年性認知症のケアおよび制度					配布資料に基づき、テキスト第6章を再読しておくこと。4時間				
14	死と終末期ケア	終末期ケアの基本的考え方 終末期ケアにおける人間関係と理念					テキスト第7章、1,2を読んでおくこと。死について家族と話し合ってみる。4時間				
15	死と終末期ケア	終末期ケアをめぐる諸問題 終末期ケアの実際					テキスト第7章、3,4を読んでおくこと。4時間				
テキスト					成績評価の方法・基準						
<p>「社会福祉士シリーズ13 高齢者に対する支援と介護保険制度」矢部広明・宮島直文編(弘文堂) ISBN:978-4-335-61196-4(生協で購入してください。)</p>					<p>レポート:60% 受講態度:40% 秀は欠席がなく受講態度に主体性が感じられ、課題に対して理解したことを自分なりに解釈でき、自身の考えが述べられたレポートになっている場合。優は原則として欠席がなく、かつ課題レポートから理解の程度がわかり自分の考えが述べられている場合。可は、欠席が1~2回程度で、課題レポートにておおむね理解ができている場合。不可は、それ以下の場合。</p>						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
<p>「社会福祉小六法」ミネルヴァ書房編集部編(ミネルヴァ書房) 社会福祉士を目指している方は購入することをお勧めします。授業では参考程度で、使用しません。</p>					<p>前期は、テキストを中心に高齢者福祉に関する基本的な内容を学びます。後期の高齢者福祉論では、前期の学びをもとに近年の高齢者福祉の現状について講義を行うので、併せての受講が望ましいです。</p>						

科目名	高齢者福祉論			学年学期	2年後期	単位数	2	ナパ'リング	TC26062	研究室	非常勤
担当者	八田 桂子			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格	社会福祉士					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)							
		A	B	C							
授業概要											
<p>後期は、高齢者福祉の現状を理解することを目的とします。前期の講義を踏まえ、社会福祉基礎構造改革以降の高齢者福祉の理念や、高齢者福祉サービス提供の視点の変化などについて学びます。それをもとに、介護保険を中心とするサービスの仕組みや内容について、直近の制度改正なども解説しつつ、具体的な事例を取り上げて講義します。さらに、その現状を映像等で実際に目で確かめることにより、今の高齢者福祉の実情に対する理解が、より重層的に深まるようにします。</p>											
学修到達目標											
<p>今の高齢者福祉のあり方について書かれている政府の報告書等の内容が理解できる。 今の高齢者福祉の現場で生じている問題と、それに対する課題が理解できる。 今の介護保険制度の実施状況、および認知症ケアの取組状況が理解できる。</p>											
授業の進め方											
<p>最近の政府の報告書等、主に資料を用いながら講義を行います。ビデオ教材なども使用します。授業中のディスカッションをを通じて内容を深めます。講義期間中には、社会福祉士国家試験過去問を中心として小テストを行い知識の定着を目指します。</p>											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	介護保険制度の仕組み	前期講義の復習を兼ね、介護保険制度創設の背景と経過、基盤システム、サービスの利用と手続き					テキスト第8章、1,2,3,4を読んでおくこと。4時間				
2	介護保険制度の仕組み	介護サービスの種類、権利擁護のしくみ、地域支援事業					テキスト第8章5,6,7を読んでおくこと。4時間				
3	介護保険制度の運営	介護保険法における組織および団体の役割と実際 国、市長村、都道府県、国民健康保険団体連合会の役割、介護保険施設、指定サービス事業者の役割					テキスト第8章、1,2,3を読んでおくこと。4時間				
4	介護保険制度の運営	介護保険法における専門職の役割と実際 介護支援専門員の役割、医療との関連、要介護認定時の専門職の連携の実際、訪問介護員、介護職員、福祉用具専門相談員、介護相談員、認知症サポーターの役割					テキスト第8章、4,5,6,7を読んでおくこと。4時間				
5	地域包括支援センターと地域	地域包括支援センターの制度と役割 地域包括支援センターの機能と組織体制					テキスト第10章、1,2,を読んでおくこと。4時間				
6	地域包括支援センターと地域	地域包括支援センターの現状					テキスト第10章、3,4を読んでおくこと。4時間				
7	老人福祉法と関連法	老人福祉法の制定 老人福祉法の概要					テキスト第11章、1,2読んでおくこと。4時間				
8	老人福祉法と関連法	老人福祉法に基づく措置制度 老人保健法と介護保険法との関係					テキスト第11章、3,4読んでおくこと。4時間				
9	高齢者虐待と虐待予防の取組み	高齢者虐待防止法制度の経過とその概要 高齢者虐待の定義と実態					テキスト第12章、1,2を読んでおくこと。4時間				
10	高齢者虐待と虐待予防の取組み	虐待予防の取組み 虐待発見時の対応					テキスト第12章、3,4を読んでおくこと。4時間				
11	高齢者に対する医療制度	高齢者医療の制度の変遷 高齢者医療の現状と課題					テキスト第13章、1,2を読んでおくこと。4時間				
12	高齢者に対する医療制度	後期高齢者医療制度とその課題					テキスト第13章、3を読んでおくこと。4時間				
13	高齢者をとりまく地域と環境	高齢者の生活実態とこれからを取り巻く社会情勢 高齢者と移動の安全(バリアフリー新法)					テキスト第14章、1,2を読んでおくこと。4時間				
14	高齢者をとりまく地域と環境	高齢者の住宅保障制度(介護のための住環境) 高齢者の就労ニーズと実態・制度					テキスト第14章、3,4を読んでおくこと。4時間				
15	評価テスト、国家試験対策	全体の復習または、施設見学					評価対象試験への復習。4時間				
テキスト					成績評価の方法・基準						
<p>「社会福祉士シリーズ13高齢者に対する支援と介護保険制度」 矢部広明・宮島直文編(弘文堂) ISBN:978-4-335-61106-4 (生協で購入してください。) 最新版を購入してください。古い版のものは使用できません。</p>					<p>課題:60% 受講態度:40% 秀は欠席がなく受講態度に主体性が感じられ、課題に対して理解したことを自分なりに解釈でき、自身の考えが述べられたレポートになっている場合。優は原則として欠席がなく、かつ課題レポートから理解の程度がわかり自分の考えが述べられている場合。可は、欠席が1~2回程度で、課題レポートにておおむね理解ができていない場合。不可は、それ以下の場合。</p>						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
<p>「社会福祉士小六法」ミネルヴァ書房編集部編(ミネルヴァ書房) 「社会的援護を要する社会福祉の在り方に関する検討会報告書」 旧厚生省 「高齢社会白書」 内閣府</p>					<p>前期の講義内容を踏まえて講義を行いますので、前期と併せての受講が望ましいです。後期は高齢者福祉の現状についてタイムリーに伝えますので、将来の進路選択にも役立ててください。参考図書は授業で使用時に資料として配布。</p>						

科目名	地域福祉		学年学期	2年前期	単位数	2	ナパ'リング	TC26063	研究室	W-20
担当者	向井 健		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日3限、木曜日3限		
関連資格	社会福祉士、社会教育士、中一(社会)、高一(公民)				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)							
		A	B	C						
授業概要 地域福祉は、社会福祉の一分野であり、ノーマライゼーションの理念を基盤として、地域の生活支援システムの構築をめざすものです。本講義の目的は、その理論と実際を体系的に学ぶことにあり、地域福祉に関する基本的な考え方(理論)と現場における活動(実際)とを有機的に体得できるような構成とします。また現代的な課題についても受講者の関心を踏まえてとりあげていきます。また具体的な実践活動も取り上げていきます。(社会教育主事養成課程における法令上の科目名は「社会教育特講」に相当。)										
学修到達目標 1,地域福祉の理論とその実際について説明をすることができるようになること。 2,地域の中の福祉的ニーズに目を向け、これからの地域福祉のあり方について意見を述べるようになること。										
授業の進め方 講義はテキストとプリントに沿って進めます。毎回、提示した課題について自分の意見を述べるリアクションペーパーを作成してもらいます。また地域の福祉的ニーズを探るフィールドワークを組み入れていきます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	私と地域とのつながりを見つめてみる	自分自身と地域とのつながりについて考え、地域福祉とは何であるか、地域福祉を学ぶ今日的な意義とは何かを考えることとします。				配布したプリントの復習と教科書第1章を読んでおくこと(4時間)				
2	地域とは何か	地域とは何でしょうか。コミュニティの果たしてきた機能と福祉コミュニティについて理解をします。				教科書第2章を読んで復習をすること(4時間)				
3	その人らしい暮らしとは何か	地域住民と当事者の関係性に目を向けながら、誰しもが地域でその人らしい生活をしていくために求められてくることは何かを考えます。				教科書第3章を読んで復習をすること(4時間)				
4	その人らしい暮らしを支えあうために	誰しもがその人らしく生きていくための基盤づくりとして求められる地域づくりとは何かということを考えます。				教科書第4章を読んで復習をすること(4時間)				
5	多様な主体の協働による福祉のまちづくり	当事者・住民による活動や当事者の主体性を支える専門職のかかわりについて学び、地域の福祉力を高める協働の在り方について考えます。				教科書第5章を読んで復習をすること(4時間)				
6	住民主体のコミュニティワークを理解する	コミュニティワークについて理解をし、その実践の展開過程と留意点について学びます。				教科書第6章を読んで復習をすること(4時間)				
7	松本市の地区福祉ひろばと公民館の連携	福祉のまちづくりの先進事例として、長野県松本市の地区福祉ひろばと公民館の連携に基づく事例について検討をします。確認テストを実施し、添削後、返却します。				松本市の福祉ひろばや公民館について調べること(4時間)				
8	地域を観察してみる	地域を歩き、観察をし、地域の中にどのような福祉ニーズがあるのかを調べます。				教科書第7章を読むとともに、フィールドノーツをまとめ、提出すること(4時間)				
9	グループでの発表	地域調査を通して分かったことについてグループ発表をします。				まとめた成果を期日までに発表できるようにしておくこと(4時間)				
10	地域住民の参加による事業の視点	地域住民と協働してつくる活動・事業の留意点について考えます。				教科書第8章を読んで復習をすること(4時間)				
11	福祉の地域づくりを支援するプロセスを把握する	地域住民が主体的に福祉的課題を捉え、動き出すための要件とは何かを考え、福祉のまちづくりにおける住民の主体形成過程について考えます。				教科書第9章を読んで復習をすること(4時間)				
12	地域福祉のネットワークのすすめかた	地域福祉のネットワークの具体例を知るとともに、その意義について考えます。				教科書第10章を読んで復習をすること(4時間)				
13	社会資源開発の考え方と方法	住民とともに地域の社会資源開発をする方法を学びます。				教科書第11章を読んで復習をすること(4時間)				
14	地域福祉計画を点検してみる	身近な自治体の地域福祉計画を調べ、その意義について考えます。				教科書代12章を読んで復習すること(4時間)				
15	これからの福祉のまちづくりのあり方を考える	包摂的で持続可能な地域社会を作り上げていくためにはどうすればいいか、考えをまとめることとします。				本講義での学びを踏まえ、福祉のまちづくりの方策をまとめること(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「地域福祉のはじめかた：事例による演習で学ぶ地域づくり」藤井博志著(ミネルヴァ書房) ISBN:423086801 (生協で購入してください。)				課題：50% レポート：50% S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組むことができる。A：授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって課題に取り組むことができる。B：授業のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「福祉社会の開発：場の形成と支援ワーク」穂坂光彦/平野隆之/朴侖美/吉村輝彦著 穂坂光彦/平野隆之/朴侖美/吉村輝彦編(ミネルヴァ書房) ISBN:978-4623064380 別途指示します				学生の皆さんの主体的な参加を期待します。【実務経験のある教員が担当】実務経験の内容：NPOや社団法人において、地域の支えあい体制づくりや地域活性化等の業務に携わった。						

科目名	地域福祉	学年学期	2年後期	単位数	2	ナパ'リング	TC26064	研究室	W-20
担当者	向井 健	必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	水曜日4限、木曜日2限		
関連資格	社会福祉士			履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)				
		A	B	C					
授業概要									
<p>私たちが生活している地域では、様々な生活問題を抱えた人がいます。個々の生活(福祉)問題を住民が地域の問題として捉え、住民自らが解決していくプロセスを支援していくために必要な理論および方法について理解することを目的とします。</p>									
学修到達目標									
<p>1. 「地域福祉」について学生自身が生活者としてリアリティをもって考えられるようになる。 2. 学生自身が地域の福祉課題を考え、様々な制度や人的資源のアイデアを活かしながら解決策を提案できるようになる。</p>									
授業の進め方									
<p>毎回配布するプリントとテキストに沿って進めます。授業の内容確認の小テストも行います。小テストは採点后フィードバックをします。地域福祉の現場に触れるフィールドワークもしくは地域福祉の現場で活躍する方たちをお招きしての特別講義も予定しています。</p>									
<p>授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。</p>									
回	テーマ	内容				事前事後学修			
1	何故、地域福祉を学ぶのか?	自らの地域について振り返り、その福祉的課題について振り返ります。				講義ガイダンスの内容を復習しておくこと(4時間)			
2	社会福祉の変容と地域福祉	「地域福祉」とは何か?どのような社会背景から地域福祉は生み出されてきたのかを学びます。				第1章(1~18頁)の内容を復習しておくこと(4時間)			
3	コミュニティと地域福祉	地域において生起するさまざまな生活問題の解決において、コミュニティ形成の重要性について学びます。「福祉コミュニティ」の目的と機能について確認をします。				「コミュニティ」の定義および「福祉コミュニティ」の意味を復習しておくこと(4時間)			
4	地域福祉の理論と発展過程	地域福祉の歴史的経緯を概観します。あわせて日本における地域福祉に関する理論に関する内容および人名を学びます。				地域福祉の各理論に関する内容および人名について復習しておくこと(4時間)			
5	地域福祉の主体と対象	地域福祉を推進する主体およびその主体形成について学びます。地域福祉の対象と活動内容を理解し、住民参加の重要性について学びます。				第4章(59~74頁)を復習しておくこと(4時間)			
6	地域福祉の推進体制(1)社会福祉協議会の理念と課題	社会福祉協議会が如何にして生まれたのか、また市町村社協の位置づけについて学びます。				第7章の該当部分(112~116頁)について復習をしておくこと(4時間)			
7	地域福祉の推進体制(2)民生委員・児童委員制度の歴史と現状	民生委員制度の歴史とその現状について学びます。				第6章の該当部分について復習をしておくこと(4時間)			
8	地域福祉における専門職の役割	地域福祉の専門職についてその役割と専門性を考えます。地域福祉の専門職の果たすべき役割について考えたいと思います。				第7章の該当部分(111~124頁)について復習しておくこと(4時間)			
9	ボランティア活動が生み出す新たな価値	ボランティア活動とはどのような発展を遂げてきたのか。また現在のボランティアが生み出している新たな価値とは何か。筋ジムの青年の介助に関わるボランティア活動の事例を基にしながら考えます。				事後にレポートを作成すること(4時間)			
10	ネットワークング	地域福祉を推進していくために、他職種連携が求められています。そのためのネットワークの必要性と方法について考えたいと思います。				第8章(125~142頁)について復習すること(4時間)			
11	地域における福祉的ニーズの把握と当事者参加	地域における福祉的ニーズの把握の方法について検討をします。また福祉的ニーズを有する当事者参加についても考えます。				第9章(143~158頁)について復習すること(4時間)			
12	地域福祉計画のあり方と策定方法	地域福祉計画とは何か、また地域福祉計画づくりに求められる視点について考えます。				地域福祉計画について復習すること(4時間)			
13	地域福祉の事例検討(1)	講義受講者の関心に基づきながら、地域福祉の実践事例について調べ、事例検討を行ってまいります。				地域福祉の事例について調べてくること(4時間)			
14	地域福祉の事例検討(2)	講義受講者の関心に基づきながら、地域福祉の実践事例について調べ、発表をします。				地域福祉の事例について発表資料を作成すること(4時間)			
15	フィールドワーク&講義のまとめ	松本市近郊の地域福祉の実践を訪れ、地域福祉の現場に触れます。そして、これまでの講義の内容を振り返ることとします。				フィールドワークでの学びを、これまでの学びと関連付けて理解すること(4時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準							
<p>『『地域福祉の理論と方法(第3版)』』山本美香編著 著(弘文堂) ISBN:978-4335611636(生協で購入してください。) 講義で指示します。</p>		<p>小テスト:20% 定期試験:80% S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組むことができる。A:授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって課題に取り組むことができる。B:授業のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。</p>							
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)							
<p>「社会的排除・参加の欠如・不確かな帰属」岩田正美著(有斐閣)</p>		<p>地域福祉を履修した上で履修してください。【実務経験のある教員が担当】 実務経験の内容:NPOや社団法人において、地域の支えあい体制づくりや地域活性化等の業務に携わった。</p>							

科目名	司法福祉		学年学期	3・4年前期	単位数	2	ナバリング	TC36065	研究室	W-33
担当者	増尾 均		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日4限、木曜日2限		
関連資格	社会福祉士			履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
現代社会では、人権上さまざまな援助を必要としている人々がたくさんいます。そのため、本講義では、人権擁護の代表格である成年後見制度を中心に人権を守る諸法律の役割と機能を修得してもらいます。また現代社会が抱えている人権問題の現状、ならびに解決方法を身近な事例をもとに講義を進めていきます。なお、本講義は、社会福祉士の受験資格取得希望者以外でも履修できます。										
学修到達目標										
本講義で扱う法律は、民法を中心に憲法・行政法など広範囲に及びます。これらの法領域で生じる問題は、学生生活あるいは社会生活を送る上で起こり易く、これらの法律の基礎知識を学び、福祉あるいは地域の分野でそれを支える人材となることを目的としています。										
授業の進め方										
テキストを中心に講義室で行いますが、必要に応じてプリントを配布したり、その時々で話題となっている事件を講義材料として扱うこともあります。適宜、修得状況を確認する目的で小テストを行い、その結果を学生にフィードバックします。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	授業の進め方、本講義で学ぶ法律の概要				事前に社会福祉士に関わる法律を調べる。講義後、各種法律とを整理してまとめる。(4時間)				
2	日本国憲法の概要	憲法の意義と基本的人権の概要				事前学修として、憲法の構成を調べる。事後学修として、基本的人権の種類を調べる。(4時間)				
3	行政法の概要	行政法の内容と行政行為・行政事件訴訟・行政不服申立制度・国家賠償法の概要				事前学修として、行政法の構成を調べる。事後学修として、各制度の特徴をまとめる。(4時間)				
4	民法の概要	民法の内容と総則・物権法・債権法・家族法の概要				事前学修として、民法の構成を調べる。事後学修として、各法の概要をまとめる。(4時間)				
5	成年後見制度	成年後見・保佐・補助の概要と手続きについて学ぶ				事前に、後見制度について調べる。事後学修として、各制度の関係と規定を整理する。(4時間)				
6	任意後見制度	任意後見制度の意義と手続き				事前に任意後見制度を調べる。事後学修として、法定後見の問題点と関係づけてまとめる。(4時間)				
7	日常生活自立支援事業	日常生活自立支援事業の概要と成年後見制度との連携				事前に日常生活自立支援事業を調べる。講義後、両制度の相違点と特徴をまとめる。(4時間)				
8	復習テスト	7回の授業の習熟度を理解してもらうため30分の小テストを行い、終了後詳細な解説をする。				事前に復習を再度行う。事後学修として、理解が不十分であった所を改めて学ぶ。(4時間)				
9	権利擁護にかかわる組織・団体1	家庭裁判所の沿革・権限・組織について概要を学ぶ				事前に家庭裁判所の仕事を調べる。講義後、他の裁判所との違いに留意してまとめる。(4時間)				
10	権利擁護にかかわる組織・団体2	法務局の位置づけ・業務内容、市町村の役割				事前に法務局と市町村の役割を調べる。講義後、権利擁護の視点から再度まとめる。(4時間)				
11	権利擁護にかかわる組織・団体3	社会福祉協議会・児童相談所などの役割				事前に社会福祉協議会と児童相談所を調べる。講義後、権利擁護の視点からまとめる。(4時間)				
12	権利擁護にかかわる専門職の役割1	弁護士・司法書士の役割				事前に弁護士と司法書士について調べる。講義後、権利擁護の視点から再度まとめる。(4時間)				
13	権利擁護にかかわる専門職の役割2	公証人・医師・社会福祉士の役割				事前に公証人・医師・社会福祉士を調べる。事後学修として、これらをまとめる。(4時間)				
14	成年後見活動の実際	認知症・障がい者・消費者被害者への対応の実際				事前に対応して欲しいことをリスト化する。講義後には問題点を考察する。(4時間)				
15	権利擁護活動の実際	被虐待児・高齢者虐待など他の対応の実際				事前にどのような人に対応すべきか考える。講義後、対応の実際から問題点をまとめる。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「法学」高橋雅夫編(弘文堂) ISBN:978-4-335-00226-7(生協で購入してください。) 「ポケット六法」井上正仁・能見善久ほか編(有斐閣) ISBN:9784641009158(生協で購入してください。)				出席レポート:10% 定期試験:90% Sは授業内容を高度に理解して課題や発展的問題が解ける。Aは授業内容を理解して応用問題や課題が解ける。Bは授業内容をおおよそ理解して応用問題や課題がほぼ解ける。Cは授業内容の6割程度を理解している。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「法律学への誘い」伊藤眞著(有斐閣)				身近で利用頻度の高い法律を学ぶ以上、常に問題意識を持って授業に臨み、今後の大学生活および社会生活に役立ててください。講義計画に該当する内容をテキストから探し、読んでおいてください。						

科目名	司法福祉		学年学期	3・4年後期	単位数	1	ナバリング	TC36066	研究室	W-33
担当者	増尾 均		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスカー	月曜日3限、水曜日2限		
関連資格	社会福祉士				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
本講義で扱う更生保護制度とは、犯罪者や非行少年を社会復帰させるための施策です。本講義では、特に身近な事例を取り上げ、その法律の果たす役割と機能だけでなく、いろいろと抱えている諸問題を学んでもらいます。										
学修到達目標										
更生保護制度を学び、問題を法的に解決できる能力を身につけ社会の発展に寄与できるようになることを目的としています。										
授業の進め方										
本講義は、テキストを中心に講義室で行いますが、必要に応じてプリントを配布したり、その時々で話題となっている事件を講義材料として扱うこともあります。適宜、修得状況を確認する目的で小テストを行い、その結果を学生にフィードバックします。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	授業の進め方、更生保護制度を学ぶ意義を学ぶ				事前に更生保護を調べ、事後学修として目的・役割を理解する(4時間)				
2	更生保護制度の概要	仮釈放、保護観察、更生緊急保護などの制度を学ぶ				事前に概要をまとめる。事後学修として、違いを整理して理解する。(4時間)				
3	犯罪の予防と支援	犯罪の予防と被害者の支援について学ぶ				事前学修として、予防と支援について調べる。事後学修として、それぞれの特徴を学ぶ。(4時間)				
4	更生保護制度の担い手	地方更生保護委員会、保護観察所、民間協力者などを学ぶ				事前にそれぞれの役割を学ぶ。事後学修として、法的対応を理解する。(4時間)				
5	関係機関と団体との連携	裁判所、検察庁、矯正施設などを学ぶ				事前に各機関などを調べる。事後に役割と違いを整理する。(4時間)				
6	矯正施設と処遇	矯正施設について学ぶ				事前に矯正施設について調べる。事後にこの施設の種類・沿革など整理してまとめる。(4時間)				
7	医療観察制度の概要	医療観察制度について学ぶ				事前学修として、この制度を調べる。事後学修として、制度の変遷と現状を理解する。(4時間)				
8	まとめ	更生保護における近年の動向と課題				事前に今までの復習を行う。事後学修として、今後の動向について理解する。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「法学」高橋雅夫編(弘文堂) ISBN:978-4-335-00226-7(生協で購入してください。) 「ポケット六法」井上正仁・能見善久ほか編(有斐閣) ISBN:9784641009158(生協で購入してください。)				出席レポート:10% 定期試験:90% Sは授業内容を高度に理解して課題や発展的問題が解ける。Aは授業内容を理解して応用問題や課題が解ける。Bは授業内容をおおよそ理解して応用問題や課題がほぼ解ける。Cは授業内容の6割程度を理解している。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
授業中に指示します。				身近で利用頻度の高い法律を学ぶ以上、常に問題意識を持って授業に臨み、今後の大学生活および社会生活に役立ててください。講義計画に該当する内容をテキストから探し、事前に読んでおいてください。						

科目名	社会保障論		学年学期	3・4年前期	単位数	2	ナバ'リング	TC36067	研究室	非常勤
担当者	荒川 豊		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格	社会福祉士				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)							
		A	B	C						
授業概要										
現代の日本社会では高齢化、少子化、などの大きな社会問題が起きています。そうした社会状況の中で社会保障のもつ意義は増大し、我が国の一般歳出の多くを社会保障費が占めるようになり、更にその費用は年々増加しています。本講義では、社会保障制度の考え方や歴史等を踏まえ、各種社会保障制度の概要と現状について理解ができるように講義をします。										
学修到達目標										
この講義では、社会保障についての基本的な知識の習得を目的とするとともに、社会福祉士などの国家試験に対応した知識の習得を目的とします。よって、本講義は国家資格である社会福祉士に合格できる水準以上の知識の習得を目標とします。										
授業の進め方										
指定したテキストを用いながら、適宜、新聞や雑誌の社会保障に関連する記事も取り上げ、時にグループワークも取り入れながら、テキストの中の知識と具体的な事例を結びつけて理解できるようにします。小テストを3回実施し、学びの振り返りの作業を行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス。社会保障とは何を学ぶのか。そして臨床にどう活かすのか。	授業概要、学習目標、授業の進め方、評価の仕方、について説明します。生活する上でのリスクを学生に列挙していただき、社会保障というシステムが存在する根拠を解説します。				テキストの「はじめに」～序章を事前に読み、不明な点は自ら調べ予習しておく(4時間)。				
2	社会保障の概念、理念、形成と展開を理解する。	社会保障の概念や対象及びその理念等について、発達過程も含めて説明します。欧米における社会保障の形成と展開と、日本における社会保障の形成と展開を比較し解説します。				テキストの第1章の該当箇所を読み、不明な点は自ら調べ予習して授業に臨む(4時間)。				
3	社会保障の方法と財源構成を理解する。	社会保険方式と社会扶助方式の仕組み、及び両者の関係を解説し、社会保障制度の体系と財源を説明します。「保険」の概念を解説します。				テキストの第2章を事前に読み、不明な点は自ら調べ予習しておく(4時間)。				
4	医療保険制度を理解する	医療保険制度の沿革と体系及び国民皆保険制度を解説するとともに、国民健康保険、健康保険の概要について説明します。				テキストの第4章の該当箇所を事前に読み、不明な点は自ら調べ予習しておく(4時間)。				
5	医療保険制度を理解する	共済保険組合、後期高齢者医療制度の概要について説明します。グループワークを用いて、理解を深めます。				受講後は各医療保険の種類・加入者・特徴を一覧表にまとめるなどして事後学修をする(4時間)。				
6	保険医療制度と医療給付体制を理解する。	医療組織、診療報酬制度、医療提供施設等について説明します。第1回～5回までの授業内容について小テスト を行い、答え合わせを通じて学びの振り返りをします。				テキスト第4章の該当箇所を事前に読む。第1回～5回までの復習をしてから小テストに臨む(4時間)。				
7	公的年金制度の体系と概要を理解する	年金保険の仕組み、国民皆年金などの現在の公的年金制度の体系、及び国民年金、厚生年金、旧共済年金の解説をします。グループディスカッションにて、職業と加入する年金の関係と特徴を整理します。				テキスト第3章を事前に読み、不明な点は自ら調べ予習しておく(4時間)。				
8	公的年金制度の体系と概要を理解する	国民年金、厚生年金、旧共済年金それぞれの老齢年金、障害年金、遺族年金について解説します。				テキスト第3章を事前に読み、不明な点は自ら調べ予習しておく(4時間)。				
9	公的年金制度をめぐる諸問題と企業年金を理解する。	確定拠出年金をはじめとする企業年金を説明します。また、消えた年金問題、主婦年金問題、空洞化など、年金制度が抱える諸問題を解説します。小テスト を行い、答え合わせを通じて学びの振り返りをします。				テキスト第8章の該当箇所を事前に読む。第6回～8回までの復習をしてから小テストに臨む(4時間)。				
10	労働保険制度の概要を理解する。	雇用保険制度と労働者災害補償保険制度、それぞれの沿革、概要、諸問題を解説し、各給付内容について説明します。新聞記事から実際の事例や動向を紹介しします。				テキスト第6章を事前に読み、わからない点は自ら調べ予習しておく(4時間)。				
11	介護保険制度の沿革と概要を理解する。	我が国が介護保険制度の創設に至った背景、経緯を解説し、その概要(保険者・被保険者・要介護認定・サービス内容)を説明します。				テキスト第5章の該当箇所を事前に読む。不明な点は自ら調べ予習しておく(4時間)。				
12	介護保険制度を支援者の実践を通じて、相談現場での即戦力を目指す。	我が国の介護保険制度の概要(利用者負担・保険料・財源構成等)を説明した後、介護保険制度を利用する場面のロールプレイを行います。				テキスト第5章を事前に読み、前回授業も復習し、ロールプレイが円滑にできるようにする(4時間)。				
13	社会扶助の概要を理解する。	我が国の社会扶助の種類と内容を説明し、現状と課題を整理します。また、社会保険方式と社会扶助方式の財源構成について再度整理します。				テキスト第7章を事前に読む。学生自身が生活で受給した社会扶助をご家族と話し合う(4時間)。				
14	公的保険制度と民間保険制度の関係について理解する。	公的保険制度では対応しきれない部分を、民間保険(生命保険・自動車保険・火災地震保険等)がどのようにカバーし、その役割を果たしているのか、活用例を基に紹介しします。小テスト を行います。				テキスト第8章を事前に読む。第10回～13回の内容の復習をしてから小テストに臨む(4時間)。				
15	社会保障の総合的な活用法を理解する。全体のまとめ。	自然災害を例に、グループワークを通じて、事例ごとにどのような社会保障が活用できるのか、これまで学んだ各社会保障制度を総合的に学びます。また、ベーシック・インカム理論について説明します。				第1回～14回までのテキストや資料に目を通し、グループワークができるようにしておく(4時間)。				
テキスト		成績評価の方法・基準								
「社会保障<第6版>」阿部裕二著(弘文堂) ISBN:978-4-335-61195-7(生協で購入してください。)		受講態度:30% 小テスト:20% 定期試験:50% S:小テスト及び定期試験において高得点且つ授業内容を深く理解した上での質問等積極的な授業態度がみられる。A:小テスト及び定期試験において高得点且つ積極的な授業態度がみられる。B:小テスト及び定期試験においておおむね7割以上の正答があり、授業内容を理解し、与えられた課題に取り組みることができる。C:小テスト及び定期試験においておおむね6割以上の正答があり、授業内容をおおよそ理解し、与えられた課題に取り組み姿勢がみられる。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
なし		社会福祉士、福祉教員を目指す学生の履修が望ましい科目ですが、社会保障を積極的に学びたい方の履修も可能です。社会福祉士の受験資格の取得を目指す学生は、必ず通年で社会保障論Iと を合わせて履修してください。								

科目名	社会保障論		学年学期	3・4年後期	単位数	2	ナバ`リング	TC36068	研究室	非常勤
担当者	荒川 豊		必修選択	選択	科目種別	講義	ワイアワ-			
関連資格	社会福祉士				履修条件	次の科目を修得していること。 社会保障論				
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)							
		A	B	C						
授業概要										
この科目は社会福祉士の受験資格取得を目的とする科目です。社会保障論Iの履修を前提に、社会保険を中心とした社会保障制度(医療保険制度、年金保険制度、労働保険制度、介護保険制度)と、社会手当や生活保護制度を取り上げ、社会保障制度が他の公的社会福祉サービスにどのように関連し活かされるのか整理します。また、各種社会保障制度を活用したソーシャルワークなど、所得保障に対する具体的な援助について理解を深めることを目的とします。										
学修到達目標										
この講義では、社会保険についての基本的な知識の習得を目的とするとともに、社会福祉士などの国家試験に対応した知識の習得を目的とします。よって、本講義は国家資格である社会福祉士に合格できる水準以上の学修を到達目標とします。										
授業の進め方										
社会保障の基本的な概念や理論を踏まえた上で、ソーシャルワーカーの具体的な実践例を取り上げ、時にグループワークも取り入れながら理解を深めます。また、小テストを3回実施し振り返りの作業を行います。アウトキャンパスを1回予定します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス。社会保障の振り返り。	授業概要、学習目標、授業の進め方、評価の仕方、について説明します。また、事例をもとに、社会保障論 で学んだ各社会保障制度を、グループワークを用いて振り返ります。				テキスト及び社会保障論 の授業内容を事前に確認する(4時間)。				
2	社会保障の給付と負担の現状を理解する。	社会保障給付費の動向を、ここ数年の新聞記事も用いながら解説します。同時に、我が国の予算と其中で社会保障が占める割合や社会保障関係費について説明します。				テキストの第10章の該当箇所を事前に読み、不明な点は自ら調べ予習しておく(4時間)。				
3	医療保険制度とその具体的内容	医療保険制度の基礎知識のおさらいをするとともに、任意継続と傷病手当金について詳しく解説します。				テキスト第4章の該当箇所を事前に読み、不明な点は自ら調べ予習しておく(4時間)。				
4	医療保険制度とその具体的内容	医療保険制度の基礎知識のおさらいをするとともに、高額療養費制度と限度額適用認定証について詳しく解説します。提示した事例をグループワークを通して解き明かすことで実践力を高めます。				テキスト第4章の該当箇所を事前に読み、不明な点は自ら調べ予習しておく(4時間)。				
5	医療保険制度とその具体的内容	医療保険制度の基礎知識のおさらいをするとともに、福祉医療給付費制度について詳しく解説します。社会保障制度の総合的な利用を、グループディスカッションを通して答えを導き、実践力を高めます。				社会保障論 も含めて習得した社会保障制度を、総合的に利用できるよう復習しておく(4時間)。				
6	労働保険制度とその具体的内容	雇用保険制度の具体的な給付内容を解説します。新聞記事から実際の事例や動向を紹介します。第1回~5回までの授業内容について小テストを行い、答え合わせを通じて学びの振り返りをします。				対し第6章の該当箇所を事前に読む。第1回~5回までの復習をしてから小テストに臨む(4時間)。				
7	労働保険制度とその具体的内容	労働者災害補償保険制度の具体的な給付内容を解説します。昨今急増している精神障害の請求についても、新聞記事から実際の事例や動向を紹介し、課題を整理します。				テキスト第6章の該当箇所を事前に読み、不明な点は自ら調べ予習しておく(4時間)。				
8	介護保険制度とその具体的内容	社会保障論 で習得した知識を基に、介護保険制度を利用する場面(保険料の相談や財源について)のロールプレイを行い、理解を深めます。				テキスト第5章を事前に読み、ロールプレイに備える(4時間)。				
9	介護保険制度とその具体的内容	高額介護サービス費、特定入所者介護サービス費、高額医療・高額介護合算療養費の解説をした上で、介護保険制度を利用する場面のロールプレイを行い、理解を深めます。				テキスト第5章を事前に読み、ロールプレイに備える(4時間)。				
10	社会保障制度の国際動向の理解。	諸外国における社会保障制度の概要について解説します。小テスト を行い、答え合わせを通じて学びの振り返りをします。				テキスト第11章を事前に読む。第6回~9回までの復習をしてから小テストに臨む(4時間)。				
11	年金保険制度とその具体的内容	年金制度全般の復習と、老齢年金と遺族年金の具体的な請求方法をグループワークを用いながら整理します。				テキスト第3章の該当箇所を事前に読み、不明な点は自ら調べ予習しておく(4時間)。				
12	年金保険制度とその具体的内容	障害年金の請求事例を紹介し、障害別の具体的な請求方法をグループごとに検討していきます。障害基礎年金、障害厚生年金、旧障害共済年金の差異に関しても整理します。				テキスト第3章の該当箇所を事前に読み、グループワークに備える(4時間)。				
13	社会保障の総合利用と権利擁護について理解する。	年金の審査請求と再審査請求の事例を紹介しながら、社会保障が果たす権利擁護と社会保障制度の組み合わせについて解説します。また、アウトキャンパスの事前準備を行います。				テキスト第9章の該当箇所を事前に読み、不明な点は自ら調べ予習しておく(4時間)。				
14	アウトキャンパスで、机上では学べない年金制度について理解する。	アウトキャンパスとして年金事務所へ訪問します。自身の年金の納付記録の照会作業や年金手帳の再発行、学生納付特例の申請などの実際の手続きを通して(希望者のみ)、年金制度を理解します。				アウトキャンパスの準備。持ち物は講義内で説明。事後として小レポートを作成する(4時間)。				
15	アウトキャンパスの振り返りと全体的なまとめ。	小レポートを通してアウトキャンパスの振り返りをします。また、経済状況と社会保障の関係について説明します。小テスト を行います。				第10回~14回の内容に関する小テストを行うため、同期間の復習をしてからテストに臨む(4時間)。				
テキスト		成績評価の方法・基準								
「社会保障<第5版>」阿部祐二編(弘文堂) ISBN:978-4-335-61178-0(生協で購入してください。)		受講態度:30% 小テスト:20% 定期試験:50% S:小テスト及び定期試験において高得点且つ授業内容を深く理解した上での質問等積極的な授業態度がみられる。A:小テスト及び定期試験において高得点且つ積極的な授業態度がみられる。B:小テスト及び定期試験においておおむね7割以上の正答があり、授業内容を理解し、与えられた課題に取り組むことができる。C:小テスト及び定期試験においておおむね6割以上の正答があり、授業内容をおおよそ理解し、与えられた課題に取り組む姿勢がみられる。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
なし		社会福祉士受験資格の取得を目指す学生が、履修をすることができます。また、社会福祉士の受験資格の取得を目指す学生は、必ず通年で1と をあわせて履修してください。								

科目名	ソーシャルワーク		学年学期	2年前期	単位数	2	ナバリング	TC26069	研究室	非常勤
担当者	杉本 博志		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスワ-			
関連資格	社会福祉士				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
<p>本科目は、2年後期に開講する「ソーシャルワーク」と併せて、社会福祉士の指定科目である「相談援助の基盤と専門職」の知識の修得が基本的な目標です。内容として、現代社会とソーシャルワーク、ソーシャルワーカーの資格と仕事、ソーシャルワークの定義と歴史、ソーシャルワークを支える理念、を中心に学びます。</p>										
学修到達目標										
<p>ソーシャルワークと併せて学習し、ソーシャルワークの定義・歴史・理念と、ソーシャルワーク専門職である社会福祉士に求められる姿勢を理解し、その概要を説明できる。</p>										
授業の進め方										
<p>テキストとレジュメを中心とした講義形式で進めます。内容の理解を深めるため、グループワークやアウトキャンパススタディを取り入れることがあります。</p>										
<p>授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。</p>										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	講義全体の基本的な説明をします				講義の目的や概要を再確認すること(4時間)				
2	現代社会とソーシャルワーク(1)	現代社会と地域福祉について考えます				事前課題を準備しておくこと(4時間)				
3	現代社会とソーシャルワーク(2)	ソーシャルワークの全体像を大まかにとらえます				テキスト第1章第1~4節を読み、復習すること(4時間)				
4	現代社会とソーシャルワーク(3)	ソーシャルワークが実践される分野や場面について学びます				テキスト第1章第5節を読み、復習すること(4時間)				
5	ソーシャルワーカーの資格と仕事(1)	ソーシャルワーカーの資格について学びます				テキスト第2章第1~4節を読み、復習すること(4時間)				
6	ソーシャルワーカーの資格と仕事(2)	ソーシャルワーカーを支える職能団体について学びます				テキスト第2章第5節を読み、復習すること(4時間)				
7	ソーシャルワーカーの資格と仕事(3)	ソーシャルワーカーの仕事の現場を見学します				事前課題を期日までに提出すること(4時間)				
8	ソーシャルワーカーの資格と仕事(4)	ソーシャルワーカーの仕事の現場を見学します				事後課題を期日までに提出すること(4時間)				
9	ソーシャルワークの定義(1)	ソーシャルワークの諸定義とその変遷経過を学びます				テキスト第3章第1節を事前に読んでおくこと(4時間)				
10	ソーシャルワークの定義(2)	ソーシャルワークのグローバル定義の内容と理念を学びます				テキスト第3章第1節を読み、復習すること(4時間)				
11	ソーシャルワークの歴史(1)	ソーシャルワークの誕生の歴史を学びます				テキスト第3章第2節を読み、復習すること(4時間)				
12	ソーシャルワークの歴史(2)	ソーシャルワークの発展の歴史を学びます				テキスト第3章第3節を読み、復習すること(4時間)				
13	ソーシャルワークの歴史(3)	現代のソーシャルワークに至る歴史とその理念を学びます				テキスト第3章第4節を読み、復習すること(4時間)				
14	ソーシャルワークの歴史(4)	日本におけるソーシャルワークの形成過程を学びます				テキスト第3章を通読し、内容の理解を深めること(4時間)				
15	まとめ	講義を振り返り、内容を再確認します				これまでの学びを復習しておくこと(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
<p>「ソーシャルワーク」空閑浩人、編著(ミネルヴァ書房) ISBN:978-4-623-07238-5(生協で購入してください。)</p>				<p>定期試験:50% 課題:30% 受講態度:20% S:試験の得点、課題の取組・内容の達成度が90%以上で、非常に積極的に聴講・参加できる A:試験の得点、課題の取組・内容の達成度が80%以上で、積極的に聴講・参加できる B:試験の得点、課題の取組・内容の達成度が70%以上で、誠実に聴講・参加できる C:試験の得点、課題の取組・内容の達成度が60%以上で、聴講・参加できる</p>						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
<p>随時紹介します。</p>				<p>社会福祉士に係る指定科目取得のためには2年後期科目「ソーシャルワーク」とあわせて履修する必要があります。</p>						

科目名	ソーシャルワーク		学年学期	2年後期	単位数	2	ナパ'リング	TC26070	研究室	非常勤
担当者	杉本 博志		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格	社会福祉士				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)							
		A	B	C						
授業概要										
<p>本科目は、2年前期に開講する「ソーシャルワーク」と併せて、社会福祉士の指定科目である「相談援助の基盤と専門職」の知識の修得が基本的な目標です。内容として、ソーシャルワークを支える理念、ソーシャルワークと倫理、ソーシャルワークと権利擁護、多職種連携とソーシャルワーカー、を中心に学びます。</p>										
学修到達目標										
<p>ソーシャルワークと併せて学習し、ソーシャルワークの理念と、ソーシャルワーク専門職である社会福祉士に求められる価値・倫理の理解をふまえ、総合的かつ包括的な相談援助の考え方を説明できる。</p>										
授業の進め方										
<p>テキストとレジュメを中心とした講義形式で進めます。内容の理解を深めるため、グループワークやアウトキャンパススタディを取り入れることがあります。</p>										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	講義全体の基本的な説明をします				講義の目的や概要を再確認すること(4時間)				
2	ソーシャルワークを支える理念(1)	ソーシャルワークを支える理念について考えます				テキスト第4章第1～2節を事前に読んでおくこと(4時間)				
3	ソーシャルワークを支える理念(2)	ソーシャルワークにおける「利用者本位」と「自立支援」を学びます				テキスト第4章第3～4節を読み、復習すること(4時間)				
4	ソーシャルワークを支える理念(3)	ノーマライゼーションと社会的包摂について学びます				テキスト第4章第5節を読み、復習すること(4時間)				
5	ソーシャルワークの倫理(1)	ソーシャルワーク専門職の倫理綱領について学びます				テキスト第5章第1～2節を読み、復習すること(4時間)				
6	ソーシャルワークの倫理(2)	倫理的ジレンマについて学びます				テキスト第5章第3節を事前に読んでおくこと(4時間)				
7	ソーシャルワークの倫理(3)	倫理的ジレンマについて考えます				テキスト第5章第3節を読み、復習すること(4時間)				
8	ソーシャルワークと権利擁護(1)	権利擁護とは何かについて学びます				テキスト第7章第1～2節を読み、復習すること(4時間)				
9	ソーシャルワークと権利擁護(2)	権利擁護のソーシャルワーク実践について学びます				テキスト第7章第3節を読み、復習すること(4時間)				
10	多職種連携とソーシャルワーカー(1)	総合的かつ包括的な援助について学びます				テキスト第8章第1節を読み、復習すること(4時間)				
11	多職種連携とソーシャルワーカー(2)	地域における多職種連携について考えます				テキスト第8章第2節を読み、復習すること(4時間)				
12	多職種連携とソーシャルワーカー(3)	地域における多職種連携の現場を見学します				参考に、テキスト第6章を事前に読んでおくこと(4時間)				
13	多職種連携とソーシャルワーカー(4)	総合的かつ包括的な援助について考えます				課題を期日までに提出すること(4時間)				
14	多職種連携とソーシャルワーカー(5)	ジェネラリスト・ソーシャルワークの展開について学びます				テキスト第8章第3～4節を読み、復習すること(4時間)				
15	まとめ	講義を振り返り、内容を再確認します				これまでの学びを復習しておくこと。(4時間)				
テキスト			成績評価の方法・基準							
「ソーシャルワーク」空閑浩人、編著(ミネルヴァ書房) ISBN:978-4-623-07238-5(生協で購入してください。)			定期試験:50% 課題:30% 受講態度:20% S:試験の得点、課題の取組・内容の達成度が90%以上で、非常に積極的に聴講・参加できる A:試験の得点、課題の取組・内容の達成度が80%以上で、積極的に聴講・参加できる B:試験の得点、課題の取組・内容の達成度が70%以上で、誠実に聴講・参加できる C:試験の得点、課題の取組・内容の達成度が60%以上で、聴講・参加できる							
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)							
随時紹介します。			社会福祉士に係る指定科目取得のためには2年前期科目「ソーシャルワーク」とあわせて履修することが必要です。							

科目名	社会福祉援助技術			学年学期	2年前期	単位数	2	ナバリング	TC26071	研究室	非常勤
担当者	八木 航			必修選択	選択	科目種別	講義	オイスアワ-			
関連資格	社会福祉士					履修条件	【資格・免許取得希望者のみ履修可】				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
社会福祉援助技術は、相談援助における【人と環境との相互作用】に関する理論について理解するとともに、社会福祉の方法について基本的な知識を体系的に学習することを目的とします。さらに、相談援助の実践モデルについても理解を深めます。											
学修到達目標											
1. 「人と環境との相互作用」の意味を学生が説明できる。 2. 社会福祉士国家試験位関連する知識を習得する。											
授業の進め方											
社会福祉士国家試験受験資格取得に係る指定科目であり、基本的にはテキストにより講義を進めます。加えて、この知識を実践現場や実習で活用できるようにするため、具体的な事例の紹介もおこないます。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	オリエンテーション	社会福祉援助技術 を始めるにあたって					本講義の目的や概要を復習しておくこと。(4時間)				
2	相談援助とは	「相談援助」に関する全体像を理解する。					テキスト序章を事前に読む。本講義で学んだ内容の要点を復習しておくこと。(4時間)				
3	相談援助とは	「相談援助」に関連する「共感的理解」について理解する。					本講義で学んだ内容の要点を復習しておくこと。(4時間)				
4	人間と環境の交互作用	人と環境との交互作用の場としての「生活」を理解する。関連する概念(交互作用、生活空間、生活時間、関係性など)の用語とその意味を理解する。					テキスト第1章を事前に読むこと(4時間)				
5	人間と環境の交互作用	人と環境の「不適合」によってもたらされる「生活ストレス」について説明し、相談援助活動における人間生態学的視点の有効性を理解する。					「人と環境との交互作用」における「生活ストレス」について復習しておくこと。(4時間)				
6	相談援助の原則	相談援助の前提となる基本的視点を明確にする。人間尊重、人間の社会性、変化の可能性といった相談援助活動の価値前提を理解する。					テキスト第2章を事前に読む。(4時間)				
7	相談援助の対象	相談援助の対象となる人間とは、どのような人々なのかについて理解する。					テキスト第3章を事前に読み、対象者がおかれている、社会的環境とは何かを考えておく(4時間)				
8	相談援助の実践モデル	生活モデルの特徴を理解し、ソーシャルワークにおける意義を理解する。					テキスト第4章を事前に読んでおくこと。(4時間)				
9	相談援助の実践モデル	ストレングスモデルの特徴を理解し、治療・医療モデル、生活モデルとの違いを理解する。					本講義で学んだ内容を復習しておくこと。(4時間)				
10	福祉の現場	ゲストスピーカーから、実際の活動のお話を聞きます。					授業後に感想を1ページ書くこと。(4時間)				
11	相談援助のアプローチ	相談援助のアプローチとは何か、またその歴史的変遷を含めた全体像を理解する。					テキスト第5章1から3を事前に読んでおくこと。(4時間)				
12	相談援助のアプローチ	相談援助におけるアプローチの種類と概要や人名、アプローチごとの援助方法や特徴を理解する。					テキスト第5章4から6を事前に読んでおくこと。(4時間)				
13	相談援助のアプローチ	相談援助におけるアプローチの種類と概要や人名、アプローチごとの援助方法や特徴を理解する。					テキスト第5章7から9を事前に読んでおくこと。(4時間)				
14	相談援助の実際	具体的事例を用いることによって、ソーシャルワーカーがどのような視点や実践モデル(アプローチ)を基盤に、相談援助を展開しているのかを理解する。					「人と環境との交互作用」、モデルやアプローチと関連づけて復習しておくこと。(4時間)				
15	講義のまとめ	テストに向けて復習をします。					これまでの学びを復習しておくこと。(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「相談援助の理論と方法」柳沢孝主・板野憲司編(弘文堂) ISBN:978-4-335-61161-2(生協で購入してください。)					レポート:30% 定期試験:40% 受講態度:20% 課題:10% 授業への参加度に関しては講義を聞く姿勢、授業態度に関しては、講義を聞く姿勢、ディスカッション等への貢献度合いなどで判断します。 レポートは、相談援助の対象者に関して調べて書き、発表を授業中にしてもらいます。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「新・社会福祉士養成講座7 相談援助の理論と方法I」社会福祉士養成講座編集委員会編(中央法規) ISBN:978-4-8058-3254-7 社会福祉援助技術IIでサブテキストとして使用します					社会福祉士国家資格の受験を目指す人は、3年に開講する社会福祉援助技術とを併せて履修してください。						

科目名	社会福祉援助技術		学年学期	2年後期	単位数	2	ナバ'リング	TC26072	研究室	非常勤
担当者	八木 航		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスアワ-			
関連資格	社会福祉士				履修条件	【資格・免許取得希望者のみ履修可】				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
社会福祉援助技術は、相談援助における人と環境と相互作用に関する論理について理解するとともに、社会福祉の方法について基礎的な知識を体系的に学習することを目的とします。さらに、相談援助の実際についても理解を深めます。										
学修到達目標										
社会福祉の現場で役立つ技術の基礎知識を習得すること。 ディスカッション等を通じ、相談援助に役立つコミュニケーション能力や対人関係構築能力を磨くこと。										
授業の進め方										
テキストや配布資料を基に講義を進めます。グループディスカッションや現場での具体的な事例を通じて、学習内容の理解を深めます。グループワークによるプレゼンテーションもあります。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	オリエンテーション	講座の流れを説明します。				事前・シラバスの内容等わからないところがないか確認すること。事後・自己紹介文(4時間)				
2	I. 相談援助のための面接技術	援助の実践を支えるコミュニケーション理論、ソーシャルワークにおける面接とは何か学習します。				テキストA第8章・配布資料を事前に読む。(4時間)				
3	I. 相談援助のための面接技術	面接の目的や特徴・構造・場所などに関して詳しく学習していきます。				テキストA第8章・B12章-1を事前に読む。自己目標の設定を課題として出します。(4時間)				
4	I. 相談援助のための面接技術	面接の位置、面接技法を紹介し、実際に体験してもらいます。				テキストA第6章-5、第8章・B12章-3を事前に読む。(4時間)				
5	II. 相談援助の過程と技術	事例を通して相談援助の過程の概要を紹介します。				面接に関するプリントを課題として出します。(4時間)				
6	II. 相談援助の過程と技術	ケース発見・インテーク・アセスメントに用いる技術を事例を通して学習します。				テキストA第6章-1,2,3を事前に読む。エコマップの作成を課題として出します。(4時間)				
7	II. 相談援助の過程と技術	アセスメント・プランニング(目標設定)に用いる技術を事例を通して学習します。				A第6章-4・B8章-2を事前に読む。(4時間)				
8	II. 相談援助の過程と技術	プランニング(目標設定・留意点)・契約に用いる技術を事例を通して学習します。				テキストB第8章-2から6を事前に読む。(4時間)				
9	II. 相談援助の過程と技術	インターベンション・モニタリングに用いる技術を事例を通して学習します。				テキストA第6章-5,6を事前に読む。(4時間)				
10	II. 相談援助の過程と技術	モニタリング・エヴァリュエーション終結に用いる技術を事例を通して学習します。				テキストB第11章3を事前に読む。(4時間)				
11	II. 相談援助の過程と技術	ターミネーション・アフターケア・アウトリーチに関する技術を事例を通して学習します。				テキストA第6章7,8・B第7章-1を事前に読む。(4時間)				
12	III. 福祉の現場	ゲストスピーカーから、実際の活動のお話を聞きます。				授業後に感想を1ページ書くこと。(4時間)				
13	III. 援助関係	援助関係に関して事例を通して学習します。グループレポートを提出してください。				テキストA第7章・最終章を事前に読む。(4時間)				
14	III. 相談援助の実際	実際の現場で、学習してきた技術がどのように活かされているか学習します。グループレポートの発表をします。				自己目標の振り返りを課題として出します。(4時間)				
15	全体まとめ	テストに向けて、復習をします。グループレポートの発表をします。				講座全体の復習をし、わからないところがないか確認すること。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「社会福祉士シリーズ7 相談援助の理論と方法I」柳澤孝主・坂野憲司編(弘文堂) ISBN:978-4-335-61161-2(生協で購入してください。) 「新・社会福祉士養成講座7 相談援助の理論と方法I」社会福祉士養成講座編集委員会編(中央法規) ISBN:978-4-8058-3254-7(生協で購入してください。)				レポート:35% 定期試験:40% 受講態度:15% 課題:10% 授業態度に関しては授業中のディスカッション等への貢献度合いなどで判断します。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
参考になる資料などは講義で配布します				グループワークとしてレポートを提出してもらいます。10月後半に課題の詳しい内容を決めます。提出期限は、第13回目の授業とします。レポート内容の簡単な発表をしてもらいます。						

科目名	社会福祉援助技術			学年学期	3・4年後期	単位数	2	ナパリング	TC36073	研究室	W-25
担当者	尻無浜 博幸			必修選択	選択	科目種別	講義	オイスアワ	水曜日1限		
関連資格	社会福祉士					履修条件	【資格・免許取得希望者のみ履修可】				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
社会福祉援助技術 ． を踏まえ、ここでは相談援助における技術や方法について具体的に学びます。権利擁護活動を含め相談援助の実際を広く事例を通して理解します。											
学修到達目標											
相談援助に携わるために必要な知識・技術を学び、自身の「援助観」を持つことができる。											
授業の進め方											
講義では、教科書を用いて授業を進めますが、より具体的な実践事例を取り上げて、その意義と一緒に考える機会を多くつくります。グループワークや、1回程度のアウトキャンパスを実施します。その都度小テストを実施、次の時間に解説しフィードバックします。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	ガイダンス	相談援助の援助関係とは					テキストを見直すこと(事前2時間事後2時間)				
2	面接技術	面接に関する技術について学びます					自分の話し方のくせ等を確認しておくこと(事前2時間事後2時間)				
3	相談援助におけるマネジメント	ケアマネジメント等について学びます					事前課題を行うこと(事前2時間事後2時間)				
4	ケース(ケア)マネジメントの事例	事例を通してマネジメントを学びます					事前課題を行うこと(事前2時間事後2時間)				
5	アウトリーチ	アウトリーチの意義					テキストを読んでおくこと(事前2時間事後2時間)				
6	社会資源の活用	社会資源とは何か、を学びます					事前課題を行うこと(事前2時間事後2時間)				
7	社会資源の開発	新たな資源を開発するには、何を行うかを学びます					事前課題を行うこと(事前2時間事後3時間)				
8	ネットワーキング(1)	ネットワーキングの意味を学びます					事前課題を行うこと(事前2時間事後2時間)				
9	ネットワーキング(2)	ネットワーキングの実際を事例を通して学びます					事前課題を行うこと(事前2時間事後2時間)				
10	グループワーク(1)	グループワークの原則を学びます					テキストを読んでおくこと(事前2時間事後2時間)				
11	グループワーク(2)	グループワークの方法(実際)を学びます					テキストを読んでおくこと(事前2時間事後2時間)				
12	スーパービジョン	スーパービジョンの意義を学びます					テキストを読んでおくこと(事前2時間事後2時間)				
13	記録(1)	記録の意義を学びます					テキストを読んでおくこと(事前3時間事後2時間)				
14	記録(2)	記録の実際(技術)を学びます					事前課題を行うこと(事前3時間事後2時間)				
15	まとめ	全体まとめを行います					全体の振り返りを行っておくこと(事前2時間事後2時間)				
テキスト						成績評価の方法・基準					
「新・社会福祉士養成講座8 相談援助の理論と方法 第3版」社会福祉士養成講座編集委員会編(中央法規出版) ISBN:978-4-8058-5104-3(生協で購入してください。)この書籍を社会福祉援助技術 と でテキストとして使用します						定期試験:50% 課題:30% 実技:20% S:授業内容を高度に理解し、自身の考え・意見を交えながら、積極的に課題に取り組むことができる。A:授業内容を理解し、積極的に課題に取り組むことができる。B:授業内容をほぼ理解し、課題に対し誠実に取り組むことができる。C:授業内容の60%程度を理解し、課題に取り組むことができる。					
参考書						履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「社会福祉六法」(新日本法規) 制度の動きが多いため、最新版をチェックしてください。						社会福祉士受験資格を目指す学生は、2年の社会福祉援助技術 ． の取得後に履修すること。重要な社会福祉の専門科目であるので、必ず予習して受講してください。					

科目名	社会福祉援助技術			学年学期	3・4年後期	単位数	2	ナパリング	TC36074	研究室	W-30
担当者	今村 篤史			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	木曜日2限		
関連資格	社会福祉士					履修条件	【資格・免許取得希望者のみ履修可】				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
社会福祉援助技術 を踏まえ、相談援助実践におけるさまざまなモデルとアプローチについて理解するとともに、事例研究を通して相談援助の実践について学びます。											
学修到達目標											
相談援助におけるモデルやアプローチの特徴と利点について説明できるようになる。 事例において相談援助の技術がどのように展開されているか説明できるようになる。											
授業の進め方											
テキストを用いた講義形式で進めていきますが、学修内容の特質上、グループワーク等のアクティブラーニングも取り入れるとともに、理解を深めるために課題を用いたフィードバックを行います。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	相談援助における実践モデルについて	相談援助における実践モデルとその意味					事前にテキスト第6章を通読し、事後に講義内容を整理する。(事前2時間事後2時間)				
2	相談援助におけるアプローチ(1)	心理社会的アプローチ・機能的アプローチ・問題解決アプローチ					事前にテキスト第7章1～3節を通読し、事後に講義内容を整理する。(事前2時間事後2時間)				
3	相談援助におけるアプローチ(2)	課題中心アプローチ・危機介入アプローチ・行動変容アプローチ					事前にテキスト第7章4～7節を通読し、事後に講義内容を整理する。(事前2時間事後2時間)				
4	相談援助におけるアプローチ(3)	エンパワメントアプローチ・ナラティブアプローチ					事前にテキスト第8章1～2節を通読し、事後に講義内容を整理する。(事前2時間事後2時間)				
5	相談援助におけるアプローチ(4)	認知アプローチ・実存主義アプローチ等					事前にテキスト第8章3～6節を通読し、事後に講義内容を整理する。(事前2時間事後2時間)				
6	スーパービジョン	スーパービジョンの意義、目的と方法					事前にテキスト第9章1～2節を通読し、事後に講義内容を整理する。(事前2時間事後2時間)				
7	コンサルテーション	コンサルテーションの目的と意義					事前にテキスト第9章3節を通読し、事後に講義内容を整理する。(事前2時間事後2時間)				
8	ケースカンファレンス	ケースカンファレンスの意義、目的と展開					事前にテキスト第10章を通読し、事後に講義内容を整理する。(事前2時間事後2時間)				
9	相談援助における個人情報の保護	個人情報保護の考え方と展開及び制度					事前にテキスト第11章を通読し、事後に講義内容を整理する。(事前2時間事後2時間)				
10	事例研究とは(1)	事例研究の目的と意義及び方法					事前にテキスト第13章1～2節を通読し、事後に講義内容を整理する。(事前2時間事後2時間)				
11	事例分析とは(2)	事例分析の目的と意義及び方法					事前にテキスト第13章3～4節を通読し、事後に講義内容を整理する。(事前2時間事後2時間)				
12	相談援助の実際(1)	社会的排除、児童虐待、DVに関する事例					事前に資料を通読し、事後にワークの内容を整理する。(事前2時間事後2時間)				
13	相談援助の実際(2)	ホームレス、認知症、外国人に関する事例					事前に資料を通読し、事後にワークの内容を整理する。(事前2時間事後2時間)				
14	相談援助の実際(3)	防災、障がいに関する事例					事前に資料を通読し、事後にワークの内容を整理する。(事前2時間事後2時間)				
15	ゲストスピーカーによる講話とまとめ	現職の相談援助職による講話と講義全体のまとめ					事前にゲストスピーカーの職種・職場について調べ、事後に本講義の論点をまとめる。(4時間)				
テキスト						成績評価の方法・基準					
「新・社会福祉士養成講座8 相談援助の理論と方法 第3版」社会福祉士養成講座編集委員会編(中央法規出版) ISBN:978-4-8058-5104-3(生協で購入してください。)						定期試験:40% 課題:40% 実技:20% S:定期試験の得点、課題、実技(演習)への取組みと内容の達成度において90%以上A:定期試験の得点、課題、実技(演習)への取組みと内容の達成度において80%以上B:定期試験の得点、課題、実技(演習)への取組みと内容の達成度において70%以上C:定期試験の得点、課題、実技(演習)への取組みと内容の達成度において60%以上					
参考書						履修上の注意(学生へのメッセージ)					
適宜紹介します。						社会福祉士受験資格を目指す学生は必修科目になります。 【実務経験のある教員が担当】実務経験の内容:社会福祉法人においてソーシャルワーカーとして勤務した。					

科目名	社会福祉調査			学年学期	3・4年後期	単位数	2	ナバリング	TC36075	研究室	W-29
担当者	畑井 治文			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	火曜日3限		
関連資格	社会福祉士					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
本講義の目的は、福祉施策や福祉サービスを実践するための理論的な裏づけとなるデータ(例えば潜在的な問題やニーズ、施策やサービスがもたらす効果など)の収集・分析方法を学ぶことです。講義の中では、社会福祉調査の仕組み、統計調査などの量的調査、事例調査などの質的調査の実施方法について解説していきます。											
学修到達目標											
社会福祉調査(量的調査及び質的調査)の設計、企画、調査票作成、実査、分析といった一連の過程について学び、それらを説明できるようになること、社会福祉士国家試験に必要な知識を習得することが目標です。											
授業の進め方											
教室での講義を主としますが、授業内容に応じて一部ディスカッションも取り入れていきます。また社会福祉士国家試験問題(過去問)も活用しながら進めていきます。授業内で実施した小テストについては、添削・返却・解説といった方法でフィードバックします。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	ガイダンス	社会福祉調査が求められる背景や意義などについて解説します。					今回の内容を復習すると同時に、テキスト第1章の内容を確認してきて下さい。(4時間)				
2	社会福祉調査の概要	社会福祉調査における対象と方法について解説します。					今回の内容を復習すると同時に、テキスト第1章の内容を確認してきて下さい。(4時間)				
3	社会福祉調査の倫理	社会福祉調査における倫理の必要性、個人情報保護に関する経緯とその必要性について解説します。					今回の内容を復習すると同時に、テキスト第2章、第4章の内容を確認してきて下さい。(4時間)				
4	社会福祉調査における量的調査	量的調査の概要について解説するとともに、量的調査の長所(得意な部分)及び短所(不得意な部分)を紹介します。					今回の内容を復習すると同時に、テキスト第2章、第4章の内容を確認してきて下さい。(4時間)				
5	社会福祉調査における量的調査	量的調査における全数調査と標本調査の概要とその相違点について解説します。					今回の内容を復習すると同時に、テキスト第2章、第4章の内容を確認してきて下さい。(4時間)				
6	社会福祉調査における量的調査	横断調査と縦断調査の概要とその相違点について解説します。					今回の内容を復習すると同時に、テキスト第2章、第4章の内容を確認してきて下さい。(4時間)				
7	社会福祉調査における量的調査	量的調査を行うための質問項目の信頼性と妥当性、尺度水準の設定方法について解説します。					今回の内容を復習すると同時に、テキスト第2章、第4章の内容を確認してきて下さい。(4時間)				
8	社会福祉調査における量的調査	調査票(質問紙)の作成における留意点について解説します。また集計と分析手法については、記述統計・基本統計量の求め方から多変量解析まで幅広く紹介していきます。					今回の内容を復習すると同時に、次回実施される小テストに備えて下さい。(4時間)				
9	中間のまとめ	実際の社会福祉調査で用いられた資料を用いながら、量的調査への理解を深めていきます。また授業への理解度を高めるために小テストを実施します。					小テストを復習すると同時に、テキスト第3章、第5章の内容を確認してきて下さい。(4時間)				
10	社会福祉調査における質的調査	質的調査の概要について解説するとともに、質的調査の長所(得意な部分)及び短所(不得意な部分)を紹介します。					今回の内容を復習すると同時に、テキスト第3章、第5章の内容を確認してきて下さい。(4時間)				
11	社会福祉調査における質的調査	質的調査における面接・観察・インタビュー技法の概要とその方法について解説します。					今回の内容を復習すると同時に、テキスト第3章、第5章の内容を確認してきて下さい。(4時間)				
12	社会福祉調査における質的調査	質的調査における分析技法であるグラウンデッド・セオリー・アプローチ法(GTA法)およびKJ法の概要とその分析手法について解説します。					今回の内容を復習すると同時に、テキスト第3章、第5章の内容を確認してきて下さい。(4時間)				
13	社会福祉調査における質的調査	実際の社会福祉調査で用いられた資料を用いながら、質的調査への理解を深めていきます。					今回の内容を復習すると同時に、テキスト第6章の内容を確認してきて下さい。(4時間)				
14	社会福祉調査とICT	社会福祉調査へのICT活用の方法と留意点について解説します。					今回の内容を復習すると同時に、次回実施される小テストに備えて下さい。(4時間)				
15	講義全体のまとめ	定期試験対策プリントを用いながら、これまでの内容を振り返ります。また授業への理解度を高めるために小テストを実施します。					小テストを復習すると同時に、定期試験に備えて下さい。(4時間)				
テキスト						成績評価の方法・基準					
「社会調査の基礎 第4版(社会福祉士シリーズ5)福祉臨床シリーズ編集委員会編(弘文堂) ISBN:978-4-335-61193-3(生協で購入してください。)適宜、講義用プリントも配布します。						出席レポート:20% 小テスト:30% 定期試験:50% S:授業内容を高度に理解して発展問題・課題が解ける。A:授業内容を理解して応用問題・課題が解ける。B:授業内容をおおよそ理解して応用問題・課題がほぼ解ける。C:授業内容の6割程度を理解している。					
参考書						履修上の注意(学生へのメッセージ)					
実際の社会福祉調査において使用された資料、社会福祉士国家試験問題(過去問)なども活用します。						社会福祉士受験資格取得を目指す学生は必ず履修してください。【実務経験のある教員が担当】実務経験の内容:自治体のシンクタンクに勤務し、労働政策の立案に従事。					

科目名	福祉就労支援		学年学期	3・4年後期	単位数	1	ナパ'リング	TC36076	研究室	W-25
担当者	尻無浜 博幸		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	水曜日1限		
関連資格	社会福祉士				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
本講義は、社会福祉について基本的な知識を体系的に学習するとともに、相談援助活動において必要となる各種の就労支援制度について理解することを目的とします。具体的には、就労支援に係る組織、団体及び専門職について理解する 就労支援分野との連携について学びます。										
学修到達目標										
習得すべき事項として、1.雇用・就労の動向と労働施策の概要 2.就労支援制度の概要 3.就労支援に係る組織、団体の役割と実際 4.就労支援に係る専門職の役割と実際 5.就労支援分野との連携と実際 以上の内容理解を目指します。										
授業の進め方										
講義では基本的な概念や理論を踏まえることを重点に取り上げるため、教科書を用いて授業を進めます。必要に応じて、小テストを実施し解説時間を設けてフィードバックします。講義形態は、教室での講義を主として実施します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス	ガイダンス 雇用・就労の動向				事前にテキスト第1章の通読し、また事後に復習を求めます。(事前1時間事後1時間)				
2	福祉就労支援制度	就労支援制度 : 生活保護				事前にテキスト第2章通読し、また事後に復習を求めます。(事前1時間事後1時間)				
3	福祉就労支援制度	就労支援制度 : 障害者福祉				事前にテキスト第4章通読し、また事後に復習を求めます。(事前1時間事後1時間)				
4	福祉就労支援制度	就労支援制度 : 障害者雇用施策				事前にテキスト第5章通読し、また事後に復習を求めます。(事前1時間事後1時間)				
5	福祉就労支援の組織	就労支援に係る組織の役割				事前にテキスト第5章通読し、また事後に復習を求めます。(事前1時間事後1時間)				
6	事例分析	就労支援に係る活動の実際				事前に事例とテキスト第6章を通読。事後にまとめを行う。(事前1時間事後1時間)				
7	福祉就労支援と専門職	専門職の役割と連携				事前にテキスト第5章通読し、また事後に復習を求めます。(事前1時間事後1時間)				
8	まとめ	全体まとめ				事前に課題を提示し、事後に全体総括まとめを行う。(事前2時間事後2時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
「社会福祉士シリーズ18 就労支援サービス第3版」(弘文堂) ISBN:978-4-335-61182-7 (生協で購入してください。)		定期試験:80% 課題:20% S:定期試験および課題の提出と内容のすべてが95%以上 A:定期試験および課題の提出と内容のすべてが80%以上 B:定期試験および課題の提出と内容のすべてが70%以上 C:定期試験および課題の提出と内容のすべてが60%以上 課題は小テストを指します。毎回実施します。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「社会福祉六法 平成31年版」(新日本法規) 「障害者白書 最新版」		社会福祉士受験資格を目指す学生は、他の福祉系科目との関係性を理解しながら講義に参加してください。この講義は、司法福祉(前半)とオムニバス形式となります。【実務経験のある教員】財団法人において福祉事業の指導職。								

科目名	公的扶助論		学年学期	3・4年後期	単位数	2	ナパ'リング	TC36077	研究室	非常勤
担当者	荒川 豊		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格	社会福祉士				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)							
	A	B	C							
授業概要										
非正規雇用、疾病や障害、高齢化、家族関係の希薄化などの社会の背景があり、生活保護受給者数が、生活保護法の施行以来、過去最多を推移する大変な時世を迎えています。このような現代社会において、公的扶助がどのような役割を果たし、機能しているのか説明します。具体的には、公的扶助の理念、歴史、制度の意義について解説すると同時に、ソーシャルワークにおける公的扶助の活用方法など、具体的支援内容についても理解を深めることを目的とします。										
学修到達目標										
この講義では、公的扶助についての基本的な知識の習得を目的とするとともに、社会福祉士などの国家試験に対応した知識の習得を目的とします。よって、本講義は国家資格である社会福祉士に合格できる水準以上の学修を到達目標とします。										
授業の進め方										
教室での講義形式で進め、時にグループワークも取り入れます。同時に、新聞の記事やソーシャルワーカーの実践例等を適宜取り上げつつ、公的扶助についての基本的な知識を習得できるようにします。小テストを3回実施し、振り返りの作業を行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス。公的扶助とは何を学び、臨床にどう活かすのか。	授業概要、学習目標、授業の進め方、評価の仕方、について説明します。また、低所得者層の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要から、この国に生活保護法が存在する根拠を解説します。				テキストの「はじめに」～第1章の1を事前に読み、不明な点は自ら調べ予習しておく(4時間)。				
2	近年の保護と保護率の動向を理解する。	生活保護の動向や保護率の動向を、年齢別、地域別、世帯別、年次別等に細分化しながら解説します。また、我が国の捕捉率についても説明します。				テキスト第1章の該当箇所を事前に読み、不明な点は自ら調べ予習しておく(4時間)。				
3	公的扶助の歴史的展開を理解する。	イギリスと我が国における公的扶助の歴史的展開を比較しながら、現行生活保護法の成立までの過程を解説します。				テキスト第2章を事前に読み、不明な点は自ら調べ予習しておく(4時間)。				
4	生活保護制度の基本原則を理解する。	生活保護法第1条から第4条までの所謂原理を解説します。また、旧生活保護法との相違点を整理します。小テスト を行い、答え合わせを通じて学びの振り返りをします。				テキスト第3章の該当箇所を事前に読む。第1回～3回までの復習をしてから小テストに臨む(4時間)				
5	保護の補足性の原理を理解する。	第4回の講義において、原理の説明をしますが、保護の補足性の原理については1限を設けて具体的に説明します。公的扶助の特徴といわれる資力調査(ミーンズ・テスト)についても解説します。				テキスト第3章の該当箇所を事前に読み、不明な点は自ら調べ予習しておく(4時間)。				
6	生活保護の原則を理解する。	生活保護法第7条から第10条までの所謂原則を解説します。必要即応の原則をはじめ、柔軟に運用される各原則について事例を交えて説明します。				テキスト第3章の該当箇所を事前に読み、不明な点は自ら調べ予習しておく(4時間)。				
7	生活保護の種類と範囲を理解する。	生活扶助、教育扶助、住宅扶助、医療扶助、介護扶助、出産扶助、生業扶助、葬祭扶助の8種類の扶助の内容を説明します。				テキスト第3章の該当箇所を事前に読み、不明な点は自ら調べ予習しておく(4時間)。				
8	保護施設の種類と最低生活費の算定方式を理解する。	5種類の保護施設とそれぞれの利用目的、設置主体、対象者を整理します。また、時代とともに変遷している最低生活費の算定方式について説明します。				テキスト第3章の該当箇所を事前に読み、不明な点は自ら調べ予習しておく(4時間)。				
9	生活保護基準(各種扶助基準)の内容と給付額を理解する。	事例を用いて、グループワークにて、学生が実際に一世帯の具体的な保護費を算出し、最低生活費及び生活保護基準の理解を深めます。				テキスト第3章の該当箇所を事前に読み、不明な点は自ら調べ予習しておく(4時間)。				
10	被保護者の権利及び義務を理解する。	被保護者の権利の種類と各義務に関し、具体例を紹介しながら解説します。またDVDを用いて理解を深めます。小テスト を行い、答え合わせを通じて学びの振り返りをします。				テキスト第5章の該当箇所を事前に読む。第4回～9回までの復習をしてから小テストに臨む(4時間)				
11	生活保護制度の運営実施体制及び福祉事務所の職員とその業務を理解する。	国、都道府県、市町村の役割と、福祉事務所と福祉事務所の職員(査察指導員、現業員等)の業務内容について説明します。				テキスト第4章の該当箇所を事前に読み、不明な点は自ら調べ予習しておく(4時間)。				
12	生活保護の争訟と権利擁護の理解を深める。	不服申し立てと行政事件訴訟について、その仕組みと流れを整理し、近年の動向について説明します。新聞記事を用いて、身近な争訟についても紹介します。				テキスト第5章の該当箇所を事前に読む。朝日訴訟と秋田・加藤訴訟について事前に調べる(4時間)				
13	生活福祉資金貸付制度と母子父子寡婦福祉資金制度を理解する。	特に都道府県社会福祉協議会が運営する生活福祉資金貸付制度の概要や、各貸付内容について説明し、その制度の重要性について解説します。新たに施行された生活困窮者自立支援法にも触れます。				テキスト第7章の該当箇所を事前に読み、不明な点は自ら調べ予習しておく(4時間)。				
14	生活保護における相談援助活動を理解する。	特に自立支援プログラムが導入されるに至った経過とその概要、及び実際の活用方法について説明します。				テキスト第6章の該当箇所を事前に読み、不明な点は自ら調べ予習しておく(4時間)。				
15	なぜ社会福祉士は公的扶助論を学ぶのか。全体のまとめ。	事例を通じて、公的扶助を用いてどのような支援が可能なのか、グループワークを行い総合的な支援方法を導き出します。小テスト を行い、答え合わせを通じて学びの振り返りをします。				教科書及びこれまでの資料に目を通す。第10回～14回までの復習をし、小テストに臨む(4時間)。				
テキスト		成績評価の方法・基準								
「低所得者に対する支援と生活保護制度<第5版>」伊藤秀一編(弘文堂) ISBN:978-4-335-61197-1(生協で購入してください。)		受講態度:30% 小テスト:20% 定期試験:50% S:小テスト及び定期試験において高得点且つ授業内容を深く理解した上での質問等積極的な授業態度がみられる。A:小テスト及び定期試験において高得点且つ積極的な授業態度がみられる。B:小テスト及び定期試験においておおむね7割以上の正答があり、授業内容を理解し、与えられた課題に取り組むことができる。C:小テスト及び定期試験においておおむね6割以上の正答があり、授業内容をおおよそ理解し、与えられた課題に取り組む姿勢がみられる。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
なし		社会福祉士の受験資格の取得を目指す学生の履修が可能です。								

科目名	社会福祉経営		学年学期	3・4年前期	単位数	2	ナパ'リング	TC36078	研究室	非常勤
担当者	村岡 裕		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスワ-			
関連資格	社会福祉士				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)							
		A	B	C						
授業概要										
<p>昨今、福祉サービス提供の場は、大規模で単機能な福祉施設から、小規模で多機能な地域セクターへと広がりを見せています。これまで、社会福祉士の職場は福祉・医療施設や行政機関が多かったため、援助技術などの専門性を磨くことが重視されてきました。地域福祉の時代においては、学生が卒業後早い段階で地域の小規模事業所の経営管理を行う立場になることも想定し、それら知識に加え、現代の福祉サービス提供組織やその経営モデルについて、非営利組織の経営の在り方に焦点を当てて学びます。</p>										
学修到達目標										
<p>普遍的な組織経営の理論と枠組みが理解できる。 非営利組織の経営管理の視点と手法が理解できる。 社会福祉士として、地域福祉の時代にふさわしい福祉サービス提供組織の経営の視点と方法が理解できる。</p>										
授業の進め方										
<p>テキストと資料を使用して講義を行います。グループワーク、グループディスカッションも取り入れます。講義毎にアンケートを実施し、学生の理解度の把握と記載された質問に対する回答を行います。講義期間中には数回小レポートの提出を求めます。</p>										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	福祉サービスにおける組織と経営	福祉サービスとは何か、福祉サービスの経営管理はどのように展開されるのかという基本的概念を学ぶ。					テキストの第1章全体を読んでおくこと。(4時間)			
2	福祉サービスに関わる組織や団体	組織の基本単位である法人とは何か、福祉サービスに係る法人にはどのようなものがあるのかを学ぶ。					テキストの第2章、第1節から第3節を読んでおくこと。(4時間)			
3	福祉サービスの組織と経営の基礎理論	福祉経営を学ぶ上での最低必要となる基礎的な概念や理論について、戦略・事業計画策定を中心に学ぶ。					テキストの第3章第1節・第2節を読んでおくこと。(4時間)			
4	福祉サービスの組織と経営の基礎理論	福祉サービスを念頭に置き、組織形態、管理手法、集団力学など組織論の主要な概念を学ぶ。					テキストの第3章第3節～第5節を読んでおくこと。(4時間)			
5	福祉サービスにおける人事・労務管理	福祉サービスにおける人事・労務管理の特性と仕組みについて、人材の確保・採用、人材の評価の仕組みについて学ぶ。					テキストの第5章第1節を読んでおくこと。(4時間)			
6	福祉サービスにおける人事・労務管理	福祉サービスにおける人材育成の仕組みについて、労働法規の理解と併せ、福祉人材のキャリア開発の仕組みを織り交ぜながら学ぶ。					テキストの第5章第2節を読んでおくこと。(4時間)			
7	福祉サービスにおける人事・労務管理	組織で作成される就業規則の構成と内容、組織管理に必要な労働法制の概要を学ぶ。					テキストの第5章第1節6項を再読しておくとともに、労働基準法をも読んでおくこと。(4時間)			
8	福祉サービスにおけるサービス管理	モノとサービスの違い、福祉現場で進むサービスの可視化や標準化の現状を学ぶ。					テキストの第4章第1節を読んでおくこと。(4時間)			
9	福祉サービスにおけるサービス管理	福祉サービスで用いる業務手順書の種類やその構造について、グループワーク演習を行い学ぶ。					配布資料を基に復習を行うこと。(4時間)			
10	福祉サービスにおけるサービス管理	福祉サービスに必要な記録の要件、記録作成・管理方法について、グループワーク演習を交え学ぶ。					配布資料を基に復習を行うこと。(4時間)			
11	福祉サービスにおけるサービス管理	福祉サービスにつきものの、事故・苦情対応の視点と方法をグループディスカッションを交え学ぶ。					テキストの第4章第3節を読んでおくこと。(4時間)			
12	福祉サービスにおける会計・財務管理	福祉サービスを提供する組織の会計、財務管理の視点について、社会福祉法人等非営利組織の資金の流れ、財源、会計制度などの視点から学ぶ。					テキストの第6章全体を読んでおくこと。(4時間)			
13	福祉サービスにおける情報管理	利用者主体の福祉サービスを提供するためには、情報の果たす役割が大変重要であることを念頭に、事業経営における情報管理の在り方や戦略的広報について学ぶ。					テキストの第7章第1項～第6項までを読んでおく。			
14	福祉サービスにおける情報管理	福祉サービスを提供する上で必要な情報を、取得する情報・保存する情報・発信する情報の3つの側面から学ぶとともに、情報公表制度、第3社評価制度についても学ぶ。					テキストの第7章第7項・第8項を読んでおくこと。			
15	現代社会と福祉経営	福祉経営の在り方が、時代とともにどのように変化したのかを学ぶ。					配布資料を基に復習を行うこと。(4時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
「福祉サービスの組織と経営(第5版)」社会福祉士養成講座編集委員会編(中央法規出版2014年) ISBN:978-4-8058-5431-0(生協で購入してください。)					定期試験:40% 出席レポート:30% 受講態度:30% 授業への参加度30% 秀評価は、定期試験が満点で、欠席がなく出席レポートに毎回自らの意見を書くなど主体性が感じられた場合。優評価は、定期試験が35点以上で、欠席は2回以下、出席レポートにもほぼ毎回自らの意見を書いていた場合。良評価は、定期試験が30点以上で、出席レポートにもほぼ毎回自らの意見を書いていた場合。可はそれ以下。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「非営利組織の経営」P・F・ドラッカー著(ダイヤモンド社) ISBN:4-478-37062-1					本講座で非営利組織の経営の枠組みを学ぶことにより、今後の皆さんの人生や進路を考える上で必要な、目標設定の方法などが学べます。					

科目名	社会福祉行政		学年学期	3・4年前期	単位数	2	ナパリング	TC36079	研究室	W-25
担当者	尻無浜 博幸		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	水曜日1限		
関連資格	社会福祉士				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
本講義の目的は、福祉行政の実施体制(国・都道府県・市町村の役割、国と地方の関係、財源、組織及び団体、専門職の役割を含む。)及び福祉計画の意義や目的、主体、方法について学ぶことです。										
学修到達目標										
我が国の福祉行政の仕組みが理解できるようになることです。また、新聞の関連報道について理解できるようになることです。										
授業の進め方										
福祉行政と福祉計画の基礎的な理論や方法を学びます。市町村の福祉行政や福祉計画の過程に触れ、課題は添削してその都度フィードバックします。講義外の課題として市町村福祉計画などについて調査、レポートを課す場合があります。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス	福祉行政と福祉計画の概要、福祉行政と国の役割				事前にテキスト第1章通読し、また事後に復習を求めます。(事前1時間事後1時間)				
2	福祉行政と地方公共団体の役割	講義を中心に地方公共団体の役割を明確にする				事前にテキスト第2章通読し、また事後に復習を求めます。(事前1時間事後1時間)				
3	国と地方公共団体の関係	中央集権と地方分権の変遷と現状把握				事前にテキスト第3章通読し、また事後に復習を求めます。(事前1時間事後1時間)				
4	福祉の財源	福祉財源の実際と介護保険制度の財源の実際				事前にテキスト第4章通読し、また事後に復習を求めます。(事前1時間事後1時間)				
5	福祉行政の組織及び団体の役割	行政組織の実態				事前にテキスト第5章通読し、また事後に復習を求めます。(事前1時間事後1時間)				
6	福祉行政における専門職の役割	専門職の役割の実際				事前にテキスト第6章通読し、また事後に復習を求めます。(事前1時間事後1時間)				
7	福祉行政の動向	動向調査				事前にテキスト第7章通読し、また事後に復習を求めます。(事前1時間事後1時間)				
8	福祉計画の意義と目的	福祉計画の変遷				事前にテキスト第8章通読し、また事後に復習を求めます。(事前1時間事後1時間)				
9	福祉行政と福祉計画の関係	財政と行政と計画の関連性				事前にテキスト第9章通読し、また事後に復習を求めます。(事前1時間事後1時間)				
10	福祉計画の主体	福祉計画の意義と実態				事前にテキスト第10章通読し、また事後に復習を求めます。(事前1時間事後1時間)				
11	福祉計画の種類	各主体の取り組み実態と課題				事前にテキスト第11章通読し、また事後に復習を求めます。(事前1時間事後1時間)				
12	福祉計画の策定方法	福祉計画の実際				事前にテキスト第12章通読し、また事後に復習を求めます。(事前1時間事後1時間)				
13	福祉計画の評価方法	福祉計画の実際と調査				事前に地元の調査とテキスト13章を調べる。事後に比較作業を求めます。(事前2時間事後2時間)				
14	地方自治体における福祉計画の実際	各人よりの報告				事前に調査準備をしテキスト第14章通読。事後に調査比較を求めます。(事前2時間事後2時間)				
15	まとめ	講義全体の振り返り。定期試験の出題ポイント解説。				事前に課題を提示し、事後に全体総括まとめを行います。(事前2時間事後3時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「社会福祉士シリーズ(10) 福祉行政と福祉計画 第3版」(弘文堂) ISBN:978-4-335-61174-2(生協で購入してください。)				受講態度:30% 定期試験:70% 授業態度においては意見の発表等を評価します。リアクションペーパー:20%。受講態度が良好なうえ、課されたリアクションペーパーをすべて提出し、定期試験において以下の得点をする事が成績評価の目安です。80%以上S、70%以上A、60%以上B、50%以上C。試験の出題は、重要用語の理解が70%、400字程度の論述30%を目安とします。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「社会福祉六法 最新版」(新日本法規)				この科目は、社会福祉士受験資格取得を目指す学生は必修の科目です。講義計画に該当する内容をテキストから予め探し、充分準備して講義に臨んでください。【実務経験のある教員が担当】財団法人において福祉事業の指導職経験。						

科目名	社会福祉演習		学年学期	3年前期	単位数	4	ナパリング	TC36080	研究室	W-30
担当者	今村 篤史・尻無浜 博幸		必修選択	選択	科目種別	演習	オフィスアワー	月曜日4限、火曜日4限		
関連資格	社会福祉士				履修条件	【資格・免許取得希望者のみ履修可】				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
本演習は、社会福祉実習前の段階として相談援助の知識と技術に係る他の科目との関連性を視野に入れつつ、社会福祉士に求められる知識と技術について実践的に習得するとともに、それらを専門的援助技術として概念化・理論化し、体系立てていくことができる能力を涵養することを目的とします。										
学修到達目標										
講義・演習・実習の関連性を理解できる。 ソーシャルワークに必要な基本的知識・技術・価値を理解、習得できる。 実践事例に即した知識・技術・価値の展開方法について理解できる。										
授業の進め方										
事例を中心に演習形式で行います。また、各回において前回の演習内容のフィードバックを行います。なお、実習指導の要素も兼ねていますので、実習指導の教育内容と進捗状況を踏まえながら進めます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	社会福祉演習 の意義と目的について				事前に関連科目の振り返りを行い、事後に演習との関連を考察、整理する(事前2時間事後2時間)				
2	ソーシャルワーク実践とは	ソーシャルワークの視点について				事前に序章・第1章の通読し、事後に演習との関連を考察、整理する(事前2時間事後2時間)				
3	相談援助の共通基盤(1)	自己覚知と自我理解について				事前にテキスト第2章1～2節を通読し、事後に演習での学びを整理する(事前2時間事後2時間)				
4	相談援助の共通基盤(2)	コミュニケーション技法等について				事前にテキスト第2章3～6節を通読し、事後に演習での学びを整理する(事前2時間事後2時間)				
5	相談援助の共通基盤(3)	面接技法等について				事前にテキスト第2章7節を通読し、事後に演習での学びを整理する(事前2時間事後2時間)				
6	相談援助の共通基盤(4)	面接技法等について				事前に前回の演習を振り返り、事後に演習での学びを整理する(事前2時間事後2時間)				
7	相談援助の共通基盤(5)	記録・マッピング技法について				事前にテキスト第2章8～9節を通読し、事後に演習での学びを整理する(事前2時間事後2時間)				
8	相談援助における価値と倫理(1)	価値と倫理にもとづいた相談援助の展開について				事前にテキスト第2章10節を通読し、事後に演習での学びを整理する(事前2時間事後2時間)				
9	相談援助における価値と倫理(2)	価値と倫理にもとづいた相談援助の展開について				事前に倫理綱領を通読し、事後に演習での学びを整理する(事前2時間事後2時間)				
10	相談援助における価値と倫理(3)	価値と倫理にもとづいた相談援助の展開について				事前に倫理綱領の通読と前回の振り返りを行い、事後に演習での学びを整理する(事前2時間事後2時間)				
11	相談援助の方法(1)	相談援助のプロセスについて				事前にテキスト第3章1～4節を通読し、事後に演習での学びを整理する(事前2時間事後2時間)				
12	相談援助の方法(2)	相談援助のプロセスについて				事前に前回の演習を振り返り、事後に演習での学びを整理する(事前2時間事後2時間)				
13	相談援助の方法(3)	ケアマネジメント、チームアプローチについて				事前にテキスト第3章5～6節を通読し、事後に演習での学びを整理する(事前2時間事後2時間)				
14	相談援助の方法(4)	アウトリーチ、ネットワーキングについて				事前にテキスト第3章7～8節を通読し、事後に演習での学びを整理する(事前2時間事後2時間)				
15	相談援助の方法(5)	社会資源、社会調査について				事前にテキスト第3章9～10節を通読を行い、事後に演習での学びを整理する(事前2時間事後2時間)				
16	実践事例の検討(1)	子ども家庭福祉における事例検討				事前にテキスト第4章1～3節を通読し、事後に演習での学びを整理する(事前2時間事後2時間)				
17	実践事例の検討(2)	子ども家庭福祉における事例検討				事前に配布資料を通読し、事後に演習での学びを整理する(事前2時間事後2時間)				
18	実践事例の検討(3)	高齢者福祉における事例検討				事前にテキスト第4章4～8節を通読し、事後に演習での学びを整理する(事前2時間事後2時間)				

授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。			
回	テーマ	内容	事前事後学修
19	実践事例の検討(4)	高齢者福祉における事例検討	事前に配布資料を通読し、事後に演習での学びを整理する(事前2時間事後2時間)
20	実践事例の検討(5)	貧困・低所得者への福祉における事例検討	事前にテキスト第4章9節を通読し、事後に演習での学びを整理する(事前2時間事後2時間)
21	実践事例の検討(6)	貧困・低所得者への福祉における事例検討	事前に配布資料を通読し、事後に演習での学びを整理する(事前2時間事後2時間)
22	実践事例の検討(7)	障がい福祉における事例検討	事前に配布資料を通読し、事後に演習での学びを整理する(事前2時間事後2時間)
23	実践事例の検討(8)	障がい福祉における事例検討	事前にケースの整理・分析をし、事後に演習での学びを整理する(事前2時間事後2時間)
24	実践事例の検討(9)	社会的排除における事例検討	事前に配布資料を通読し、事後に演習での学びを整理する(事前2時間事後2時間)
25	実践事例の検討(10)	社会的排除における事例検討	事前にケースの整理・分析をし、事後に演習での学びを整理する(事前2時間事後2時間)
26	実践事例の検討(11)	地域福祉における事例検討	事前にテキスト第5章を通読し、事後に演習での学びを整理する(事前2時間事後2時間)
27	実践事例の検討(12)	地域福祉における事例検討	事前に配布資料を通読し、事後に演習での学びを整理する(事前2時間事後2時間)
28	実践事例の検討(13)	地域福祉における事例検討	事前にケースの整理・分析をし、事後に演習での学びを整理する(事前2時間事後2時間)
29	本演習のまとめ(1)	これまでの演習での学びを受講者間で共有する。	事前にこれまでの演習での学びを振り返り、事後に演習での学びを整理する(事前2時間事後2時間)
30	本演習のまとめ(2)	ソーシャルワーカーを目指すために必要なことをまとめる。	これまでの演習での学びを総括し、実習に向けた課題を明らかにする(4時間)
テキスト		成績評価の方法・基準	
「相談援助演習 ソーシャルワーク演習 第4版」福祉臨床シリーズ編集委員会編（弘文堂） ISBN:978-4-335-61204-6（生協で購入してください。）		課題：40% 出席レポート：30% 実技：30% S：課題・出席レポートの提出と内容、演習への積極性と貢献度のすべてが90%以上 A：課題・出席レポートの提出と内容、演習への積極性と貢献度のすべてが80%以上 B：課題・出席レポートの提出と内容、演習への積極性と貢献度のすべてが70%以上 C：課題・出席レポートの提出と内容、演習への積極性と貢献度のすべてが60%以上	
参考書		履修上の注意（学生へのメッセージ）	
参考図書・資料等については適宜指示します。		資格取得希望者のみを対象とした科目であり、4年前期(集中)に開講する社会福祉演習 とあわせて履修することが必須です。【実務経験のある教員が担当】 実務の内容：社会福祉法人において、ソーシャルワーカーとして勤務した。	

科目名	社会福祉演習		学年学期	4年前期	単位数	4	ナパリング	TC46081	研究室	W-30
担当者	今村 篤史・尻無浜 博幸		必修選択	選択	科目種別	演習	オフィスアワー	月曜日4限、火曜日4限		
関連資格	社会福祉士				履修条件	【資格・免許取得希望者のみ履修可】（集中講義となります）				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）					
		A	B	C						
授業概要										
本演習は、社会福祉実習後の段階として相談援助の知識と技術に係る他の科目との関連性を視野に入れつつ、社会福祉士に求められる知識、価値、技術について習得するとともに、それらを専門的援助技術として概念化・理論化し、体系立てていくことができる能力を涵養することを目的とします。										
学修到達目標										
社会福祉演習 および社会福祉実習での学びを関連づけることにより、ソーシャルワークについて自分の考えを説明できる。社会福祉士にとって必要な知識・価値・技術をより明確にすることで、専門職を目指すためのモチベーションを高めることができる。										
授業の進め方										
実習で得た事例や体験を中心に、グループワークやロールプレイといった演習形式で進めていきます。また、スーパービジョンを通じてフィードバックも行っています。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	社会福祉演習 の目的を理解する。				事前に実習記録を熟読しておく（事後4時間）				
2	個別ワーク (1)	実習記録を場面ごとに整理・分析する。				事前に実習記録を熟読し、事後にワークでの気づきをまとめる（事前2時間事後2時間）				
3	個別ワーク (2)	相談援助のプロセスにもとづいて実習記録を整理・分析する。				実習記録をもとにケースを整理・分析し、事後にワークでの気づきをまとめる（事前2時間事後2時間）				
4	個別ワーク (3)	演習および実習での学びを踏まえて、社会福祉士として求められる役割、知識、価値、技術について整理する。				記録の指導者からのコメントを整理し、事後にワークでの気づきをまとめる（事前2時間事後2時間）				
5	個別ワーク (4)	実習先での社会福祉士として求められる役割、知識、価値、技術について整理する。				実習先研究と実習記録を振り返り、事後にワークでの気づきをまとめる（事前2時間事後2時間）				
6	グループワーク (1)	個別ワークでのまとめをグループで共有する。				個別ワークの内容をまとめ、事後にグループワークでの気づきを振り返る（事前2時間事後2時間）				
7	グループワーク (2)	個別ワークでのまとめをグループで整理する。				個別ワークの内容をまとめ、事後にグループワークでの気づきを記録化する（事前2時間事後2時間）				
8	グループワーク (3)	グループワークで整理した内容をグループで分析する				事前にグループでの作業を振り返り、事後に分析した内容を整理する（事前2時間事後2時間）				
9	グループワーク (4)	グループワークで整理した内容をメンバーで分析する				事前にグループでの作業を振り返り、事後に分析した内容を整理・分析する（事前2時間事後2時間）				
10	グループワーク (5)	分析結果に関してグループ発表				発表に向けた資料の作成（4時間）				
11	グループワーク (6)	分析結果に関してグループ発表				他グループの発表を振り返り、自身の実習内容と比較する（4時間）				
12	スーパービジョン (1)	各グループの分析結果の内容について教員からスーパービジョンを提供する。				スーパービジョンでの気づきを事後に自身の実習へフィードバックする（4時間）				
13	スーパービジョン (2)	教員からのスーパービジョンを通じて、再度グループ間でディスカッションを行う。				ディスカッションでの気づきを事後に自身の実習へフィードバックする（4時間）				
14	個別ワーク (1)	社会福祉士における専門性について整理する				これまでの演習での学びを振り返る（4時間）				
15	個別ワーク (2)	社会福祉士における専門性について整理する				これまでの演習での学びを振り返り、レポートとしてまとめる（4時間）				
16	グループワーク (1)	個別ワークでのまとめをグループで整理する。				個別ワークの内容の資料作成と、事後にグループワークでの気づきを振り返る（事前2時間事後2時間）				
17	グループワーク (2)	グループワークで整理した内容をメンバーで分析する				グループワークでの気づきを整理する（事前2時間事後2時間）				
18	グループワーク (3)	グループワークで整理した内容をメンバーで分析する				グループワークでの気づきをレポートとしてまとめる（事前2時間事後2時間）				

授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。			
回	テーマ	内容	事前事後学修
19	グループワーク (4)	分析結果に関してグループ発表	他グループの発表を振り返り、自身の実習へフィードバックする(4時間)
20	グループワーク (5)	分析結果に関してグループ発表	発表に向けた資料の作成と他のグループ発表の内容の整理・分析(事前2時間事後2時間)
21	スーパービジョン (1)	各グループの分析結果の内容について教員からスーパービジョンを提供する。	スーパービジョンでの気づきを事後に自身の実習へフィードバックする(4時間)
22	スーパービジョン (2)	教員からのスーパービジョンを通じて、再度グループ間でディスカッションを行う。	ディスカッションでの気づきを事後に自身の実習へフィードバックする(4時間)
23	ロールプレイ(1)	実習において印象に残った場面をロールプレイする(必要に応じて利用者、他の職種、ご家族等の役割を他の受講者で担う)。	ロールプレイで気づいたことを自身の実習へフィードバックすること(4時間)
24	ロールプレイ(2)	実習において印象に残った場面をロールプレイする(必要に応じて利用者、他の職種、ご家族等の役割を他の受講者で担う)。	ロールプレイで気づいたことを自身の実習へフィードバックすること(4時間)
25	スーパービジョン (1)	ロールプレイでのやり取りを踏まえて、教員からスーパービジョンを提供する。	スーパービジョンでの明らかになった気づきを事後に自身の実習へフィードバックする(4時間)
26	スーパービジョン (2)	教員からのスーパービジョンを通じて、再度グループ間でディスカッションを行う。	ディスカッションでの気づきを事後に自身の実習へフィードバックする(4時間)
27	個別ワーク (1)	あなたが目指す社会福祉士像とは？	これまでの社会福祉演習での学びを事前に復習しておく(4時間)
28	個別ワーク (2)	あなたが目指す社会福祉士像に関して発表	発表に向けた資料の作成と他の発表の振り返り(事前2時間事後2時間)
29	ふりかえり	演習での学びをふり振り返り、私たちが目指す社会福祉士像や習得すべき知識・価値・技術を明確にする。	これまでの社会福祉演習、実習指導、実習の学びを復習しておく(4時間)
30	社会福祉演習のまとめ	演習・講義・実習での学びをふり振り返り、私たちが目指す社会福祉士像や習得すべき知識・価値・技術に関して、今後必要な取り組みについて考え、目標を定める。	これまでの学びを総括し、今後の課題について整理する(事前2時間事後2時間)
テキスト		成績評価の方法・基準	
「相談援助演習 - ソーシャルワーク演習 第4版」福祉臨床シリーズ編集委員会編(弘文堂) ISBN:978-4-335-61204-6 (生協で購入してください。)		課題:40% 出席レポート:30% 実技:30% S:課題・レポートの提出と内容、演習への積極性と貢献度のすべてが90%以上 A:課題・レポートの提出と内容、演習への積極性と貢献度のすべてが80%以上 B:課題・レポートの提出と内容、演習への積極性と貢献度のすべてが70%以上 C:課題・レポートの提出と内容、演習への積極性と貢献度のすべてが60%以上	
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)	
「実習記録ノート」		資格取得希望者のみを対象とした科目であり、3年前期の社会福祉演習とあわせて履修することが必須です。【実務経験のある教員が担当】実務経験の内容:社会福祉法人において、ソーシャルワーカーとして勤務した。	

科目名	防災総論		学年学期	1年後期	単位数	2	ナバリング	TD16082	研究室	W-22
担当者	木村 晴壽		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日1限、火曜日1限		
関連資格	防災士				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C	2020年度～					
授業概要										
近年、全国的にいずれの地域社会でも大きな関心を集め、地域行政上の重要な政策課題となっている防災問題について、特に基礎的知識を習得することを目標としている。日本防災士機構が実施する防災士認定資格試験の受験資格を得るための必須科目である。毎回、前回の内容をフィードバックします。										
学修到達目標										
防災士認定資格試験の受験資格要件との関係で、授業においては、毎回、かなり幅広い内容を簡潔に解説せざるを得ないので、教本の内容を各自が確実に理解することが目標となる。										
授業の進め方										
動画・画像等を用いて、判りやすく授業を進め、図上シミュレーション等の演習も取り入れる。防災士認定資格試験の受験資格要件との関係で、基本的に欠席は認められていないので、注意すること。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	耐震診断と補強	主に建造物に関する、耐震問題と実際の補強について詳述する。				事前、教本のPP.1-7を熟読(2時間)。事後、指摘された箇所をPP.1-7で復習(2時間)。				
2	災害とライフライン	災害発生時に必ず問題となるライフラインの確保について詳述する。				事前、教本のPP.8-15を熟読(2時間)。事後、指摘された箇所をPP.8-15で復習(2時間)。				
3	災害と交通インフラ	災害救助とも密接な関連を持つ、交通インフラ問題について詳述する。				事前、教本のPP.16-23を熟読(2時間)。事後、指摘された箇所をPP.16-23で復習(2時間)。				
4	都市防災	極めて複雑な構造を持つようになった都市での防災について詳述する。				事前、教本のPP.24-31を熟読(2時間)。事後、指摘された箇所をPP.24-31で復習(2時間)。				
5	災害医療	災害時の特殊な環境で行われる医療行為について詳述する。				事前、教本のPP.32-39を熟読(2時間)。事後、指摘された箇所をPP.32-39で復習(2時間)。				
6	避難所運営と仮設住宅の暮らし	災害後の復興とも関係する、避難所・仮設住宅の問題について詳述する。				事前、教本のPP.40-48を熟読(2時間)。事後、指摘された箇所をPP.40-48で復習(2時間)。				
7	災害とボランティア活動	近年の激甚災害における必須の要素となったボランティア活動について詳述する。				事前、教本のPP.49-56を熟読(2時間)。事後、指摘された箇所をPP.49-56で復習(2時間)。				
8	公的機関による予報・警報	大規模災害時に必ず取り上げられる、公的機関の動きについて詳述する。				事前、教本のPP.49-56を熟読(2時間)。事後、指摘された箇所をPP.49-56で復習(2時間)。				
9	災害と流言・風評	災害時に多かれ少なかれ流れる風評等について、災害心理も含めて詳述する。				事前、教本のPP.57-64を熟読(2時間)。事後、指摘された箇所をPP.57-64で復習(2時間)。				
10	災害情報の発信と入手	災害時に的確に行動する基礎となる情報について詳述する。				事前、教本のPP.65-72を熟読(2時間)。事後、指摘された箇所をPP.65-72で復習(2時間)。				
11	災害と応急対策	災害発生時に重要視されている、当面の応急対策のあり方について詳述する。				事前、教本のPP.73-80を熟読(2時間)。事後、指摘された箇所をPP.73-80で復習(2時間)。				
12	災害と損害保険	災害後の生活再検討と密接に関連する保険について詳述する。				事前、教本のPP.81-90を熟読(2時間)。事後、指摘された箇所をPP.81-90で復習(2時間)。				
13	災害と危機管理	災害を含めた危機管理についての考え方を詳述する。				事前、教本のPP.91-98を熟読(2時間)。事後、指摘された箇所をPP.91-98で復習(2時間)。				
14	災害と企業活動	近年、災害時に企業活動が停止することによる社会的損失が大きくクローズアップされており、災害と企業との関係について詳述する。				事前、教本のPP.99-106を熟読(2時間)。事後、指摘された箇所をPP.99-106で復習(2時間)。				
15	企業防災と事業継続計画	近年、災害時に企業活動が停止することによる社会的損失が大きくクローズアップされており、災害と企業との関係について詳述する。				事前、教本のPP.107-114を熟読(2時間)。事後、指摘された箇所をPP.107-114で復習(2時間)。				
テキスト		成績評価の方法・基準								
「防災士教本」日本防災士機構編(日本防災士機構)(別途、指示します。)		定期試験：50% レポート：50% S:授業内容を十分に理解し、防災士資格の認定試験に高成績で合格する水準にある。A:授業内容を理解し、防災士資格の認定試験の合格には問題ないと判断される水準にある。B:授業内容を概ね理解し、防災士資格の認定試験に合格可能な水準にある。C:授業内容を6割程度理解し、防災士資格の認定試験の合格に近い水準にある。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「防災ハンドブック」防災教育を考える会著防災教育を考える会編(日本標準)		この授業は日本防災士機構が実施する防災士資格認定試験の受験資格と連動しているため、やむを得ない理由で欠席した場合は、必ずレポートが課される。しかも、欠席は2回を限度とし、それ以上の欠席は単位不認定となる。								

科目名	災害メカニズム論			学年学期	2年前期	単位数	2	ナバリング	TD26083	研究室	
担当者	各教員			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格	防災士					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
本授業は、暴風・豪雪・崖崩れ・と石龍・高潮・噴火・地すべり・地震・津波・大規模火災・放射性物質発散等の災害について、それぞれのメカニズムについて理解することで、可能な範囲での対策につなげることを目的としています。											
学修到達目標											
日本防災士機構が実施する防災士認定試験にパスする知識を身につけることができれば、目標達成と考えて良いでしょう。											
授業の進め方											
災害・防災の研究・教育は極めて具体的なので、できるだけ画像や動画を活用し、パワーポイントなどを使いながら、具体的な内容を心がけて授業を進めます。毎回、フィードバックを必ず実施します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	ガイダンス	向こう15回にわたってどのような内容で授業を進めるか説明します。					防災士教本全体を熟読すること(4時間)				
2	暴風被害と対策	暴風の発生メカニズムと被害・対策について説明します。					テキストの該当箇所をじゅくどくすること(4時間)				
3	豪雪被害と対策	豪雪の発生メカニズムと被害・対策について説明します。					テキストの該当箇所をじゅくどくすること(4時間)				
4	洪水被害と対策	洪水の発生メカニズムと被害・対策について説明します。					テキストの該当箇所をじゅくどくすること(4時間)				
5	崖崩れ被害と対策	崖崩れの発生メカニズムと被害・対策について説明します。					テキストの該当箇所をじゅくどくすること(4時間)				
6	土石流被害と対策	土石流の発生メカニズムと被害・対策について説明します。					テキストの該当箇所をじゅくどくすること(4時間)				
7	高潮被害と対策	土石流の発生メカニズムと被害・対策について説明します。					テキストの該当箇所をじゅくどくすること(4時間)				
8	地震被害と対策	地震の発生メカニズムと被害・対策について説明します。					テキストの該当箇所をじゅくどくすること(4時間)				
9	津波被害と対策	津波の発生メカニズムと被害・対策について説明します。					テキストの該当箇所をじゅくどくすること(4時間)				
10	火山噴火被害と対策	噴火の発生メカニズムと被害・対策について説明します。					テキストの該当箇所をじゅくどくすること(4時間)				
11	地滑り被害と対策	地滑りの発生メカニズムと被害・対策について説明します。					テキストの該当箇所をじゅくどくすること(4時間)				
12	竜巻被害と対策	竜巻の発生メカニズムと被害・対策について説明します。					テキストの該当箇所をじゅくどくすること(4時間)				
13	火災被害と対策	火災の発生メカニズムと被害・対策について説明します。					テキストの該当箇所をじゅくどくすること(4時間)				
14	放射能被害と対策	放射性物質が発散するケースを例示しながら、そのメカニズムと対策について説明します。					テキストの該当箇所をじゅくどくすること(4時間)				
15	まとめ	災害とその対策について、概略的に総括します。					テキストの該当箇所をじゅくどくすること(4時間)				
テキスト						成績評価の方法・基準					
「防災士教本」日本防災士気候編(講義にて配布します。)						レポート:50% 定期試験:50%					
参考書						履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「災害ボランティア入門」山本克彦編(ミネルヴァ書房) ISBN:ISBN978-4-623-08053-3						最終的には日本防災士機構による認定試験を受験することになるので、そのつもりで受講すること					

科目名	環境保全と防災		学年学期	2年後期	単位数	2	ナパ'リング	TD26084	研究室	W-15
担当者	田開 寛太郎		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスア-	月曜日3限、火曜日3限		
関連資格	防災士、社会教育士				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)							
		A	B	C						
授業概要										
<p>湿地や海洋は防災教育の実践の場として重要な場所です。例えば湿地は、豪雨によって河川から氾濫した水をスポンジのように吸い取り、サンゴ礁やマングローブは津波の被害を軽減する役割を持つなど、自然災害の緩衝地帯として地域の防災や安全に貢献しています。本講義では、湿地や海洋の生態系を理解し、自然の恵みと災害とのバランスを図りながら、自然災害の脅威をどのように克服すればよいのかという具体的な課題に取り組みます。(社会教育主事養成課程における法令上の科目名は「社会教育特講」に相当。)</p>										
学修到達目標										
<p>環境保全や防災についての必要な知識を得るとともに、また、豊かで安心・安全な暮らしを実現するために、社会を構成するすべてのメンバーの役割は何かを考え、実践する能力を身につける。</p>										
授業の進め方										
<p>防災士教本、テキストを横断的に使用し、補足としてレジュメ程度の配布資料(参考資料)、プレゼンテーションや映像動画などの各種教材を使いながら講義を進めます。また、授業に関係するフィールドに出かけ、理解を深めます。</p>										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	ガイダンス	授業概要、学修到達目標、授業の進め方、評価の仕方、履修上の注意などを説明します。				シラバスの理解と授業の内容を振り返り、ノートにまとめる。(4時間)				
2	環境問題と自然災害水害と対策	地球温暖化などの地球環境問題と台風・ハリケーン、土砂災害などの自然災害との関連について考えるため、日本や海外における異常気象の発生状況や、環境問題と自然災害との関連性について説明します。				防災士教本「風水害と対策」の該当部分を読む。(4時間)				
3	環境問題と自然災害土砂災害と対策	土砂災害(土石流、がけ崩れ、地すべり)の特性・課題、土砂災害対策や土砂災害防止法について学びます。				防災士教本「土砂災害と対策」の該当部分を読む。(4時間)				
4	SDGsにおける湿地教育・海洋教育	持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals, SDGs)における湿地と海洋の保護・保全について概観し、水をキーワードに身近な生活環境から地球環境全体に広がる新たな教育について学びます。				テキスト序章の該当部分を読む。配布資料を復習する。(4時間)				
5	湿地教育とは何か	湿地学の構造と湿地教育実践における「教育」「学習」論について考えます。				テキスト第1・2章の該当部分を読む。配布資料を復習する。(4時間)				
6	湿地教育の内容、手法、評価	湿地や水の魅力と価値を人々に伝え、湿地保全・再生や利活用の活動に参加してもらうための教育的手法・支援的手法について説明します。				テキスト第3章の該当部分を読む。配布資料を復習する。(4時間)				
7	湿地のある地域づくり	湿地の保全と持続可能な利用を進め、湿地を活用した地域づくりを推進している兵庫県豊岡市コウノトリの野生復帰の具体的な事例をもとに、生態系保全、防災の視点から自然共生社会について考えます。				テキスト第8・終章の該当部分を読む。配布資料を復習する。(4時間)				
8	海洋教育とは何か	海洋基本法における海洋基本計画では、教育の現場において海洋に関する教育を充実することが求められています。海洋教育の意義、対象について説明します。確認テストを実施し、添削後、返却します。				事前に「海洋基本法」について調べ、基本とすべき原則についてノートにまとめる。(4時間)				
9	海洋教育の内容、手法、評価	学習指導要領を踏まえた、小学校、中学校及び高等学校などの学校教育における海洋教育の展開について学びます。				テキスト第4章の該当部分を読む。配布資料を復習する。(4時間)				
10	海と人との関わり方	東日本大震災において甚大な津波や高潮などの自然災害を経験した日本において、これから海とどのような関係を築いていけばよいのか、海洋教育の視点から考えます。				テキスト第5章の該当部分を読む。配布資料を復習する。(4時間)				
11	自然共生社会の構築	地域づくりのシンボルとして位置付けられる大型鳥類のタンチョウ、ツルを事例に、湿地や水を支える文化や技術を再評価し、地域社会のあり方を考えます。				テキスト第6・7章の該当部分を読む。配布資料を復習する。(4時間)				
12	生態系を活用した防災・減災	サンゴ礁やマングローブなどの湿地は防災の側面から見ると津波や波浪の被害を持ち、こうした生態系を活用した被害軽減策(Eco-DRR)について説明します。				配布資料をもとに防災・減災に生態系はどのように役立つかについて事前に調べる。(4時間)				
13	防災と環境教育 一被害想定とハザードマップ	環境問題と災害の関係性を理解し、日常からの防災意識の向上が必要です。被害想定やハザードマップを活用し、災害時における円滑な避難行動の促進を図るため、防災と環境教育の接点について説明します。				防災士教本「被害想定とハザードマップ」の該当部分を読む。(4時間)				
14	防災と環境教育 一都市防災	わが国の都市防災に関する基本的な考え方を踏まえて、「避難弱者」になりがちな高齢者や幼い子どもの立場になって避難や誘導のシミュレーションを行うなど、防災と環境教育を実際に体験し理解を深めます。				防災士教本「都市防災」の該当部分を読む。(4時間)				
15	まとめー環境保全と防災とは	環境保全と防災力の向上を両立する取組みについて説明し、地域レベルでの防災力の向上のための環境保全事業、持続可能な社会を作る防災と環境教育について考えます。				持続可能な社会を作る防災と環境教育の基本的な考え方について事前に調べる(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「湿地教育・海洋教育」朝岡幸彦・笹川孝一・日置光久編(筑波書房) ISBN:978-4-8119-0560-0(生協で購入してください。)				<p>受講態度:30%、レポート:70%</p> <p>受講態度は、受講票による講義への意見等を評価に加味します。レポートは複数回に分けて実施します。S:内容を高度に理解し、実社会での出来事と地球規模の課題を関連付け、批判的な視点をもちながら、正確に文章で表現することができる。A:探求姿勢を持って課題に取り組み、内容を正確に理解し、各要素を関連付けた視点で、正確に文章で表現することができる。B:内容をおおむね理解し、要素を関連付けた視点で、文章化できる。C:授業の内容を6割以上理解し、自分の意見を文章化できる。</p>						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
必要に応じて本講義中に参考となる学術論文、書籍を紹介します。				<p>小グループによる活動を中心とした授業形式であるため休みがちまたは予習をさぼりがちな人は班員に多大な迷惑が生じますので、欠席と未予習に対しては厳しい評価をします。</p>						

科目名	防災コミュニティ論		学年学期	2年後期	単位数	2	ナバリング	TD26085	研究室	W-25
担当者	尻無浜 博幸		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	水曜日1限		
関連資格	防災士				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
気候変動も相まって近年、地域社会で関心が高まっている地域防災について、各分野の視点から捉えた上で、ここではコミュニティの在り方を習得します。日本防災士機構が実施する防災士認定資格試験の受験資格を得るための必須科目です。										
学修到達目標										
地域防災力の学びは広範囲であり複合的です。従って、毎回幅広い内容を簡潔に解説せざるを得ないので、教本の内容を各自が確実に理解することが目標となります。防災士認定資格試験の受験資格要件が厳格に示されています。毎回この要件を示します。										
授業の進め方										
理解したことを小テストで確認しながら進めます。前回小テストは次の授業で解説を加えるなどのフィードバックを行い、確実な理解を求めます。防災士認定資格試験の受験資格要件との関係で欠席は認められませんので注意して下さい。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	災害医療	災害時の特殊な環境で行われる医療行為について詳述します				事前、教本pp.83-92熟読(2時間) 事後、指摘された箇所pp.83-92で復習(2時間)				
2	避難所運営・仮設住宅の暮らし(1)	災害後の復興と関係する避難所運営について詳述します				事前、教本pp.112-128熟読(2時間) 事後、指摘された箇所pp.112-128で復習(2時間)				
3	避難所運営・仮設住宅の暮らし(2)	災害後の復興と関係する住宅の問題について詳述します				事前、教本pp.112-128熟読(2時間) 事後、指摘された箇所pp.112-128で復習(2時間)				
4	避難所運営・仮設住宅の暮らし(3)	災害後の復興と関係する福祉避難所の運営について詳述します				事前、教本pp.112-128熟読(2時間) 事後、指摘された箇所pp.112-128で復習(2時間)				
5	地域の自主防災活動	災害は地域単位で考えることが重要で、地域で可能な自主防災活動について詳述します				事前、教本pp.140-148熟読(2時間) 事後、指摘された箇所pp.140-148で復習(2時間)				
6	災害とボランティア活動(1)	災害ボランティアの背景、歴史、価値				事前、教本pp.149-157熟読(2時間) 事後、指摘された箇所pp.149-157で復習(2時間)				
7	災害とボランティア活動(2)	災害ボランティアのケーススタディ				事前、教本pp.149-157熟読(2時間) 事後、指摘された箇所pp.149-157で復習(2時間)				
8	災害とボランティア活動(3)	災害ボランティアにおける防災士の役割				事前、教本pp.149-157熟読(2時間) 事後、指摘された箇所pp.149-157で復習(2時間)				
9	災害と流言・風評	災害時における風評等について、災害心理を含め詳述します				事前、教本pp.244-248熟読(2時間) 事後、指摘された箇所pp.244-248で復習(2時間)				
10	地域の復旧と復興(1)	災害後の復旧と復興をめぐる課題について詳述します				事前、教本pp.338-349熟読(2時間) 事後、指摘された箇所pp.338-349で復習(2時間)				
11	地域の復旧と復興(2)	災害後の復旧と復興をめぐる実際について分析します				事前、教本pp.338-349熟読(2時間) 事後、指摘された箇所pp.338-349で復習(2時間)				
12	避難所運営の実際(1)	実際の避難所運営マニュアルの分析				事前、マニュアル熟読(2時間) 事後、指摘された箇所復習(2時間)				
13	避難所運営の実際(2)	実際の避難所運営マニュアルの作成				事前、マニュアル熟読(2時間) 事後、指摘された箇所復習(2時間)				
14	福祉避難所運営の実際(1)	実際の福祉避難所運営マニュアルの分析				事前、マニュアル熟読(2時間) 事後、指摘された箇所復習(2時間)				
15	福祉避難所運営の実際(2)	実際の福祉避難所運営マニュアルの作成				事前、マニュアル熟読(2時間) 事後、指摘された箇所復習(2時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「防災士教本」日本防災士機構編				定期試験：50% レポート：50% S：出席レポートおよび課題の提出と内容、試験のすべてが95%以上 A：出席レポートおよび課題の提出と内容、試験のすべてが80%以上 B：出席レポートおよび課題の提出と内容、試験のすべてが70%以上 C：出席レポートおよび課題の提出と内容、試験のすべてが60%以上 出席レポートは事前の講義に即した内容をその都度示します。また、課題は毎回小テストを実施します。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
必要時その都度指示します				この授業は日本防災士機構が実施する防災士資格認定試験の受験資格と連動しているため、やむを得ない理由で欠席した場合は、必ずレポートが課される。						

科目名	防災活動論			学年学期	3・4年前期	単位数	2	ナバリング	TD36086	研究室	W-22
担当者	木村 晴壽・尻無浜 博幸			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日1限、火曜日1限		
関連資格	防災士					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）						
		A	B	C							
授業概要											
気候変動も相まって近年、地域社会で関心が高まっている地域防災について、各分野の視点から捉えた上で、ここでは防災活動の実際を習得します。日本防災士機構が実施する防災士認定資格試験の受験資格を得るための必須科目です。											
学修到達目標											
地域防災力の学びは広範囲であり複合的です。従って、毎回幅広い内容を簡潔に解説せざるを得ないので、教本の内容を各自が確実に理解することが目標となり、さらに演習としての訓練等も加わります。防災士認定資格試験の受験資格要件が厳格に示されています。毎回この要件を示します。											
授業の進め方											
理解したことを小テストで確認しながら進めます。前回小テストは次の授業で解説を加えるなどのフィードバックを行い、確実な理解を求めます。防災士認定資格試験の受験資格要件との関係で欠席は認められませんので注意して下さい。											
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	身近でできる防災対策（理論）	平時に身近にできる防災対策について詳述します					事前に教本3講を熟読（2時間）、事後、指摘された箇所を復習（2時間）				
2	防災訓練（図上）の実際1	図上訓練を実際に体験します					事前に教本を熟読（2時間）、事後、指摘された箇所を復習（2時間）				
3	防災訓練（図上）の実際2	図上訓練を実際に体験します					事前に教本を熟読（2時間）、事後、指摘された箇所を復習（2時間）				
4	防災訓練（図上）の実際3	図上訓練を実際に指導することについて詳述します					事前に該当地域の分析（2時間）、事後、指摘された箇所を復習（2時間）				
5	緊急救助技術を身につける（理論）	緊急救助技術の意義について詳述します					事前に教本13講を熟読（2時間）、事後、指摘された箇所を復習（2時間）				
6	救命講習実習1	規程の救命講習を受講します					事前にマニュアルを熟読（2時間）、事後、指摘された箇所を復習（2時間）				
7	救命講習実習2	規程の救命講習を受講します					事前にマニュアルを熟読（2時間）、事後、指摘された箇所を復習（2時間）				
8	救命講習実習3	救命講習の開催手順と講習ポイントを詳述します					事前にマニュアルを熟読（2時間）、事後、指摘された箇所を復習（2時間）				
9	防災訓練の理論	防災訓練の意義について詳述します					事前に教本14講を熟読（2時間）、事後、指摘された箇所を復習（2時間）				
10	避難行動の理論	避難行動の手順について詳述します					事前に教本26講を熟読（2時間）、事後、指摘された箇所を復習（2時間）				
11	BCP実践論	BCPについて詳述します					事前に取組事例を熟読（2時間）、事後、指摘された箇所を復習（2時間）				
12	災害支援活動の実際1	災害支援活動の実施					事前に支援地を調査（2時間）、事後、調査箇所を復習（2時間）				
13	災害支援活動の実際2	災害支援活動の実施					事前に支援地を調査（2時間）、事後、調査箇所を復習（2時間）				
14	災害支援活動の実際3	災害支援活動の実施					事前に支援地を調査（2時間）、事後、調査箇所を復習（2時間）				
15	防災士試験対策	防災士試験対策					事前に教本を熟読（4時間）、事後、調査箇所を復習（4時間）				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「「防災士教本」」日本防災士機構編著					定期試験：50% レポート：50% S：出席レポートおよび課題の提出と内容、試験のすべてが95%以上 A：出席レポートおよび課題の提出と内容、試験のすべてが80%以上 B：出席レポートおよび課題の提出と内容、試験のすべてが70%以上 C：出席レポートおよび課題の提出と内容、試験のすべてが60%以上 出席レポートは事前の講義に即した内容をその都度示します。また、課題は毎回小テストを実施します。						
参考書					履修上の注意（学生へのメッセージ）						
必要時にその都度指示します。					この授業は日本防災士機構が実施する防災士資格認定試験の受験資格と連動しているため、やむを得ない理由で欠席した場合は、必ずレポートが課される。						

科目名	生涯学習概論			学年学期	2年前期	単位数	2	ナパ・リソフ	TB26087	研究室	W-20
担当者	向井 健			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	火曜日3限、木曜日3限		
関連資格	学芸員、社会教育士、中一(社会)、高一(公民)					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)							
		A	B	C							
授業概要 広く地域に目を向けると、学校教育の枠にとどまらず、さまざまな場所で、様々な世代の人たちが互いに学びあっている姿があることに気がつきます。そのような住民の学習活動を支援していくためには、社会教育・生涯学習にはどのようなことが求められるのでしょうか。身近な長野県や松本市における事例も紹介しながら、考えていきたいと思えます。(社会教育主事養成課程における法令上の科目名は「生涯学習概論」に相当。)											
学修到達目標 1、社会教育・生涯学習とは何かを知り、これからの社会教育・生涯学習のあり方について考えることができる。 2、地域の中で展開する住民の学習活動に目をむけ、そのような活動を支援する社会教育・生涯学習の意義について考えることができる。											
授業の進め方 資料・レジュメは適宜配布します。講義形式のほか、住民の学習実践過程の分析のグループワーク、身近な地域の生涯学習実践者をゲストスピーカーとして招き、話を聞く特別講義、社会教育施設のフィールドワークにも取り組みます。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	社会教育・生涯学習とは	社会教育・生涯学習の概念について学びます。何故、どんな時に、人は学びを求めたのか。「生きること」を励ます学びとは何か。持続可能な地域を創造する学びとは何か、ということを考えていきます。					事後学習：序章部分のふりかえり(4時間)				
2	社会教育・生涯学習の思想と方法	社会教育・生涯学習では、どのようなことを大事にしてきたのでしょうか。社会教育・生涯学習をめぐる思想や方法について学びます。					事後学習：第1章・プリントのふりかえり(4時間)				
3	社会教育・生涯学習の歴史	社会教育・生涯学習の歴史 として、1950年代における共同学習運動を取り上げ、「表現すること」のもつ教育的意義について考えます。					事後学習：第1章・プリントのふりかえり(4時間)				
4	社会教育・生涯学習の歴史	社会教育・生涯学習の歴史 として、1950～60年代に長野県で花開いた農村青年学習運動や信濃生産大学の事例を取り上げ、その意義について考えます。					事後学習：第2・4章のふりかえり(4時間)				
5	社会教育・生涯学習の歴史	社会教育・生涯学習の歴史 として、1970年代後半の松川町で取り組まれた松下拓による健康学習実践の分析を通して「意識化」の論理について学びます。					事後学習：第6章のふりかえり(4時間)				
6	社会教育・生涯学習の行財政	住民の学習権を保障する社会教育・生涯学習に関わる行財政とその課題について考えます。また自分自身が住んでいる自治体の社会教育行政がどのようになっているのかを具体的に調べてもらいます。					事後学習：第3章のふりかえり(4時間)				
7	地域づくりに取り組む社会教育・生涯学習	公民館を核としながら住民主体の地域づくりを支える仕組みづくりに取り組んできた松本市の取り組みについて学びます。確認テストを実施し、削除後、返却します。					事後学習：第7章のふりかえり(4時間)				
8	「地域と学校」をめぐって	「地域と学校」をめぐってどのような議論がなされてきたのかをフォローしながら、子ども・若者を育つコミュニティを培う社会教育・生涯学習の役割とは何か、ということについて考えます。					事後学習：「地域と学校」に関して配布したプリントのふりかえり(4時間)				
9	住民の学びを支える社会教育施設	住民の学びを支える社会教育施設について学びます。とりわけこの回では、社会教育・生涯学習の観点から博物館について取り上げます。					事後学習：社会教育施設に関する振り返りを行い、自分自身の考えをまとめる(4時間)				
10	ゲストスピーカーの話を聞く	実際にこの地域で活動されてきた地域住民もしくは社会教育職員の方にお話を聞きます。					事前学習：身近な地域の社会教育・生涯学習の状況について調べて質問事項を考える(4時間)				
11	社会的排除に取り組む社会教育・生涯学習	現代的課題としての社会的排除問題について学び、その課題解決に取り組む社会教育・生涯学習の意義について考えます。あわせて障がい者喫茶コーナーなどの取り組みなども紹介します。					事後学習：第5章の振り返り(4時間)				
12	3.11後の地域再生教育と社会教育・生涯学習	被災地におけるコミュニティの再生に果たした社会教育・生涯学習の役割を学ぶとともに、3.11以後社会にもとめられる社会教育・生涯学習とは何かを考えます。					事後学習：第8章の振り返り(4時間)				
13	社会教育施設フィールドワーク	特徴的な社会教育施設のフィールドワークを通して、そこがどのような「学びの場」における環境醸成に取り組んでいるのかを読み取り、報告してもらいます。					事後学習：フィールドワークの結果をまとめる(4時間)				
14	社会教育・生涯学習にかかわるしごととその力量形成	社会教育・生涯学習にかかわるしごとについて学ぶとともに、住民の学習を支えていく仕事をしていくために求められる力量形成のあり方について考えます。					事後学習：終章の振り返り(4時間)				
15	まとめ	講義を総括し、これから求められる社会教育・生涯学習について考えます。					事前学習：これまでの講義の振り返り(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「社会教育・生涯学習論」鈴木敏正・朝岡幸彦著鈴木敏正・朝岡幸彦編(学文社) ISBN:9784762027611(生協で購入してください。)					課題：30% レポート：70% S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組むことができる。A：授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって課題に取り組むことができる。B：授業のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「地域学習の創造：地域再生へ学びを拓く」佐藤一子著(東京大学出版会) ISBN:978-4130513272 必要に応じて提示します。 「公民館で地域がよみがえる」白戸洋著(松本大学出版) ISBN:978-					長野県、そして松本市は社会教育・生涯学習が盛んな地域として全国的に知られています。身近な足元の住民の学習活動に目を向けてみましょう。きっと今まで見てきた地域が違った色をもって見えてくるはずです。						

科目名	生涯学習概論			学年学期	2年後期	単位数	2	ナパ'リング	TB26088	研究室	W-15
担当者	田開 寛太郎			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	月曜日3限、火曜日3限		
関連資格	社会教育士					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
本講義では、生涯学習の基本的な知識を理解したうえで、社会教育に関する法と制度、社会教育関連施設である公民館と職員の実際、国内外の公共性を持つ学習実践や生涯学習における現代的課題について学びながら、学習を通じた個人の生き方や社会との関わり方について理解を深めます。(社会教育主事養成課程における法令上の科目名は「生涯学習概論」に相当。)											
学修到達目標											
生涯学習の概要、地域で住民が共に学ぶという営みの意義についての理解を深めながら、生涯にわたる学習を自ら実践していくための力量形成を身につける。											
授業の進め方											
テキストを横断的に使用し、補足としてレジュメ程度の配布資料(参考資料)、プレゼンテーションや映像動画などの各種教材を使いながら講義を進めます。また、授業に関係するフィールドに出かけ、理解を深めます。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	ガイダンス	授業概要、学修到達目標、授業の進め方、評価の仕方、履修上の注意などを説明します。					シラバスの理解と授業の内容を振り返り、ノートにまとめる(4時間)				
2	社会教育に関する法と制度	社会教育法にもとづく公的な社会教育施設を整理し、公民館の公共性と地域性について学びます。					テキスト序章の該当部分を読む。配布資料を復習する(4時間)				
3	社会教育の施設論	公民館の法制度的な理念を踏まえて、戦後の公民館の普及・定着について学びます。					テキスト第4章の該当部分を読む。配布資料を復習する(4時間)				
4	新しい公民館像の探求	高度経済成長期以降、都市化によってコミュニティの変容が進む中、社会教育・4つのテーマと新たな理念による公民館像について学びます。					テキスト第5章の該当部分を読む。配布資料を復習する(4時間)				
5	生涯学習体系への移行	1990年代以降の「生涯学習政策への移行」と自治体行政改革について説明し、大きな転換が迫られている公民館について考えます。					テキスト第6章の該当部分を読む。配布資料を復習する(4時間)				
6	社会教育施設における学習の自由、表現の自由	戦後日本の社会教育制度における図書館、博物館、公民館などの施設を整理し、社会教育施設の政治的中立性について考えます。					テキスト第1章の該当部分を読む。配布資料を復習する(4時間)				
7	「九条俳句不掲載」問題と大人の学習権	さいたま市地区公民館で起こった「九条俳句不掲載」問題を事例に、訴訟の争点となった学習権を尊重する公民館運営のあり方や自主的な学習サークルと職員の関わり方から、大人の学習権について考えます。					テキスト第2章の該当部分を読む。配布資料を復習する(4時間)				
8	公民館における学習権の保障	訴訟の過程と学習者みずから学習権を自覚化する過程から、学習権を保障する公民館のあり方について考えます。確認テストを実施し、添削後、返却します。					テキスト第3章の該当部分を読む。配布資料を復習する(4時間)				
9	民主主義と社会教育	デモクラシーを育む公民館の理念について整理し、住民が地域に向き合い、学習を通じて地域に主体的に参加することの意義について考えます。					テキスト第7章の該当部分を読む。配布資料を復習する(4時間)				
10	憲法・平和・人権学習の展開	現代的課題に関する学習の基本的な柱である平和・人権学習、地域課題解決学習の展開について学びます。					テキスト第8章の該当部分を読む。配布資料を復習する(4時間)				
11	ESDと地域づくり学習	長野県の特徴ある公民館活動について説明するとともに、ESD(持続可能な開発のための教育)の国際的動向や、地域課題解決学習からESDへの展開について学びます。					テキスト第9章の該当部分を読む。配布資料を復習する(4時間)				
12	財政白書づくりの基礎	全国で市民の主権者としての市行財政への参加が広がりを見せており、自治をつくる観点から市民による財政学習の意義について考えます。					配布資料をもとに全国の財政白書の事例について事前に調べる(4時間)				
13	財政白書づくりの展開	市民による松本市財政白書づくりを事例に、公民館活動や職員によって支えられている全国の財政白書づくりの動向について学びます。					配布資料をもとに市民がつくる松本市財政白書づくりの事例について事前に調べる(4時間)				
14	財政白書づくりの応用	実際に財政分析を行い、市民の学習権を支える社会教育財政の構造について学びます。					配布資料をもとに市民がつくる財政白書づくりの成果についてノートにまとめる(4時間)				
15	生涯学習社会を支える社会教育	グローバル時代において、一人ひとりの市民にとって社会教育や公民館はどのような意味を持つのかについて考えます。					テキスト終章の該当部分を読む。配布資料を復習する(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準							
「「学びの公共空間」としての公民館 九条俳句訴訟が問いかけるもの」佐藤一子著(岩波書店) ISBN:978-4000248273(生協で購入してください。)				受講態度:30% レポート:70% 受講態度は、受講票による講義への意見等を評価に加味します。レポートは複数回に分けて実施します。 S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組むことができる。A:授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって課題に取り組むことができる。B:授業のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。							
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「社会教育・生涯学習論:すべての人が「学ぶ」ために必要なこと」鈴木敏正・朝岡幸彦編(学文社) ISBN:978-4762027611 別途指示します 必要に応じて本講義中に参考となる学術論文、書籍を紹介します。				小グループによる活動を中心とした授業形式であるため休みがちまたは予習をさぼりがちな人は班員に多大な迷惑が生じますので、欠席と未予習に対しては厳しい評価をします。							

科目名	社会教育経営論			学年学期	2年前期	単位数	2	ナパ`リング	TB26089	研究室	W-34
担当者	白戸 洋			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	金曜日3限		
関連資格	社会教育士				履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
<p>本講義では、社会教育が多様な主体と連携して地域の課題の解決や人材育成、学校教育との連携などを通じて、地域づくりにどのようにかかわっていくのかについて理論面と実践面の両面から学ぶことを目的とする。特に社会教育における学習や実践が特に社会教育の先進的な地域と評価される長野県における戦後の学習運動などの社会教育の歴史やこれまでの具体的な取り組み、さらには防災などの現代的なテーマについて具体的に学び、より実践的な知識や技能を取得することを目指す。(社会教育主事養成課程における法令上の科)</p>											
学修到達目標											
<p>1)現代社会の直面する課題を明らかにして社会教育に期待される役割を学ぶ、2)現代の地域づくりにあり方について考え、社会教育が取り組むべき具体的な課題を明らかにする、3)地域づくりの担い手の育成や学校教育との連携、様々な地域に関わる主体との連携など具体的な取り組みについて理解する</p>											
授業の進め方											
<p>講義では、理論を学習するとともに、具体的な実践などを事例として紹介する。学生が主体者意識を持つように、グループワークを取り入れる。より深く理解するために、高大連携や地域課題の解決など実際に取り組みに参加する機会をつくる。</p>											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	地域づくりと社会教育	地域づくりにおいて社会教育がどのような役割を果たすかについて学ぶ					事後学習：序章のふりかえり(4時間)				
2	社会の変化と社会教育への期待	現代の社会や地域の課題について学び社会教育への期待について考える(グループワーク)					事後学習：グループワークののふりかえりとレポートの作成(4時間)				
3	社会教育の役割の変化	長野県を事例として社会教育が地域づくりにどう関わってきたかについて学ぶ					事後学習：プリントのふりかえり(4時間)				
4	地域に関する学び	東日本大震災に関する地域学習について事例学習を行う					事後学習：3章とプリントのふりかえり(4時間)				
5	地域に関する学び	農山村振興に関する地域学習について事例学習を行う					事後学習：4章とプリントのふりかえり(4時間)				
6	地域に関する学び	子育て・子育てに関する地域学習について事例学習を行う					事後学習：6章とプリントのふりかえり(4時間)				
7	地域に関する学びについてのまとめ	グループディスカッションによって地域の学びのあり方や今後の課題を考える。確認テストを実施し、添削後、返却します。					事後学習：グループワークののふりかえりとレポートの作成(4時間)				
8	公民館における地域学習	公民館における地域づくりに向けた学びを考える					事後学習：7章とプリントのふりかえり(4時間)				
9	博物館における地域学習	博物館における地域づくりに向けた学びを考える					事後学習：8章とプリントのふりかえり(4時間)				
10	大学における地域連携	大学における地域と連携した学びと実践について考える					事後学習：9章とプリントのふりかえり(4時間)				
11	地域づくりの担い手を育てる社会教育	高大連携に関してその現状と課題を具体的な事例を通して考える					事後学習：プリントのふりかえり(4時間)				
12	長野県社会教育から学ぶこと	「学習型地域づくり」の概念とその実践について学ぶ					事後学習：プリントのふりかえり(4時間)				
13	長野県社会教育から学ぶこと	産業振興や集落の生活改善、健康づくりなどの取り組みについて学ぶ					事後学習：プリントのふりかえり(4時間)				
14	長野県社会教育から学ぶこと	現代的な課題に取り組む社会教育の実践について現場から学ぶ(アウトキャンパス)					事後学習：プリントのふりかえりとレポートの作成(4時間)				
15	社会教育に期待されるコーディネート機能	講義の内容全体に関するまとめとグループディスカッション					事後学習：プリントのふりかえりとレポートの作成(4時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
<p>「地域学習の創造」佐藤一子著(東京大学出版会) ISBN:978-4-13-051327-2(生協で購入してください。)</p>					<p>レポート：30% 定期試験：30% 課題：40% S:講義内容を活かして社会教育に関する実践に取り組むことができる A:講義内容を十分に理解し社会教育に対する自分なりのビジョンを持つ B:講義内容を十分に理解し社会教育に関心を持つ C:講義内容をおおむね理解する</p>						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
<p>「公民館で地域がよみがえる」白戸 洋著白戸 洋編(松本大学出版会) ISBN:978-4-902915-14-3 生協で購入してください</p>					<p>社会教育士をめざすために主体的に熱意を持って積極的に学ぶとともに、他者と協調して学びを創造する姿勢を持って受講してほしい</p>						

科目名	社会教育経営論		学年学期	2年後期	単位数	2	ナパ'リング	TB26090	研究室	非常勤
担当者	矢久保 学		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格	社会教育士				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)							
		A	B	C						
授業概要										
中教審答申「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について(答申)」等にみられるように、社会教育のあり方が大きく変化していく中において、社会教育の教育としての独立性を守り、これまで社会教育として蓄積されてきた知識や実践力を生かしていく方策を学びます。さらに、幅広い視野で多様な主体と連携していく新たな地域づくりや学びの支援者に必要なつなぐ力を持った頼りになる職員像等を考えていきます。(社会教育主事養成課程における法令上の科目名は「社会教育経営論」に該当)										
学修到達目標										
1 地域における日々の暮らしをベースとして、社会教育の役割及び社会教育としての地域づくりに求められる学びの支援のあり方を理解します。2 自治体の部局や地域自治会等と連携し、学びの成果を生かした政策立案のプロセス、方策を習得します。3 学びの支援者に必要な考え方や人と人、人とモノ・コトをつなぎ、地域づくり実践につなげていく力・技法について理解します。										
授業の進め方										
現地訪問、関係者との意見交換、資料の読み解きを通じて、社会教育の力や多様な主体と社会教育が協同する意義や効果について学び、社会教育を生かした自治体経営のあり方、地域づくりに対する社会教育の役割について学生自身が考え、相互に意見交換します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	地域・住民自治と社会教育のつながり	なぜ社会教育と地域が結び合うのか、地域住民の日常生活と地域の課題とは何か。地域における住民自治、地域経営と住民の学び・公的社会教育の役割について考えます。				事前学習：自分自身と地域のつながりについてまとめる。(4時間)				
2	「協同」とは何か、社会教育の支援とは何か	松本市の協働の指針を資料として「協同」とは何かを学びます。さらに多様な主体との協同に向けた社会教育の役割とは何かについて考えます。				事後学習：いろんな協同(協働)の在り方を調べる。(4時間)				
3	社会教育の新たな協同 地域福祉との協同	福祉と教育の関係を学び、地域包括ケア体制の構築等の地域福祉に対して社会教育とどのように協働していくのかを考えます。				事前学習：地域包括ケアシステムとは何かを調べておく。(4時間)				
4	社会教育の新たな協同 まちづくりとの協同	平仮名の「まちづくり」とは何かを学び、松本市の都市計画やお城を中心としたまちづくり等の推進に対して社会教育とどのように協働していくのかを考えます。				事後学習：参考書を活用して、まちづくりについて調べる。(4時間)				
5	社会教育の新たな協同 SDGsとの協同	国連が主導するSDGsとは何かを学び、ESD(持続可能な開発のための教育)の推進等によりSDGsの活動と社会教育がどのように協働していくのかを考えます。				事前学習：地球温暖化の現状と国際的な取り組みの現状を調べる。(4時間)				
6	学校・コミュニティスクールと社会教育の協同	教員の多忙化や地域との関係性等学校が抱える現状を学び、学校と地域、社会教育の連携・共同のあり方について考えます。				事後学習：学校の現状について調べ、その原因を考える。(4時間)				
7	学校・コミュニティスクールと社会教育の協同	松本市の進める「松本版コミュニティスクール」の推進の核となる公民館の取り組みを学び、学校サポートから学校を含めた地域づくりについて考えます。確認テストを実施し、添削後、返却します。				事後学習：コミュニティスクールは、なぜボランティア中心ではダメかを考える。(4時間)				
8	学校・コミュニティスクールと社会教育の協同	松本市でコミュニティスクールを進めている関係者から実践と課題等の話を伺い、今後のコミュニティスクールの位置づけや進め方について考えます。				事後学習：多様なコミュニティスクールの実践を調べる。(4時間)				
9	自治体における社会教育の位置付けと他部局との連携	松本市の地域づくりシステムを参考としながら、社会教育の予算や社会教育推進のための計画の現状を学び、社会教育を生かした自治体行政のシステム化について考えます。				事後学習：参考書を活用して、様々な視点からまちづくりとその課題について考える。(4時間)				
10	自治体における社会教育の位置付けと他部局との連携	社会教育を具体的な地域づくりに生かすため、自治体行政のシステム化、他部局と連携した社会教育を進めていく方策を学び、関係職員の役割について考えます。				事後学習：参考書を活用して、様々な視点からまちづくりとその課題について考える。(4時間)				
11	社会教育施設の経営戦略 公民館	松本市の地区公民館を訪問・見学し、地区公民館の活動と施設の経営状況について現場の司書から話を聞き、社会教育施設の経営戦略について考えます。				事後学習：公民館の事業に参加する。(4時間)				
12	社会教育施設の経営戦略 図書館	松本市中央図書館を訪問・見学し、図書館の活動と施設の経営状況について現場の司書から話を聞き、社会教育施設の経営戦略について考えます。				事後学習：図書館を利用する。(4時間)				
13	社会教育施設の経営戦略 博物館	移転新築途上の松本市基幹博物館の建設担当学芸員からの話を聞き、コンセプト、設計から展示、管理までを体系的に学びます。				事後学習：博物館を見学する。(4時間)				
14	まとめ、これからの社会教育、社会教育士について考える	これからの社会教育は何を目指すのか、生涯学習について、そういう学びを支える支援者に必要な力量について、受講者自らがまとめ、報告します。				事前学習：今後の社会教育のあり方をまとめたレポートを作成する。(4時間)				
15	まとめ、これからの社会教育、社会教育士について考える	これからの社会教育は何を目指すのか、生涯学習について、そういう学びを支える支援者に必要な力量について、受講者自らがまとめ、報告します。				事後学習：今後の社会教育のあり方をまとめたレポートを修正・提出する。				
テキスト			成績評価の方法・基準							
別途指示します。			課題：30% レポート：70% S：授業内容を高度に理解し、創造力と探求姿勢を持って課題に取り組むことができる。A：授業内容を理解し、積極的な探求姿勢を持って課題に取り組むことができる。B：授業のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。C：授業内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。							
参考書			履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「城下町のまちづくり講座」松本都市デザイン学習会著(信濃毎日新聞社) ISBN: ISBN978-4-7840-7348-1 生協で購入してください			社会教育では、日常生活をベースとして、学びと実践を反復すること、次世代を育むことが重要です。過去の形式にとらわれず、新たな公的社会教育のあり方、地域づくりに生かすための方策を考えていきましょう。							

科目名	生涯学習支援論		学年学期	3・4年前期	単位数	2	ナパリング	TB36091	研究室	非常勤
担当者	木下 巨一		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格	社会教育士				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)							
		A	B	C						
授業概要										
長野県内の公民館・社会教育機関の実践に加えて、地域福祉団体、ボランティア団体、商業者、高校生・若者グループ、シニアグループなど、主体的に他者ととも学ぶ人々が、学んだことを力に他者ととも地域や社会の課題解決の主体として生きる姿を実際に学び、そういう生涯学習者の支援者としての備え、支援に必要なプロセス、技法を学ぶ場とします。(社会教育主事養成課程における法令上の科目名は「生涯学習支援論」に相当。)										
学修到達目標										
1 地域における日々の暮らしの中にある営みを社会教育・生涯学習の視点で意味づけすることができる。 2 社会教育・生涯学習を実践する人々の支援者としての備え、支援に必要なプロセス、技法を習得する。										
授業の進め方										
長野県内各地域で取り組まれている実践について、座学、ゲストティーチャーの講義、現地学習を行い、後半は、地域の営みを社会教育・生涯学習の視点で意味づけるとともに、支援者に必要な備え、支援に必要なプロセス、技法について、学生自らがまとめる。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	社会教育・生涯学習とは	地域に暮らす人々の営みを具体的な事例として紹介しながら、そういう営みを社会教育・生涯学習の視点でつなげて考えます。				事前学習：これまでの人生と学びのつながりについて発言できるよう準備する。(4時間)				
2	地域の学びの実際と社会教育・生涯学習 -1	飯田市民館が関わる高校生講座カンボジアスタディツアー、地域人教育を通じた高校生たちの学びについての講義を行います。				事後学習：県内で営まれている高校生の学びについて、調べてみる。(4時間)				
3	地域の学びの実際と社会教育・生涯学習 -2	前半は、飯田市民館の高校生教育を支える公民館主事たちの役割についての講義を行い、後半は、高校生の学びと、学びの支援者としての公民館主事の役割について振り返ります。				事後学習：飯田市以外の公民館活動の実際について調べてみる。(4時間)				
4	地域の学びの実際と社会教育・生涯学習 -1	飯田市民館が取り組んできたジェンダー、平和学習、多文化共生の取組についての講義を行います。				事後学習：飯田市以外の地域で行われている多文化共生の取組について調べてみる。(4時間)				
5	地域の学びの実際と社会教育・生涯学習 -2	前半は前回の続きの講義とし、後半は社会教育・生涯学習と、支援者としての公民館職員の役割の視点から振り返ります。				事後学習：県内の公民館職員に仕事の実態を聞き取ってみる。(4時間)				
6	地域の学びの実際と社会教育・生涯学習 -1	シニア大学専門コース「地域プロデューサー養成講座」の卒業者の皆さんのその後の地域における取組の実際について、ゲストティーチャーによる講義を受けます。				事後学習：県内のシニア世代の活動の実際を調べてみる。(4時間)				
7	地域の学びの実際と社会教育・生涯学習 -2	シニア世代の生き方を、社会教育・生涯学習の視点で振り返ります。確認テストを実施し、添削後、返却します。				事後学習：引き続き、県内のシニア世代の活動の実際を調べてみる。(4時間)				
8	地域の学びの実際と社会教育・生涯学習 -1	長野市信州新町の商業者によるNPO「ふるさと」の取組の実際について、ゲストティーチャーによる講義を受けます。				事後学習：いわゆる公民館などの社会教育機関以外の実践を調べてみる。(4時間)				
9	地域の学びの実際と社会教育・生涯学習 -2	「ふるさと」の取組を、社会教育・生涯学習の視点で振り返ります。				事後学習：引き続き、公民館などの社会教育機関以外の実践を調べてみる。(4時間)				
10	現地研修	飯田市民館の取組現場を訪問します。				事後学習：現地研修で生まれた問いを整理する。(4時間)				
11	現地研修2	長野市信州新町「ふるさと」の取組現場を訪問します。				事後学習：現地研修で生まれた問いを整理する。(4時間)				
12	地域の学びを社会教育・生涯学習の視点で分析する	これまで学んだことを、社会教育・生涯学習の視点から分析します。				事前学習：自分なりにこれまで学んだことを社会教育・生涯学習の視点から分析してみる。(4時間)				
13	支援者としての役割を考える	地域で営まれる社会教育・生涯学習の取組を支える支援者の役割について、考えます。				事前学習：自分なりに支援者の役割について考えておく。(4時間)				
14	支援者としての役割を考える	支援者の備え、支援のプロセス、必要な技術など、支援者に必要な力量について分析します。				事前学習：支援者に必要な力量について、自分なりに分析してみる。(4時間)				
15	まとめ	地域の暮らしの中にある社会教育・生涯学習について、そういう学びを支える支援者に必要な力量について、受講者自らがまとめ、報告します。				事前学習：まとめに向けた資料を準備しておく。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「公民館実践と「地域をつくる学び」」姉崎洋一・鈴木敏正著(北樹出版) ISBN:4893848615 (生協で購入してください。)				出席レポート:30% 課題:40% レポート:30% S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢を持って課題に取り組むことができている。A:事業内容を理解し、積極的な探求姿勢を持って課題に取り組むことができている。B:授業のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。C:授業内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
必要に応じて本講義中に参考となる学術論文、書籍を紹介します。				長野県内の多彩で魅力的な地域づくりの取組の実際を基調とした講義となります。現場の生き生きとした営みや、人との出会いの中で共に学びましょう。						

科目名	生涯学習支援論			学年学期	3・4年後期	単位数	2	ナパ'リング	TB36092	研究室	W-20
担当者	向井 健			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-	水曜日4限、木曜日2限		
関連資格	社会教育士					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)							
		A	B	C							
授業概要 生涯学習とは「生まれてから死ぬまでの過程における学びの総体」を現すものですが、そうした学びは人々の生活の基盤としての地域をよりよくする源泉であり、誰もが主体的に自分自身の人生を生きていくために欠かすことができない要件でもあります。本講義では、生涯にわたり主体的に自分自身の人生を生きたいと願う人々の学習要求に応えることのできる学習支援の方法や知識について学んでいきます。(社会教育主事養成課程における法令上の科目名は「生涯学習支援論」に相当。)											
学修到達目標 1 学習主体の特性とその理解に即して、学習ニーズに応じた学習支援のあり方を考えることができる。 2 住民の学習要求に応じた支援をしていくために必要となってくる学習論について理解することができる。											
授業の進め方 適宜、講義ではプリントを配布し、講義をしていくこととします。アウトキャンパススタディを実施し、より深く理解ができるようにしていきます。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	生涯学習者を育む学習支援とは何か	何故、改めて生涯学習が見直され、学習支援が必要になってきているのでしょうか。現代社会の特徴を踏まえたうえで、人々の生涯にわたる学びを支える学習支援者に求められる役割について考えます。					講義中に配布したプリントを復習すること。(4時間)				
2	地域住民の学びを支える人たちはどんな人たちがいるか?	地域の中で住民の人たちの学びを支えている人たちはどのような人たちがいるのでしょうか。地域の中で展開する様々な学びに目を向けて、その意味について考えることにします。					グループで議論をした成果を発表できるようにまとめておくこと。(4時間)				
3	生涯学習の支援者としての力量形成	生涯学習支援者として求められる力量とは何か。そしてその力量を高め、どのような事柄が求められるのかを考えます。					振り返りのシートを記入して提出すること。(4時間)				
4	学習主体者の特性とその理解 : 地域における子どもと親の育ちあい	地域で展開する子育てネットワークの取り組みを事例として取り上げ、現在において子どもと大人がともに育ちあう視点が何故求められるのかを考えます。					講義中に配布したプリントを復習すること。(4時間)				
5	学習主体者の特性とその理解 : 青年の学びと学習支援	ここ近年、若者の間に貧困や格差が広がる中で、社会的自立の困難の広がりが指摘されています。若者自身が自分の人生の見通しを得られていく(=自己形成)支援はいかにあるべきかを考えます。					講義中に配布したプリントを復習すること。(4時間)				
6	学習主体者の特性とその理解 : 高齢者の人たちの学びを支援する	どのように高齢者が理解されてきたのかを押さえた上で、生涯発達論やエイジングに関する研究も踏まえつつ、高齢の人たちの学びにおいて求められるアプローチとは何かを考えます。					講義中に配布したプリントを復習すること。(4時間)				
7	学習主体者の特性とその理解 : 障害のある人たちの学びを支援する	障害のある人たちの生涯にわたる学習保障の必要性が社会的に認識されてきている一方、偏見や差別の是正が重要な課題となっている昨今の動向を踏まえ、学習支援のあり方について考察します。					講義中に配布したプリントを復習するとともに、フィールドワークの感想をまとめておくこと。(4時間)				
8	学習主体者の特性とその理解 : 働くことを問い直す労働者の学び	暮らしのあり方を見直し、自らの生産のありかたを問い直す農漁村民の学びあいや、自らの労働のあり方を見直す労働者の学びに着目し、その意義について考えます。確認テストを実施し、添削後返却します。					講義中に配布したプリントを復習すること。(4時間)				
9	おとなが学ぶことの意味を考える~学習主体のニーズ把握と学びの組織化の方法	どのように学習支援者は、住民の学習要求を把握し、そうした学習要求に応える学習活動を組織化していくことができるのか。大人が学ぶことを支えることの持つ固有性について考えます。					わからない言葉を事前に調べてくること。講義中に配布したプリントを復習すること。(4時間)				
10	学習支援に関する理論 : 省察的実践論	ショーンの省察的学習論について学び、「実践をすること」と、「省察をすること」を切り離さない学びの必要性について考えます。					わからない言葉を事前に調べてくること。講義中に配布したプリントを復習すること。(4時間)				
11	学習支援に関する理論 : 意識化理論	成人識字教育において民衆が文字を獲得していく過程と世界を認識する過程を不可分なものとして捉え、既存の社会の矛盾を問い直す学びを提起したフレイレの意識化理論について学びます。					わからない言葉を事前に調べてくること。講義中に配布したプリントを復習すること。(4時間)				
12	学習支援に関する理論 : 状況的学習論	学習は状況に埋め込まれたものであるとし実践共同体への参加の過程を学習と把握したレイヴ&ウェンガーの状況的学習論について学びます。					わからない言葉を事前に調べてくること。講義中に配布したプリントを復習すること。(4時間)				
13	学習支援に関する理論 : 活動理論	越境しあう学習によって、既存の境界が乗り越えられ、新しいものを産み出していくことができる創動的な学びは如何にしたなら可能か? エングストロームの活動理論を基に考えます。					わからない言葉を事前に調べてくること。講義中に配布したプリントを復習すること。(4時間)				
14	学習支援に関する理論 : 地域学習論	地域学習論の国内外の展開を振り返り見ながら、新たな地域社会創造につながる学びとは何かということについて考えます。あわせて玉井袈裟男によるむらづくり論についても学びます。					わからない言葉を事前に調べてくること。講義中に配布したプリントを復習すること。(4時間)				
15	参画型社会と住民の学習のこれからを展望する	これまでの講義内容を振り返り、住民が主体となった学びを支援していく上で求められることは何かということについて改めて考えます。					わからない言葉を事前に調べてくること。講義中に配布したプリントを復習すること。(4時間)				
テキスト						成績評価の方法・基準					
「地域を支える人々の学習支援」日本社会教育学会編(東洋館出版) ISBN:978-4-491-03162-0(別途、指示します。)						レポート:70% 出席レポート:30% S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組むことができる。A:授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって課題に取り組むことができる。B:授業のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。					
参考書						履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「社会教育・生涯学習ハンドブック第9版」社会教育推進全国協議会編(エデル研究所) ISBN:978-4-87168-604-4 別途指示します						積極的な姿勢での受講を求めます。					

科目名	博物館概論		学年学期	2年後期	単位数	2	ナパ'リング	TB26093	研究室	非常勤
担当者	窪田 雅之		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスア-			
関連資格	学芸員、社会教育士				履修条件	【資格・免許取得希望者のみ履修可】				
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性		履修対象入学年度(読替科目)							
		A	B	C						
授業概要										
現在、博物館をめぐる社会状況はかつてに比べ極めて厳しいものがあり、平成の大合併などの影響もあり博物館の自然淘汰が進行しています。博物館の歩みを振り返りつつ、狭き門である学芸員を目指す立場で、博物館の現状を理解し、今後の博物館の使命と可能性、専門職員である学芸員について考えることが授業の目的です。(社会教育主事養成課程における法令上の科目名は「社会教育特講」に相当。)										
学修到達目標										
博物館の「事業についての専門的事項をつかさどる」学芸員に必要な博物館に関する基礎的な知識を学び、現場での体験をふまえ博物館の現状と課題を修得できるようにします。										
授業の進め方										
博物館の基礎的知識紹介を中心とする授業とし、意見発表の場を設けます。社会教育の実践にふれるため、アウトキャンパススタディの一環として展示・バックヤードなどの見学、また公民館主事(司書)などをゲストスピーカーに招きます。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	博物館概論について	この科目の概要について紹介し、授業の進め方を説明します。学芸員として能力を発揮するベースとなる博物館の定義・基本機能などについて学び、今後の授業にいかします。					シラバスをよく読み、博物館についての理解を深めてください。(2時間)			
2	私と博物館 意見発表	学芸員を目指す理由、自分と博物館のかかわりなどについて学生が意見を発表をします。					自分が学芸員を目指す理由、自分と博物館とのかかわりについてまとめてください。(2時間)			
3	博物館関連法令など	博物館法をはじめ社会教育法、図書館法、生涯学習振興法などを説明し、法令を中心に生涯学習時代の博物館の活動について学びます。					博物館法、社会教育法、図書館法、生涯学習振興法などを学習してください。(2時間)			
4	博物館史1世界の博物館史、日本の博物館史1前史	ヨーロッパをはじめとした諸外国の博物館史、日本の博物館前史を説明し、近代以前の博物館的思想の萌芽について松本博覧会を事例に学びます。					テキスト第1章第1節を読んで要点をまとめてください。(2時間)			
5	博物館史2日本の博物館史2明治~博物館法制定	明治政府の博物館設置、地方の記念館・郷土博物館設置などを説明し、市民を啓もう・教育した博物館の役割とその時代背景について学びます。					テキスト第1章第1節2~3、配布資料を読んで要点をまとめてください。(4時間)			
6	博物館史3 日本の博物館史3博物館法制定~現代	博物館法制定から高度経済成長期を経て現代にいたる博物館新設ラッシュを説明し、150年近い歴史をもつ博物館の存在と活用について学びます。					テキスト第1章第1節5~7を読んで要点をまとめてください。(4時間)			
7	博物館活動1資料の収集	博物館が収集対象とする資料の種類、博物館の活動で中核をなす資料の収集活動を説明し、博物館のコレクション形成、無形資料の収集方法などについて学びます。確認テストを実施し、添削後、返却します。					テキスト第1章第2節1、4、第3章第3節2を読んで要点をまとめてください。(4時間)			
8	体験実習 博物館常設展示・特別展示見学(現地)	松本市立博物館においてアウトキャンパススタディの一環として2種類の展示を見学し、後日学生が感想を発表します。日時は改めて相談します。					テキスト第2章第1節1~4を読んで内容を把握してください。見学レポートを作成してください			
9	体験実習 博物館バックヤードほかの見学(現地)	松本市立博物館(国宝旧開智学校校舎)においてアウトキャンパススタディの一環としてバックヤードなどを見学し、後日学生が感想を発表します。日時は改めて相談します。					配付資料を読んで内容を把握してください。見学レポートを作成してください(4時間)			
10	博物館活動2資料の整理・保存	9の体験を踏まえ、資料の整理と保存環境について説明し、保存と活用という一見相反する活動について学びます。8、9に関わり学生が意見を発表します。					見学、講義を踏まえ資料の収集、整理・保管について自分の考えをまとめてください。(4時間)			
11	博物館活動3展示・利活用	料活用の中核をなす展示の種類やシナリオ、利用者とのかかわりなどを説明し、資料の魅力を引き出す展示の役割や資料の利活用について学びます。					テキスト第2章第1節5~6を読んで要点をまとめてください。(4時間)			
12	博物館活動4学習支援	博物館の普及活動の変化、市民への啓もうから学びの支援へと変わりつつあることを説明し、展示以外の多様な学習支援について学びます。					テキスト第3章第1節2~4、同第3節1、3を読んで要点をまとめてください。(4時間)			
13	博物館と公民館	生涯学習時代を迎え、社会教育施設である公民館の活動について公民館主事から体験談を聞き、博物館と公民館の連携などについて考えます。					博物館法、社会教育法、配付資料を熟読してください。(4時間)			
14	博物館と図書館	生涯学習時代を迎え、社会教育施設である図書館の活動について司書から現況を聞き、博物館と図書館の連携などについて考えます。					博物館法、図書館法、配付資料を熟読してください。(4時間)			
15	まとめと展望 意見発表	14回の講義を振り返り、自分が理想とする博物館像、学芸員像について学生が意見を発表します。					講義内容などを振り返り、自分の発表する内容をまとめてください。(4時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
「信州松本発。博物館ノート」窪田雅之著(書誌秋櫻舎) ISBN:978-4-921206-11-6(生協で購入してください。)					受講態度:20% 出席レポート:30% レポート:50% S:授業内容を高度に理解し、創造力と探求姿勢を持って課題に取り組むことができる。A:授業内容を理解し、積極的な探求姿勢を持って課題に取り組むことができる。B:授業のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。C:授業内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
必要に応じて本講義中に参考となる学術論文、書籍を紹介しします。					具体的な博物館像、学芸員像をイメージしながら講義にのぞみ、日頃から博物館に関連する報道(主に新聞)にも目を配ってください。					

科目名	博物館資料保存論			学年学期	3年前期	単位数	2	ナパリング	TB36094	研究室	非常勤
担当者	窪田 雅之			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格	学芸員			履修条件		【資格・免許取得希望者のみ履修可】					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A B C									
授業概要											
博物館資料は、時代的には旧石器時代から現代まで、また材質的にも多岐にわたっています。資料は適切な保存処理をほどこしその材質にあった環境下で保存しないと資料価値を失ってしまいます。このような視点に基づき、日本の文化財保護の歴史にふれながら主に人文系博物館を中心に学習支援活動とかかわり博物館資料の保存・保全(処理)とその環境のあり方について考えます。											
学修到達目標											
保存科学の進歩により、博物館資料の保存処理などは専門業者に委託するケースが増えているため、学芸員として最低限必要な資料の保存・保全とその環境にかかわる能力(知識・技術)を修得できるようにします。											
授業の進め方											
教室での講義を中心とし、内容により実務担当者の講義もあります。また資料保存・保全(処理)の実際、保存環境の現状を学ぶため博物館施設などを見学します。事例学習などではレポートの提出を求めます。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	博物館資料保存論について	この科目の概要を紹介し、授業の進め方を説明します。博物館資料に害を及ぼす様々な要因について学び、今後の授業につなげます。					シラバスをよく読み、博物館資料の保存と活用について理解を深めてください。4時間				
2	文化財と博物館資料	文化財とは何か、博物館資料とは何かについて学び、資料保存担当学芸員に望まれることなどについて考えます。					文化財保護法、博物館法をよく読み、理解を深めてください。4時間				
3	日本の博物館の成立と機能	明治期の文化財保護政策と日本の博物館史を学び、博物館の機能について考えます。					事前配布資料を参考に、日本の文化財保護政策の歴史を把握してください。4時間				
4	博物館資料の収蔵と保管	博物館のベース機能に収蔵・保管があります。正倉院にみられる伝統的保存方法と松本市美術館の収蔵・保管空間を事例にベース機能を学び、12の事例学習2につなげます。					松本市美術館の常設展示作品の状況を観察してください。4時間				
5	文化財建造物の保存と活用	文化財建造物が博物館として、博物館資料として公開・活用されている事例は多くあります。建造物が文化財であり博物館資料でもあることを再認識し、指定文化財建造物の保存・活用について学びます。					松本市内の文化財建造物(博物館)の保存・活用状況を観察してください。4時間				
6	博物館資料の保存環境1 温湿度	博物館資料の劣化(影響)を及ぼす要因は様々なものがありますが、中でも重要な要因は温湿度です。温湿度の定義、資料に望ましい温湿度環境などについて学びます。					事前配布資料を参考に、資料の劣化と温湿度の関係を考えてください。4時間				
7	博物館資料の保存環境2 光と照明	博物館資料を見学するために光(照明)は不可欠ですが、資料を劣化させる大きな要因でもあります。資料の保管と活用という、相反する博物館活動を両立させるための光のあり方、照明について学びます。					事前配布資料を参考に、資料と光の関係、適切な照明手法を考えてください。4時間				
8	博物館資料の保存環境3 総合的病害虫管理(IPM)	博物館資料は常に虫害の危機にさらされ、それを防ぐ全館燻蒸が行われてきました。これに代わり、近年広く行われるようになったIPMの考え方と方法について学びます。					事前配布資料を参考に、虫害と施設のあり方を考えてください。4時間				
9	博物館資料の被災と資料の救援活動	近年、自然災害などで博物館、地域の資料が被災する事例は多くあります。阪神淡路大震災以来各地の被災博物館、被災資料のボランティアによる救援活動にふれ、長野市立博物館の救援活動の実態を学びます。					被災博物館、被災資料の救援活動の事例を調査してください。4時間				
10	金属・木製品の保存処理	博物館資料には発掘品をはじめ、歴史・民俗資料にも金属・木製品があります。これらの保存処理・保管・展示について松本市立博物館と同考古博物館の現状にふれ、11の事例学習1につなげます。					松本市立博物館(同考古博物館)の金属・木製品の展示資料の状況を観察してください。4時間				
11	事例学習1 金属・木製品の保存処理の現状(現地・松本市立考古博物館)	10にかかわり、金属・木製品の保存処理作業について現場で説明を受け、収蔵庫なども見学します。日程は後日調整。					事前配布資料を参考に、金属・木製品の保存処理のあり方を考えてください。4時間				
12	事例学習2 美術資料保存の現状(現地・松本市美術館)	美術資料の受入れから収蔵、展示へのプロセスと保存環境について説明を受け、収蔵庫なども見学します。日程は後日調整。					4講時の松本市美術館の展示作品の状況を資料保存の視点からまとめてください。4時間				
13	事例学習3 文書資料保存の現状(現地・松本市文書館)	松本市史編さんを機に収集された近世・近代行政文書類の保存環境と活用について説明を受け、収蔵庫なども見学します。日程は後日調整。					松本市または安曇野市、帰省先にある文書館に入館し、感想をまとめてください。4時間				
14	地域資源の保存と活用 地域まるごと博物館への展望	授業でふれた資料は、博物館というハコモノ内のものが対象です。ここではより広く、生活する地域にある自然・文化・産業などの地域資源を保存・活用し、地域づくりにかかわる博物館活動の事例を学びます。					地域まるごと・まちじゅう博物館活動事例にあたり、現状と課題をまとめてください。4時間				
15	まとめ 意見発表・批評	14回の授業を振り返り、博物館資料の保存(と活用)について学生が意見を発表し、批評します。					指示により、発表意見をまとめてください。4時間				
テキスト				成績評価の方法・基準							
「ありません」				受講態度：30% レポート：20% 定期試験：50% s：授業内容を高度に理解し、批判的思考力に基づいて課題解決に取り組める。 A：授業内容を理解し、自発的に課題を認識できる。B：授業の概略を理解し、知識の活用を図ることが出来る。C：基礎知識を理解し実践に備えることが出来る。							
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)							
「博物館資料保存論」石崎志編(講談社) ISBN: 978-4-06-156503-6 テキストに準じます 「博物館資料取扱いガイドブック(改訂版)」日本博物館協会編(ぎょうせい)				資料保存の現状にふれ、その意義を考えて授業にのぞんでください。途中で事例学習レポートの提出を求めます。							

科目名	博物館展示論			学年学期	3年前期	単位数	2	ナパリング	TB36095	研究室	非常勤
担当者	原田 和彦			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格	学芸員					履修条件	【資格・免許取得希望者のみ履修可】				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
博物館の使命は文化財を収集・保管し、利用に供することにあります。その利用に供する主たる手段が展示です。展示についてはその活動をとらえて観覧者の教養等に資するだけでなく、近年では国民共有の知的資源を国民が主体的に利用しうる手段で提供することによって、その権利を保障するものであるという考え方も強まっています。本講義では、学芸員としての基礎ともいえるべき展示の意義、理論、方法についての知識・技術等の能力を習得していきます。											
学修到達目標											
展示の歴史、展示メディア、展示による教育活動、展示の諸形態等に関する理論及び方法に関する知識・技術を習得し、博物館の展示機能に関する基礎的能力を養うことを目標とします。											
授業の進め方											
教室での講義を中心とするが、実際の展示活動を理解するために適宜博物館等を利用した実地授業を行います。日程については、授業の中で相談します。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	博物館展示の意義	博物館における展示とは何か。陳列の違いとは何かを考えます。					博物館の展示を見学しておくこと。(4時間)				
2	コミュニケーションとしての展示	展示をつうじて来館者に何を伝えるのか、その意義を考えます。					印象に残った展示をまとめる。(4時間)				
3	調査研究の成果の提示	博物館における調査研究の意義を考えます。					博物館の年報を確認すること。(4時間)				
4	展示と展示論の歴史	欧米における展示とその歴史や、背景を考えます。					インターネット等で博物館ホームページを確認すること。(4時間)				
5	展示の政治性と社会性	展示が何を伝え、どのような影響を与えるかを考えます。					ルーブル美術館の歴史を調べる。(4時間)				
6	博物館展示の実際	特別展示ができるまでを考えます。					博物館学芸員から特別展示の話聞き取ること。(4時間)				
7	展示の諸形態	展示導線、展示のサインについて考えます。					展示手法について、配布した資料を復習すること。(4時間)				
8	展示の制作	特別展示で具体的にどのような造作が必要か考えます。					展示の演習具について、配布資料で復習すること。(4時間)				
9	関係者との協力	巡回展示などのような館相互で協力する展示を考えます。					巡回展示をインターネットで調べる。(4時間)				
10	展示の評価と改善・更新	各地の博物館で導入されている評価方法について考えます。					具体的な評価について自分なりに考えてみる。(4時間)				
11	展示の解説活動	ボランティアによる展示、展示交流員制度を考えます。					展示交流員の実際を調べる。(4時間)				
12	解説文・解説パネル	解説文の字数、大きさ、位置などを考えます。					配布資料により、キャプションの実際を知ること。(4時間)				
13	展示を用いた学習活動	学校の授業でどのように展示を用いるかを考えます。					配布資料をもとにして、その実際を知ること。(4時間)				
14	展示を用いた学習活動	博物館におけるワークショップと展示の連携について考えます。					配布資料をもとにして、その実際を知ること。(4時間)				
15	展示解説書	ワークシートの実際について考えます。					より良いワークシートとは何かを調べる。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準							
必要に応じて指示します。				定期試験：40% 出席レポート：60% 授業ごとに短い文書(出席レポート)を提出していただきます。 S：授業内容を高度に理解して発展的な課題に対応できる。A：授業内容を理解して応用的な課題に対応できる。B：授業内容をおおよそ理解して応用的な課題にはほぼ対応できる。C：授業内容の6割程度を理解している。							
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)							
必要に応じて指示します。				実際に博物館の展示を見学し、それを作った学芸員から話を聞くことが望ましいです。							

科目名	博物館教育論		学年学期	3年前期	単位数	2	ナパリング	TB36096	研究室	非常勤
担当者	原田 和彦		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格	学芸員				履修条件	【資格・免許取得希望者のみ履修可】				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
博物館の使命は文化財を収集・保管し、利用に供することにあります。その利用に供する主たる手段が展示です。展示についてはその活動をとらえて観覧者の教養等に資するだけでなく、近年では国民共有の知的資源を国民が主体的に利用しうる手段で提供することによって、その権利を保障するものであるという考え方も強まっています。本講義では、学芸員としての基礎ともいえるべき展示の意義、理論、方法についての知識・技術等の能力を習得していきます。										
学修到達目標										
展示の歴史、展示メディア、展示による教育活動、展示の諸形態等に関する理論及び方法に関する知識・技術を習得し、博物館の展示機能に関する基礎的能力を養うことを目標とします。										
授業の進め方										
教室での講義を中心とするが、実際の展示活動を理解するために適宜博物館等を利用した実地授業を行います。日程については、授業の中で相談します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	博物館展示の意義	博物館における展示とは何か。陳列の違いとは何かを考えます。					博物館の展示を見学しておくこと。(4時間)			
2	コミュニケーションとしての展示	展示をつうじて来館者に何を伝えるのか、その意義を考えます。					印象に残った展示をまとめる。(4時間)			
3	調査研究の成果の提示	博物館における調査研究の意義を考えます。					博物館の年報を確認すること。(4時間)			
4	展示と展示論の歴史	欧米における展示とその歴史や、背景を考えます。					インターネット等で博物館ホームページを確認すること。(4時間)			
5	展示の政治性と社会性	展示が何を伝え、どのような影響を与えるかを考えます。					ルーブル美術館の歴史を調べる。(4時間)			
6	博物館展示の実際	特別展示ができるまでを考えます。					博物館学芸員から特別展示の話聞き取ること。(4時間)			
7	展示の諸形態	展示導線、展示のサインについて考えます。					展示手法について、配布した資料を復習すること。(4時間)			
8	展示の制作	特別展示で具体的にどのような造作が必要か考えます。					展示の演示具について、配布資料で復習すること。(4時間)			
9	関係者との協力	巡回展示などのような館相互で協力する展示を考えます。					巡回展示をインターネットで調べる。(4時間)			
10	展示の評価と改善・更新	各地の博物館で導入されている評価方法について考えます。					具体的な評価について自分なりに考えてみる。(4時間)			
11	展示の解説活動	ボランティアによる展示、展示交流員制度を考えます。					展示交流員の実際を調べる。(4時間)			
12	解説文・解説パネル	解説文の字数、大きさ、位置などを考えます。					配布資料により、キャプションの実際を知ること。(4時間)			
13	展示を用いた学習活動	学校の授業でどのように展示を用いるかを考えます。					配布資料をもとにして、その実際を知ること。(4時間)			
14	展示を用いた学習活動	博物館におけるワークショップと展示の連携について考えます。					配布資料をもとにして、その実際を知ること。(4時間)			
15	展示解説書	ワークシートの実際について考えます。					より良いワークシートとは何かを調べる。(4時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
必要に応じて指示します。					定期試験：40% 出席レポート：60% 授業ごとに短い文書(出席レポート)を提出していただきます。 S：授業内容を高度に理解して発展的な課題に対応できる。A：授業内容を理解して応用的な課題に対応できる。B：授業内容をおおよそ理解して応用的な課題にはほぼ対応できる。C：授業内容の6割程度を理解している。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「博物館教育論」小笠原喜康 ほか編(ぎょうせい) ISBN: 9784324092460 必要に応じて指示します。					実際に博物館の展示を見学し、それを作った学芸員から話を聞くことが望ましいです。					

科目名	博物館資料論			学年学期	3年後期	単位数	2	ナパリング	TB36097	研究室	W-22
担当者	木村 晴壽			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日1限、火曜日1限		
関連資格	学芸員					履修条件	【資格・免許取得希望者のみ履修可】				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
この講義は、博物館学芸員の資格を目指す学生諸君のみを対象として開講されています。したがって、学芸員として相応しい、具体的な知識・技術の習得こそがねらいとなります。そのため、博物館学芸員資格を得るのに必要な他の科目10単位とともにセットで履修することが求められます。この講義だけを受講することは認められません。毎回、前回の内容をフィードバックします。											
学修到達目標											
教室では歴史資料の扱い方と解説方法を習得する講義を進めますが、博物館をめぐる近年の新たな動きを念頭に置いた実際の訓練も実施します。具体的には、街に点在する民俗資料や遺跡資料に関する知識を身につけることが目標です。											
授業の進め方											
より実践的な知識・技術の習得が目的ですから、基本的には毎回、課題・宿題があります。それを発表してもら場合も、レポートとして提出してもら場合もあります。アウトキャンパス等は、特に計画していません。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	博物館資料の種類と意義	博物館資料のうち、美術系博物館・歴史系博物館および自然史系博物館で扱われている資料について概略的に説明し、それぞれの意義を把握するようにする。					事前、テキストのPP.1-10を熟読(2時間)。事後、指摘事項をPP.1-10で調べる(2時間)。				
2	博物館資料の収集方法	博物館資料のうち、美術系博物館・歴史系博物館および自然史系博物館で扱われている資料に焦点をあて、それぞれの収集方法とその実態について解説する。					事前、テキストのPP.11-20を熟読(2時間)。事後、指摘事項をPP.11-20で調べる(2時間)。				
3	博物館資料の整理方法	博物館資料のうち、美術系博物館・歴史系博物館および自然史系博物館で扱われている資料に焦点をあて、それぞれの整理方法の可能性と特徴について解説する。					事前、テキストのPP.21-30を熟読(2時間)。事後、指摘事項をPP.21-30で調べる(2時間)。				
4	博物館資料の活用方法	博物館資料のうち、美術系博物館・歴史系博物館および自然史系博物館で扱われている資料に焦点をあて、それぞれの活用方法の可能性と特徴について解説する。					事前、テキストのPP.31-40を熟読(2時間)。事後、指摘事項をPP.31-40で調べる(2時間)。				
5	幕府・藩史料と地方史料	近世期の幕府・藩等の公文書と、各地に残る地方資料の違いとそれぞれの特性について詳述する					事前、テキストのPP.41-50を熟読(2時間)。事後、指摘事項をPP.41-50で調べる(2時間)。				
6	数字の解説	土地の面積、金銭の額等、数字に関する解説技術を習得する					事前、テキストのPP.51-60を熟読(2時間)。事後、指摘事項をPP.51-60で調べる(2時間)。				
7	物量の表記	数字の解説のうち、秤量に関わる解説技量を身につける					事前、テキストのPP.61-70を熟読(2時間)。事後、指摘事項をPP.61-70で調べる(2時間)。				
8	石高計算(田地編)	農地面積の解説と併せて、面積をもとに算出される農地毎の石高について、特に田地に絞って理解を深める					事前、テキストのPP.71-80を熟読(2時間)。事後、指摘事項をPP.71-80で調べる(2時間)。				
9	石高計算(畑地編)	農地面積の解説と併せて、面積をもとに算出される農地毎の石高について、特に畑地に絞って理解を深める					事前、テキストのPP.81-90を熟読(2時間)。事後、指摘事項をPP.81-90で調べる(2時間)。				
10	人名の解説(男性編)	男性の氏名を解説する際に必要となる知識・技術について、その基本を習得する					事前、テキストのPP.91-100を熟読(2時間)。事後、指摘事項をPP.91-100で調べる(2時間)。				
11	人名の解説(女性編)	女性の氏名を解説する際に必要となる知識・技術について、基本を習得する					事前、テキストのPP.101-120を熟読(2時間)。事後、指摘事項をPP.101-120で調べる(2時間)。				
12	地名・村名の解説	信州を対象に、各地の地名、村名等の解説について学習する					事前、テキストのPP.121-130を熟読(2時間)。事後、指摘事項をPP.121-130で調べる(2時間)。				
13	歴史遺産の活用	歴史遺産のうち、城下町松本に残る武家屋敷を取り上げ、その活用方法を検討する。					事前、テキストのPP.131-140を熟読(2時間)。事後、指摘事項をPP.131-140で調べる(2時間)。				
14	歴史遺産の特徴	歴史遺産のうち、国宝となっている松本城を題材にその特徴を把握し、保存・活用方法について学習する					事前、テキストのPP.141-150を熟読(2時間)。事後、指摘事項をPP.141-150で調べる(2時間)。				
15	総括	博物館資料全体に関し、概略的に総括する					事前、テキスト全体を通読(2時間)。事後、指摘事項をPP.1-140で調べる(2時間)。				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「博物館資料論」木村晴壽著松本大学総合経営学部編(生協で購入してください。)					出席レポート:50% レポート:50% ただ真面目に授業に出席していれば単位が認定されるわけではありません。後に実習が控えているので、そこは厳しく判断します。S:博物館資料についての理解度が非常に高い。A:博物館資料についてかなり理解している。B:博物館資料について問題ない程度に理解している。C:博物館資料に関する授業内容を6割程度理解している。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「記録史料の保存と修復」アグネ技術センター編 特になし					学芸員として必要になる、博物館資料にかかわる最低限の技術と知識を習得するには、週1回の授業に出席するだけではなく、自分なりの努力・訓練が求められます。						

科目名	博物館情報・メディア論		学年学期	3年後期	単位数	2	ナパリング	TB36098	研究室	W-18
担当者	林 昌孝		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	月曜日2限		
関連資格	学芸員				履修条件	【資格・免許取得希望者のみ履修可】				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
博物館情報・メディア論は、博物館における情報の意義と活用方法及び情報発信の課題等について理解し、博物館の情報提供と活用等に関する基礎的な能力について学びます。さらに、博物館における情報化がどのように進んでいるのか、どのような方向に進もうとしているのかを学び考えます。										
学修到達目標										
博物館の情報化を理解して、博物館や地域の情報提供や活用ができる。										
授業の進め方										
講義とコンピュータ教室での実習を中心に進めます。課題を通してフィードバックを行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	オリエンテーション	オリエンテーションと情報・メディアの意義について講義します。				シラバスを読んで質問等をまとめてきてください。配布します(4時間)。				
2	視聴覚メディアの理論と歴史	視聴覚メディアの理論と歴史について講義します。				テキスト(情報の意義)を読んできてください(4時間)。				
3	ICT技術	ICT技術(コンピュータの構成機器を含む)の発展について講義します。				テキスト(ICT技術の発展)を読んできてください(4時間)。				
4	ICT社会	ICT社会と博物館(コンピュータのしくみを含む)について説明します。				テキスト(ICT社会と博物館)を読んできてください(4時間)。				
5	情報教育	情報教育の意義と重要性について説明します。				テキスト(情報教育の意義と重要性)を読んできてください(4時間)。				
6	博物館の情報化	博物館の情報化と博物館活動の情報化について説明します。				テキスト(情報化の意義)を読んできてください(4時間)。				
7	デジタル化とデータベース化	資料のデジタル化とデータベース化について説明します。				テキスト(デジタル化とデータベース化)を読んできてください(4時間)。				
8	デジタルアーカイブ	デジタルアーカイブの現状と課題について説明します。				テキスト(デジタルアーカイブの現状と課題)を読んできてください(4時間)。				
9	映像理論	映像理論と博物館メディアの役割について				テキスト(映像理論)を読んできてください(4時間)。				
10	情報管理と情報公開	情報管理と情報公開について説明します。				テキスト(情報管理と情報公開)を読んできてください(4時間)。				
11	インターネットのしくみ	情報機器・インターネットの活用(ホームページのしくみ)について説明します。				配布資料(HP作成ソフト)について調べてきてください(4時間)。				
12	インターネットの活用	情報機器・インターネットの活用(ホームページの活用)について説明します。				ホームページ作成の課題があります(4時間)。				
13	博物館と情報発信	博物館と情報発信の現状と課題について説明します。				テキスト(博物館と情報発信)を読んできてください(4時間)。				
14	情報化と知的財産	知的財産・個人情報等の権利について説明します。				テキスト(知的財産・個人情報)を読んできてください(4時間)。				
15	まとめと課題	まとめと博物館の情報提供(ホームページ活用)課題の説明				ホームページ作成の課題があります(4時間)。				
テキスト				成績評価の方法・基準						
テキスト資料・適時プリント資料を配布します。				課題:70% 出席レポート:30% S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、積極的な姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「新時代の博物館学」全国大学博物館学講座協議会西日本部会編編(芙蓉書房出版)ほか講義内で適時紹介します。				学芸員資格取得のための必修科目です。						

科目名	博物館経営論			学年学期	4年前期	単位数	2	ナバリング	TB46099	研究室	非常勤
担当者	窪田 雅之			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格	学芸員					履修条件	【資格・免許取得希望者のみ履修可】				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
1990年代以降、国・地方公共団体を問わず行政改革が実施されその影響は博物館にも及び、博物館の存在意義が問い直されることになりました。この動きのなかで重視され始めた領域が博物館の経営です。ここでいう経営とは、博物館のあるべき姿、時代の変化に対応する博物館、博物館の「公共性」の具現であるととらえます。学芸員という立場で、今後の博物館(公立)はどうあるべきが考えます。											
学修到達目標											
現在、そして将来の博物館にとって経営(的な感覚)が必要不可欠であることを学び、講義とテキスト、配布資料の内容を理解したうえで経営的視点にたった博物館のあり方について知識を修得できるようにします。											
授業の進め方											
教室での講義を中心とします。意見発表などの場を設け、授業時も含めレポート提出があります。博物館の現況にふれるため3回ほど現場責任者(松本市基幹博物館担当ほか)をゲストスピーカーとして招き、経営状況や経営方針について説明を受けます。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	博物館経営論について	博物館経営論の概要について紹介し、授業の進め方を説明します。博物館にとって、学芸員にとって経営が不可欠かつ重要な領域であることにふれ、今後の授業にいかします。					シラバスをよく読み、「博物館の経営」について理解を深めてください。4時間				
2	博物館の設置	博物館設置の目的・理念(使命)などを関連法も含めて説明し、博物館が果たす社会的使命について学びます。					事前配布資料(博物館法など)、その他関連法令の関連部分を熟読してください。4時間				
3	博物館の機構・組織	博物館設置者の分類、博物館の内部組織、博物館を支える外部組織について説明し、具体的な機構・組織について学びます。					事前配布資料を学習し、内容を把握してください。4時間				
4	博物館倫理・行動規範、職員	博物館には資料保存、市民の学習支援などの使命があり、博物館関係者に必要な代表的な職業倫理などについて学びます。					テキスト 部1章~2章と事前配布資料を熟読し、内容を把握してください。4時間				
5	博物館の行財政	博物館にたいする市民の認識、それを反映し具現化する行財政制度や公立博物館の予算制度・決算書を説明し、現状について学びます。					テキスト 部1章から2章と事前配布資料(決算書)を熟読し、内容を把握してください。4時間				
6	博物館の運営形態1 指定管理者制度、NPO法人・企業など	2003年の地方自治法改正にともない新たに導入された指定管理者制度の仕組みとNPO法人などの実践事例について学びます。					テキスト 部1章~3章を熟読し、内容を把握してください。4時間				
7	博物館の運営形態2 指定管理者と直営のデータ比較など	指定管理者制度導入館と直営館のデータを比較し、成果と課題について学びます。					テキスト 部4章 ~6章を熟読し、内容を把握してください。4時間				
8	博物館の広報	博物館の多彩な活動を周知する広報の手段を説明し、取材対応を含めて広報活動の現状と課題について学びます。					事前配布資料を熟読し、分析してください。4時間				
9	博物館のサービス-ショップとレストラン 意見発表	博物館のサービスであるショップ・レストランなどについて、利用者の博物館観の変化を説明し、博物館経営の視点から学びます。また学生が意見を発表します。					事前に実際にショップ(レストラン)を利用し、感想・課題などをまとめてください。4時間				
10	市町村合併と博物館の再編	平成の大合併により博物館の運営(経営)形態がどのように変化したかを説明し、地域博物館の現状と課題について学びます。					事前配布資料、テキスト 部3章を熟読し、内容を把握してください。4時間				
11	博物館の連携 市民・地域社会・大学ほか	博物館と市民・地域社会・大学などとの連携が重視されるようになった経過を地域(観光)振興などの視点から説明し、長野県内の具体的な事例を学びます。					事前配布資料、テキスト 部4章を熟読し、内容を把握してください。4時間				
12	事例学習1 塩尻市立平出博物館経営の実際 意見発表など	1954年の開館以来、平出遺跡の保存と活用など様々な活動を続ける同館の経営状況を説明します。学生：質疑応答、意見発表。日程は後日調整。					事前配布資料を熟読し、自分の意見をまとめてください。4時間				
13	事例学習2 松本市基幹博物館経営方針の概要 意見発表など	2024年中の開館に向けて整備中の松本市基幹博物館の経営方針の概要を説明します。学生：質疑応答、意見発表。日程は後日調整。					事前配布資料を熟読し、自分の意見をまとめてください。4時間				
14	事例学習3 松本市美術館経営の実際 意見発表など	2002年の開館以来、全国的にも注目される活動を展開する松本市美術館の経営状況を説明します。学生：質疑応答、意見発表。日程は後日調整。					事前配布資料を熟読し、自分の意見をまとめてください。4時間				
15	まとめ 意見発表・批評	14回の授業を振り返り、博物館の経営について学生が意見を発表し、批評しあいます。					授業内容などを振り返り、自分の発表内容をまとめてください。4時間				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「博物館と地方再生」金山喜昭著(同成社) ISBN:978-4-88621-756-1(生協で購入してください。)					受講態度:30% レポート:50% 出席レポート:20% S:授業内容を高度に理解し、意見発表、レポート内容優秀。 A:授業内容を理解し、意見発表、レポート内容優。 B:授業内容をおおよそ理解し、意見発表、レポート内容良。 C:授業内容を60%程度理解し、意見発表、レポート内容良。						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「信州松本発。博物館ノート」窪田雅之著(書肆秋櫻舎) ISBN:978-4-921206-11-6 「博物館経営論」佐々木亨ほか編(放送大学教育振興会)					「博物館の経営とは何か」を常に考えながら授業にのぞみ、事前事後学修にもしっかりと取り組んでください。授業中に課題を指示し、意見発表、レポート提出を求めます。						

科目名	専門研究	学年学期	3年前期	単位数	1	ナパリング	TL360100	研究室		
担当者	各教員	必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスアワー				
関連資格				履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性	履修対象入学年度(読替科目)								
	A B C									
授業概要										
地域デザインは非常に幅が広い分野です。地域活性化、コミュニティビジネス、地域における人材育成など、その例を挙げればキリがありません。そしてどのような進路を選択しても、必ず皆様に関係してくるテーマです。皆様がどこで生活をしていても、皆様の身の回りには地域の存在しているからです。専門研究では数名グループ単位で地域デザインの実践活動に携わると共に、地域における課題を解決するために必要な調査活動を行っていきます。なお、これは専門研究 の一例です。										
学修到達目標										
地域デザインに関わる知識を習得すると同時に、実践活動や調査活動を進める際に求められる情報収集力、創造力、コミュニケーション力、リーダーシップなどを身につけることが目標です。										
授業の進め方										
教室での講義だけでなく、数名のグループ単位で地域デザインの実践活動に携わるとともに、地域における課題を解決するために必要な調査活動を行っていきます。レポートなどは、採点して返却することでフィードバックを行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	ガイダンス	専門研究の進め方についてガイダンスを行います。					専門研究のスケジュールを確認すると同時に、地域に関する興味関心を整理してきて(4時間)			
2	地域デザインについて考える(1)	地域デザインに関連する研究論文を輪読し、地域の現状と課題の捉え方、地域の問題解決へのアプローチ法などを学びます。					事前に配布する資料を熟読してきてください。また発表担当者は発表用資料を準備してきて(4時間)			
3	地域デザインについて考える(2)	地域デザインに関連する研究論文を輪読し、地域の現状と課題の捉え方、地域の問題解決へのアプローチ法などを学びます。					事前に配布する資料を熟読してきてください。また発表担当者は発表用資料を準備してきて(4時間)			
4	地域デザインについて考える(3)	地域デザインに関連する研究論文を輪読し、地域の現状と課題の捉え方、地域の問題解決へのアプローチ法などを学びます。					事前に配布する資料を熟読してきてください。また発表担当者は発表用資料を準備してきて(4時間)			
5	地域デザインについて考える(4)	地域デザインに関連する研究論文を輪読し、地域の現状と課題の捉え方、地域の問題解決へのアプローチ法などを学びます。					事前に配布する資料を熟読してきてください。また発表担当者は発表用資料を準備してきて(4時間)			
6	ファシリテーションについて学ぶ(1)	活動計画の検討、実践活動を進める際に有用なファシリテーションの技術について解説します。					事前に配布する資料を熟読してきてください。日常生活の中で実践してみてください(4時間)			
7	ファシリテーションについて学ぶ(2)	活動計画の検討、実践活動を進める際に有用なファシリテーションの技術について解説します。					事前に配布する資料を熟読してきてください。日常生活の中で実践してみてください(4時間)			
8	活動計画の検討(1)	数名のグループ単位で活動対象地域においてどのような実践活動を取り組んでいくかを検討します。なお活動地域でのフィールドワークを伴います。					活動計画の素案を作成してきてください。得られた知見を整理しておいて下さい(4時間)			
9	活動計画の検討(2)	数名のグループ単位で活動対象地域においてどのような実践活動を取り組んでいくかを検討します。なお活動地域でのフィールドワークを伴います。					活動計画の素案を作成してきてください。得られた知見を整理しておいて下さい(4時間)			
10	実践活動(1)	活動計画をもとに、活動対象地域において実践活動を行います。					活動内容を記録しておいてください。次回の実践活動への準備をしておいてください。(4時間)			
11	実践活動(2)	活動計画をもとに、活動対象地域において実践活動を行います。					活動内容を記録しておいてください。次回の実践活動への準備をしておいてください。(4時間)			
12	実践活動(3)	活動計画をもとに、活動対象地域において実践活動を行います。					活動内容を記録しておいてください。次回の実践活動への準備をしておいてください。(4時間)			
13	実践活動(4)	活動計画をもとに、活動対象地域において実践活動を行います。					活動内容を記録しておいてください。次回の実践活動への準備をしておいてください。(4時間)			
14	実践活動(5)	活動計画をもとに、活動対象地域において実践活動を行います。					活動内容を記録しておいてください。次回の実践活動への準備をしておいてください。(4時間)			
15	実践活動の中間報告	実践活動の中間報告を行います。実践活動を通じて明らかになってきた、各地域における課題を再整理します。					中間報告での指摘事項を踏まえて、活動計画の修正作業に取り組んで下さい。(4時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準								
適時、必要な資料を配付します。		レポート：50% 課題：50% S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
適時、必要な資料を配付します。		指導の関係上、上記の授業計画を大幅に超える授業回数となることが予想されます。地域における実践活動、補講などに関しては、柔軟に対応することが求められます。自分自身のために勉強してみたいという、心意気のある学生を歓迎します。								

科目名	専門研究	学年学期	3年後期	単位数	1	ナパ'リング	TL360101	研究室		
担当者	各教員	必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-				
関連資格				履修条件						
ディプロマポリシーとの関連性	カリキュラムポリシーとの関連性	履修対象入学年度(読替科目)								
	A B C									
授業概要										
地域デザインは非常に幅が広い分野です。地域活性化、コミュニティビジネス、地域における人材育成など、その例を挙げればキリがありません。そしてどのような進路を選択しても、必ず皆様に関係してくるテーマです。皆様がどこで生活をしていても、皆様の身の回りには地域の存在しているからです。専門研究では数名グループ単位で地域デザインの実践活動に携わると共に、地域における課題を解決するために必要な調査活動を行っていきます。【これは、専門研究の一例です。】										
学修到達目標										
地域デザインに関わる知識を習得すると同時に、実践活動や調査活動を進める際に求められる情報収集力、創造力、コミュニケーション力、リーダーシップなどを身につけることが目標です。										
授業の進め方										
教室での講義だけでなく、数名のグループ単位で地域デザインの実践活動に携わるとともに、地域における課題を解決するために必要な調査活動を行っていきます。レポートなどは、採点して返却することでフィードバックを行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	社会調査の手法について学ぶ(1)	社会調査手法、定量調査について解説します。					事前に配布する定量調査の資料を熟読してきてください。(4時間)			
2	社会調査の手法について学ぶ(2)	社会調査手法、定量調査について解説します。					事前に配布する定量調査の資料を熟読してきてください。(4時間)			
3	調査活動の計画(1)	各地域における課題の解決を目指して、アンケート調査、ヒアリング調査、フィールドワークなど必要な調査活動を計画します。					調査活動の計画案を作成してください。指摘事項を踏まえて計画案を修正して下さい(4時間)			
4	調査活動の計画(2)	各地域における課題の解決を目指して、アンケート調査、ヒアリング調査、フィールドワークなど必要な調査活動を計画します。					調査活動の計画案を作成してください。指摘事項を踏まえて計画案を修正して下さい(4時間)			
5	実践活動、調査活動の推進(1)	活動計画をもとに、活動対象地域において実践活動を行います。また各地域における課題を解決するために必要な調査活動を進めます。					調査活動結果の整理を進めてきてください。(4時間)			
6	実践活動、調査活動の推進(2)	活動計画をもとに、活動対象地域において実践活動を行います。また各地域における課題を解決するために必要な調査活動を進めます。					調査活動結果の整理を進めてきてください。(4時間)			
7	実践活動、調査活動の推進(3)	活動計画をもとに、活動対象地域において実践活動を行います。また各地域における課題を解決するために必要な調査活動を進めます。					調査活動結果の整理を進めてきてください。(4時間)			
8	実践活動、調査活動の推進(4)	活動計画をもとに、活動対象地域において実践活動を行います。また各地域における課題を解決するために必要な調査活動を進めます。					調査活動結果の整理を進めてきてください。(4時間)			
9	実践活動、調査活動の推進(5)	活動計画をもとに、活動対象地域において実践活動を行います。また各地域における課題を解決するために必要な調査活動を進めます。					調査活動結果の整理を進めてきてください。(4時間)			
10	報告書の作成(1)	報告書のまとめ方を解説します。実践活動の概要、調査活動の分析結果のポイントなどを踏まえながら、報告書の作成指導を行います。					指導をもとに報告書の作成を進めてきてください。(4時間)			
11	報告書の作成(2)	実践活動の概要、調査活動の分析結果のポイントなどを踏まえながら、報告書の作成指導を行います。					指導をもとに報告書の作成を進めてきてください。(4時間)			
12	報告書の作成(3)	実践活動の概要、調査活動の分析結果のポイントなどを踏まえながら、報告書の作成指導を行います。					指導をもとに報告書の作成を進めてきてください。(4時間)			
13	報告書の発表(1)	実践活動の概要、調査活動の分析結果をまとめた報告書を発表します。また、その発表内容について相互に検討します。					結果を踏まえて報告書の修正を進めてきてください。(4時間)			
14	報告書の発表(2)	実践活動の概要、調査活動の分析結果をまとめた報告書を発表します。また、その発表内容について相互に検討します。					結果を踏まえて報告書の修正を進めてきてください。(4時間)			
15	講義全体のまとめ	講義全体を振り返ります。また四年次の卒業研究に関するガイダンスを行います。					最終版の報告書を仕上げ、提出準備を進めてきてください。(4時間)			
テキスト		成績評価の方法・基準								
適時、必要な資料を配付します。		レポート：50% 課題：50% S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
適時、必要な資料を配付します。		指導の関係上、上記の授業計画を大幅に超える授業回数となることが予想されます。地域における実践活動、補講などに関しては、柔軟に対応することが求められます。自分自身のために勉強してみたいという、心意気のある学生を歓迎します。								

科目名	卒業研究			学年学期	4年前期	単位数	2	ナパ'リング	TL460102	研究室	
担当者	各教員			必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスアワー			
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学生年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
本科目は、本学部に入學した以降、学修したすべての内容をふまえ、受講生各自が最も興味があるテーマを取り上げ、卒業論文作成していきます。なお、これは卒業研究の一例です。											
学修到達目標											
卒業論文を書き上げることです。同時に、研究テーマの見つけ方、参考文献・資料の探し方、論文の書き方、資料の分析方法なども身につける											
授業の進め方											
受講生各自が卒業論文を完成させるように指導していきます。各自の研究テーマにより進め方が各々異なりますが、一人ひとりテーマに合わせて指導していきます。レポートなどは、採点して返却することでフィードバックを行います。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	オリエンテーション - 卒業研究のスケジュール確認	卒業論文の提出締切、卒業論文発表会までのスケジュールの確認などを行います。					スケジュールについて熟知すること。(4時間)				
2	研究テーマの選定(1)	各自、卒業研究論文のテーマを選定していきます。					入学以降、各自受講した科目を振り返る。テーマを選定していくこと。(4時間)				
3	研究テーマの選定(2)	各自、卒業研究論文のテーマを選定していきます。					入学以降、各自受講した科目を振り返る。テーマを選定していくこと。(4時間)				
4	研究テーマの選定(3)	各自、卒業研究論文のテーマを選定していきます。					入学以降、各自受講した科目を振り返る。テーマを選定していくこと。(4時間)				
5	資料の収集(1)	各自、選定して研究テーマに基づき、図書館、インターネットなどを活用し、資料・データを収集していきます。					各自、テーマに応じて資料を進める。(4時間)				
6	資料の収集(2)	各自、選定して研究テーマに基づき、図書館、インターネットなどを活用し、資料・データを収集していきます。					各自、テーマに応じて資料を進める。(4時間)				
7	卒業研究論文の作成(1)	資料に基づき、章立てに取りかかります。					収集した資料に基づき、論文を作成していく。(4時間)				
8	卒業研究論文の作成(2)	資料に基づき、章立てに取りかかります。					収集した資料に基づき、論文を作成していく。(4時間)				
9	卒業研究論文の作成(3)	資料に基づき、章立てに取りかかります。					収集した資料に基づき、論文を作成していく。(4時間)				
10	卒業研究論文の作成(4)	収集した資料に基づき、概要の作成に取りかかります。					収集した資料に基づき、論文を作成していく。(4時間)				
11	卒業研究論文の作成(5)	収集した資料に基づき、概要の作成に取りかかります。					収集した資料に基づき、論文を作成していく。(4時間)				
12	卒業研究論文の作成(6)	収集した資料に基づき、概要の作成に取りかかります。					収集した資料に基づき、論文を作成していく。(4時間)				
13	卒業研究論文の作成(7)	収集した資料に基づき、概要の作成に取りかかります。					収集した資料に基づき、論文を作成していく。(4時間)				
14	卒業研究論文の作成(8)	収集した資料に基づき、序論の作成に取りかかります。					収集した資料に基づき、論文を作成していく。(4時間)				
15	卒業研究論文の作成(9)	収集した資料に基づき、序論の作成に取りかかります。					収集した資料に基づき、論文を作成していく。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準							
各自の研究テーマに合わせてできる限りの資料を提供します。				課題:100% 卒業研究論文の完成度:50%,論文提出:50%,S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、積極的な姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。							
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)							
各自の研究テーマに合わせてできる限りの資料を提供します。				卒業論文は4年間の大学生活の集大成です。4年間の授業をふまえ、がんばって卒業研究論文を完成してください。							

科目名	卒業研究			学年学期	4年後期	単位数	2	ナパ'リング	TL460103	研究室	
担当者	各教員			必修選択	必修	科目種別	演習	オフィスア-			
関連資格						履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学生年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
<p>本科目は、本学部に入学した以降、学修したすべての内容をふまえ、受講生各自が最も興味があるテーマを取り上げ、卒業論文作成していきます。卒業研究の続きです。なお、これは卒業研究の一例です。</p>											
学修到達目標											
卒業論文を書き上げることです。同時に、研究テーマの見つけ方、参考文献・資料の探し方、論文の書き方、資料の分析方法なども身につける											
授業の進め方											
<p>受講生各自が卒業論文を完成させるように指導していきます。各自の研究テーマにより進め方が各々異なりますが、一人ひとりテーマに合わせて指導していきます。レポートなどは、採点して返却することでフィードバックを行います。</p>											
<p>授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。</p>											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	卒業研究論文の作成(10)	収集した資料に基づき、本論の作成に取りかかります。					収集した資料に基づき、論文を作成していく。(4時間)				
2	卒業研究論文の作成(11)	収集した資料に基づき、本論の作成に取りかかります。					収集した資料に基づき、論文を作成していく。(4時間)				
3	卒業研究論文の作成(12)	収集した資料に基づき、本論の作成に取りかかります。					収集した資料に基づき、論文を作成していく。(4時間)				
4	卒業研究論文の作成(13)	収集した資料に基づき、結論の作成に取りかかります。					収集した資料に基づき、論文を作成していく。(4時間)				
5	卒業研究論文の作成(14)	収集した資料に基づき、結論の作成に取りかかります。					収集した資料に基づき、論文を作成していく。(4時間)				
6	卒業研究論文の作成(15)	収集した資料に基づき、結論の作成に取りかかります。					収集した資料に基づき、論文を作成していく。(4時間)				
7	卒業研究論文完成・提出(1)	完成した論文を熟読し、誤字・脱字などの校正を行う。					収集した資料に基づき、論文を作成していく。提出する。(4時間)				
8	卒業研究論文完成・提出(2)	完成した論文を熟読し、誤字・脱字などの校正を行う。					収集した資料に基づき、論文を作成していく。提出する。(4時間)				
9	卒業研究論文完成・提出(3)	完成した論文を印刷し、担当教員に提出します。					収集した資料に基づき、論文を作成していく。提出する。(4時間)				
10	卒業研究論文発表資料作成(1)	パワーポイントを利用し、卒業研究論文の発表のための資料を作成し、発表練習を行います。					卒業研究論文発表資料の作成。(4時間)				
11	卒業研究論文発表資料作成(2)	パワーポイントを利用し、卒業研究論文の発表のための資料を作成し、発表練習を行います。					卒業研究論文発表資料の作成。(4時間)				
12	卒業研究論文完成・提出(3)	パワーポイントを利用し、卒業研究論文の発表のための資料を作成し、発表練習を行います。					卒業研究論文発表資料の作成。(4時間)				
13	卒業研究のまとめ(1)	完成した卒業研究論文を受講生と3年の専門研究生の前で、発表し、論文の完成度を高めていきます。					卒業研究論文の校正を行う。完成度を高める。(4時間)				
14	卒業研究のまとめ(2)	完成した卒業研究論文を受講生と3年の専門研究生の前で、発表し、論文の完成度を高めていきます。					卒業研究論文の校正を行う。完成度を高める。(4時間)				
15	卒業研究のまとめ(3)	完成した卒業研究論文を受講生と3年の専門研究生の前で、発表し、論文の完成度を高めていきます。					卒業研究論文の校正を行う。完成度を高める。(4時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準							
各自の研究テーマに合わせてできる限りの資料を提供します。				<p>課題：100% 卒業研究論文の完成度：50%、論文提出：50%、S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。</p>							
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)							
各自の研究テーマに合わせてできる限りの資料を提供します。				卒業論文は4年間の大学生活の集大成です。4年間の授業をふまえ、がんばって卒業研究論文を完成してください。							

科目名	社会福祉実習指導		学年学期	3年後期	単位数	3	ナバリング	TC37001	研究室	W-30
担当者	今村 篤史・尻無浜 博幸・矢崎 久		必修選択	選択	科目種別	演習	オフィスアワー	木曜日2限		
関連資格	社会福祉士				履修条件	【資格・免許取得希望者のみ履修可】				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
<p>本科目では、おもに社会福祉実習の意義について理解するとともに、実習に望む積極的姿勢を涵養します。個別指導及び集団指導を通して、相談援助に係る知識や技術等について具体的に理解し、それらを实际的に体得していきます。また、具体的な体験や相談援助活動を通して、専門的技術を概念化・理論化し、体系立てていくことができる能力を身につけます。</p>										
学修到達目標										
<p>問題意識と積極性を持って実習に臨めるようになる。 実習先についての基本的な理解と、実習にむけた具体的な計画を立てることができる。</p>										
授業の進め方										
<p>個別指導、集団指導によって行います。体験活動や実習先についての理解・分析のため、グループワークやプレゼンテーションも取り入れます。また、レポートを用いたフィードバックを通して理解の深化を図ります。</p>										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	オリエンテーション	本科目の目的および内容を理解する。				事前に関連科目の復習を行い、事後に指導内容を整理する(事前3時間事後2時間)				
2	社会福祉実習指導と他科目との関係の理解	講義・演習・実習との関連性について理解する。				事前に関連科目の復習を行い、事後に指導内容を整理する(事前3時間事後2時間)				
3	体験活動の報告(1)	夏休みに行なった体験活動について、どのような学びを得たのか報告する。				事前に体験レポートを作成し、事後に報告から明らかになった課題を整理する(事前3時間事後2時間)				
4	体験活動の報告(2)	夏休みに行なった体験活動について、どのような学びを得たのか報告する。				事前に体験レポートを作成し、事後に報告から明らかになった課題を整理する(事前3時間事後2時間)				
5	実習先分析(1)	社会福祉実習に関する実習先の分野、具体的な施設・機関等の名称やそのサービス内容を理解する。				関心のある分野や施設・機関等を複数調べ、不足情報について確認する(事前3時間事後2時間)				
6	実習先分析(2)	社会福祉実習に関する実習先の法的規定、従事する専門職の職務内容、その地域等について調べる。				関心のある分野や施設・機関等を複数調べ、不足情報について確認する(事前3時間事後2時間)				
7	実習先分析(3)	各自で調べた内容について発表を行うとともに、教員からの助言等を踏まえて、より詳細に実習先の分析を行う。				実習先に関する追加情報の収集および実習に向けた目的を考察する(5時間)				
8	実習先分析(4)	各自で調べた内容について発表を行うとともに、教員からの助言等を踏まえて、より詳細に実習先の分析を行う。				実習先に関する追加情報の収集および実習に向けた目的を考察する(5時間)				
9	実習関連書類の説明	社会福祉実習で必要となる書類等の意義と内容について理解する。				必要な書類の記入方法について確認し、記入に必要な準備をしておくこと(事前2時間事後3時間)				
10	実習関連書類の作成(1)	実習計画書の作成に向けて、実習先における対象(人・地域)への理解を深める。				これまでの実習先分析を振り返り、実習における目的について整理する(事前2時間事前3時間)				
11	実習関連書類の作成(2)	実習計画書の作成に向けて、実習先についての理解の確認と、実習の目的と課題を明確にする。				これまで実習先分析を振り返り、実習における目的・課題について考察する(事前2時間事後3時間)				
12	実習関連書類の作成(3)	実習先とその対象(人・地域)への理解、実習の目的・課題から、実習で何を学びたいのか、どのように学びたいのかを明確にした計画書を作成する。				これまでの実習先分析と実習の目的・課題から、より具体的な実習計画を作成する(事後5時間)				
13	実習関連書類の作成(4)	社会福祉実習・学生票の意義を理解し、作成する。				書類に必要な情報を収集し、様式にもとづいて作成する(事前2時間事後3時間)				
14	実習関連書類の作成(5)	実習記録について、記録の意義および内容を理解するとともに、記録の書き方について学ぶ。				テキストの第9章を通読し、実習記録ノートを用いて復習する(事前2時間事後3時間)				
15	まとめ	これまでの社会福祉実習指導での学びを確認するとともに、実習におけるプライバシーの保護と守秘義務について理解する。				テキストの第7章を通読し、実習に向けて必要な準備を行う(事前2時間事後3時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「相談援助実習・相談援助実習指導 第3版」福祉臨床シリーズ編集委員会編(弘文堂) ISBN:978-4-335-61189-6 (生協で購入してください。)				<p>出席レポート:50% 課題:50%</p> <p>実習に向けた目標・課題設定と計画作成及び実習内容についての達成度を考慮して評価します。</p> <p>S:指導及び実習に積極的に取り組み、レポート・課題の提出と内容の達成度が90%以上 A:指導及び実習に積極的に取り組み、レポート・課題の提出と内容の達成度が80%以上 B:指導及び実習に積極的に取り組み、レポート・課題の提出と内容の達成度が70%以上 C:指導及び実習に積極的に取り組み、レポート・課題の提出と内容の達成度が60%以上</p>						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「実習記録ノート」 「社会福祉実習ガイドブック」				実習は実習生・実習担当教員・実習先の実習指導者との三者による共同作業です。しっかり協議し、確認しながら準備・実施と進めていきましょう。						

科目名	社会福祉実習指導			学年学期	4年前期	単位数	3	ナバリング	TC47002	研究室	W-30
担当者	今村 篤史・尻無浜 博幸・矢崎 久			必修選択	選択	科目種別	演習	オフィスアワー	月曜日4限、火曜日4限		
関連資格	社会福祉士					履修条件	【資格・免許取得希望者のみ履修可】				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
<p>本科目では、個別指導および集団指導を通して、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し、実践的な技術等を体得することを目標とします。また、実習体験の振り返りを通して経験化することで、社会福祉士として求められる知識、技術、価値・倫理、自己に求められる課題の把握等、総合的に対応できる能力を涵養していきます。</p>											
学修到達目標											
<p>実習指導を通じて、社会福祉士にとって必要な知識、価値・倫理、技術について理解できる。 実習の振り返りを通して、社会福祉士にとって必要な知識、価値・倫理、技術の実践的な展開について理解できる。</p>											
授業の進め方											
<p>個別指導、集団指導を行います。「実習記録ノート」を通して実習での体験を振り返ります。また、スーパービジョンを通じてフィードバックを行うことで実習体験の理解の深化を進めます。なお、実習の総括としてレポート作成とその発表も行います。</p>											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	実習の意義と目的の再確認	実習前に考察した実習の意義と目的について再確認する。					実習計画書を振り返り、自身の実習記録ノートの記録を確認する(事前5時間)				
2	実習に対する自己評価と課題(1)	実習に対する自己評価と課題について議論する。					実習指導者や担当教員から受けた指導を振り返り、議論された内容を整理する(事前3時間事後2時間)				
3	実習に対する自己評価と課題(2)	実習に対する自己評価と課題について議論する。					事前に自己評価を確認し、事後に課題をリストアップしておく(事前3時間事後2時間)				
4	実習に対する自己評価と課題(3)	自己評価から明らかになった課題について整理・分析する。					前回までの議論を振り返り、担当教員からのスーパーバイズを整理する(事前3時間事後2時間)				
5	実習記録によるフィードバック(1)	実習記録を用いた振り返り					実習記録を振り返り、取り上げたい場面について整理しておく(5時間)				
6	実習記録によるフィードバック(2)	実習記録を用いた振り返り					前回の指導内容を振り返るとともに取り上げたいケースについて整理しておく(5時間)				
7	実習記録によるフィードバック(3)	他者の実習記録を用いたディスカッション					事前に前回までの指導内容を振り返り、事後に議論の内容を整理しておく(事前3時間事後2時間)				
8	実習記録によるフィードバック(4)	他者の実習記録を用いたディスカッション					事前に前回の議論を振り返り、議論からの課題を分析しておく(事前3時間事後2時間)				
9	実習後の学習課題の明確化(1)	自己評価と実習記録による振り返りを照らし合わせ、今後の学習課題を明らかにする。					事前にこれまでの自己評価と記録によって受けた指導を振り返っておく(5時間)				
10	実習後の学習課題の明確化(2)	自己評価と実習記録による振り返りを照らし合わせ、今後の学習課題を明らかにする。					指導と議論から明らかになった課題を整理し、今後の取り組みの計画を立てる(事前3時間事後2時間)				
11	実習報告会に向けた準備(1)	実習報告会に向けて、これまでのワークをもとに実習を総括するレポートをまとめていく。					プレゼンテーション資料の作成(5時間)				
12	実習報告会に向けた準備(2)	実習報告会に向けて、これまでのワークをもとに実習を総括するレポートをまとめていく。					プレゼンテーション資料の作成と練習(5時間)				
13	実習報告会(1)	実習の総括についてのプレゼンテーション					プレゼンテーションにもとづいたレポートの作成と、他者の報告内容の分析(事前3時間事後2時間)				
14	実習報告会(2)	実習の総括についてのプレゼンテーション					プレゼンテーションにもとづいたレポートの作成と、他者の報告内容の分析(事前3時間事後2時間)				
15	まとめ	これまでの実習指導、実習の総括を行う。					実習指導者や担当教員から受けた指導、授業内でのワークやレポートから予習・復習(5時間)				
テキスト					成績評価の方法・基準						
「相談援助実習・相談援助実習指導 第3版」福祉臨床シリーズ編集委員会編(弘文堂) ISBN:978-4-335-61189-6 (生協で購入してください。)					出席レポート:50% 課題:50% 実習内容と実習後の振り返りへの積極的姿勢、レポート作成の達成度を考慮して評価します。 S:実習指導に積極的に取り組み、レポート・課題の提出と内容の達成度が90%以上 A:実習指導に積極的に取り組み、レポート・課題の提出と内容の達成度が80%以上 B:実習指導に積極的に取り組み、レポート・課題の提出と内容の達成度が70%以上 C:実習指導に積極的に取り組み、レポート・課題の提出と内容の達成度が60%以上						
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「実習記録ノート」 「社会福祉実習ガイドブック」					実習は、その体験を振り返ることがとても重要になってきます。実習での記憶と記録を大切にしてください。						

科目名	社会福祉実習		学年学期	3年後期	単位数	6	ナパリング	TC37003	研究室	W-30
担当者	今村 篤史・尻無浜 博幸・矢崎 久		必修選択	選択	科目種別	実習	オフィスアワー	木曜日2限		
関連資格	社会福祉士				履修条件	【資格・免許取得希望者のみ履修可】				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
社会福祉実習は、福祉実践が展開されている場での体験を通して相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し、実践的な技術等を体得するものです。また、社会福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題の把握等、総合的に対応できる能力の習得を目標とします。										
学修到達目標										
180時間以上の実習および実習指導者による指導を受けながら、社会福祉士として求められる基本的な知識、技術、価値を習得することができる。										
授業の進め方										
実習時間は概ね1日8時間であり、実習計画に基づき実習指導者と調整後、実行に移していきます。学生は実習日ごとに実習記録を作成し、実習先の実習指導者から指導・助言を受けます。また、教員による巡回指導においてフィードバックも行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	実習での取り組み(1)	実習先(施設・機関等)の法的根拠、目的、理念、組織、機構に関して理解する。				事前に演習・実習指導の学びを確認、事後に実習での学びを振り返りと記録(事前3時間事後3時間)				
2	実習での取り組み(2)	実習先に関する施設・機関、制度、地域、社会資源について理解する。				事前に実習先研究の復習、事後に実習での学びの振り返りと記録(事前3時間事後3時間)				
3	実習での取り組み(3)	利用者、職員、地域住民等との基本的なコミュニケーションを学ぶ。				事前に実習計画を振り返り、事後に実習での学びの振り返りと記録(事前3時間事後3時間)				
4	実習での取り組み(4)	利用者、職員、地域住民等とのコミュニケーションを実践する。				コミュニケーションにおける課題の設定、実習での学びの振り返りと記録(事前3時間事後3時間)				
5	実習での取り組み(5)	円滑な人間関係の形成方法を学ぶ。				コミュニケーション実践を振り返り、事後に実習での学びを振り返りと記録(事前3時間事後3時間)				
6	実習での取り組み(6)	利用者理解の方法を学ぶ。				おもに「社会福祉援助技術」について復習し、事後に実習での学びを記録する(事前3時間事後3時間)				
7	実習での取り組み(7)	利用者の動向やサービス等利用状況について学ぶ。				関連する法制度とその動向について復習し、事後に実習での学びを記録する(事前3時間事後3時間)				
8	実習での取り組み(8)	利用者や家族、地域住民等のニーズ把握の方法を学ぶ				関連する科目について復習し、事後に実習での学びを振り返り、記録する(事前3時間事後3時間)				
9	実習での取り組み(9)	利用者や家族、地域住民等のニーズ把握の方法を学ぶ				関連する科目と前日の取り組みを振り返り、事後の実習での学びを記録する(事前3時間事後3時間)				
10	実習での取り組み(10)	利用者や家族、地域住民等へのアセスメントの方法を学ぶ				おもに「社会福祉援助技術」について復習し、事後に実習での学びを記録する(事前3時間事後3時間)				
11	実習での取り組み(11)	利用者や家族、地域住民等へのアセスメントの方法を学ぶ				おもに「社会福祉演習」について復習し、事後に実習での学びを記録する(事前3時間事後3時間)				
12	実習での取り組み(12)	アセスメントにもとづいたプランニングの方法を学ぶ				これまでの取り組みについて振り返り、ケースにおける情報を整理する(6時間)				
13	実習での取り組み(13)	アセスメントにもとづいたプランニングの方法を学ぶ				ケースにおける情報の整理・分析と目標設定の方法について復習する(6時間)				
14	実習での取り組み(14)	利用者等との援助関係の形成の意味と方法を学ぶ				おもに「社会福祉援助技術」について復習し、事後に実習での学びを記録する(事前3時間事後3時間)				
15	実習での取り組み(15)	利用者等との援助関係の形成の意味と方法を学ぶ				「社会福祉援助技術」「社会福祉演習」について復習、事後に学びを記録する(事前3時間事後3時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「相談援助実習・相談援助実習指導 第3版」福祉臨床シリーズ編集委員会編(弘文堂) ISBN:978-4-335-61189-6(生協で購入してください。)				受講態度:40% 出席レポート:30% 課題:30% S:実習への取り組み、出席レポート・課題の提出と内容の達成度が90%以上 A:実習への取り組み、出席レポート・課題の提出と内容の達成度が80%以上 B:実習への取り組み、出席レポート・課題の提出と内容の達成度が70%以上 C:実習への取り組み、出席レポート・課題の提出と内容の達成度が60%以上 受講態度は実習への取り組み(積極的な学びの姿勢)、出席レポートは実習における記録の作成、課題は実習の進捗に応じて指示し、その作成状況を指します。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「実習記録ノート」 「社会福祉実習ガイドブック」				実習にあたっては別途定める実習指導費を実習先に支払うため、実習終了後にその費用を徴収します。実習先への交通費は自己負担です。なお、実習に際しインフルエンザ等の予防接種は義務となっています。						

科目名	社会福祉実習		学年学期	4年前期	単位数	6	ナバリング	TC47004	研究室	W-30
担当者	今村 篤史・尻無浜 博幸・矢崎 久		必修選択	選択	科目種別	実験	オフィスアワー	月曜日4限、火曜日4限		
関連資格	社会福祉士				履修条件	【資格・免許取得希望者のみ履修可】				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
社会福祉実習は、福祉実践が展開されている場での体験を通して相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し、実践的な技術等を体得するものです。また、社会福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題の把握等、総合的に対応できる能力の習得を目標とします。										
学修到達目標										
180時間以上の実習および実習指導者により指導を受けながら、社会福祉士として求められる基本的な知識、技術、価値を習得することができる。										
授業の進め方										
実習時間は概ね1日8時間であり、実習計画に基づき実習指導者と調整後、実行に移していきます。学生は実習日ごとに実習記録を作成し、実習先の実習指導者から指導・助言を受けます。また、教員による巡回指導においてフィードバックも行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	実習での取り組み(1)	利用者と家族との関係を学ぶ。				事前に演習・実習指導の学びを確認、事後に実習での学びの振り返りと記録(事前3時間事後3時間)				
2	実習での取り組み(2)	利用者と家族、関係者との関係を学ぶ。				事前に実習先研究の復習、事後に実習での学びの振り返りと記録(事前3時間事後3時間)				
3	実習での取り組み(3)	利用者や家族、関係者等への権利擁護について学ぶ。				事前に実習計画を振り返り、事後に実習での学びの振り返りと記録(事前3時間事後3時間)				
4	実習での取り組み(4)	利用者や家族、関係者等へのエンパワメントについて学ぶ。				おもに「社会福祉演習」について復習、事後に実習での学びの振り返りと記録(事前3時間事後3時間)				
5	実習での取り組み(5)	援助実践へのモニタリングについて学ぶ。				おもに「社会福祉援助技術」について復習、事後に実習での学びの振り返りと記録(事前3時間事後3時間)				
6	実習での取り組み(6)	援助実践への評価の方法について学ぶ。				相談援助のプロセスについて復習、事後に実習での学びの振り返りと記録(事前3時間事後3時間)				
7	実習での取り組み(7)	実習先の他職種・他職員の役割と業務について学ぶ。				これまでの取り組みから他職種の役割の整理と実習での学びの振り返りと記録(事前3時間事後3時間)				
8	実習での取り組み(8)	実習先の他職種・他職員とのチームアプローチのあり方について学ぶ。				チームアプローチによるケース分析と事後に実習での学びを振り返りと記録(事前3時間事後3時間)				
9	実習での取り組み(9)	実習先におけるさまざまな会議等の運営について学ぶ。				おもに「社会福祉演習」について復習、事後に実習での学びの振り返りと記録(事前3時間事後3時間)				
10	実習での取り組み(10)	関連する機関・施設の業務や連携について学ぶ。				他機関等の法的根拠や役割について調べ、事後に実習での学びの振り返りと記録(事前3時間事後3時間)				
11	実習での取り組み(11)	社会福祉士としての倫理、個人情報保護について学ぶ。				事前に倫理綱領を復習し、事後に実習での学びの振り返りと記録(事前3時間事後3時間)				
12	実習での取り組み(12)	実習先の運営方法、財政、就業規則等について学ぶ。				関連法制度の復習と事後に実習での学びの振り返りと記録(事前3時間事後3時間)				
13	実習での取り組み(13)	業務に必要な文書についての理解とその記入・管理方法について学ぶ。				各種書類の整理・分析と、事後に実習での学びの振り返りと記録(事前3時間事後3時間)				
14	実習での取り組み(14)	地域社会における実習先の役割と地域への働きかけについて学ぶ。				「社会福祉演習」「社会福祉援助技術」の復習と実習での学びの振り返りと記録(事前3時間事後3時間)				
15	実習まとめ	これまでの実習を振り返り、社会福祉士としての役割、価値・技術・方法について理解する。				これまでの学びを総括し、指導者からの指導をもとに実習全体の分析・評価(事前3時間事後3時間)				
テキスト				成績評価の方法・基準						
「相談援助実習・相談援助実習指導 第3版」福祉臨床シリーズ編集委員会編(弘文堂) ISBN:978-4-335-61189-6 (生協で購入してください。)				受講態度:40% 出席レポート:30% 課題:30% S:実習への取り組み、出席レポート・課題の提出と内容のすべてが90%以上 A:実習への取り組み、出席レポート・課題の提出と内容のすべてが80%以上 B:実習への取り組み、出席レポート・課題の提出と内容のすべてが70%以上 C:実習への取り組み、出席レポート・課題の提出と内容のすべてが60%以上 受講態度は実習への取り組み(積極的な学びの姿勢)、出席レポートは実習における記録の作成、課題は、実習の進捗に応じて指示し、その作成状況を指します。						
参考書				履修上の注意(学生へのメッセージ)						
「実習記録ノート」 「社会福祉実習ガイドブック」				実習にあたっては別途定める実習指導費を実習先に支払うため、実習終了後に、その費用を徴収します。実習先への交通費は自己負担です。なお、実習に際してインフルエンザ等の予防接種は義務となっています。						

科目名	社会教育実習			学年学期	3年通年	単位数	4	ナパリング	TB37005	研究室	W-20
担当者	向井 健			必修選択	選択	科目種別	実習	オフィスアワー	前期：火曜日3限、木曜日3限		
関連資格	社会教育士					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）						
		A	B	C							
授業概要											
社会教育実習は、社会教育施設や住民の自己教育活動の支援をしている団体において実習を行い、具体的な地域課題などを題材とした社会教育事業の立案等に携わるものです。社会教育士として求められる資質・技能・倫理・課題の把握方法などを習得し、住民の学習支援者として求められる能力の習得を目指します。（社会教育主事養成課程における法令上の科目名は「社会教育実習」に相当。）											
学修到達目標											
1、社会教育実習を通して、地域の中の課題に対して、当事者性をもって考え、その課題の解決に向けた実践を組織できるようになる。 2、社会教育士として求められる基本的な知識、技術、価値を習得することができる。											
授業の進め方											
実習計画に基づき、実習先と調整をしながら社会教育実習を行います。実習中は実習先の指導者から指導・助言を受けます。実習関連記録の作成を通して実習での振り返りを行います。また実習の総括としてその報告も行います。											
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	ガイダンス	本講義の進め方について説明をします。また社会教育実習に取り組んでいく上で求められる事柄について説明をします。					事後学習：ガイダンス内容について復習しておくこと(4時間)				
2	実習先分析(1)	社会教育実習に関する実習先の分野、具体的な施設・機関などの名称や取り組まれている事業内容について理解をします。					事前学習：実習先のことを調べておくこと(4時間)				
3	実習先分析(2)	社会教育実習に関する実習先の職務内容、地域等について調べます。					事前学習：実習先のことを調べておくこと(4時間)				
4	実習先分析(3)	各自調べた内容について発表を行い、助言を受けて、より詳細な分析につなげます。					事前学習：発表の準備をしておくこと(4時間)				
5	実習関連書類の作成(1)	実習先の理解に基づき、社会教育実習を通して何を学びたいのかを明確にして社会教育実習の計画書を作成します。					事前学習：実習関連書類に目を通しておくこと(4時間)				
6	実習関連記録の作成(2)	自習記録の意義及び内容についての理解をし、記録の書き方について学びます。					事後学習：実習記録の書き方について復習をしておくこと(4時間)				
7	実習での取り組み(1)	実習先の目的、理念、組織などを学ぶとともに理解を深めるようにします。					事前：実習先研究の復習、事後：実習の振り返りと記録(事前2時間事後2時間)				
8	実習での取り組み(2)	職員や地域住民の人たちとのコミュニケーションを積極的にとるようにします。					事前：実習先研究の復習、事後：実習の振り返りと記録(事前2時間事後2時間)				
9	実習での取り組み(3)	職員や地域住民の人たちとの信頼関係を築いていきます。					事前：実習先研究の復習、事後：実習の振り返りと記録(事前2時間事後2時間)				
10	実習での取り組み(4)	実習先の位置する地域を歩いてまわり、地域特性について調べることになります。					事後学習：地域調査の成果をまとめること(4時間)				
11	実習での取り組み(5)	実習先の地域の概要(地域特性、人口、産業、地域資源など)についてつかむこととします。					事後学習：地域調査の成果をまとめること(4時間)				
12	実習での取り組み(6)	地域住民の間で取り組まれている学習活動の実際について調べます。					事前：実習記録の確認、事後：実習の振り返りと記録(事前2時間事後2時間)				
13	実習での取り組み(7)	地域で働く人たちや住民の人たちのことを知り、多職種協働のアプローチについて学びます。					事前：実習記録の確認、事後：実習の振り返りと記録(事前2時間事後2時間)				
14	実習での取り組み(8)	実習先の職員の仕事への取り組みに学びます。					事前：実習記録の確認、事後：実習の振り返りと記録(事前2時間事後2時間)				
15	実習での取り組み(9)	地域住民の主体化のアプローチを学びます(1)					事前：実習記録の確認、事後：実習の振り返りと記録(事前2時間事後2時間)				
16	実習での取り組み(10)	地域住民の主体化のアプローチを学びます(2)					事前：実習記録の確認、事後：実習の振り返りと記録(事前2時間事後2時間)				
17	実習での取り組み(11)	地域課題と住民の学習ニーズの把握方法について学びます(1)					事前：実習記録の確認、事後：実習の振り返りと記録(事前2時間事後2時間)				
18	実習での取り組み(12)	地域課題と住民の学習ニーズの把握方法について学びます(2)					事前：実習記録の確認、事後：実習の振り返りと記録(事前2時間事後2時間)				

授業計画（各回のテーマ等）			事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。
回	テーマ	内容	事前事後学修
19	実習での取り組み(13)	地域住民の学習要求を踏まえた事業を企画する（1）	事前：事業の準備、事後：実習の振り返りと記録（事前2時間事後2時間）
20	実習での取り組み(14)	地域住民の学習要求を踏まえた事業を企画する（2）	事前：事業の企画準備、事後：実習の振り返りと記録（事前2時間事後2時間）
21	実習での取り組み(15)	地域住民の学習要求を踏まえた事業を企画する（3）	事前：事業の企画準備、事後：実習の振り返りと記録（事前2時間事後2時間）
22	実習での取り組み(16)	地域住民のニーズを踏まえた学習プログラムを実施（1）	事後学習：事業の振り返りと記録（4時間）
23	実習での取り組み(17)	地域住民のニーズを踏まえた学習プログラムを実施（2）	事後学習：事業の振り返りと記録（4時間）
24	実習での取り組み(18)	地域住民のニーズを踏まえた学習プログラムを実施（3）	事後学習：事業の振り返りと記録（4時間）
25	実習での取り組み(19)	事業の評価方法について学びます（1）	事後学習：事業の振り返りと記録（4時間）
26	実習での取り組み(20)	事業の評価方法について学びます（2）	事後学習：事業の振り返りと記録（4時間）
27	実習の自己評価と実習記録によるフィードバック(1)	実習に対する自己評価を行い、明らかになった課題について整理・分析をするとともに、他者と実習記録に基づきディスカッションを行い、成果をフィードバックします。	事前学習：実習記録を振り返り、社会教育実習での学びを整理する（4時間）
28	実習の自己評価と実習記録によるフィードバック(2)	実習に対する自己評価を行い、明らかになった課題について整理・分析をするとともに、他者と実習記録に基づきディスカッションを行います。	事前学習：実習記録を振り返り、社会教育実習での学びを整理する（4時間）
29	活動実践報告会に向けた準備	実習の成果を発表する活動実践報告会に向けた準備をします。	事前学習：活動実践報告会に向けた準備（4時間）
30	活動実践報告会	自分たちの取り組んできた社会教育実習の成果をまとめて報告をします。そして実習で学んだことの意味を色々な人と分かち合います。	事前学習：活動実践報告会の準備を完了させて発表会に臨むこと（4時間）
テキスト		成績評価の方法・基準	
プリント・資料の配付をもってテキストに代えます。		レポート：50% 課題：50% S：地域住民の学習の援助者として周囲を組織化し、探求姿勢をもって課題に取り組むことができている。A：住民主体の学びの意義を理解して企画作りに参加しており、積極的な探求姿勢をもって課題に取り組むことができる。B：地域住民の学習の援助者として積極的に参加し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。C：地域住民の学習の支援者として参加し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。	
参考書		履修上の注意（学生へのメッセージ）	
適時、必要な資料を紹介します。		受講生の主体的な取り組みが求められます。住民の人たちの学習要求を捉えて、住民主体の学習支援に取り組むことを期待します。	

科目名	博物館実習		学年学期	4年通年	単位数	3	ナパリング	TB47006	研究室	W-22
担当者	木村 晴壽		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	前期：月曜日1限、火曜日1限		
関連資格	学芸員				履修条件	【資格・免許取得希望者のみ履修可】				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）					
		A	B	C						
授業概要										
この授業は、博物館学芸員の資格を目指す学生諸君のための実習です。したがって、学芸員資格取得に必要とされる他の科目をすべて履修済みの学生諸君のみが対象となります。この講義だけを受講することは認められません。毎週規則正しく講義が行われるという形式の授業ではありません。常に教務関係の掲示に注意を払い、担当教員あるいは教務委員会からの指示にしたがってください。事後指導において、それまでの内容をフィードバックします。										
学修到達目標										
完全ではないまでも、将来学芸員として活動するための実践的訓練を確実に経験し、最低限の準備が整うことが到達目標です。										
授業の進め方										
最初の集合日は掲示にて伝達しますので、必ず指定された日に集合してください。その際に、実習に向けて各自がするべき作業の指示を出します。まずは、実習生として受け入れ先があるかどうかから始まります。										
授業計画（各回のテーマ等） 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	実習への心構えとガイダンス	実際に博物館で活動するため、博物館で働くことの実際について説明する				事前の配付資料を熟読(2時間)。事後、授業での指摘項目を調べる(2時間)。				
2	実習先の選定とアプローチの実際	実習先をどのように選定するか、選定した後にどのように博物館とコンタクトをとるかについて、説明する				事前の配付資料を熟読(2時間)。事後、授業での指摘項目を調べる(2時間)。				
3	博物館見学(3館以上)	事前に担当教員から、見学すべき博物館とその際の課題が提示されるので、それにしたがって3館以上の博物館を見学する				事前の配付資料を熟読(2時間)。事後、授業での指摘項目を調べる(2時間)。				
4	資料取り扱い実習	博物館史料として、歴史資料・美術資料を取り上げ、それぞれの取扱方について詳述する。				事前の配付資料を熟読(2時間)。事後、授業での指摘項目を調べる(2時間)。				
5	事後報告(発表と討論)	実習の事後指導として、各がそれぞれの体験を発表する。そのうえで、全員で問題点や反省点について討論する				事前の配付資料を熟読(2時間)。事後、授業での指摘項目を調べる(2時間)。				
6	事後指導	担当教員が、巡回指導をもとにそれぞれの実習について整理する				事前の配付資料を熟読(2時間)。事後、授業での指摘項目を調べる(2時間)。				
7	実習ノートにもとづく事後指導	実習先博物館が記入した実習ノートの内容をもとに、担当教員からのコメント、他の実習生からのコメントを求め、討論することで、実習体験をより実りあるものとする				事前の配付資料を熟読(2時間)。事後、授業での指摘項目を調べる(2時間)。				
8	総括	各自の実習を総括し、全体としての評価を発表する				事前、各自の実習ノートを再読(2時間)。事後、授業での指摘項目を調べる(2時間)。				
9	実習	以上の他に、各自2週間の実習が入る				事前の配付資料を熟読すること				
テキスト		成績評価の方法・基準								
特になし		レポート：30% 実技：20% 課題：50% 事前指導・事後指導の出席レポート(30%)、実習ノートの内容(20%)、課題(50%)の総合で成績評価をします。S:実習において極めて高い能力を発揮し、課題を的確に処理した。A:実習において問題のない評価を得、課題に確実に対応した。B:実習において平均的な評価を得、課題への対応が満足できる程度であった。C:実習においてのそれなりの評価を得、課題にも対応した。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
特になし		いずれかの博物館で行われる実習では、社会人として扱われることとなります。社会人として最低限身につけておくべき素養(挨拶等を含めたマナーや常識)の有無も、実習可・不可の条件です。								

科目名	公務員特講		学年学期	3年前期	単位数	2	ナパ`リッパ	KC37001 TL37007	研究室	非常勤
担当者	櫻井 義彦		必修選択	選択	科目種別	講義	オイスア-			
関連資格					履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C	総 観					
授業概要										
公務員上級職試験対策として、独学が難しいとされる憲法、民法、行政法の専門科目および一般教養科目を、基礎からしっかり理解し、実戦力まで習得できるよう解説します。とくに法律専門科目をはじめて学が初学者に対しても分かりやすく解答の出し方を詳解し、確実に得点を挙げる解答力を養成します。										
学修到達目標										
公務員試験の出題の特徴を多角的に理解することが基本的な目標です。さらに、各法律科目の頻出する制度的意義を十分に理解することによって、出題者の意図をすばやく見極め、知識だけに頼らない正確な判断能力を養うことが最終目標です。										
授業の進め方										
講義は教室において、テキストと事前配布資料の問題を中心に基本事項を概説し、その後、事前に指定しておいた問題の答え合わせを行い、問題の傾向について解説をします。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	授業ガイダンス。 公務員上級職の職種と試験 制度について。	授業概要 学習目標、授業の進め方、評価の仕方について説明します。公務員採用試験の概要および展望、試験準備の要領と注意点などを紹介し ます。				事前に受験ガイドを読む。事後志望職種を定める。(4時間)				
2	憲法 基本原理と包括的 基本権	日本国憲法の理念および原理を詳解し、憲法の制度的特色を理解します。とくに包括的基本権は新しい人権の根拠となっていますので、事例を 交えて解説します。				事前にテキストP58を読む。事後 間違えた問題を復習する。類似過 去問にあたる。(4時間)				
3	憲法 自由権と社会権	憲法が規定する人権の種類と特徴を解説し、人権の識別がすばやくでき る判断力を習得します。とくに消極的権利と積極的権利の区別は重要で す。				テキストのP56を事前に読む。 授業中間間違えた問題を復習する。 類似過去問にあたる。(4時間)				
4	憲法 違憲立法審査制度	法令審査基準と理論を判例を通じて解説します。判例の趣旨を正確に見 極める判断力を養い、択一問題を確実に解答する理解力を習得します。				テキストP78を事前に読む。 授業中間間違えた問題を復習する。 類似過去問にあたる。(4時間)				
5	憲法 議院内閣制	憲法の統治規定の中でも議院内閣制の問題は出題率が高いので、国会と 内閣の関係や国会の地位について過去の出題と判例を踏まえて解説しま す。				テキストP70,74111を事前に読む 。 授業中間間違えた問題を復習する。				
6	憲法 司法制度	司法権の独立、三審制、訴訟の種類など裁判制度の基本を理解し、三権 分立の中での裁判所の意義と司法権の限界について学習します。				テキストP76を事前に読む。 授業中間間違えた問題を復習する。 類似過去問にあたる。(4時間)				
7	民法 代理権の諸問題	代理における無権代理、表見代理などの問題を中心に解説します。とくに 相続と絡ませた出題が多いので、過去問を中心にいくつかのパリエー ションを習得します。				テキストP111を事前に読む。 授業中間間違えた問題を復習する。 類似過去問にあたる。(4時間)				
8	民法 契約時のトラブル 意思の不存在と瑕疵のあ る意思	契約の重要な要素である意思表示の問題を、民法規定に沿って整理し、 法律関係がどのように変化するかを解説します。とくに94条 の類推適 用の事例を習得します。				テキストP110を事前に読む。 授業中間間違えた問題を復習する。 類似過去問にあたる。(4時間)				
9	民法 不動産物権変動と 対抗要件	不動産売買を中心に所有権の移転の問題や対抗要件の成否について詳解 します。また、相続や時効に関連して所有権がどのように移るかを判例 に沿って整理します。				テキストP113を事前に読む。 授業中間間違えた問題を復習する。 類似過去問にあたる。(4時間)				
10	民法 地上権、借地権、 抵当権	いわゆる担保物件の諸権利の特徴を解説します。なかでも抵当権が重要 ですので、その他の担保物件との違いを比較しながら、抵当権による担 保制度を理解していきます。				テキストP115を事前に読む。 授業中間間違えた問題を復習する。 類似過去問にあたる。(4時間)				
11	民法 売買に関する問題 危険負担と売主担保責任	動産と不動産の売買について、所有権や危険負担の移転の問題や売買の 瑕疵の問題における債務不履行と瑕疵担保の違いを判例と通説を比較して 解説します。				テキストP120を事前に読む。 授業中間間違えた問題を復習する。 類似過去問にあたる。(4時間)				
12	民法 債務不履行と契約 解除	契約解除の原因について、債務不履行を中心に法律関係を解説します。 ここは不法行為と損害賠償請求権にもかかってくるので立体的に法的効 果を理解していきます。				テキストP121を事前に読む。 授業中間間違えた問題を復習する。 類似過去問にあたる。(4時間)				
13	行政法 行政行為の概念 と効力	行政行為(処分)の性質を解説しながら、その他の行政庁の行為との識 別ができるようにします。さらに、効力の要件や瑕疵のある行政行為に ついて学び、行政法とは何かを理解します。				テキストP84を事前に読む。 授業中間間違えた問題を復習する。 類似過去問にあたる。(4時間)				
14	行政法 抗告訴訟と訴え の利益	行政事件訴訟の種類と要件、とくに訴えの利益について解説します。この テーマは、憲法の違憲判決の問題と直結しているので、典型的な判例 に沿って理解します。				テキストP100を事前に読む。 授業中間間違えた問題を復習する。 類似過去問にあたる。(4時間)				
15	行政法 国家賠償法	公務員の不法行為について、どのような場合に国家が賠償責任を負うか また民間人の行為でも国家賠償の可能性はあるか、など過去の出題に 沿って判例をもとに詳解します。				テキストP97を事前に読む。 授業中間間違えた問題を復習する。 類似過去問にあたる。(4時間)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
「2021年度 地方上級・国家一般職 大卒程度 公務員試験総合問題集」 L&L総合研究所編(新星出版社) ISBN:978-4-405-01792-4(生協で購入して ください。)		定期試験:50% 受講態度:50% 成績評価基準 S:授業内容を高度に理解するとともに、探求姿勢をもって積極的に課題に取り 組み、授業で示した例題の発展問題が解ける。 A:授業内容を十分理解し、授業で示した問題は完全に解ける。 B:授業内容をほぼ理解し、授業で示した問題の80%程度が解ける。 C:授業内容をある程度理解し、授業で示した問題の60%程度が解ける。								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「スーパー過去問ゼミ 憲法・民法・行政法」(実務教育出版)		公務員および各種資格試験に対応します。いずれも過去問をどれくらい解いた かが合格の鍵です。分からないところは質問に応じますので、各自積極的に過 去問を繰り返し解いていくことを期待します。								

科目名	公務員特講		学年学期	3年後期	単位数	2	ナパリング	KC37002 TL37008	研究室	非常勤
担当者	櫻井 義彦		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格						履修条件				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C	総 観					
授業概要										
公務員上級職試験対策として、憲法、民法、行政法の法律科目と一般教養科目について、前期の基礎知識をもとに問題演習と解説を行います。また、後期からは経済原論も加えて過去の頻出問題の徹底研究と択一問題の識別の仕方や選択肢の見極め方など、速く正確に解くテクニックを習得します。										
学修到達目標										
公務員試験の出題パターンを整理し、理解することが基本的な目標です。さらに、過去の頻出問題の傾向を徹底的に研究することで、出題者の意図を瞬時に見極め、確実に得点を挙げる実戦力を養うことが最終目標です。										
授業の進め方										
講義は教室において、教科書を中心に基本事項を解説しながら進め、適宜に過去問題をプリントして問題演習を行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	授業ガイダンス。 公務員試験の最近の傾向。 経済原論とはなにか。	授業概要、学習目標、授業の進め方、評価の仕方について説明します。公務員試験の最近の傾向や択一問題に対する心構えについて、さらに、経済原論についての出題傾向について解説します。					テキストの試験ガイドを事前に読む。授業の経済用語を復習して類似過去問にあたる。(4時間)			
2	ミクロ経済 消費行動理論	限界効用と予算線から最適消費量を求める問題や代替効果と価格効果の違いから消費者行動を予測分析する問題を学習します。					テキストのP162を事前に読む。授業中間達えた問題を復習し類似過去問にあたる。(4時間)			
3	マクロ経済 フローとストック	マクロ経済モデルについての理解の前提として、国民所得(GDP)とは何か、需要および供給とはどのような関係にあるのかを解説します。					テキストのP172を事前に読む。授業中間達えた問題を復習し類似過去問にあたる。(4時間)			
4	マクロ経済 デフレギャップとインフレギャップ(45度分析)	45度分析図から完全雇用国民所得における需要と供給のギャップを求める問題の解法を解説します。これは公務員試験では必須問題の1つですので、用語や考え方をしっかりと理解します。					テキストのP172を事前に読む。授業中間達えた問題を復習し類似過去問にあたる。(4時間)			
5	マクロ経済 乗数理論(45度分析)	前回と同じく、公務員試験頻出問題です。マクロ経済モデルを使って、民間投資や政府支出および増減税が国民所得に具体的にいくら増減をもたらすかを計算する問題の解法を詳解します。					テキストのP173を事前に読む。授業中間達えた問題を復習し類似過去問にあたる。(4時間)			
6	マクロ経済 財政・金融政策(IS-LM分析)	マクロ経済三本柱の最後は、IS-LM分析の問題解法を解説します。財市場と貨幣市場の動向が、利子率と所得によってどのように変化し、財政・金融政策がどのように機能するか、を理解します。					テキストのP174を事前に読む。授業中間達えた問題を復習し類似過去問にあたる。(4時間)			
7	憲法 政教分離の原則(20条)	憲法20条の信教の自由の中でも、第3項の政教分離の原則についてそのリーディングケースとなった判例と条文の解釈について解説します。					テキストのP62を事前に読む。授業中間達えた問題を復習し類似過去問にあたる。(4時間)			
8	憲法 表現の自由(21条)とプライバシー権	人権の中で最も重要とされる表現の自由と個人のプライバシーの衝突矛盾について、最高裁はどのような調整を行ったかについて解説し、人権相互の調整はどのような考え方によるのかを学習します。					テキストのP64を事前に読む。授業中間達えた問題を復習し類似過去問にあたる。(4時間)			
9	憲法 職業選択の自由(22条)	経済的自由権の中でも、とくに営業の自由を中心に、他人の人権との整合性を判例に沿って理解します。ここはとくに判例の知識が問われますので、重要判例を整理しながら詳解していきます。					テキストのP67を事前に読む。授業中間達えた問題を復習し類似過去問にあたる。(4時間)			
10	憲法 生存権(25条)	このテーマは、社会福祉政策の中心的人権であり、いわば公務員という職業の基盤をなすものなので、過去出題率はかなり高いです。自由権との違いを比較しながら、判例に基づいて解説します。					テキストのP69を事前に読む。授業中間達えた問題を復習し類似過去問にあたる。(4時間)			
11	憲法 国会、内閣、裁判所(統治論)	三権分立および日本の統治システムの問題を解説します。ここは公民程度の知識で十分ですので、いろいろな出題パターンになれるよう過去問を中心に進めていきます。					テキストのP70~76を事前に読む。授業中間達えた問題を復習し類似過去問にあたる。(4時間)			
12	民法 債権者代位権と詐害行為取消権	債権者代位権および詐害行為取消権の要件、客体、範囲、効果についてそれぞれの法律行為の要点を整理します。さらに、両者の相違点についてはよく出題されるのでその点もふまえて解説します。					テキストのP117を事前に読む。授業中間達えた問題を復習し類似過去問にあたる。(4時間)			
13	民法 抵当権と物上代位権	抵当権の性格を他の担保物権と比較しながら解説します。また、抵当権と物上代位権の行使の様態や法定地上権の成否など過去問を使って出題形式を習得します。					テキストのP116を事前に読む。授業中間達えた問題を復習し類似過去問にあたる。(4時間)			
14	民法 夫婦関係と親子関係	婚姻、離婚、内縁関係ならびに嫡出子と非嫡出子、認知、特別養子制度の各項目について要件と効果を整理して、それぞれの性格を解説します。					テキストのP125~127を事前に読む。授業中間達えた問題を復習し類似過去問にあたる。(4時間)			
15	民法 相続	法定相続人と相続の承認や放棄、遺言と法定遺留分の関係について、我が国の相続制度の要点を整理し、さらに、共同相続における登記と第三者の法的関係など他の民法条項にも関連する問題を詳解します。					テキストのP128を事前に読む。授業中間達えた問題を復習し類似過去問にあたる。(4時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
「2021年度 地方上級・国家一般職 大卒程度 公務員試験総合問題集」L&L総合研究所編(新星出版社) ISBN:978-4-405-01792-4(生協で購入してください。)					定期試験:50% 受講態度:50% 成績評価基準 S:授業内容を高度に理解するとともに、探求姿勢をもって積極的に課題に取り組み、授業で示した例題の発展問題が解ける。 A:授業内容を十分理解し、授業で示した問題は完全に解ける。 B:授業内容をほぼ理解し、授業で示した問題の80%程度が解ける。 C:授業内容をある程度理解し、授業で示した問題の60%程度が解ける。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「スーパー過去問ゼミ(各科目)」(実務教育出版) 「20日間で学ぶ 政治・経済の基礎」(実務教育出版)					公務員および各種資格試験に対応します。いずれも過去問をどれくらい解いたかが合格の鍵です。分らないところは質問に応じますので、各自積極的に過去問を繰り返し解いていくことを期待します。					

科目名	社会教養		学年学期	3年後期	単位数	2	ナパ'リング	TL37009	研究室	
担当者	各教員		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスア-			
関連資格					履修条件	3年生のみ履修可				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
本講義は、3年生後半から始まる就職活動で問われる社会教養力をつけるための科目です。就職活動では、SPIなどの適性検査がおこなわれます。本講義では、非言語・言語系のSPI試験、社会科教養試験、一般常識試験の模擬問題の演習と解説をおこないながら、筆記試験の得点力アップをめざします。就職活動を直前にひかえての、筆記試験対策の科目です。										
学修到達目標										
就職活動で問われる社会教養力を判定するSPI試験をパスする力をつけることが目標です。										
授業の進め方										
配布プリントに沿って課題を行い、その都度ポイント解説を交えながらフィードバックをします。少人数のクラス編成でキメ細かい筆記試験対策を行います。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容					事前事後学修			
1	授業ガイダンス。現状能力の確認。	ガイダンスとクラス分け					テキスト第1講の予習(4時間)			
2	計算のルール(加えて毎回、言語系の演習問題)	計算の基礎等SPI過去問題					テキスト第2講の予習(2時間)第1講の復習(2時間)			
3	割合の計算	割合計算等SPI過去問題					テキスト第3講の予習(2時間)第2講の復習(2時間)			
4	損益の計算	損益計算等SPI過去問題					テキスト第4講の予習(2時間)第3講の復習(2時間)			
5	仕事算の計算	仕事算等SPI過去問題					テキスト第5講の予習(2時間)第4講の復習(2時間)			
6	速さの計算	速度等SPI過去問題					テキスト第6講の予習(2時間)第5講の復習(2時間)			
7	集合と確率	集合等SPI過去問題					テキスト第7講の予習(2時間)第6講の復習(2時間)			
8	推論	推論等SPI過去問題					テキスト第8講の予習(2時間)第7講の復習(2時間)			
9	総合問題(基礎)	SPI総合基礎過去問題					テキスト第9講の予習(2時間)第8講の復習(2時間)			
10	総合問題(発展)	SPI総合発展過去問題					テキスト第10講の予習(2時間)第9講の復習(2時間)			
11	社会科問題(地理・歴史)	社会科教養試験過去問題					テキスト第11講の予習(2時間)第10講の復習(2時間)			
12	社会科問題(政治経済・国際)	社会科教養試験過去問題					テキスト第12講の予習(2時間)第11講の復習(2時間)			
13	一般常識問題(基礎)	一般常識試験過去問題					テキスト第13講の予習(2時間)第12講の復習(2時間)			
14	一般常識問題(発展)	一般常識試験過去問題					テキスト第14講の予習(2時間)第13講の復習(2時間)			
15	まとめ	SPI過去問題、社会科教養試験過去問題、一般常識試験過去問題					テキスト第14講の復習(4時間)			
テキスト					成績評価の方法・基準					
プリントを配布します。また、就職委員会指定のテキストを扱います。					小テスト:50% 定期試験:50% S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、積極的な姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。					
参考書					履修上の注意(学生へのメッセージ)					
適宜指示します。					就職活動では、筆記試験対策は必須です。個々の苦手分野では適時、分かり易い解説をしていきたいと思っております。積極的な参加を期待します。					

科目名	国内旅行業務実務			学年学期	2・3年前期	単位数	2	ナパリング	TA27010	研究室	
担当者	各教員			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格						履修条件	1年生は指定された科目と併せて履修すること、(集中講義となります)				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
<p>旅行業には旅行の営業、旅行コースの企画、添乗などの仕事がありますが、これらの仕事をスムーズにこなすには、旅行業務に熟知した専門家がが必要です。国内旅行のみ扱う営業所においてその専門家がいわゆる国内総合旅行業務取扱管理者です。この講義は、観光庁長官が行う「国内旅行業務取扱管理者」試験合格を目指すことを目的に開講された講座です。</p>											
学修到達目標											
1、「国内旅行業務取扱管理者」試験受験に向けて、各教科の内容を十分に理解することができている。											
授業の進め方											
過去の試験問題の答案練習を繰り返ししながらポイントを学びます。適宜、試験問題の解答練習を行い、答え合わせとポイント解説を行うことでフィードバックをします。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	旅行業法	旅行業法の過去出題問題による解答練習とポイント解説を行います。					旅行業法について予復習して繰り返し間違わないようにしてください(4時間)				
2	旅行業法	旅行業法の過去出題問題による解答練習とポイント解説を行います。					旅行業法について予復習して繰り返し間違わないようにしてください(4時間)				
3	旅行業法	旅行業法の過去出題問題による解答練習とポイント解説を行います。					旅行業法について予復習して繰り返し間違わないようにしてください(4時間)				
4	旅行業法	旅行業法の過去出題問題による解答練習とポイント解説を行います。					旅行業法について予復習して繰り返し間違わないようにしてください(4時間)				
5	観光約款	観光約款の過去出題問題による解答練習とポイント解説を行います。					観光約款について合格ラインに達するように仕上げる(4時間)				
6	観光約款	観光約款の過去出題問題による解答練習とポイント解説を行います。					観光約款について合格ラインに達するように仕上げる(4時間)				
7	観光約款	観光約款の過去出題問題による解答練習とポイント解説を行います。					観光約款について合格ラインに達するように仕上げる(4時間)				
8	観光約款	観光約款の過去出題問題による解答練習とポイント解説を行います。					観光約款について合格ラインに達するように仕上げる(4時間)				
9	国内旅行業務実務	国内旅行業務実務のJR運賃計算の問題集による解答練習とポイント解説を行います。					国内旅行業務のJR運賃計算について予復習を行い、合格ラインに達するように仕上げる(4時間)				
10	国内旅行業務実務	国内旅行業務実務のJRの料金計算の問題集による解答練習とポイント解説を行います。					国内旅行業務実務のJR料金計算について予復習を行い、合格ラインに達するように仕上げる(4時間)				
11	国内旅行業務実務	国内旅行業務実務のJRの運賃・料金計算の問題集による解答練習とポイント解説を通して、JR運賃料金計算部分マスターする。					国内旅行業務実務の運賃料金計算部分をマスターできるように予復習すること(4時間)				
12	国内旅行業務実務	国内旅行業務実務における、宿泊料金・貸切バス料金・フェリー運賃・料金の部分の問題集による解答練習とポイント解説を行います。					国内旅行業務実務の問題をマスターできるように予復習すること(4時間)				
13	国内旅行業務実務	国内旅行業務実務の国内観光地理の部分の問題集による解答練習とポイント解説を行います。					国内実務の観光地理について復習をしてマスターできるようにすること(4時間)				
14	国内旅行業務実務	国内旅行業務実務の国内観光地理の部分の問題集による解答練習とポイント解説を行います。					国内実務の観光地理について復習をしてマスターできるようにすること(4時間)				
15	国内旅行業務取扱管理者試験の模擬試験と解説	国内旅行業務取扱管理者試験の模擬試験を行い、到達度を図るとともに、ポイント解説を行います。					国内旅行業務取扱管理者試験の模擬試験の合格ラインに達せられるようにする(4時間)				
テキスト						成績評価の方法・基準					
「国内観光資源」JTB総合研究所著(JTB総合研究所)(別途、指示します。)実施する講義内容にあったJTB総研の教科書を忘れずに持参すること。						定期試験:100% S:授業内容を高度に理解し、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組んだ結果、試験に合格をした。A:授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって課題に取り組んだ結果、試験に合格をした。B:授業のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組んだ結果、試験に合格をした。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組んだ結果、試験に合格をした。					
参考書						履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「国内運賃・料金」JTB総合研究所著(JTB総合研究所)						国内旅行業務取扱管理者試験対策の講義です。受講者は旅行業法・観光約款・観光地理の講義を併せて受講してください。必ず予復習を欠かさない事が重要です。特に国内旅行業務は早い段階から試験対策に取り組んでください。					

科目名	総合旅行業務実務			学年学期	3・4年前期	単位数	2	ナバリング	TA37011	研究室	
担当者	各教員			必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー			
関連資格						履修条件	(集中講義となります)				
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)						
		A	B	C							
授業概要											
この講義では国内と海外の両方の旅行業務を取り扱える総合旅行業務取扱管理者試験の合格を目指すため、それに出題される科目について解説、答案練習します。											
学修到達目標											
旅行業法では営業所毎に最低1人以上後述の旅行業務取扱管理者試験に合格した者をその営業所の旅行業務取扱管理者として選任することが義務付けられています。この講義では国内と海外の両方の旅行業務を取り扱える総合旅行業務取扱管理者試験の合格を目指します。											
授業の進め方											
過去の試験問題の答案練習を繰り返しながらポイントを学びます。毎回フィードバックを行い理解度を深めます。											
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。											
回	テーマ	内容					事前事後学修				
1	旅行業約款	旅行業約款の基礎について解説します。					事前、旅行業約款の部分を熟読(2時間)。事後、旅行業約款についての復習(2時間)。				
2	旅行業約款	旅行業約款の必須事項解説します。					事前、旅行業約款の項目を熟読(2時間)。事後、旅行業約款についての復習(2時間)。				
3	旅行業約款	航空・運送・宿泊約款のについて解説します。					事前、航空・宿泊・運送約款を熟読(2時間)。事後、航空・運送・宿泊約款についての復習(2時間)。				
4	国際航空運賃	国際航空運賃の基礎について解説します。					事前に配布する国際航空運賃・料金についての冊子を熟読する。				
5	国際航空運賃	国際航空運賃の仕組みについて解説します。					事前、国際航空運賃の基礎を熟読(2時間)。事後、国際航空運賃の仕組みについて復習(2時間)。				
6	出入国法令と実務	出入国法令について基礎的に解説します。					事前：キストの出入国法令実務の第1部渡航手続きを熟読。事後：日本の出入国手続きを熟読				
7	海外旅行実務・観光地理	海外旅行実務の基礎について解説します。					事前：海外旅行資源テキストのアジア・アメリカを熟読。事後：再度同上を熟読。				
8	海外旅行実務・観光地理	観光地理全般について解説します。					事前、海外観光資源テキストのオセアニア・アフリカを熟読(2時間)。事後：再度、同上を熟読。				
9	答案練習	過去出題問題についての解説					(事前)2018年に出题された試験問題を解答。(事後)再度2018年度の試験問題を解答。				
10	答案練習	過去出題問題による解答練習の方法を解説します。					(事前)2017年に出题された試験問題を解答。(事後)再度2017年度の試験問題を解答。				
11	答案練習	解答練習の結果をもとに検討します。					(事前)2016年に出题された試験問題を解答。(事後)再度2016年度の試験問題を解答。				
12	答案練習	模擬問題に取り組みます。					(事前)2015年に出题された試験問題を解答。(事後)再度2015年度の試験問題を解答。				
13	答案練習	模擬問題の結果をもとに詳細な検証を行います。					(事前)2014年に出题された試験問題を解答。(事後)再度2014年度の試験問題を解答。				
14	答案練習	検証結果について検討します。					(事前)2013年に出题された試験問題を解答。(事後)再度2013年度の試験問題を解答。				
15	総括	旅行業務実務全体をまとめます。					事前、6年間の試験問題を解答(2時間)。事後、6年間の試験問題に見直しの復習(2時間)。				
テキスト						成績評価の方法・基準					
「海外観光資源」(JTB総合研究所)(別途、指示します。)さらに必要なテキストがあれば講義開始後に指示をします。						定期試験：100% S:総合旅行業務についての理解が十分できている。A:総合旅行業務についての理解ができている。B:操業旅行業卵についての理解がほぼできている。C:総合旅行業務について6割程度理解している。					
参考書						履修上の注意(学生へのメッセージ)					
「出入国法令と実務」(JTB総合研究所)						国内旅行業務取扱管理者の合格者のみ受講を認めます。国内旅行業務取扱管理者の資格を持っている学生はさらにステップアップして積極的に総合旅行業務取扱管理者の資格を目指してください。					

科目名	社会福祉士特講		学年学期	4年後期	単位数	2	ナパ・リソフ	TC47012	研究室	W-30
担当者	今村 篤史		必修選択	選択	科目種別	講義	オフィスアワー	木曜日2限		
関連資格	社会福祉士				履修条件					
ディプロマポリシーとの関連性		カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度(読替科目)					
		A	B	C						
授業概要										
社会福祉士を目指す最終段階として、社会福祉士に求められる知識・技術・価値の総まとめを行うとともに、国家試験合格に向けた問題演習にも取り組んでいきます。										
学修到達目標										
社会福祉士として求められる知識・技術・価値について、正確な理解のもとに自分なりの言葉で説明できる。 国家試験合格に必要な知識が修得できる。										
授業の進め方										
社会福祉士養成カリキュラムにおける指定科目について、それぞれを関連付けながら、また全体として体系的に理解できるよう振り返っていきます。各回において、その理解度を測るため確認テストによりフィードバックを行います。また、模擬試験も実施します。										
授業計画(各回のテーマ等) 事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。										
回	テーマ	内容				事前事後学修				
1	社会福祉士に求められる医学的知識	人体の構造と機能及び疾病と保健医療サービスについて				医学概論 ・ の振り返りと確認テストの復習(4時間～)				
2	社会福祉士に求められる心理学的知識と技術	心理学理論と心理的支援について				福祉心理支援の振り返りと確認テストの復習(4時間～)				
3	社会福祉士に求められる社会学的知識	社会理論と社会システムについて				社会学の振り返りと確認テストの復習(4時間～)				
4	社会福祉士の基盤である社会福祉の理解	現代社会と福祉について				社会福祉概論 ・ の振り返りと確認テストの復習(4時間～)				
5	社会福祉士の基盤である地域福祉の理解	地域福祉の理論と方法について				地域福祉 ・ の振り返りと確認テストの復習(4時間～)				
6	社会福祉士に求められるマネジメントに関する知識	福祉行政と福祉計画及び福祉サービスの組織と経営				社会福祉行政と社会福祉経営の振り返りと確認テストの復習(4時間～)				
7	社会福祉士に求められる社会保障の知識	社会保障とナショナル・ミニマム				社会保障論 ・ と公的扶助の振り返りと確認テストの復習(4時間～)				
8	社会福祉士に求められる障がい者支援における知識と技術	障害者に対する支援と障害者自立支援制度及び就労支援				障がい福祉と福祉就労支援の振り返りと確認テストの復習(4時間～)				
9	社会福祉士に求められる法学的知識	権利擁護と成年後見制度及び更生保護				司法福祉 ・ の振り返りと確認テストの復習(4時間～)				
10	ソーシャルワーカーとしての基盤的知識	相談援助の基盤と専門職				ソーシャルワーク ・ の振り返りと確認テストの復習(4時間～)				
11	ソーシャルワークにおける理論と技術(1)	相談援助の理論と方法				社会福祉援助技術 ～ の振り返りと確認テストの復習(4時間～)				
12	ソーシャルワークにおける理論と技術(2)	相談援助の理論と方法				社会福祉援助技術 ～ の振り返りと確認テストの復習(4時間～)				
13	社会福祉士に求められる高齢者支援における知識と技術	高齢者に対する支援と介護保険制度				高齢者福祉論 ・ の振り返りと確認テストの復習(4時間～)				
14	社会福祉士に求められる子ども家庭支援における知識と技術	児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度				児童福祉の振り返りと確認テストの復習(4時間～)				
15	まとめ	これまでの講義内容の振り返りとまとめ				14回目までの講義の振り返り(4時間～)				
テキスト		成績評価の方法・基準								
特にありません。レジュメ、プリントを用意します。		小テスト:50% 課題:50% S:小テスト、課題への取り組みと達成度において90%以上 A:小テスト、課題への取り組みと達成度において80%以上 C:小テスト、課題への取り組みと達成度において70%以上 D:小テスト、課題への取り組みと達成度において60%以上								
参考書		履修上の注意(学生へのメッセージ)								
「社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験ワークブック[共通科目編・専門科目編]」社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験ワークブック編集委員会編(中央法規出版)		社会福祉士国家試験受験に必要な科目を履修していることが必要です。 【実務経験のある教員が担当】実務経験の内容:社会福祉法人においてソーシャルワーカーとして勤務した。								